入札説明書　添付１０

安来地区電線共同溝ＰＦＩ事業

見積参考資料

平成29年10月

国土交通省中国地方整備局

この「見積参考資料」は、本事業の現場条件等を考慮し標準的な事業内容等を参考に示した資料であり、契約図書ではない。従って「見積参考資料」は事業契約上の拘束力を生じるものではなく、事業者は、事業者は、施工方法、地質条件等を十分考慮して、設計、工事、維持管理、調整マネジメント等、事業目的を完成・維持するための一切の手段について事業者の責任において定めるものとする。

見積参考資料一覧

現場説明書追加事項
特記仕様書
工事数量総括表
見積参考資料
見積参考図面（契約図）
見積参考図面（積算用参考図）
見積参考図面（参考図）

現場説明書追加事項

現場説明書追加事項

<table>
<tr><th>工　　種</th><th>種　　別</th><th>説　　明　　事　　項</th></tr>
<tr><td>一般事項</td><td>一般事項</td><td>1.工期の設定にあたっては以下のとおり見込んでいる。
　なお、以下に示す内容は、発注者が工期設定するための積算内容を示したものであり、工事の履行にあたっての実施工程については受注者の責任において定めるものとする。
　下表の準備期間とは、工事請負契約書における工期の始期日から実作業着手日(当該工事の直接工事費に計上されている種別･細別の現地着手日)までの期間をいい、後片付け期間とは、後片付け着手日(当該工事の直接工事費に計上されている種別･細別の現地完了日)から完成日までの期間をいう。
<table>
<tr><th>項目</th><th>日数</th><th>備考</th></tr>
<tr><td>準備期間</td><td>90日</td><td></td></tr>
<tr><td>後片付け期間</td><td>20日</td><td></td></tr>
<tr><td>工事抑制期間</td><td>48日</td><td>年末年始の期間、年度末の期間</td></tr>
</table>
2.本工事は、週休2日の推進をするため、必要な間接工事費の補正を行う試行工事(受注者希望型)である。
なお、間接工事費の補正は見込んでいないが、契約後、受注者の希望により週休2日を実施し、実施したことが認められる場合は、変更時に間接工事費の補正を行うものとする。
3.道路における色覚バリアフリーについては、別紙-1のとおり適切に対応すること。
4.平成29年度の路上工事抑制期間を別紙-2のとおり定めており、抑制期間中は車線規制を伴う交通規制を原則認めない。やむを得ず抑制期間中に車線規制を実施する場合は、監督職員と協議すること。また、路上工事縮減の趣旨に鑑み、対象期間以外においても路上工事時間が縮減されるよう、さらなる工程管理に努めること。
なお、平成30年度以降の路上工事抑制期間（ゴールデンウィーク、夏期休暇、年末年始の休暇期間、年度末の時期)については別途通知する。
5.現道上で工事又は作業を行う場合は、道路交通法第77条の規定に基づく所轄警察署長の許可を事前に受け、許可承諾条件がある場合これを遵守しなければならない。なお、工事実施にあたっては、極力規制が伴わない工法や規制期間が短縮される方法について検討し、一般交通に対する影響を最小限に止めるよう努力すること。また、検討結果工法変更等の必要性が生じた場合は監督職員と協議すること。</td></tr>
<tr><td></td><td>施工時間帯</td><td>施工時間帯は夜間(20:00～6:00)(内8時間労働)を予定しているが、警察との協議結果や現地の状況等でこれにより難い場合は、監督職員と協議すること。</td></tr>
<tr><td></td><td>埋設物・占用物件の調査等</td><td>本工事の設計図書に関する変更が伴う埋設物・占用物件の試掘が必要となる場合は、監督職員と協議すること。</td></tr>
<tr><td></td><td>公害対策関係</td><td>1.本工事の施工に伴い粉塵等の環境対策、地元との調整事項が生じた場合、又は生じる恐れのある場合は監督職員と協議すること。
2.資材の搬入、搬出により現道の路面を汚損しないようにすること。なお、路面汚損防止対策が必要となる場合は監督職員と協議すること。</td></tr>
<tr><td></td><td>低騒音型建設機械の適用について</td><td>本工事は、「建設工事に伴う騒音振動対策技術指針」による住民の生活環境を保全する必要がある地域である。</td></tr>
<tr><td></td><td>建設現場における建設機械や建設資材の盗難防止対策について</td><td>工事の施工にあたり、受注者は、工事中の安全確保の観点から施工計画書に建設機械及び建設資材に関わる盗難防止対策を明記するとともに、建設機械及び建設資材の盗難防止対策の強化に努めること。なお、対策実施中において、盗難があった場合については、速やかに主任監督員に報告を行い、併せて警察への被害届を行うこと。</td></tr>
<tr><td>仮設工</td><td>一般事項</td><td>仮設工として別図積算用参考図のとおり見込んでいる。なお、以下に示す内容及び積算用参考図は、積算数量及び任意仮設の積算内容を示したものであり、工事目的物を完成させるための一切の手段については受注者の責任において定めるものとする。施工にあたっては、監督職員の承諾を得ること。なお、施工時間</td></tr>
</table>

現場説明書追加事項

工　種	種　別	説　明　事　項

土留・仮締切工

は夜間(20:00～6:00(内8時間労働))で見込んでいる。

1.仮設鋼矢板の施工時の最大Ｎ値は、20以下で見込んでいる。なお、現地の状況によりこれにより難い場合は、必要に応じて変更の対象とするので監督職員と協議すること。

2.仮設鋼矢板の打込み、引抜きについては、油圧式杭圧入引抜機を見込んでいる。なお、現地の状況によりこれにより難い場合及び現地の状況により引抜きが出来ない場合は、必要に応じて変更の対象とするので監督職員と協議すること。

3.仮設材については工区毎に転用するよう見込んでいる。

固結工

1.1工区(MN1)、3工区(MN9, MN10)、4工区(MN17)の固結工(薬液注入)について、下記のとおり見込んでいる。

工　法	材　料	削孔長(m)		注入長	注入率(%)		注入量	数　量	備　考
		砂質土	粘性土	(m)	砂質土	粘性土	(L/本)	(本)	
二重管スト	溶液型	3.646	－	2.646	42.0	－	556	12(MN1)	注入比率
レーナーエ法	(無機系)	4.602	－	3.602	42.0	－	983	12(MN9)	瞬結材：緩結材
(複相式)		5.029	－	4.029	42.0	－	1,269	12(MN10)	=1:3(砂質土)
		4.368	－	3.368	42.0	－	849	12(MN17)	

2.注入設備の据付・解体N=3回を見込んでいる。

水路補強工

水路補強として下記のとおり見込んでいる。

材　料	規格	1工区	5工区
溝形鋼	SS400 8×200×90	0.364t	0.182t
コンクリートアンカー	M16 L=60	40本	20本
モルタル	高炉 1:3	3.9m3	1.3m3

水替工

本工事では、水替えについては見込んでいないが、必要となる場合は監督職員と協議すること。

交通管理工

交通誘導警備員については、配置場所等を監督職員と協議すること。なお、交通誘導警備員は、下記のとおり見込んでいる。

作業区分	交通誘導警備員の区分	人数	交替要員の有無	備考
夜間作業	交通誘導警備員A	170人	交替要員有り	1工区
	交通誘導警備員B	1530人	交替要員有り	
夜間作業	交通誘導警備員A	170人	交替要員有り	2工区
	交通誘導警備員B	1530人	交替要員有り	
夜間作業	交通誘導警備員A	200人	交替要員有り	3工区
	交通誘導警備員B	1800人	交替要員有り	
夜間作業	交通誘導警備員A	240人	交替要員有り	4工区
	交通誘導警備員B	2160人	交替要員有り	
夜間作業	交通誘導警備員A	160人	交替要員有り	5工区
	交通誘導警備員B	1440人	交替要員有り	

現場説明書追加事項

<table>
<tr><th>工　　種</th><th>種　　別</th><th>説　　明　　事　　項</th></tr>
<tr><td>電線共同溝工</td><td>管路工</td><td>施工に関しては、「電線共同溝マニュアル（案）（第３回改訂版）（中国地方整備局）」を参考にすること。</td></tr>
<tr><td>排水構造物工</td><td>作業土工</td><td>作業土工の床掘り土質については、土砂（レキ質土，砂・砂質土，粘性土）を見込んでいる。</td></tr>
<tr><td>構造物撤去工</td><td>構造物取壊し工</td><td>本工事の舗装切断時に発生する廃棄物の運搬費および処分費は見込んでいないが、監督職員と協議のうえ変更契約の対象とする。</td></tr>
<tr><td>応急処理工</td><td>応急処理作業工</td><td>応急処理工で使用する労務費・材料費・機械費を下記のとおり見込んでいる。
<table>
<tr><th></th><th>名　　称</th><th>規　　格</th><th>数量</th><th>備考</th></tr>
<tr><td>労務費(夜間)</td><td>土木一般世話役</td><td></td><td>7人</td><td></td></tr>
<tr><td></td><td>特殊作業員</td><td></td><td>7人</td><td></td></tr>
<tr><td></td><td>普通作業員</td><td></td><td>14人</td><td></td></tr>
<tr><td>材料費</td><td>ハンドホール鉄蓋</td><td>960×500</td><td>14個</td><td></td></tr>
<tr><td></td><td>特殊部首ブロック</td><td>H=255</td><td>14個</td><td></td></tr>
<tr><td>機械費</td><td>バックホウ</td><td>山積0.28m3
(平積0.2m3)</td><td>56時間</td><td></td></tr>
<tr><td></td><td>ダンプトラック</td><td>2t</td><td>56時間</td><td></td></tr>
</table>
</td></tr>
<tr><td></td><td>安全費</td><td>交通誘導警備員については、下記のとおり見込んでいる。
<table>
<tr><th>作業区分</th><th>交通誘導警備員の区分</th><th>人数</th><th>交替要員の有無</th><th>備考</th></tr>
<tr><td>夜間作業</td><td>交通誘導警備員A</td><td>14人</td><td>交替要員有り</td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="2"></td><td></td><td>100人</td><td>交替要員無し</td><td></td></tr>
<tr><td>交通誘導警備員B</td><td>14人</td><td>交替要員有り</td><td></td></tr>
</table>
</td></tr>
<tr><td>共通仮設</td><td>運搬費</td><td>仮設材運搬を下記のとおり往復見込んでいる。
<table>
<tr><th>工区</th><th>往復運搬質量</th><th>片道運搬距離</th><th>備考</th></tr>
<tr><td>1工区</td><td>80.0t</td><td>142.2km</td><td></td></tr>
<tr><td>2工区</td><td>176.7t</td><td>141.9km</td><td></td></tr>
<tr><td>3工区</td><td>186.4t</td><td>141.7km</td><td></td></tr>
<tr><td>4工区</td><td>78.6t</td><td>141.5km</td><td></td></tr>
<tr><td>5工区</td><td>194.7t</td><td>141.2km</td><td></td></tr>
<tr><td>合計</td><td>716.4t</td><td>150km以下</td><td></td></tr>
</table>
</td></tr>
<tr><td></td><td>準備費</td><td>下水道等の埋設物位置確認のための試掘については見込んでいないが、現地の状況により必要となる場合は、監督職員と協議すること。</td></tr>
<tr><td></td><td>事業損失防止施設費</td><td>薬液注入観測井戸を下記のとおり見込んでいる。なお、施工時間帯は夜間(20:00～6:00(内8時間労働))で見込んでいる。
<table>
<tr><th>施工箇所</th><th>機械ボーリング
φ86 砂質土 夜間施工</th><th>観測井戸設置</th></tr>
<tr><td>1工区(MN1)</td><td>4.6m</td><td>4.6m</td></tr>
<tr><td>3工区(MN9)</td><td>5.6m</td><td>5.6m</td></tr>
<tr><td>3工区(MN10)</td><td>6.0m</td><td>6.0m</td></tr>
</table>
</td></tr>
</table>

現場説明書追加事項

<table>
<tr><th>工　　種</th><th>種　　別</th><th>説　　明　　事　　項</th></tr>
<tr><td></td><td>技術管理費</td><td>
<table>
<tr><td>4工区(MN17)</td><td>5.4m</td><td>5.4m</td></tr>
</table>
1.道路施設基本データ作成費用を見込んでいる。
2.建設発生土の搬出のため土質試験が必要となる場合は、監督職員と協議すること。
3.特別な個別事情により紙の発注図またはCAD製図基準(案)に準拠していない電子データの発注図を受注者へ貸与し、工事完成図を電子成果品として作成する場合は、設計変更の対象とする。
</td></tr>
<tr><td>業務委託料</td><td>業務委託料</td><td>業務委託料は下記のとおり見込んでいる。
<table>
<tr><th></th><th>項　　目</th><th>数　量</th><th>備　　考</th></tr>
<tr><td rowspan="6">設計</td><td>設計業務（電線共同溝修正設計、交差点照明施設設計、標識設計）</td><td>１式</td><td rowspan="8">別紙－３　参照</td></tr>
<tr><td>家屋調査業務</td><td>１式</td></tr>
<tr><td>定期点検</td><td>１式</td></tr>
<tr><td>設計マネジメント費</td><td>１式</td></tr>
<tr><td>工事マネジメント費</td><td>１式</td></tr>
<tr><td>維持管理マネジメント費</td><td>１式</td></tr>
<tr><td>地質調査</td><td>水文調査業務</td><td>１式</td></tr>
</table>
</td></tr>
<tr><td>その他</td><td>建設リサイクル法に係る資材の分別解体、再資源化等</td><td>1.本工事は、建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律((平成12年法律第104号)。以下「建設リサイクル法」という。)に基づき、特定建設資材(コンクリート、コンクリート及び鉄からなる建設資材、木材及びアスファルトコンクリート)分別解体等及び再資源化等の実施について適正な措置を講ずることとする。
本工事における、建設リサイクル法に係る特定建設資材の分別解体等・再資源化等については、以下の積算条件を設定している。
なお、工事請負契約書「6　解体工事に要する費用等」に記載する事項は契約締結時に発注者と受注者の間で確認されるものであり、発注者が積算上条件明示した以下の事項と異なる場合においても設計変更の対象としない。ただし、工事発注後に明らかになった事情により、予定した条件により難い場合は監督職員と協議するものとする。
(1)分別解体等の方法
<table>
<tr><td rowspan="6">工程ごとの作業内容及び解体方法</td><th>工　　程</th><th>作業内容(注1)</th><th>分別解体等の方法(注2)</th></tr>
<tr><td>1.仮設</td><td>仮設工事
■有　□無</td><td>□手作業
□手作業･機械作業の併用</td></tr>
<tr><td>2.土工</td><td>土工事
■有　□無</td><td>□手作業
□手作業･機械作業の併用</td></tr>
<tr><td>3.基礎</td><td>基礎工事
□有　■無</td><td>□手作業
□手作業･機械作業の併用</td></tr>
<tr><td>4.本体構造</td><td>本体構造の工事
■有　□無</td><td>□手作業
□手作業･機械作業の併用</td></tr>
<tr><td>5.本体付属品</td><td>本体付属品の工事</td><td>□手作業</td></tr>
</table>
</td></tr>
</table>

現場説明書追加事項

工　種	種　別	説　明　事　項

			□有　■無	□手作業・機械作業の併用
		6.その他 (構造物撤去工、舗装版破砕工)	その他の工事 ■有　□無	□手作業 ■手作業・機械作業の併用

(注1)作業内容については、該当作業の有無であり、分別解体の有無でない。

(注2)分別解体等の方法については、該当がない場合は記述していない。

(2)再資源化等をする施設の名称及び所在地等

特定建設資材 廃棄物の種類	施設の名称 所在地	受　入　条　件　等
アスファルト	(有)鎌田組 浜山リサイクルセンター	(受入時間)平日　午後8時から翌日午前6時
	島根県出雲市松寄下町1965	(受入費用)平日の受入費用で見込んでいる。
1工区	片道平均運搬距離　L=56.1km	(受入条件)路盤材及び土砂の混入がないようにするとともに金属片等の異物を含まないこと。
2工区	片道平均運搬距離　L=55.9km	
3工区	片道平均運搬距離　L=55.7km	
4工区	片道平均運搬距離　L=55.5km	
5工区	片道平均運搬距離　L=55.2km	

(3)その他

上記(1)(2)は、積算条件を設定しているものの記載であるが、建設リサイクル法の特定建設資材には、準備工、仮設等(丁張、足場材、型枠材等)において発生する木材等の副次的に発生する資材も該当するので、建設リサイクル法に基づき適正に処理すること。

また、これらの資材について、当初契約時点で施工計画が未定の場合については、当初契約時の工事請負契約書記載事項、再生資源利用促進計画書 への記載は行わなくてもよいが、施工計画決定後においては関係書面への記載等適正に処理すること。

2.受注者は、特定建設資材の分別解体等・再資源化等が完了したときは、建設リサイクル法第18条に基づき、以下の事項を書面に記載し、監督職員に報告することとする。

なお、書面は土木工事共通仕様書1-1-1-18条6項及び「建設リサイクルガイドライン(平成14年5月)」に定めた様式1〔再生資源利用計画書(実施書)〕及び様式2〔再生資源利用促進計画書(実施書)〕を兼ねるものとする。

・再資源化等が完了した年月日

・再資源化等をした施設の名称及び所在地

・再資源化等に要した費用

3.落札者は、分別解体等の方法等を契約書に記載するために、落札決定後に発注担当課と協議を行うものとする。

4.本工事で発生する建設廃棄物のうち、島根県内の最終処分場に搬入する建設廃棄物については、産業廃棄物の処理に係る税(島根県産業廃棄物減量税)が課税されるので適正に処理すること。

なお、本工事では産業廃棄物の処理に係る税(島根県産業廃棄物減量税)相当額を見込んでいる。

現場説明書追加事項

<table>
<tr><th>工　　種</th><th>種　　別</th><th>説　　明　　事　　項</th></tr>
<tr><td></td><td>建設副産物の適正処理について</td><td>本工事で発生する建設発生土は、島根県安来市黒井田町に下記のとおり運搬するよう見込んでいる。
<table>
<tr><td></td><td>1工区</td><td>2工区</td><td>3工区</td><td>4工区</td><td>5工区</td></tr>
<tr><td>片道運搬距離</td><td>5.5km</td><td>5.3km</td><td>5.1km</td><td>4.8km</td><td>4.6km</td></tr>
</table></td></tr>
<tr><td></td><td>再生資源活用について</td><td>再生資源の利用
受注者は下記の資材の使用に際し、再生資材を利用するものとする。ただし、工事発注後に明らかになった事情により、予定した条件により難い場合は、監督職員と協議するものとする。
なお、使用に際してはプラント再生舗装技術指針、コンクリート副産物の再利用に関する用途別暫定品質基準(案)等を遵守するものとする。
<table>
<tr><th>資　材　名</th><th>規　　格</th><th>使　　用　　箇　　所</th></tr>
<tr><td rowspan="3">再生加熱アスファルト混合物</td><td>再生粗粒度アスファルトコンクリート・
骨材の最大粒径20mm</td><td>仮舗装(A)(B)の表層</td></tr>
<tr><td>再生アスファルト安定処理・
骨材の最大粒径30mm</td><td>車道舗装(A)の上層路盤</td></tr>
<tr><td>再生粗粒度改質Ⅰ型アスファルトコンクリート・
骨材の最大粒径20mm</td><td>車道舗装(A)の基層</td></tr>
<tr><td rowspan="2">再生クラッシャーラン</td><td>RC-30</td><td>歩道舗装(A)、仮舗装(A)の路盤</td></tr>
<tr><td>RC-40</td><td>構造物の基礎材、車道舗装(A)の下層路盤、歩道舗装(B)、仮舗装(B)の路盤</td></tr>
</table></td></tr>
<tr><td></td><td>施工地域</td><td>本工事の施工地域は、「市街地(DID補正)(1)」で見込んでいる。</td></tr>
<tr><td></td><td>工事の主たる部分</td><td>本工事において、工事請負契約書第6条の「主たる部分」は、電線共同溝工とする。</td></tr>
<tr><td></td><td>見積歩掛</td><td>「見積参考資料」と同様に配布する「歩掛見積(参考資料)」は、積算内容を示したもので、「見積参考資料」「積算用参考図」と同様に「設計図書」とはならない。よって、工事目的物を作成させるための一切の手段については、受注者の責任において定めるものとする。</td></tr>
<tr><td></td><td>快適トイレ設置に要する費用</td><td>設置に要する費用については、当初は計上していない。
受注者は、快適トイレの設置にあたっては、特記仕様書に示す１の内容を満たすことを示す書類を添付し、監督職員と協議の上、規格・基数等の詳細について決定することとし、変更時において、支出実態のわかる資料により監督職員と協議の上、上限45,000 円/基・月を設計変更の対象とする。
なお、設計変更数量の上限は、男女別で各１基ずつ２基／工事までとする。
また、運搬費は共通仮設費（率）に含むものとし、２基より多く設置する場合や積算上限額を超える費用については、現場環境改善費(率)を想定しており、別途計上は行わない。</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>以下余白</td></tr>
</table>

別紙 －1

色覚障害者に対する当面の対応

工事における対応

1. 対象施設等(工事規制等に必要な保安施設類)

工事用信号機、補助標識(任意)、電光表示等

2. 対応内容(補助標識、電光表示等に対する指導内容)

(1) 長波長の「赤」及び中波長の「緑」の単色を使用しないこと。
※(例) 背景色が黒の電光表示は、「オレンジ」が適切。

(2) 強調するために「赤」を使用したい場合は、短波長の「明るい朱」とすること。

(3) 多色を使用する場合は、色覚障害者等が誤認しやすい色の組合せを避けること。
※(誤認しやすい例)
赤と緑、緑と茶、オレンジと黄(黄緑)、青と紫、緑と灰色(黒)、ピンクと灰色(白)、
赤と黒、ピンクと青、灰色と水色、黄緑と黄土色、青緑と灰色、薄い緑と肌色　等

3. 対応内容(工事用信号機に対する指導内容)

(1) 1灯式は使用しないこと。(「保安施設設置基準」の参考図でも2灯式となっている。)

(2) 灯火の配列は、交通信号機と同様に、上を「赤信号」下を「青信号」とする。
※ メーカーの仕様等により「必須」との言及はできないが、当面は「原則(標準)」とする。

(3) 「赤信号」は短波長(主波長630ナノメートル以下)の「オレンジに近い赤」とし、「青信号」は「青みの強い緑」(主波長520ナノメートル付近)とすること。
※ メーカーの仕様等により「必須」との言及はできないが、当面は「原則(標準)」とする。

(4) (2)及び(3)が困難な場合は、文字表示を併用する等の対応により、信号区分を認識可能とするよう措置すること。

別紙-2

平成29年度　路上工事抑制期間

(1)対象区間	中国地方整備局全管理区間	
(2)対象期間	①ゴールデンウィークの期間	平成29年 4月29日(土)～平成29年 5月 7日(日)
	②夏季観光及び帰省ラッシュの期間	平成29年 8月11日(金)～平成29年 8月20日(日)
	③年末年始の期間	平成29年12月23日(土)～平成30年 1月 8日(月)
	④年度末の期間	平成30年 3月 1日(木)～平成30年 3月31日(土)

数 量 総 括 表

業 務 名　　安来ＰＦＩ事業電線共同溝設計業務

数量総括表

業務名	安来ＰＦＩ事業電線共同溝設計業務	業 種 項 目	設計業務 道路設計

項目・工種・種別・細別	規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量増減	摘要
道路設計		式		1		
交差点照明施設設計		式		1		
交差点照明施設詳細設計		式		1		
交差点照明施設詳細設計		箇所		8		
標識設計		式		1		
標識設計		式		1		
標識設計		式		1		
公開用成果品作成費用		式		1		
公開用成果品作成費用		式		1		
公開用成果品作成費用		式		1		
地下構造物設計		式		1		

数量総括表

業務名	安来ＰＦＩ事業電線共同溝設計業務					業 種 項 目	設計業務 地下構造物設計
項目・工種・種別・細別		規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量増減	摘要
電線共同溝修正設計			式		1		
電線共同溝修正設計			式		1		
電線共同溝修正設計			式		1		
共通			式		1		
共通（設計業務）			式		1		
打合せ等			式		1		
打合せ			式		1		
直接経費			式		1		
直接経費			式		1		
旅費交通費			式		1		
旅費交通費			式		1		打合せ(任意入力),直接往復費

数量総括表

業務名	安来ＰＦＩ事業電線共同溝設計業務	業 種 項 目	設計業務 直接経費

項目・工種・種別・細別	規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量増減	摘要
電子成果品作成費		式		1		
電子成果品作成費		式		1		
直接原価（その他原価除く）		式		1		
その他原価		式		1		
一般管理費等		式		1		
業務価格		式		1		
消費税相当額		式		1		
業務委託料		式		1		

数 量 総 括 表

業 務 名　　安来電線共同溝PFI事業　家屋調査

松江国道事務所　管理第二課

数量総括表

業務名	安来電線共同溝PFI事業　家屋調査	業 種 項 目	用地調査等業務 地盤変動影響調査等

項目・工種・種別・細別	規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量増減	摘要
地盤変動影響調査等		式		1		
現地踏査		式		1		
現地踏査		式		1		
現地踏査		業務		1		
事前調査		式		1		
建物等の調査		式		1		
木造建物Ａ	70m2以上130m2未満	棟		46		
事後調査		式		1		
建物等の調査		式		1		
木造建物Ａ	70m2以上130m2未満	棟		46		
打合せ協議		式		1		

数量総括表

業務名	安来電線共同溝PFI事業　家屋調査	業 種 項 目	用地調査等業務 地盤変動影響調査等

項目・工種・種別・細別	規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量増減	摘要
打合せ協議		式		1		
打合せ協議		業務		1		
旅費交通費		式		1		
旅費交通費		式		1		
旅費交通費		式		1		
直接原価（その他原価除く）		式		1		
その他原価		式		1		
一般管理費等		式		1		
業務価格		式		1		
消費税相当額		式		1		
業務委託料		式		1		

数 量 総 括 表

業 務 名　　安来ＰＦＩ事業電線共同溝点検業務

松江国道事務所　管理第二課

数量総括表

業務名	安来ＰＦＩ事業電線共同溝点検業務	業 種 項 目	設計業務 道路施設点検

項目・工種・種別・細別	規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量増減	摘要
道路施設点検		式		1		
地盤変動影響調査		式		1		
計画準備		式		1		
計画準備		(km)式		(1　　)1		
定期点検		式		1		
鉄蓋に関する点検		箇所		26		
定期点検		式		1		
ハンドホールに関する点検		箇所		26		
信頼性の評価		式		1		
信頼性の評価		箇所		26		
点検記録表の作成		式		1		

数量総括表

業務名	安来ＰＦＩ事業電線共同溝点検業務					業 種 項 目	設計業務 道路施設点検
項目・工種・種別・細別		規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量増減	摘要
点検記録表の作成			箇所		26		
報告書作成			式		1		
報告書作成			式		1		
公開用成果品作成費			式		1		
公開用成果品作成費			式		1		
共通			式		1		
共通（調査・計画業務）			式		1		
打合せ等			式		1		
打合せ			式		1		
直接経費			式		1		
直接経費			式		1		

数量総括表

業務名	安来ＰＦＩ事業電線共同溝点検業務				業 種 項 目	設計業務 直接経費
項目・工種・種別・細別	規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量増減	摘要
旅費交通費		式		1		
旅費交通費		式		1		打合せ(任意入力),直接往復費
電子成果品作成費		式		1		
電子成果品作成費		式		1		
直接原価（その他原価除く）		式		1		
その他原価		式		1		
一般管理費等		式		1		
業務価格		式		1		
消費税相当額		式		1		
業務委託料		式		1		

数 量 総 括 表

業 務 名　　安来ＰＦＩ事業電線共同溝設計業務

数量総括表

業務名	安来ＰＦＩ事業電線共同溝設計業務	業 種 項 目	設計業務 道路設計

項目・工種・種別・細別	規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量増減	摘要
道路設計		式		1		
地下構造物設計		式		1		
設計マネジメント		式		1		
設計マネジメント		式		1		
設計マネジメント		月		24		
共通		式		1		
往復旅行時間にかかる直接人件費		式		1		
直接経費		式		1		
直接原価（その他原価除く）		式		1		
その他原価		式		1		
一般管理費等		式		1		

数量総括表

業務名	安来ＰＦＩ事業電線共同溝設計業務	業 種 項 目	設計業務 業務価格

項目・工種・種別・細別	規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量増減	摘要
業務価格		式		1		
消費税相当額		式		1		
業務委託料		式		1		

数 量 総 括 表

業 務 名　　安来ＰＦＩ事業電線共同溝設計業務

数量総括表

業務名	安来ＰＦＩ事業電線共同溝設計業務	業 種 項 目	設計業務 道路設計

項目・工種・種別・細別	規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量増減	摘要
道路設計		式		1		
地下構造物設計		式		1		
工事マネジメント		式		1		
工事マネジメント		式		1		
工事マネジメント		日/月		60		
共通		式		1		
往復旅行時間にかかる直接人件費		式		1		
直接経費		式		1		
直接原価（その他原価除く）		式		1		
その他原価		式		1		
一般管理費等		式		1		

数量総括表

業務名	安来ＰＦＩ事業電線共同溝設計業務	業 種 項 目	設計業務 業務価格

項目・工種・種別・細別	規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量増減	摘要
業務価格		式		1		
消費税相当額		式		1		
業務委託料		式		1		

数 量 総 括 表

業 務 名　　安来ＰＦＩ事業電線共同溝設計業務

数量総括表

業務名	安来ＰＦＩ事業電線共同溝設計業務	業 種 項 目	設計業務 道路設計

項目・工種・種別・細別	規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量増減	摘要
道路設計		式		1		
地下構造物設計		式		1		
維持管理マネジメント		式		1		
維持管理マネジメント		式		1		
維持管理マネジメント		月		84		
共通		式		1		
往復旅行時間にかかる直接人件費		式		1		
直接経費		式		1		
直接原価（その他原価除く）		式		1		
その他原価		式		1		
一般管理費等		式		1		

数量総括表

業務名	安来ＰＦＩ事業電線共同溝設計業務	業 種 項 目	設計業務 業務価格

項目・工種・種別・細別	規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量増減	摘要
業務価格		式		1		
消費税相当額		式		1		
業務委託料		式		1		

数 量 総 括 表

業 務 名　　安来ＰＦＩ事業水文調査業務

松江国道事務所　工務課

数量総括表

業務名	安来ＰＦＩ事業水文調査業務				業 種 項 目	地質調査 一般調査
項目・工種・種別・細別	規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量増減	摘要
一般調査		式		1		
直接調査費		式		1		
計画準備		式		1		
計画準備		式		1		
現地踏査		式		1		
現地踏査		式		1		
気象資料収集		式		1		
気象資料収集		式		1		
水文調査		式		1		
自記水位計設置		箇所		8		
自記水位計撤去		箇所		8		

数量総括表

業務名	安来ＰＦＩ事業水文調査業務					業 種 項 目	地質調査 一般調査
項目・工種・種別・細別		規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量増減	摘要
水位観測			箇所・回		288		
水質調査			式		1		
現地水質試験			箇所・回		288		
検体採水			箇所・回		48		
報告書作成			式		1		
報告書作成			式		1		
電子成果品作成費			式		1		
電子成果品作成費			式		1		
打合せ			式		1		
打合せ			式		1		
公開用成果品作成			式		1		

数量総括表

業務名	安来ＰＦＩ事業水文調査業務					業 種 項 目	地質調査 一般調査
項目・工種・種別・細別		規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量増減	摘要
公開用成果品作成			式		1		
公開用成果品作成			式		1		
間接調査費			式		1		
旅費交通費			式		1		
旅費交通費			式		1		打合せ（任意入力）,直接往復費
業務管理費			式		1		
水質試験費			式		1		
農業用水基準			回		48		
直接調査費＋間接調査費			式		1		
間接費			式		1		
諸経費			式		1		

数量総括表

業務名	安来ＰＦＩ事業水文調査業務					業 種 項 目	地質調査 一般調査業務費
項目・工種・種別・細別		規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量増減	摘要
一般調査業務費			式		1		
消費税相当額			式		1		
地質調査業務費			式		1		

特記仕様書

安来電線共同溝PFI事業　　特記仕様書

第1条　本工事の施工にあたっては、「国土交通省　土木工事共通仕様書　（案）　平成29年3月」並びに「中国地方整備局　土木工事共通仕様書　平成29年度版」に基づき実施しなければならない。

第2条　土木工事共通仕様書に対する特記及び追加仕様事項は、下記のとおりとする。

<table>
<tr><th>編</th><th>章</th><th>節</th><th>条</th><th>見　出　し</th><th>項</th><th>特 記 及 び 追 加 仕 様 事 項</th></tr>
<tr><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>1-1-1-4</td><td>施工計画書</td><td>追加</td><td>本工事の施工に当たり、設計図書の読み間違えや測量の間違いを防止するための体制を施工計画書に記載するものとし、施工計画に従い履行するものとする。</td></tr>
<tr><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>1-1-1-30</td><td>環境対策(グリーン購入法)</td><td>追加</td><td>グリーン購入法に基づく特定調達品目について、使用箇所等が決定している品目は下記のとおりとする。
<table>
<tr><th rowspan="2">分　類</th><th colspan="2">品　目　名</th><th rowspan="2">使用箇所</th></tr>
<tr><th>(品目分類)</th><th>(品目名)</th></tr>
<tr><td>資　材</td><td>アスファルト混合物</td><td>再生加熱アスファルト混合物</td><td>車道舗装(A)の上層路盤・基層</td></tr>
<tr><td></td><td>路盤材</td><td>再生骨材等</td><td>車道舗装(A)の下層路盤
歩道舗装(A)(B)の路盤
構造物の基礎材</td></tr>
<tr><td></td><td>混合セメント</td><td>高炉セメント</td><td>鉄筋構造物</td></tr>
<tr><td>建　設
機　械</td><td>－</td><td>排出ガス対策型建設機械</td><td>「建設機械に関する技術指針」による</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>低騒音型建設機械</td><td>「建設工事に伴う騒音振動対策技術指針」による</td></tr>
<tr><td>目的物</td><td>高機能舗装</td><td>排水性舗装</td><td>車道舗装(A)の表層</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>透水性舗装</td><td>歩道舗装(A)、(B)の表層</td></tr>
</table></td></tr>
<tr><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>1-1-1-32</td><td>交通安全管理</td><td>追加</td><td>本工事の交通誘導警備員については、交通誘導に関し専門的知識及び技能を有する警備員等を配置するものとし、その資格区分等を下記に示す。なお、施工計画書に交通誘導警備員の資格要件を確認できる資料を添付すること。
<table>
<tr><th>資格区分</th><th>資格要件</th><th>交通誘導警備員の区分</th></tr>
<tr><td>交通誘導警備1・2級
検定合格者</td><td>・警備業法第23条の1に定める検定(交通誘導警備)に合格したもの</td><td>交通誘導警備員A</td></tr>
<tr><td>交通誘導に関し専門的な知識及び技能を有する警備員等</td><td>・警備業法における基本教育及び業務別教育(警備法第二条第一項第二号の警備業務)を受けているもの
・警備業法における指定講習を受講したもの</td><td>交通誘導警備員B</td></tr>
</table></td></tr>
<tr><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>追加</td><td>建設リサイクル法第１１条通知完了連絡書の送付</td><td></td><td>受注者は、「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」(平成12年5月31日法律第104号)第11条に基づく、島根県知事(松江市長、出雲市長)に対する通知を行った旨の書面(別紙-1)を監督職員より受領した後に、工事着手（建設リサイクル法第10条第1項に規定する工事着手をいう。)するものとする。なお、これによりがたい場合は監督職員と協議の上決定するものとする。</td></tr>
<tr><td>1</td><td>3</td><td>3</td><td>1-3-3-1</td><td>一般事項(レディーミクストコンクリート)</td><td>追加</td><td>本工事で使用する2号コンクリートのスランプについては12cmと読み替えるものとする。
なお、施工にあたっては、「流動性を高めた現場打ちコンクリートの活用に関するガイドライン」を基本とし、構造物の種類、部材</td></tr>
</table>

編	章	節	条	見　出　し	項	特 記 及 び 追 加 仕 様 事 項
						の種類と大きさ、鋼材の配筋条件、コンクリートの運搬、打込み、締固め等の作業条件を適切に考慮し、スランプ値の変更が必要な場合は協議すること。
1	追加			工期		工期は、雨天・休日等503日を見込み設定している。なお、休日等には、日曜日・祝日、夏季休暇及び年末年始休暇の他、作業期間内の全土曜日を含んでいる。
1	追加			週休2日の試行		本工事は、週休2日の試行対象工事(受注者希望型)である。 受注者は、週休2日を行う希望がある場合は、契約後、施工計画書の提出までに発注者と協議すること。 【週休2日の考え方】 週休2日とは、工期内において、週休2日相当の現場閉所を行うことをいう。 なお、受・発注者間において、工程を共有し、週休2日が確保されるよう工程管理を行うこと。 試行実施の中で、週休2日を導入するにあたっての問題点、課題等を抽出･整理することを目的にアンケート調査等を実施するので協力すること。 工事途中に週休2日が困難となった場合は、速やかに監督職員へ申し出ること。なお、その場合のペナルティーはない。
1	追加			工事工程の共有		受注者は、工事着手前(準備期間内)に設計図書等を踏まえた工事工程表(クリティカルパスを含む)を作成し、監督職員と共有すること。工程に影響する事項がある場合は、その事項の処理対応者(「発注者」又は「受注者」)を明確にすること。 施工中に工事工程表のクリティカルパスに変更が生じた場合は、適切に受発注者間で共有することとし、工程の変更理由が以下の①～⑤に示すような受注者の責によらない場合は、工期の延長が可能となる場合があるので協議すること。 ①受発注者間で協議した工事工程の条件に変更が生じた場合 ②著しい悪天候により作業不稼働日が多く発生した場合 ③工事中止や工事一部中止により全体工程に影響が生じた場合 ④資機材や労働需要のひっ迫により、全体工程に影響が生じた場合 ⑤その他特別な事情により全体工程に影響が生じた場合
3	1	1	3-1-1-2	総価契約単価合意方式について	追加	(目的) 1.本工事は、請負代金額の変更があった場合における変更金額や部分払金額の算定を行う際に用いる単価等をあらかじめ協議し、合意しておくことにより、設計変更や部分払に伴う協議の円滑化に資することを目的として実施する総価契約単価合意方式の対象工事である。 (共通仕様書　第3編　3-1-1-2の適用) 2.請負代金内訳書の提出を求める場合、共通仕様書　第3編　3-1-1-2第2項、第6項及び第7項に係る規定は適用しないものとする。 受注者は、契約書第3条第1項の規定に基づき請負代金内訳書(以下「内訳書」という。)を発注者に提出した後に、当該工事の工事費構成書の提示を求めることができるものとする。 (合意単価の公表) 3.発注者・受注者間で作成の上合意した単価合意書は、公表するものとする。

<table>
<tr><th>編</th><th>章</th><th>節</th><th>条</th><th>見　出　し</th><th>項</th><th>特 記 及 び 追 加 仕 様 事 項</th></tr>
<tr><td>3</td><td>1</td><td>1</td><td>3-1-1-9</td><td>工事完成図書の納品</td><td>4

5</td><td>追加
受注者は、完成検査時に電子成果品とチェックリストを検査職員に提示し、確認を受け、引き渡しを行う。
本工事は、道路工事完成図等作成のうち道路施設基本データ作成の対象工事である。</td></tr>
<tr><td>3</td><td>2</td><td>3</td><td>3-2-3-29</td><td>側溝工</td><td>追加</td><td>1.本工事で使用する縁石管渠A1,A2,B,C,D(L),D(R),縁石管渠桝A,Bについては、ライン導水ブロックーF型（NETIS登録番号：KK-020004-VE）によるものとする。
2.本工事で使用する自由勾配側溝、自由勾配側溝蓋については、スラッと側溝（NETIS登録番号：CG-160006-A）によるものとする。</td></tr>
<tr><td>3</td><td>2</td><td>6</td><td>3-2-6-2</td><td>アスファルト舗装の材料</td><td>追加</td><td>1.本工事で使用する再生粗粒度アスファルト合材（改質I型）のマーシャル試験に対する基準値は、下記のとおりとする。
<table>
<tr><th>種　　別</th><th>突固め回数</th><th>安定度（KN）</th><th>フロー値（1/100cm）</th><th>空隙率（%）</th><th>飽和度（%）</th></tr>
<tr><td>再生粗粒度As改質I型</td><td>75回</td><td>7.35以上</td><td>20～40</td><td>3～7</td><td>65～85</td></tr>
</table>
ただし、安定度/フロー値は、2,000～4,900kN/mの範囲であること。
2.本線に使用する再生粗粒度アスファルト合材（改質I型）の目標塑性変形輪数値は、3000回/mm以上とする。
3.基層(中間層)において、改質アスファルトを使用する再生加熱アスファルト混合物は、再生骨材の配合率を10%以下とする。</td></tr>
<tr><td>3</td><td>2</td><td>9</td><td>3-2-9-3</td><td>舗装版取壊し</td><td>2
追加</td><td>舗装切断作業に伴い、切断機械から発生する排水については、排水吸引機能を有する切断機械等により回収するものとする。
回収された排水については、関係機関等と協議の上、適正に処理するものとし、必要と認められる経費については変更契約できるものとする。
「適正に処理する」には、「廃棄物処理及び清掃に関する法律」に基づき、産業廃棄物の排出事業者（請負業者）が産業廃棄物の処理を委託する際、適正処理のために必要な廃棄物情報（成分性状等）を処理業者に提供することが必要である。
なお、受注者は、排水の処理に係る産業廃棄物管理票（マニフェスト）について、監督職員から請求があった場合は提示しなければならない。</td></tr>
<tr><td>10</td><td>2</td><td>4</td><td>10-2-4-7</td><td>排水性舗装工</td><td>追加</td><td>本線に使用する排水性アスファルト合材の目標塑性変形輪数値は、3000回/mm以上とする。</td></tr>
<tr><td>10</td><td>2</td><td>4</td><td>10-2-4-8</td><td>透水性舗装工</td><td>追加</td><td>本工事で使用する透水性舗装の配合等は下記の条件を満足するものとし、事前に監督職員に配合表を提出し承諾を得ること。
1)使用する加熱アスファルト混合物は、ストレートアスファルトをバインダーに使用した開粒度アスファルト混合物(13)を標準とし、別紙-2に示す規格に適合するものとする。
2)使用するフィルター層の材料は下記に示す規格に適合するものとする。
適度な透水性を保有し、シルトや粘土が少ない川砂・山砂・海砂・採砂・および再生砂等を使用すること
フィルター層用材料(砂)の粒度
<table>
<tr><th>項　　目</th><th>規格値</th></tr>
<tr><td>75μmふるい通過量</td><td>6%以下</td></tr>
</table>
本工事で使用する透水性舗装の配合は以下のとおりとする。なお、色合いについては監督職員の承諾を得ること。
<table>
<tr><th>材料</th><th>配合(%)</th></tr>
<tr><td>6号砕石</td><td>75</td></tr>
<tr><td>粗目砂</td><td>20</td></tr>
</table></td></tr>
</table>

編	章	節	条	見出し	項	特記及び追加仕様事項
						弁柄　5
10	12	5	10-12-5-2	管路工(管路部)	追加	1.本工事の管路部に使用する管路材は、下記の製品とする。また、JIS認定工場で製作された製品相当とし、社内規格等に合格した製品とする。

区分	管路材	備考
電力	電力用耐衝撃性硬質塩化ビニル管(HIVP)	
通信用	NTT仕様硬質塩化ビニル管(PV及びVP)	
通信用	硬質塩化ビニル管(PV及びVP)	
道路管理者	硬質塩化ビニル管(PV)	
電力予備管	電力用耐衝撃性硬質塩化ビニル管(HIVP)	
通信予備管	ＮＴＴ仕様硬質塩化ビニル管(PV)	
道路管理者予備管	硬質塩化ビニル管(PV)	

2.管路の布設終了後に、(埋設管路では埋設後に、露出・添架配管では管路設置後に)、別紙-3「電線共同溝管路試験要領(案)」に基づき通過試験を行うこと。なお、工事完了後に試験結果を監督職員へ提出すること。

10	12	5	10-12-5-3	プレキャストボックスエ(特殊部)	追加	プレキャストボックスエに使用する鉄蓋は、下記の製品と同等以上の製品とし、使用にあたっては監督職員の承諾を得ること。 ハンドホール鉄蓋(鍵付き)・・・500×960,T-25,i=0.4 ハンドホール鉄蓋(鍵付き)・・・500×960,T-25,i=0.1
10	13	3	10-13-3-4	管路工(管路部)	追加	1.本工事で使用する管路材は、下記のとおりとする。 情報ボックス本体管は、以下の品質を満足するものとし、使用にあたっては、監督職員の承諾を得ること。

項目	品質	
安全性	完成時及び施工時において本体構造が安全であること。	
	照査項目	管体曲げ応力・管体たわみ率
	許容値	曲げ応力は、管材により許容値が異なるので、公的機関によって認められた値を用いること。 (参考-1)許容たわみ率は、完成時 1.0%程度、施工時 5.0%とする。
機能性	車道部においては、繰り返し自動車荷重に対して舗装の路面　性状に影響を与えないこと。	
	適用基準	「浅層埋設技術検討結果」(H11.3.31本省事務連絡別添資料)の検討項目に準じる。
	照査項目	舗装のたわみ量、わだち掘れ量、ひび割れ、段差
	許容値	舗装設計期間(10年)における影響評価
		「浅層埋設技術検討」で検討対象になった管種、管径以外のものについては、検討結果を参照に同等の試験を行い検証するか、あるいは同等以上の機能を有することを示すものとする。但し、完
	備　考	成時のたわみ率 1.0%程度であれば、必ずしも上記検討に準じた試験を行わなくてもよいこととする。

編	章	節	条	見 出 し	項	特 記 及 び 追 加 仕 様 事 項		
								検討対象管種(管径) : 硬質塩化ビニール管(φ300) 強化プラスチック複合管(φ300)
						水密性	管路の継手部において水密性が確保できること。	
							適用基準	下水道基準(JSWAS K-1)
							照査項目	加圧を行い、一定時間止水できるかを照査
							許 容 値	内負圧0.078Mpa(0.8kgf/cm2)一分間上記基準と同等かそれ以上の試験により品質を確認するものとする。
						耐久性	経年変化による劣化がないこと。(耐薬品性)	
							適用基準	JIS K 6741に規定される耐薬品性
							照査項目	試験薬に浸せきして質量変化率を測定する。
							許容値	各試験液に関して±0.2mg/cm㎡以下
							繰り返し自動車荷重	
							適用基準	「浅層埋設技術検討結果」(H11.3.31本省事務連絡別添資料)の検討項目に準じる。
							照査項目	埋設管路の終局及び疲労限界状態を照査
							許容値	管路の耐用年数(50年)における影響評価
								「浅層埋設技術検討」で検討対象になった管種、管径以外のものについては、検討結果を参照に同等の検証方法により同等以上の機能を有することを示すこと。 検討対象管種(管径) : 硬質塩化ビニール管(φ300)
							備 考	強化プラスチック複合管(φ300) 終局限界状態では、終局設計荷重に対して、管路材に働く最大応力が終局設計強度以下になることを照査する。疲労限界状態では、疲労応力範囲が疲労許容応力の範囲以下になることを照査する。
						耐震性	管路の継手部において突出、ズレ等に対応できる構造であること。	
							適用基準	下水道施設の耐震対策指針と解説((社)日本下水道協会1997版)
							照査項目	屈曲角、抜出し量
							許 容 値	許容曲げ角度 : 1.0度 抜出し余裕量 : 7.7cm(管長5m)　6.2cm(管長4m)
							備 考	兵庫県南部地震による管路被害を鑑み、「下水道施設の耐震対策指針」に準拠した品質を有することを規定した。管と管の継手部については、抜き出しによる離脱を防止するため、差込長の
								長尺化を図るとともに、曲げが生じても継手部で屈曲可能な構造とする。
						参考 - 1)　各種管材の許容曲げ応力値　(単位Ｎ／mm2)		

<table>
<tr><th>編</th><th>章</th><th>節</th><th>条</th><th>見　出　し</th><th>項</th><th>特 記 及 び 追 加 仕 様 事 項</th></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>
<table>
<tr><td>管材</td><td>許容曲げ応力</td><td>出典</td></tr>
<tr><td>硬質塩化ビニール管</td><td>17.7(26.5)</td><td>カルバート工指針</td></tr>
<tr><td>軽量高剛性配水管</td><td>17.7(26.5)</td><td>下水道協会規格</td></tr>
<tr><td>ＴＡＣ情報外管</td><td>60.3(90.4)</td><td>化学品検査協会規格</td></tr>
<tr><td>カナパイプＢＤ管</td><td>62.7(94.0)</td><td>土研センター認定規格</td></tr>
<tr><td>強化プラスチック複合管</td><td>13.1(19.7)</td><td>カルバート工指針</td></tr>
<tr><td>ポリテクト外管</td><td>9.8(14.7)</td><td>協会規格</td></tr>
<tr><td>ＤＭＤボディ管ＤＦ管</td><td>9.8(14.7)</td><td>協会規格</td></tr>
</table>
2.本工事で使用する埋設標識シート(W300×2倍)については、情報ボックスの埋設位置を示す為、路盤下に敷設すること。
3.埋設管路・露出管路に使用するポリエチレン被覆軽量鋼管(MCCP管)の使用にあたっては監督職員の承諾を得ること。
4.管路の布設終了後に、（埋設管路では埋設後に、露出・添架配管では管路設置後）に、別紙-3「電線共同溝管路試験要領（案）」に基づき通過試験を行うこと。なお、工事完了後に試験結果を監督職員へ提出すること。
</td></tr>
<tr><td>10</td><td>13</td><td>4</td><td>10-13-4-2</td><td>ハンドホールエ</td><td>追加</td><td>1.本工事で使用するハンドホールは別紙図面の設計条件を満たす製品とし、使用にあたっては監督職員の承諾を得ること。なお、設計条件については監督職員と協議すること。
2.本工事で使用するハンドホール鉄蓋の設計条件は、下記のとおりとする。
設計条件
<table>
<tr><th colspan="2">施工場所</th><th>活荷重</th><th>衝撃係数</th></tr>
<tr><td>歩道部</td><td>沿道開発有</td><td>T-25</td><td>i=0.1</td></tr>
<tr><td>車道部</td><td>沿道開発有</td><td>T-25</td><td>i=0.4</td></tr>
</table>
</td></tr>
<tr><td>追加</td><td></td><td></td><td></td><td>プレキャスト製品</td><td></td><td>プレキャスト製品を使用する場合は、下記の製品とし、使用にあたっては監督職員の承諾を得ること。
<table>
<tr><th>名　　称</th><th>規　　格</th><th>製　品　名</th><th>備　　考</th></tr>
<tr><td>プレキャスト側溝</td><td>自由勾配側溝</td><td>自由勾配側溝(B300-H1400)</td><td></td></tr>
<tr><td>プレキャスト管渠</td><td>CP-PH</td><td>プレキャスト管渠(一体型)</td><td>重圧管</td></tr>
<tr><td>歩車道境界ブロック</td><td>縁石工A、縁石工D(L)、縁石工D(R)</td><td>歩車道境界ブロック</td><td>C種 両面R</td></tr>
</table>
</td></tr>
<tr><td>追加</td><td></td><td></td><td></td><td>工事監督におけるワンデーレスポンスについて</td><td></td><td>1.この工事はワンデーレスポンス実施対象工事である。
・「ワンデーレスポンス」とは
発注者は、受注者からの協議等に対する指示、通知は、基本的に「その日のうち」に回答するよう対応する。
ただし、「その日のうち」の回答が困難な場合は、いつまでに回答が必要なのかを受注者と調整のうえ、回答日を通知するなど、何らかの回答を「その日のうち」にすることである。
2.受注者は、施工計画に基づいて適正な計画工程を作成し、工事の先々を予見しながら施工するものとする。
3.受注者は工事施工中において、問題が発生した場合及び計画工程と実施工程を比較照査し、差異が生じる恐れがある場合は、原因</td></tr>
</table>

編	章	節	条	見 出 し	項	特 記 及 び 追 加 仕 様 事 項
						を究明するとともに速やかに文書にて監督職員へ報告することとする。
追加				三者会議		本工事は、必要に応じて「三者会議」を実施する対象工事とすることができる。 「三者会議」は、発注者が主体となって、工事を設計したコンサルタント及び工事施工業者が参加し、施工計画の内容が、技術力活用による品質向上・ライフサイクルコストの縮減、工事工期の短縮等に考慮し、総合的なコスト縮減や品質確保の観点で作成されているかのチェック及び施工後の効果の検証を行うものである。 「三者会議」を実施する対象工事とすることを希望する場合は、監督職員と協議するものとする。
追加				新技術・新工法について		1.本工事については、新しい技術の活用を図るため｢公共工事等の新技術活用システム｣による「発注者指定型」として、新技術の活用を行うものとする。 2.新技術の活用を実施する技術は、下記の技術とする。 技術名：ライン導水ブロック（NETIS登録番号KK-020004-VE） 技術名：スラッと側溝（NETIS登録番号CG-160006-A） 3.新技術の活用の実施に伴い、現地の状況等により変更等が生じる場合は、発注者と受注者とが協議するものとし、契約変更の対象とする。 4.活用調査として、別途発注者側より提示する資料により下記の調査を実施し、新技術の活用終了後速やかに監督職員に提出するものとする。 ・活用効果調査 5. 本技術の活用調査結果については、発注者の許可なく公表してはならない。
追加				施工計画について		受注者は、代替技術提案書において提出した施工計画に記載した内容については、工事着手前に提出する施工計画書へ記載すること。
追加				契約後VEについて		1.定義 「契約後VE提案」とは、契約書第19条の2の規定に基づき、設計図書に定める工事目的物の機能、性能等を低下させることなく請負代金額の低減を可能とする施工方法等に係る設計図書の変更について、受注者が発注者に行う提案をいう。 2.契約後VE提案の範囲 契約後VE提案を求める範囲は、設計図書に定められている内容のうち以下の提案を除くものを対象として、請負代金額の低減を伴うものとする。 1)施工方法等を除く工期の延期等の施工条件の変更を伴う提案。 2)工事請負契約書第18条(条件変更等)に規定された条件変更等に該当する事実との関係が認められる提案。 3)提案の実施に当たり、関係機関協議等、第三者との調整等を要する提案。 3.契約後VE提案書の提出 (1)受注者は、前項の契約後VE提案を行う場合は、次に掲げる事項をVE提案書に記載し、発注者に提出しなければならない。 1)設計図書に定める内容と、契約後VE提案の内容の対比及び提案理由

編	章	節	条	見 出 し	項	特 記 及 び 追 加 仕 様 事 項
						2)契約後VE提案の実施方法に関する事項(当該提案に係る施工上の条件等を含む) 3)契約後VE提案が採用された場合の、工事代金額の概算低減額及び算出根拠 4)発注者が別途発注する関連工事との関係 5)工業所有権等の排他的権利を含む契約後VE提案である場合、その取り扱いに関する事項 6)その他、契約後VE提案が採用された場合に留意すべき事項 (2)発注者は、提出された契約後VE提案書に関する追加的な資料、図書その他の書類の提出を受注者に求めることができる。 (3)受注者は、前項の契約後VE提案を契約の締結日より、当該契約後VE提案に係る部分の工事に着手する35日前までに、発注者に提出できるものとする。 (4)契約後VE提案の提出費は、受注者の負担とする。 4.契約後VE提案の審査 契約後VE提案の審査にあたっては、施工の確実性、安全性が確保され、かつ、設計図書に定める工事の目的物と比較し、機能、性能等が同等以上で経済性が優位であると判断される物について評価する。 5.契約後VE提案の採否(評定)等 (1)発注者は、契約後VE提案の採否については、原則として、契約後VE提案の受領後14日以内に受注者に書面により通知するものとする。ただし、受注者の同意を得た上でこの期限を延長することができるものとする。 (2)また、提出された契約後VE提案が適正と認められなかった場合の前項の通知は、その理由を付して行うものとする。 (3)発注者は、契約後VE提案による設計図書の変更を行う場合は、契約書第19条の2の規定に基づくものとする。 (4)発注者は、契約後VE提案による設計図書の変更を行う場合は、契約書第24条の規定により請負代金額の変更を行うものとする。 (5)事項の変更を行う場合においては、契約後VE提案により請負代金額が低減すると見込まれる額の10分の5に相当する金額(以下「VE管理費」という)を削減しないものとする。 (6)契約後VE提案を採用した後、工事請負契約書第18条の条件変更が生じた場合、前記(5)のVE管理費については、原則として変更しないものとする。ただし、双方の責めに帰することができない事由(不可抗力や予測することが不可能な事由等)により、工事の続行が不可能、または著しく工事低減額が減少した場合においては、双方協議して定めるものとする。 6.契約後VE提案の活用と保護 契約後VE提案の採否(評定)の結果、当該契約後VE提案の活用が効果的と認められた場合は、他の工事においても積極的に活用を図るものとする。ただし、その場合、工業所有権等の排他的権利を有する提案については、当該権利の保護に留意するものとする。 7.責任の所在 発注者が契約後VE提案を適正と認め採用し、設計図書の変更を行った場合においても、契約後VE提案を行った受注者の責任が否定されるものではない。
追加				通信等設備事故防止計画について		本工事は、情報ボックス(電線共同溝、道路管理用光ファイバーケーブル)の近接工事であるため、施工計画書に通信等設備事故防止計画を定め発注者に提出すること。

<table>
<tr><th>編</th><th>章</th><th>節</th><th>条</th><th>見　出　し</th><th>項</th><th>特 記 及 び 追 加 仕 様 事 項</th></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>なお、通信等設備事故防止計画には下記事項を記載するものとする。
・設備事故防止管理者
・埋設箇所の確認方法
・近接部の工事施工方法(仮設計画含む)
・作業上の留意事項及び作業員への周知方法
・事故発生時の連絡体制及び即応体制
・その他必要な事項
また、試掘が必要な場合は、監督職員と協議し立会を求め実施すること。</td></tr>
<tr><td>追加</td><td></td><td></td><td></td><td>遠隔地からの建設資材調達にかかる設計変更について</td><td></td><td>(1)変更対象項目
下表の建設資材については、以下の購入・調達地域等から購入または調達することを想定しているが、受注者において、ひっ迫による影響から安定的な確保を図るために、当該地域等以外から購入・調達せざるを得ないことが想定される場合には、下表の項目にかかる輸送費や購入費用について設計変更出来るものとする。
なお、ひっ迫が予想される建設資材は下表を考えているが、その他、想定される資材がある場合は監督職員に事前に報告するものとする。
表－建設資材の購入・調達地域等
<table>
<tr><th>建設資材名称</th><th>規　格</th><th>購入・調達
地域等</th></tr>
<tr><td colspan="3">■資材</td></tr>
<tr><td rowspan="3">骨材</td><td>再生クラッシャーラン RC-40</td><td rowspan="10">安来地区</td></tr>
<tr><td>再生クラッシャーラン RC-30</td></tr>
<tr><td>粒度調整砕石 M-40</td></tr>
<tr><td>砂</td><td>クッション用</td></tr>
<tr><td rowspan="4">アスファルト合材</td><td>再生As安定処理(30)</td></tr>
<tr><td>再生粗粒度アスファルト混合物ポリマー改質I型(20)</td></tr>
<tr><td>ポーラスアスファルト混合物(13)</td></tr>
<tr><td>透水性アスファルト混合物(13)</td></tr>
<tr><td rowspan="2">生コンクリート</td><td>18-8-40(高炉)</td></tr>
<tr><td>24-12-25(20)(高炉)</td></tr>
<tr><td colspan="3">■仮設材</td></tr>
<tr><td>仮設材</td><td>覆工板・覆工板受桁、鋼矢板Ⅲ型、軽量鋼矢板LSP-2・LSP-3、切梁・腹起</td><td>広島県安芸高田市</td></tr>
</table>
(2)提出資料等</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th>編</th><th>章</th><th>節</th><th>条</th><th>見　出　し</th><th>項</th><th>特 記 及 び 追 加 仕 様 事 項</th></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>受注者は、遠隔地からの建設資材の調達等にかかる設計変更の対象となる品目等について、下表の資料を提出するものとし、各段階において監督職員と協議・確認を受けるものとする。なお、下表の①～③については、提出資料を別紙-4(様式1-1～3)にてとりまとめて提出するものとする。
表－提出資料
<table>
<tr><th>提出資料</th><th>備　考</th></tr>
<tr><td>①調達計画</td><td>・受注者が計画する建設資材の項目毎の購入・調達条件と発注時期等(予定)がわかるもの</td></tr>
<tr><td>(当初)
様式1-1</td><td>・契約後に受注者がメーカー・商社や運送会社等から入手した見積書で項目毎の当初計画額がわかるもの(発注書・注文書・請書など計画段階での購入・調達条件(金額や購入・調達地域等)がわかるもの)。
※契約後遅滞なく提出(変更追加等の場合は変更の都度提出)</td></tr>
<tr><td>②調達計画
(変更)
様式1-2</td><td>・建設資材のひっ迫により、①によりがたい場合で、購入費・運搬費が増となる購入・調達条件で①との変更点がわかるものおよび変更理由。
※購入・調達の条件が変更の都度提出</td></tr>
<tr><td>③調達計画
(実施)
様式1-3</td><td>・②の結果で、建設資材の購入費・運搬費にかかる支出実績を証明する書類(領収書、領収書の出ないものは金額の適切性を証明する金額計算書など)。</td></tr>
</table>
(3)設計変更
設計変更については、最終精算変更時点において、(2)表－提出資料に記載の証明書類を監督職員に協議・確認を得たものについて行うものとする。
なお、受注者の責めに帰すべき事由による増加費用については、設計変更の対象としない。</td></tr>
<tr><td>追加</td><td></td><td></td><td></td><td>地域外からの労働者確保に要する間接費の設計変更について</td><td></td><td>(1)本工事は、工事実施にあたって不足する技術者や技能者を広域的に確保せざるを得ない場合に、「共通仮設費(率分)のうち営繕費」及び「現場管理費のうち労務管理費」の下記に示す費用(以下「実績変更対象費」という。)について、契約締結後、労働者確保に要する方策に変更が生じ、土木工事標準積算基準書の金額相当では適正な工事の実施が困難になった場合は、実績変更対象費の支出実績を踏まえて最終精算変更時点で設計変更する試行工事である。
<table>
<tr><th colspan="2">地域外からの労働者確保に要する間接費について実績変更の対象となる費用</th></tr>
<tr><td>営繕費</td><td>労働者送迎費、宿泊費、借上費
(宿泊費、借上費については労働者確保に係るものに限る。)</td></tr>
<tr><td>労務管理費</td><td>募集及び解散に要する費用、賃金以外の食事、通勤等に要する費用</td></tr>
</table>
(2)受注者から請負代金内訳書の提出があった後、発注者は工事費構成書にて共通仮設費及び現場管理費に対する実績変更対象費の割合を提示するものとする。
(3)受注者は、当初契約締結後の単価合意を行う際に、(2)で示された割合を参考にして労働者確保に関する計画書(任意様式)及び実</td></tr>
</table>

編	章	節	条	見 出 し	項	特 記 及 び 追 加 仕 様 事 項
						績変更対象費に係る費用の内訳を記載した実施計画書(当初)別紙-4(様式2-1)を作成し、監督職員に提出するものとする。 (4)最終精算変更時点において、実績変更対象費の支出実績を踏まえて設計変更する場合は、実施計画書(実施)別紙-4(様式2-2)及び実績変更対象費に実際に支払った全ての証明書類(領収書、領収書の出ないものは金額の適切性を証明する金額計算書など。)を監督職員に提出し、設計変更の内容について協議するものとする。 (5)受注者の責めによる工事工程の遅れ等、受注者の責めに帰すべき事由による増加費用については、設計変更の対象としない。 (6)実績変更対象費の支出実績を踏まえて設計変更する場合、共通仮設費率分は、土木工事標準積算基準に基づく算出額から実施計画書(当初)別紙-4(様式2-1)に記載された共通仮設費率分の合計額を差し引いた後、証明書類において確認された費用を調整額として加算して算出する。また、現場管理費は、土木工事標準積算基準に基づく算出額から実施計画書(当初)別紙-4(様式2-1)に記載された現場管理費の合計額を差し引いた後、証明書類において確認された費用を調整額として加算して算出する。 なお、全ての証明書類の提出がない場合であっても、提出された証明書類をもって金額の変更を行うものとする。 (7)受注者から提出された資料に虚偽の申告があった場合については、法的措置及び指名停止等の措置を行う場合がある。 (8)疑義が生じた場合は、監督職員と協議するものとする。
追加				現場環境改善(快適トイレの設置の試行)		1.内容 受注者は、現場に以下の(1)～(11)の仕様を満たす快適トイレを設置することを原則とする。(12)～(17)については、満たしていればより快適に使用できると思われる項目であり、必須ではない。 【快適トイレに求める標準仕様】 (1)洋式便座 (2)水洗機能(簡易水洗、し尿処理装置付き含む) (3)臭い逆流防止機能(フラッパー機能) (必要に応じて消臭剤等活用し臭い対策を取ること) (4)容易に開かない施錠機能(二重ロック等) (二重ロックの備えがなくても容易に開かないことを製造者が説明できるもの) (5)照明設備(電源がなくても良いもの) (6)衣類掛け等のフック付、又は、荷物置き場設備機能(耐荷重5kg以上) 【快適トイレとして活用するために備える付属品】 (7)現場に男女がいる場合に男女別の明確な表示 (8)入口の目隠しの設置(男女別トイレ間も含め入口が直接見えないような配置等) (9)サニタリーボックス(女性専用トイレに限る) (10)鏡付きの洗面台 (11)便座除菌シート等の衛生用品 【推奨する仕様、付属品】

編	章	節	条	見 出 し	項	特 記 及 び 追 加 仕 様 事 項
						(12)室内寸法900×900㎜以上(半畳程度以上) (13)擬音装置 (14)着替え台(フィッティングボード等) (15)フラッパー機能の多重化 (16)窓など室内温度の調節が可能な設備 (17)小物置き場等(トイレットペーパー予備置き場) 2.NETIS登録された快適トイレの取扱い NETIS登録された快適トイレを使用する場合は、「公共工事等における新技術活用システム」実施要領の3.3.3.3発注者指定型（３）５）に基づき、活用効果調査を行うものとする。 3.その他 快適トイレの手配が困難の場合は、監督職員と協議の上、本条項の対象外とする。
追加				ＵＡＶ等を使用する際の安全面への配慮について		受注者は、起工測量等においてＵＡＶ等を使用する場合、安全面への配慮として「公共測量におけるＵＡＶの使用に関する安全基準（案）」（国土地理院・平成28年3月）に基づいてＵＡＶ等を使用すること。
						以下余白

別紙－１

平 成 ○ 年 ○ 月 ○ 日

○○建設株式会社　様

主任監督員
○○　○○

通　知　完　了　連　絡　書

下記の工事について、建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律第１１条に基づく通知を行ったので、通知する。

記

工事名：

受注者：

工　期：**平成○年○月○日　～　平成○年○月○日**

別紙-2

(1) 透水性アスファルト混合物の基準値

項　　目	基準値	試　験　方　法
突き固め回数　(回)	50	マーシャル安定度試験(舗装試験法便覧)
空隙率　(%)	12以上	〃
安定度　(KN)	2.94以上	〃
フロー値　(1/100cm)	20～40	〃
透水係数　(cm/sec)	1×10^{-2}	透水性アスファルト混合物透水試験(舗装試験法便覧)

(2) アスファルト混合物の種類と標準粒度範囲

混合物の種類		透水性アスファルト混合物
仕上がり厚　(cm)		4　～　5
最大粒径　(mm)		13
通過質量百分率(%)	19mm	100
	13.2mm	95　～　100
	4.75mm	20　～　36
	2.36mm	12　～　25
	600μm	-
	300μm	5　～　13
	150μm	-
	75μm	3　～　6
アスファルト量　(%)		3.5　～　5.5

(3) 品質管理項目と基準値

項　　目	規　　格　　値	試　験　方　法
粒度　(2.36mmフルイ)	±12%以内基準粒度	舗装試験法便覧
粒度　(75μmフルイ)	±5%以内基準粒度	舗装試験法便覧
アスファルト量	±0.9%以内	舗装試験法便覧
温度	プラント　:　配合設計で決定した混合温度	
	初期締固め前　:　110°C以上	
締固め度	基準密度の94%以上	舗装試験法便覧
現場透水量	300ml/15sec以上	排水性舗装技術指針(案)

別紙－３

電 線 共 同 溝 管 路 試 験 要 領 （案）

管路試験

管路の布設が終了したら、埋設管路では埋戻し前か終了後に、露出、添架配管ではケーブル入線前に、必ず管路が完全に接続され、良好に布設されているか否かを試験し、試験の結果、不合格の時は、手直しを実施する。

なお、工事完成時には試験表を提出するものとする。

【道路管理用】

（１） 試験項目

管路の試験と種類と適用範囲について表２．２－１１に示す。

表　２．２－１１　試験の適用表

管種・管径 ＼ 試験内容	管路及び地下配線管路								
	鋼管 100A	鋼管 80A	鋼管 65A	鋼管 50A	VE 管 82	VE 管 70	VE 管 50	FEP 80	FEP 50
通過試験	○	○	○	○	○	○	○	○	○

○　：実施する

ア　通過試験

引き通し線に毛ブラシ、雑巾の順に清掃用品を取付け、管路内の清掃を行った後、マンドリルまたはテストケーブルを用いて行う試験。

（２） 試験方法

ア　通過試験

中間試験と最終試験があり、中間試験は管の布設途中において管路を縦断、平面的に曲げた場合、その状況を勘案の上、必要に応じて実施する。

最終試験は１管路区間の布設、埋戻し後（コンクリート打設の場合はコンクリート打設前）に実施し、中間試験を実施したものを必ず実施する。

以下に最終試験を実施する場合の試験方法につき述べるが、中間試験もこれに準ずるものとする。

①　試験材料及び器具

a　マンドリル

マンドリルは、直線管路の通過試験の際に使用する木製の棒で、両端に引き通し線が容易に取付けられる構造となっている。材質は容易に摩擦されない堅材（ケヤキ、クスノキ等）で、寸法・形状は表２．２－１２及び図２．２－５５のとおりである。

表　２．２－１２　マンドリルの規格表　　（mm）

管　　種	L	φ
５０ＡまたはＶＥ５４	３００	４０
６５ＡまたはＶＥ７０	３００	５０
８０ＡまたはＶＥ８２	３００	７０

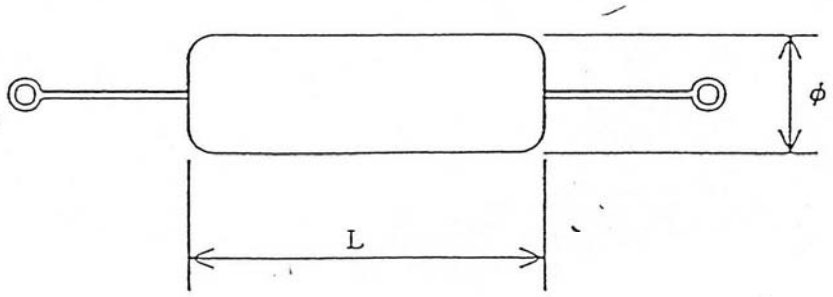


図　２．２－５５　マンドリル形状

b　テストケーブル

短区間の配管で、マンドリルによる通過試験が不能の場合に使用するもので、管内径に適合するケーブルをケーブルグリップにより巻きつけツイストレスを経由して引き通し試験をする。これに使用するケーブルは外被にキズが少ないものを用い、管内部のキズを発見できるものでなければならない。

形状・寸法は図２．２－５６及び表２．２－１３のとおりである。

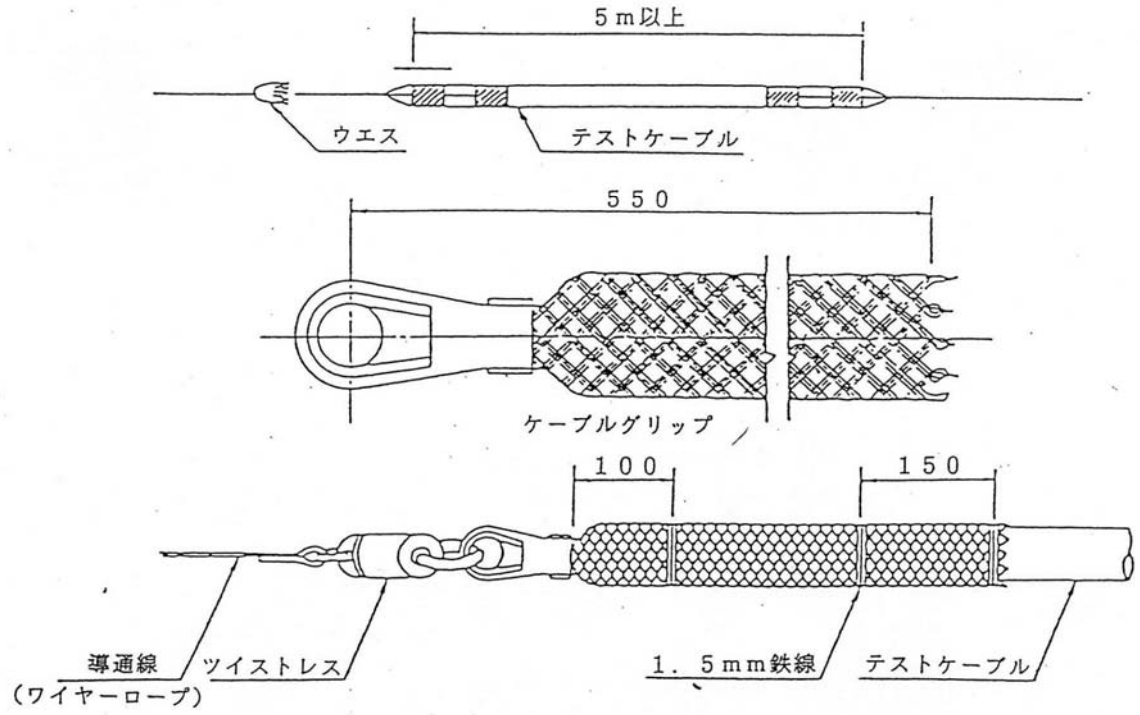


図　２．２－５６　テストケーブル

表　２．２－１３　テストケーブルの規格

用　途	管　　種	使用ケーブル
通信用	５０Ａ又はＶＥ５４	４０φ
	６５Ａ又はＶＥ７０	５０φ
	８０Ａ又はＶＥ８２	６０φ
照明用	５０Ａ又はＶＥ５４ 以上の管	導体断面積が２２㎟以上のビニールシースケーブルで、その仕上がり外径は管内径の６７％以上のもの

c　引き通し線

通過試験の際に清掃用具及びマンドリル等に管路内を通過させるための引線であり、一般には、φ４．０～４．５mmの鉄線、ワイヤーロープ等を使用する。

d　線とおし材料及び器具

管路内に引通し線を通すために使用する材料及び器具で、短区間では竹材細径のビニールパイプ、又は銅線による。

長い区間は線とおし器具を用い、圧搾空気を利用して行う。

（図　２．２－５７参照）

e　試験表の提出

管路がマンドリルで通過したか、テストケーブルで通過したかの試験表を提出する。

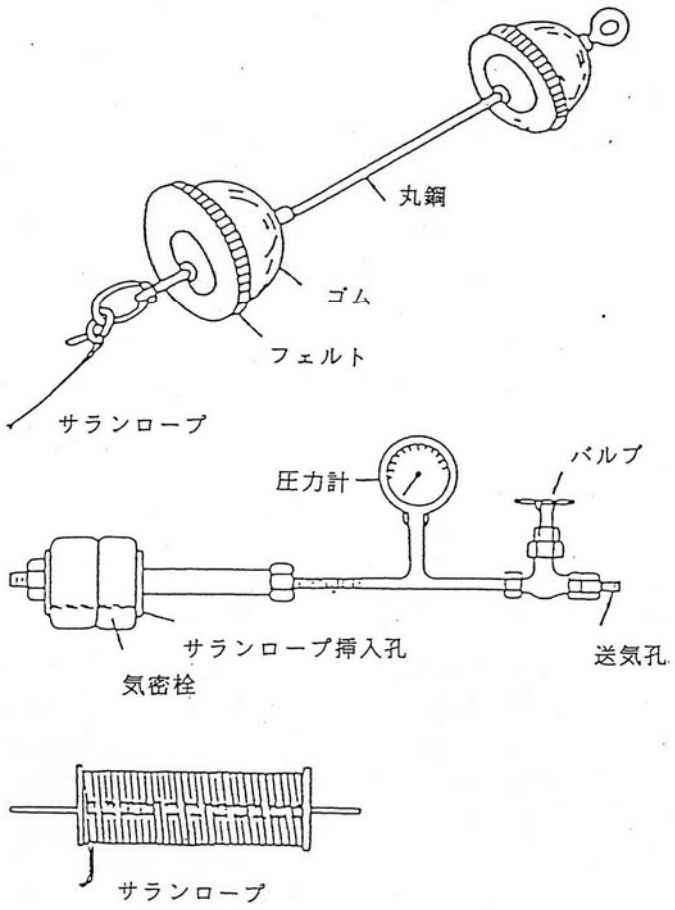


図　２．２－５７　線とおし器具

ｅ　清掃用具

毛ブラシ、雑巾等があり、管の内面を十分清掃できるものでなければならない。

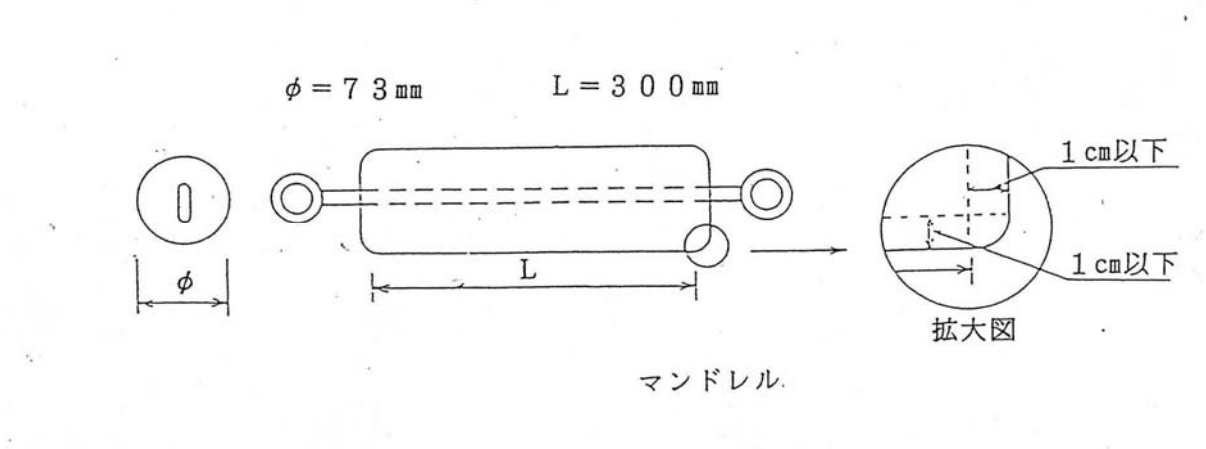
【通信ケーブル（ＮＴＴ仕様）用】

（１） 試験項目

ＮＴＴの通信ケーブルを布設する公称φ７５ｍｍＰＶ管の試験項目は、「管路通過性能試験」、「管路接続性能試験」とする。

ア　管路通過性能試験

下図のマンドレルがスムーズに通過すること。



通線後、下図のように毛ブラシ、ウエス（雑巾を 40cm 間隔で 2 箇所）の順に取付け、管路内を清掃すること。ウエスの大きさは表２．２－１４に示す。



図－１　毛ブラシ、ウエス（雑巾）の取付け

表　2.2－14　通過性能確認ウエス

管　径	ウエスの最小外周長
φ７５	２３ｃｍ以上

イ　管路接続性能試験

・管路接続性能試験方法

管路内空気圧を 0.0490Mpa(0.5kgf/ｃ㎡)とし、３分間放置して圧力低下が 0.00196Mpa(0.02kgf/ｃ㎡)以下であること。

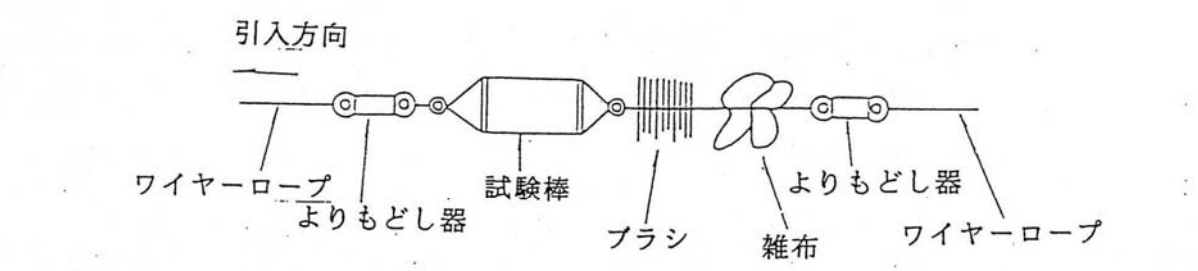
※１kgf/c ㎡＝0.0980665Mpa

・管路接続性能試験の目的

管路が正常に接続され、水密性を保持しているかどうか確認するため。
水密性が保持されていない場合、地下水の流入に伴い土砂が管路内に堆積し、ケーブルの布設に支障を生じる。また、ケーブル布設済管路に土砂が堆積した場合、ケーブル更改時の撤去が困難となることが予想される。

【電力ケーブル（中国電力仕様）用】

ケーブルを入れる管路は、事前に清掃と導通試験を行わなければならない。



管路清掃及び導通試験方法例

（1） 試験器具

a 管路導通試験棒（ボビン）

管路導通試験棒（ボビン）は原則として、太さ（管路内径－10mm）×長さ（600mm）ものを使用する。

ただし、曲率半径が小さい場合や管路接続箇所を屈曲させている場合は、下表に示した試験棒長さ以下のものを使用する。（この場合も試験棒太さは管路内径－10mm とする）

曲率半径	接続部角度	試験棒長さ (cm)					
		管路 200mm	管路 150mm	管路 100mm	管路 80mm	管路 75mm	管路 65mm
	0.0	33.4	33.1	32.8	32.7	32.6	32.6
	0.5	32.4	32.1	31.7	31.6	31.6	31.5
	1.0	31.4	31.0	30.7	30.6	30.5	30.5
1.3	1.5	30.4	30.1	29.7	29.6	29.5	29.4
	2.0	29.5	29.1	28.7	28.6	28.6	28.5
	2.5	28.6	28.2	27.8	27.7	27.6	27.5
	3.0	27.8	27.4	27.0	26.8	26.7	26.6
	0.0	63.8	63.7	63.5	63.5	63.5	63.4
	0.5	59.7	59.5	59.4	59.3	59.3	59.2
	1.0	55.9	55.7	55.5	55.4	55.4	55.3
5	1.5	52.3	52.1	51.9	51.8	51.8	51.8
	2.0	49.1	48.8	48.6	48.5	48.5	48.4
	2.5	46.1	45.8	45.6	45.5	45.4	45.4
	3.0	43.3	43.1	42.8	42.7	42.6	42.6
	0.0	69.8	69.7	69.5	69.5	69.5	69.4
	0.5	64.9	64.7	64.5	64.5	64.5	64.4
	1.0	60.3	60.1	59.9	59.9	59.8	59.8
6	1.5	56.1	55.9	55.7	55.6	55.6	55.6
	2.0	52.3	52.1	51.9	51.8	51.7	51.7
	2.5	48.8	48.6	48.3	48.2	48.2	48.2
	3.0	45.7	45.4	45.1	45.0	45.0	45.0
	0.0	89.9	89.8	89.6	89.6	89.6	89.6
	0.5	81.6	81.5	81.4	81.3	81.3	81.3
	1.0	74.3	74.1	74.0	73.9	73.9	73.9
10	1.5	67.7	67.5	67.3	67.3	67.3	67.2
	2.0	61.8	61.7	61.5	61.4	61.4	61.3
	2.5	56.7	56.5	56.3	56.2	56.2	56.1
	3.0	52.2	51.9	51.7	51.6	51.6	51.5
	0.0	109.9	109.8	109.7	109.7	109.7	109.6
	0.5	97.7	97.6	97.4	97.4	97.4	97.4
	1.0	87.0	86.8	86.7	86.6	86.6	86.6
15	1.5	77.7	77.5	77.4	77.3	77.3	77.3
	2.0	69.7	69.5	69.4	69.3	69.3	69.3
	2.5	62.9	62.7	62.5	62.4	62.4	62.4
	3.0	57.0	56.8	56.6	56.5	56.5	56.5

曲率半径	接続部角度	試験棒長さ (cm)					
		管路 200mm	管路 150mm	管路 100mm	管路 80mm	管路 75mm	管路 65mm
20	0.0	126.8	126.7	126.6	126.6	126.6	126.6
	0.5	110.6	110.5	110.4	110.4	110.4	110.3
	1.0	96.8	96.7	96.5	96.5	96.5	96.4
	1.5	85.1	84.9	84.8	84.7	84.7	84.7
	2.0	75.3	75.1	75.0	74.9	74.9	74.8
	2.5	67.1	66.9	66.7	66.7	66.6	66.6
	3.0	60.2	60.0	59.9	59.8	59.8	59.7
25	0.0	141.7	141.6	141.5	141.5	141.5	141.5
	0.5	121.6	121.5	121.4	121.4	121.4	121.4
	1.0	104.8	104.7	104.6	104.5	104.5	104.5
	1.5	90.9	90.8	90.6	90.6	90.6	90.5
	2.0	79.5	79.3	79.2	79.1	79.1	79.1
	2.5	70.2	70.0	69.8	69.8	69.7	69.7
	3.0	62.5	62.3	62.1	62.1	62.1	62.0
30	0.0	155.2	155.1	155.0	155.0	155.0	155.0
	0.5	131.3	131.2	131.4	131.1	131.0	131.0
	1.0	111.6	111.5	111.4	111.3	111.3	111.3
	1.5	95.6	95.5	95.4	95.3	95.3	95.3
	2.0	82.8	82.7	82.5	82.5	82.5	82.4
	2.5	72.5	72.4	72.2	72.2	72.1	72.1
	3.0	64.2	64.1	63.9	63.8	63.8	63.7

（参考）　試験棒長さの算定式

$$\frac{l}{2}=\sqrt{\left(R\div\frac{d_1}{2}\right)^2-\left\{R-\frac{d_1}{2}\div d-\left(R-\frac{d_1}{2}\right)\cdot\left(1-\cos\frac{\alpha}{2}\right)\right\}^2}-\left(R-\frac{d_1}{2}\right)\sin\frac{\alpha}{2}$$

l　：導通可能試験棒長さ

d　：試験棒外径

R　：曲管の曲率半径

d_1 ：管内径

α　：接続部屈曲角度

遠隔地からの建設資材調達に係る実施計画書（当初）　　別紙-4（様式1－1）

建設資材等名称	規格	調達地域等（発注者）	調達地域等（予定：受注者）	調達等時期（予定：受注者）	単位	調達等予定数量	調達等金額（予定）			備考
							合計額	材料費	輸送費	
記載例										
骨材	C-40	○○地区	△地区	H29.○中旬	m3	1,000	00,000	00,000	-	資料○参照
土砂	購入土	○○地区	△地区	H29.△初旬	m3	1,200	00,000	00,000	-	資料△参照
アスファルト合材	密粒度As（20）	○○地区	△地区	H29.◆初旬	t	3,000	**,000	**,000	-	資料◆参照
生コンクリート	18-8-40BB	○○地区	△地区	H29.△初旬	m3	500	**,***	**,***	-	資料△参照
仮設材（鋼矢板）	Ⅳ型	□□市	△市	H29.□初旬	t	30.0	00,000	-	00,000	資料□参照
						計	000,000	000,000	000,000	

【留意事項】

・特記事項に記載の建設資材の調達地域等について、受注者が調達地域（当初：予定）を記載する。当該資料は記載事項に関する基礎資料（見積等の確認資料）の総括表として使用するものとし、受注者において、工事打合簿（提出）にて
（当該資料は当初契約段階において受注者の任意に設定する購入・調達条件であり、ひっ迫による変更が生じた際の基礎資料となるもの。）

・工程進捗において調達時期を数回行う場合は、調達時期毎に記載内容をまとめるものとする。

遠隔地からの建設資材調達に係る実施計画書（変更）

別紙-4（様式1－2）

建設資材等名称	規格	調達地域等（当初：受注者）	調達地域等（変更：受注者）	調達等時期（変更予定）	単位	調達等予定数量（当初）	調達等予定数量（変更）	調達等金額（予定）						変更理由	備考
								差額（予定）	合計額（変更）	材料費（当初）	輸送費（当初）	材料費（変更）	輸送費（変更）		
記載例															
骨材	C-40	○○地区	△地区	H29.○中旬	m3	1,000	500	00,000	00,000	00,000	－	*0,000	－	当初購入先において、建設資材等のひっ迫による入荷遅延から、当初計画が守れず、やむを得ず在庫を持つ購入先に変更する事となり材料費に増し分費用が発生したため。（※変更理由等は資料等参照）	資料－1（変更）参照
土砂	購入土	○○地区	△地区	H29.△初旬	m3	1,200	1700	00,000	00,000	00,000	－	*0,000	－	同上	同上
アスファルト合材	密粒度As（20）	○○地区	△地区	H29.◆初旬	t	3,000	4500	－	－	**,000	－	**,000	－		変更なし
生コンクリート	18-8-40BB	○○地区	△地区	H29.△初旬	m3	500	600	－	－	**,***	－	**,***	－		変更なし
仮設材（鋼矢板）	Ⅳ型	□□市	△市	H29.□初旬	t	30.0	28.5	－	－	－	00,000	－	00,000		変更なし
							計	000,000	000,000	000,000	000,000	000,000	000,000		

【留意事項】

・受注者が建設資材のひっ迫により調達地域を変更せざるを得ない場合に、購入・調達条件の当初・変更を記載する。当該資料は記載事項に関する基礎資料（見積等の確認資料）の総括表として使用するものとし、受注者において、工事打合簿（協議）にて提出するものとする。

・発注者は当該計画（変更）の妥当性など資料を確認のうえ、工事打合簿（承諾）にて「当該計画（変更）について承諾するので、納入後に実施に関して支払関係資料の提出を行うこと」などと回答を行う。

・受注者において、調達時期を数回行う場合は、調達時期毎に記載するものとする。変更が無いものについても記載するものとする。

遠隔地からの建設資材調達に係る実施計画書（実施）

別紙-4（様式1－3）

建設資材等名称	規格	調達地域等（当初：受注者）	調達地域等（変更：受注者）	調達等時期（変更予定）	単位	調達等予定数量（当初）	調達等予定数量（実施）	調達等金額（予定）						変更理由	備考
								差額（予定）	合計額（実施）	材料費（当初）	輸送費（当初）	材料費（実施）	輸送費（実施）		
記載例															
骨材	C-40	○○地区	△地区	H29.○中旬	m3	1,000	600	00,000	00,000	00,000	－	*0,000	－	当初購入先において、建設資材等のひっ迫による入荷遅延から、当初計画が守れず、やむを得ず在庫を持つ購入先に変更する事となり材料費に増し分費用が発生したため。（※変更理由等は資料等参照）	資料－1（実施）参照
土砂	購入土	○○地区	△地区	H29.△初旬	m3	1,200	1,650	00,000	00,000	00,000	－	*0,000	－	同上	同上
アスファルト合材	密粒度As（20）	○○地区	△地区	H29.◆初旬	t	3,000	4,300	－	－	**,000	－	**,000	－		変更なし
生コンクリート	18-8-40BB	○○地区	△地区	H29.△初旬	m3	500	650	－	－	**,***	－	**,***	－		変更なし
仮設材（鋼矢板）	Ⅳ型	□□市	△市	H29.□初旬	t	30.0	28.0	－	－	－	00,000	－	00,000		変更なし
							計	000,000	000,000	000,000	000,000	000,000	000,000		

【留意事項】
・受注者が建設資材のひっ迫に伴い購入・調達条件の変更に伴う費用の当初・実施の支払額を記載し、記載事項に関する基礎資料（支払状況がわかる確認資料）の総括表として使用し、受注者において、工事打合簿（協議）にて提出するものとする。
・発注者は当該計画（実施）の妥当性など資料を確認のうえ、工事打合簿（通知）にて「当該計画（実施）について承諾し、変更対象とする。」などと回答を行う。
・受注者において、調達時期を数回行う場合は、調達時期毎に記載するものとする。

別紙-4(様式2－1)

実績変更対象費に関する実施計画書(当初)

費　目		費　用	内　　容	計上額
共通仮設費	営繕費	借上費	現場事務所、試験室、労働者宿舎、倉庫、材料保管場所等の敷地借上げに要する地代及びこれらの建物を建築する代わりに貸しビル、マンション、民家等を長期借上げする場合に要する費用	
		宿泊費	労働者が、旅館、ホテル等に宿泊する場合に要する費用	
		労働者送迎費	労働者をマイクロバス等で日々当該現場に送迎輸送(水上輸送を含む)をするために要する費用(運転手賃金、車両損料、燃料費等含む)	
	小　計			
現場管理費	労　務管理費	募集及び開催に要する費用	労働者の赴任手当、労働者の帰省旅費、労働者の帰省手当	
		賃金以外の食事、通勤等に要する費用	労働者の食事補助、交通費の支給	
	小　計			
合　計				

別紙-4(様式2－2)

実績変更対象費に関する実施計画書(実施)

費目		費用	内容	当初計上額	変更計上額	差額
共通仮設費	営繕費	借上費	現場事務所、試験室、労働者宿舎、倉庫、材料保管場所等の敷地借上げに要する地代及びこれらの建物を建築する代わりに貸しビル、マンション、民家等を長期借上げする場合に要する費用			
		宿泊費	労働者が、旅館、ホテル等に宿泊する場合に要する費用			
		労働者送迎費	労働者をマイクロバス等で日々当該現場に送迎輸送(水上輸送を含む)をするために要する費用(運転手賃金、車両損料、燃料費等含む)			
	小　計					
現場管理費	労務管理費	募集及び開催に要する費用	労働者の赴任手当、労働者の帰省旅費、労働者の帰省手当			
		賃金以外の食事、通勤等に要する費用	労働者の食事補助、交通費の支給			
	小　計					
合　計						

工事数量総括表

工　事　数　量　総　括　表

工 事 名　　安来電線共同溝PFI事業（１工区）

国土交通省　中国地方整備局
松江国道事務所　管理第二課

工事数量総括表

工事名	安来電線共同溝PFI事業（１工区）	（ 当　　初 ）

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減	摘要
電線共同溝 （上り線 1工区）		式		1		
仮設工		式		1		
路面覆工		式		1		
仮舗装工 仮舗装(A)		式		1		
仮舗装工 仮舗装(B)		式		1		
土留･仮締切工		式		1		
固結工		式		1		
水路補強工		式		1		
交通管理工		式		1		
舗装版撤去工		式		1		
舗装版破砕工		式		1		

工事数量総括表

工事名	安来電線共同溝PFI事業（１工区）	（ 当　　初 ）

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減	摘要
殻運搬 （夜間）	ｱｽﾌｧﾙﾄ殻	m3		56		
殻処分 （夜間）	ｱｽﾌｧﾙﾄ殻	m3		56		
舗装版切断 （夜間）	ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版 15cm以下	m		980		
舗装版切断 （夜間）	ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版 15cm超30cm以下	m		290		
舗装版破砕 （夜間）	ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版 15cm超35cm以下	m2		690		
開削土工		式		1		
掘削工		式		1		
開削掘削 （夜間）		式		1		
埋戻し工		式		1		
埋戻し・締固め （夜間）	土砂	式		1		
埋戻し・締固め （夜間）	中埋砂	式		1		

工事数量総括表

工事名	安来電線共同溝PFI事業（１工区）	（ 当　　初 ）

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減	摘要
残土処理工		式		1		
電線共同溝工		式		1		
管路工(管路部)		式		1		
埋設管路 (夜間)	HIVP管 直管 径 125mm	m		496		
埋設管路 (夜間)	HIVP管 直管 径 100mm	m		488		
埋設管路 (夜間)	PV管 直管 径 75mm	m		540		
埋設管路 (夜間)	PV管 直管 径 50mm	m		149		
埋設管路 (夜間)	VP管 直管 径 100mm	m		121		
埋設管路 (夜間)	VP管 直管 径 150mm	m		126		
埋設管路 (夜間)	VP管 直管 径 250mm	m		116		
埋設管路 (夜間)	HIVP管 曲管(R10) 径 125mm	m		319		

工事数量総括表

工事名	安来電線共同溝PFI事業（１工区）	（ 当　　初 ）

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減	摘要
埋設管路 (夜間)	HIVP管 曲管(R10) 径 100mm	m		351		
埋設管路 (夜間)	PV管 曲管(R10) 径 75mm	m		388		
埋設管路 (夜間)	PV管 曲管(R10) 径 50mm	m		133		
埋設管路 (夜間)	VP管 曲管(R10) 径 100mm	m		77		
埋設管路 (夜間)	VP管 曲管(R10) 径 150mm	m		69		
埋設管路 (夜間)	VP管 曲管(R10) 径 250mm	m		77		
管路管台 (夜間)	HIVP管用 φ125-250P	個		1,708		
管路管台 (夜間)	HIVP管用 φ100-150P	個		1,765		
管路管台 (夜間)	PV管用 φ75-130P	個		1,029		
管路管台 (夜間)	PV管用 φ50-95P	個		247		
管路管台 (夜間)	VP管用 φ100-150P	個		131		

工事数量総括表

工事名	安来電線共同溝PFI事業（１工区）	（ 当　　初 ）

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減	摘要
管路管台 (夜間)	VP管用　φ150-220P	個		126		
管路管台 (夜間)	VP管用　φ250-350P	個		187		
中間継手 (夜間)	HIVPφ125用	個		16		
中間継手 (夜間)	HIVPφ100用	個		23		
中間継手 (夜間)	PVφ75用	個		26		
中間継手 (夜間)	PVφ50用	個		11		
中間継手 (夜間)	VPφ100用	個		7		
中間継手 (夜間)	VPφ150用	個		4		
中間継手 (夜間)	VPφ250用	個		4		
鞘管固定管(起点用) (夜間)	VP管　φ250用	個		5		
鞘管固定管(終点用) (夜間)	VP管　φ250用	個		4		

工事数量総括表

工事名	安来電線共同溝PFI事業（１工区）	（ 当　　初 ）

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減	摘要
埋設表示ｼｰﾄ （夜間）	W=300 2倍	m		711		
敷砂 （夜間）		m3		24		
ﾌﾟﾚｷｬｽﾄﾎﾞｯｸｽ工(特殊部)		式		1		
ﾌﾟﾚｷｬｽﾄﾎﾞｯｸｽ （夜間）	3.7ﾀｲﾌﾟ S型 内幅 1.35m 内高 1.8m RC-40	個		3		
ﾌﾟﾚｷｬｽﾄﾎﾞｯｸｽ （夜間）	4.5ﾀｲﾌﾟ L型 内幅 1.3/2.1m 内高 1.8m RC-40	個		1		
ﾌﾟﾚｷｬｽﾄﾎﾞｯｸｽ （夜間）	2.2ﾀｲﾌﾟ 路上変圧器用 内幅 1m 内高 1.5m RC-40	個		1		
ﾌﾟﾚｷｬｽﾄﾎﾞｯｸｽ （夜間）	3.6ﾀｲﾌﾟ 路上変圧･高圧開閉器用 内幅 1.2m 内高 1.5m RC-40	個		1		
ﾌﾟﾚｷｬｽﾄﾎﾞｯｸｽ 通信基点桝(夜間)	2.2ﾀｲﾌﾟ 内幅 0.95m 内高 1.5m RC-40	個		1		
ﾌﾟﾚｷｬｽﾄﾎﾞｯｸｽ 分岐桝(夜間)	1.2ﾀｲﾌﾟ 内幅 0.6m 内高 0.415m RC-40	個		2		
ﾍﾞﾙﾏｳｽ		式		1		
情報ﾎﾞｯｸｽ工		式		1		

工事数量総括表

工事名	安来電線共同溝PFI事業（１工区）	（ 当　　初 ）

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減	摘要
作業土工		式		1		
管路工(管路部)		式		1		
埋設管路 (夜間)	合成樹脂製 径 300ｍｍ	m		131		
埋設管路 (夜間)	鋼製 径 50ｍｍ	m		100		
埋設表示ｼｰﾄ (夜間)	W=300 2倍	m		131		
敷砂 (夜間)		m3		13		
管路防護工		式		1		
防護ｺﾝｸﾘｰﾄ (夜間)		箇所		1		
ﾊﾝﾄﾞﾎｰﾙ工		式		1		
ﾊﾝﾄﾞﾎｰﾙ (夜間)	B1000×H1000×L1500	箇所		1		
ﾊﾝﾄﾞﾎｰﾙ (夜間)	B600×H1100×L600	箇所		2		

工事数量総括表

工事名	安来電線共同溝PFI事業（１工区）	（ 当　　初 ）

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減	摘要
道路改良 （上り線 1工区）		式		1		
道路土工		式		1		
残土処理工		式		1		
排水構造物工		式		1		
作業土工		式		1		
側溝工		式		1		
縁石管渠A1 （夜間）	φ150	m		153		
縁石管渠B （夜間）	φ150	m		22		
縁石管渠C （夜間）	φ150	m		21		
縁石管渠D(L) （夜間）	φ150	m		4		
縁石管渠D(R) （夜間）	φ150	m		4		

工事数量総括表

工事名	安来電線共同溝PFI事業（１工区）	（ 当　　初 ）

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減	摘要
縁石管渠桝A (夜間)	φ150	箇所		13		
縁石管渠桝B (夜間)	φ150	箇所		2		
舗装工		式		1		
排水性舗装工 車道舗装(A)		式		1		
下層路盤(車道・路肩部) (夜間)	再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ RC-40 仕上り厚 200mm	m2		342		
上層路盤(車道・路肩部) (夜間)	粒度調整砕石 M-40 仕上り厚 150mm	m2		346		
上層路盤(車道・路肩部) (夜間)	再生As安定処理(30) 仕上り厚 80mm	m2		346		
基層(車道・路肩部) (夜間)	再生粗粒度Asﾎﾟﾘﾏｰ改質Ⅰ型(20) 舗装厚 50ｍｍ 1.4m以上	m2		346		
排水性舗装・表層（車道・路肩部） (夜間)	ﾎﾟｰﾗｽAs(13) 舗装厚 50ｍｍ 2.4m以上	m2		346		
透水性舗装工 歩道舗装(A)		式		1		
ﾌｨﾙﾀｰ層 (夜間)	砂(ｸｯｼｮﾝ用) 仕上り厚 50ｍｍ	m2		444		

工事数量総括表

工事名	安来電線共同溝PFI事業（１工区）	（ 当　　初 ）

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減	摘要
下層路盤(歩道部) (夜間)	再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ RC-30 仕上り厚 100mm	m2		444		
表層 (夜間)	透水性As(13) 1.4m以上 舗装厚 40mm	m2		444		
透水性舗装工 歩道舗装(B)		式		1		
ﾌｨﾙﾀｰ層 (夜間)	砂(ｸｯｼｮﾝ用) 仕上り厚 50mm	m2		78		
下層路盤(歩道部) (夜間)	再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ RC-40 仕上り厚 150mm	m2		78		
表層 (夜間)	透水性As　1.4m以上 舗装厚 50mm	m2		78		
縁石工		式		1		
縁石工		式		1		
歩車道境界ﾌﾞﾛｯｸ 縁石工A（夜間）	C種(180/210×300×600)	m		37		
歩車道境界ﾌﾞﾛｯｸ 縁石工C（夜間）	B種(180/205×250×600)	m		4		
道路付属施設工		式		1		

工事数量総括表

工事名	安来電線共同溝PFI事業（１工区）	（ 当　　初 ）

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減	摘要
照明工		式		1		
照明柱基礎 2号(夜間)	抵抗板付鋼製基礎	基		1		
照明柱基礎 3号(夜間)	抵抗板付鋼製基礎	基		1		
照明柱 R-1(夜間)		基		1		
照明柱 R-2(夜間)		基		1		
標識工		式		1		
大型標識工		式		1		
標識基礎 (夜間)	片持式の基礎 4.0m3未満	基		1		
片持標識柱 (移設)(夜間)	逆L型	基		1		
標識板 (移設)(夜間)	2.0m2以上	枚		1		
構造物撤去工		式		1		

工事数量総括表

工事名	安来電線共同溝PFI事業（１工区）	（ 当　　初 ）

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減	摘要
構造物取壊し工		式		1		
舗装版破砕（夜間）	ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版 15cm以下	m2		870		
運搬処理工		式		1		
殻運搬（夜間）	ｱｽﾌｧﾙﾄ殻	m3		38		
殻処分（夜間）	ｱｽﾌｧﾙﾄ殻	m3		38		
直接工事費		式		1		
共通仮設費		式		1		
共通仮設費		式		1		
運搬費		式		1		
仮設材運搬費		式		1		
準備費		式		1		

工事数量総括表

工事名	安来電線共同溝PFI事業（１工区）	（ 当　　初 ）

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減	摘要
試掘		箇所		6		
事業損失防止施設費		式		1		
事業損失防止施設費（夜間）		式		1		
技術管理費		式		1		
道路施設基本ﾃﾞｰﾀ作成費用		式		1		
現場環境改善費（率計上）		式		1		
共通仮設費（率計上）		式		1		
純工事費		式		1		
現場管理費		式		1		
工事原価		式		1		
一般管理費等		式		1		

工事数量総括表

工事名	安来電線共同溝PFI事業（１工区）	（ 当　　初 ）

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減	摘要
工事価格		式		1		
消費税相当額		式		1		
工事費計		式		1		

工　事　数　量　総　括　表

工 事 名　　安来電線共同溝PFI事業（２工区）

国土交通省　中国地方整備局
松江国道事務所　管理第二課

工事数量総括表

工事名	安来電線共同溝PFI事業（２工区）	（ 当　　初 ）

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減	摘要
電線共同溝 (上り線 2工区)		式		1		
仮設工		式		1		
仮舗装工 仮舗装(A)		式		1		
仮舗装工 仮舗装(B)		式		1		
土留･仮締切工		式		1		
交通管理工		式		1		
舗装版撤去工		式		1		
舗装版破砕工		式		1		
殻運搬 (夜間)	ｱｽﾌｧﾙﾄ殻	m3		56		
殻処分 (夜間)	ｱｽﾌｧﾙﾄ殻	m3		56		
舗装版切断 (夜間)	ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版 15cm以下	m		830		

工事数量総括表

工事名	安来電線共同溝PFI事業（２工区）	（ 当　　初 ）

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減	摘要
舗装版切断 （夜間）	ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版 15cm超30cm以下	m		340		
舗装版破砕 （夜間）	ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版 15cm超35cm以下	m2		600		
開削土工		式		1		
掘削工		式		1		
開削掘削 （夜間）		式		1		
埋戻し工		式		1		
埋戻し・締固め （夜間）	土砂	式		1		
埋戻し・締固め （夜間）	中埋砂	式		1		
残土処理工		式		1		
電線共同溝工		式		1		
管路工(管路部)		式		1		

工事数量総括表

工事名	安来電線共同溝PFI事業（２工区）	（ 当　　初 ）

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減	摘要
埋設管路 (夜間)	HIVP管 直管 径 125mm	m		361		
埋設管路 (夜間)	HIVP管 直管 径 100mm	m		309		
埋設管路 (夜間)	PV管 直管 径 75mm	m		437		
埋設管路 (夜間)	PV管 直管 径 50mm	m		195		
埋設管路 (夜間)	VP管 直管 径 100mm	m		61		
埋設管路 (夜間)	VP管 直管 径 150mm	m		73		
埋設管路 (夜間)	VP管 直管 径 250mm	m		84		
埋設管路 (夜間)	HIVP管 曲管(R10) 径 125mm	m		418		
埋設管路 (夜間)	HIVP管 曲管(R10) 径 100mm	m		434		
埋設管路 (夜間)	PV管 曲管(R10) 径 75mm	m		418		
埋設管路 (夜間)	PV管 曲管(R10) 径 50mm	m		105		

工事数量総括表

工事名	安来電線共同溝PFI事業（２工区）	（ 当　　初 ）

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減	摘要
埋設管路 (夜間)	VP管 曲管(R10) 径 100mm	m		105		
埋設管路 (夜間)	VP管 曲管(R10) 径 150mm	m		116		
埋設管路 (夜間)	VP管 曲管(R10) 径 250mm	m		105		
埋設管路 (夜間)	HIVP管 曲管(R6) 径 125mm	m		40		
埋設管路 (夜間)	HIVP管 曲管(R6) 径 100mm	m		72		
埋設管路 (夜間)	PV管 曲管(R6) 径 75mm	m		40		
埋設管路 (夜間)	PV管 曲管(R6) 径 50mm	m		10		
埋設管路 (夜間)	VP管 曲管(R6) 径 100mm	m		33		
埋設管路 (夜間)	VP管 曲管(R6) 径 150mm	m		17		
埋設管路 (夜間)	VP管 曲管(R6) 径 250mm	m		10		
管路管台 (夜間)	HIVP管用 φ125-250P	個		1,919		

工事数量総括表

工事名	安来電線共同溝PFI事業（２工区）	（ 当　　初 ）

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減	摘要
管路管台 (夜間)	HIVP管用　φ100-150P	個		1,962		
管路管台 (夜間)	PV管用　φ75-130P	個		1,106		
管路管台 (夜間)	PV管用　φ50-95P	個		210		
管路管台 (夜間)	VP管用　φ100-150P	個		165		
管路管台 (夜間)	VP管用　φ150-220P	個		165		
管路管台 (夜間)	VP管用　φ250-350P	個		204		
中間継手 (夜間)	HIVPφ125用	個		16		
中間継手 (夜間)	HIVPφ100用	個		21		
中間継手 (夜間)	PVφ75用	個		24		
中間継手 (夜間)	PVφ50用	個		15		
中間継手 (夜間)	VPφ100用	個		9		

工事数量総括表

工事名	安来電線共同溝PFI事業（２工区）	（ 当　　初 ）

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減	摘要
中間継手 (夜間)	VPφ150用	個		4		
中間継手 (夜間)	VPφ250用	個		2		
鞘管固定管(起点用) (夜間)	VP管　φ250用	個		3		
鞘管固定管(終点用) (夜間)	VP管　φ250用	個		2		
埋設表示ｼｰﾄ (夜間)	W=300 2倍	m		743		
敷砂 (夜間)		m3		23		
ﾌﾟﾚｷｬｽﾄﾎﾞｯｸｽ工(特殊部)		式		1		
ﾌﾟﾚｷｬｽﾄﾎﾞｯｸｽ (夜間)	3.7ﾀｲﾌﾟ S型 内幅 1.35m 内高 1.8m RC-40	個		1		
ﾌﾟﾚｷｬｽﾄﾎﾞｯｸｽ (夜間)	3.7ﾀｲﾌﾟ S型 内幅 1.35m 内高 2.2m RC-40	個		1		
ﾌﾟﾚｷｬｽﾄﾎﾞｯｸｽ (夜間)	4.5ﾀｲﾌﾟ S型 内幅 1.35m 内高 2.2m RC-40	個		2		
ﾌﾟﾚｷｬｽﾄﾎﾞｯｸｽ 分岐桝(夜間)	1.2ﾀｲﾌﾟ 内幅 0.6m 内高 0.415m RC-40	個		5		

工事数量総括表

工事名	安来電線共同溝PFI事業（２工区）	（ 当　　初 ）

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減	摘要
ﾍﾞﾙﾏｳｽ		式		1		
情報ﾎﾞｯｸｽ工		式		1		
作業土工		式		1		
管路工(管路部)		式		1		
埋設管路 (夜間)	合成樹脂製 径 300ｍｍ	m		164		
埋設管路 (夜間)	鋼製 径 50ｍｍ	m		31		
埋設表示ｼｰﾄ (夜間)	W=300 2倍	m		164		
敷砂 (夜間)		m3		16		
管路防護工		式		1		
防護ｺﾝｸﾘｰﾄ (夜間)		箇所		1		
ﾊﾝﾄﾞﾎｰﾙ工		式		1		

工事数量総括表

工事名	安来電線共同溝PFI事業（２工区）	（ 当　　初 ）

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減	摘要
ﾊｯﾄﾞﾎｰﾙ （夜間）	B1000×H1000×L1500	箇所		1		
ﾊｯﾄﾞﾎｰﾙ （夜間）	B600×H1100×L600	箇所		2		
道路改良 （上り線 2工区）		式		1		
道路土工		式		1		
残土処理工		式		1		
排水構造物工		式		1		
作業土工		式		1		
側溝工		式		1		
縁石管渠A1 （夜間）	φ150	m		153		
縁石管渠B （夜間）	φ150	m		22		
縁石管渠C （夜間）	φ150	m		21		

工事数量総括表

工事名	安来電線共同溝PFI事業（２工区）	（ 当　　初 ）

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減	摘要
縁石管渠D(L) (夜間)	φ150	m		4		
縁石管渠D(R) (夜間)	φ150	m		4		
縁石管渠桝A (夜間)	φ150	箇所		13		
縁石管渠桝B (夜間)	φ150	箇所		2		
舗装工		式		1		
排水性舗装工 車道舗装(A)		式		1		
下層路盤(車道・路肩部) (夜間)	再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ RC-40 仕上り厚 200mm	m2		377		
上層路盤(車道・路肩部) (夜間)	粒度調整砕石 M-40 仕上り厚 150mm	m2		377		
上層路盤(車道・路肩部) (夜間)	再生As安定処理(30) 仕上り厚 80mm	m2		377		
基層(車道・路肩部) (夜間)	再生粗粒度Asﾎﾟﾘﾏｰ改質Ⅰ型(20) 舗装厚 50ｍｍ 1.4m以上	m2		377		
排水性舗装・表層（車道・路肩部） (夜間)	ﾎﾟｰﾗｽAs(13) 舗装厚 50ｍｍ 2.4m以上	m2		377		

工事数量総括表

工事名	安来電線共同溝PFI事業（２工区）	（ 当　　初 ）

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減	摘要
透水性舗装工 歩道舗装(A)		式		1		
ﾌｨﾙﾀｰ層 （夜間）	砂(ｸｯｼｮﾝ用) 仕上り厚 50ｍｍ	m2		507		
下層路盤(歩道部) （夜間）	再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ RC-30 仕上り厚 100ｍｍ	m2		507		
表層 （夜間）	透水性As(13) 1.4m以上 舗装厚 40ｍｍ	m2		507		
透水性舗装工 歩道舗装(B)		式		1		
ﾌｨﾙﾀｰ層 （夜間）	砂(ｸｯｼｮﾝ用) 仕上り厚 50ｍｍ	m2		59		
下層路盤(歩道部) （夜間）	再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ RC-40 仕上り厚 150ｍｍ	m2		59		
表層 （夜間）	透水性As　1.4m以上 舗装厚 50ｍｍ	m2		59		
縁石工		式		1		
縁石工		式		1		
歩車道境界ﾌﾞﾛｯｸ 縁石工A（夜間）	C種(180/210×300×600)	m		37		

工事数量総括表

工事名	安来電線共同溝PFI事業（２工区）　　（ 当　　初 ）

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減	摘要
歩車道境界ﾌﾞﾛｯｸ 縁石工C（夜間）	B種(180/205×250×600)	m		4		
道路付属施設工		式		1		
照明工		式		1		
照明柱基礎 2号(夜間)	抵抗板付鋼製基礎	基		1		
照明柱基礎 3号(夜間)	抵抗板付鋼製基礎	基		3		
照明柱 R-6(夜間)		基		1		
照明柱 R-7(夜間)		基		1		
照明柱 R-9(夜間)		基		1		
照明柱 R-10(夜間)		基		1		
構造物撤去工		式		1		
構造物取壊し工		式		1		

工事数量総括表

工事名	安来電線共同溝PFI事業（２工区）	（ 当　　初 ）

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減	摘要
舗装版破砕 （夜間）	ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版 15cm以下	m2		940		
運搬処理工		式		1		
殻運搬 （夜間）	ｱｽﾌｧﾙﾄ殻	m3		42		
殻処分 （夜間）	ｱｽﾌｧﾙﾄ殻	m3		42		
直接工事費		式		1		
共通仮設費		式		1		
共通仮設費		式		1		
運搬費		式		1		
仮設材運搬費		式		1		
準備費		式		1		
試掘		箇所		4		

工事数量総括表

工事名	安来電線共同溝PFI事業（２工区）	（ 当　　初 ）

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減	摘要
技術管理費		式		1		
道路施設基本ﾃﾞｰﾀ作成費用		式		1		
現場環境改善費（率計上）		式		1		
共通仮設費（率計上）		式		1		
純工事費		式		1		
現場管理費		式		1		
工事原価		式		1		
一般管理費等		式		1		
工事価格		式		1		
消費税相当額		式		1		
工事費計		式		1		

工　事　数　量　総　括　表

工 事 名　　安来電線共同溝PFI事業（３工区）

国土交通省　中国地方整備局
松江国道事務所　管理第二課

工事数量総括表

工事名	安来電線共同溝PFI事業（３工区）	（ 当　　初 ）

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減	摘要
電線共同溝 (上り線 3工区)		式		1		
仮設工		式		1		
路面覆工		式		1		
仮舗装工 仮舗装(A)		式		1		
仮舗装工 仮舗装(B)		式		1		
土留･仮締切工		式		1		
固結工		式		1		
交通管理工		式		1		
舗装版撤去工		式		1		
舗装版破砕工		式		1		
殻運搬 (夜間)	ｱｽﾌｧﾙﾄ殻	m3		48		

工事数量総括表

工事名	安来電線共同溝PFI事業（３工区）	（ 当　　初 ）

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減	摘要
殻処分 （夜間）	ｱｽﾌｧﾙﾄ殻	m3		48		
舗装版切断 （夜間）	ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版 15cm以下	m		690		
舗装版切断 （夜間）	ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版 15cm超30cm以下	m		330		
舗装版破砕 （夜間）	ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版 15cm超35cm以下	m2		560		
開削土工		式		1		
掘削工		式		1		
開削掘削 （夜間）		式		1		
埋戻し工		式		1		
埋戻し・締固め （夜間）	土砂	式		1		
埋戻し・締固め （夜間）	中埋砂	式		1		
残土処理工		式		1		

工事数量総括表

工事名	安来電線共同溝PFI事業（３工区）	（ 当　　初 ）

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減	摘要
電線共同溝工		式		1		
管路工(管路部)		式		1		
埋設管路 (夜間)	HIVP管 直管 径 125mm	m		333		
埋設管路 (夜間)	HIVP管 直管 径 100mm	m		355		
埋設管路 (夜間)	PV管 直管 径 75mm	m		418		
埋設管路 (夜間)	PV管 直管 径 50mm	m		208		
埋設管路 (夜間)	VP管 直管 径 100mm	m		68		
埋設管路 (夜間)	VP管 直管 径 150mm	m		113		
埋設管路 (夜間)	VP管 直管 径 250mm	m		81		
埋設管路 (夜間)	HIVP管 曲管(R10) 径 125mm	m		441		
埋設管路 (夜間)	HIVP管 曲管(R10) 径 100mm	m		424		

工事数量総括表

工事名	安来電線共同溝PFI事業（３工区）	（ 当　　初 ）

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減	摘要
埋設管路 (夜間)	PV管 曲管(R10) 径 75mm	m		429		
埋設管路 (夜間)	PV管 曲管(R10) 径 50mm	m		132		
埋設管路 (夜間)	VP管 曲管(R10) 径 100mm	m		107		
埋設管路 (夜間)	VP管 曲管(R10) 径 150mm	m		94		
埋設管路 (夜間)	VP管 曲管(R10) 径 250mm	m		108		
埋設管路 (夜間)	HIVP管 曲管(R6) 径 125mm	m		40		
埋設管路 (夜間)	HIVP管 曲管(R6) 径 100mm	m		57		
埋設管路 (夜間)	PV管 曲管(R6) 径 75mm	m		40		
埋設管路 (夜間)	PV管 曲管(R6) 径 50mm	m		10		
埋設管路 (夜間)	VP管 曲管(R6) 径 100mm	m		24		
埋設管路 (夜間)	VP管 曲管(R6) 径 150mm	m		14		

工事数量総括表

工事名	安来電線共同溝PFI事業（３工区）	（ 当　　初 ）

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減	摘要
埋設管路 (夜間)	VP管 曲管(R6) 径 250ｍｍ	m		10		
管路管台 (夜間)	HIVP管用 φ125-250P	個		1,947		
管路管台 (夜間)	HIVP管用 φ100-150P	個		1,972		
管路管台 (夜間)	PV管用 φ75-130P	個		1,138		
管路管台 (夜間)	PV管用 φ50-95P	個		240		
管路管台 (夜間)	VP管用 φ100-150P	個		162		
管路管台 (夜間)	VP管用 φ150-220P	個		158		
管路管台 (夜間)	VP管用 φ250-350P	個		208		
中間継手 (夜間)	HIVPφ125用	個		16		
中間継手 (夜間)	HIVPφ100用	個		20		
中間継手 (夜間)	PVφ75用	個		25		

工事数量総括表

工事名	安来電線共同溝PFI事業（３工区）	（ 当　　初 ）

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減	摘要
中間継手 (夜間)	PVφ50用	個		18		
中間継手 (夜間)	VPφ100用	個		7		
中間継手 (夜間)	VPφ150用	個		4		
中間継手 (夜間)	VPφ250用	個		1		
鞘管固定管(起点用) (夜間)	VP管　φ250用	個		3		
鞘管固定管(終点用) (夜間)	VP管　φ250用	個		1		
埋設表示ｼｰﾄ (夜間)	W=300 2倍	m		684		
敷砂 (夜間)		m3		18		
ﾌﾟﾚｷｬｽﾄﾎﾞｯｸｽ工(特殊部)		式		1		
ﾌﾟﾚｷｬｽﾄﾎﾞｯｸｽ (夜間)	3.7ﾀｲﾌﾟ S型 内幅 1.35m 内高 1.8m RC-40	個		1		
ﾌﾟﾚｷｬｽﾄﾎﾞｯｸｽ (夜間)	4.5ﾀｲﾌﾟ S型 内幅 1.35m 内高 1.8m RC-40	個		1		

工事数量総括表

工事名	安来電線共同溝PFI事業（３工区）	（ 当　　初 ）

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減	摘要
ﾌﾟﾚｷｬｽﾄﾎﾞｯｸｽ（夜間）	4.5ﾀｲﾌﾟ S型 内幅 1.3m 内高 1.8m RC-40	個		1		
ﾌﾟﾚｷｬｽﾄﾎﾞｯｸｽ（夜間）	3.7ﾀｲﾌﾟ S型 内幅 1.3m 内高 2.2m RC-40	個		1		
ﾌﾟﾚｷｬｽﾄﾎﾞｯｸｽ分岐桝(夜間)	1.2ﾀｲﾌﾟ 内幅 0.6m 内高 0.415m RC-40	個		3		
ﾍﾞﾙﾏｳｽ		式		1		
情報ﾎﾞｯｸｽ工		式		1		
作業土工		式		1		
管路工(管路部)		式		1		
埋設管路（夜間）	合成樹脂製 径 300mm	m		155		
埋設管路（夜間）	鋼製 径 50mm	m		44		
埋設表示ｼｰﾄ（夜間）	W=300 2倍	m		155		
敷砂（夜間）		m3		15		

工事数量総括表

工事名	安来電線共同溝PFI事業（３工区）	（ 当　　初 ）

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減	摘要
道路改良 （上り線 3工区）		式		1		
道路土工		式		1		
残土処理工		式		1		
排水構造物工		式		1		
作業土工		式		1		
側溝工		式		1		
自由勾配側溝 （夜間）	幅 30ｃｍ 高さ 70ｃｍ	m		28		
自由勾配側溝 （夜間）	幅 30ｃｍ 高さ 80ｃｍ	m		18		
自由勾配側溝 （夜間）	幅 30ｃｍ 高さ 100ｃｍ	m		4		
管渠工		式		1		
鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ台付管 （夜間）	φ300	m		9		

工事数量総括表

工事名	安来電線共同溝PFI事業（３工区）	（ 当　　初 ）

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減	摘要
舗装工		式		1		
排水性舗装工 車道舗装(A)		式		1		
下層路盤(車道・路肩部) (夜間)	再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ RC-40 仕上り厚 200mm	m2		269		
上層路盤(車道・路肩部) (夜間)	粒度調整砕石 M-40 仕上り厚 150mm	m2		269		
上層路盤(車道・路肩部) (夜間)	再生As安定処理(30) 仕上り厚 80mm	m2		269		
基層(車道・路肩部) (夜間)	再生粗粒度Asﾎﾟﾘﾏｰ改質Ⅰ型(20) 舗装厚 50mm 1.4m以上	m2		269		
排水性舗装・表層（車道・路肩部） (夜間)	ﾎﾟｰﾗｽAs(13) 舗装厚 50mm 2.4m以上	m2		269		
透水性舗装工 歩道舗装(A)		式		1		
ﾌｨﾙﾀｰ層 (夜間)	砂(ｸｯｼｮﾝ用) 仕上り厚 50mm	m2		1,610		
下層路盤(歩道部) (夜間)	再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ RC-30 仕上り厚 100mm	m2		1,610		
表層 (夜間)	透水性As(13) 1.4m以上 舗装厚 40mm	m2		1,610		

工事数量総括表

工事名	安来電線共同溝PFI事業（３工区）	（ 当　　初 ）

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減	摘要
透水性舗装工 歩道舗装(B)		式		1		
ﾌｨﾙﾀｰ層 （夜間）	砂(ｸｯｼｮﾝ用) 仕上り厚 50ｍｍ	m2		317		
下層路盤(歩道部) （夜間）	再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ RC-40 仕上り厚 150ｍｍ	m2		317		
表層 （夜間）	透水性As　　1.4m以上 舗装厚 50ｍｍ	m2		317		
縁石工		式		1		
縁石工		式		1		
歩車道境界ﾌﾞﾛｯｸ 縁石工A（夜間）	C種(180/210×300×600)	m		31		
歩車道境界ﾌﾞﾛｯｸ 縁石工B（夜間）	B種(180/205×250×600)	m		21		
歩車道境界ﾌﾞﾛｯｸ 縁石工C（夜間）	B種(180/205×250×600)	m		13		
歩車道境界ﾌﾞﾛｯｸ 縁石工D(L)（夜間）	C種(180/210×300×600)	m		2		
歩車道境界ﾌﾞﾛｯｸ 縁石工D(R)（夜間）	C種(180/210×300×600)	m		3		

工事数量総括表

工事名	安来電線共同溝PFI事業（３工区）　　（ 当　　初 ）

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減	摘要
道路付属施設工		式		1		
照明工		式		1		
照明柱基礎 3号(夜間)	抵抗板付鋼製基礎	基		4		
照明柱 R-12(夜間)		基		1		
照明柱 R-13(夜間)		基		1		
照明柱 R-15(夜間)		基		1		
照明柱 R-16(夜間)		基		1		
構造物撤去工		式		1		
構造物取壊し工		式		1		
舗装版破砕 (夜間)	ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版 15cm以下	m2		2,190		
運搬処理工		式		1		

工事数量総括表

工事名	安来電線共同溝PFI事業（３工区）	（ 当　　初 ）

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減	摘要
殻運搬 （夜間）	ｱｽﾌｧﾙﾄ殻	m3		90		
殻処分 （夜間）	ｱｽﾌｧﾙﾄ殻	m3		90		
直接工事費		式		1		
共通仮設費		式		1		
共通仮設費		式		1		
運搬費		式		1		
仮設材運搬費		式		1		
準備費		式		1		
試掘		箇所		4		
事業損失防止施設費		式		1		
事業損失防止施設費 （夜間）		式		1		

工事数量総括表

工事名	安来電線共同溝PFI事業（３工区）	（ 当　　初 ）

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減	摘要
技術管理費		式		1		
道路施設基本ﾃﾞｰﾀ作成費用		式		1		
現場環境改善費（率計上）		式		1		
共通仮設費（率計上）		式		1		
純工事費		式		1		
現場管理費		式		1		
工事原価		式		1		
一般管理費等		式		1		
工事価格		式		1		
消費税相当額		式		1		
工事費計		式		1		

工　事　数　量　総　括　表

工 事 名　　安来電線共同溝PFI事業（４工区）

国土交通省　中国地方整備局
松江国道事務所　管理第二課

工事数量総括表

工事名	安来電線共同溝PFI事業（４工区）	（ 当　　初 ）

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減	摘要
電線共同溝 （上り線 4工区）		式		1		
仮設工		式		1		
路面覆工		式		1		
仮舗装工 仮舗装(A)		式		1		
仮舗装工 仮舗装(B)		式		1		
土留･仮締切工		式		1		
固結工		式		1		
薬液注入 （夜間）		本		12		
交通管理工		式		1		
舗装版撤去工		式		1		
舗装版破砕工		式		1		

工事数量総括表

工事名	安来電線共同溝PFI事業（４工区）	（ 当　　初 ）

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減	摘要
殻運搬 （夜間）	ｱｽﾌｧﾙﾄ殻	m3		59		
殻処分 （夜間）	ｱｽﾌｧﾙﾄ殻	m3		59		
舗装版切断 （夜間）	ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版 15cm以下	m		1,320		
舗装版切断 （夜間）	ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版 舗装厚 180ｍｍ	m		260		
舗装版破砕 （夜間）	ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版 15cm超35cm以下	m2		780		
開削土工		式		1		
掘削工		式		1		
開削掘削 （夜間）		式		1		
埋戻し工		式		1		
埋戻し・締固め （夜間）	土砂	式		1		
埋戻し・締固め （夜間）	中埋砂	式		1		

工事数量総括表

工事名	安来電線共同溝PFI事業（４工区）	（ 当　　初 ）

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減	摘要
残土処理工		式		1		
電線共同溝工		式		1		
管路工(管路部)		式		1		
埋設管路（夜間）	HIVP管 直管 径 125mm	m		490		
埋設管路（夜間）	HIVP管 直管 径 100mm	m		449		
埋設管路（夜間）	PV管 直管 径 75mm	m		514		
埋設管路（夜間）	PV管 直管 径 50mm	m		323		
埋設管路（夜間）	VP管 直管 径 100mm	m		105		
埋設管路（夜間）	VP管 直管 径 150mm	m		109		
埋設管路（夜間）	VP管 直管 径 250mm	m		89		
埋設管路（夜間）	HIVP管 曲管(R10) 径 125mm	m		484		

工事数量総括表

工事名	安来電線共同溝PFI事業（４工区）	（ 当　　初 ）

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減	摘要
埋設管路 (夜間)	HIVP管 曲管(R10) 径 100mm	m		509		
埋設管路 (夜間)	PV管 曲管(R10) 径 75mm	m		513		
埋設管路 (夜間)	PV管 曲管(R10) 径 50mm	m		177		
埋設管路 (夜間)	VP管 曲管(R10) 径 100mm	m		126		
埋設管路 (夜間)	VP管 曲管(R10) 径 150mm	m		123		
埋設管路 (夜間)	VP管 曲管(R10) 径 250mm	m		130		
埋設管路 (夜間)	HIVP管 曲管(R6) 径 100mm	m		6		
埋設管路 (夜間)	VP管 曲管(R6) 径 100mm	m		6		
管路管台 (夜間)	HIVP管用 φ125-250P	個		2,239		
管路管台 (夜間)	HIVP管用 φ100-150P	個		2,081		
管路管台 (夜間)	PV管用 φ75-130P	個		1,256		

工事数量総括表

工事名	安来電線共同溝PFI事業（４工区）	（ 当　　初 ）

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減	摘要
管路管台 (夜間)	PV管用　φ50-95P	個		368		
管路管台 (夜間)	VP管用　φ100-150P	個		178		
管路管台 (夜間)	VP管用　φ150-220P	個		174		
管路管台 (夜間)	VP管用　φ250-350P	個		312		
中間継手 (夜間)	HIVPφ125用	個		32		
中間継手 (夜間)	HIVPφ100用	個		36		
中間継手 (夜間)	PVφ75用	個		37		
中間継手 (夜間)	PVφ50用	個		32		
中間継手 (夜間)	VPφ100用	個		11		
中間継手 (夜間)	VPφ150用	個		5		
中間継手 (夜間)	VPφ250用	個		5		

工事数量総括表

工事名	安来電線共同溝PFI事業（４工区）	（ 当　　初 ）

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減	摘要
鞘管固定管(起点用) (夜間)	VP管　φ250用	個		5		
鞘管固定管(終点用) (夜間)	VP管　φ250用	個		5		
埋設表示ｼｰﾄ (夜間)	W=300 2倍	m		812		
敷砂 (夜間)		m3		30		
ﾌﾟﾚｷｬｽﾄﾎﾞｯｸｽ工(特殊部)		式		1		
ﾌﾟﾚｷｬｽﾄﾎﾞｯｸｽ (夜間)	3.7ﾀｲﾌﾟ S型 内幅 1.35m 内高 1.8m RC-40	個		1		
ﾌﾟﾚｷｬｽﾄﾎﾞｯｸｽ (夜間)	4.5ﾀｲﾌﾟ S型 内幅 1.35m 内高 1.8m RC-40	個		1		
ﾌﾟﾚｷｬｽﾄﾎﾞｯｸｽ (夜間)	4.5ﾀｲﾌﾟ L型 内幅 1.35/2.15m 内高 1.8m RC-40	個		2		
ﾌﾟﾚｷｬｽﾄﾎﾞｯｸｽ (夜間)	3.7ﾀｲﾌﾟ S型 内幅 1.3m 内高 1.8m RC-40	個		1		
ﾌﾟﾚｷｬｽﾄﾎﾞｯｸｽ (夜間)	2.2ﾀｲﾌﾟ 路上変圧器用 内幅 1m 内高 1.5m RC-40	個		2		
ﾌﾟﾚｷｬｽﾄﾎﾞｯｸｽ (夜間)	2.2ﾀｲﾌﾟ 高圧開閉器用 内幅 1m 内高 1.5m RC-40	個		2		

工事数量総括表

工事名	安来電線共同溝PFI事業（４工区）	（ 当　　初 ）

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減	摘要
ﾌﾟﾚｷｬｽﾄﾎﾞｯｸｽ 通信基点桝(夜間)	2.2ﾀｲﾌﾟ 内幅 0.95m 内高 1.5m RC-40	個		1		
ﾌﾟﾚｷｬｽﾄﾎﾞｯｸｽ 分岐桝(夜間)	1.2ﾀｲﾌﾟ 内幅 0.6m 内高 0.415m RC-40	個		2		
ﾍﾞﾙﾏｳｽ		式		1		
情報ﾎﾞｯｸｽ工		式		1		
作業土工		式		1		
管路工(管路部)		式		1		
埋設管路 (夜間)	合成樹脂製 径 300ｍｍ	m		125		
埋設管路 (夜間)	鋼製 径 50ｍｍ	m		18		
埋設表示ｼｰﾄ (夜間)	W=300 2倍	m		125		
敷砂 (夜間)		m3		13		
管路防護工		式		1		

工事数量総括表

工事名	安来電線共同溝PFI事業（４工区）	（ 当　　初 ）

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減	摘要
防護ｺﾝｸﾘｰﾄ （夜間）		箇所		1		
ﾊﾝﾄﾞﾎｰﾙ工		式		1		
ﾊﾝﾄﾞﾎｰﾙ （夜間）	B1000×H1000×L1500	箇所		1		
ﾊﾝﾄﾞﾎｰﾙ （夜間）	B600×H1100×L600	箇所		2		
道路改良 （上り線 4工区）		式		1		
道路土工		式		1		
残土処理工		式		1		
排水構造物工		式		1		
作業土工		式		1		
側溝工		式		1		
自由勾配側溝 （夜間）	幅 30ｃｍ 高さ 70ｃｍ	m		42		

工事数量総括表

工事名	安来電線共同溝PFI事業（４工区）	（ 当　　初 ）

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減	摘要
自由勾配側溝 (夜間)	幅 30ｃｍ 高さ 80ｃｍ	m		29		
自由勾配側溝 (夜間)	幅 30ｃｍ 高さ 90ｃｍ	m		23		
自由勾配側溝 (夜間)	幅 30ｃｍ 高さ 100ｃｍ	m		14		
自由勾配側溝 (夜間)	幅 30ｃｍ 高さ 110ｃｍ	m		12		
自由勾配側溝 (夜間)	幅 30ｃｍ 高さ 140ｃｍ	m		6		
管渠工		式		1		
鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ台付管 (夜間)	φ300	m		12		
舗装工		式		1		
排水性舗装工 車道舗装(A)		式		1		
下層路盤(車道・路肩部) (夜間)	再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ RC-40 仕上り厚 200mm	m2		380		
上層路盤(車道・路肩部) (夜間)	粒度調整砕石 M-40 仕上り厚 150mm	m2		380		

工事数量総括表

工事名	安来電線共同溝PFI事業（４工区）	（ 当　　初 ）

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減	摘要
上層路盤(車道・路肩部) (夜間)	再生As安定処理(30) 仕上り厚 80mm	m2		380		
基層(車道・路肩部) (夜間)	再生粗粒度Asﾎﾟﾘﾏｰ改質Ⅰ型(20) 舗装厚 50mm 1.4m以上	m2		380		
排水性舗装・表層（車道・路肩部） (夜間)	ﾎﾟｰﾗｽAs(13) 舗装厚 50mm 2.4m以上	m2		380		
透水性舗装工 歩道舗装(A)		式		1		
ﾌｨﾙﾀｰ層 (夜間)	砂(ｸｯｼｮﾝ用) 仕上り厚 50mm	m2		533		
下層路盤(歩道部) (夜間)	再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ RC-30 仕上り厚 100mm	m2		533		
表層 (夜間)	透水性As(13) 1.4m以上 舗装厚 40mm	m2		533		
透水性舗装工 歩道舗装(B)		式		1		
ﾌｨﾙﾀｰ層 (夜間)	砂(ｸｯｼｮﾝ用) 仕上り厚 50mm	m2		312		
下層路盤(歩道部) (夜間)	再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ RC-40 仕上り厚 150mm	m2		312		
表層 (夜間)	透水性As　1.4m以上 舗装厚 50mm	m2		312		

工事数量総括表

工事名	安来電線共同溝PFI事業（４工区）　　（ 当　　初 ）

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減	摘要
縁石工		式		1		
縁石工		式		1		
歩車道境界ﾌﾞﾛｯｸ 縁石工A（夜間）	C種(180/210×300×600)	m		50		
歩車道境界ﾌﾞﾛｯｸ 縁石工B（夜間）	B種(180/205×250×600)	m		65		
歩車道境界ﾌﾞﾛｯｸ 縁石工C（夜間）	B種(180/205×250×600)	m		24		
歩車道境界ﾌﾞﾛｯｸ 縁石工D(R)（夜間）	C種(180/210×300×600)	m		5		
歩車道境界ﾌﾞﾛｯｸ 縁石工D(L)（夜間）	C種(180/210×300×600)	m		5		
道路付属施設工		式		1		
照明工		式		1		
照明柱基礎 1号(夜間)	抵抗板付鋼製基礎	基		1		
照明柱基礎 3号(夜間)	抵抗板付鋼製基礎	基		1		

工事数量総括表

工事名	安来電線共同溝PFI事業（４工区）	（ 当　　初 ）

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減	摘要
照明柱基礎 4号(夜間)	抵抗板付鋼製基礎	基		1		
照明柱 R-17(夜間)		基		1		
照明柱 R-18(夜間)		基		1		
照明柱 R-19(夜間)		基		1		
構造物撤去工		式		1		
構造物取壊し工		式		1		
舗装版破砕 (夜間)	ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版 15cm以下	m2		1,230		
運搬処理工		式		1		
殻運搬 (夜間)	ｱｽﾌｧﾙﾄ殻	m3		53		
殻処分 (夜間)	ｱｽﾌｧﾙﾄ殻	m3		53		
直接工事費		式		1		

工事数量総括表

工事名	安来電線共同溝PFI事業（４工区）	（ 当　　初 ）

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減	摘要
共通仮設費		式		1		
共通仮設費		式		1		
運搬費		式		1		
仮設材運搬費		式		1		
準備費		式		1		
試掘		箇所		9		
事業損失防止施設費		式		1		
事業損失防止施設費（夜間）		式		1		
技術管理費		式		1		
道路施設基本ﾃﾞｰﾀ作成費用		式		1		
現場環境改善費（率計上）		式		1		

工事数量総括表

工事名	安来電線共同溝PFI事業（４工区）	（ 当　　初 ）

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減	摘要
共通仮設費（率計上）		式		1		
純工事費		式		1		
現場管理費		式		1		
工事原価		式		1		
一般管理費等		式		1		
工事価格		式		1		
消費税相当額		式		1		
工事費計		式		1		

工　事　数　量　総　括　表

工 事 名　　安来電線共同溝PFI事業（５工区）

国土交通省　中国地方整備局
松江国道事務所　管理第二課

工事数量総括表

工事名	安来電線共同溝PFI事業（５工区）	（ 当　　初 ）

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減	摘要
電線共同溝 (上り線 5工区)		式		1		
仮設工		式		1		
路面覆工		式		1		
仮舗装工 仮舗装(A)		式		1		
仮舗装工 仮舗装(B)		式		1		
土留･仮締切工		式		1		
水路補強工		式		1		
交通管理工		式		1		
舗装版撤去工		式		1		
舗装版破砕工		式		1		
殻運搬 (夜間)	ｱｽﾌｧﾙﾄ殻	m3		46		

工事数量総括表

工事名	安来電線共同溝PFI事業（５工区）	（ 当　　初 ）

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減	摘要
殻処分 （夜間）	ｱｽﾌｧﾙﾄ殻	m3		46		
舗装版切断 （夜間）	ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版 15cm以下	m		700		
舗装版切断 （夜間）	ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版 15cm超30cm以下	m		270		
舗装版破砕 （夜間）	ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版 15cm超35cm以下	m2		510		
開削土工		式		1		
掘削工		式		1		
開削掘削 （夜間）		式		1		
埋戻し工		式		1		
埋戻し・締固め （夜間）	土砂	式		1		
埋戻し・締固め （夜間）	中埋砂	式		1		
残土処理工		式		1		

工事数量総括表

工事名	安来電線共同溝PFI事業（５工区）	（ 当　　初 ）

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減	摘要
電線共同溝工		式		1		
管路工(管路部)		式		1		
埋設管路 (夜間)	HIVP管 直管 径 125mm	m		376		
埋設管路 (夜間)	HIVP管 直管 径 100mm	m		479		
埋設管路 (夜間)	PV管 直管 径 75mm	m		522		
埋設管路 (夜間)	PV管 直管 径 50mm	m		206		
埋設管路 (夜間)	VP管 直管 径 100mm	m		95		
埋設管路 (夜間)	VP管 直管 径 150mm	m		94		
埋設管路 (夜間)	VP管 直管 径 250mm	m		125		
埋設管路 (夜間)	HIVP管 曲管(R10) 径 125mm	m		238		
埋設管路 (夜間)	HIVP管 曲管(R10) 径 100mm	m		335		

工事数量総括表

工事名	安来電線共同溝PFI事業（５工区）	（ 当　　初 ）

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減	摘要
埋設管路 (夜間)	PV管 曲管(R10) 径 75mm	m		357		
埋設管路 (夜間)	PV管 曲管(R10) 径 50mm	m		158		
埋設管路 (夜間)	VP管 曲管(R10) 径 100mm	m		62		
埋設管路 (夜間)	VP管 曲管(R10) 径 150mm	m		80		
埋設管路 (夜間)	VP管 曲管(R10) 径 250mm	m		75		
埋設管路 (夜間)	HIVP管 曲管(R6) 径 125mm	m		36		
埋設管路 (夜間)	HIVP管 曲管(R6) 径 100mm	m		89		
埋設管路 (夜間)	PV管 曲管(R6) 径 75mm	m		55		
埋設管路 (夜間)	PV管 曲管(R6) 径 50mm	m		18		
埋設管路 (夜間)	VP管 曲管(R6) 径 100mm	m		33		
埋設管路 (夜間)	VP管 曲管(R6) 径 150mm	m		23		

工事数量総括表

工事名	安来電線共同溝PFI事業（５工区）	（ 当　　初 ）

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減	摘要
埋設管路 (夜間)	VP管 曲管(R6) 径 250ｍｍ	m		18		
管路管台 (夜間)	HIVP管用 φ125-250P	個		1,428		
管路管台 (夜間)	HIVP管用 φ100-150P	個		1,737		
管路管台 (夜間)	PV管用 φ75-130P	個		1,168		
管路管台 (夜間)	PV管用 φ50-95P	個		316		
管路管台 (夜間)	VP管用 φ100-150P	個		138		
管路管台 (夜間)	VP管用 φ150-220P	個		146		
管路管台 (夜間)	VP管用 φ250-350P	個		251		
中間継手 (夜間)	HIVPφ125用	個		8		
中間継手 (夜間)	HIVPφ100用	個		16		
中間継手 (夜間)	PVφ75用	個		10		

工事数量総括表

工事名	安来電線共同溝PFI事業（５工区）	（ 当　　初 ）

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減	摘要
中間継手 (夜間)	PVφ50用	個		3		
中間継手 (夜間)	VPφ100用	個		7		
中間継手 (夜間)	VPφ150用	個		4		
中間継手 (夜間)	VPφ250用	個		2		
鞘管固定管(起点用) (夜間)	VP管　φ250用	個		2		
鞘管固定管(終点用) (夜間)	VP管　φ250用	個		2		
埋設表示ｼｰﾄ (夜間)	W=300 2倍	m		679		
敷砂 (夜間)		m3		13		
ﾌﾟﾚｷｬｽﾄﾎﾞｯｸｽ工(特殊部)		式		1		
ﾌﾟﾚｷｬｽﾄﾎﾞｯｸｽ (夜間)	3.7ﾀｲﾌﾟ S型 内幅 1.35m 内高 1.8m RC-40	個		1		
ﾌﾟﾚｷｬｽﾄﾎﾞｯｸｽ (夜間)	4.5ﾀｲﾌﾟ L型 内幅 1.35/2.15m 内高 1.8m RC-40	個		1		

工事数量総括表

工事名	安来電線共同溝PFI事業（５工区）	（ 当　　初 ）

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減	摘要
ﾌﾟﾚｷｬｽﾄﾎﾞｯｸｽ （夜間）	2.2ﾀｲﾌﾟ 路上変圧器用 内幅 1m 内高 1.5m RC-40	個		1		
ﾌﾟﾚｷｬｽﾄﾎﾞｯｸｽ 通信基点桝(夜間)	2.2ﾀｲﾌﾟ 内幅 0.95m 内高 1.5m RC-40	個		1		
ﾌﾟﾚｷｬｽﾄﾎﾞｯｸｽ 分岐桝(夜間)	1.2ﾀｲﾌﾟ 内幅 0.6m 内高 0.8m RC-40	個		2		
ﾌﾟﾚｷｬｽﾄﾎﾞｯｸｽ 分岐桝(夜間)	1.2ﾀｲﾌﾟ 内幅 0.6m 内高 0.415m RC-40	個		5		
ﾍﾞﾙﾏｳｽ		式		1		
情報ﾎﾞｯｸｽ工		式		1		
作業土工		式		1		
管路工(管路部)		式		1		
埋設管路 （夜間）	合成樹脂製 径 300mm	m		107		
埋設管路 （夜間）	鋼製 径 50mm	m		233		
埋設表示ｼｰﾄ （夜間）	W=300 2倍	m		107		

工事数量総括表

工事名	安来電線共同溝PFI事業（５工区）	（ 当　　初 ）

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減	摘要
敷砂 （夜間）		m3		11		
管路防護工		式		1		
防護ｺﾝｸﾘｰﾄ （夜間）		箇所		1		
ﾊﾝﾄﾞﾎｰﾙ工		式		1		
ﾊﾝﾄﾞﾎｰﾙ （夜間）	B600×H1100×L600	箇所		4		
道路改良 （上り線 5工区）		式		1		
道路土工		式		1		
残土処理工		式		1		
排水構造物工		式		1		
作業土工		式		1		
側溝工		式		1		

工事数量総括表

工事名	安来電線共同溝PFI事業（５工区）	（ 当　　初 ）

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減	摘要
縁石管渠A1 (夜間)	φ150	m		125		
縁石管渠A2 (夜間)	φ150	m		15		
縁石管渠B (夜間)	φ150	m		44		
縁石管渠C (夜間)	φ150	m		9		
縁石管渠D(L) (夜間)	φ150	m		4		
縁石管渠D(R) (夜間)	φ150	m		4		
縁石管渠桝A (夜間)	φ150	箇所		9		
舗装工		式		1		
排水性舗装工 車道舗装(A)		式		1		
下層路盤(車道・路肩部) (夜間)	再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ RC-40 仕上り厚 200mm	m2		286		
上層路盤(車道・路肩部) (夜間)	粒度調整砕石 M-40 仕上り厚 150mm	m2		286		

工事数量総括表

工事名	安来電線共同溝PFI事業（５工区）	（ 当　　初 ）

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減	摘要
上層路盤(車道・路肩部) (夜間)	再生As安定処理(30) 仕上り厚 80mm	m2		286		
基層(車道・路肩部) (夜間)	再生粗粒度Asﾎﾟﾘﾏｰ改質Ⅰ型(20) 舗装厚 50mm 1.4m以上	m2		286		
排水性舗装・表層（車道・路肩部） (夜間)	ﾎﾟｰﾗｽAs(13) 舗装厚 50mm 2.4m以上	m2		286		
透水性舗装工 歩道舗装(A)		式		1		
ﾌｨﾙﾀｰ層 (夜間)	砂(ｸｯｼｮﾝ用) 仕上り厚 50mm	m2		401		
下層路盤(歩道部) (夜間)	再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ RC-30 仕上り厚 100mm	m2		401		
表層 (夜間)	透水性As(13) 1.4m以上 舗装厚 40mm	m2		401		
透水性舗装工 歩道舗装(B)		式		1		
ﾌｨﾙﾀｰ層 (夜間)	砂(ｸｯｼｮﾝ用) 仕上り厚 50mm	m2		41		
下層路盤(歩道部) (夜間)	再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ RC-40 仕上り厚 150mm	m2		41		
表層 (夜間)	透水性As　1.4m以上 舗装厚 50mm	m2		41		

工事数量総括表

工事名	安来電線共同溝PFI事業（５工区）	（ 当　　初 ）

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減	摘要
道路付属施設工		式		1		
照明工		式		1		
照明柱基礎 2号(夜間)	抵抗板付鋼製基礎	基		1		
照明柱基礎 3号(夜間)	抵抗板付鋼製基礎	基		1		
照明柱基礎 4号(夜間)	抵抗板付鋼製基礎	基		1		
照明柱 R-20(夜間)		基		1		
照明柱 R-21(夜間)		基		1		
照明柱 R-22(夜間)		基		1		
構造物撤去工		式		1		
構造物取壊し工		式		1		
舗装版破砕 (夜間)	ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版 15cm以下	m2		730		

工事数量総括表

工事名	安来電線共同溝PFI事業（５工区）	（ 当　　初 ）

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減	摘要
運搬処理工		式		1		
殻運搬 （夜間）	ｱｽﾌｧﾙﾄ殻	m3		32		
殻処分 （夜間）	ｱｽﾌｧﾙﾄ殻	m3		32		
直接工事費		式		1		
共通仮設費		式		1		
共通仮設費		式		1		
運搬費		式		1		
仮設材運搬費		式		1		
準備費		式		1		
試掘		箇所		3		
技術管理費		式		1		

工事数量総括表

工事名	安来電線共同溝PFI事業（５工区）	（ 当　　初 ）

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減	摘要
道路施設基本ﾃﾞｰﾀ作成費用		式		1		
現場環境改善費（率計上）		式		1		
共通仮設費（率計上）		式		1		
純工事費		式		1		
現場管理費		式		1		
工事原価		式		1		
一般管理費等		式		1		
工事価格		式		1		
消費税相当額		式		1		
工事費計		式		1		

工　事　数　量　総　括　表

工 事 名　　安来電線共同溝PFI事業（維持管理等）

国土交通省　中国地方整備局
松江国道事務所　管理第二課

工事数量総括表

工事名	安来電線共同溝PFI事業（維持管理等）　　（ 当　　初 ）

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減	摘要
道路維持		式		1		
応急処理工		式		1		
応急処理作業工		式		1		
労務費（夜間）		人		28		
材料費		式		1		
機械費		式		1		
仮設工		式		1		
交通管理工		式		1		
交通誘導警備員		式		1		
交通誘導警備員		式		1		
直接工事費		式		1		

工事数量総括表

工事名	安来電線共同溝PFI事業（維持管理等）　　（ 当　　初 ）

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減	摘要
共通仮設費		式		1		
共通仮設費		式		1		
現場環境改善費（率計上）		式		1		
共通仮設費（率計上）		式		1		
純工事費		式		1		
現場管理費		式		1		
工事原価		式		1		
一般管理費等		式		1		
業務委託料（設計）		式		1		
業務委託料（地質調査）		式		1		
工事価格		式		1		

工事数量総括表

工事名	安来電線共同溝PFI事業（維持管理等）　　（ 当　　初 ）

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減	摘要
消費税相当額		式		1		
工事費計		式		1		

見積参考資料

見　積　参　考　資　料

工 事 名　　安来電線共同溝PFI事業（１工区）

この「見積参考資料」は入札参加者の適切かつ迅速な見積に資するための資料であり、契約書第１条にいう設計図書ではない。従って「見積参考資料」は請負契約上の拘束力を生じるものではなく、受注者は、施工条件、地質条件等を充分考慮して、仮設、施工方法、安全対策等、工事目的物を完成するための一切の手段について受注者の責任において定めるものとする。

なお、この「見積参考資料」の有効期間は、この工事の入札日までとする。

国土交通省　中国地方整備局
松江国道事務所　管理第二課

見積参考資料

工事名	安来電線共同溝PFI事業（１工区）　（　当　初　）	工種区分	Ｃ・Ｃ・ＢＯＸ工事

工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単　位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参　考　事　項		
						名称	単位	数量
電線共同溝 (上り線 1工区)		式		1				
仮設工		式		1				
路面覆工		式		1				
覆工板･覆工板受桁 (夜間)	設置･撤去	m2		95		覆工板・受桁設置・撤去（設置面積７００ｍ２以下） 作業区分=設置･撤去; ﾗﾌﾃﾚｰﾝｸﾚｰﾝ賃料補正=標準以外; ﾗﾌﾃﾚｰﾝｸﾚｰﾝ賃料補正(実数入力)=1.3 無; 覆工板・鋼製マット賃料 仮設材区分=覆工板(鋼製滑り止め 従来型); 供用月数(実数入力)=9 月; 継続工事の有無=無; 修理費及び損耗費の計上=有; 一現場での使用回数(実数入力)=5 回; 山留材賃料 火打ﾌﾞﾛｯｸの有無=無; 供用日数(実数入力)=273 日; 継続工事の有無=無; 主部材修理費及び損耗費の計上=有; 主部材一現場での使用回数(実数)=5 回/現場; 副部材A修理費及び損耗費の計上=有; 副部材A一現場での使用回数(実)=5 回/現場; 副部材Bの計上=有; 副部材B一現場での使用回数(実)=5 回/現場;	ｍ２ ｍ２ ｔ	95 19 1.6

見積参考資料

工事名	安来電線共同溝PFI事業（１工区）　（　当　初　）	工種区分	Ｃ・Ｃ・ＢＯＸ工事

工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単　位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参　考　事　項		
						名称	単位	数量
敷鉄板 (夜間)	22×1524×3048 設置･撤去	m2		22		敷鉄板設置・撤去 作業区分=設置･撤去; ﾗﾌﾃﾚｰﾝｸﾚｰﾝ賃料補正=標準以外; ﾗﾌﾃﾚｰﾝｸﾚｰﾝ賃料補正(実数入力)=1.3 無; 敷鉄板賃料 敷鉄板の種類=22×1524×3048; 不足分弁償金の有無=無; 供用日数(日)(実数入力)=273 日; 継続工事の有無=無; 整備費の有無=有; 山留材賃料 火打ﾌﾞﾛｯｸの有無=無; 供用日数(実数入力)=273 日; 継続工事の有無=無; 主部材修理費及び損耗費の計上=有; 主部材一現場での使用回数(実数)=5 回/現場; 副部材A修理費及び損耗費の計上=有; 副部材A一現場での使用回数(実)=5 回/現場; 副部材Bの計上=有; 副部材B一現場での使用回数(実)=5 回/現場;	ｍ２ 枚 ｔ	22 1 0.04
仮舗装工 仮舗装(A)		式		1				
下層路盤(歩道部) (夜間)	再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ RC-30 仕上り厚 100ｍｍ	m2		332		＜　　1　　m2当り＞ 下層路盤（歩道部） 平均厚さ=75mmを超え125mm以下; 材料=再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ RC-30; 費用の内訳=全ての費用;	ｍ２	1
表層(歩道部) (夜間)	再生粗粒度As(20) 舗装厚 40ｍｍ 1.4m以上	m2		332		＜　　1　　m2当り＞ 表層（歩道部） 平均幅員=1.4m以上; 1層当り平均仕上り厚(70mm以下)(実数入力)=40 mm; 材料=各種(2.20以上2.30t/m3未満); 瀝青材料種類=ﾌﾟﾗｲﾑｺｰﾄ PK-3; 費用の内訳=全ての費用;	ｍ２	1
仮舗装工 仮舗装(B)		式		1				

見積参考資料

工事名	安来電線共同溝PFI事業（１工区）　（　当　初　）	工種区分	Ｃ・Ｃ・ＢＯＸ工事

工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単　位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参　考　事　項		
						名称	単位	数量
下層路盤(歩道部) (夜間)	再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ RC-40 仕上り厚 150ｍｍ	m2		346		＜　　1　　m2当り＞ 下層路盤（歩道部） 平均厚さ=125mmを超え175mm以下；材料=再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ RC-40；費用の内訳=全ての費用；	ｍ２	1
表層(車道・路肩部) (夜間)	再生粗粒度As(20) 舗装厚 50ｍｍ 1.4m未満（1層当り平均仕上り厚50m	m2		346		＜　　1　　m2当り＞ 表層（車道・路肩部） 平均幅員=1.4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下)；1層当り平均仕上り厚(50mm以下)(実数入力)=50 mm；材料=各種(2.20以上2.30t/m3未満)；瀝青材料種類=ﾌﾟﾗｲﾑｺｰﾄ PK-3；費用の内訳=全ての費用；	ｍ２	1
土留･仮締切工		式		1				
軽量鋼矢板(電線共同溝) (夜間)	LSP-2 L=2.5m	m		525		軽量鋼矢板設置・撤去 軽量鋼矢板賃料(LSP-2 L=2.5m)	m m	525 20
軽量鋼矢板 (夜間)	LSP-3 L=3.5m	枚		192		軽量鋼矢板圧入(LSP-3型 圧入長4m以下) 軽量鋼矢板引抜き(LSP-3型 引抜き長4m以下) 軽量鋼矢板賃料(LSP-3 L=3.5m 軽作業5回)	枚 枚 枚	192 192 38
軽量鋼矢板 (夜間)	LSP-3 L=4.0m	枚		727		軽量鋼矢板圧入(LSP-3型 圧入長4m以下) 軽量鋼矢板引抜き(LSP-3型 引抜き長4m以下) 軽量鋼矢板賃料(LSP-3 L=4.0m 軽作業5回)	枚 枚 枚	727 727 145
軽量鋼矢板 (夜間)	LSP-3 L=4.5m	枚		178		軽量鋼矢板圧入(LSP-3型 圧入長5m以下) 軽量鋼矢板引抜き(LSP-3型 引抜き長5m以下) 軽量鋼矢板賃料(LSP-3 L=4.5m 軽作業5回)	枚 枚 枚	178 178 36
軽量鋼矢板 (夜間)	LSP-3 L=5.0m	枚		140		軽量鋼矢板圧入(LSP-3型 圧入長5m以下) 軽量鋼矢板引抜き(LSP-3型 引抜き長5m以下) 軽量鋼矢板賃料(LSP-3 L=5.0m 軽作業5回)	枚 枚 枚	140 140 28

見積参考資料

工事名	安来電線共同溝PFI事業（１工区）　（　当　初　）	工種区分	Ｃ・Ｃ・ＢＯＸ工事

工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単　位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参　考　事　項		
						名称	単位	数量
軽量鋼矢板 (夜間)	LSP-3 L=5.5m	枚		174		軽量鋼矢板圧入(LSP-3型 圧入長6m以下) 軽量鋼矢板引抜き(LSP-3型 引抜き長6m以下) 油圧式杭圧入引抜機据付・解体(圧入) 油圧式杭圧入引抜機据付・解体(引抜) 軽量鋼矢板賃料(LSP-3 L=5.5m 軽作業5回)	枚 枚 回 回 枚	174 174 5 5 35
鋼矢板 (夜間)	III型 平均鋼矢板長さ 6.5m 鋼矢板打込長 6m 平均鋼矢板引抜長 6m	枚		41		鋼矢板圧入（Ｎｍａｘ≦２５） 施工場所=陸上; 鋼矢板型式=III型; 圧入長=6m以下; ﾗﾌﾃﾚｰﾝｸﾚｰﾝ規格=排出ｶﾞｽ対策型(第2次基準値); 油圧式杭圧入引抜機据付・解体 作業区分=圧入(Nmax≦25); 鋼矢板型式=III型; 施工場所=陸上; ﾗﾌﾃﾚｰﾝｸﾚｰﾝ規格=排出ｶﾞｽ対策型(第2次基準値); 鋼矢板引抜き 施工場所=陸上; 鋼矢板型式=III型; 引抜長=6m以下; ﾗﾌﾃﾚｰﾝｸﾚｰﾝ規格=排出ｶﾞｽ対策型(第2次基準値); 油圧式杭圧入引抜機据付・解体 作業区分=引抜き; 鋼矢板型式=III型; 施工場所=陸上; ﾗﾌﾃﾚｰﾝｸﾚｰﾝ規格=排出ｶﾞｽ対策型(第2次基準値); 鋼矢板賃料（普通鋼矢板） 鋼矢板の種類=III型; 鋼矢板1枚当りの長さ(実数入力)=6.5 m/枚; 供用日数(実数入力)=273 日; 継続工事の有無=無; 修理費及び損耗費の有無=有; 作業区分=軽作業; 一現場での使用回数(実数入力)=5 回;	枚 回 枚 回 枚	41 5 41 5 8

見積参考資料

工事名	安来電線共同溝PFI事業（１工区）　（　当　初　）	工種区分	Ｃ・Ｃ・ＢＯＸ工事

工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単　位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参　考　事　項		
						名称	単位	数量
切梁･腹起し (夜間)		t		7.9		切梁・腹起し設置・撤去 作業区分=設置･撤去; 火打ﾌﾞﾛｯｸの有無=無; ﾗﾌﾃﾚｰﾝｸﾚｰﾝ賃料補正=標準以外; ﾗﾌﾃﾚｰﾝｸﾚｰﾝ賃料補正(実数入力)=1.3 無; 山留材賃料 火打ﾌﾞﾛｯｸの有無=無; 供用日数(実数入力)=273 日; 継続工事の有無=無; 主部材修理費及び損耗費の計上=有; 主部材一現場での使用回数(実数)=5 回/現場; 副部材A修理費及び損耗費の計上=有; 副部材A一現場での使用回数(実)=5 回/現場; 副部材Bの計上=有; 副部材B一現場での使用回数(実)=5 回/現場;	t t	7.9 1.2
横矢板 (夜間)	横矢板厚さ 0.03 m	m2		3		＜　　1　　m2当り＞ 横矢板設置・撤去 作業区分=設置; 横矢板の厚さ(実数入力)=0.03 m;	ｍ２	1
固結工		式		1				
薬液注入 (夜間)		本		12		二重管ストレーナ工法 注入方式=複相方式; ｾｯﾄ数=2ｾｯﾄ; ﾚｷ質土の削孔長(実数入力)=0 m; 砂質土の削孔長(実数入力)=3.646 m; 粘性土の削孔長(実数入力)=0 m; 土被り長(L2)(実数入力)=1 m; １本当り注入量(QS)(実数入力)=556 L/本; 水ｶﾞﾗｽ積算流量計の有無=無; 特許料の有無=無; 注入設備の据付・解体 注入方式=二重管ストレーナ工法; ｾｯﾄ数=2ｾｯﾄ;	本 現場	12 1
水路補強工		式		1				

見積参考資料

工事名	安来電線共同溝PFI事業（１工区）　（　当　初　）	工種区分	Ｃ・Ｃ・ＢＯＸ工事

工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単　位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参　考　事　項		
						名称	単位	数量
水路補強 (夜間)		式		1		溝形鋼 大形　ＳＳ４００　８×２００×９０ コンクリートアンカー M16 L=60 モルタル練 ｾﾒﾝﾄ種類=高炉; 混合比=1:3; 費用の内訳=全ての費用;	ｔ 本 ｍ３	0.364 40 3.9
交通管理工		式		1				
交通誘導警備員		人日		170		＜　　1　　人日当り＞ 交通誘導警備員Ａ 作業区分=夜間勤務(交替要員有り);	人日	1
交通誘導警備員		人日		1,530		＜　　1　　人日当り＞ 交通誘導警備員Ｂ 作業区分=夜間勤務(交替要員有り);	人日	1
舗装版撤去工		式		1				
舗装版破砕工		式		1				
殻運搬 (夜間)	ｱｽﾌｧﾙﾄ殻	m3		56		＜　　1　　m3当り＞ 殻運搬 殻発生作業=舗装版破砕; 積込工法区分=機械積込(騒音対策不要､厚15cm超)又(騒音対策必要); DID区間の有無=有り; 運搬距離(km)(DID区間有)=60.0km以下; 費用の内訳=全ての費用;	ｍ３	1
殻処分 (夜間)	ｱｽﾌｧﾙﾄ殻	m3		56		処分費（ｍ３）	ｍ３	56

見積参考資料

工事名	安来電線共同溝PFI事業（１工区）　（　当　初　）	工種区分	Ｃ・Ｃ・ＢＯＸ工事

工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単　位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参　考　事　項		
						名称	単位	数量
舗装版切断 （夜間）	ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版 15cm以下	m		980		＜　　1　　m当り＞ 舗装版切断 舗装版種別=ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版；ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版厚=15cm以下；費用の内訳=全ての費用；	m	1
舗装版切断 （夜間）	ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版 15cm超30cm以下	m		290		＜　　1　　m当り＞ 舗装版切断 舗装版種別=ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版；ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版厚=15cmを超え30cm以下；費用の内訳=全ての費用；	m	1
舗装版破砕 （夜間）	ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版 15cm超35cm以下	m2		690		＜　　1　　m2当り＞ 舗装版破砕 舗装版種別=ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版；障害等の有無=無し；騒音振動対策=必要；舗装版厚=15cmを超え35cm以下；積込作業の有無=有り；費用の内訳=全ての費用；	ｍ２	1
開削土工		式		1				
掘削工		式		1				
開削掘削 （夜間）		m3		870		＜　　1　　m3当り＞ 床掘り	ｍ３	1
埋戻し工		式		1				
埋戻し・締固め （夜間）	土砂	m3		350		＜　　1　　m3当り＞ 埋戻し・締固め 土質=土砂；	ｍ３	1
埋戻し・締固め （夜間）	中埋砂	m3		210		＜　　1　　m3当り＞ 埋戻し・締固め 土質=中埋砂；	ｍ３	1

見積参考資料

工事名	安来電線共同溝PFI事業（１工区）　（　当　初　）	工種区分	Ｃ・Ｃ・ＢＯＸ工事

工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単　位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参　考　事　項		
						名称	単位	数量
残土処理工		式		1				
土砂等運搬 (夜間)		m3		480		＜　　1　　m3当り＞ 運搬（電線共同溝） 積載区分=土砂; DID区間の有無=有り; 運搬距離(km)(DID区間有)=6.0km以下;	ｍ３	1
電線共同溝工		式		1				
管路工(管路部)		式		1				
埋設管路 (夜間)	HIVP管 直管 径 125ｍｍ	m		496		＜　　1　　m当り＞ 管路材設置 作業区分=埋設部; 設置区分=単管設置;	m	1
埋設管路 (夜間)	HIVP管 直管 径 100ｍｍ	m		488		＜　　1　　m当り＞ 管路材設置 作業区分=埋設部; 設置区分=単管設置;	m	1
埋設管路 (夜間)	PV管 直管 径 75ｍｍ	m		540		＜　　1　　m当り＞ 管路材設置 作業区分=埋設部; 設置区分=単管設置;	m	1
埋設管路 (夜間)	PV管 直管 径 50ｍｍ	m		149		＜　　1　　m当り＞ 管路材設置 作業区分=埋設部; 設置区分=単管設置;	m	1
埋設管路 (夜間)	VP管 直管 径 100ｍｍ	m		121		＜　　1　　m当り＞ 管路材設置 作業区分=埋設部; 設置区分=単管設置;	m	1
埋設管路 (夜間)	VP管 直管 径 150ｍｍ	m		126		＜　　1　　m当り＞ 管路材設置 作業区分=埋設部; 設置区分=FA管設置;	m	1

見積参考資料

工事名	安来電線共同溝PFI事業（１工区）　（　当　初　）	工種区分	Ｃ・Ｃ・ＢＯＸ工事

工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単　位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参　考　事　項		
						名称	単位	数量
埋設管路 (夜間)	VP管 直管 径 250 ｍｍ	m		116		＜　　1　　m当り＞ 管路材設置 作業区分=埋設部; 設置区分=ﾎﾞﾃﾞｨ管(φ250㎜)設置(さや管含む); さや管の条数=標準:11条(9条(φ50)+2条(φ30));	m	1
埋設管路 (夜間)	HIVP管 曲管(R10) 径 125ｍｍ	m		319		＜　　1　　m当り＞ 管路材設置 作業区分=埋設部; 設置区分=単管設置;	m	1
埋設管路 (夜間)	HIVP管 曲管(R10) 径 100ｍｍ	m		351		＜　　1　　m当り＞ 管路材設置 作業区分=埋設部; 設置区分=単管設置;	m	1
埋設管路 (夜間)	PV管 曲管(R10) 径 75ｍｍ	m		388		＜　　1　　m当り＞ 管路材設置 作業区分=埋設部; 設置区分=単管設置;	m	1
埋設管路 (夜間)	PV管 曲管(R10) 径 50ｍｍ	m		133		＜　　1　　m当り＞ 管路材設置 作業区分=埋設部; 設置区分=単管設置;	m	1
埋設管路 (夜間)	VP管 曲管(R10) 径 100ｍｍ	m		77		＜　　1　　m当り＞ 管路材設置 作業区分=埋設部; 設置区分=単管設置;	m	1
埋設管路 (夜間)	VP管 曲管(R10) 径 150ｍｍ	m		69		＜　　1　　m当り＞ 管路材設置 作業区分=埋設部; 設置区分=FA管設置;	m	1
埋設管路 (夜間)	VP管 曲管(R10) 径 250ｍｍ	m		77		＜　　1　　m当り＞ 管路材設置 作業区分=埋設部; 設置区分=ﾎﾞﾃﾞｨ管(φ250㎜)設置(さや管含む); さや管の条数=標準:11条(9条(φ50)+2条(φ30));	m	1
管路管台 (夜間)	HIVP管用 φ125-250P	個		1,708		＜　　1　　個当り＞ 管路受台（スペーサ）（材料費）	個	1

見積参考資料

工事名	安来電線共同溝PFI事業（１工区）　（　当　初　）	工種区分	Ｃ・Ｃ・ＢＯＸ工事

工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単　位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参　考　事　項		
						名称	単位	数量
管路管台 (夜間)	HIVP管用　φ100-150P	個		1,765		＜　　1　　個当り＞ 管路受台（スペーサ）（材料費）	個	1
管路管台 (夜間)	PV管用　φ75-130P	個		1,029		＜　　1　　個当り＞ 管路受台（スペーサ）（材料費）	個	1
管路管台 (夜間)	PV管用　φ50-95P	個		247		＜　　1　　個当り＞ 管路受台（スペーサ）（材料費）	個	1
管路管台 (夜間)	VP管用　φ100-150P	個		131		＜　　1　　個当り＞ 管路受台（スペーサ）（材料費）	個	1
管路管台 (夜間)	VP管用　φ150-220P	個		126		＜　　1　　個当り＞ 管路受台（スペーサ）（材料費）	個	1
管路管台 (夜間)	VP管用　φ250-350P	個		187		＜　　1　　個当り＞ 管路受台（スペーサ）（材料費）	個	1
中間継手 (夜間)	HIVPφ125用	個		16		＜　　1　　個当り＞ 電力用耐衝撃性硬質塩化ビニル管　半割継手　ＨＩＶＰφ１２５（電共用）	個	1
中間継手 (夜間)	HIVPφ100用	個		23		＜　　1　　個当り＞ 電力用耐衝撃性硬質塩化ビニル管　半割継手　ＨＩＶＰφ１００（電共用）	個	1
中間継手 (夜間)	PVφ75用	個		26		＜　　1　　個当り＞ 電力用耐衝撃性硬質塩化ビニル管　中間継手　ＰＶφ７５（電共用）	個	1
中間継手 (夜間)	PVφ50用	個		11		＜　　1　　個当り＞ ●通信用硬質塩化ビニル管 中間継手 PVφ50用	個	1

見積参考資料

工事名	安来電線共同溝PFI事業（１工区）　（　当　初　）	工種区分	Ｃ・Ｃ・ＢＯＸ工事

工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単　位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参　考　事　項		
						名称	単位	数量
中間継手 (夜間)	VPφ100用	個		7		＜　　1　　個当り＞ 電力用耐衝撃性硬質塩化ビニル管　中間継手　ＶＰφ１００（電共用）	個	1
中間継手 (夜間)	VPφ150用	個		4		＜　　1　　個当り＞ 電力用耐衝撃性硬質塩化ビニル管　中間継手　ＶＰφ１５０（電共用）	個	1
中間継手 (夜間)	VPφ250用	個		4		＜　　1　　個当り＞ 通信用硬質塩化ビニル管 中間継手 スライド管 VPφ250	個	1
鞘管固定管(起点用) (夜間)	VP管　φ250用	個		5		＜　　1　　個当り＞ 管路材設置 作業区分=埋設部; 設置区分=ﾎﾞﾃﾞｨ管(φ250mm)設置(さや管含む); さや管の条数=標準:11条(9条(φ50)+2条(φ30));	m	1.2
鞘管固定管(終点用) (夜間)	VP管　φ250用	個		4		＜　　1　　個当り＞ 管路材設置 作業区分=埋設部; 設置区分=ﾎﾞﾃﾞｨ管(φ250mm)設置(さや管含む); さや管の条数=標準:11条(9条(φ50)+2条(φ30));	m	1.14
埋設表示ｼｰﾄ (夜間)	W=300 2倍	m		711		＜　　1　　m当り＞ 埋設標識シート設置(W=300 2倍)	m	1
敷砂 (夜間)		m3		24		＜　　1　　m3当り＞ 埋戻し・締固め 土質=中埋砂;	ｍ３	1
ﾌﾟﾚｷｬｽﾄﾎﾞｯｸｽ工(特殊部)		式		1				

見積参考資料

工事名	安来電線共同溝PFI事業（１工区）　（　当　初　）	工種区分	Ｃ・Ｃ・ＢＯＸ工事

工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単　位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参　考　事　項		
						名称	単位	数量
ﾌﾟﾚｷｬｽﾄﾎﾞｯｸｽ （夜間）	3.7ﾀｲﾌﾟ　S型 内幅 1.35m 内高 1.8m RC-40	個		3		＜　　1　　個当り＞ 沈下埋設工(W1350×H1800×L3700) ●ハンドホール鉄蓋 鉄蓋 960×500用 T-25 二重施錠装置付 ●プレキャストボックス沈下埋設型 S型MH W1350×H1800×L3700 ●プレキャストボックス沈下埋設型 調整ブロック 960×500用 H=250～ コンクリート 構造物種別=無筋･鉄筋構造物; 施工条件=打設量10m3/日未満かつ打設地上高さ2m以下; ｺﾝｸﾘｰﾄ規格=各種; 養生工の種類=一般養生; 現場内小運搬の有無=無し; 費用の内訳=全ての費用; 基礎砕石 砕石の厚さ=7.5cm超12.5cm以下; 砕石の種類=再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ 40～0; 費用の内訳=全ての費用; 鉄筋工［市場単価］ 鉄筋材料規格･径=SD345 D13; 規格･仕様区分=一般構造物; 施工規模=10t未満; 時間的制約を受ける場合の補正=無; 夜間作業補正=有; ﾄﾝﾈﾙ内作業の補正=無; 法面作業の補正=無; 太径鉄筋補正=補正無(鉄筋割合10%未満含む); 構造物種別による補正=補正無(一般構造物);	基 個 個 個 ｍ３ ｍ２ ｔ	1 1 1 1 1.238 4.95 0.087

見積参考資料

工事名	安来電線共同溝PFI事業（１工区）　（　当　初　）	工種区分	Ｃ・Ｃ・ＢＯＸ工事

工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単　位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参　考　事　項		
						名称	単位	数量
ﾌﾟﾚｷｬｽﾄﾎﾞｯｸｽ （夜間）	4.5ﾀｲﾌﾟ　L型 内幅 1.3/2.1m 内高 1.8m RC-40	個		1		従来型(W1300/2100×H1800×L4500) ●ハンドホール鉄蓋 鉄蓋 960×500用 T-25 二重施錠装置付 ●プレキャストボックス L型MH W1300/2100×H1800×L4500 ●プレキャストボックス沈下埋設型 調整ブロック 960×500用 H=250～ コンクリート 構造物種別=無筋･鉄筋構造物; 施工条件=打設量10m3/日未満かつ打設地上高さ2m以下; ｺﾝｸﾘｰﾄ規格=各種; 養生工の種類=一般養生; 現場内小運搬の有無=無し; 費用の内訳=全ての費用; 基礎砕石 砕石の厚さ=7.5cm超12.5cm以下; 砕石の種類=再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ 40～0; 費用の内訳=全ての費用;	基 個 個 個 ｍ３ ｍ２	1 1 1 1 1.998 19.98

見積参考資料

工事名	安来電線共同溝PFI事業（１工区）　（　当　初　）	工種区分	Ｃ・Ｃ・ＢＯＸ工事

工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単　位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参　考　事　項		
						名称	単位	数量
ﾌﾟﾚｷｬｽﾄﾎﾞｯｸｽ （夜間）	2.2ﾀｲﾌﾟ 路上変圧器用 内幅 1m 内高 1.5m RC-40	個		1		沈下埋設工(W1000×H1500×L2200) ●ハンドホール鉄蓋 鉄蓋 960×500用 T-25 二重施錠装置付 ●プレキャストボックス沈下埋設型 電力地上機器MH W1000×H1500×L2200 ●プレキャストボックス沈下埋設型 調整ブロック 960×500用 H=250～ コンクリート 構造物種別=無筋･鉄筋構造物; 施工条件=打設量10m3/日未満かつ打設地上高さ2m以下; ｺﾝｸﾘｰﾄ規格=各種; 養生工の種類=一般養生; 現場内小運搬の有無=無し; 費用の内訳=全ての費用; 基礎砕石 砕石の厚さ=7.5cm超12.5cm以下; 砕石の種類=再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ 40～0; 費用の内訳=全ての費用; 鉄筋工［市場単価］ 鉄筋材料規格･径=SD345 D13; 規格･仕様区分=一般構造物; 施工規模=10t未満; 時間的制約を受ける場合の補正=無; 夜間作業補正=有; ﾄﾝﾈﾙ内作業の補正=無; 法面作業の補正=無; 太径鉄筋補正=補正無(鉄筋割合10%未満含む); 構造物種別による補正=補正無(一般構造物);	基 個 個 個 ｍ３ ｍ２ ｔ	1 1 1 1 0.55 2.2 0.041

見積参考資料

工事名	安来電線共同溝PFI事業（１工区）　（　当　初　）	工種区分	Ｃ・Ｃ・ＢＯＸ工事

工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単　位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参　考　事　項		
						名称	単位	数量
ﾌﾟﾚｷｬｽﾄﾎﾞｯｸｽ （夜間）	3.6ﾀｲﾌﾟ 路上変圧・高圧開閉器用 内幅 1.2m 内高 1.5m RC-40	個		1		沈下埋設工(W1200×H1500×L3600) ●ハンドホール鉄蓋 鉄蓋 960×500用 T-25 二重施錠装置付 ●プレキャストボックス沈下埋設型 電力地上機器MH W1200×H1500×L3600 ●プレキャストボックス沈下埋設型 調整ブロック 960×500用 H=250～ コンクリート 構造物種別=無筋･鉄筋構造物; 施工条件=打設量10m3/日未満かつ打設地上高さ2m以下; ｺﾝｸﾘｰﾄ規格=各種; 養生工の種類=一般養生; 現場内小運搬の有無=無し; 費用の内訳=全ての費用; 基礎砕石 砕石の厚さ=7.5cm超12.5cm以下; 砕石の種類=再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ 40～0; 費用の内訳=全ての費用; 鉄筋工［市場単価］ 鉄筋材料規格･径=SD345 D13; 規格･仕様区分=一般構造物; 施工規模=10t未満; 時間的制約を受ける場合の補正=無; 夜間作業補正=有; ﾄﾝﾈﾙ内作業の補正=無; 法面作業の補正=無; 太径鉄筋補正=補正無(鉄筋割合10%未満含む); 構造物種別による補正=補正無(一般構造物);	基 個 個 個 ｍ３ ｍ２ ｔ	1 1 1 1 1.08 4.32 0.074

見積参考資料

工事名	安来電線共同溝PFI事業（１工区）　（　当　初　）	工種区分	Ｃ・Ｃ・ＢＯＸ工事

工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単　位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参　考　事　項		
						名称	単位	数量
ﾌﾟﾚｷｬｽﾄﾎﾞｯｸｽ 通信基点桝(夜間)	2.2ﾀｲﾌﾟ 内幅 0.95m 内高 1.5m RC-40	個		1		プレキャストボックスブロック設置 ﾎﾞｯｸｽﾌﾞﾛｯｸ1個当り質量=1000kg超～4000kg以下; ﾗﾌﾃﾚｰﾝｸﾚｰﾝ賃料補正係数=標準以外; ﾗﾌﾃﾚｰﾝｸﾚｰﾝ賃料補正係数(実数入力)=1.3 無; 蓋設置 蓋1組当り質量=200kg以下; ●ハンドホール鉄蓋 鉄蓋 960×500用 T-25 二重施錠装置付 コンクリート 構造物種別=無筋･鉄筋構造物; 施工条件=打設量10m3/日未満かつ打設地上高さ2m以下; ｺﾝｸﾘｰﾄ規格=各種; 養生工の種類=一般養生; 現場内小運搬の有無=無し; 費用の内訳=全ての費用; 基礎砕石 砕石の厚さ=7.5cm超12.5cm以下; 砕石の種類=再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ 40～0; 費用の内訳=全ての費用;	個 組 個 ｍ３ ｍ２	1 1 1 1.125 7.5
ﾌﾟﾚｷｬｽﾄﾎﾞｯｸｽ 分岐桝(夜間)	1.2ﾀｲﾌﾟ 内幅 0.6m 内高 0.415m RC-40	個		2		＜　1　個当り＞ プレキャストボックスブロック設置 ﾎﾞｯｸｽﾌﾞﾛｯｸ1個当り質量=1000kg以下; ﾗﾌﾃﾚｰﾝｸﾚｰﾝ賃料補正係数=標準以外; ﾗﾌﾃﾚｰﾝｸﾚｰﾝ賃料補正係数(実数入力)=1.3 無; モルタル練 ｾﾒﾝﾄ種類=高炉; 混合比=1:3; 費用の内訳=全ての費用; 基礎砕石 砕石の厚さ=7.5cm超12.5cm以下; 砕石の種類=再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ 40～0; 費用の内訳=全ての費用; プレキャストボックスブロック設置 ﾎﾞｯｸｽﾌﾞﾛｯｸ1個当り質量=1000kg以下; ﾗﾌﾃﾚｰﾝｸﾚｰﾝ賃料補正係数=標準以外; ﾗﾌﾃﾚｰﾝｸﾚｰﾝ賃料補正係数(実数入力)=1.3 無;	個 ｍ３ ｍ２ 個	1 0.035 1.398 1

見積参考資料

工事名	安来電線共同溝PFI事業（１工区）　（　当　初　）	工種区分	Ｃ・Ｃ・ＢＯＸ工事

工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単　位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参　考　事　項		
						名称	単位	数量
ﾍﾞﾙﾏｳｽ		式		1		●ベルマウス(沈下埋設型) HIVPφ125 電力用耐衝撃性硬質塩化ビニル管　受口付ベルマウス ＨＩＶＰφ１２５（電共用） ●ベルマウス(沈下埋設型) HIVPφ100 電力用耐衝撃性硬質塩化ビニル管　受口付ベルマウス ＨＩＶＰφ１００（電共用） ●ベルマウス(沈下埋設型) PVφ75 通信用硬質塩化ビニル管　ダクトスリーブ　ＰＶφ７５（電共用） ●ベルマウス(沈下埋設型) PVφ50 通信用硬質塩化ビニル管　ダクトスリーブ　ＰＶφ５０（電共用） ●ベルマウス(沈下埋設型) VPφ250 ベルマウス VPφ250 ●ベルマウス(沈下埋設型) VPφ150 通信用硬質塩化ビニル管　ダクトスリーブ 呼び径１５０（電共用） ●ベルマウス(沈下埋設型) VPφ100 通信用硬質塩化ビニル管　ダクトスリーブ 呼び径１００（電共用）	個 個 個 個 個 個 個 個 個 個 個 個 個 個 個 個	32 7 36 11 30 23 8 20 6 3 6 3 10 5
情報ﾎﾞｯｸｽ工		式		1				
作業土工		式		1				
床掘り （夜間）		m3		90		＜　　1　　m3当り＞ 床掘り	ｍ３	1

見積参考資料

工事名	安来電線共同溝PFI事業（１工区） （ 当　初 ）	工種区分	Ｃ・Ｃ・ＢＯＸ工事

工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単　位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参　考　事　項		
						名称	単位	数量
残土処理 (夜間)	小規模 土砂(岩塊・玉石混り土含む)	m3		70		＜　1　m3当り＞ 土砂等運搬 土砂等発生現場=小規模; 積込機種･規格=ﾊﾞｯｸﾎｳ山積0.28m3(平積0.2m3); 土質=土砂(岩塊･玉石混り土含む); DID区間の有無=有り; 運搬距離(km)(DID区間有)=5.5km以下;	ｍ３	1
埋戻し (夜間)		m3		20		＜　1　m3当り＞ 埋戻し	ｍ３	1
埋戻し (夜間)		m3		30		＜　1　m3当り＞ 埋戻し 中埋材（材料費） 中埋材料=砂;	ｍ３ ｍ３	1 1
管路工(管路部)		式		1				
埋設管路 (夜間)	合成樹脂製 径 300mm	m		131		＜　1　m当り＞ 埋設部管路材設置 本体管の材質=合成樹脂製; さや管の材質=VU管類; 設置区分=本体管及びさや管設置; さや管の条数=10管;	m	1
埋設管路 (夜間)	鋼製 径 50mm	m		100		＜　1　m当り＞ 埋設部管路材設置 本体管の材質=鋼製; 設置区分=本体管設置;	m	1
埋設表示ｼｰﾄ (夜間)	W=300 2倍	m		131		＜　1　m当り＞ 埋設表示シート（材料費）	m	1
敷砂 (夜間)		m3		13		＜　1　m3当り＞ 埋戻し 中埋材（材料費） 中埋材料=砂;	ｍ３ ｍ３	1 1

見積参考資料

工事名	安来電線共同溝PFI事業（１工区）　（　当　初　）	工種区分	Ｃ・Ｃ・ＢＯＸ工事

工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単　位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参　考　事　項		
						名称	単位	数量
管路防護工		式		1				
防護ｺﾝｸﾘｰﾄ （夜間）		箇所		1		コンクリート 構造物種別=小型構造物；施工条件=打設地上高さ2m以下；ｺﾝｸﾘｰﾄ規格=各種；養生工の種類=一般養生；現場内小運搬の有無=無し；費用の内訳=全ての費用； 型枠 型枠の種類=一般型枠；構造物の種類=小型構造物； 基礎砕石 砕石の厚さ=7.5cm超12.5cm以下；砕石の種類=再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ 40～0；費用の内訳=全ての費用；	ｍ３ ｍ２ ｍ２	1.7 3.2 11.6
ﾊﾝﾄﾞﾎｰﾙ工		式		1				
ﾊﾝﾄﾞﾎｰﾙ （夜間）	B1000×H1000×L1500	箇所		1		ハンドホール ｸﾚｰﾝ機種=ﾄﾗｯｸ(ｸﾚｰﾝ装置付)4t積･2.9t吊； ハンドホール蓋（材料費） モルタル練 ｾﾒﾝﾄ種類=高炉；混合比=1:3；費用の内訳=全ての費用； 基礎材 砕石の厚さ=12.5cmを超え17.5cm以下；砕石の種類=再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ 40～0；	個 枚 ｍ３ ｍ２	1 1 0.065 2.466

見積参考資料

工事名	安来電線共同溝PFI事業（１工区）　（　当　初　）	工種区分	Ｃ・Ｃ・ＢＯＸ工事

工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単　位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参　考　事　項		
						名称	単位	数量
ﾊﾝﾄﾞﾎｰﾙ (夜間)	B600×H1100×L600	箇所		2		＜　　1　　箇所当り＞ ハンドホール ｸﾚｰﾝ機種=ﾄﾗｯｸ(ｸﾚｰﾝ装置付)4t積･2.9t吊; モルタル練 ｾﾒﾝﾄ種類=高炉; 混合比=1:3; 費用の内訳=全ての費用; 基礎材 砕石の厚さ=12.5cmを超え17.5cm以下; 砕石の種類=再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ 40～0;	個 ｍ３ ｍ２	1 0.019 0.81
道路改良 (上り線 1工区)		式		1				
道路土工		式		1				
残土処理工		式		1				
土砂等運搬 (夜間)	土砂(岩塊･玉石混り土含む)	m3		40		＜　　1　　m3当り＞ 土砂等運搬 土砂等発生現場=標準; 積込機種･規格=ﾊﾞｯｸﾎｳ山積0.45m3(平積0.35m3); 土質=土砂(岩塊･玉石混り土含む); DID区間の有無=有り; 運搬距離(km)(DID区間有)=5.5km以下;	ｍ３	1
排水構造物工		式		1				
作業土工		式		1				

見積参考資料

工事名	安来電線共同溝PFI事業（１工区） （ 当　初 ）	工種区分	Ｃ・Ｃ・ＢＯＸ工事

工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単　位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参　考　事　項		
						名称	単位	数量
床掘り (夜間)	土砂	m3		20		＜　1　m3当り＞ 床掘り 土質区分=土砂; 施工方法=平均施工幅1m以上2m未満; 土留方式の種類=無し; 障害の有無=障害無し;	ｍ３	1
床掘り (夜間)	土砂	m3		80		＜　1　m3当り＞ 床掘り 土質区分=土砂; 施工方法=上記以外(小規模); 費用の内訳=全ての費用;	ｍ３	1
埋戻し (夜間)	土砂	m3		9		＜　1　m3当り＞ 埋戻し 施工方法=最大埋戻幅1m未満;	ｍ３	1
埋戻し (夜間)	土砂	m3		50		＜　1　m3当り＞ 埋戻し 施工方法=上記以外(小規模); 土質区分=土砂; 費用の内訳=全ての費用;	ｍ３	1
基面整正 (夜間)		m2		7		＜　1　m2当り＞ 基面整正	ｍ２	1
側溝工		式		1				
縁石管渠A1 (夜間)	φ150	m		153		＜　1　m当り＞ 路側側溝設置(D150 L1000)	m	1
縁石管渠B (夜間)	φ150	m		22		＜　1　m当り＞ 歩車道境界ブロック 作業区分=設置; ﾌﾞﾛｯｸ規格=各種(2000mm以下、50kg以上550kg未満); 基礎砕石の有無=有り; 均し基礎ｺﾝｸﾘｰﾄ規格=不要;	m	1

見積参考資料

工事名	安来電線共同溝PFI事業（１工区）　（　当　初　）	工種区分	Ｃ・Ｃ・ＢＯＸ工事

工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単　位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参　考　事　項		
						名称	単位	数量
縁石管渠C (夜間)	φ150	m		21		＜　　1　　m当り＞ 歩車道境界ブロック 作業区分=設置; ﾌﾞﾛｯｸ規格=各種(2000mm以下､50kg以上550kg未満); 基礎砕石の有無=有り; 均し基礎ｺﾝｸﾘｰﾄ規格=不要;	m	1
縁石管渠D(L) (夜間)	φ150	m		4		＜　　1　　m当り＞ 歩車道境界ブロック 作業区分=設置; ﾌﾞﾛｯｸ規格=各種(2000mm以下､50kg以上550kg未満); 基礎砕石の有無=有り; 均し基礎ｺﾝｸﾘｰﾄ規格=不要;	m	1
縁石管渠D(R) (夜間)	φ150	m		4		＜　　1　　m当り＞ 歩車道境界ブロック 作業区分=設置; ﾌﾞﾛｯｸ規格=各種(2000mm以下､50kg以上550kg未満); 基礎砕石の有無=有り; 均し基礎ｺﾝｸﾘｰﾄ規格=不要;	m	1
縁石管渠桝A (夜間)	φ150	箇所		13		＜　　1　　箇所当り＞ プレキャスト集水桝 作業区分=据付; 製品質量(kg/基)=80kgを超え400kg以下; 基礎砕石の有無=有り; 費用の内訳=全ての費用; プレキャスト集水桝（材料費）	基 基	1 1
縁石管渠桝B (夜間)	φ150	箇所		2		＜　　1　　箇所当り＞ プレキャスト集水桝 作業区分=据付; 製品質量(kg/基)=80kgを超え400kg以下; 基礎砕石の有無=有り; 費用の内訳=全ての費用; プレキャスト集水桝（材料費）	基 基	1 1
舗装工		式		1				

見積参考資料

工事名	安来電線共同溝PFI事業（１工区）　（　当　初　）	工種区分	Ｃ・Ｃ・ＢＯＸ工事

工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単　位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参　考　事　項		
						名称	単位	数量
排水性舗装工 車道舗装(A)		式		1				
下層路盤(車道・路肩部) (夜間)	再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ RC-40 仕上り厚 200ｍｍ	m2		342		＜　　1　　m2当り＞ 下層路盤（車道・路肩部） 平均厚さ=175mmを超え200mm以下；材料=再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ RC-40；費用の内訳=全ての費用；	ｍ２	1
上層路盤(車道・路肩部) (夜間)	粒度調整砕石 M-40 仕上り厚 150ｍｍ	m2		346		＜　　1　　m2当り＞ 上層路盤（車道・路肩部） 材料=粒度調整砕石 M-40；平均厚さ=125mmを超え150mm以下；費用の内訳=全ての費用；	ｍ２	1
上層路盤(車道・路肩部) (夜間)	再生As安定処理(30) 仕上り厚 80ｍｍ	m2		346		＜　　1　　m2当り＞ 上層路盤（車道・路肩部） 材料=路盤材(各種)；平均厚さ=75mmを超え85mm以下；平均幅員=1.4m以上；瀝青材料種類=ﾌﾟﾗｲﾑｺｰﾄ PK-3；費用の内訳=全ての費用；	ｍ２	1
基層(車道・路肩部) (夜間)	再生粗粒度Asﾎﾟﾘﾏｰ改質Ⅰ型(20) 舗装厚 50ｍｍ 1.4m以上	m2		346		＜　　1　　m2当り＞ 基層（車道・路肩部） 平均幅員=1.4m以上；1層当り平均仕上り厚(70mm以下)(実数入力)=50 mm；材料=各種(2.30以上2.40t/m3未満)；瀝青材料種類=ﾀｯｸｺｰﾄ(各種)；費用の内訳=全ての費用；	ｍ２	1
排水性舗装・表層（車道・路肩部）　(夜間)	ﾎﾟｰﾗｽAs(13) 舗装厚 50ｍｍ 2.4m以上	m2		346		＜　　1　　m2当り＞ 排水性舗装・表層（車道・路肩部） 平均施工幅員=2.4m以上；1層当り平均仕上り厚(65mm未満)(実数入力)=50 mm；導水ﾊﾟｲﾌﾟの設置=無し；材料=各種(2.00t/m3以上2.10t/m3未満)；瀝青材料の規格=ﾀｯｸｺｰﾄ PKR(ｺﾞﾑ入り)；	ｍ２	1
透水性舗装工 歩道舗装(A)		式		1				

見積参考資料

工事名	安来電線共同溝PFI事業（１工区）　（　当　初　）	工種区分	Ｃ・Ｃ・ＢＯＸ工事

工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単　位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参　考　事　項		
						名称	単位	数量
ﾌｨﾙﾀｰ層 (夜間)	砂(ｸｯｼｮﾝ用) 仕上り厚 50ｍｍ	m2		444		＜　1　m2当り＞ フィルター層 平均厚さ=40mm以上60mm未満;	ｍ２	1
下層路盤(歩道部) (夜間)	再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ RC-30 仕上り厚 100ｍｍ	m2		444		＜　1　m2当り＞ 下層路盤（歩道部） 平均厚さ=75mmを超え125mm以下; 材料=再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ RC-30; 費用の内訳=全ての費用;	ｍ２	1
表層 (夜間)	透水性As(13) 1.4m以上 舗装厚 40ｍｍ	m2		444		＜　1　m2当り＞ 透水性アスファルト舗装 平均幅員=1.4m以上; 1層当り平均仕上り厚(70mm以下)(実数入力)=40 mm; 材料=各種(2.00以上2.10t/m3未満);	ｍ２	1
透水性舗装工 歩道舗装(B)		式		1				
ﾌｨﾙﾀｰ層 (夜間)	砂(ｸｯｼｮﾝ用) 仕上り厚 50ｍｍ	m2		78		＜　1　m2当り＞ フィルター層 平均厚さ=40mm以上60mm未満;	ｍ２	1
下層路盤(歩道部) (夜間)	再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ RC-40 仕上り厚 150ｍｍ	m2		78		＜　1　m2当り＞ 下層路盤（歩道部） 平均厚さ=125mmを超え175mm以下; 材料=再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ RC-40; 費用の内訳=全ての費用;	ｍ２	1
表層 (夜間)	透水性As　1.4m以上 舗装厚 50ｍｍ	m2		78		＜　1　m2当り＞ 透水性アスファルト舗装 平均幅員=1.4m以上; 1層当り平均仕上り厚(70mm以下)(実数入力)=50 mm; 材料=各種(2.00以上2.10t/m3未満);	ｍ２	1
縁石工		式		1				

見積参考資料

工事名	安来電線共同溝PFI事業（１工区）　（　当　初　）	工種区分	Ｃ・Ｃ・ＢＯＸ工事

工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単　位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参　考　事　項		
						名称	単位	数量
縁石工		式		1				
歩車道境界ﾌﾞﾛｯｸ 縁石工A（夜間）	C種(180/210×300×600)	m		37		＜　　1　　m当り＞ 歩車道境界ブロック 作業区分=設置；ﾌﾞﾛｯｸ規格=C種(180/210×300×600)；基礎砕石の有無=有り；均し基礎ｺﾝｸﾘｰﾄ規格=不要；	m	1
歩車道境界ﾌﾞﾛｯｸ 縁石工C（夜間）	B種(180/205×250×600)	m		4		＜　　1　　m当り＞ 歩車道境界ブロック 作業区分=設置；ﾌﾞﾛｯｸ規格=B種(180/205×250×600)；基礎砕石の有無=有り；均し基礎ｺﾝｸﾘｰﾄ規格=不要；	m	1
道路付属施設工		式		1				
照明工		式		1				
照明柱基礎 2号(夜間)	抵抗板付鋼製基礎	基		1		抵抗板付鋼製杭基礎打込･引抜(施工回数3回以上) 夜間作業の有無=有り；時間的制約の有無=無し； 抵抗板付鋼製杭基礎材料費（H形鋼杭）	回 t	1 0.372
照明柱基礎 3号(夜間)	抵抗板付鋼製基礎	基		1		抵抗板付鋼製杭基礎打込･引抜(施工回数3回以上) 夜間作業の有無=有り；時間的制約の有無=無し； 抵抗板付鋼製杭基礎材料費（H形鋼杭）	回 t	1 0.641
照明柱 R-1(夜間)		基		1		照明柱　建柱	基	1
照明柱 R-2(夜間)		基		1		照明柱　建柱	基	1

見積参考資料

工事名	安来電線共同溝PFI事業（１工区）　（　当　初　）	工種区分	Ｃ・Ｃ・ＢＯＸ工事

工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単　位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参　考　事　項		
						名称	単位	数量
標識工		式		1				
大型標識工		式		1				
標識基礎 (夜間)	片持式の基礎 4.0 m3未満	基		1		標識基礎設置（片持式・門型式） 基礎の形式=片持式の基礎；基礎の規格=4.0m3未満； 時間的制約を受ける場合の補正=無；夜間作業の補正=有；地下構造物等の障害=無； 鉄筋工［市場単価］ 鉄筋材料規格･径=SD345 D13；規格･仕様区分=一般構造物；施工規模=10t未満；時間的制約を受ける場合の補正=無；夜間作業補正=有；ﾄﾝﾈﾙ内作業の補正=無；法面作業の補正=無；太径鉄筋補正=補正無(鉄筋割合10%未満含む)；構造物種別による補正=補正無(一般構造物)； アンカーボルト材料費	ｍ３ ｔ ｋｇ	1.335 0.022 47.5
片持標識柱 (移設)(夜間)	逆L型	基		1		標識柱撤去（片持式・門型式） 柱の種類･規格=片持式 400kg未満/基；施工規模加算=1基；時間的制約を受ける場合の補正=無；夜間作業の補正=有； 標識柱設置（片持式） 柱の質量区分=400kg未満/基；柱材料の規格=不要；施工規模加算=1基；時間的制約を受ける場合の補正=無；夜間作業の補正=有；	基 基	1 1

見積参考資料

工事名	安来電線共同溝PFI事業（１工区）　（　当　初　）	工種区分	Ｃ・Ｃ・ＢＯＸ工事

工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単　位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参　考　事　項		
						名称	単位	数量
標識板 (移設)(夜間)	2.0m2以上	枚		1		標識板撤去(案内標識(路側式･片持式･門型式)) 標識板の規格=2.0m2以上; 施工規模加算=10m2以上; 時間的制約を受ける場合の補正=無; 夜間作業の補正=有; 標識板設置（案内標識［路線番号除く］） 作業内容=移設; 標識板の規格=2.0m2以上; 施工規模加算=10m2未満; 時間的制約を受ける場合の補正=無; 夜間作業の補正=有;	ｍ２ ｍ２	2.06 2.06
構造物撤去工		式		1				
構造物取壊し工		式		1				
舗装版破砕 (夜間)	ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版 15cm以下	m2		870		＜　　1　　m2当り＞ 舗装版破砕 舗装版種別=ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版; 障害等の有無=無し; 騒音振動対策=必要; 舗装版厚=15cm以下; 積込作業の有無=有り; 費用の内訳=全ての費用;	ｍ２	1
運搬処理工		式		1				
殻運搬 (夜間)	ｱｽﾌｧﾙﾄ殻	m3		38		＜　　1　　m3当り＞ 殻運搬 殻発生作業=舗装版破砕; 積込工法区分=機械積込(騒音対策不要､厚15cm超)又(騒音対策必要); DID区間の有無=有り; 運搬距離(km)(DID区間有)=60.0km以下; 費用の内訳=全ての費用;	ｍ３	1
殻処分 (夜間)	ｱｽﾌｧﾙﾄ殻	m3		38		＜　　1　　m3当り＞ 処分費（ｍ３）	ｍ３	1

見積参考資料

工事名	安来電線共同溝PFI事業（１工区）　（　当　初　）	工種区分	Ｃ・Ｃ・ＢＯＸ工事

工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単　位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参　考　事　項		
						名称	単位	数量
直接工事費		式		1				
共通仮設費		式		1				
共通仮設費		式		1				
運搬費		式		1				
仮設材運搬費		t		80		＜　1　t当り＞ 仮設材等(鋼矢板、H形鋼、覆工板、敷鉄板等)の運搬 運搬割増率=各種(実数入力)；運搬割増率(実数入力)=0 無；その他の諸料金の有無=無； 仮設材等の積込み，取卸し費 作業区分=積込み,取卸し(片道分)；	t t	1 1
準備費		式		1				

見積参考資料

工事名	安来電線共同溝PFI事業（１工区）　（　当　初　）	工種区分	Ｃ・Ｃ・ＢＯＸ工事

工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単　位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参　考　事　項		
						名称	単位	数量
試掘		箇所		6		＜　　1　　箇所当り＞ 床掘り 　土質区分=土砂；施工方法=現場制約あり； 埋戻し 　施工方法=現場制約あり；土質区分=土砂；締固めの有無=有り； 下層路盤（歩道部） 　平均厚さ=75mmを超え125mm以下；材料=再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ RC-40；費用の内訳=全ての費用； 表層（歩道部） 　平均幅員=1.4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下)；1層当り平均仕上り厚(50mm以下)(実数入力)=40 mm；材料=各種(2.20以上2.30t/m3未満)；瀝青材料種類=ﾌﾟﾗｲﾑｺｰﾄ PK-3；費用の内訳=全ての費用；	 ｍ３ ｍ３ ｍ２ ｍ２	 3.285 3.06 2.25 2.25
事業損失防止施設費		式		1				
事業損失防止施設費（夜間）		式		1		機械ボーリング工 観測井戸設置	m m	4.6 4.6
技術管理費		式		1				
道路施設基本ﾃﾞｰﾀ作成費用		式		1		道路施設基本ﾃﾞｰﾀ作成費用	式	1
現場環境改善費（率計上）		式		1		市街地補正=市街地		
共通仮設費（率計上）		式		1		施工地域補正=市街地（ＤＩＤ）（１）；除雪工補正=補正無；週休２日の補正=しない		

見積参考資料

工事名	安来電線共同溝PFI事業（１工区）　（　当　初　）	工種区分	Ｃ・Ｃ・ＢＯＸ工事

工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単　位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参　考　事　項		
						名称	単位	数量
純工事費		式		1				
現場管理費		式		1		施工地域補正=市街地（ＤＩＤ）（1）；緊急工事補正=しない；砂防・地滑り工事補正=しない；週休２日の補正=しない		
工事原価		式		1				
一般管理費等		式		1				
工事価格		式		1				
消費税相当額		式		1				
工事費計		式		1		建設技能労働者や交通誘導員等の現場労働者にかかる経費として、労務費のほか各種経費（法定福利費の事業者負担額、労務管理費、安全訓練等に要する費用等）が必要であり、本積算ではこれらを現場管理費等の一部として率計上している。		

見積参考資料（管理費区分一覧表）

凡　例　管理費区分1　共通仮設費のみ非対象　　管理費区分2　工場管理費・一般管理費の対象 管理費区分5　一般管理費等対象　　管理費区分7　間接労務費対象労務費
管理費区分9　率計算の非対象　　管理費区分T　処分費等の対象にする

○：該当する管理費区分が含まれている

工事名	安来電線共同溝PFI事業（１工区）　（当　初）			事業区分	共同溝･電線共同溝		
				工事区分	電線共同溝		

細別名称	規格	単位	数量	管理費区分 1 管理費区分 T	管理費区分 2	管理費区分 5	管理費区分 7	管理費区分 9
殻処分 (夜間)	ｱｽﾌｧﾙﾄ殻	m3	56	○				
殻処分 (夜間)	ｱｽﾌｧﾙﾄ殻	m3	38	○				
事業損失防止施設費 (夜間)		式	1					○
道路施設基本ﾃﾞｰﾀ作成費用		式	1					○

見　積　参　考　資　料

工 事 名　　安来電線共同溝PFI事業（２工区）

この「見積参考資料」は入札参加者の適切かつ迅速な見積に資するための資料であり、契約書第１条にいう設計図書ではない。従って「見積参考資料」は請負契約上の拘束力を生じるものではなく、受注者は、施工条件、地質条件等を充分考慮して、仮設、施工方法、安全対策等、工事目的物を完成するための一切の手段について受注者の責任において定めるものとする。

なお、この「見積参考資料」の有効期間は、この工事の入札日までとする。

国土交通省　中国地方整備局
松江国道事務所　管理第二課

見積参考資料

工事名	安来電線共同溝PFI事業（２工区）　（　当　初　）	工種区分	Ｃ・Ｃ・ＢＯＸ工事

工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単　位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参　考　事　項		
						名称	単位	数量
電線共同溝 (上り線 2工区)		式		1				
仮設工		式		1				
仮舗装工 仮舗装(A)		式		1				
下層路盤(歩道部) (夜間)	再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ RC-30 仕上り厚 100ｍｍ	m2		222		＜　　1　　m2当り＞ 下層路盤（歩道部） 平均厚さ=75mmを超え125mm以下；材料=再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ RC-30；費用の内訳=全ての費用；	ｍ２	1
表層(歩道部) (夜間)	再生粗粒度As(20) 舗装厚 40ｍｍ 1.4m以上	m2		222		＜　　1　　m2当り＞ 表層（歩道部） 平均幅員=1.4m以上；1層当り平均仕上り厚(70mm以下)(実数入力)=40 mm；材料=各種(2.20以上2.30t/m3未満)；瀝青材料種類=ﾌﾟﾗｲﾑｺｰﾄ PK-3；費用の内訳=全ての費用；	ｍ２	1
仮舗装工 仮舗装(B)		式		1				
下層路盤(歩道部) (夜間)	再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ RC-40 仕上り厚 150ｍｍ	m2		377		＜　　1　　m2当り＞ 下層路盤（歩道部） 平均厚さ=125mmを超え175mm以下；材料=再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ RC-40；費用の内訳=全ての費用；	ｍ２	1
表層(車道・路肩部) (夜間)	再生粗粒度As(20) 舗装厚 50ｍｍ 1.4m未満（1層当り平均仕上り厚50m	m2		377		＜　　1　　m2当り＞ 表層（車道・路肩部） 平均幅員=1.4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下)；1層当り平均仕上り厚(50mm以下)(実数入力)=50 mm；材料=各種(2.20以上2.30t/m3未満)；瀝青材料種類=ﾌﾟﾗｲﾑｺｰﾄ PK-3；費用の内訳=全ての費用；	ｍ２	1

見積参考資料

工事名	安来電線共同溝PFI事業（２工区）　（　当　初　）	工種区分	Ｃ・Ｃ・ＢＯＸ工事

工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単　位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参　考　事　項		
						名称	単位	数量
土留･仮締切工		式		1				
軽量鋼矢板(電線共同溝) (夜間)	LSP-2 L=2.5m	m		537		軽量鋼矢板設置・撤去 軽量鋼矢板賃料(LSP-2 L=2.5m)	m m	537 20
軽量鋼矢板 (夜間)	LSP-3 L=3.5m	枚		130		軽量鋼矢板圧入(LSP-3型 圧入長4m以下) 軽量鋼矢板引抜き(LSP-3型 引抜き長4m以下) 軽量鋼矢板賃料(LSP-3 L=3.5m 軽作業4回)	枚 枚 枚	130 130 33
軽量鋼矢板 (夜間)	LSP-3 L=4.0m	枚		93		軽量鋼矢板圧入(LSP-3型 圧入長4m以下) 軽量鋼矢板引抜き(LSP-3型 引抜き長4m以下) 軽量鋼矢板賃料(LSP-3 L=4.0m 軽作業4回)	枚 枚 枚	93 93 23
軽量鋼矢板 (夜間)	LSP-3 L=4.5m	枚		237		軽量鋼矢板圧入(LSP-3型 圧入長5m以下) 軽量鋼矢板引抜き(LSP-3型 引抜き長5m以下) 軽量鋼矢板賃料(LSP-3 L=4.5m 軽作業4回)	枚 枚 枚	237 237 59
軽量鋼矢板 (夜間)	LSP-3 L=5.0m	枚		76		軽量鋼矢板圧入(LSP-3型 圧入長5m以下) 軽量鋼矢板引抜き(LSP-3型 引抜き長5m以下) 軽量鋼矢板賃料(LSP-3 L=5.0m 軽作業4回)	枚 枚 枚	76 76 19
軽量鋼矢板 (夜間)	LSP-3 L=5.5m	枚		162		軽量鋼矢板圧入(LSP-3型 圧入長6m以下) 軽量鋼矢板引抜き(LSP-3型 引抜き長6m以下) 油圧式杭圧入引抜機据付・解体(圧入) 油圧式杭圧入引抜機据付・解体(引抜) 軽量鋼矢板賃料(LSP-3 L=5.5m 軽作業4回)	枚 枚 回 回 枚	162 162 4 4 41

見積参考資料

工事名	安来電線共同溝PFI事業（２工区）　（　当　初　）	工種区分	Ｃ・Ｃ・ＢＯＸ工事

工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単　位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参　考　事　項		
						名称	単位	数量
鋼矢板 (夜間)	III型 平均鋼矢板長さ 6m 鋼矢板打込長 5.5m 平均鋼矢板引抜長 5.5m	枚		202		鋼矢板圧入（Ｎｍａｘ≦２５） 施工場所=陸上; 鋼矢板型式=III型; 圧入長=6m以下; ﾗﾌﾃﾚｰﾝｸﾚｰﾝ規格=排出ｶﾞｽ対策型(第2次基準値);	枚	202
						油圧式杭圧入引抜機据付・解体 作業区分=圧入(Nmax≦25); 鋼矢板型式=III型; 施工場所=陸上; ﾗﾌﾃﾚｰﾝｸﾚｰﾝ規格=排出ｶﾞｽ対策型(第2次基準値);	回	4
						鋼矢板引抜き 施工場所=陸上; 鋼矢板型式=III型; 引抜長=6m以下; ﾗﾌﾃﾚｰﾝｸﾚｰﾝ規格=排出ｶﾞｽ対策型(第2次基準値);	枚	202
						油圧式杭圧入引抜機据付・解体 作業区分=引抜き; 鋼矢板型式=III型; 施工場所=陸上; ﾗﾌﾃﾚｰﾝｸﾚｰﾝ規格=排出ｶﾞｽ対策型(第2次基準値);	回	4
						鋼矢板賃料（普通鋼矢板） 鋼矢板の種類=III型; 鋼矢板1枚当りの長さ(実数入力)=6 m/枚; 供用日数(実数入力)=273 日; 継続工事の有無=無; 修理費及び損耗費の有無=有; 作業区分=軽作業; 一現場での使用回数(実数入力)=4 回;	枚	51
鋼矢板 (夜間)	III型 平均鋼矢板長さ 6.5m 鋼矢板打込長 6m 平均鋼矢板引抜長 6m	枚		429		鋼矢板圧入（Ｎｍａｘ≦２５） 施工場所=陸上; 鋼矢板型式=III型; 圧入長=6m以下; ﾗﾌﾃﾚｰﾝｸﾚｰﾝ規格=排出ｶﾞｽ対策型(第2次基準値);	枚	429
						鋼矢板引抜き 施工場所=陸上; 鋼矢板型式=III型; 引抜長=6m以下; ﾗﾌﾃﾚｰﾝｸﾚｰﾝ規格=排出ｶﾞｽ対策型(第2次基準値);	枚	429
						鋼矢板賃料（普通鋼矢板） 鋼矢板の種類=III型; 鋼矢板1枚当りの長さ(実数入力)=6.5 m/枚; 供用日数(実数入力)=273 日; 継続工事の有無=無; 修理費及び損耗費の有無=有; 作業区分=軽作業; 一現場での使用回数(実数入力)=4 回;	枚	107

見積参考資料

工事名	安来電線共同溝PFI事業（２工区）　（　当　初　）	工種区分	Ｃ・Ｃ・ＢＯＸ工事

工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単　位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参　考　事　項		
						名称	単位	数量
切梁･腹起し (夜間)		t		34		切梁・腹起し設置・撤去 作業区分=設置･撤去; 火打ﾌﾞﾛｯｸの有無=無; ﾗﾌﾃﾚｰﾝｸﾚｰﾝ賃料補正=標準以外; ﾗﾌﾃﾚｰﾝｸﾚｰﾝ賃料補正(実数入力)=1.3 無; 山留材賃料 火打ﾌﾞﾛｯｸの有無=無; 供用日数(実数入力)=273 日; 継続工事の有無=無; 主部材修理費及び損耗費の計上=有; 主部材一現場での使用回数(実数)=4 回/現場; 副部材A修理費及び損耗費の計上=有; 副部材A一現場での使用回数(実)=4 回/現場; 副部材Bの計上=有; 副部材B一現場での使用回数(実)=4 回/現場;	t t	34 6.7
交通管理工		式		1				
交通誘導警備員		人日		170		＜　　1　　人日当り＞ 交通誘導警備員Ａ 作業区分=夜間勤務(交替要員有り);	人日	1
交通誘導警備員		人日		1,530		＜　　1　　人日当り＞ 交通誘導警備員Ｂ 作業区分=夜間勤務(交替要員有り);	人日	1
舗装版撤去工		式		1				
舗装版破砕工		式		1				

見積参考資料

工事名	安来電線共同溝PFI事業（２工区）　（　当　初　）	工種区分	Ｃ・Ｃ・ＢＯＸ工事

工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単　位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参　考　事　項		
						名称	単位	数量
殻運搬 （夜間）	ｱｽﾌｧﾙﾄ殻	m3		56		＜　　1　　m3当り＞ 殻運搬 殻発生作業=舗装版破砕; 積込工法区分=機械積込(騒音対策不要､厚15cm超)又(騒音対策必要); DID区間の有無=有り; 運搬距離(km)(DID区間有)=60.0km以下; 費用の内訳=全ての費用;	ｍ３	1
殻処分 （夜間）	ｱｽﾌｧﾙﾄ殻	m3		56		処分費（ｍ３）	ｍ３	56
舗装版切断 （夜間）	ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版 15cm以下	m		830		＜　　1　　m当り＞ 舗装版切断 舗装版種別=ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版; ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版厚=15cm以下; 費用の内訳=全ての費用;	m	1
舗装版切断 （夜間）	ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版 15cm超30cm以下	m		340		＜　　1　　m当り＞ 舗装版切断 舗装版種別=ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版; ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版厚=15cmを超え30cm以下; 費用の内訳=全ての費用;	m	1
舗装版破砕 （夜間）	ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版 15cm超35cm以下	m2		600		＜　　1　　m2当り＞ 舗装版破砕 舗装版種別=ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版; 障害等の有無=無し; 騒音振動対策=必要; 舗装版厚=15cmを超え35cm以下; 積込作業の有無=有り; 費用の内訳=全ての費用;	ｍ２	1
開削土工		式		1				
掘削工		式		1				
開削掘削 （夜間）		m3		1,000		＜　　1　　m3当り＞ 床掘り	ｍ３	1

見積参考資料

工事名	安来電線共同溝PFI事業（２工区）　（　当　初　）	工種区分	Ｃ・Ｃ・ＢＯＸ工事

工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単　位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参　考　事　項		
						名称	単位	数量
埋戻し工		式		1				
埋戻し・締固め（夜間）	土砂	m3		490		＜　1　m3当り＞ 埋戻し・締固め 土質=土砂;	ｍ３	1
埋戻し・締固め（夜間）	中埋砂	m3		210		＜　1　m3当り＞ 埋戻し・締固め 土質=中埋砂;	ｍ３	1
残土処理工		式		1				
土砂等運搬（夜間）		m3		450		＜　1　m3当り＞ 運搬（電線共同溝） 積載区分=土砂; DID区間の有無=有り; 運搬距離(km)(DID区間有)=6.0km以下;	ｍ３	1
電線共同溝工		式		1				
管路工(管路部)		式		1				
埋設管路（夜間）	HIVP管 直管 径 125ｍｍ	m		361		＜　1　m当り＞ 管路材設置 作業区分=埋設部; 設置区分=単管設置;	m	1
埋設管路（夜間）	HIVP管 直管 径 100ｍｍ	m		309		＜　1　m当り＞ 管路材設置 作業区分=埋設部; 設置区分=単管設置;	m	1
埋設管路（夜間）	PV管 直管 径 75ｍｍ	m		437		＜　1　m当り＞ 管路材設置 作業区分=埋設部; 設置区分=単管設置;	m	1

見積参考資料

工事名	安来電線共同溝PFI事業（２工区）　（　当　初　）	工種区分	Ｃ・Ｃ・ＢＯＸ工事

工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単　位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参　考　事　項		
						名称	単位	数量
埋設管路 (夜間)	PV管 直管 径 50 ｍｍ	m		195		＜　1　m当り＞ 管路材設置 作業区分=埋設部; 設置区分=単管設置;	m	1
埋設管路 (夜間)	VP管 直管 径 100 ｍｍ	m		61		＜　1　m当り＞ 管路材設置 作業区分=埋設部; 設置区分=単管設置;	m	1
埋設管路 (夜間)	VP管 直管 径 150 ｍｍ	m		73		＜　1　m当り＞ 管路材設置 作業区分=埋設部; 設置区分=FA管設置;	m	1
埋設管路 (夜間)	VP管 直管 径 250 ｍｍ	m		84		＜　1　m当り＞ 管路材設置 作業区分=埋設部; 設置区分=ﾎﾞﾃﾞｨ管(φ250mm)設置(さや管含む); さや管の条数=標準:11条(9条(φ50)+2条(φ30));	m	1
埋設管路 (夜間)	HIVP管 曲管(R10) 径 125ｍｍ	m		418		＜　1　m当り＞ 管路材設置 作業区分=埋設部; 設置区分=単管設置;	m	1
埋設管路 (夜間)	HIVP管 曲管(R10) 径 100ｍｍ	m		434		＜　1　m当り＞ 管路材設置 作業区分=埋設部; 設置区分=単管設置;	m	1
埋設管路 (夜間)	PV管 曲管(R10) 径 75ｍｍ	m		418		＜　1　m当り＞ 管路材設置 作業区分=埋設部; 設置区分=単管設置;	m	1
埋設管路 (夜間)	PV管 曲管(R10) 径 50ｍｍ	m		105		＜　1　m当り＞ 管路材設置 作業区分=埋設部; 設置区分=単管設置;	m	1
埋設管路 (夜間)	VP管 曲管(R10) 径 100ｍｍ	m		105		＜　1　m当り＞ 管路材設置 作業区分=埋設部; 設置区分=単管設置;	m	1
埋設管路 (夜間)	VP管 曲管(R10) 径 150ｍｍ	m		116		＜　1　m当り＞ 管路材設置 作業区分=埋設部; 設置区分=FA管設置;	m	1

見積参考資料

工事名	安来電線共同溝PFI事業（２工区）　（　当　初　）	工種区分	Ｃ・Ｃ・ＢＯＸ工事

工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単　位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参　考　事　項		
						名称	単位	数量
埋設管路 (夜間)	VP管 曲管(R10) 径 250ｍｍ	m		105		＜　　1　　m当り＞ 管路材設置 作業区分=埋設部; 設置区分=ﾎﾞﾃﾞｨ管(φ250㎜)設置(さや管含む); さや管の条数=標準:11条(9条(φ50)+2条(φ30));	m	1
埋設管路 (夜間)	HIVP管 曲管(R6) 径 125ｍｍ	m		40		＜　　1　　m当り＞ 管路材設置 作業区分=埋設部; 設置区分=単管設置;	m	1
埋設管路 (夜間)	HIVP管 曲管(R6) 径 100ｍｍ	m		72		＜　　1　　m当り＞ 管路材設置 作業区分=埋設部; 設置区分=単管設置;	m	1
埋設管路 (夜間)	PV管 曲管(R6) 径 75ｍｍ	m		40		＜　　1　　m当り＞ 管路材設置 作業区分=埋設部; 設置区分=単管設置;	m	1
埋設管路 (夜間)	PV管 曲管(R6) 径 50ｍｍ	m		10		＜　　1　　m当り＞ 管路材設置 作業区分=埋設部; 設置区分=単管設置;	m	1
埋設管路 (夜間)	VP管 曲管(R6) 径 100ｍｍ	m		33		＜　　1　　m当り＞ 管路材設置 作業区分=埋設部; 設置区分=単管設置;	m	1
埋設管路 (夜間)	VP管 曲管(R6) 径 150ｍｍ	m		17		＜　　1　　m当り＞ 管路材設置 作業区分=埋設部; 設置区分=FA管設置;	m	1
埋設管路 (夜間)	VP管 曲管(R6) 径 250ｍｍ	m		10		＜　　1　　m当り＞ 管路材設置 作業区分=埋設部; 設置区分=ﾎﾞﾃﾞｨ管(φ250㎜)設置(さや管含む); さや管の条数=標準:11条(9条(φ50)+2条(φ30));	m	1
管路管台 (夜間)	HIVP管用 φ125-250P	個		1,919		＜　　1　　個当り＞ 管路受台（スペーサ）（材料費）	個	1

見積参考資料

工事名	安来電線共同溝PFI事業（２工区）　（　当　初　）	工種区分	Ｃ・Ｃ・ＢＯＸ工事

工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単　位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参　考　事　項		
						名称	単位	数量
管路管台 (夜間)	HIVP管用　φ100-150P	個		1,962		＜　　1　　個当り＞ 管路受台（スペーサ）（材料費）	個	1
管路管台 (夜間)	PV管用　φ75-130P	個		1,106		＜　　1　　個当り＞ 管路受台（スペーサ）（材料費）	個	1
管路管台 (夜間)	PV管用　φ50-95P	個		210		＜　　1　　個当り＞ 管路受台（スペーサ）（材料費）	個	1
管路管台 (夜間)	VP管用　φ100-150P	個		165		＜　　1　　個当り＞ 管路受台（スペーサ）（材料費）	個	1
管路管台 (夜間)	VP管用　φ150-220P	個		165		＜　　1　　個当り＞ 管路受台（スペーサ）（材料費）	個	1
管路管台 (夜間)	VP管用　φ250-350P	個		204		＜　　1　　個当り＞ 管路受台（スペーサ）（材料費）	個	1
中間継手 (夜間)	HIVPφ125用	個		16		＜　　1　　個当り＞ 電力用耐衝撃性硬質塩化ビニル管　半割継手　ＨＩＶＰφ１２５（電共用）	個	1
中間継手 (夜間)	HIVPφ100用	個		21		＜　　1　　個当り＞ 電力用耐衝撃性硬質塩化ビニル管　半割継手　ＨＩＶＰφ１００（電共用）	個	1
中間継手 (夜間)	PVφ75用	個		24		＜　　1　　個当り＞ 電力用耐衝撃性硬質塩化ビニル管　中間継手　ＰＶφ７５（電共用）	個	1
中間継手 (夜間)	PVφ50用	個		15		＜　　1　　個当り＞ ●通信用硬質塩化ビニル管 中間継手 PVφ50用	個	1

見積参考資料

工事名	安来電線共同溝PFI事業（２工区）　（　当　初　）	工種区分	Ｃ・Ｃ・ＢＯＸ工事

工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単　位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参　考　事　項		
						名称	単位	数量
中間継手 (夜間)	VPφ100用	個		9		＜　　1　　個当り＞ 電力用耐衝撃性硬質塩化ビニル管　中間継手　ＶＰφ１００（電共用）	個	1
中間継手 (夜間)	VPφ150用	個		4		＜　　1　　個当り＞ 電力用耐衝撃性硬質塩化ビニル管　中間継手　ＶＰφ１５０（電共用）	個	1
中間継手 (夜間)	VPφ250用	個		2		＜　　1　　個当り＞ 通信用硬質塩化ビニル管 中間継手 スライド管 VPφ250	個	1
鞘管固定管(起点用) (夜間)	VP管　φ250用	個		3		＜　　1　　個当り＞ 管路材設置 作業区分=埋設部; 設置区分=ﾎﾞﾃﾞｨ管(φ250mm)設置(さや管含む); さや管の条数=標準:11条(9条(φ50)+2条(φ30));	m	1.2
鞘管固定管(終点用) (夜間)	VP管　φ250用	個		2		＜　　1　　個当り＞ 管路材設置 作業区分=埋設部; 設置区分=ﾎﾞﾃﾞｨ管(φ250mm)設置(さや管含む); さや管の条数=標準:11条(9条(φ50)+2条(φ30));	m	1.14
埋設表示ｼｰﾄ (夜間)	W=300 2倍	m		743		＜　　1　　m当り＞ 埋設標識シート設置(W=300 2倍)	m	1
敷砂 (夜間)		m3		23		＜　　1　　m3当り＞ 埋戻し・締固め 土質=中埋砂;	ｍ３	1
ﾌﾟﾚｷｬｽﾄﾎﾞｯｸｽ工(特殊部)		式		1				

見積参考資料

工事名	安来電線共同溝PFI事業（２工区）　（　当　初　）	工種区分	Ｃ・Ｃ・ＢＯＸ工事

工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単　位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参　考　事　項		
						名称	単位	数量
ﾌﾟﾚｷｬｽﾄﾎﾞｯｸｽ （夜間）	3.7ﾀｲﾌﾟ　S型 内幅 1.35m 内高 1.8m RC-40	個		1		沈下埋設工(W1350×H1800×L3700) ●ハンドホール鉄蓋 鉄蓋 960×500用 T-25 二重施錠装置付 ●プレキャストボックス沈下埋設型 S型MH W1350×H1800×L3700 ●プレキャストボックス沈下埋設型 調整ブロック 960×500用 H=250～ コンクリート 構造物種別=無筋･鉄筋構造物; 施工条件=打設量10m3/日未満かつ打設地上高さ2m以下; ｺﾝｸﾘｰﾄ規格=各種; 養生工の種類=一般養生; 現場内小運搬の有無=無し; 費用の内訳=全ての費用; 基礎砕石 砕石の厚さ=7.5cm超12.5cm以下; 砕石の種類=再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ 40～0; 費用の内訳=全ての費用; 鉄筋工［市場単価］ 鉄筋材料規格･径=SD345 D13; 規格･仕様区分=一般構造物; 施工規模=10t未満; 時間的制約を受ける場合の補正=無; 夜間作業補正=有; ﾄﾝﾈﾙ内作業の補正=無; 法面作業の補正=無; 太径鉄筋補正=補正無(鉄筋割合10%未満含む); 構造物種別による補正=補正無(一般構造物);	基 個 個 個 ｍ３ ｍ２ ｔ	1 1 1 1 1.238 4.95 0.087

見積参考資料

工事名	安来電線共同溝PFI事業（２工区）　（　当　初　）	工種区分	Ｃ・Ｃ・ＢＯＸ工事

工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単　位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参　考　事　項		
						名称	単位	数量
ﾌﾟﾚｷｬｽﾄﾎﾞｯｸｽ （夜間）	3.7ﾀｲﾌﾟ　S型 内幅 1.35m 内高 2.2m RC-40	個		1		沈下埋設工(W1350×H2200×L3700) ●ハンドホール鉄蓋 鉄蓋 960×500用 T-25 二重施錠装置付 ●プレキャストボックス沈下埋設型 S型MH W1350×H2200×L3700 ●プレキャストボックス沈下埋設型 調整ブロック 960×500用 H=250～ コンクリート 構造物種別=無筋･鉄筋構造物; 施工条件=打設量10m3/日未満かつ打設地上高さ2m以下; ｺﾝｸﾘｰﾄ規格=各種; 養生工の種類=一般養生; 現場内小運搬の有無=無し; 費用の内訳=全ての費用; 基礎砕石 砕石の厚さ=7.5cm超12.5cm以下; 砕石の種類=再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ 40～0; 費用の内訳=全ての費用; 鉄筋工［市場単価］ 鉄筋材料規格･径=SD345 D13; 規格･仕様区分=一般構造物; 施工規模=10t未満; 時間的制約を受ける場合の補正=無; 夜間作業補正=有; ﾄﾝﾈﾙ内作業の補正=無; 法面作業の補正=無; 太径鉄筋補正=補正無(鉄筋割合10%未満含む); 構造物種別による補正=補正無(一般構造物);	基 個 個 個 ｍ３ ｍ２ ｔ	1 1 1 1 1.238 4.95 0.087

見積参考資料

工事名	安来電線共同溝PFI事業（２工区）　（　当　初　）	工種区分	Ｃ・Ｃ・ＢＯＸ工事

工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単　位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参　考　事　項		
						名称	単位	数量
ﾌﾟﾚｷｬｽﾄﾎﾞｯｸｽ （夜間）	4.5ﾀｲﾌﾟ　S型 内幅 1.35m 内高 2.2m RC-40	個		2		＜　　1　　個当り＞ 沈下埋設工(W1350×H2200×L4500) ●ハンドホール鉄蓋 鉄蓋 960×500用 T-25 二重施錠装置付 ●プレキャストボックス沈下埋設型 S型MH W1350×H2200×L4500 ●プレキャストボックス沈下埋設型 調整ブロック 960×500用 H=250～ コンクリート 構造物種別=無筋･鉄筋構造物; 施工条件=打設量10m3/日未満かつ打設地上高さ2m以下; ｺﾝｸﾘｰﾄ規格=各種; 養生工の種類=一般養生; 現場内小運搬の有無=無し; 費用の内訳=全ての費用; 基礎砕石 砕石の厚さ=7.5cm超12.5cm以下; 砕石の種類=再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ 40～0; 費用の内訳=全ての費用; 鉄筋工［市場単価］ 鉄筋材料規格･径=SD345 D13; 規格･仕様区分=一般構造物; 施工規模=10t未満; 時間的制約を受ける場合の補正=無; 夜間作業補正=有; ﾄﾝﾈﾙ内作業の補正=無; 法面作業の補正=無; 太径鉄筋補正=補正無(鉄筋割合10%未満含む); 構造物種別による補正=補正無(一般構造物);	基 個 個 個 ｍ３ ｍ２ ｔ	1 1 1 1 1.519 6.075 0.103

見積参考資料

工事名	安来電線共同溝PFI事業（２工区）　（　当　初　）	工種区分	Ｃ・Ｃ・ＢＯＸ工事

工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単　位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参　考　事　項		
						名称	単位	数量
ﾌﾟﾚｷｬｽﾄﾎﾞｯｸｽ 分岐桝(夜間)	1.2ﾀｲﾌﾟ 内幅 0.6m 内高 0.415m RC-40	個		5		＜　　1　　個当り＞ プレキャストボックスブロック設置 ﾎﾞｯｸｽﾌﾞﾛｯｸ1個当り質量=1000kg以下; ﾗﾌﾃﾚｰﾝｸﾚｰﾝ賃料補正係数=標準以外; ﾗﾌﾃﾚｰﾝｸﾚｰﾝ賃料補正係数(実数入力)=1.3 無; モルタル練 ｾﾒﾝﾄ種類=高炉; 混合比=1:3; 費用の内訳=全ての費用; 基礎砕石 砕石の厚さ=7.5cm超12.5cm以下; 砕石の種類=再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ 40～0; 費用の内訳=全ての費用; プレキャストボックスブロック設置 ﾎﾞｯｸｽﾌﾞﾛｯｸ1個当り質量=1000kg以下; ﾗﾌﾃﾚｰﾝｸﾚｰﾝ賃料補正係数=標準以外; ﾗﾌﾃﾚｰﾝｸﾚｰﾝ賃料補正係数(実数入力)=1.3 無;	個 ｍ３ ｍ２ 個	1 0.035 1.398 1
ﾍﾞﾙﾏｳｽ		式		1		●ベルマウス(沈下埋設型) HIVPφ125 ●ベルマウス(沈下埋設型) HIVPφ100 電力用耐衝撃性硬質塩化ビニル管　受口付ベルマウス ＨＩＶＰφ１００（電共用） ●ベルマウス(沈下埋設型) PVφ75 ●ベルマウス(沈下埋設型) PVφ50 ●ベルマウス(沈下埋設型) VPφ250 ●ベルマウス(沈下埋設型) VPφ150 ●ベルマウス(沈下埋設型) VPφ100 通信用硬質塩化ビニル管　ダクトスリーブ 呼び径１００（電共用） ●ベルマウス(沈下埋設型) FEPφ100用 ●ベルマウス(沈下埋設型) SFPφ100用	個 個 個 個 個 個 個 個 個 個 個	32 32 10 44 33 8 8 8 10 4 4
情報ﾎﾞｯｸｽ工		式		1				

見積参考資料

工事名	安来電線共同溝PFI事業（２工区）　（　当　初　）	工種区分	Ｃ・Ｃ・ＢＯＸ工事

工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単　位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参　考　事　項		
						名称	単位	数量
作業土工		式		1				
床掘り (夜間)		m3		110		＜　　1　　m3当り＞ 床掘り	ｍ３	1
残土処理 (夜間)	小規模 土砂(岩塊・玉石混り土含む)	m3		100		＜　　1　　m3当り＞ 土砂等運搬 土砂等発生現場=小規模; 積込機種･規格=ﾊﾞｯｸﾎｳ山積0.28m3(平積0.2m3); 土質=土砂(岩塊･玉石混り土含む); DID区間の有無=有り; 運搬距離(km)(DID区間有)=5.5km以下;	ｍ３	1
埋戻し (夜間)		m3		10		＜　　1　　m3当り＞ 埋戻し	ｍ３	1
埋戻し (夜間)		m3		40		＜　　1　　m3当り＞ 埋戻し 中埋材（材料費） 中埋材料=砂;	ｍ３ ｍ３	1 1
管路工(管路部)		式		1				
埋設管路 (夜間)	合成樹脂製 径 300mm	m		164		＜　　1　　m当り＞ 埋設部管路材設置 本体管の材質=合成樹脂製; さや管の材質=VU管類; 設置区分=本体管及びさや管設置; さや管の条数=10管;	m	1
埋設管路 (夜間)	鋼製 径 50mm	m		31		＜　　1　　m当り＞ 埋設部管路材設置 本体管の材質=鋼製; 設置区分=本体管設置;	m	1

見積参考資料

工事名	安来電線共同溝PFI事業（２工区）　（　当　初　）	工種区分	Ｃ・Ｃ・ＢＯＸ工事

工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単　位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参　考　事　項		
						名称	単位	数量
埋設表示ｼｰﾄ （夜間）	W=300 2倍	m		164		＜　　1　　m当り＞ 埋設表示シート（材料費）	m	1
敷砂 （夜間）		m3		16		＜　　1　　m3当り＞ 埋戻し 中埋材（材料費） 中埋材料=砂;	ｍ３ ｍ３	1 1
管路防護工		式		1				
防護ｺﾝｸﾘｰﾄ （夜間）		箇所		1		コンクリート 構造物種別=小型構造物; 施工条件=打設地上高さ2m以下; ｺﾝｸﾘｰﾄ規格=各種; 養生工の種類=一般養生; 現場内小運搬の有無=無し; 費用の内訳=全ての費用; 型枠 型枠の種類=一般型枠; 構造物の種類=小型構造物; 基礎砕石 砕石の厚さ=7.5cm超12.5cm以下; 砕石の種類=再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ 40～0; 費用の内訳=全ての費用;	ｍ３ ｍ２ ｍ２	0.5 1 3.6
ﾊﾝﾄﾞﾎｰﾙ工		式		1				
ﾊﾝﾄﾞﾎｰﾙ （夜間）	B1000×H1000×L1500	箇所		1		ハンドホール ｸﾚｰﾝ機種=ﾄﾗｯｸ(ｸﾚｰﾝ装置付)4t積･2.9t吊; ハンドホール蓋（材料費） モルタル練 ｾﾒﾝﾄ種類=高炉; 混合比=1:3; 費用の内訳=全ての費用; 基礎材 砕石の厚さ=12.5cmを超え17.5cm以下; 砕石の種類=再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ 40～0;	個 枚 ｍ３ ｍ２	1 1 0.065 2.466

見積参考資料

工事名	安来電線共同溝PFI事業（２工区）　（　当　初　）	工種区分	Ｃ・Ｃ・ＢＯＸ工事

工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単　位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参　考　事　項		
						名称	単位	数量
ﾊﾝﾄﾞﾎｰﾙ (夜間)	B600×H1100×L600	箇所		2		＜　　1　　箇所当り＞ ハンドホール ｸﾚｰﾝ機種=ﾄﾗｯｸ(ｸﾚｰﾝ装置付)4t積･2.9t吊; モルタル練 ｾﾒﾝﾄ種類=高炉; 混合比=1:3; 費用の内訳=全ての費用; 基礎材 砕石の厚さ=12.5cmを超え17.5cm以下; 砕石の種類=再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ 40～0;	個 ｍ３ ｍ２	1 0.019 0.81
道路改良 (上り線 2工区)		式		1				
道路土工		式		1				
残土処理工		式		1				
土砂等運搬 (夜間)	土砂(岩塊･玉石混り土含む)	m3		40		＜　　1　　m3当り＞ 土砂等運搬 土砂等発生現場=標準; 積込機種･規格=ﾊﾞｯｸﾎｳ山積0.45m3(平積0.35m3); 土質=土砂(岩塊･玉石混り土含む); DID区間の有無=有り; 運搬距離(km)(DID区間有)=5.5km以下;	ｍ３	1
排水構造物工		式		1				
作業土工		式		1				

見積参考資料

工事名	安来電線共同溝PFI事業（２工区）　（　当　初　）	工種区分	Ｃ・Ｃ・ＢＯＸ工事

工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単　位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参　考　事　項		
						名称	単位	数量
床掘り (夜間)	土砂	m3		20		＜　　1　　m3当り＞ 床掘り 　土質区分=土砂; 施工方法=平均施工幅1m以上2m未満; 土留方式の種類=無し; 障害の有無=障害無し;	ｍ３	1
床掘り (夜間)	土砂	m3		80		＜　　1　　m3当り＞ 床掘り 　土質区分=土砂; 施工方法=上記以外(小規模); 費用の内訳=全ての費用;	ｍ３	1
埋戻し (夜間)	土砂	m3		9		＜　　1　　m3当り＞ 埋戻し 　施工方法=最大埋戻幅1m未満;	ｍ３	1
埋戻し (夜間)	土砂	m3		50		＜　　1　　m3当り＞ 埋戻し 　施工方法=上記以外(小規模); 土質区分=土砂; 費用の内訳=全ての費用;	ｍ３	1
基面整正 (夜間)		m2		7		＜　　1　　m2当り＞ 基面整正	ｍ２	1
側溝工		式		1				
縁石管渠A1 (夜間)	φ150	m		153		＜　　1　　m当り＞ 路側側溝設置(D150 L1000)	m	1
縁石管渠B (夜間)	φ150	m		22		＜　　1　　m当り＞ 歩車道境界ブロック 　作業区分=設置; ﾌﾞﾛｯｸ規格=各種(2000mm以下、50kg以上550kg未満); 基礎砕石の有無=有り; 均し基礎ｺﾝｸﾘｰﾄ規格=不要;	m	1

見積参考資料

工事名	安来電線共同溝PFI事業（２工区）　（　当　初　）	工種区分	Ｃ・Ｃ・ＢＯＸ工事

工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単　位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参　考　事　項		
						名称	単位	数量
縁石管渠C (夜間)	φ150	m		21		＜　　1　　m当り＞ 歩車道境界ブロック 作業区分=設置; ﾌﾞﾛｯｸ規格=各種(2000mm以下､50kg以上550kg未満); 基礎砕石の有無=有り; 均し基礎ｺﾝｸﾘｰﾄ規格=不要;	m	1
縁石管渠D(L) (夜間)	φ150	m		4		＜　　1　　m当り＞ 歩車道境界ブロック 作業区分=設置; ﾌﾞﾛｯｸ規格=各種(2000mm以下､50kg以上550kg未満); 基礎砕石の有無=有り; 均し基礎ｺﾝｸﾘｰﾄ規格=不要;	m	1
縁石管渠D(R) (夜間)	φ150	m		4		＜　　1　　m当り＞ 歩車道境界ブロック 作業区分=設置; ﾌﾞﾛｯｸ規格=各種(2000mm以下､50kg以上550kg未満); 基礎砕石の有無=有り; 均し基礎ｺﾝｸﾘｰﾄ規格=不要;	m	1
縁石管渠桝A (夜間)	φ150	箇所		13		＜　　1　　箇所当り＞ プレキャスト集水桝 作業区分=据付; 製品質量(kg/基)=80kgを超え400kg以下; 基礎砕石の有無=有り; 費用の内訳=全ての費用; プレキャスト集水桝（材料費）	基 基	1 1
縁石管渠桝B (夜間)	φ150	箇所		2		＜　　1　　箇所当り＞ プレキャスト集水桝 作業区分=据付; 製品質量(kg/基)=80kgを超え400kg以下; 基礎砕石の有無=有り; 費用の内訳=全ての費用; プレキャスト集水桝（材料費）	基 基	1 1
舗装工		式		1				

見積参考資料

工事名	安来電線共同溝PFI事業（２工区）　（　当　初　）	工種区分	Ｃ・Ｃ・ＢＯＸ工事

工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単　位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参　考　事　項		
						名称	単位	数量
排水性舗装工 車道舗装(A)		式		1				
下層路盤(車道・路肩部) (夜間)	再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ RC-40 仕上り厚 200mm	m2		377		＜　　1　　m2当り＞ 下層路盤（車道・路肩部） 平均厚さ=175mmを超え200mm以下；材料=再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ RC-40；費用の内訳=全ての費用；	ｍ２	1
上層路盤(車道・路肩部) (夜間)	粒度調整砕石 M-40 仕上り厚 150mm	m2		377		＜　　1　　m2当り＞ 上層路盤（車道・路肩部） 材料=粒度調整砕石 M-40；平均厚さ=125mmを超え150mm以下；費用の内訳=全ての費用；	ｍ２	1
上層路盤(車道・路肩部) (夜間)	再生As安定処理(30) 仕上り厚 80mm	m2		377		＜　　1　　m2当り＞ 上層路盤（車道・路肩部） 材料=路盤材(各種)；平均厚さ=75mmを超え85mm以下；平均幅員=1.4m以上；瀝青材料種類=ﾌﾟﾗｲﾑｺｰﾄ PK-3；費用の内訳=全ての費用；	ｍ２	1
基層(車道・路肩部) (夜間)	再生粗粒度Asﾎﾟﾘﾏｰ改質Ⅰ型(20) 舗装厚 50mm 1.4m以上	m2		377		＜　　1　　m2当り＞ 基層（車道・路肩部） 平均幅員=1.4m以上；1層当り平均仕上り厚(70mm以下)(実数入力)=50 mm；材料=各種(2.30以上2.40t/m3未満)；瀝青材料種類=ﾀｯｸｺｰﾄ(各種)；費用の内訳=全ての費用；	ｍ２	1
排水性舗装・表層（車道・路肩部）　(夜間)	ﾎﾟｰﾗｽAs(13) 舗装厚 50mm 2.4m以上	m2		377		＜　　1　　m2当り＞ 排水性舗装・表層（車道・路肩部） 平均施工幅員=2.4m以上；1層当り平均仕上り厚(65mm未満)(実数入力)=50 mm；導水ﾊﾟｲﾌﾟの設置=無し；材料=各種(2.00t/m3以上2.10t/m3未満)；瀝青材料の規格=ﾀｯｸｺｰﾄ PKR(ｺﾞﾑ入り)；	ｍ２	1
透水性舗装工 歩道舗装(A)		式		1				

見積参考資料

工事名	安来電線共同溝PFI事業（２工区）　（　当　初　）	工種区分	Ｃ・Ｃ・ＢＯＸ工事

工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単　位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参　考　事　項		
						名称	単位	数量
ﾌｨﾙﾀｰ層 (夜間)	砂(ｸｯｼｮﾝ用) 仕上り厚 50ｍｍ	m2		507		＜　1　m2当り＞ フィルター層 平均厚さ=40mm以上60mm未満;	ｍ２	1
下層路盤(歩道部) (夜間)	再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ RC-30 仕上り厚 100ｍｍ	m2		507		＜　1　m2当り＞ 下層路盤（歩道部） 平均厚さ=75mmを超え125mm以下; 材料=再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ RC-30; 費用の内訳=全ての費用;	ｍ２	1
表層 (夜間)	透水性As(13) 1.4m以上 舗装厚 40ｍｍ	m2		507		＜　1　m2当り＞ 透水性アスファルト舗装 平均幅員=1.4m以上; 1層当り平均仕上り厚(70mm以下)(実数入力)=40 mm; 材料=各種(2.00以上2.10t/m3未満);	ｍ２	1
透水性舗装工 歩道舗装(B)		式		1				
ﾌｨﾙﾀｰ層 (夜間)	砂(ｸｯｼｮﾝ用) 仕上り厚 50ｍｍ	m2		59		＜　1　m2当り＞ フィルター層 平均厚さ=40mm以上60mm未満;	ｍ２	1
下層路盤(歩道部) (夜間)	再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ RC-40 仕上り厚 150ｍｍ	m2		59		＜　1　m2当り＞ 下層路盤（歩道部） 平均厚さ=125mmを超え175mm以下; 材料=再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ RC-40; 費用の内訳=全ての費用;	ｍ２	1
表層 (夜間)	透水性As　1.4m以上 舗装厚 50ｍｍ	m2		59		＜　1　m2当り＞ 透水性アスファルト舗装 平均幅員=1.4m以上; 1層当り平均仕上り厚(70mm以下)(実数入力)=50 mm; 材料=各種(2.00以上2.10t/m3未満);	ｍ２	1
縁石工		式		1				

見積参考資料

工事名	安来電線共同溝PFI事業（２工区）　（　当　初　）	工種区分	Ｃ・Ｃ・ＢＯＸ工事

工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単　位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参　考　事　項		
						名称	単位	数量
縁石工		式		1				
歩車道境界ﾌﾞﾛｯｸ 縁石工A（夜間）	C種(180/210×300×600)	m		37		＜　　1　　m当り＞ 歩車道境界ブロック 作業区分=設置；ﾌﾞﾛｯｸ規格=C種(180/210×300×600)；基礎砕石の有無=有り；均し基礎ｺﾝｸﾘｰﾄ規格=不要；	m	1
歩車道境界ﾌﾞﾛｯｸ 縁石工C（夜間）	B種(180/205×250×600)	m		4		＜　　1　　m当り＞ 歩車道境界ブロック 作業区分=設置；ﾌﾞﾛｯｸ規格=B種(180/205×250×600)；基礎砕石の有無=有り；均し基礎ｺﾝｸﾘｰﾄ規格=不要；	m	1
道路付属施設工		式		1				
照明工		式		1				
照明柱基礎 2号(夜間)	抵抗板付鋼製基礎	基		1		抵抗板付鋼製杭基礎打込･引抜(施工回数3回以上) 夜間作業の有無=有り；時間的制約の有無=無し； 抵抗板付鋼製杭基礎材料費（H形鋼杭）	回 t	1 0.372
照明柱基礎 3号(夜間)	抵抗板付鋼製基礎	基		3		＜　　1　　基当り＞ 抵抗板付鋼製杭基礎打込･引抜(施工回数3回以上) 夜間作業の有無=有り；時間的制約の有無=無し； 抵抗板付鋼製杭基礎材料費（H形鋼杭）	回 t	1 0.641
照明柱 R-6(夜間)		基		1		照明柱　建柱	基	1
照明柱 R-7(夜間)		基		1		照明柱　建柱	基	1

見積参考資料

工事名	安来電線共同溝PFI事業（２工区）　（　当　初　）	工種区分	Ｃ・Ｃ・ＢＯＸ工事

工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単　位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参　考　事　項		
						名称	単位	数量
照明柱 R-9(夜間)		基		1		照明柱　建柱	基	1
照明柱 R-10(夜間)		基		1		照明柱　建柱	基	1
構造物撤去工		式		1				
構造物取壊し工		式		1				
舗装版破砕 (夜間)	ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版 15cm以下	m2		940		＜　　1　　m2当り＞ 舗装版破砕 舗装版種別=ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版; 障害等の有無=無し; 騒音振動対策=必要; 舗装版厚=15cm以下; 積込作業の有無=有り; 費用の内訳=全ての費用;	ｍ２	1
運搬処理工		式		1				
殻運搬 (夜間)	ｱｽﾌｧﾙﾄ殻	m3		42		＜　　1　　m3当り＞ 殻運搬 殻発生作業=舗装版破砕; 積込工法区分=機械積込(騒音対策不要､厚15cm超)又(騒音対策必要); DID区間の有無=有り; 運搬距離(km)(DID区間有)=60.0km以下; 費用の内訳=全ての費用;	ｍ３	1
殻処分 (夜間)	ｱｽﾌｧﾙﾄ殻	m3		42		＜　　1　　m3当り＞ 処分費（ｍ３）	ｍ３	1
直接工事費		式		1				

見積参考資料

工事名	安来電線共同溝PFI事業（２工区）　（　当　初　）	工種区分	Ｃ・Ｃ・ＢＯＸ工事

工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単　位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参　考　事　項		
						名称	単位	数量
共通仮設費		式		1				
共通仮設費		式		1				
運搬費		式		1				
仮設材運搬費		t		176.7		＜　　1　　t当り＞ 仮設材等(鋼矢板、H形鋼、覆工板、敷鉄板等)の運搬 運搬割増率=各種(実数入力)；運搬割増率(実数入力)=0 無；その他の諸料金の有無=無； 仮設材等の積込み，取卸し費 作業区分=積込み,取卸し(片道分)；	t t	1 1
準備費		式		1				
試掘		箇所		4		＜　　1　　箇所当り＞ 床掘り 土質区分=土砂；施工方法=現場制約あり； 埋戻し 施工方法=現場制約あり；土質区分=土砂；締固めの有無=有り； 下層路盤（歩道部） 平均厚さ=75mmを超え125mm以下；材料=再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝRC-40；費用の内訳=全ての費用； 表層（歩道部） 平均幅員=1.4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下)；1層当り平均仕上り厚(50mm以下)(実数入力)=40 mm；材料=各種(2.20以上2.30t/m3未満)；瀝青材料種類=ﾌﾟﾗｲﾑｺｰﾄ PK-3；費用の内訳=全ての費用；	 m３ m３ m２ m２	 3.285 3.06 2.25 2.25

見積参考資料

工事名	安来電線共同溝PFI事業（２工区）　（　当　初　）	工種区分	Ｃ・Ｃ・ＢＯＸ工事

工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単　位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参　考　事　項		
						名称	単位	数量
技術管理費		式		1				
道路施設基本ﾃﾞｰﾀ作成費用		式		1		道路施設基本ﾃﾞｰﾀ作成費用	式	1
現場環境改善費（率計上）		式		1		市街地補正=市街地		
共通仮設費（率計上）		式		1		施工地域補正=市街地（ＤＩＤ）（１）；除雪工補正=補正無；週休２日の補正=しない		
純工事費		式		1				
現場管理費		式		1		施工地域補正=市街地（ＤＩＤ）（１）；緊急工事補正=しない；砂防・地滑り工事補正=しない；週休２日の補正=しない		
工事原価		式		1				
一般管理費等		式		1				
工事価格		式		1				
消費税相当額		式		1				

見積参考資料

工事名	安来電線共同溝PFI事業（２工区）　（　当　初　）	工種区分	Ｃ・Ｃ・ＢＯＸ工事

工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単　位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参　考　事　項		
						名称	単位	数量
工事費計		式		1		建設技能労働者や交通誘導員等の現場労働者にかかる経費として、労務費のほか各種経費（法定福利費の事業者負担額、労務管理費、安全訓練等に要する費用等）が必要であり、本積算ではこれらを現場管理費等の一部として率計上している。		

見積参考資料（管理費区分一覧表）

凡　例
管理費区分1　共通仮設費のみ非対象　　管理費区分2　工場管理費・一般管理費の対象 管理費区分5　一般管理費等対象　　管理費区分7　間接労務費対象労務費
管理費区分9　率計算の非対象　　管理費区分T　処分費等の対象にする

○：該当する管理費区分が含まれている

工事名	安来電線共同溝PFI事業（２工区）　（当　初）	事業区分	共同溝･電線共同溝
		工事区分	電線共同溝

細別名称	規格	単位	数量	管理費区分 1 管理費区分 T	管理費区分 2	管理費区分 5	管理費区分 7	管理費区分 9
殻処分 (夜間)	ｱｽﾌｧﾙﾄ殻	m3	56	○				
殻処分 (夜間)	ｱｽﾌｧﾙﾄ殻	m3	42	○				
道路施設基本ﾃﾞｰﾀ作成費用		式	1					○

見　積　参　考　資　料

工 事 名　　安来電線共同溝PFI事業（３工区）

この「見積参考資料」は入札参加者の適切かつ迅速な見積に資するための資料であり、契約書第１条にいう設計図書ではない。従って「見積参考資料」は請負契約上の拘束力を生じるものではなく、受注者は、施工条件、地質条件等を充分考慮して、仮設、施工方法、安全対策等、工事目的物を完成するための一切の手段について受注者の責任において定めるものとする。

なお、この「見積参考資料」の有効期間は、この工事の入札日までとする。

国土交通省　中国地方整備局
松江国道事務所　管理第二課

見積参考資料

工事名	安来電線共同溝PFI事業（３工区）　（　当　初　）	工種区分	Ｃ・Ｃ・ＢＯＸ工事

工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単　位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参　考　事　項		
						名称	単位	数量
電線共同溝 (上り線 3工区)		式		1				
仮設工		式		1				
路面覆工		式		1				
覆工板･覆工板受桁 (夜間)	設置･撤去	m2		68		覆工板・受桁設置・撤去（設置面積７００ｍ２以下） 作業区分=設置･撤去; ﾗﾌﾃﾚｰﾝｸﾚｰﾝ賃料補正=標準以外; ﾗﾌﾃﾚｰﾝｸﾚｰﾝ賃料補正(実数入力)=1.3 無; 覆工板・鋼製マット賃料 仮設材区分=覆工板(鋼製滑り止め 従来型); 供用月数(実数入力)=10 月; 継続工事の有無=無; 修理費及び損耗費の計上=有; 一現場での使用回数(実数入力)=4 回; 山留材賃料 火打ﾌﾞﾛｯｸの有無=無; 供用日数(実数入力)=296 日; 継続工事の有無=無; 主部材修理費及び損耗費の計上=有; 主部材一現場での使用回数(実数)=4 回/現場; 副部材A修理費及び損耗費の計上=有; 副部材A一現場での使用回数(実)=4 回/現場; 副部材Bの計上=有; 副部材B一現場での使用回数(実)=4 回/現場;	ｍ２ ｍ２ ｔ	68 17 1.7
仮舗装工 仮舗装(A)		式		1				
下層路盤(歩道部) (夜間)	再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ RC-30 仕上り厚 100ｍｍ	m2		276		＜　　1　　m2当り＞ 下層路盤（歩道部） 平均厚さ=75㎜を超え125㎜以下; 材料=再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ RC-30; 費用の内訳=全ての費用;	ｍ２	1

見積参考資料

工事名	安来電線共同溝PFI事業（３工区）　（　当　初　）	工種区分	Ｃ・Ｃ・ＢＯＸ工事

工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単　位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参　考　事　項		
						名称	単位	数量
表層(歩道部) (夜間)	再生粗粒度As(20) 舗装厚 40ｍｍ 1.4m以上	m2		276		＜　　1　　m2当り＞ 表層（歩道部） 平均幅員=1.4m以上; 1層当り平均仕上り厚(70mm以下)(実数入力)=40 mm; 材料=各種(2.20以上2.30t/m3未満); 瀝青材料種類=ﾌﾟﾗｲﾑｺｰﾄ PK-3; 費用の内訳=全ての費用;	ｍ２	1
仮舗装工 仮舗装(B)		式		1				
下層路盤(歩道部) (夜間)	再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ RC-40 仕上り厚 150ｍｍ	m2		269		＜　　1　　m2当り＞ 下層路盤（歩道部） 平均厚さ=125mmを超え175mm以下; 材料=再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ RC-40; 費用の内訳=全ての費用;	ｍ２	1
表層(車道・路肩部) (夜間)	再生粗粒度As(20) 舗装厚 50ｍｍ 1.4m未満（1層当り平均仕上り厚50m	m2		269		＜　　1　　m2当り＞ 表層（車道・路肩部） 平均幅員=1.4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下); 1層当り平均仕上り厚(50mm以下)(実数入力)=50 mm; 材料=各種(2.20以上2.30t/m3未満); 瀝青材料種類=ﾌﾟﾗｲﾑｺｰﾄ PK-3; 費用の内訳=全ての費用;	ｍ２	1
土留･仮締切工		式		1				
軽量鋼矢板(電線共同溝) (夜間)	LSP-2 L=2.5m	m		539		軽量鋼矢板設置・撤去 軽量鋼矢板賃料(LSP-2 L=2.5m)	m m	539 20
軽量鋼矢板 (夜間)	LSP-3 L=4.0m	枚		278		軽量鋼矢板圧入(LSP-3型 圧入長4m以下) 軽量鋼矢板引抜き(LSP-3型 引抜き長4m以下) 軽量鋼矢板賃料(LSP-3 L=4.0m 軽作業4回)	枚 枚 枚	278 278 70
軽量鋼矢板 (夜間)	LSP-3 L=4.5m	枚		215		軽量鋼矢板圧入(LSP-3型 圧入長5m以下) 軽量鋼矢板引抜き(LSP-3型 引抜き長5m以下) 軽量鋼矢板賃料(LSP-3 L=4.5m 軽作業4回)	枚 枚 枚	215 215 54

見積参考資料

工事名	安来電線共同溝PFI事業（３工区）　（　当　初　）	工種区分	Ｃ・Ｃ・ＢＯＸ工事

工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単　位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参　考　事　項		
						名称	単位	数量
軽量鋼矢板 (夜間)	LSP-3 L=5.0m	枚		384		軽量鋼矢板圧入(LSP-3型 圧入長5m以下) 軽量鋼矢板引抜き(LSP-3型 引抜き長5m以下) 軽量鋼矢板賃料(LSP-3 L=5.0m 軽作業4回)	枚 枚 枚	384 384 96
軽量鋼矢板 (夜間)	LSP-3 L=5.5m	枚		148		軽量鋼矢板圧入(LSP-3型 圧入長6m以下) 軽量鋼矢板引抜き(LSP-3型 引抜き長6m以下) 油圧式杭圧入引抜機据付・解体(圧入) 油圧式杭圧入引抜機据付・解体(引抜) 軽量鋼矢板賃料(LSP-3 L=5.5m 軽作業4回)	枚 枚 回 回 枚	148 148 4 4 37
鋼矢板 (夜間)	III型 平均鋼矢板長さ 6m 鋼矢板打込長 5.5m 平均鋼矢板引抜長 5.5m	枚		252		鋼矢板圧入（Ｎｍａｘ≦２５） 施工場所=陸上; 鋼矢板型式=III型; 圧入長=6m以下; ﾗﾌﾃﾚｰﾝｸﾚｰﾝ規格=排出ｶﾞｽ対策型(第2次基準値); 油圧式杭圧入引抜機据付・解体 作業区分=圧入(Nmax≦25); 鋼矢板型式=III型; 施工場所=陸上; ﾗﾌﾃﾚｰﾝｸﾚｰﾝ規格=排出ｶﾞｽ対策型(第2次基準値); 鋼矢板引抜き 施工場所=陸上; 鋼矢板型式=III型; 引抜長=6m以下; ﾗﾌﾃﾚｰﾝｸﾚｰﾝ規格=排出ｶﾞｽ対策型(第2次基準値); 油圧式杭圧入引抜機据付・解体 作業区分=引抜き; 鋼矢板型式=III型; 施工場所=陸上; ﾗﾌﾃﾚｰﾝｸﾚｰﾝ規格=排出ｶﾞｽ対策型(第2次基準値); 鋼矢板賃料（普通鋼矢板） 鋼矢板の種類=III型; 鋼矢板1枚当りの長さ(実数入力)=6 m/枚; 供用日数(実数入力)=296 日; 継続工事の有無=無; 修理費及び損耗費の有無=有; 作業区分=軽作業; 一現場での使用回数(実数入力)=4 回;	枚 回 枚 回 枚	252 4 252 4 63

見積参考資料

工事名	安来電線共同溝PFI事業（３工区）　（　当　初　）	工種区分	Ｃ・Ｃ・ＢＯＸ工事

工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単　位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参　考　事　項		
						名称	単位	数量
鋼矢板 （夜間）	III型 平均鋼矢板長さ 6.5m 鋼矢板打込長 6m 平均鋼矢板引抜長 6m	枚		166		鋼矢板圧入（Ｎｍａｘ≦２５） 施工場所=陸上; 鋼矢板型式=III型; 圧入長=6m以下; ﾗﾌﾃﾚｰﾝｸﾚｰﾝ規格=排出ｶﾞｽ対策型(第2次基準値); 鋼矢板引抜き 施工場所=陸上; 鋼矢板型式=III型; 引抜長=6m以下; ﾗﾌﾃﾚｰﾝｸﾚｰﾝ規格=排出ｶﾞｽ対策型(第2次基準値); 鋼矢板賃料（普通鋼矢板） 鋼矢板の種類=III型; 鋼矢板1枚当りの長さ(実数入力)=6.5 m/枚; 供用日数(実数入力)=296 日; 継続工事の有無=無; 修理費及び損耗費の有無=有; 作業区分=軽作業; 一現場での使用回数(実数入力)=4 回;	枚 枚 枚	166 166 42
鋼矢板 （夜間）	III型 平均鋼矢板長さ 7m 鋼矢板打込長 6.5m 平均鋼矢板引抜長 6.5m	枚		49		鋼矢板圧入（Ｎｍａｘ≦２５） 施工場所=陸上; 鋼矢板型式=III型; 圧入長=9m以下; ﾗﾌﾃﾚｰﾝｸﾚｰﾝ規格=排出ｶﾞｽ対策型(第2次基準値); 鋼矢板引抜き 施工場所=陸上; 鋼矢板型式=III型; 引抜長=9m以下; ﾗﾌﾃﾚｰﾝｸﾚｰﾝ規格=排出ｶﾞｽ対策型(第2次基準値); 鋼矢板賃料（普通鋼矢板） 鋼矢板の種類=III型; 鋼矢板1枚当りの長さ(実数入力)=7 m/枚; 供用日数(実数入力)=296 日; 継続工事の有無=無; 修理費及び損耗費の有無=有; 作業区分=軽作業; 一現場での使用回数(実数入力)=4 回;	枚 枚 枚	49 49 12

見積参考資料

工事名	安来電線共同溝PFI事業（３工区）　（　当　初　）	工種区分	Ｃ・Ｃ・ＢＯＸ工事

工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単　位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参　考　事　項		
						名称	単位	数量
鋼矢板 (夜間)	III型 平均鋼矢板長さ 7.5m 鋼矢板打込長 7m 平均鋼矢板引抜長 7m	枚		45		鋼矢板圧入（Ｎｍａｘ≦２５） 施工場所=陸上; 鋼矢板型式=III型; 圧入長=9m以下; ﾗﾌﾃﾚｰﾝｸﾚｰﾝ規格=排出ｶﾞｽ対策型(第2次基準値); 鋼矢板引抜き 施工場所=陸上; 鋼矢板型式=III型; 引抜長=9m以下; ﾗﾌﾃﾚｰﾝｸﾚｰﾝ規格=排出ｶﾞｽ対策型(第2次基準値); 鋼矢板賃料（普通鋼矢板） 鋼矢板の種類=III型; 鋼矢板1枚当りの長さ(実数入力)=7.5 m/枚; 供用日数(実数入力)=296 日; 継続工事の有無=無; 修理費及び損耗費の有無=有; 作業区分=軽作業; 一現場での使用回数(実数入力)=4 回;	枚 枚 枚	45 45 11
切梁･腹起し (夜間)		t		40.7		切梁・腹起し設置・撤去 作業区分=設置･撤去; 火打ﾌﾞﾛｯｸの有無=無; ﾗﾌﾃﾚｰﾝｸﾚｰﾝ賃料補正=標準以外; ﾗﾌﾃﾚｰﾝｸﾚｰﾝ賃料補正(実数入力)=1.3 無; 山留材賃料 火打ﾌﾞﾛｯｸの有無=無; 供用日数(実数入力)=296 日; 継続工事の有無=無; 主部材修理費及び損耗費の計上=有; 主部材一現場での使用回数(実数)=4 回/現場; 副部材A修理費及び損耗費の計上=有; 副部材A一現場での使用回数(実)=4 回/現場; 副部材Bの計上=有; 副部材B一現場での使用回数(実)=4 回/現場;	t t	40.7 8.1
横矢板 (夜間)	横矢板厚さ 0.03 m	m2		7		＜　　1　　m2当り＞ 横矢板設置・撤去 作業区分=設置; 横矢板の厚さ(実数入力)=0.03 m;	ｍ２	1
固結工		式		1				

見積参考資料

工事名	安来電線共同溝PFI事業（３工区）　（　当　初　）	工種区分	Ｃ・Ｃ・ＢＯＸ工事

工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単　位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参　考　事　項		
						名称	単位	数量
薬液注入 (夜間)		本		24		二重管ストレーナ工法 注入方式=複相方式; ｾｯﾄ数=2ｾｯﾄ; ﾚｷ質土の削孔長(実数入力)=0 m; 砂質土の削孔長(実数入力)=4.602 m; 粘性土の削孔長(実数入力)=0 m; 土被り長(L2)(実数入力)=1 m; １本当り注入量(QS)(実数入力)=983 L/本; 水ｶﾞﾗｽ積算流量計の有無=無; 特許料の有無=無; 二重管ストレーナ工法 注入方式=複相方式; ｾｯﾄ数=2ｾｯﾄ; ﾚｷ質土の削孔長(実数入力)=0 m; 砂質土の削孔長(実数入力)=5.029 m; 粘性土の削孔長(実数入力)=0 m; 土被り長(L2)(実数入力)=1 m; １本当り注入量(QS)(実数入力)=1,269 L/本; 水ｶﾞﾗｽ積算流量計の有無=無; 特許料の有無=無; 注入設備の据付・解体 注入方式=二重管ストレーナ工法; ｾｯﾄ数=2ｾｯﾄ;	本 本 現場	12 12 1
交通管理工		式		1				
交通誘導警備員		人日		200		＜　　1　　人日当り＞ 交通誘導警備員Ａ 作業区分=夜間勤務(交替要員有り);	人日	1
交通誘導警備員		人日		1,800		＜　　1　　人日当り＞ 交通誘導警備員Ｂ 作業区分=夜間勤務(交替要員有り);	人日	1
舗装版撤去工		式		1				
舗装版破砕工		式		1				

見積参考資料

工事名	安来電線共同溝PFI事業（３工区）　（　当　初　）	工種区分	Ｃ・Ｃ・ＢＯＸ工事

工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単　位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参　考　事　項		
						名称	単位	数量
殻運搬 （夜間）	ｱｽﾌｧﾙﾄ殻	m3		48		＜　　1　　m3当り＞ 殻運搬 殻発生作業=舗装版破砕; 積込工法区分=機械積込(騒音対策不要､厚15cm超)又(騒音対策必要); DID区間の有無=有り; 運搬距離(km)(DID区間有)=60.0km以下; 費用の内訳=全ての費用;	ｍ３	1
殻処分 （夜間）	ｱｽﾌｧﾙﾄ殻	m3		48		処分費（ｍ３）	ｍ３	48
舗装版切断 （夜間）	ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版 15cm以下	m		690		＜　　1　　m当り＞ 舗装版切断 舗装版種別=ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版; ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版厚=15cm以下; 費用の内訳=全ての費用;	m	1
舗装版切断 （夜間）	ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版 15cm超30cm以下	m		330		＜　　1　　m当り＞ 舗装版切断 舗装版種別=ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版; ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版厚=15cmを超え30cm以下; 費用の内訳=全ての費用;	m	1
舗装版破砕 （夜間）	ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版 15cm超35cm以下	m2		560		＜　　1　　m2当り＞ 舗装版破砕 舗装版種別=ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版; 障害等の有無=無し; 騒音振動対策=必要; 舗装版厚=15cmを超え35cm以下; 積込作業の有無=有り; 費用の内訳=全ての費用;	ｍ２	1
開削土工		式		1				
掘削工		式		1				
開削掘削 （夜間）		m3		930		＜　　1　　m3当り＞ 床掘り	ｍ３	1

見積参考資料

工事名	安来電線共同溝PFI事業（３工区）　（　当　初　）	工種区分	Ｃ・Ｃ・ＢＯＸ工事

工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単　位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参　考　事　項		
						名称	単位	数量
埋戻し工		式		1				
埋戻し・締固め（夜間）	土砂	m3		500		＜　1　m3当り＞ 埋戻し・締固め 土質=土砂;	ｍ３	1
埋戻し・締固め（夜間）	中埋砂	m3		180		＜　1　m3当り＞ 埋戻し・締固め 土質=中埋砂;	ｍ３	1
残土処理工		式		1				
土砂等運搬（夜間）		m3		380		＜　1　m3当り＞ 運搬（電線共同溝） 積載区分=土砂; DID区間の有無=有り; 運搬距離(km)(DID区間有)=6.0km以下;	ｍ３	1
電線共同溝工		式		1				
管路工(管路部)		式		1				
埋設管路（夜間）	HIVP管 直管 径 125ｍｍ	m		333		＜　1　m当り＞ 管路材設置 作業区分=埋設部; 設置区分=単管設置;	m	1
埋設管路（夜間）	HIVP管 直管 径 100ｍｍ	m		355		＜　1　m当り＞ 管路材設置 作業区分=埋設部; 設置区分=単管設置;	m	1
埋設管路（夜間）	PV管 直管 径 75ｍｍ	m		418		＜　1　m当り＞ 管路材設置 作業区分=埋設部; 設置区分=単管設置;	m	1

見積参考資料

工事名	安来電線共同溝PFI事業（３工区）　（　当　初　）	工種区分	Ｃ・Ｃ・ＢＯＸ工事

工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単　位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参　考　事　項		
						名称	単位	数量
埋設管路 (夜間)	PV管 直管 径 50 ｍｍ	m		208		＜　1　m当り＞ 管路材設置 作業区分=埋設部; 設置区分=単管設置;	m	1
埋設管路 (夜間)	VP管 直管 径 100 ｍｍ	m		68		＜　1　m当り＞ 管路材設置 作業区分=埋設部; 設置区分=単管設置;	m	1
埋設管路 (夜間)	VP管 直管 径 150 ｍｍ	m		113		＜　1　m当り＞ 管路材設置 作業区分=埋設部; 設置区分=FA管設置;	m	1
埋設管路 (夜間)	VP管 直管 径 250 ｍｍ	m		81		＜　1　m当り＞ 管路材設置 作業区分=埋設部; 設置区分=ﾎﾞﾃﾞｨ管(φ250mm)設置(さや管含む); さや管の条数=標準:11条(9条(φ50)+2条(φ30));	m	1
埋設管路 (夜間)	HIVP管 曲管(R10) 径 125ｍｍ	m		441		＜　1　m当り＞ 管路材設置 作業区分=埋設部; 設置区分=単管設置;	m	1
埋設管路 (夜間)	HIVP管 曲管(R10) 径 100ｍｍ	m		424		＜　1　m当り＞ 管路材設置 作業区分=埋設部; 設置区分=単管設置;	m	1
埋設管路 (夜間)	PV管 曲管(R10) 径 75ｍｍ	m		429		＜　1　m当り＞ 管路材設置 作業区分=埋設部; 設置区分=単管設置;	m	1
埋設管路 (夜間)	PV管 曲管(R10) 径 50ｍｍ	m		132		＜　1　m当り＞ 管路材設置 作業区分=埋設部; 設置区分=単管設置;	m	1
埋設管路 (夜間)	VP管 曲管(R10) 径 100ｍｍ	m		107		＜　1　m当り＞ 管路材設置 作業区分=埋設部; 設置区分=単管設置;	m	1
埋設管路 (夜間)	VP管 曲管(R10) 径 150ｍｍ	m		94		＜　1　m当り＞ 管路材設置 作業区分=埋設部; 設置区分=FA管設置;	m	1

見積参考資料

工事名	安来電線共同溝PFI事業（３工区）　（　当　初　）	工種区分	Ｃ・Ｃ・ＢＯＸ工事

工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単　位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参　考　事　項		
						名称	単位	数量
埋設管路 (夜間)	VP管 曲管(R10) 径 250ｍｍ	m		108		＜　　1　　m当り＞ 管路材設置 作業区分=埋設部; 設置区分=ﾎﾞﾃﾞｨ管(φ250㎜)設置(さや管含む); さや管の条数=標準:11条(9条(φ50)+2条(φ30));	m	1
埋設管路 (夜間)	HIVP管 曲管(R6) 径 125ｍｍ	m		40		＜　　1　　m当り＞ 管路材設置 作業区分=埋設部; 設置区分=単管設置;	m	1
埋設管路 (夜間)	HIVP管 曲管(R6) 径 100ｍｍ	m		57		＜　　1　　m当り＞ 管路材設置 作業区分=埋設部; 設置区分=単管設置;	m	1
埋設管路 (夜間)	PV管 曲管(R6) 径 75ｍｍ	m		40		＜　　1　　m当り＞ 管路材設置 作業区分=埋設部; 設置区分=単管設置;	m	1
埋設管路 (夜間)	PV管 曲管(R6) 径 50ｍｍ	m		10		＜　　1　　m当り＞ 管路材設置 作業区分=埋設部; 設置区分=単管設置;	m	1
埋設管路 (夜間)	VP管 曲管(R6) 径 100ｍｍ	m		24		＜　　1　　m当り＞ 管路材設置 作業区分=埋設部; 設置区分=単管設置;	m	1
埋設管路 (夜間)	VP管 曲管(R6) 径 150ｍｍ	m		14		＜　　1　　m当り＞ 管路材設置 作業区分=埋設部; 設置区分=FA管設置;	m	1
埋設管路 (夜間)	VP管 曲管(R6) 径 250ｍｍ	m		10		＜　　1　　m当り＞ 管路材設置 作業区分=埋設部; 設置区分=ﾎﾞﾃﾞｨ管(φ250㎜)設置(さや管含む); さや管の条数=標準:11条(9条(φ50)+2条(φ30));	m	1
管路管台 (夜間)	HIVP管用 φ125-250P	個		1,947		＜　　1　　個当り＞ 管路受台（スペーサ）（材料費）	個	1

見積参考資料

工事名	安来電線共同溝PFI事業（３工区）　（　当　初　）	工種区分	Ｃ・Ｃ・ＢＯＸ工事

工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単　位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参　考　事　項		
						名称	単位	数量
管路管台 (夜間)	HIVP管用　φ100-150P	個		1,972		＜　　1　　個当り＞ 管路受台（スペーサ）（材料費）	個	1
管路管台 (夜間)	PV管用　φ75-130P	個		1,138		＜　　1　　個当り＞ 管路受台（スペーサ）（材料費）	個	1
管路管台 (夜間)	PV管用　φ50-95P	個		240		＜　　1　　個当り＞ 管路受台（スペーサ）（材料費）	個	1
管路管台 (夜間)	VP管用　φ100-150P	個		162		＜　　1　　個当り＞ 管路受台（スペーサ）（材料費）	個	1
管路管台 (夜間)	VP管用　φ150-220P	個		158		＜　　1　　個当り＞ 管路受台（スペーサ）（材料費）	個	1
管路管台 (夜間)	VP管用　φ250-350P	個		208		＜　　1　　個当り＞ 管路受台（スペーサ）（材料費）	個	1
中間継手 (夜間)	HIVPφ125用	個		16		＜　　1　　個当り＞ 電力用耐衝撃性硬質塩化ビニル管　半割継手　ＨＩＶＰφ１２５（電共用）	個	1
中間継手 (夜間)	HIVPφ100用	個		20		＜　　1　　個当り＞ 電力用耐衝撃性硬質塩化ビニル管　半割継手　ＨＩＶＰφ１００（電共用）	個	1
中間継手 (夜間)	PVφ75用	個		25		＜　　1　　個当り＞ 電力用耐衝撃性硬質塩化ビニル管　中間継手　ＰＶφ７５（電共用）	個	1
中間継手 (夜間)	PVφ50用	個		18		＜　　1　　個当り＞ ●通信用硬質塩化ビニル管 中間継手 PVφ50用	個	1

見積参考資料

工事名	安来電線共同溝PFI事業（３工区）　（　当　初　）	工種区分	Ｃ・Ｃ・ＢＯＸ工事

工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単　位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参　考　事　項		
						名称	単位	数量
中間継手 (夜間)	VPφ100用	個		7		＜　　1　　個当り＞ 電力用耐衝撃性硬質塩化ビニル管　中間継手　ＶＰφ１００（電共用）	個	1
中間継手 (夜間)	VPφ150用	個		4		＜　　1　　個当り＞ 電力用耐衝撃性硬質塩化ビニル管　中間継手　ＶＰφ１５０（電共用）	個	1
中間継手 (夜間)	VPφ250用	個		1		通信用硬質塩化ビニル管 中間継手 スライド管 VPφ250	個	1
鞘管固定管(起点用) (夜間)	VP管　φ250用	個		3		＜　　1　　個当り＞ 管路材設置 作業区分=埋設部; 設置区分=ﾎﾞﾃﾞｨ管(φ250mm)設置(さや管含む); さや管の条数=標準:11条(9条(φ50)+2条(φ30));	m	1.2
鞘管固定管(終点用) (夜間)	VP管　φ250用	個		1		管路材設置 作業区分=埋設部; 設置区分=ﾎﾞﾃﾞｨ管(φ250mm)設置(さや管含む); さや管の条数=標準:11条(9条(φ50)+2条(φ30));	m	1.14
埋設表示ｼｰﾄ (夜間)	W=300 2倍	m		684		＜　　1　　m当り＞ 埋設標識シート設置(W=300 2倍)	m	1
敷砂 (夜間)		m3		18		＜　　1　　m3当り＞ 埋戻し・締固め 土質=中埋砂;	ｍ３	1
ﾌﾟﾚｷｬｽﾄﾎﾞｯｸｽ工(特殊部)		式		1				

見積参考資料

工事名	安来電線共同溝PFI事業（３工区）　（　当　初　）	工種区分	Ｃ・Ｃ・ＢＯＸ工事

工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単　位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参　考　事　項		
						名称	単位	数量
ﾌﾟﾚｷｬｽﾄﾎﾞｯｸｽ （夜間）	3.7ﾀｲﾌﾟ　S型 内幅 1.35m 内高 1.8m RC-40	個		1		沈下埋設工(W1350×H1800×L3700) ●ハンドホール鉄蓋 鉄蓋 960×500用 T-25 二重施錠装置付 ●プレキャストボックス沈下埋設型 S型MH W1350×H1800×L3700 ●プレキャストボックス沈下埋設型 調整ブロック 960×500用 H=250～ コンクリート 構造物種別=無筋･鉄筋構造物; 施工条件=打設量10m3/日未満かつ打設地上高さ2m以下; ｺﾝｸﾘｰﾄ規格=各種; 養生工の種類=一般養生; 現場内小運搬の有無=無し; 費用の内訳=全ての費用; 基礎砕石 砕石の厚さ=7.5cm超12.5cm以下; 砕石の種類=再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ 40～0; 費用の内訳=全ての費用; 鉄筋工［市場単価］ 鉄筋材料規格･径=SD345 D13; 規格･仕様区分=一般構造物; 施工規模=10t未満; 時間的制約を受ける場合の補正=無; 夜間作業補正=有; ﾄﾝﾈﾙ内作業の補正=無; 法面作業の補正=無; 太径鉄筋補正=補正無(鉄筋割合10%未満含む); 構造物種別による補正=補正無(一般構造物);	基 個 個 個 ｍ３ ｍ２ ｔ	1 1 1 1 1.238 4.95 0.087

見積参考資料

工事名	安来電線共同溝PFI事業（３工区）　（　当　初　）	工種区分	Ｃ・Ｃ・ＢＯＸ工事

工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単　位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参　考　事　項		
						名称	単位	数量
ﾌﾟﾚｷｬｽﾄﾎﾞｯｸｽ （夜間）	4.5ﾀｲﾌﾟ S型 内幅 1.35m 内高 1.8m RC-40	個		1		沈下埋設工(W1350×H1800×L4500) ●ハンドホール鉄蓋 鉄蓋 960×500用 T-25 二重施錠装置付 ●プレキャストボックス沈下埋設型 S型MH W1350×H1800×L4500 ●プレキャストボックス沈下埋設型 調整ブロック 960×500用 H=250～ コンクリート 構造物種別=無筋･鉄筋構造物; 施工条件=打設量10m3/日未満かつ打設地上高さ2m以下; ｺﾝｸﾘｰﾄ規格=各種; 養生工の種類=一般養生; 現場内小運搬の有無=無し; 費用の内訳=全ての費用; 基礎砕石 砕石の厚さ=7.5cm超12.5cm以下; 砕石の種類=再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ 40～0; 費用の内訳=全ての費用; 鉄筋工［市場単価］ 鉄筋材料規格･径=SD345 D13; 規格･仕様区分=一般構造物; 施工規模=10t未満; 時間的制約を受ける場合の補正=無; 夜間作業補正=有; ﾄﾝﾈﾙ内作業の補正=無; 法面作業の補正=無; 太径鉄筋補正=補正無(鉄筋割合10%未満含む); 構造物種別による補正=補正無(一般構造物);	基 個 個 個 ｍ３ ｍ２ ｔ	1 1 1 1 1.519 6.075 0.103

見積参考資料

工事名	安来電線共同溝PFI事業（３工区）　（　当　初　）	工種区分	Ｃ・Ｃ・ＢＯＸ工事

工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単　位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参　考　事　項		
						名称	単位	数量
ﾌﾟﾚｷｬｽﾄﾎﾞｯｸｽ （夜間）	4.5ﾀｲﾌﾟ　S型 内幅 1.3m 内高 1.8 m RC-40	個		1		従来型(W1300×H1800×L4500) ●ハンドホール鉄蓋 鉄蓋 960×500用 T-25 二重施錠装置付 ●プレキャストボックス S型MH W1300×H1800×L4500 ●プレキャストボックス沈下埋設型 調整ブロック 960×500用 H=250～ コンクリート 構造物種別=無筋･鉄筋構造物; 施工条件=打設量10m3/日未満かつ打設地上高さ2m以下; ｺﾝｸﾘｰﾄ規格=各種; 養生工の種類=一般養生; 現場内小運搬の有無=無し; 費用の内訳=全ての費用; 基礎砕石 砕石の厚さ=7.5cm超12.5cm以下; 砕石の種類=再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ 40～0; 費用の内訳=全ての費用;	基 個 個 個 ｍ３ ｍ２	1 1 1 1 1.958 19.584
ﾌﾟﾚｷｬｽﾄﾎﾞｯｸｽ （夜間）	3.7ﾀｲﾌﾟ　S型 内幅 1.3m 内高 2.2 m RC-40	個		1		従来型(W1300×H2200×L3700) ●ハンドホール鉄蓋 鉄蓋 960×500用 T-25 二重施錠装置付 ●プレキャストボックス S型MH W1300×H2200×L3700 ●プレキャストボックス沈下埋設型 調整ブロック 960×500用 H=250～ コンクリート 構造物種別=無筋･鉄筋構造物; 施工条件=打設量10m3/日未満かつ打設地上高さ2m以下; ｺﾝｸﾘｰﾄ規格=各種; 養生工の種類=一般養生; 現場内小運搬の有無=無し; 費用の内訳=全ての費用; 基礎砕石 砕石の厚さ=7.5cm超12.5cm以下; 砕石の種類=再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ 40～0; 費用の内訳=全ての費用;	基 個 個 個 ｍ３ ｍ２	1 1 1 1 1.728 17.28

見積参考資料

工事名	安来電線共同溝PFI事業（３工区）　（　当　初　）	工種区分	Ｃ・Ｃ・ＢＯＸ工事

工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単　位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参　考　事　項		
						名称	単位	数量
ﾌﾟﾚｷｬｽﾄﾎﾞｯｸｽ 分岐桝(夜間)	1.2ﾀｲﾌﾟ 内幅 0.6 m 内高 0.415m RC-40	個		3		＜　　1　　個当り＞ プレキャストボックスブロック設置 ﾎﾞｯｸｽﾌﾞﾛｯｸ1個当り質量=1000kg以下; ﾗﾌﾃﾚｰﾝｸﾚｰﾝ賃料補正係数=標準以外; ﾗﾌﾃﾚｰﾝｸﾚｰﾝ賃料補正係数(実数入力)=1.3 無; モルタル練 ｾﾒﾝﾄ種類=高炉; 混合比=1:3; 費用の内訳=全ての費用; 基礎砕石 砕石の厚さ=7.5cm超12.5cm以下; 砕石の種類=再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ 40～0; 費用の内訳=全ての費用; プレキャストボックスブロック設置 ﾎﾞｯｸｽﾌﾞﾛｯｸ1個当り質量=1000kg以下; ﾗﾌﾃﾚｰﾝｸﾚｰﾝ賃料補正係数=標準以外; ﾗﾌﾃﾚｰﾝｸﾚｰﾝ賃料補正係数(実数入力)=1.3 無;	個 ｍ３ ｍ２ 個	1 0.035 1.398 1

見積参考資料

工事名	安来電線共同溝PFI事業（３工区）　（　当　初　）	工種区分	Ｃ・Ｃ・ＢＯＸ工事

工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単　位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参　考　事　項		
						名称	単位	数量
ﾍﾞﾙﾏｳｽ						●ベルマウス(沈下埋設型) HIVPφ125	個	16
						電力用耐衝撃性硬質塩化ビニル管　受口付ベルマウス		
						ＨＩＶＰφ１２５（電共用）	個	16
						●ベルマウス(沈下埋設型) HIVPφ100	個	19
						電力用耐衝撃性硬質塩化ビニル管　受口付ベルマウス		
						ＨＩＶＰφ１００（電共用）	個	24
						●ベルマウス(沈下埋設型) PVφ75	個	27
						通信用硬質塩化ビニル管　ダクトスリーブ　ＰＶφ７		
						５（電共用）	個	19
						●ベルマウス(沈下埋設型) PVφ50	個	18
						通信用硬質塩化ビニル管　ダクトスリーブ　ＰＶφ５		
						０（電共用）	個	19
						●ベルマウス(沈下埋設型) VPφ250	個	4
						ベルマウス VPφ250	個	4
						●ベルマウス(沈下埋設型) VPφ150	個	4
						通信用硬質塩化ビニル管　ダクトスリーブ 呼び径１		
						５０（電共用）	個	4
						●ベルマウス(沈下埋設型) VPφ100	個	4
						通信用硬質塩化ビニル管　ダクトスリーブ 呼び径１		
						００（電共用）	個	10
						ベルマウス 波付硬質電線管用付属品（ＦＥＰ用）１		
						００ｍｍ	個	1
		式		1		ベルマウス SFPφ100用	個	1
情報ﾎﾞｯｸｽ工								
		式		1				
作業土工								
		式		1				
床掘り						＜　　1　　m3当り＞		
（夜間）						床掘り	ｍ３	1
		m3		110				

見積参考資料

工事名	安来電線共同溝PFI事業（３工区） （ 当　初 ）	工種区分	Ｃ・Ｃ・ＢＯＸ工事

工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単　位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参　考　事　項		
						名称	単位	数量
残土処理 (夜間)	小規模 土砂(岩塊・玉石混り土含む)	m3		100		＜　1　m3当り＞ 土砂等運搬 土砂等発生現場=小規模; 積込機種･規格=ﾊﾞｯｸﾎｳ山積0.28m3(平積0.2m3); 土質=土砂(岩塊･玉石混り土含む); DID区間の有無=有り; 運搬距離(km)(DID区間有)=5.5km以下;	ｍ３	1
埋戻し (夜間)		m3		10		＜　1　m3当り＞ 埋戻し	ｍ３	1
埋戻し (夜間)		m3		40		＜　1　m3当り＞ 埋戻し 中埋材（材料費） 中埋材料=砂;	ｍ３ ｍ３	1 1
管路工(管路部)		式		1				
埋設管路 (夜間)	合成樹脂製 径 300mm	m		155		＜　1　m当り＞ 埋設部管路材設置 本体管の材質=合成樹脂製; さや管の材質=VU管類; 設置区分=本体管及びさや管設置; さや管の条数=10管;	m	1
埋設管路 (夜間)	鋼製 径 50mm	m		44		＜　1　m当り＞ 埋設部管路材設置 本体管の材質=鋼製; 設置区分=本体管設置;	m	1
埋設表示ｼｰﾄ (夜間)	W=300 2倍	m		155		＜　1　m当り＞ 埋設表示シート（材料費）	m	1
敷砂 (夜間)		m3		15		＜　1　m3当り＞ 埋戻し 中埋材（材料費） 中埋材料=砂;	ｍ３ ｍ３	1 1

見積参考資料

工事名	安来電線共同溝PFI事業（３工区）　（　当　初　）	工種区分	Ｃ・Ｃ・ＢＯＸ工事

工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単　位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参　考　事　項		
						名称	単位	数量
道路改良 (上り線 3工区)		式		1				
道路土工		式		1				
残土処理工		式		1				
土砂等運搬 (夜間)	土砂(岩塊･玉石混り土含む)	m3		20		＜　1　m3当り＞ 土砂等運搬 土砂等発生現場=標準; 積込機種･規格=ﾊﾞｯｸﾎｳ山積0.45m3(平積0.35m3); 土質=土砂(岩塊･玉石混り土含む); DID区間の有無=有り; 運搬距離(km)(DID区間有)=5.5km以下;	ｍ３	1
排水構造物工		式		1				
作業土工		式		1				
床掘り (夜間)	土砂	m3		110		＜　1　m3当り＞ 床掘り 土質区分=土砂; 施工方法=平均施工幅1m以上2m未満; 土留方式の種類=無し; 障害の有無=障害無し;	ｍ３	1
埋戻し (夜間)	土砂	m3		80		＜　1　m3当り＞ 埋戻し 施工方法=最大埋戻幅1m以上4m未満;	ｍ３	1
基面整正 (夜間)		m2		30		＜　1　m2当り＞ 基面整正	ｍ２	1

見積参考資料

工事名	安来電線共同溝PFI事業（３工区）　（　当　初　）	工種区分	Ｃ・Ｃ・ＢＯＸ工事

工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単　位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参　考　事　項		
						名称	単位	数量
側溝工		式		1				
自由勾配側溝 (夜間)	幅 30ｃｍ 高さ 70ｃｍ	m		28		＜　　10　　m当り＞ 自由勾配側溝［市場単価］ 規格・仕様=L=2000mm 1000kg/個以下; 基礎ｺﾝｸﾘｰﾄの種類=生ｺﾝｸﾘｰﾄ(各種); 基礎ｺﾝｸﾘｰﾄ設計数量(実数入力)=0.26 m3/10m; 施工規模=50m以上(標準); 時間的制約を受ける場合の補正=無; 夜間作業の補正=有; 基礎砕石施工の有無=有; 基礎砕石の種類=再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ 40～0; 基礎砕石設計数量(実数入力)=0.465 m3/10m; 底部ｺﾝｸﾘｰﾄの種類=生ｺﾝｸﾘｰﾄ(各種); 底部ｺﾝｸﾘｰﾄ設計数量(実数入力)=0.292 m3/10m; 蓋版［市場単価］ 作業区分=据付け; 蓋版の種類=蓋版(各種); 蓋版の質量=40kg/枚以下; 時間的制約を受ける場合の補正=無; 夜間作業の補正=有; 施工箇所における補正=無;	m 枚	10 10

見積参考資料

工事名	安来電線共同溝PFI事業（３工区）　（　当　初　）	工種区分	Ｃ・Ｃ・ＢＯＸ工事

工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単　位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参　考　事　項		
						名称	単位	数量
自由勾配側溝 (夜間)	幅 30ｃｍ 高さ 80ｃｍ	m		18		＜　　10　　m当り＞ 自由勾配側溝［市場単価］ 規格・仕様=L=2000mm 1000kg/個以下; 基礎ｺﾝｸﾘｰﾄの種類=生ｺﾝｸﾘｰﾄ(各種); 基礎ｺﾝｸﾘｰﾄ設計数量(実数入力)=0.26 m3/10m; 施工規模=50m以上(標準); 時間的制約を受ける場合の補正=無; 夜間作業の補正=有; 基礎砕石施工の有無=有; 基礎砕石の種類=再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ 40～0; 基礎砕石設計数量(実数入力)=0.465 m3/10m; 底部ｺﾝｸﾘｰﾄの種類=生ｺﾝｸﾘｰﾄ(各種); 底部ｺﾝｸﾘｰﾄ設計数量(実数入力)=0.292 m3/10m; 蓋版［市場単価］ 作業区分=据付け; 蓋版の種類=蓋版(各種); 蓋版の質量=40kg/枚以下; 時間的制約を受ける場合の補正=無; 夜間作業の補正=有; 施工箇所における補正=無;	m 枚	10 10
自由勾配側溝 (夜間)	幅 30ｃｍ 高さ 100ｃｍ	m		4		＜　　10　　m当り＞ 自由勾配側溝［市場単価］ 規格・仕様=L=2000mm 1000kg/個以下; 基礎ｺﾝｸﾘｰﾄの種類=生ｺﾝｸﾘｰﾄ(各種); 基礎ｺﾝｸﾘｰﾄ設計数量(実数入力)=0.26 m3/10m; 施工規模=50m以上(標準); 時間的制約を受ける場合の補正=無; 夜間作業の補正=有; 基礎砕石施工の有無=有; 基礎砕石の種類=再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ 40～0; 基礎砕石設計数量(実数入力)=0.465 m3/10m; 底部ｺﾝｸﾘｰﾄの種類=生ｺﾝｸﾘｰﾄ(各種); 底部ｺﾝｸﾘｰﾄ設計数量(実数入力)=0.292 m3/10m; 蓋版［市場単価］ 作業区分=据付け; 蓋版の種類=蓋版(各種); 蓋版の質量=40kg/枚以下; 時間的制約を受ける場合の補正=無; 夜間作業の補正=有; 施工箇所における補正=無;	m 枚	10 10

見積参考資料

工事名	安来電線共同溝PFI事業（３工区）　（　当　初　）	工種区分	Ｃ・Ｃ・ＢＯＸ工事

工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単　位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参　考　事　項		
						名称	単位	数量
管渠工		式		1				
鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ台付管 (夜間)	φ300	m		9		＜　10　m当り＞ 鉄筋コンクリート台付管 作業区分=据付；管径=300mm；費用の内訳=全ての費用； モルタル練 ｾﾒﾝﾄ種類=高炉；混合比=1:3；費用の内訳=全ての費用；	m m３	10 0.072
舗装工		式		1				
排水性舗装工 車道舗装(A)		式		1				
下層路盤(車道・路肩部) (夜間)	再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ RC-40 仕上り厚 200mm	m2		269		＜　1　m2当り＞ 下層路盤（車道・路肩部） 平均厚さ=175mmを超え200mm以下；材料=再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ RC-40；費用の内訳=全ての費用；	m２	1
上層路盤(車道・路肩部) (夜間)	粒度調整砕石 M-40 仕上り厚 150mm	m2		269		＜　1　m2当り＞ 上層路盤（車道・路肩部） 材料=粒度調整砕石 M-40；平均厚さ=125mmを超え150mm以下；費用の内訳=全ての費用；	m２	1
上層路盤(車道・路肩部) (夜間)	再生As安定処理(30) 仕上り厚 80mm	m2		269		＜　1　m2当り＞ 上層路盤（車道・路肩部） 材料=路盤材(各種)；平均厚さ=75mmを超え85mm以下；平均幅員=1.4m以上；瀝青材料種類=ﾌﾟﾗｲﾑｺｰﾄ PK-3；費用の内訳=全ての費用；	m２	1

見積参考資料

工事名	安来電線共同溝PFI事業（３工区）　（　当　初　）	工種区分	Ｃ・Ｃ・ＢＯＸ工事

工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単　位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参　考　事　項		
						名称	単位	数量
基層(車道・路肩部) (夜間)	再生粗粒度Asﾎﾟﾘﾏｰ改質Ⅰ型(20) 舗装厚 50ｍｍ 1.4m以上	m2		269		＜　1　m2当り＞ 基層（車道・路肩部） 平均幅員=1.4m以上; 1層当り平均仕上り厚(70mm以下)(実数入力)=50 mm; 材料=各種(2.30以上2.40t/m3未満); 瀝青材料種類=ﾀｯｸｺｰﾄ(各種); 費用の内訳=全ての費用;	ｍ２	1
排水性舗装・表層（車道・路肩部）　(夜間)	ﾎﾟｰﾗｽAs(13) 舗装厚 50ｍｍ 2.4m以上	m2		269		＜　1　m2当り＞ 排水性舗装・表層（車道・路肩部） 平均施工幅員=2.4m以上; 1層当り平均仕上り厚(65mm未満)(実数入力)=50 mm; 導水ﾊﾟｲﾌﾟの設置=無し; 材料=各種(2.00t/m3以上2.10t/m3未満); 瀝青材料の規格=ﾀｯｸｺｰﾄ PKR(ｺﾞﾑ入り);	ｍ２	1
透水性舗装工 歩道舗装(A)		式		1				
ﾌｨﾙﾀｰ層 (夜間)	砂(ｸｯｼｮﾝ用) 仕上り厚 50ｍｍ	m2		1,610		＜　1　m2当り＞ フィルター層 平均厚さ=40mm以上60mm未満;	ｍ２	1
下層路盤(歩道部) (夜間)	再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ RC-30 仕上り厚 100ｍｍ	m2		1,610		＜　1　m2当り＞ 下層路盤（歩道部） 平均厚さ=75mmを超え125mm以下; 材料=再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ RC-30; 費用の内訳=全ての費用;	ｍ２	1
表層 (夜間)	透水性As(13) 1.4m以上 舗装厚 40ｍｍ	m2		1,610		＜　1　m2当り＞ 透水性アスファルト舗装 平均幅員=1.4m以上; 1層当り平均仕上り厚(70mm以下)(実数入力)=40 mm; 材料=各種(2.00以上2.10t/m3未満);	ｍ２	1
透水性舗装工 歩道舗装(B)		式		1				

見積参考資料

工事名	安来電線共同溝PFI事業（３工区）　（　当　初　）	工種区分	Ｃ・Ｃ・ＢＯＸ工事

工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単　位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参　考　事　項		
						名称	単位	数量
ﾌｨﾙﾀｰ層 (夜間)	砂(ｸｯｼｮﾝ用) 仕上り厚 50ｍｍ	m2		317		＜　　1　　m2当り＞ フィルター層 平均厚さ=40mm以上60mm未満;	ｍ２	1
下層路盤(歩道部) (夜間)	再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ RC-40 仕上り厚 150ｍｍ	m2		317		＜　　1　　m2当り＞ 下層路盤（歩道部） 平均厚さ=125mmを超え175mm以下; 材料=再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ RC-40; 費用の内訳=全ての費用;	ｍ２	1
表層 (夜間)	透水性As　1.4m以上 舗装厚 50ｍｍ	m2		317		＜　　1　　m2当り＞ 透水性アスファルト舗装 平均幅員=1.4m以上; 1層当り平均仕上り厚(70mm以下)(実数入力)=50 mm; 材料=各種(2.00以上2.10t/m3未満);	ｍ２	1
縁石工		式		1				
縁石工		式		1				
歩車道境界ﾌﾞﾛｯｸ 縁石工A（夜間）	C種(180/210×300×600)	m		31		＜　　1　　m当り＞ 歩車道境界ブロック 作業区分=設置; ﾌﾞﾛｯｸ規格=C種(180/210×300×600); 基礎砕石の有無=有り; 均し基礎ｺﾝｸﾘｰﾄ規格=不要;	m	1
歩車道境界ﾌﾞﾛｯｸ 縁石工B（夜間）	B種(180/205×250×600)	m		21		＜　　1　　m当り＞ 歩車道境界ブロック 作業区分=設置; ﾌﾞﾛｯｸ規格=B種(180/205×250×600); 基礎砕石の有無=有り; 均し基礎ｺﾝｸﾘｰﾄ規格=不要;	m	1

見積参考資料

工事名	安来電線共同溝PFI事業（３工区）　（　当　初　）	工種区分	Ｃ・Ｃ・ＢＯＸ工事

工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単　位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参　考　事　項		
						名称	単位	数量
歩車道境界ﾌﾞﾛｯｸ 縁石工C（夜間）	B種(180/205×250×600)	m		13		＜　1　m当り＞ 歩車道境界ブロック 作業区分=設置；ﾌﾞﾛｯｸ規格=B種(180/205×250×600)；基礎砕石の有無=有り；均し基礎ｺﾝｸﾘｰﾄ規格=不要；	m	1
歩車道境界ﾌﾞﾛｯｸ 縁石工D(L)（夜間）	C種(180/210×300×600)	m		2		＜　1　m当り＞ 歩車道境界ブロック 作業区分=設置；ﾌﾞﾛｯｸ規格=C種(180/210×300×600)；基礎砕石の有無=有り；均し基礎ｺﾝｸﾘｰﾄ規格=不要；	m	1
歩車道境界ﾌﾞﾛｯｸ 縁石工D(R)（夜間）	C種(180/210×300×600)	m		3		＜　1　m当り＞ 歩車道境界ブロック 作業区分=設置；ﾌﾞﾛｯｸ規格=C種(180/210×300×600)；基礎砕石の有無=有り；均し基礎ｺﾝｸﾘｰﾄ規格=不要；	m	1
道路付属施設工		式		1				
照明工		式		1				
照明柱基礎 3号(夜間)	抵抗板付鋼製基礎	基		4		＜　1　基当り＞ 抵抗板付鋼製杭基礎打込･引抜(施工回数3回以上) 夜間作業の有無=有り；時間的制約の有無=無し； 抵抗板付鋼製杭基礎材料費（H形鋼杭）	回 t	1 0.641
照明柱 R-12(夜間)		基		1		照明柱　建柱	基	1
照明柱 R-13(夜間)		基		1		照明柱　建柱	基	1

見積参考資料

工事名	安来電線共同溝PFI事業（３工区）　（　当　初　）	工種区分	Ｃ・Ｃ・ＢＯＸ工事

工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単　位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参　考　事　項		
						名称	単位	数量
照明柱 R-15(夜間)		基		1		照明柱　建柱	基	1
照明柱 R-16(夜間)		基		1		照明柱　建柱	基	1
構造物撤去工		式		1				
構造物取壊し工		式		1				
舗装版破砕 (夜間)	ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版 15cm以下	m2		2,190		＜　　1　　m2当り＞ 舗装版破砕 舗装版種別=ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版; 障害等の有無=無し; 騒音振動対策=必要; 舗装版厚=15cm以下; 積込作業の有無=有り; 費用の内訳=全ての費用;	ｍ２	1
運搬処理工		式		1				
殻運搬 (夜間)	ｱｽﾌｧﾙﾄ殻	m3		90		＜　　1　　m3当り＞ 殻運搬 殻発生作業=舗装版破砕; 積込工法区分=機械積込(騒音対策不要､厚15cm超)又(騒音対策必要); DID区間の有無=有り; 運搬距離(km)(DID区間有)=60.0km以下; 費用の内訳=全ての費用;	ｍ３	1
殻処分 (夜間)	ｱｽﾌｧﾙﾄ殻	m3		90		＜　　1　　m3当り＞ 処分費（ｍ３）	ｍ３	1
直接工事費		式		1				

見積参考資料

工事名	安来電線共同溝PFI事業（３工区）　（　当　初　）	工種区分	Ｃ・Ｃ・ＢＯＸ工事

工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単　位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参　考　事　項		
						名称	単位	数量
共通仮設費		式		1				
共通仮設費		式		1				
運搬費		式		1				
仮設材運搬費		t		186.4		＜　　1　　t当り＞ 仮設材等(鋼矢板、H形鋼、覆工板、敷鉄板等)の運搬 運搬割増率=各種(実数入力)；運搬割増率(実数入力)=0 無；その他の諸料金の有無=無； 仮設材等の積込み，取卸し費 作業区分=積込み,取卸し(片道分)；	t t	1 1
準備費		式		1				
試掘		箇所		4		＜　　1　　箇所当り＞ 床掘り 土質区分=土砂；施工方法=現場制約あり； 埋戻し 施工方法=現場制約あり；土質区分=土砂；締固めの有無=有り； 下層路盤（歩道部） 平均厚さ=75mmを超え125mm以下；材料=再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝRC-40；費用の内訳=全ての費用； 表層（歩道部） 平均幅員=1.4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下)；1層当り平均仕上り厚(50mm以下)(実数入力)=40 mm；材料=各種(2.20以上2.30t/m3未満)；瀝青材料種類=ﾌﾟﾗｲﾑｺｰﾄ PK-3；費用の内訳=全ての費用；	 m３ m３ m２ m２	 3.285 3.06 2.25 2.25

見積参考資料

工事名	安来電線共同溝PFI事業（３工区）　（　当　初　）	工種区分	Ｃ・Ｃ・ＢＯＸ工事

工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単　位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参　考　事　項		
						名称	単位	数量
事業損失防止施設費		式		1				
事業損失防止施設費（夜間）		式		1		機械ボーリング工 観測井戸設置	m m	11.6 11.6
技術管理費		式		1				
道路施設基本ﾃﾞｰﾀ作成費用		式		1		道路施設基本ﾃﾞｰﾀ作成費用	式	1
現場環境改善費（率計上）		式		1		市街地補正=市街地		
共通仮設費（率計上）		式		1		施工地域補正=市街地（ＤＩＤ）（１）；除雪工補正=補正無；週休２日の補正=しない		
純工事費		式		1				
現場管理費		式		1		施工地域補正=市街地（ＤＩＤ）（１）；緊急工事補正=しない；砂防・地滑り工事補正=しない；週休２日の補正=しない		
工事原価		式		1				
一般管理費等		式		1				

見積参考資料

工事名	安来電線共同溝PFI事業（３工区）　（　当　初　）	工種区分	Ｃ・Ｃ・ＢＯＸ工事

工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単　位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参　考　事　項		
						名称	単位	数量
工事価格		式		1				
消費税相当額		式		1				
工事費計		式		1		建設技能労働者や交通誘導員等の現場労働者にかかる経費として、労務費のほか各種経費（法定福利費の事業者負担額、労務管理費、安全訓練等に要する費用等）が必要であり、本積算ではこれらを現場管理費等の一部として率計上している。		

見積参考資料（管理費区分一覧表）

凡　例
管理費区分1　共通仮設費のみ非対象　　管理費区分2　工場管理費・一般管理費の対象 管理費区分5　一般管理費等対象　　管理費区分7　間接労務費対象労務費
管理費区分9　率計算の非対象　　管理費区分T　処分費等の対象にする

○：該当する管理費区分が含まれている

工事名	安来電線共同溝PFI事業（３工区）　（当　初）	事業区分	共同溝･電線共同溝
		工事区分	電線共同溝

細別名称	規格	単位	数量	管理費区分 1 管理費区分 T	管理費区分 2	管理費区分 5	管理費区分 7	管理費区分 9
殻処分 (夜間)	ｱｽﾌｧﾙﾄ殻	m3	48	○				
殻処分 (夜間)	ｱｽﾌｧﾙﾄ殻	m3	90	○				
事業損失防止施設費 (夜間)		式	1					○
道路施設基本ﾃﾞｰﾀ作成費用		式	1					○

見　積　参　考　資　料

工 事 名　　安来電線共同溝PFI事業（４工区）

この「見積参考資料」は入札参加者の適切かつ迅速な見積に資するための資料であり、契約書第１条にいう設計図書ではない。従って「見積参考資料」は請負契約上の拘束力を生じるものではなく、受注者は、施工条件、地質条件等を充分考慮して、仮設、施工方法、安全対策等、工事目的物を完成するための一切の手段について受注者の責任において定めるものとする。

なお、この「見積参考資料」の有効期間は、この工事の入札日までとする。

国土交通省　中国地方整備局
松江国道事務所　管理第二課

見積参考資料

工事名	安来電線共同溝PFI事業（４工区）　（　当　初　）	工種区分	Ｃ・Ｃ・ＢＯＸ工事

工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単　位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参　考　事　項		
						名称	単位	数量
電線共同溝 (上り線 4工区)		式		1				
仮設工		式		1				
路面覆工		式		1				
覆工板･覆工板受桁 (夜間)	設置･撤去	m2		47		覆工板・受桁設置・撤去（設置面積７００ｍ２以下） 作業区分=設置･撤去; ﾗﾌﾃﾚｰﾝｸﾚｰﾝ賃料補正=標準以外; ﾗﾌﾃﾚｰﾝｸﾚｰﾝ賃料補正(実数入力)=1.3 無; 覆工板・鋼製マット賃料 仮設材区分=覆工板(鋼製滑り止め 従来型); 供用月数(実数入力)=12 月; 継続工事の有無=無; 修理費及び損耗費の計上=有; 一現場での使用回数(実数入力)=9 回; 山留材賃料 火打ﾌﾞﾛｯｸの有無=無; 供用日数(実数入力)=373 日; 継続工事の有無=無; 主部材修理費及び損耗費の計上=有; 主部材一現場での使用回数(実数)=9 回/現場; 副部材A修理費及び損耗費の計上=有; 副部材A一現場での使用回数(実)=9 回/現場; 副部材Bの計上=有; 副部材B一現場での使用回数(実)=9 回/現場;	ｍ２ ｍ２ ｔ	47 5 0.5
仮舗装工 仮舗装(A)		式		1				
下層路盤(歩道部) (夜間)	再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ RC-30 仕上り厚 100ｍｍ	m2		399		＜　　1　　m2当り＞ 下層路盤（歩道部） 平均厚さ=75㎜を超え125㎜以下; 材料=再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ RC-30; 費用の内訳=全ての費用;	ｍ２	1

見積参考資料

工事名	安来電線共同溝PFI事業（４工区）　（　当　初　）	工種区分	Ｃ・Ｃ・ＢＯＸ工事

工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単　位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参　考　事　項		
						名称	単位	数量
表層(歩道部) (夜間)	再生粗粒度As(20) 舗装厚 40ｍｍ 1.4m以上	m2		399		＜　　1　　m2当り＞ 表層（歩道部） 平均幅員=1.4m以上; 1層当り平均仕上り厚(70mm以下)(実数入力)=40 mm; 材料=各種(2.20以上2.30t/m3未満); 瀝青材料種類=ﾌﾟﾗｲﾑｺｰﾄ PK-3; 費用の内訳=全ての費用;	ｍ２	1
仮舗装工 仮舗装(B)		式		1				
下層路盤(歩道部) (夜間)	再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ RC-40 仕上り厚 150ｍｍ	m2		380		＜　　1　　m2当り＞ 下層路盤（歩道部） 平均厚さ=125mmを超え175mm以下; 材料=再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ RC-40; 費用の内訳=全ての費用;	ｍ２	1
表層(車道・路肩部) (夜間)	再生粗粒度As(20) 舗装厚 50ｍｍ 1.4m未満（1層当り平均仕上り厚50m	m2		380		＜　　1　　m2当り＞ 表層（車道・路肩部） 平均幅員=1.4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下); 1層当り平均仕上り厚(50mm以下)(実数入力)=50 mm; 材料=各種(2.20以上2.30t/m3未満); 瀝青材料種類=ﾌﾟﾗｲﾑｺｰﾄ PK-3; 費用の内訳=全ての費用;	ｍ２	1
土留･仮締切工		式		1				
軽量鋼矢板(電線共同溝) (夜間)	LSP-2 L=2.5m	m		492		軽量鋼矢板設置・撤去 軽量鋼矢板賃料(LSP-2 L=2.5m)	m m	492 20
軽量鋼矢板 (夜間)	LSP-3 L=3.5m	枚		9		軽量鋼矢板圧入(LSP-3型 圧入長4m以下) 軽量鋼矢板引抜き(LSP-3型 引抜き長4m以下) 軽量鋼矢板賃料(LSP-3 L=3.5m 軽作業9回)	枚 枚 枚	9 9 1
軽量鋼矢板 (夜間)	LSP-3 L=4.0m	枚		292		軽量鋼矢板圧入(LSP-3型 圧入長4m以下) 軽量鋼矢板引抜き(LSP-3型 引抜き長4m以下) 軽量鋼矢板賃料(LSP-3 L=4.0m 軽作業9回)	枚 枚 枚	292 292 32

見積参考資料

工事名	安来電線共同溝PFI事業（４工区）　（　当　初　）	工種区分	Ｃ・Ｃ・ＢＯＸ工事

工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単　位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参　考　事　項		
						名称	単位	数量
軽量鋼矢板 (夜間)	LSP-3 L=4.5m	枚		284		軽量鋼矢板圧入(LSP-3型 圧入長5m以下) 軽量鋼矢板引抜き(LSP-3型 引抜き長5m以下) 軽量鋼矢板賃料(LSP-3 L=4.5m 軽作業9回)	枚 枚 枚	284 284 32
軽量鋼矢板 (夜間)	LSP-3 L=5.0m	枚		631		軽量鋼矢板圧入(LSP-3型 圧入長5m以下) 軽量鋼矢板引抜き(LSP-3型 引抜き長5m以下) 軽量鋼矢板賃料(LSP-3 L=5.0m 軽作業9回)	枚 枚 枚	631 631 70
軽量鋼矢板 (夜間)	LSP-3 L=5.5m	枚		578		軽量鋼矢板圧入(LSP-3型 圧入長6m以下) 軽量鋼矢板引抜き(LSP-3型 引抜き長6m以下) 油圧式杭圧入引抜機据付・解体(圧入) 油圧式杭圧入引抜機据付・解体(引抜) 軽量鋼矢板賃料(LSP-3 L=5.5m 軽作業9回)	枚 枚 回 回 枚	578 578 9 9 64
鋼矢板 (夜間)	III型 平均鋼矢板長さ 6m 鋼矢板打込長 5.5m 平均鋼矢板引抜長 5.5m	枚		181		鋼矢板圧入（Ｎｍａｘ≦２５） 施工場所=陸上; 鋼矢板型式=III型; 圧入長=6m以下; ﾗﾌﾃﾚｰﾝｸﾚｰﾝ規格=排出ｶﾞｽ対策型(第2次基準値); 油圧式杭圧入引抜機据付・解体 作業区分=圧入(Nmax≦25); 鋼矢板型式=III型; 施工場所=陸上; ﾗﾌﾃﾚｰﾝｸﾚｰﾝ規格=排出ｶﾞｽ対策型(第2次基準値); 鋼矢板引抜き 施工場所=陸上; 鋼矢板型式=III型; 引抜長=6m以下; ﾗﾌﾃﾚｰﾝｸﾚｰﾝ規格=排出ｶﾞｽ対策型(第2次基準値); 油圧式杭圧入引抜機据付・解体 作業区分=引抜き; 鋼矢板型式=III型; 施工場所=陸上; ﾗﾌﾃﾚｰﾝｸﾚｰﾝ規格=排出ｶﾞｽ対策型(第2次基準値); 鋼矢板賃料（普通鋼矢板） 鋼矢板の種類=III型; 鋼矢板1枚当りの長さ(実数入力)=6 m/枚; 供用日数(実数入力)=373 日; 継続工事の有無=無; 修理費及び損耗費の有無=有; 作業区分=軽作業; 一現場での使用回数(実数入力)=9 回;	枚 回 枚 回 枚	181 9 181 9 20

見積参考資料

工事名	安来電線共同溝PFI事業（４工区）　（　当　初　）	工種区分	Ｃ・Ｃ・ＢＯＸ工事

工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単　位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参　考　事　項		
						名称	単位	数量
鋼矢板 (夜間)	III型 平均鋼矢板長さ 6.5m 鋼矢板打込長 6m 平均鋼矢板引抜長 6m	枚		44		鋼矢板圧入（Ｎｍａｘ≦２５） 施工場所=陸上; 鋼矢板型式=III型; 圧入長=6m以下; ﾗﾌﾃﾚｰﾝｸﾚｰﾝ規格=排出ｶﾞｽ対策型(第2次基準値); 鋼矢板引抜き 施工場所=陸上; 鋼矢板型式=III型; 引抜長=6m以下; ﾗﾌﾃﾚｰﾝｸﾚｰﾝ規格=排出ｶﾞｽ対策型(第2次基準値); 鋼矢板賃料（普通鋼矢板） 鋼矢板の種類=III型; 鋼矢板1枚当りの長さ(実数入力)=6.5 m/枚; 供用日数(実数入力)=373 日; 継続工事の有無=無; 修理費及び損耗費の有無=有; 作業区分=軽作業; 一現場での使用回数(実数入力)=9 回;	枚 枚 枚	44 44 5
切梁･腹起し (夜間)		t		42.2		切梁・腹起し設置・撤去 作業区分=設置･撤去; 火打ﾌﾞﾛｯｸの有無=無; ﾗﾌﾃﾚｰﾝｸﾚｰﾝ賃料補正=標準以外; ﾗﾌﾃﾚｰﾝｸﾚｰﾝ賃料補正(実数入力)=1.3 無; 山留材賃料 火打ﾌﾞﾛｯｸの有無=無; 供用日数(実数入力)=373 日; 継続工事の有無=無; 主部材修理費及び損耗費の計上=有; 主部材一現場での使用回数(実数)=9 回/現場; 副部材A修理費及び損耗費の計上=有; 副部材A一現場での使用回数(実)=9 回/現場; 副部材Bの計上=有; 副部材B一現場での使用回数(実)=9 回/現場;	t t	42.2 3.7
横矢板 (夜間)	横矢板厚さ 0m	m2		3		＜　　1　　m2当り＞ 横矢板設置・撤去 作業区分=設置･撤去; 横矢板の厚さ(実数入力)=0.03 m;	ｍ２	1
固結工		式		1				

見積参考資料

工事名	安来電線共同溝PFI事業（４工区）　（　当　初　）	工種区分	Ｃ・Ｃ・ＢＯＸ工事

工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単　位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参　考　事　項		
						名称	単位	数量
薬液注入 (夜間)		本		12		二重管ストレーナ工法 注入方式=複相方式; ｾｯﾄ数=2ｾｯﾄ; ﾚｷ質土の削孔長(実数入力)=0 m; 砂質土の削孔長(実数入力)=4.368 m; 粘性土の削孔長(実数入力)=0 m; 土被り長(L2)(実数入力)=1 m; １本当り注入量(QS)(実数入力)=849 L/本; 水ｶﾞﾗｽ積算流量計の有無=無; 特許料の有無=無; 注入設備の据付・解体 注入方式=二重管ストレーナ工法; ｾｯﾄ数=2ｾｯﾄ;	本 現場	12 1
交通管理工		式		1				
交通誘導警備員		人日		240		＜　　1　　人日当り＞ 交通誘導警備員Ａ 作業区分=夜間勤務(交替要員有り);	人日	1
交通誘導警備員		人日		2,160		＜　　1　　人日当り＞ 交通誘導警備員Ｂ 作業区分=夜間勤務(交替要員有り);	人日	1
舗装版撤去工		式		1				
舗装版破砕工		式		1				
殻運搬 (夜間)	ｱｽﾌｧﾙﾄ殻	m3		59		＜　　1　　m3当り＞ 殻運搬 殻発生作業=舗装版破砕; 積込工法区分=機械積込(騒音対策不要､厚15cm超)又(騒音対策必要); DID区間の有無=有り; 運搬距離(km)(DID区間有)=60.0km以下; 費用の内訳=全ての費用;	ｍ３	1

見積参考資料

工事名	安来電線共同溝PFI事業（４工区）　（　当　初　）	工種区分	Ｃ・Ｃ・ＢＯＸ工事

工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単　位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参　考　事　項		
						名称	単位	数量
殻処分 （夜間）	ｱｽﾌｧﾙﾄ殻	m3		59		処分費（ｍ３）	ｍ３	59
舗装版切断 （夜間）	ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版 15cm以下	m		1,320		＜　1　m当り＞ 舗装版切断 舗装版種別=ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版；ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版厚=15cm以下；費用の内訳=全ての費用；	m	1
舗装版切断 （夜間）	ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版 舗装厚 180ｍｍ	m		260		＜　1　m当り＞ 舗装版切断 舗装版種別=ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版；ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版厚=15cmを超え30cm以下；費用の内訳=全ての費用；	m	1
舗装版破砕 （夜間）	ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版 15cm超35cm以下	m2		780		＜　1　m2当り＞ 舗装版破砕 舗装版種別=ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版；障害等の有無=無し；騒音振動対策=必要；舗装版厚=15cmを超え35cm以下；積込作業の有無=有り；費用の内訳=全ての費用；	ｍ２	1
開削土工		式		1				
掘削工		式		1				
開削掘削 （夜間）		m3		1,400		＜　1　m3当り＞ 床掘り	ｍ３	1
埋戻し工		式		1				
埋戻し・締固め （夜間）	土砂	m3		670		＜　1　m3当り＞ 埋戻し・締固め 土質=土砂；	ｍ３	1

見積参考資料

工事名	安来電線共同溝PFI事業（４工区）　（　当　初　）	工種区分	Ｃ・Ｃ・ＢＯＸ工事

工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単　位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参　考　事　項		
						名称	単位	数量
埋戻し・締固め (夜間)	中埋砂	m3		290		＜　　1　　m3当り＞ 埋戻し・締固め 土質=中埋砂;	ｍ３	1
残土処理工		式		1				
土砂等運搬 (夜間)		m3		640		＜　　1　　m3当り＞ 運搬（電線共同溝） 積載区分=土砂; DID区間の有無=有り; 運搬距離(km)(DID区間有)=6.0km以下;	ｍ３	1
電線共同溝工		式		1				
管路工(管路部)		式		1				
埋設管路 (夜間)	HIVP管 直管 径 125ｍｍ	m		490		＜　　1　　m当り＞ 管路材設置 作業区分=埋設部; 設置区分=単管設置;	m	1
埋設管路 (夜間)	HIVP管 直管 径 100ｍｍ	m		449		＜　　1　　m当り＞ 管路材設置 作業区分=埋設部; 設置区分=単管設置;	m	1
埋設管路 (夜間)	PV管 直管 径 75ｍｍ	m		514		＜　　1　　m当り＞ 管路材設置 作業区分=埋設部; 設置区分=単管設置;	m	1
埋設管路 (夜間)	PV管 直管 径 50ｍｍ	m		323		＜　　1　　m当り＞ 管路材設置 作業区分=埋設部; 設置区分=単管設置;	m	1
埋設管路 (夜間)	VP管 直管 径 100ｍｍ	m		105		＜　　1　　m当り＞ 管路材設置 作業区分=埋設部; 設置区分=単管設置;	m	1

見積参考資料

工事名	安来電線共同溝PFI事業（４工区）　（　当　初　）	工種区分	Ｃ・Ｃ・ＢＯＸ工事

工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単　位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参　考　事　項		
						名称	単位	数量
埋設管路 (夜間)	VP管 直管 径 150 ｍｍ	m		109		＜　1　m当り＞ 管路材設置 作業区分=埋設部; 設置区分=FA管設置;	m	1
埋設管路 (夜間)	VP管 直管 径 250 ｍｍ	m		89		＜　1　m当り＞ 管路材設置 作業区分=埋設部; 設置区分=ﾎﾞﾃﾞｨ管(φ250㎜)設置(さや管含む); さや管の条数=標準:11条(9条(φ50)+2条(φ30));	m	1
埋設管路 (夜間)	HIVP管 曲管(R10) 径 125ｍｍ	m		484		＜　1　m当り＞ 管路材設置 作業区分=埋設部; 設置区分=単管設置;	m	1
埋設管路 (夜間)	HIVP管 曲管(R10) 径 100ｍｍ	m		509		＜　1　m当り＞ 管路材設置 作業区分=埋設部; 設置区分=単管設置;	m	1
埋設管路 (夜間)	PV管 曲管(R10) 径 75ｍｍ	m		513		＜　1　m当り＞ 管路材設置 作業区分=埋設部; 設置区分=単管設置;	m	1
埋設管路 (夜間)	PV管 曲管(R10) 径 50ｍｍ	m		177		＜　1　m当り＞ 管路材設置 作業区分=埋設部; 設置区分=単管設置;	m	1
埋設管路 (夜間)	VP管 曲管(R10) 径 100ｍｍ	m		126		＜　1　m当り＞ 管路材設置 作業区分=埋設部; 設置区分=単管設置;	m	1
埋設管路 (夜間)	VP管 曲管(R10) 径 150ｍｍ	m		123		＜　1　m当り＞ 管路材設置 作業区分=埋設部; 設置区分=FA管設置;	m	1
埋設管路 (夜間)	VP管 曲管(R10) 径 250ｍｍ	m		130		＜　1　m当り＞ 管路材設置 作業区分=埋設部; 設置区分=ﾎﾞﾃﾞｨ管(φ250㎜)設置(さや管含む); さや管の条数=標準:11条(9条(φ50)+2条(φ30));	m	1

見積参考資料

工事名	安来電線共同溝PFI事業（４工区）　（　当　初　）	工種区分	Ｃ・Ｃ・ＢＯＸ工事

工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単　位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参　考　事　項		
						名称	単位	数量
埋設管路 (夜間)	HIVP管 曲管(R6) 径 100ｍｍ	m		6		＜　　1　　m当り＞ 管路材設置 作業区分=埋設部; 設置区分=単管設置;	m	1
埋設管路 (夜間)	VP管 曲管(R6) 径 100ｍｍ	m		6		＜　　1　　m当り＞ 管路材設置 作業区分=埋設部; 設置区分=単管設置;	m	1
管路管台 (夜間)	HIVP管用 φ125-250P	個		2,239		＜　　1　　個当り＞ 管路受台（スペーサ）（材料費）	個	1
管路管台 (夜間)	HIVP管用 φ100-150P	個		2,081		＜　　1　　個当り＞ 管路受台（スペーサ）（材料費）	個	1
管路管台 (夜間)	PV管用 φ75-130P	個		1,256		＜　　1　　個当り＞ 管路受台（スペーサ）（材料費）	個	1
管路管台 (夜間)	PV管用 φ50-95P	個		368		＜　　1　　個当り＞ 管路受台（スペーサ）（材料費）	個	1
管路管台 (夜間)	VP管用 φ100-150P	個		178		＜　　1　　個当り＞ 管路受台（スペーサ）（材料費）	個	1
管路管台 (夜間)	VP管用 φ150-220P	個		174		＜　　1　　個当り＞ 管路受台（スペーサ）（材料費）	個	1
管路管台 (夜間)	VP管用 φ250-350P	個		312		＜　　1　　個当り＞ 管路受台（スペーサ）（材料費）	個	1
中間継手 (夜間)	HIVPφ125用	個		32		＜　　1　　個当り＞ 電力用耐衝撃性硬質塩化ビニル管　半割継手 ＨＩＶＰφ１２５（電共用）	個	1

見積参考資料

工事名	安来電線共同溝PFI事業（４工区）　（　当　初　）	工種区分	Ｃ・Ｃ・ＢＯＸ工事

工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単　位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参　考　事　項		
						名称	単位	数量
中間継手 (夜間)	HIVPφ100用	個		36		＜　　1　　個当り＞ 電力用耐衝撃性硬質塩化ビニル管　半割継手 ＨＩＶＰφ１００（電共用）	個	1
中間継手 (夜間)	PVφ75用	個		37		＜　　1　　個当り＞ 電力用耐衝撃性硬質塩化ビニル管　中間継手 ＰＶφ７５（電共用）	個	1
中間継手 (夜間)	PVφ50用	個		32		＜　　1　　個当り＞ ●通信用硬質塩化ビニル管 中間継手 PVφ50用	個	1
中間継手 (夜間)	VPφ100用	個		11		＜　　1　　個当り＞ 電力用耐衝撃性硬質塩化ビニル管　中間継手 ＶＰφ１００（電共用）	個	1
中間継手 (夜間)	VPφ150用	個		5		＜　　1　　個当り＞ 電力用耐衝撃性硬質塩化ビニル管　中間継手 ＶＰφ１５０（電共用）	個	1
中間継手 (夜間)	VPφ250用	個		5		＜　　1　　個当り＞ 通信用硬質塩化ビニル管 中間継手 スライド管 VPφ250	個	1
鞘管固定管(起点用) (夜間)	VP管　φ250用	個		5		＜　　1　　個当り＞ 管路材設置 作業区分=埋設部；設置区分=ﾎﾞﾃﾞｨ管(φ250mm)設置(さや管含む)；さや管の条数=標準:11条(9条(φ50)+2条(φ30))；	m	1.2
鞘管固定管(終点用) (夜間)	VP管　φ250用	個		5		＜　　1　　個当り＞ 管路材設置 作業区分=埋設部；設置区分=ﾎﾞﾃﾞｨ管(φ250mm)設置(さや管含む)；さや管の条数=標準:11条(9条(φ50)+2条(φ30))；	m	1.14
埋設表示ｼｰﾄ (夜間)	W=300 2倍	m		812		＜　　1　　m当り＞ 埋設標識シート設置(W=300 2倍)	m	1

見積参考資料

工事名	安来電線共同溝PFI事業（４工区）　（　当　初　）	工種区分	Ｃ・Ｃ・ＢＯＸ工事

工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単　位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参　考　事　項		
						名称	単位	数量
敷砂 (夜間)		m3		30		＜　　1　　m3当り＞ 埋戻し・締固め 土質=中埋砂;	ｍ３	1
ﾌﾟﾚｷｬｽﾄﾎﾞｯｸｽ工(特殊部)		式		1				
ﾌﾟﾚｷｬｽﾄﾎﾞｯｸｽ (夜間)	3.7ﾀｲﾌﾟ S型 内幅 1.35m 内高 1.8m RC-40	個		1		沈下埋設工(W1350×H1800×L3700) ●ハンドホール鉄蓋 鉄蓋 960×500用 T-25 二重施錠装置付 ●プレキャストボックス沈下埋設型 S型MH W1350×H1800×L3700 ●プレキャストボックス沈下埋設型 調整ブロック 960×500用 H=250～ コンクリート 構造物種別=無筋･鉄筋構造物; 施工条件=打設量10m3/日未満かつ打設地上高さ2m以下; ｺﾝｸﾘｰﾄ規格=各種; 養生工の種類=一般養生; 現場内小運搬の有無=無し; 費用の内訳=全ての費用; 基礎砕石 砕石の厚さ=7.5cm超12.5cm以下; 砕石の種類=再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ 40～0; 費用の内訳=全ての費用; 鉄筋工［市場単価］ 鉄筋材料規格･径=SD345 D13; 規格･仕様区分=一般構造物; 施工規模=10t未満; 時間的制約を受ける場合の補正=無; 夜間作業補正=有; ﾄﾝﾈﾙ内作業の補正=無; 法面作業の補正=無; 太径鉄筋補正=補正無(鉄筋割合10%未満含む); 構造物種別による補正=補正無(一般構造物);	基 個 個 個 ｍ３ ｍ２ ｔ	1 1 1 1 1.238 4.95 0.087

見積参考資料

工事名	安来電線共同溝PFI事業（４工区）　（　当　初　）	工種区分	Ｃ・Ｃ・ＢＯＸ工事

工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単　位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参　考　事　項		
						名称	単位	数量
ﾌﾟﾚｷｬｽﾄﾎﾞｯｸｽ （夜間）	4.5ﾀｲﾌﾟ　S型 内幅 1.35m 内高 1.8m RC-40	個		1		沈下埋設工(W1350×H1800×L4500) ●ハンドホール鉄蓋 鉄蓋 960×500用 T-25 二重施錠装置付 ●プレキャストボックス沈下埋設型 S型MH W1350×H1800×L4500 ●プレキャストボックス沈下埋設型 調整ブロック 960×500用 H=250～ コンクリート 構造物種別=無筋･鉄筋構造物; 施工条件=打設量10m3/日未満かつ打設地上高さ2m以下; ｺﾝｸﾘｰﾄ規格=各種; 養生工の種類=一般養生; 現場内小運搬の有無=無し; 費用の内訳=全ての費用; 基礎砕石 砕石の厚さ=7.5cm超12.5cm以下; 砕石の種類=再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ 40～0; 費用の内訳=全ての費用; 鉄筋工［市場単価］ 鉄筋材料規格･径=SD345 D13; 規格･仕様区分=一般構造物; 施工規模=10t未満; 時間的制約を受ける場合の補正=無; 夜間作業補正=有; ﾄﾝﾈﾙ内作業の補正=無; 法面作業の補正=無; 太径鉄筋補正=補正無(鉄筋割合10%未満含む); 構造物種別による補正=補正無(一般構造物);	基 個 個 個 ｍ３ ｍ２ ｔ	1 1 1 1 1.519 6.075 0.103

見積参考資料

工事名	安来電線共同溝PFI事業（４工区）　（　当　初　）	工種区分	Ｃ・Ｃ・ＢＯＸ工事

工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単　位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参　考　事　項		
						名称	単位	数量
ﾌﾟﾚｷｬｽﾄﾎﾞｯｸｽ （夜間）	4.5ﾀｲﾌﾟ　L型 内幅 1.35/2.15m 内高 1.8m RC-40	個		2		＜　　1　　個当り＞ 沈下埋設工(W1350/2150×H1800×L4500) ●ハンドホール鉄蓋 鉄蓋 960×500用 T-25 二重施錠装置付 ●プレキャストボックス沈下埋設型 L型MH W1350/2150×H1800×L4500 ●プレキャストボックス沈下埋設型 調整ブロック 960×500用 H=250～ コンクリート 構造物種別=無筋･鉄筋構造物; 施工条件=打設量10m3/日未満かつ打設地上高さ2m以下; ｺﾝｸﾘｰﾄ規格=各種; 養生工の種類=一般養生; 現場内小運搬の有無=無し; 費用の内訳=全ての費用; 基礎砕石 砕石の厚さ=7.5cm超12.5cm以下; 砕石の種類=再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ 40～0; 費用の内訳=全ての費用; 鉄筋工［市場単価］ 鉄筋材料規格･径=SD345 D13; 規格･仕様区分=一般構造物; 施工規模=10t未満; 時間的制約を受ける場合の補正=無; 夜間作業補正=有; ﾄﾝﾈﾙ内作業の補正=無; 法面作業の補正=無; 太径鉄筋補正=補正無(鉄筋割合10%未満含む); 構造物種別による補正=補正無(一般構造物);	基 個 個 個 ｍ３ ｍ２ ｔ	1 1 1 1 2.5 10 0.157

見積参考資料

工事名	安来電線共同溝PFI事業（４工区）　（　当　初　）	工種区分	Ｃ・Ｃ・ＢＯＸ工事

工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単　位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参　考　事　項		
						名称	単位	数量
ﾌﾟﾚｷｬｽﾄﾎﾞｯｸｽ （夜間）	3.7ﾀｲﾌﾟ S型 内幅 1.3m 内高 1.8 m RC-40	個		1		従来型(W1300×H1800×L3700) ●ハンドホール鉄蓋 鉄蓋 960×500用 T-25 二重施錠装置付 ●プレキャストボックス S型MH W1300×H1800×L3700 ●プレキャストボックス沈下埋設型 調整ブロック 960×500用 H=250～ コンクリート 構造物種別=無筋･鉄筋構造物; 施工条件=打設量10m3/日未満かつ打設地上高さ2m以下; ｺﾝｸﾘｰﾄ規格=各種; 養生工の種類=一般養生; 現場内小運搬の有無=無し; 費用の内訳=全ての費用; 基礎砕石 砕石の厚さ=7.5cm超12.5cm以下; 砕石の種類=再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ 40～0; 費用の内訳=全ての費用;	基 個 個 個 ｍ３ ｍ２	1 1 1 1 1.698 16.98

見積参考資料

工事名	安来電線共同溝PFI事業（４工区）　（　当　初　）	工種区分	Ｃ・Ｃ・ＢＯＸ工事

工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単　位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参　考　事　項		
						名称	単位	数量
ﾌﾟﾚｷｬｽﾄﾎﾞｯｸｽ （夜間）	2.2ﾀｲﾌﾟ 路上変圧器用 内幅 1m 内高 1.5m RC-40	個		2		＜　　1　　個当り＞ 沈下埋設工(W1000×H1500×L2200) ●ハンドホール鉄蓋 鉄蓋 960×500用 T-25 二重施錠装置付 ●プレキャストボックス沈下埋設型 電力地上機器MH W1000×H1500×L2200 ●プレキャストボックス沈下埋設型 調整ブロック 960×500用 H=250～ コンクリート 構造物種別=無筋･鉄筋構造物; 施工条件=打設量10m3/日未満かつ打設地上高さ2m以下; ｺﾝｸﾘｰﾄ規格=各種; 養生工の種類=一般養生; 現場内小運搬の有無=無し; 費用の内訳=全ての費用; 基礎砕石 砕石の厚さ=7.5cm超12.5cm以下; 砕石の種類=再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ 40～0; 費用の内訳=全ての費用; 鉄筋工［市場単価］ 鉄筋材料規格･径=SD345 D13; 規格･仕様区分=一般構造物; 施工規模=10t未満; 時間的制約を受ける場合の補正=無; 夜間作業補正=有; ﾄﾝﾈﾙ内作業の補正=無; 法面作業の補正=無; 太径鉄筋補正=補正無(鉄筋割合10%未満含む); 構造物種別による補正=補正無(一般構造物);	基 個 個 個 ｍ３ ｍ２ ｔ	1 1 1 1 0.55 2.2 0.041

見積参考資料

工事名	安来電線共同溝PFI事業（４工区）　（　当　初　）	工種区分	Ｃ・Ｃ・ＢＯＸ工事

工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単　位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参　考　事　項		
						名称	単位	数量
ﾌﾟﾚｷｬｽﾄﾎﾞｯｸｽ （夜間）	2.2ﾀｲﾌﾟ　高圧開閉器用 内幅 1m 内高 1.5m RC-40	個		2		＜　　1　　個当り＞ 沈下埋設工(W1000×H1500×L2200) ●ハンドホール鉄蓋 鉄蓋 960×500用 T-25 二重施錠装置付 ●プレキャストボックス沈下埋設型 電力地上機器MH W1000×H1500×L2200 ●プレキャストボックス沈下埋設型 調整ブロック 960×500用 H=250～ コンクリート 構造物種別=無筋･鉄筋構造物; 施工条件=打設量10m3/日未満かつ打設地上高さ2m以下; ｺﾝｸﾘｰﾄ規格=各種; 養生工の種類=一般養生; 現場内小運搬の有無=無し; 費用の内訳=全ての費用; 基礎砕石 砕石の厚さ=7.5cm超12.5cm以下; 砕石の種類=再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ 40～0; 費用の内訳=全ての費用; 鉄筋工［市場単価］ 鉄筋材料規格･径=SD345 D13; 規格･仕様区分=一般構造物; 施工規模=10t未満; 時間的制約を受ける場合の補正=無; 夜間作業補正=有; ﾄﾝﾈﾙ内作業の補正=無; 法面作業の補正=無; 太径鉄筋補正=補正無(鉄筋割合10%未満含む); 構造物種別による補正=補正無(一般構造物);	基 個 個 個 ｍ３ ｍ２ ｔ	1 1 1 1 0.55 2.2 0.041

見積参考資料

工事名	安来電線共同溝PFI事業（４工区）　（　当　初　）	工種区分	Ｃ・Ｃ・ＢＯＸ工事

工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単　位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参　考　事　項		
						名称	単位	数量
ﾌﾟﾚｷｬｽﾄﾎﾞｯｸｽ 通信基点桝(夜間)	2.2ﾀｲﾌﾟ 内幅 0.95m 内高 1.5m RC-40	個		1		プレキャストボックスブロック設置 ﾎﾞｯｸｽﾌﾞﾛｯｸ1個当り質量=1000kg超～4000kg以下; ﾗﾌﾃﾚｰﾝｸﾚｰﾝ賃料補正係数=標準以外; ﾗﾌﾃﾚｰﾝｸﾚｰﾝ賃料補正係数(実数入力)=1.3 無; 蓋設置 蓋1組当り質量=200kg以下; ●ハンドホール鉄蓋 鉄蓋 960×500用 T-25 二重施錠装置付 コンクリート 構造物種別=無筋･鉄筋構造物; 施工条件=打設量10m3/日未満かつ打設地上高さ2m以下; ｺﾝｸﾘｰﾄ規格=各種; 養生工の種類=一般養生; 現場内小運搬の有無=無し; 費用の内訳=全ての費用; 基礎砕石 砕石の厚さ=7.5cm超12.5cm以下; 砕石の種類=再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ 40～0; 費用の内訳=全ての費用;	個 組 個 ｍ３ ｍ２	1 1 1 1.125 7.5
ﾌﾟﾚｷｬｽﾄﾎﾞｯｸｽ 分岐桝(夜間)	1.2ﾀｲﾌﾟ 内幅 0.6m 内高 0.415m RC-40	個		2		＜　　1　　個当り＞ プレキャストボックスブロック設置 ﾎﾞｯｸｽﾌﾞﾛｯｸ1個当り質量=1000kg以下; ﾗﾌﾃﾚｰﾝｸﾚｰﾝ賃料補正係数=標準以外; ﾗﾌﾃﾚｰﾝｸﾚｰﾝ賃料補正係数(実数入力)=1.3 無; モルタル練 ｾﾒﾝﾄ種類=高炉; 混合比=1:3; 費用の内訳=全ての費用; 基礎砕石 砕石の厚さ=7.5cm超12.5cm以下; 砕石の種類=再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ 40～0; 費用の内訳=全ての費用; プレキャストボックスブロック設置 ﾎﾞｯｸｽﾌﾞﾛｯｸ1個当り質量=1000kg以下; ﾗﾌﾃﾚｰﾝｸﾚｰﾝ賃料補正係数=標準以外; ﾗﾌﾃﾚｰﾝｸﾚｰﾝ賃料補正係数(実数入力)=1.3 無;	個 ｍ３ ｍ２ 個	1 0.035 1.398 1

見積参考資料

工事名	安来電線共同溝PFI事業（４工区）　（　当　初　）	工種区分	Ｃ・Ｃ・ＢＯＸ工事

工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単　位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参　考　事　項		
						名称	単位	数量
ﾍﾞﾙﾏｳｽ		式		1		●ベルマウス(沈下埋設型) HIVPφ125 電力用耐衝撃性硬質塩化ビニル管　受口付ベルマウス ＨＩＶＰφ１２５（電共用） ●ベルマウス(沈下埋設型) HIVPφ100 電力用耐衝撃性硬質塩化ビニル管　受口付ベルマウス ＨＩＶＰφ１００（電共用） ●ベルマウス(沈下埋設型) PVφ75 通信用硬質塩化ビニル管　ダクトスリーブ　ＰＶφ７５（電共用） ●ベルマウス(沈下埋設型) PVφ50 通信用硬質塩化ビニル管　ダクトスリーブ　ＰＶφ５０（電共用） ●ベルマウス(沈下埋設型) VPφ250 ベルマウス VPφ250 ●ベルマウス(沈下埋設型) VPφ150 通信用硬質塩化ビニル管　ダクトスリーブ 呼び径１５０（電共用） ●ベルマウス(沈下埋設型) VPφ100 通信用硬質塩化ビニル管　ダクトスリーブ 呼び径１００（電共用）	個 個 個 個 個 個 個 個 個 個 個 個 個 個	48 8 56 12 51 19 55 9 6 4 6 4 16 6
情報ﾎﾞｯｸｽ工		式		1				
作業土工		式		1				
床掘り （夜間）		m3		90		＜　　1　　m3当り＞ 床掘り	ｍ３	1

見積参考資料

工事名	安来電線共同溝PFI事業（４工区）　（　当　初　）	工種区分	Ｃ・Ｃ・ＢＯＸ工事

工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単　位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参　考　事　項		
						名称	単位	数量
残土処理 (夜間)	小規模 土砂(岩塊・玉石混り土含む)	m3		80		＜　1　m3当り＞ 土砂等運搬 土砂等発生現場=小規模; 積込機種･規格=ﾊﾞｯｸﾎｳ山積0.28m3(平積0.2m3); 土質=土砂(岩塊･玉石混り土含む); DID区間の有無=有り; 運搬距離(km)(DID区間有)=5.5km以下;	ｍ３	1
埋戻し (夜間)		m3		8		＜　1　m3当り＞ 埋戻し	ｍ３	1
埋戻し (夜間)		m3		30		＜　1　m3当り＞ 埋戻し 中埋材（材料費） 中埋材料=砂;	ｍ３ ｍ３	1 1
管路工(管路部)		式		1				
埋設管路 (夜間)	合成樹脂製 径 300mm	m		125		＜　1　m当り＞ 埋設部管路材設置 本体管の材質=合成樹脂製; さや管の材質=VU管類; 設置区分=本体管及びさや管設置; さや管の条数=10管;	m	1
埋設管路 (夜間)	鋼製 径 50mm	m		18		＜　1　m当り＞ 埋設部管路材設置 本体管の材質=鋼製; 設置区分=本体管設置;	m	1
埋設表示ｼｰﾄ (夜間)	W=300 2倍	m		125		＜　1　m当り＞ 埋設表示シート（材料費）	m	1
敷砂 (夜間)		m3		13		＜　1　m3当り＞ 埋戻し 中埋材（材料費） 中埋材料=砂;	ｍ３ ｍ３	1 1

見積参考資料

工事名	安来電線共同溝PFI事業（４工区）　（　当　初　）	工種区分	Ｃ・Ｃ・ＢＯＸ工事

工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単　位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参　考　事　項		
						名称	単位	数量
管路防護工		式		1				
防護ｺﾝｸﾘｰﾄ （夜間）		箇所		1		コンクリート 構造物種別=小型構造物；施工条件=打設地上高さ2m以下；ｺﾝｸﾘｰﾄ規格=各種；養生工の種類=一般養生；現場内小運搬の有無=無し；費用の内訳=全ての費用； 型枠 型枠の種類=一般型枠；構造物の種類=小型構造物； 基礎砕石 砕石の厚さ=7.5cm超12.5cm以下；砕石の種類=再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ 40～0；費用の内訳=全ての費用；	ｍ３ ｍ２ ｍ２	0.3 0.9 1.2
ﾊﾝﾄﾞﾎｰﾙ工		式		1				
ﾊﾝﾄﾞﾎｰﾙ （夜間）	B1000×H1000×L1500	箇所		1		ハンドホール ｸﾚｰﾝ機種=ﾄﾗｯｸ(ｸﾚｰﾝ装置付)4t積･2.9t吊； ハンドホール蓋（材料費） モルタル練 ｾﾒﾝﾄ種類=高炉；混合比=1:3；費用の内訳=全ての費用； 基礎材 砕石の厚さ=12.5cmを超え17.5cm以下；砕石の種類=再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ 40～0；	個 枚 ｍ３ ｍ２	1 1 0.065 2.466

見積参考資料

工事名	安来電線共同溝PFI事業（４工区）　（　当　初　）	工種区分	Ｃ・Ｃ・ＢＯＸ工事

工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単　位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参　考　事　項		
						名称	単位	数量
ﾊﾝﾄﾞﾎｰﾙ (夜間)	B600×H1100×L600	箇所		2		＜　　1　　箇所当り＞ ハンドホール ｸﾚｰﾝ機種=ﾄﾗｯｸ(ｸﾚｰﾝ装置付)4t積･2.9t吊; モルタル練 ｾﾒﾝﾄ種類=高炉; 混合比=1:3; 費用の内訳=全ての費用; 基礎材 砕石の厚さ=12.5cmを超え17.5cm以下; 砕石の種類=再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ 40～0;	個 ｍ３ ｍ２	1 0.019 0.81
道路改良 (上り線 4工区)		式		1				
道路土工		式		1				
残土処理工		式		1				
土砂等運搬 (夜間)	土砂(岩塊･玉石混り土含む)	m3		40		＜　　1　　m3当り＞ 土砂等運搬 土砂等発生現場=標準; 積込機種･規格=ﾊﾞｯｸﾎｳ山積0.45m3(平積0.35m3); 土質=土砂(岩塊･玉石混り土含む); DID区間の有無=有り; 運搬距離(km)(DID区間有)=5.5km以下;	ｍ３	1
排水構造物工		式		1				
作業土工		式		1				

見積参考資料

工事名	安来電線共同溝PFI事業（４工区）　（　当　初　）	工種区分	Ｃ・Ｃ・ＢＯＸ工事

工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単　位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参　考　事　項		
						名称	単位	数量
床掘り (夜間)	土砂	m3		300		＜　　1　　m3当り＞ 床掘り 　土質区分=土砂; 施工方法=平均施工幅1m以上2m未満; 土留方式の種類=無し; 障害の有無=障害無し;	ｍ３	1
埋戻し (夜間)	土砂	m3		230		＜　　1　　m3当り＞ 埋戻し 　施工方法=最大埋戻幅1m以上4m未満;	ｍ３	1
基面整正 (夜間)		m2		80		＜　　1　　m2当り＞ 基面整正	ｍ２	1
側溝工		式		1				
自由勾配側溝 (夜間)	幅 30ｃｍ 高さ 70ｃｍ	m		42		＜　　10　　m当り＞ 自由勾配側溝［市場単価］ 　規格・仕様=L=2000mm 1000kg/個以下; 基礎ｺﾝｸﾘｰﾄの種類=生ｺﾝｸﾘｰﾄ(各種); 基礎ｺﾝｸﾘｰﾄ設計数量(実数入力)=0.26 m3/10m; 施工規模=50m以上(標準); 時間的制約を受ける場合の補正=無; 夜間作業の補正=有; 基礎砕石施工の有無=有; 基礎砕石の種類=再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ 40～0; 基礎砕石設計数量(実数入力)=0.465 m3/10m; 底部ｺﾝｸﾘｰﾄの種類=生ｺﾝｸﾘｰﾄ(各種); 底部ｺﾝｸﾘｰﾄ設計数量(実数入力)=0.327 m3/10m; 蓋版［市場単価］ 　作業区分=据付け; 蓋版の種類=蓋版(各種); 蓋版の質量=40kg/枚以下; 時間的制約を受ける場合の補正=無; 夜間作業の補正=有; 施工箇所における補正=無;	ｍ 枚	10 10

見積参考資料

工事名	安来電線共同溝PFI事業（４工区）　（　当　初　）	工種区分	Ｃ・Ｃ・ＢＯＸ工事

工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単　位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参　考　事　項		
						名称	単位	数量
自由勾配側溝 (夜間)	幅 30ｃｍ 高さ 80ｃｍ	m		29		＜　　10　　m当り＞ 自由勾配側溝［市場単価］ 規格・仕様=L=2000mm 1000kg/個以下; 基礎ｺﾝｸﾘｰﾄの種類=生ｺﾝｸﾘｰﾄ(各種); 基礎ｺﾝｸﾘｰﾄ設計数量(実数入力)=0.26 m3/10m; 施工規模=50m以上(標準); 時間的制約を受ける場合の補正=無; 夜間作業の補正=有; 基礎砕石施工の有無=有; 基礎砕石の種類=再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ 40～0; 基礎砕石設計数量(実数入力)=0.465 m3/10m; 底部ｺﾝｸﾘｰﾄの種類=生ｺﾝｸﾘｰﾄ(各種); 底部ｺﾝｸﾘｰﾄ設計数量(実数入力)=0.327 m3/10m; 蓋版［市場単価］ 作業区分=据付け; 蓋版の種類=蓋版(各種); 蓋版の質量=40kg/枚以下; 時間的制約を受ける場合の補正=無; 夜間作業の補正=有; 施工箇所における補正=無;	m 枚	10 10
自由勾配側溝 (夜間)	幅 30ｃｍ 高さ 90ｃｍ	m		23		＜　　10　　m当り＞ 自由勾配側溝［市場単価］ 規格・仕様=L=2000mm 1000kg/個以下; 基礎ｺﾝｸﾘｰﾄの種類=生ｺﾝｸﾘｰﾄ(各種); 基礎ｺﾝｸﾘｰﾄ設計数量(実数入力)=0.26 m3/10m; 施工規模=50m以上(標準); 時間的制約を受ける場合の補正=無; 夜間作業の補正=有; 基礎砕石施工の有無=有; 基礎砕石の種類=再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ 40～0; 基礎砕石設計数量(実数入力)=0.465 m3/10m; 底部ｺﾝｸﾘｰﾄの種類=生ｺﾝｸﾘｰﾄ(各種); 底部ｺﾝｸﾘｰﾄ設計数量(実数入力)=0.327 m3/10m; 蓋版［市場単価］ 作業区分=据付け; 蓋版の種類=蓋版(各種); 蓋版の質量=40kg/枚以下; 時間的制約を受ける場合の補正=無; 夜間作業の補正=有; 施工箇所における補正=無;	m 枚	10 10

見積参考資料

工事名	安来電線共同溝PFI事業（４工区）　（　当　初　）	工種区分	Ｃ・Ｃ・ＢＯＸ工事

工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単　位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参　考　事　項		
						名称	単位	数量
自由勾配側溝 (夜間)	幅 30ｃｍ 高さ 100ｃｍ	m		14		＜　　10　　m当り＞ 自由勾配側溝［市場単価］ 規格・仕様=L=2000mm 1000kg/個以下; 基礎ｺﾝｸﾘｰﾄの種類=生ｺﾝｸﾘｰﾄ(各種); 基礎ｺﾝｸﾘｰﾄ設計数量(実数入力)=0.26 m3/10m; 施工規模=50m以上(標準); 時間的制約を受ける場合の補正=無; 夜間作業の補正=有; 基礎砕石施工の有無=有; 基礎砕石の種類=再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ 40～0; 基礎砕石設計数量(実数入力)=0.465 m3/10m; 底部ｺﾝｸﾘｰﾄの種類=生ｺﾝｸﾘｰﾄ(各種); 底部ｺﾝｸﾘｰﾄ設計数量(実数入力)=0.327 m3/10m; 蓋版［市場単価］ 作業区分=据付け; 蓋版の種類=蓋版(各種); 蓋版の質量=40kg/枚以下; 時間的制約を受ける場合の補正=無; 夜間作業の補正=有; 施工箇所における補正=無;	m 枚	10 10
自由勾配側溝 (夜間)	幅 30ｃｍ 高さ 110ｃｍ	m		12		＜　　10　　m当り＞ 自由勾配側溝［市場単価］ 規格・仕様=L=2000mm 1000を超え2000kg/個以下; 基礎ｺﾝｸﾘｰﾄの種類=生ｺﾝｸﾘｰﾄ(各種); 基礎ｺﾝｸﾘｰﾄ設計数量(実数入力)=0.26 m3/10m; 施工規模=50m以上(標準); 時間的制約を受ける場合の補正=無; 夜間作業の補正=有; 基礎砕石施工の有無=有; 基礎砕石の種類=再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ 40～0; 基礎砕石設計数量(実数入力)=0.465 m3/10m; 底部ｺﾝｸﾘｰﾄの種類=生ｺﾝｸﾘｰﾄ(各種); 底部ｺﾝｸﾘｰﾄ設計数量(実数入力)=0.327 m3/10m; 蓋版［市場単価］ 作業区分=据付け; 蓋版の種類=蓋版(各種); 蓋版の質量=40kg/枚以下; 時間的制約を受ける場合の補正=無; 夜間作業の補正=有; 施工箇所における補正=無;	m 枚	10 10

見積参考資料

工事名	安来電線共同溝PFI事業（４工区）　（　当　初　）	工種区分	Ｃ・Ｃ・ＢＯＸ工事

工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単　位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参　考　事　項		
						名称	単位	数量
自由勾配側溝 (夜間)	幅 30ｃｍ 高さ 1 40ｃｍ	m		6		＜　　10　　m当り＞ 自由勾配側溝［市場単価］ 規格・仕様=L=2000mm 1000を超え2000kg/個以下; 基礎ｺﾝｸﾘｰﾄの種類=生ｺﾝｸﾘｰﾄ(各種); 基礎ｺﾝｸﾘｰﾄ設計数量(実数入力)=0.35 m3/10m; 施工規模=50m以上(標準); 時間的制約を受ける場合の補正=無; 夜間作業の補正=有; 基礎砕石施工の有無=有; 基礎砕石の種類=再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ 40～0; 基礎砕石設計数量(実数入力)=0.525 m3/10m; 底部ｺﾝｸﾘｰﾄの種類=生ｺﾝｸﾘｰﾄ(各種); 底部ｺﾝｸﾘｰﾄ設計数量(実数入力)=0.327 m3/10m; 蓋版［市場単価］ 作業区分=据付け; 蓋版の種類=蓋版(各種); 蓋版の質量=40を超え170kg/枚以下; 時間的制約を受ける場合の補正=無; 夜間作業の補正=有; 施工箇所における補正=無;	m 枚	10 10
管渠工		式		1				
鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ台付管 (夜間)	φ300	m		12		＜　　10　　m当り＞ 鉄筋コンクリート台付管 作業区分=据付; 管径=300mm; 費用の内訳=全ての費用; モルタル練 ｾﾒﾝﾄ種類=高炉; 混合比=1:3; 費用の内訳=全ての費用;	m ｍ３	10 0.072
舗装工		式		1				
排水性舗装工 車道舗装(A)		式		1				

見積参考資料

工事名	安来電線共同溝PFI事業（４工区）　（当　初）	工種区分	Ｃ・Ｃ・ＢＯＸ工事

工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単　位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参　考　事　項		
						名称	単位	数量
下層路盤(車道・路肩部) (夜間)	再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ RC-40 仕上り厚 200mm	m2		380		＜　1　m2当り＞ 下層路盤（車道・路肩部） 平均厚さ=175mmを超え200mm以下; 材料=再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ RC-40; 費用の内訳=全ての費用;	ｍ２	1
上層路盤(車道・路肩部) (夜間)	粒度調整砕石 M-40 仕上り厚 150mm	m2		380		＜　1　m2当り＞ 上層路盤（車道・路肩部） 材料=粒度調整砕石 M-40; 平均厚さ=125mmを超え150mm以下; 費用の内訳=全ての費用;	ｍ２	1
上層路盤(車道・路肩部) (夜間)	再生As安定処理(30) 仕上り厚 80mm	m2		380		＜　1　m2当り＞ 上層路盤（車道・路肩部） 材料=路盤材(各種); 平均厚さ=75mmを超え85mm以下; 平均幅員=1.4m以上; 瀝青材料種類=ﾌﾟﾗｲﾑｺｰﾄ PK-3; 費用の内訳=全ての費用;	ｍ２	1
基層(車道・路肩部) (夜間)	再生粗粒度Asﾎﾟﾘﾏｰ改質Ⅰ型(20) 舗装厚 50ｍｍ 1.4m以上	m2		380		＜　1　m2当り＞ 基層（車道・路肩部） 平均幅員=1.4m以上; 1層当り平均仕上り厚(70mm以下)(実数入力)=50 mm; 材料=各種(2.30以上2.40t/m3未満); 瀝青材料種類=ﾀｯｸｺｰﾄ(各種); 費用の内訳=全ての費用;	ｍ２	1
排水性舗装・表層（車道・路肩部）　(夜間)	ﾎﾟｰﾗｽAs(13) 舗装厚 50ｍｍ 2.4m以上	m2		380		＜　1　m2当り＞ 排水性舗装・表層（車道・路肩部） 平均施工幅員=2.4m以上; 1層当り平均仕上り厚(65mm未満)(実数入力)=50 mm; 導水ﾊﾟｲﾌﾟの設置=無し; 材料=各種(2.00t/m3以上2.10t/m3未満); 瀝青材料の規格=ﾀｯｸｺｰﾄ PKR(ｺﾞﾑ入り);	ｍ２	1
透水性舗装工 歩道舗装(A)		式		1				
ﾌｨﾙﾀｰ層 (夜間)	砂(ｸｯｼｮﾝ用) 仕上り厚 50ｍｍ	m2		533		＜　1　m2当り＞ フィルター層 平均厚さ=40mm以上60mm未満;	ｍ２	1

見積参考資料

工事名	安来電線共同溝PFI事業（４工区）　（　当　初　）	工種区分	Ｃ・Ｃ・ＢＯＸ工事

工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単　位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参　考　事　項		
						名称	単位	数量
下層路盤(歩道部) (夜間)	再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ RC-30 仕上り厚 100ｍｍ	m2		533		＜　1　m2当り＞ 下層路盤（歩道部） 平均厚さ=75mmを超え125mm以下；材料=再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ RC-30；費用の内訳=全ての費用；	ｍ２	1
表層 (夜間)	透水性As(13) 1.4m以上 舗装厚 40ｍｍ	m2		533		＜　1　m2当り＞ 透水性アスファルト舗装 平均幅員=1.4m以上；1層当り平均仕上り厚(70mm以下)(実数入力)=40 mm；材料=各種(2.00以上2.10t/m3未満)；	ｍ２	1
透水性舗装工 歩道舗装(B)		式		1				
ﾌｨﾙﾀｰ層 (夜間)	砂(ｸｯｼｮﾝ用) 仕上り厚 50ｍｍ	m2		312		＜　1　m2当り＞ フィルター層 平均厚さ=40mm以上60mm未満；	ｍ２	1
下層路盤(歩道部) (夜間)	再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ RC-40 仕上り厚 150ｍｍ	m2		312		＜　1　m2当り＞ 下層路盤（歩道部） 平均厚さ=125mmを超え175mm以下；材料=再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ RC-40；費用の内訳=全ての費用；	ｍ２	1
表層 (夜間)	透水性As　1.4m以上 舗装厚 50ｍｍ	m2		312		＜　1　m2当り＞ 透水性アスファルト舗装 平均幅員=1.4m以上；1層当り平均仕上り厚(70mm以下)(実数入力)=50 mm；材料=各種(2.00以上2.10t/m3未満)；	ｍ２	1
縁石工		式		1				
縁石工		式		1				

見積参考資料

工事名	安来電線共同溝PFI事業（４工区）　（　当　初　）	工種区分	Ｃ・Ｃ・ＢＯＸ工事

工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単　位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参　考　事　項		
						名称	単位	数量
歩車道境界ﾌﾞﾛｯｸ 縁石工A（夜間）	C種(180/210×300×600)	m		50		＜　1　m当り＞ 歩車道境界ブロック 作業区分=設置；ﾌﾞﾛｯｸ規格=C種(180/210×300×600)；基礎砕石の有無=有り；均し基礎ｺﾝｸﾘｰﾄ規格=不要；	m	1
歩車道境界ﾌﾞﾛｯｸ 縁石工B（夜間）	B種(180/205×250×600)	m		65		＜　1　m当り＞ 歩車道境界ブロック 作業区分=設置；ﾌﾞﾛｯｸ規格=B種(180/205×250×600)；基礎砕石の有無=有り；均し基礎ｺﾝｸﾘｰﾄ規格=不要；	m	1
歩車道境界ﾌﾞﾛｯｸ 縁石工C（夜間）	B種(180/205×250×600)	m		24		＜　1　m当り＞ 歩車道境界ブロック 作業区分=設置；ﾌﾞﾛｯｸ規格=B種(180/205×250×600)；基礎砕石の有無=有り；均し基礎ｺﾝｸﾘｰﾄ規格=不要；	m	1
歩車道境界ﾌﾞﾛｯｸ 縁石工D(R)（夜間）	C種(180/210×300×600)	m		5		＜　1　m当り＞ 歩車道境界ブロック 作業区分=設置；ﾌﾞﾛｯｸ規格=C種(180/210×300×600)；基礎砕石の有無=有り；均し基礎ｺﾝｸﾘｰﾄ規格=不要；	m	1
歩車道境界ﾌﾞﾛｯｸ 縁石工D(L)（夜間）	C種(180/210×300×600)	m		5		＜　1　m当り＞ 歩車道境界ブロック 作業区分=設置；ﾌﾞﾛｯｸ規格=C種(180/210×300×600)；基礎砕石の有無=有り；均し基礎ｺﾝｸﾘｰﾄ規格=不要；	m	1
道路付属施設工		式		1				
照明工		式		1				

見積参考資料

工事名	安来電線共同溝PFI事業（４工区）　（　当　初　）	工種区分	Ｃ・Ｃ・ＢＯＸ工事

工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単　位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参　考　事　項		
						名称	単位	数量
照明柱基礎 1号(夜間)	抵抗板付鋼製基礎	基		1		抵抗板付鋼製杭基礎打込･引抜(施工回数3回以上) 夜間作業の有無=有り； 時間的制約の有無=無し； 抵抗板付鋼製杭基礎材料費（H形鋼杭）	回 t	1 0.311
照明柱基礎 3号(夜間)	抵抗板付鋼製基礎	基		1		抵抗板付鋼製杭基礎打込･引抜(施工回数3回以上) 夜間作業の有無=有り； 時間的制約の有無=無し； 抵抗板付鋼製杭基礎材料費（H形鋼杭）	回 t	1 0.641
照明柱基礎 4号(夜間)	抵抗板付鋼製基礎	基		1		抵抗板付鋼製杭基礎打込･引抜(施工回数3回以上) 夜間作業の有無=有り； 時間的制約の有無=無し； 抵抗板付鋼製杭基礎材料費（H形鋼杭）	回 t	1 0.69
照明柱 R-17(夜間)		基		1		照明柱　建柱	基	1
照明柱 R-18(夜間)		基		1		照明柱　建柱	基	1
照明柱 R-19(夜間)		基		1		照明柱　建柱	基	1
構造物撤去工		式		1				
構造物取壊し工		式		1				
舗装版破砕 (夜間)	ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版 15cm以下	m2		1,230		＜　　1　　m2当り＞ 舗装版破砕 舗装版種別=ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版； 障害等の有無=無し； 騒音振動対策=必要； 舗装版厚=15cm以下； 積込作業の有無=有り； 費用の内訳=全ての費用；	ｍ２	1
運搬処理工		式		1				

見積参考資料

工事名	安来電線共同溝PFI事業（４工区）　（　当　初　）	工種区分	Ｃ・Ｃ・ＢＯＸ工事

工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単　位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参　考　事　項		
						名称	単位	数量
殻運搬 (夜間)	ｱｽﾌｧﾙﾄ殻	m3		53		＜　　1　　m3当り＞ 殻運搬 殻発生作業=舗装版破砕; 積込工法区分=機械積込(騒音対策不要､厚15cm超)又(騒音対策必要); DID区間の有無=有り; 運搬距離(km)(DID区間有)=60.0km以下; 費用の内訳=全ての費用;	ｍ３	1
殻処分 (夜間)	ｱｽﾌｧﾙﾄ殻	m3		53		＜　　1　　m3当り＞ 処分費（ｍ３）	ｍ３	1
直接工事費		式		1				
共通仮設費		式		1				
共通仮設費		式		1				
運搬費		式		1				
仮設材運搬費		t		78.6		＜　　1　　t当り＞ 仮設材等(鋼矢板、H形鋼、覆工板、敷鉄板等)の運搬 運搬割増率=各種(実数入力); 運搬割増率(実数入力)=0 無; その他の諸料金の有無=無; 仮設材等の積込み, 取卸し費 作業区分=積込み,取卸し(片道分);	t t	1 1
準備費		式		1				

見積参考資料

工事名	安来電線共同溝PFI事業（４工区）　（　当　初　）	工種区分	Ｃ・Ｃ・ＢＯＸ工事

工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単　位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参　考　事　項		
						名称	単位	数量
試掘		箇所		9		＜　　1　　箇所当り＞ 床掘り 　土質区分=土砂；施工方法=現場制約あり； 埋戻し 　施工方法=現場制約あり；土質区分=土砂；締固めの有無=有り； 下層路盤（歩道部） 　平均厚さ=75mmを超え125mm以下；材料=再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ RC-40；費用の内訳=全ての費用； 表層（歩道部） 　平均幅員=1.4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下)；1層当り平均仕上り厚(50mm以下)(実数入力)=40 mm；材料=各種(2.20以上2.30t/m3未満)；瀝青材料種類=ﾌﾟﾗｲﾑｺｰﾄ PK-3；費用の内訳=全ての費用；	 ｍ３ ｍ３ ｍ２ ｍ２	 3.285 3.06 2.25 2.25
事業損失防止施設費		式		1				
事業損失防止施設費 （夜間）		式		1		機械ボーリング工 観測井戸設置	m m	5.4 5.4
技術管理費		式		1				
道路施設基本ﾃﾞｰﾀ作成費用		式		1		道路施設基本ﾃﾞｰﾀ作成費用	式	1
現場環境改善費（率計上）		式		1		市街地補正=市街地		
共通仮設費（率計上）		式		1		施工地域補正=市街地（ＤＩＤ）（１）；除雪工補正=補正無；週休２日の補正=しない		

見積参考資料

工事名	安来電線共同溝PFI事業（４工区）　（　当　初　）	工種区分	Ｃ・Ｃ・ＢＯＸ工事

工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単　位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参　考　事　項		
						名称	単位	数量
純工事費		式		1				
現場管理費		式		1		施工地域補正=市街地（ＤＩＤ）（1）；緊急工事補正=しない；砂防・地滑り工事補正=しない；週休２日の補正=しない		
工事原価		式		1				
一般管理費等		式		1				
工事価格		式		1				
消費税相当額		式		1				
工事費計		式		1		建設技能労働者や交通誘導員等の現場労働者にかかる経費として、労務費のほか各種経費（法定福利費の事業者負担額、労務管理費、安全訓練等に要する費用等）が必要であり、本積算ではこれらを現場管理費等の一部として率計上している。		

見積参考資料（管理費区分一覧表）

凡　例　管理費区分1　共通仮設費のみ非対象　　管理費区分2　工場管理費・一般管理費の対象 管理費区分5　一般管理費等対象　　管理費区分7　間接労務費対象労務費
管理費区分9　率計算の非対象　　管理費区分T　処分費等の対象にする

○：該当する管理費区分が含まれている

工事名	安来電線共同溝PFI事業（４工区）　（当　初）	事業区分	共同溝･電線共同溝
		工事区分	電線共同溝

細別名称	規格	単位	数量	管理費区分 1 管理費区分 T	管理費区分 2	管理費区分 5	管理費区分 7	管理費区分 9
殻処分 (夜間)	ｱｽﾌｧﾙﾄ殻	m3	59	○				
殻処分 (夜間)	ｱｽﾌｧﾙﾄ殻	m3	53	○				
事業損失防止施設費 (夜間)		式	1					○
道路施設基本ﾃﾞｰﾀ作成費用		式	1					○

見　積　参　考　資　料

工 事 名　　安来電線共同溝PFI事業（５工区）

この「見積参考資料」は入札参加者の適切かつ迅速な見積に資するための資料であり、契約書第１条にいう設計図書ではない。従って「見積参考資料」は請負契約上の拘束力を生じるものではなく、受注者は、施工条件、地質条件等を充分考慮して、仮設、施工方法、安全対策等、工事目的物を完成するための一切の手段について受注者の責任において定めるものとする。

なお、この「見積参考資料」の有効期間は、この工事の入札日までとする。

国土交通省　中国地方整備局
松江国道事務所　管理第二課

見積参考資料

工事名	安来電線共同溝PFI事業（５工区）　（　当　初　）	工種区分	Ｃ・Ｃ・ＢＯＸ工事

工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単　位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参　考　事　項		
						名称	単位	数量
電線共同溝 (上り線 5工区)		式		1				
仮設工		式		1				
路面覆工		式		1				
覆工板･覆工板受桁 (夜間)	設置･撤去	m2		87		覆工板・受桁設置・撤去（設置面積７００ｍ２以下） 作業区分=設置･撤去; ﾗﾌﾃﾚｰﾝｸﾚｰﾝ賃料補正=標準以外; ﾗﾌﾃﾚｰﾝｸﾚｰﾝ賃料補正(実数入力)=1.3 無; 覆工板・鋼製マット賃料 仮設材区分=覆工板(鋼製滑り止め 従来型); 供用月数(実数入力)=8.5 月; 継続工事の有無=無; 修理費及び損耗費の計上=有; 一現場での使用回数(実数入力)=3 回; 山留材賃料 火打ﾌﾞﾛｯｸの有無=無; 供用日数(実数入力)=258 日; 継続工事の有無=無; 主部材修理費及び損耗費の計上=有; 主部材一現場での使用回数(実数)=3 回/現場; 副部材A修理費及び損耗費の計上=有; 副部材A一現場での使用回数(実)=3 回/現場; 副部材Bの計上=有; 副部材B一現場での使用回数(実)=3 回/現場;	ｍ２ ｍ２ ｔ	87 29 1.9

見積参考資料

工事名	安来電線共同溝PFI事業（５工区）　（　当　初　）	工種区分	Ｃ・Ｃ・ＢＯＸ工事

工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単　位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参　考　事　項		
						名称	単位	数量
敷鉄板 (夜間)	22×1524×3048 設置･撤去	m2		14		敷鉄板設置・撤去 作業区分=設置･撤去; ﾗﾌﾃﾚｰﾝｸﾚｰﾝ賃料補正=標準以外; ﾗﾌﾃﾚｰﾝｸﾚｰﾝ賃料補正(実数入力)=1.3 無; 敷鉄板賃料 敷鉄板の種類=22×1524×3048; 不足分弁償金の有無=無; 供用日数(日)(実数入力)=258 日; 継続工事の有無=無; 整備費の有無=有; 山留材賃料 火打ﾌﾞﾛｯｸの有無=無; 供用日数(実数入力)=258 日; 継続工事の有無=無; 主部材修理費及び損耗費の計上=有; 主部材一現場での使用回数(実数)=3 回/現場; 副部材A修理費及び損耗費の計上=有; 副部材A一現場での使用回数(実)=3 回/現場; 副部材Bの計上=有; 副部材B一現場での使用回数(実)=3 回/現場;	ｍ２ 枚 ｔ	14 1 0.04
仮舗装工 仮舗装(A)		式		1				
下層路盤(歩道部) (夜間)	再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ RC-30 仕上り厚 100ｍｍ	m2		223		＜　　1　　m2当り＞ 下層路盤（歩道部） 平均厚さ=75mmを超え125mm以下; 材料=再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ RC-30; 費用の内訳=全ての費用;	ｍ２	1
表層(歩道部) (夜間)	再生粗粒度As(20) 舗装厚 40ｍｍ 1.4m以上	m2		223		＜　　1　　m2当り＞ 表層（歩道部） 平均幅員=1.4m以上; 1層当り平均仕上り厚(70mm以下)(実数入力)=40 mm; 材料=各種(2.20以上2.30t/m3未満); 瀝青材料種類=ﾌﾟﾗｲﾑｺｰﾄ PK-3; 費用の内訳=全ての費用;	ｍ２	1
仮舗装工 仮舗装(B)		式		1				

見積参考資料

工事名	安来電線共同溝PFI事業（５工区）　（　当　初　）	工種区分	Ｃ・Ｃ・ＢＯＸ工事

工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単　位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参　考　事　項		
						名称	単位	数量
下層路盤(歩道部) (夜間)	再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ RC-40 仕上り厚 150ｍｍ	m2		286		＜　1　m2当り＞ 下層路盤（歩道部） 平均厚さ=125mmを超え175mm以下；材料=再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ RC-40；費用の内訳=全ての費用；	ｍ２	1
表層(車道・路肩部) (夜間)	再生粗粒度As(20) 舗装厚 50ｍｍ 1.4m未満（1層当り平均仕上り厚50m	m2		286		＜　1　m2当り＞ 表層（車道・路肩部） 平均幅員=1.4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下)；1層当り平均仕上り厚(50mm以下)(実数入力)=50 mm；材料=各種(2.20以上2.30t/m3未満)；瀝青材料種類=ﾌﾟﾗｲﾑｺｰﾄ PK-3；費用の内訳=全ての費用；	ｍ２	1
土留･仮締切工		式		1				
軽量鋼矢板(電線共同溝) (夜間)	LSP-2 L=2.5m	m		312		軽量鋼矢板設置・撤去 軽量鋼矢板賃料(LSP-2 L=2.5m)	m m	312 20
軽量鋼矢板 (夜間)	LSP-3 L=4.0m	枚		315		軽量鋼矢板圧入(LSP-3型 圧入長4m以下) 軽量鋼矢板引抜き(LSP-3型 引抜き長4m以下) 軽量鋼矢板賃料(LSP-3 L=4.0m 軽作業3回)	枚 枚 枚	315 315 105
軽量鋼矢板 (夜間)	LSP-3 L=4.5m	枚		557		軽量鋼矢板圧入(LSP-3型 圧入長5m以下) 軽量鋼矢板引抜き(LSP-3型 引抜き長5m以下) 軽量鋼矢板賃料(LSP-3 L=4.5m 軽作業3回)	枚 枚 枚	557 557 186
軽量鋼矢板 (夜間)	LSP-3 L=5.0m	枚		266		軽量鋼矢板圧入(LSP-3型 圧入長5m以下) 軽量鋼矢板引抜き(LSP-3型 引抜き長5m以下) 軽量鋼矢板賃料(LSP-3 L=5.0m 軽作業3回)	枚 枚 枚	266 266 89
軽量鋼矢板 (夜間)	LSP-3 L=5.5m	枚		130		軽量鋼矢板圧入(LSP-3型 圧入長6m以下) 軽量鋼矢板引抜き(LSP-3型 引抜き長6m以下) 油圧式杭圧入引抜機据付・解体(圧入) 油圧式杭圧入引抜機据付・解体(引抜) 軽量鋼矢板賃料(LSP-3 L=5.5m 軽作業3回)	枚 枚 回 回 枚	130 130 3 3 43

見積参考資料

工事名	安来電線共同溝PFI事業（５工区）　（　当　初　）	工種区分	Ｃ・Ｃ・ＢＯＸ工事

工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単　位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参　考　事　項		
						名称	単位	数量
鋼矢板 (夜間)	III型 平均鋼矢板長さ 6m 鋼矢板打込長 5.5m 平均鋼矢板引抜長 5.5m	枚		295		鋼矢板圧入（Ｎｍａｘ≦２５） 施工場所=陸上; 鋼矢板型式=III型; 圧入長=6m以下; ﾗﾌﾃﾚｰﾝｸﾚｰﾝ規格=排出ｶﾞｽ対策型(第2次基準値);	枚	295
						油圧式杭圧入引抜機据付・解体 作業区分=圧入(Nmax≦25); 鋼矢板型式=III型; 施工場所=陸上; ﾗﾌﾃﾚｰﾝｸﾚｰﾝ規格=排出ｶﾞｽ対策型(第2次基準値);	回	3
						鋼矢板引抜き 施工場所=陸上; 鋼矢板型式=III型; 引抜長=6m以下; ﾗﾌﾃﾚｰﾝｸﾚｰﾝ規格=排出ｶﾞｽ対策型(第2次基準値);	枚	295
						油圧式杭圧入引抜機据付・解体 作業区分=引抜き; 鋼矢板型式=III型; 施工場所=陸上; ﾗﾌﾃﾚｰﾝｸﾚｰﾝ規格=排出ｶﾞｽ対策型(第2次基準値);	回	3
						鋼矢板賃料（普通鋼矢板） 鋼矢板の種類=III型; 鋼矢板1枚当りの長さ(実数入力)=6 m/枚; 供用日数(実数入力)=258 日; 継続工事の有無=無; 修理費及び損耗費の有無=有; 作業区分=軽作業; 一現場での使用回数(実数入力)=3 回;	枚	98
切梁･腹起し (夜間)		t		26.9		切梁・腹起し設置・撤去 作業区分=設置･撤去; 火打ﾌﾞﾛｯｸの有無=無; ﾗﾌﾃﾚｰﾝｸﾚｰﾝ賃料補正=標準以外; ﾗﾌﾃﾚｰﾝｸﾚｰﾝ賃料補正(実数入力)=1.3 無;	t	26.9
						山留材賃料 火打ﾌﾞﾛｯｸの有無=無; 供用日数(実数入力)=258 日; 継続工事の有無=無; 主部材修理費及び損耗費の計上=有; 主部材一現場での使用回数(実数)=3 回/現場; 副部材A修理費及び損耗費の計上=有; 副部材A一現場での使用回数(実)=3 回/現場; 副部材Bの計上=有; 副部材B一現場での使用回数(実)=3 回/現場;	t	7.1

見積参考資料

工事名	安来電線共同溝PFI事業（５工区）　（　当　初　）	工種区分	Ｃ・Ｃ・ＢＯＸ工事

工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単　位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参　考　事　項		
						名称	単位	数量
水路補強工		式		1				
水路補強 (夜間)		式		1		溝形鋼 大形　ＳＳ４００　８×２００×９０ コンクリートアンカー M16 L=60 モルタル練 ｾﾒﾝﾄ種類=高炉；混合比=1:3；費用の内訳=全ての費用；	ｔ 本 ｍ３	0.182 20 1.3
交通管理工		式		1				
交通誘導警備員		人日		160		＜　　1　　人日当り＞ 交通誘導警備員Ａ 作業区分=夜間勤務(交替要員有り)；	人日	1
交通誘導警備員		人日		1,440		＜　　1　　人日当り＞ 交通誘導警備員Ｂ 作業区分=夜間勤務(交替要員有り)；	人日	1
舗装版撤去工		式		1				
舗装版破砕工		式		1				
殻運搬 (夜間)	ｱｽﾌｧﾙﾄ殻	m3		46		＜　　1　　m3当り＞ 殻運搬 殻発生作業=舗装版破砕；積込工法区分=機械積込(騒音対策不要､厚15cm超)又(騒音対策必要)；DID区間の有無=有り；運搬距離(km)(DID区間有)=60.0km以下；費用の内訳=全ての費用；	ｍ３	1
殻処分 (夜間)	ｱｽﾌｧﾙﾄ殻	m3		46		処分費（ｍ３）	ｍ３	46

見積参考資料

工事名	安来電線共同溝PFI事業（５工区）　（　当　初　）	工種区分	Ｃ・Ｃ・ＢＯＸ工事

工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単　位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参　考　事　項		
						名称	単位	数量
舗装版切断 （夜間）	ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版 15cm以下	m		700		＜　　1　　m当り＞ 舗装版切断 舗装版種別=ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版；ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版厚=15cm以下；費用の内訳=全ての費用；	m	1
舗装版切断 （夜間）	ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版 15cm超30cm以下	m		270		＜　　1　　m当り＞ 舗装版切断 舗装版種別=ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版；ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版厚=15cmを超え30cm以下；費用の内訳=全ての費用；	m	1
舗装版破砕 （夜間）	ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版 15cm超35cm以下	m2		510		＜　　1　　m2当り＞ 舗装版破砕 舗装版種別=ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版；障害等の有無=無し；騒音振動対策=必要；舗装版厚=15cmを超え35cm以下；積込作業の有無=有り；費用の内訳=全ての費用；	ｍ２	1
開削土工		式		1				
掘削工		式		1				
開削掘削 （夜間）		m3		580		＜　　1　　m3当り＞ 床掘り	ｍ３	1
埋戻し工		式		1				
埋戻し・締固め （夜間）	土砂	m3		250		＜　　1　　m3当り＞ 埋戻し・締固め 土質=土砂；	ｍ３	1
埋戻し・締固め （夜間）	中埋砂	m3		120		＜　　1　　m3当り＞ 埋戻し・締固め 土質=中埋砂；	ｍ３	1

見積参考資料

工事名	安来電線共同溝PFI事業（５工区）　（　当　初　）	工種区分	Ｃ・Ｃ・ＢＯＸ工事

工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単　位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参　考　事　項		
						名称	単位	数量
残土処理工		式		1				
土砂等運搬 (夜間)		m3		310		＜　　1　　m3当り＞ 運搬（電線共同溝） 積載区分=土砂; DID区間の有無=有り; 運搬距離(km)(DID区間有)=6.0km以下;	ｍ３	1
電線共同溝工		式		1				
管路工(管路部)		式		1				
埋設管路 (夜間)	HIVP管 直管 径 125ｍｍ	m		376		＜　　1　　m当り＞ 管路材設置 作業区分=埋設部; 設置区分=単管設置;	m	1
埋設管路 (夜間)	HIVP管 直管 径 100ｍｍ	m		479		＜　　1　　m当り＞ 管路材設置 作業区分=埋設部; 設置区分=単管設置;	m	1
埋設管路 (夜間)	PV管 直管 径 75ｍｍ	m		522		＜　　1　　m当り＞ 管路材設置 作業区分=埋設部; 設置区分=単管設置;	m	1
埋設管路 (夜間)	PV管 直管 径 50ｍｍ	m		206		＜　　1　　m当り＞ 管路材設置 作業区分=埋設部; 設置区分=単管設置;	m	1
埋設管路 (夜間)	VP管 直管 径 100ｍｍ	m		95		＜　　1　　m当り＞ 管路材設置 作業区分=埋設部; 設置区分=単管設置;	m	1
埋設管路 (夜間)	VP管 直管 径 150ｍｍ	m		94		＜　　1　　m当り＞ 管路材設置 作業区分=埋設部; 設置区分=FA管設置;	m	1

見積参考資料

工事名	安来電線共同溝PFI事業（５工区）　（　当　初　）	工種区分	Ｃ・Ｃ・ＢＯＸ工事

工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単　位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参　考　事　項		
						名称	単位	数量
埋設管路 (夜間)	VP管 直管 径 250 ｍｍ	m		125		＜　　1　　m当り＞ 管路材設置 作業区分=埋設部; 設置区分=ﾎﾞﾃﾞｨ管(φ250㎜)設置(さや管含む); さや管の条数=標準:11条(9条(φ50)+2条(φ30));	m	1
埋設管路 (夜間)	HIVP管 曲管(R10) 径 125ｍｍ	m		238		＜　　1　　m当り＞ 管路材設置 作業区分=埋設部; 設置区分=単管設置;	m	1
埋設管路 (夜間)	HIVP管 曲管(R10) 径 100ｍｍ	m		335		＜　　1　　m当り＞ 管路材設置 作業区分=埋設部; 設置区分=単管設置;	m	1
埋設管路 (夜間)	PV管 曲管(R10) 径 75ｍｍ	m		357		＜　　1　　m当り＞ 管路材設置 作業区分=埋設部; 設置区分=単管設置;	m	1
埋設管路 (夜間)	PV管 曲管(R10) 径 50ｍｍ	m		158		＜　　1　　m当り＞ 管路材設置 作業区分=埋設部; 設置区分=単管設置;	m	1
埋設管路 (夜間)	VP管 曲管(R10) 径 100ｍｍ	m		62		＜　　1　　m当り＞ 管路材設置 作業区分=埋設部; 設置区分=単管設置;	m	1
埋設管路 (夜間)	VP管 曲管(R10) 径 150ｍｍ	m		80		＜　　1　　m当り＞ 管路材設置 作業区分=埋設部; 設置区分=FA管設置;	m	1
埋設管路 (夜間)	VP管 曲管(R10) 径 250ｍｍ	m		75		＜　　1　　m当り＞ 管路材設置 作業区分=埋設部; 設置区分=ﾎﾞﾃﾞｨ管(φ250㎜)設置(さや管含む); さや管の条数=標準:11条(9条(φ50)+2条(φ30));	m	1
埋設管路 (夜間)	HIVP管 曲管(R6) 径 125ｍｍ	m		36		＜　　1　　m当り＞ 管路材設置 作業区分=埋設部; 設置区分=単管設置;	m	1

見積参考資料

工事名	安来電線共同溝PFI事業（５工区）　（　当　初　）	工種区分	Ｃ・Ｃ・ＢＯＸ工事

工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単　位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参　考　事　項		
						名称	単位	数量
埋設管路 (夜間)	HIVP管 曲管(R6) 径 100ｍｍ	m		89		＜　　1　　m当り＞ 管路材設置 作業区分=埋設部; 設置区分=単管設置;	m	1
埋設管路 (夜間)	PV管 曲管(R6) 径 75ｍｍ	m		55		＜　　1　　m当り＞ 管路材設置 作業区分=埋設部; 設置区分=単管設置;	m	1
埋設管路 (夜間)	PV管 曲管(R6) 径 50ｍｍ	m		18		＜　　1　　m当り＞ 管路材設置 作業区分=埋設部; 設置区分=単管設置;	m	1
埋設管路 (夜間)	VP管 曲管(R6) 径 100ｍｍ	m		33		＜　　1　　m当り＞ 管路材設置 作業区分=埋設部; 設置区分=単管設置;	m	1
埋設管路 (夜間)	VP管 曲管(R6) 径 150ｍｍ	m		23		＜　　1　　m当り＞ 管路材設置 作業区分=埋設部; 設置区分=FA管設置;	m	1
埋設管路 (夜間)	VP管 曲管(R6) 径 250ｍｍ	m		18		＜　　1　　m当り＞ 管路材設置 作業区分=埋設部; 設置区分=ﾎﾞﾃﾞｨ管(φ250㎜)設置(さや管含む); さや管の条数=標準:11条(9条(φ50)+2条(φ30));	m	1
管路管台 (夜間)	HIVP管用 φ125-250P	個		1,428		＜　　1　　個当り＞ 管路受台（スペーサ）（材料費）	個	1
管路管台 (夜間)	HIVP管用 φ100-150P	個		1,737		＜　　1　　個当り＞ 管路受台（スペーサ）（材料費）	個	1
管路管台 (夜間)	PV管用 φ75-130P	個		1,168		＜　　1　　個当り＞ 管路受台（スペーサ）（材料費）	個	1
管路管台 (夜間)	PV管用 φ50-95P	個		316		＜　　1　　個当り＞ 管路受台（スペーサ）（材料費）	個	1

見積参考資料

工事名	安来電線共同溝PFI事業（５工区）　（　当　初　）	工種区分	Ｃ・Ｃ・ＢＯＸ工事

工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単　位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参　考　事　項		
						名称	単位	数量
管路管台 (夜間)	VP管用　φ100-150P	個		138		＜　　1　　個当り＞ 管路受台（スペーサ）（材料費）	個	1
管路管台 (夜間)	VP管用　φ150-220P	個		146		＜　　1　　個当り＞ 管路受台（スペーサ）（材料費）	個	1
管路管台 (夜間)	VP管用　φ250-350P	個		251		＜　　1　　個当り＞ 管路受台（スペーサ）（材料費）	個	1
中間継手 (夜間)	HIVPφ125用	個		8		＜　　1　　個当り＞ 電力用耐衝撃性硬質塩化ビニル管　半割継手　ＨＩＶＰφ１２５（電共用）	個	1
中間継手 (夜間)	HIVPφ100用	個		16		＜　　1　　個当り＞ 電力用耐衝撃性硬質塩化ビニル管　半割継手　ＨＩＶＰφ１００（電共用）	個	1
中間継手 (夜間)	PVφ75用	個		10		＜　　1　　個当り＞ 電力用耐衝撃性硬質塩化ビニル管　中間継手　ＰＶφ７５（電共用）	個	1
中間継手 (夜間)	PVφ50用	個		3		＜　　1　　個当り＞ ●通信用硬質塩化ビニル管 中間継手 PVφ50用	個	1
中間継手 (夜間)	VPφ100用	個		7		＜　　1　　個当り＞ 電力用耐衝撃性硬質塩化ビニル管　中間継手　ＶＰφ１００（電共用）	個	1
中間継手 (夜間)	VPφ150用	個		4		＜　　1　　個当り＞ 電力用耐衝撃性硬質塩化ビニル管　中間継手　ＶＰφ１５０（電共用）	個	1
中間継手 (夜間)	VPφ250用	個		2		＜　　1　　個当り＞ 通信用硬質塩化ビニル管 中間継手 スライド管 VPφ250	個	1

見積参考資料

工事名	安来電線共同溝PFI事業（５工区）　（　当　初　）	工種区分	Ｃ・Ｃ・ＢＯＸ工事

工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単　位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参　考　事　項		
						名称	単位	数量
鞘管固定管(起点用) (夜間)	VP管　φ250用	個		2		＜　　1　　個当り＞ 管路材設置 作業区分=埋設部; 設置区分=ﾎﾞﾃﾞｨ管(φ250mm)設置(さや管含む); さや管の条数=標準:11条(9条(φ50)+2条(φ30));	m	1.2
鞘管固定管(終点用) (夜間)	VP管　φ250用	個		2		＜　　1　　個当り＞ 管路材設置 作業区分=埋設部; 設置区分=ﾎﾞﾃﾞｨ管(φ250mm)設置(さや管含む); さや管の条数=標準:11条(9条(φ50)+2条(φ30));	m	1.14
埋設表示ｼｰﾄ (夜間)	W=300 2倍	m		679		＜　　1　　m当り＞ 埋設標識シート設置(W=300 2倍)	m	1
敷砂 (夜間)		m3		13		＜　　1　　m3当り＞ 埋戻し・締固め 土質=中埋砂;	ｍ３	1
ﾌﾟﾚｷｬｽﾄﾎﾞｯｸｽ工(特殊部)		式		1				

見積参考資料

工事名	安来電線共同溝PFI事業（５工区）　（　当　初　）	工種区分	Ｃ・Ｃ・ＢＯＸ工事

工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単　位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参　考　事　項		
						名称	単位	数量
ﾌﾟﾚｷｬｽﾄﾎﾞｯｸｽ （夜間）	3.7ﾀｲﾌﾟ S型 内幅 1.35m 内高 1.8m RC-40	個		1		沈下埋設工(W1350×H1800×L3700) ●ハンドホール鉄蓋 鉄蓋 960×500用 T-25 二重施錠装置付 ●プレキャストボックス沈下埋設型 S型MH W1350×H1800×L3700 ●プレキャストボックス沈下埋設型 調整ブロック 960×500用 H=250～ コンクリート 構造物種別=無筋･鉄筋構造物; 施工条件=打設量10m3/日未満かつ打設地上高さ2m以下; ｺﾝｸﾘｰﾄ規格=各種; 養生工の種類=一般養生; 現場内小運搬の有無=無し; 費用の内訳=全ての費用; 基礎砕石 砕石の厚さ=7.5cm超12.5cm以下; 砕石の種類=再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ 40～0; 費用の内訳=全ての費用; 鉄筋工［市場単価］ 鉄筋材料規格･径=SD345 D13; 規格･仕様区分=一般構造物; 施工規模=10t未満; 時間的制約を受ける場合の補正=無; 夜間作業補正=有; ﾄﾝﾈﾙ内作業の補正=無; 法面作業の補正=無; 太径鉄筋補正=補正無(鉄筋割合10%未満含む); 構造物種別による補正=補正無(一般構造物);	基 個 個 個 ｍ３ ｍ２ ｔ	1 1 1 1 1.238 4.95 0.087

見積参考資料

工事名	安来電線共同溝PFI事業（５工区）　（　当　初　）	工種区分	Ｃ・Ｃ・ＢＯＸ工事

工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単　位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参　考　事　項		
						名称	単位	数量
ﾌﾟﾚｷｬｽﾄﾎﾞｯｸｽ （夜間）	4.5ﾀｲﾌﾟ　L型 内幅 1.35/2.15m 内高 1.8m RC-40	個		1		沈下埋設工(W1350/2150×H1800×L4500) ●ハンドホール鉄蓋 鉄蓋 960×500用 T-25 二重施錠装置付 ●プレキャストボックス沈下埋設型 L型MH W1350/2150×H1800×L4500 ●プレキャストボックス沈下埋設型 調整ブロック 960×500用 H=250～ コンクリート 構造物種別=無筋･鉄筋構造物; 施工条件=打設量10m3/日未満かつ打設地上高さ2m以下; ｺﾝｸﾘｰﾄ規格=各種; 養生工の種類=一般養生; 現場内小運搬の有無=無し; 費用の内訳=全ての費用; 基礎砕石 砕石の厚さ=7.5cm超12.5cm以下; 砕石の種類=再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ 40～0; 費用の内訳=全ての費用; 鉄筋工［市場単価］ 鉄筋材料規格･径=SD345 D13; 規格･仕様区分=一般構造物; 施工規模=10t未満; 時間的制約を受ける場合の補正=無; 夜間作業補正=有; ﾄﾝﾈﾙ内作業の補正=無; 法面作業の補正=無; 太径鉄筋補正=補正無(鉄筋割合10%未満含む); 構造物種別による補正=補正無(一般構造物);	基 個 個 個 ｍ３ ｍ２ ｔ	1 1 1 1 2.5 10 0.157

見積参考資料

工事名	安来電線共同溝PFI事業（５工区）　（　当　初　）	工種区分	Ｃ・Ｃ・ＢＯＸ工事

工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単　位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参　考　事　項		
						名称	単位	数量
ﾌﾟﾚｷｬｽﾄﾎﾞｯｸｽ （夜間）	2.2ﾀｲﾌﾟ 路上変圧器用 内幅 1m 内高 1.5m RC-40	個		1		沈下埋設工(W1000×H1500×L2200) ●ハンドホール鉄蓋 鉄蓋 960×500用 T-25 二重施錠装置付 ●プレキャストボックス沈下埋設型 電力地上機器MH W1000×H1500×L2200 ●プレキャストボックス沈下埋設型 調整ブロック 960×500用 H=250～ コンクリート 構造物種別=無筋･鉄筋構造物; 施工条件=打設量10m3/日未満かつ打設地上高さ2m以下; ｺﾝｸﾘｰﾄ規格=各種; 養生工の種類=一般養生; 現場内小運搬の有無=無し; 費用の内訳=全ての費用; 基礎砕石 砕石の厚さ=7.5cm超12.5cm以下; 砕石の種類=再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ 40～0; 費用の内訳=全ての費用; 鉄筋工［市場単価］ 鉄筋材料規格･径=SD345 D13; 規格･仕様区分=一般構造物; 施工規模=10t未満; 時間的制約を受ける場合の補正=無; 夜間作業補正=有; ﾄﾝﾈﾙ内作業の補正=無; 法面作業の補正=無; 太径鉄筋補正=補正無(鉄筋割合10%未満含む); 構造物種別による補正=補正無(一般構造物);	基 個 個 個 ｍ３ ｍ２ ｔ	1 1 1 1 0.55 2.2 0.041

見積参考資料

工事名	安来電線共同溝PFI事業（５工区）　（　当　初　）	工種区分	Ｃ・Ｃ・ＢＯＸ工事

工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単　位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参　考　事　項		
						名称	単位	数量
ﾌﾟﾚｷｬｽﾄﾎﾞｯｸｽ 通信基点桝(夜間)	2.2ﾀｲﾌﾟ 内幅 0.95m 内高 1.5m RC-40	個		1		プレキャストボックスブロック設置 ﾎﾞｯｸｽﾌﾞﾛｯｸ1個当り質量=1000kg超～4000kg以下; ﾗﾌﾃﾚｰﾝｸﾚｰﾝ賃料補正係数=標準以外; ﾗﾌﾃﾚｰﾝｸﾚｰﾝ賃料補正係数(実数入力)=1.3 無; 蓋設置 蓋1組当り質量=200kg以下; ●ハンドホール鉄蓋 鉄蓋 960×500用 T-25 二重施錠装置付 コンクリート 構造物種別=無筋･鉄筋構造物; 施工条件=打設量10m3/日未満かつ打設地上高さ2m以下; ｺﾝｸﾘｰﾄ規格=各種; 養生工の種類=一般養生; 現場内小運搬の有無=無し; 費用の内訳=全ての費用; 基礎砕石 砕石の厚さ=7.5cm超12.5cm以下; 砕石の種類=再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ 40～0; 費用の内訳=全ての費用;	個 組 個 ｍ３ ｍ２	1 1 1 1.125 7.5
ﾌﾟﾚｷｬｽﾄﾎﾞｯｸｽ 分岐桝(夜間)	1.2ﾀｲﾌﾟ 内幅 0.6m 内高 0.8m RC-40	個		2		＜　1　個当り＞ プレキャストボックスブロック設置 ﾎﾞｯｸｽﾌﾞﾛｯｸ1個当り質量=1000kg以下; ﾗﾌﾃﾚｰﾝｸﾚｰﾝ賃料補正係数=標準以外; ﾗﾌﾃﾚｰﾝｸﾚｰﾝ賃料補正係数(実数入力)=1.3 無; モルタル練 ｾﾒﾝﾄ種類=高炉; 混合比=1:3; 費用の内訳=全ての費用; 基礎砕石 砕石の厚さ=7.5cm超12.5cm以下; 砕石の種類=再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ 40～0; 費用の内訳=全ての費用; プレキャストボックスブロック設置 ﾎﾞｯｸｽﾌﾞﾛｯｸ1個当り質量=1000kg以下; ﾗﾌﾃﾚｰﾝｸﾚｰﾝ賃料補正係数=標準以外; ﾗﾌﾃﾚｰﾝｸﾚｰﾝ賃料補正係数(実数入力)=1.3 無;	個 ｍ３ ｍ２ 個	1 0.035 1.398 1

見積参考資料

工事名	安来電線共同溝PFI事業（５工区）　（　当　初　）	工種区分	Ｃ・Ｃ・ＢＯＸ工事

工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単　位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参　考　事　項		
						名称	単位	数量
ﾌﾟﾚｷｬｽﾄﾎﾞｯｸｽ 分岐桝(夜間)	1.2ﾀｲﾌﾟ 内幅 0.6 m 内高 0.415m RC-40	個		5		＜　　1　　個当り＞ プレキャストボックスブロック設置 ﾎﾞｯｸｽﾌﾞﾛｯｸ1個当り質量=1000kg以下; ﾗﾌﾃﾚｰﾝｸﾚｰﾝ賃料補正係数=標準以外; ﾗﾌﾃﾚｰﾝｸﾚｰﾝ賃料補正係数(実数入力)=1.3 無; モルタル練 ｾﾒﾝﾄ種類=高炉; 混合比=1:3; 費用の内訳=全ての費用; 基礎砕石 砕石の厚さ=7.5cm超12.5cm以下; 砕石の種類=再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ 40～0; 費用の内訳=全ての費用; プレキャストボックスブロック設置 ﾎﾞｯｸｽﾌﾞﾛｯｸ1個当り質量=1000kg以下; ﾗﾌﾃﾚｰﾝｸﾚｰﾝ賃料補正係数=標準以外; ﾗﾌﾃﾚｰﾝｸﾚｰﾝ賃料補正係数(実数入力)=1.3 無;	個 ｍ３ ｍ２ 個	1 0.035 1.398 1

見積参考資料

工事名	安来電線共同溝PFI事業（５工区）　（　当　初　）	工種区分	Ｃ・Ｃ・ＢＯＸ工事

工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単　位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参　考　事　項		
						名称	単位	数量
ﾍﾞﾙﾏｳｽ		式		1		●ベルマウス(沈下埋設型) HIVPφ125 ●ベルマウス(沈下埋設型) HIVPφ100 電力用耐衝撃性硬質塩化ビニル管　受口付ベルマウス ＨＩＶＰφ１００（電共用） ●ベルマウス(沈下埋設型) PVφ75 通信用硬質塩化ビニル管　ダクトスリーブ　ＰＶφ７ ５（電共用） ●ベルマウス(沈下埋設型) PVφ50 通信用硬質塩化ビニル管　ダクトスリーブ　ＰＶφ５ ０（電共用） ●ベルマウス(沈下埋設型) VPφ250 ベルマウス VPφ250 ●ベルマウス(沈下埋設型) VPφ150 通信用硬質塩化ビニル管　ダクトスリーブ 呼び径１ ５０（電共用） ●ベルマウス(沈下埋設型) VPφ100 通信用硬質塩化ビニル管　ダクトスリーブ 呼び径１ ００（電共用）	個 個 個 個 個 個 個 個 個 個 個 個 個 個	23 25 30 29 6 31 7 3 2 3 2 5 14
情報ﾎﾞｯｸｽ工		式		1				
作業土工		式		1				
床掘り （夜間）		m3		90		＜　　1　　m3当り＞ 床掘り	 ｍ３	 1

見積参考資料

工事名	安来電線共同溝PFI事業（５工区） （ 当　初 ）	工種区分	Ｃ・Ｃ・ＢＯＸ工事

工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単　位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参　考　事　項		
						名称	単位	数量
残土処理 (夜間)	小規模 土砂(岩塊・玉石混り土含む)	m3		80		＜　1　m3当り＞ 土砂等運搬 土砂等発生現場=小規模; 積込機種･規格=ﾊﾞｯｸﾎｳ山積0.28m3(平積0.2m3); 土質=土砂(岩塊･玉石混り土含む); DID区間の有無=有り; 運搬距離(km)(DID区間有)=5.5km以下;	ｍ３	1
埋戻し (夜間)		m3		20		＜　1　m3当り＞ 埋戻し	ｍ３	1
埋戻し (夜間)		m3		20		＜　1　m3当り＞ 埋戻し 中埋材（材料費） 中埋材料=砂;	ｍ３ ｍ３	1 1
管路工(管路部)		式		1				
埋設管路 (夜間)	合成樹脂製 径 300mm	m		107		＜　1　m当り＞ 埋設部管路材設置 本体管の材質=合成樹脂製; さや管の材質=VU管類; 設置区分=本体管及びさや管設置; さや管の条数=10管;	m	1
埋設管路 (夜間)	鋼製 径 50mm	m		233		＜　1　m当り＞ 埋設部管路材設置 本体管の材質=鋼製; 設置区分=本体管設置;	m	1
埋設表示ｼｰﾄ (夜間)	W=300 2倍	m		107		＜　1　m当り＞ 埋設表示シート（材料費）	m	1
敷砂 (夜間)		m3		11		＜　1　m3当り＞ 埋戻し 中埋材（材料費） 中埋材料=砂;	ｍ３ ｍ３	1 1

見積参考資料

工事名	安来電線共同溝PFI事業（５工区）　（　当　初　）	工種区分	Ｃ・Ｃ・ＢＯＸ工事

工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単　位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参　考　事　項		
						名称	単位	数量
管路防護工		式		1				
防護ｺﾝｸﾘｰﾄ （夜間）		箇所		1		コンクリート 構造物種別=小型構造物；施工条件=打設地上高さ2m以下；ｺﾝｸﾘｰﾄ規格=各種；養生工の種類=一般養生；現場内小運搬の有無=無し；費用の内訳=全ての費用； 型枠 型枠の種類=一般型枠；構造物の種類=小型構造物； 基礎砕石 砕石の厚さ=7.5cm超12.5cm以下；砕石の種類=再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ 40～0；費用の内訳=全ての費用；	ｍ３ ｍ２ ｍ２	4 7.5 27
ﾊﾝﾄﾞﾎｰﾙ工		式		1				
ﾊﾝﾄﾞﾎｰﾙ （夜間）	B600×H1100×L600	箇所		4		＜　　1　　箇所当り＞ ハンドホール ｸﾚｰﾝ機種=ﾄﾗｯｸ(ｸﾚｰﾝ装置付)4t積･2.9t吊； モルタル練 ｾﾒﾝﾄ種類=高炉；混合比=1:3；費用の内訳=全ての費用； 基礎材 砕石の厚さ=12.5cmを超え17.5cm以下；砕石の種類=再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ 40～0；	個 ｍ３ ｍ２	1 0.019 0.81
道路改良 （上り線 5工区）		式		1				
道路土工		式		1				

見積参考資料

工事名	安来電線共同溝PFI事業（５工区）　（　当　初　）	工種区分	Ｃ・Ｃ・ＢＯＸ工事

工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単　位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参　考　事　項		
						名称	単位	数量
残土処理工		式		1				
土砂等運搬 (夜間)	土砂(岩塊･玉石混り土含む)	m3		40		＜　1　m3当り＞ 土砂等運搬 土砂等発生現場=標準; 積込機種･規格=ﾊﾞｯｸﾎｳ山積0.45m3(平積0.35m3); 土質=土砂(岩塊･玉石混り土含む); DID区間の有無=有り; 運搬距離(km)(DID区間有)=5.5km以下;	ｍ３	1
排水構造物工		式		1				
作業土工		式		1				
床掘り (夜間)	土砂	m3		10		＜　1　m3当り＞ 床掘り 土質区分=土砂; 施工方法=平均施工幅1m以上2m未満; 土留方式の種類=無し; 障害の有無=障害無し;	ｍ３	1
床掘り (夜間)	土砂	m3		80		＜　1　m3当り＞ 床掘り 土質区分=土砂; 施工方法=上記以外(小規模); 費用の内訳=全ての費用;	ｍ３	1
埋戻し (夜間)	土砂	m3		5		＜　1　m3当り＞ 埋戻し 施工方法=最大埋戻幅1m未満;	ｍ３	1
埋戻し (夜間)	土砂	m3		40		＜　1　m3当り＞ 埋戻し 施工方法=上記以外(小規模); 土質区分=土砂; 費用の内訳=全ての費用;	ｍ３	1

見積参考資料

工事名	安来電線共同溝PFI事業（５工区）　（　当　初　）	工種区分	Ｃ・Ｃ・ＢＯＸ工事

工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単　位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参　考　事　項		
						名称	単位	数量
基面整正 (夜間)		m2		4		＜　　1　　m2当り＞ 基面整正	ｍ２	1
側溝工		式		1				
縁石管渠A1 (夜間)	φ150	m		125		＜　　1　　m当り＞ 路側側溝設置(D150 L1000)	m	1
縁石管渠A2 (夜間)	φ150	m		15		＜　　1　　m当り＞ 路側側溝設置(D150 L1000)	m	1
縁石管渠B (夜間)	φ150	m		44		＜　　1　　m当り＞ 歩車道境界ブロック 作業区分=設置；ﾌﾞﾛｯｸ規格=各種(2000mm以下､50kg以上550kg未満)；基礎砕石の有無=有り；均し基礎ｺﾝｸﾘｰﾄ規格=不要；	m	1
縁石管渠C (夜間)	φ150	m		9		＜　　1　　m当り＞ 歩車道境界ブロック 作業区分=設置；ﾌﾞﾛｯｸ規格=各種(2000mm以下､50kg以上550kg未満)；基礎砕石の有無=有り；均し基礎ｺﾝｸﾘｰﾄ規格=不要；	m	1
縁石管渠D(L) (夜間)	φ150	m		4		＜　　1　　m当り＞ 歩車道境界ブロック 作業区分=設置；ﾌﾞﾛｯｸ規格=各種(2000mm以下､50kg以上550kg未満)；基礎砕石の有無=有り；均し基礎ｺﾝｸﾘｰﾄ規格=不要；	m	1
縁石管渠D(R) (夜間)	φ150	m		4		＜　　1　　m当り＞ 歩車道境界ブロック 作業区分=設置；ﾌﾞﾛｯｸ規格=各種(2000mm以下､50kg以上550kg未満)；基礎砕石の有無=有り；均し基礎ｺﾝｸﾘｰﾄ規格=不要；	m	1

見積参考資料

工事名	安来電線共同溝PFI事業（５工区） （ 当　初 ）	工種区分	Ｃ・Ｃ・ＢＯＸ工事

工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単　位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参　考　事　項		
						名称	単位	数量
縁石管渠桝A (夜間)	φ150	箇所		9		＜　1　箇所当り＞ プレキャスト集水桝 作業区分=据付; 製品質量(kg/基)=80kgを超え400kg以下; 基礎砕石の有無=有り; 費用の内訳=全ての費用; プレキャスト集水桝（材料費）	基 基	1 1
舗装工		式		1				
排水性舗装工 車道舗装(A)		式		1				
下層路盤(車道・路肩部) (夜間)	再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ RC-40 仕上り厚 200mm	m2		286		＜　1　m2当り＞ 下層路盤（車道・路肩部） 平均厚さ=175mmを超え200mm以下; 材料=再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ RC-40; 費用の内訳=全ての費用;	ｍ２	1
上層路盤(車道・路肩部) (夜間)	粒度調整砕石 M-40 仕上り厚 150mm	m2		286		＜　1　m2当り＞ 上層路盤（車道・路肩部） 材料=粒度調整砕石 M-40; 平均厚さ=125mmを超え150mm以下; 費用の内訳=全ての費用;	ｍ２	1
上層路盤(車道・路肩部) (夜間)	再生As安定処理(30) 仕上り厚 80mm	m2		286		＜　1　m2当り＞ 上層路盤（車道・路肩部） 材料=路盤材(各種); 平均厚さ=75mmを超え85mm以下; 平均幅員=1.4m以上; 瀝青材料種類=ﾌﾟﾗｲﾑｺｰﾄ PK-3; 費用の内訳=全ての費用;	ｍ２	1
基層(車道・路肩部) (夜間)	再生粗粒度Asﾎﾟﾘﾏｰ改質Ⅰ型(20) 舗装厚 50mm 1.4m以上	m2		286		＜　1　m2当り＞ 基層（車道・路肩部） 平均幅員=1.4m以上; 1層当り平均仕上り厚(70mm以下)(実数入力)=50 mm; 材料=各種(2.30以上2.40t/m3未満); 瀝青材料種類=ﾀｯｸｺｰﾄ(各種); 費用の内訳=全ての費用;	ｍ２	1

見積参考資料

工事名	安来電線共同溝PFI事業（５工区）　（　当　初　）	工種区分	Ｃ・Ｃ・ＢＯＸ工事

工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単　位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参　考　事　項		
						名称	単位	数量
排水性舗装・表層（車道・路肩部）　(夜間)	ﾎﾟｰﾗｽAs(13) 舗装厚 50ｍｍ 2.4m以上	m2		286		＜　　1　　m2当り＞ 排水性舗装・表層（車道・路肩部） 平均施工幅員=2.4m以上; 1層当り平均仕上り厚(65mm未満)(実数入力)=50 mm; 導水ﾊﾟｲﾌﾟの設置=無し; 材料=各種(2.00t/m3以上2.10t/m3未満); 瀝青材料の規格=ﾀｯｸｺｰﾄ PKR(ｺﾞﾑ入り);	ｍ２	1
透水性舗装工 歩道舗装(A)		式		1				
ﾌｨﾙﾀｰ層 (夜間)	砂(ｸｯｼｮﾝ用) 仕上り厚 50ｍｍ	m2		401		＜　　1　　m2当り＞ フィルター層 平均厚さ=40mm以上60mm未満;	ｍ２	1
下層路盤(歩道部) (夜間)	再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ RC-30 仕上り厚 100ｍｍ	m2		401		＜　　1　　m2当り＞ 下層路盤（歩道部） 平均厚さ=75mmを超え125mm以下; 材料=再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ RC-30; 費用の内訳=全ての費用;	ｍ２	1
表層 (夜間)	透水性As(13) 1.4m以上 舗装厚 40ｍｍ	m2		401		＜　　1　　m2当り＞ 透水性アスファルト舗装 平均幅員=1.4m以上; 1層当り平均仕上り厚(70mm以下)(実数入力)=40 mm; 材料=各種(2.00以上2.10t/m3未満);	ｍ２	1
透水性舗装工 歩道舗装(B)		式		1				
ﾌｨﾙﾀｰ層 (夜間)	砂(ｸｯｼｮﾝ用) 仕上り厚 50ｍｍ	m2		41		＜　　1　　m2当り＞ フィルター層 平均厚さ=40mm以上60mm未満;	ｍ２	1
下層路盤(歩道部) (夜間)	再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ RC-40 仕上り厚 150ｍｍ	m2		41		＜　　1　　m2当り＞ 下層路盤（歩道部） 平均厚さ=125mmを超え175mm以下; 材料=再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ RC-40; 費用の内訳=全ての費用;	ｍ２	1

見積参考資料

工事名	安来電線共同溝PFI事業（５工区）　（　当　初　）	工種区分	Ｃ・Ｃ・ＢＯＸ工事

工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単　位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参　考　事　項		
						名称	単位	数量
表層 (夜間)	透水性As　1.4m以上 舗装厚 50mm	m2		41		＜　1　m2当り＞ 透水性アスファルト舗装 平均幅員=1.4m以上; 1層当り平均仕上り厚(70mm以下)(実数入力)=50 mm; 材料=各種(2.00以上2.10t/m3未満);	ｍ２	1
道路付属施設工		式		1				
照明工		式		1				
照明柱基礎 2号(夜間)	抵抗板付鋼製基礎	基		1		抵抗板付鋼製杭基礎打込･引抜(施工回数3回以上) 夜間作業の有無=有り; 時間的制約の有無=無し; 抵抗板付鋼製杭基礎材料費 (H形鋼杭)	回 t	1 0.372
照明柱基礎 3号(夜間)	抵抗板付鋼製基礎	基		1		抵抗板付鋼製杭基礎打込･引抜(施工回数3回以上) 夜間作業の有無=有り; 時間的制約の有無=無し; 抵抗板付鋼製杭基礎材料費 (H形鋼杭)	回 t	1 0.641
照明柱基礎 4号(夜間)	抵抗板付鋼製基礎	基		1		抵抗板付鋼製杭基礎打込･引抜(施工回数3回以上) 夜間作業の有無=有り; 時間的制約の有無=無し; 抵抗板付鋼製杭基礎材料費 (H形鋼杭)	回 t	1 0.69
照明柱 R-20(夜間)		基		1		照明柱　建柱	基	1
照明柱 R-21(夜間)		基		1		照明柱　建柱	基	1
照明柱 R-22(夜間)		基		1		照明柱　建柱	基	1
構造物撤去工		式		1				

見積参考資料

工事名	安来電線共同溝PFI事業（５工区）　（　当　初　）	工種区分	Ｃ・Ｃ・ＢＯＸ工事

工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単　位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参　考　事　項		
						名称	単位	数量
構造物取壊し工		式		1				
舗装版破砕 （夜間）	ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版 15cm以下	m2		730		＜　　1　　m2当り＞ 舗装版破砕 舗装版種別=ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版；障害等の有無=無し；騒音振動対策=必要；舗装版厚=15cm以下；積込作業の有無=有り；費用の内訳=全ての費用；	ｍ２	1
運搬処理工		式		1				
殻運搬 （夜間）	ｱｽﾌｧﾙﾄ殻	m3		32		＜　　1　　m3当り＞ 殻運搬 殻発生作業=舗装版破砕；積込工法区分=機械積込(騒音対策不要､厚15cm超)又(騒音対策必要)；DID区間の有無=有り；運搬距離(km)(DID区間有)=60.0km以下；費用の内訳=全ての費用；	ｍ３	1
殻処分 （夜間）	ｱｽﾌｧﾙﾄ殻	m3		32		＜　　1　　m3当り＞ 処分費（ｍ３）	ｍ３	1
直接工事費		式		1				
共通仮設費		式		1				
共通仮設費		式		1				
運搬費		式		1				

見積参考資料

工事名	安来電線共同溝PFI事業（５工区）　（　当　初　）	工種区分	Ｃ・Ｃ・ＢＯＸ工事

工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単　位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参　考　事　項		
						名称	単位	数量
仮設材運搬費						＜　　1　　t当り＞		
						仮設材等(鋼矢板、H形鋼、覆工板、敷鉄板等)の運搬 運搬割増率=各種(実数入力)；運搬割増率(実数入力)=0 無；その他の諸料金の有無=無；	t	1
						仮設材等の積込み，取卸し費 作業区分=積込み,取卸し(片道分)；	t	1
		t		194.7				
準備費								
		式		1				
試掘						＜　　1　　箇所当り＞		
						床掘り 土質区分=土砂；施工方法=現場制約あり；	m３	3.285
						埋戻し 施工方法=現場制約あり；土質区分=土砂；締固めの有無=有り；	m３	3.06
						下層路盤（歩道部） 平均厚さ=75mmを超え125mm以下；材料=再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝRC-40；費用の内訳=全ての費用；	m２	2.25
						表層（歩道部） 平均幅員=1.4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下)；1層当り平均仕上り厚(50mm以下)(実数入力)=40 mm；材料=各種(2.20以上2.30t/m3未満)；瀝青材料種類=ﾌﾟﾗｲﾑｺｰﾄ PK-3；費用の内訳=全ての費用；	m２	2.25
		箇所		3				
技術管理費								
		式		1				
道路施設基本ﾃﾞｰﾀ作成費用						道路施設基本ﾃﾞｰﾀ作成費用	式	1
		式		1				
現場環境改善費（率計上）						市街地補正=市街地		
		式		1				

見積参考資料

工事名	安来電線共同溝PFI事業（５工区）　（　当　初　）	工種区分	Ｃ・Ｃ・ＢＯＸ工事

工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単　位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参　考　事　項		
						名称	単位	数量
共通仮設費（率計上）		式		1		施工地域補正=市街地（ＤＩＤ）（1）；除雪工補正=補正無；週休２日の補正=しない		
純工事費		式		1				
現場管理費		式		1		施工地域補正=市街地（ＤＩＤ）（1）；緊急工事補正=しない；砂防・地滑り工事補正=しない；週休２日の補正=しない		
工事原価		式		1				
一般管理費等		式		1				
工事価格		式		1				
消費税相当額		式		1				
工事費計		式		1		建設技能労働者や交通誘導員等の現場労働者にかかる経費として、労務費のほか各種経費（法定福利費の事業者負担額、労務管理費、安全訓練等に要する費用等）が必要であり、本積算ではこれらを現場管理費等の一部として率計上している。		

見積参考資料（管理費区分一覧表）

凡　例
管理費区分1　共通仮設費のみ非対象　　管理費区分2　工場管理費・一般管理費の対象 管理費区分5　一般管理費等対象　　管理費区分7　間接労務費対象労務費
管理費区分9　率計算の非対象　　管理費区分T　処分費等の対象にする

○：該当する管理費区分が含まれている

工事名	安来電線共同溝PFI事業（５工区）　（当　初）	事業区分	共同溝･電線共同溝
		工事区分	電線共同溝

細別名称	規格	単位	数量	管理費区分 1 管理費区分 T	管理費区分 2	管理費区分 5	管理費区分 7	管理費区分 9
殻処分 (夜間)	ｱｽﾌｧﾙﾄ殻	m3	46	○				
殻処分 (夜間)	ｱｽﾌｧﾙﾄ殻	m3	32	○				
道路施設基本ﾃﾞｰﾀ作成費用		式	1					○

見　積　参　考　資　料

工 事 名　　安来電線共同溝PFI事業（維持管理等）

この「見積参考資料」は入札参加者の適切かつ迅速な見積に資するための資料であり、契約書第１条にいう設計図書ではない。従って「見積参考資料」は請負契約上の拘束力を生じるものではなく、受注者は、施工条件、地質条件等を充分考慮して、仮設、施工方法、安全対策等、工事目的物を完成するための一切の手段について受注者の責任において定めるものとする。

なお、この「見積参考資料」の有効期間は、この工事の入札日までとする。

国土交通省　中国地方整備局
松江国道事務所　管理第二課

見積参考資料

工事名	安来電線共同溝PFI事業（維持管理等）　（　当　初　）	工種区分	道路維持工事

工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単　位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参　考　事　項		
						名称	単位	数量
道路維持		式		1				
応急処理工		式		1				
応急処理作業工		式		1				
労務費 （夜間）		人		28		土木一般世話役 特殊作業員 普通作業員	人 人 人	7 7 14
材料費		式		1		ハンドホール鉄蓋 首ブロック	個 個	14 14
機械費		式		1		バックホウ(山積0.28m3(平積0.20m3)) ダンプトラック(2t)	時間 時間	56 56
仮設工		式		1				
交通管理工		式		1				
交通誘導警備員		人日		14		＜　　1　人日当り＞ 交通誘導警備員Ａ 作業区分=夜間勤務(交替要員有り);	人日	1
交通誘導警備員		人日		14		＜　　1　人日当り＞ 交通誘導警備員Ｂ 作業区分=夜間勤務(交替要員有り);	人日	1

見積参考資料

工事名	安来電線共同溝PFI事業（維持管理等）　（　当　初　）	工種区分	道路維持工事

工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単　位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参　考　事　項		
						名称	単位	数量
直接工事費		式		1				
共通仮設費		式		1				
共通仮設費		式		1				
現場環境改善費（率計上）		式		1		市街地補正=市街地		
共通仮設費（率計上）		式		1		施工地域補正=市街地（ＤＩＤ）（１）；除雪工補正=補正無；週休２日の補正=しない		
純工事費		式		1				
現場管理費		式		1		施工地域補正=市街地（ＤＩＤ）（１）；緊急工事補正=しない；砂防・地滑り工事補正=しない；週休２日の補正=しない		
工事原価		式		1				
一般管理費等		式		1				
業務委託料（設計）		式		1				

見積参考資料

工事名	安来電線共同溝PFI事業（維持管理等）　（　当　初　）	工種区分	道路維持工事

工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単　位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参　考　事　項		
						名称	単位	数量
業務委託料（地質調査）		式		1				
工事価格		式		1				
消費税相当額		式		1				
工事費計		式		1		建設技能労働者や交通誘導員等の現場労働者にかかる経費として、労務費のほか各種経費（法定福利費の事業者負担額、労務管理費、安全訓練等に要する費用等）が必要であり、本積算ではこれらを現場管理費等の一部として率計上している。		

見積参考資料（管理費区分一覧表）＜データ無し＞

凡　例	
	○：該当する管理費区分が含まれている

工事名	安来電線共同溝PFI事業（維持管理等）　（当　初）	事業区分	
		工事区分	

細別名称	規格	単位	数量					

安来ＰＦＩ事業電線共同溝設計業務　見積参考資料

当資料は、見積の参考資料であり、契約図書とはならない。

工　　種	追　加　事　項	備　　考
電線共同溝修正設計	DID区間で見込んでいる。	
設計協議	打合せ協議は、１回当たりに要する時間（移動時間を含む）は、0.5日・人、編成人数は、２名程度を考えている。	
旅費交通費	1.現地踏査にかかる旅費交通費としてライトバン運転（1.5L）2h/日を1台･日見込んでいる。 2.打合せにかかる旅費交通費として松江市役所～松江国道事務所までのバス運賃（往復）を見込んでいる。 3.高速道路等の料金は見込んでいない。	
電子成果品作成費	電子成果品作成費は「詳細設計」で見込んでいる。	
公開用成果品の作成費	公開用成果品の作成費用として、１業務あたり技師Cを0.5人見込んでいる。 以下余白	

安来ＰＦＩ事業水文調査業務　見積参考資料

当資料は、見積の参考資料であり、契約図書とはならない。

工　　種	追　加　事　項	備　　考
設計協議	打合せ協議は、１回当たりに要する時間（移動時間を含む）は、0.5日・人、編成人数は、２名程度を考えている。	
旅費交通費	1.現地調査にかかる旅費交通費としてライトバン運転（1.5L）2h/日を53台･日見込んでいる。 2.打合せにかかる旅費交通費として松江市役所～松江国道事務所までのバス運賃（往復）を見込んでいる。 3.高速道路等の料金は見込んでいない。	
電子成果品作成費	電子成果品作成費は「その他の設計業務」で見込んでいる。	
公開用成果品の作成費	公開用成果品の作成費用として、１業務あたり技師Cを0.5人見込んでいる。 以下余白	

安来ＰＦＩ事業電線共同溝点検業務　見積参考資料

当資料は、見積の参考資料であり、契約図書とはならない。

工　　種	追　加　事　項	備　　考
設計協議	打合せ協議は、１回当たりに要する時間（移動時間を含む）は、0.5日・人、編成人数は、２名程度を考えている。	
旅費交通費	1.現地踏査にかかる旅費交通費としてライトバン運転（1.5L）2h/日を1台･日見込んでいる。 2.打合せにかかる旅費交通費として松江市役所～松江国道事務所までのバス運賃（往復）を見込んでいる。 3.高速道路等の料金は見込んでいない。	
電子成果品作成費	電子成果品作成費は「その他の設計業務」で見込んでいる。	
公開用成果品の作成費	公開用成果品の作成費用として、１業務あたり技師Cを0.5人見込んでいる。 以下余白	

【参考】平成２８年度安来電線共同溝事業における協議回数

１．設計に関する関係期間等協議
　工事発注に伴う関係機関への設計条件の再確認等　　１１件

２．工事に伴う協議
　①施工業者との工程等の調整会議　　１２件
　②施工方法の変更による関係機関協議　　２件

３．地元からの要望・苦情に対する協議　　２件

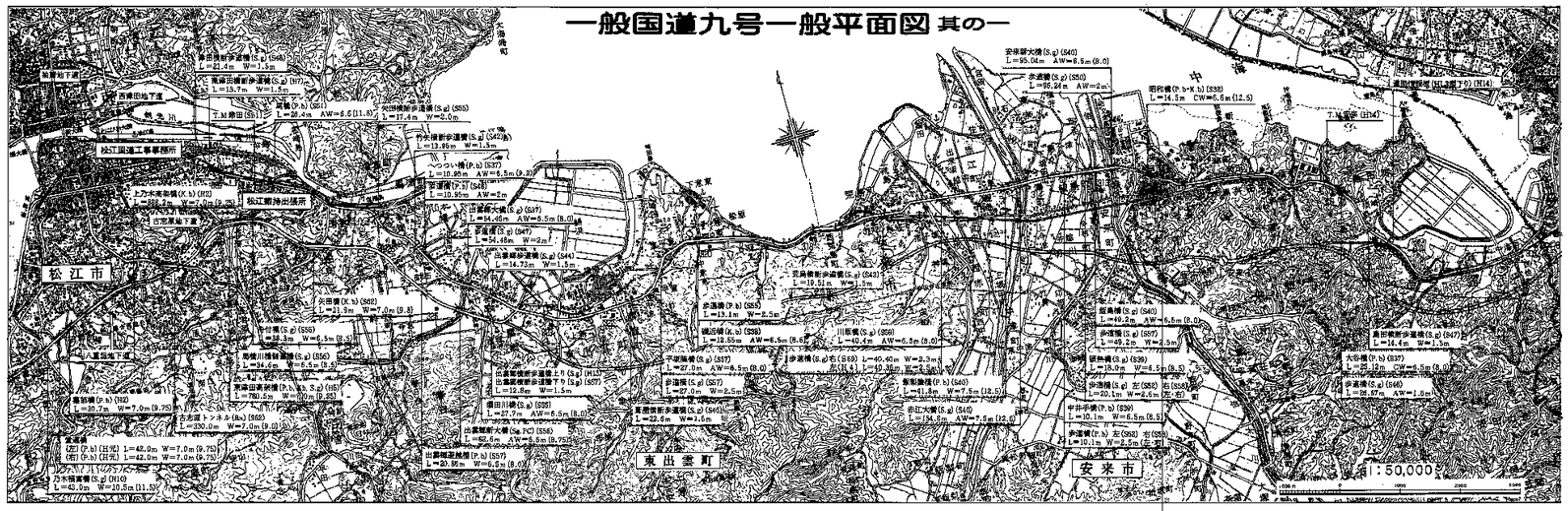
計　２７件

※ 電話対応のみは含まず。

見積参考図面（契約図）

位置図

S=1:50,000



安来電線共同溝PFI事業

工事名	安来電線共同溝PFI事業		
図面名	位置図		
作成年月日			
縮尺	1:50,000	図面番号	1 / 78
会社名			
事業者名	松江国道事務所		

平面図(1)

S=1:250

安来電線共同溝PFI事業　L=1146m

工事起点 311k474

車道舗装(A)

下層路盤(RC-40 t=200)	A= 342m2
上層路盤(M-40 t=150)	A= 346m2
上層路盤(再生As安定処理(30) t=80)	A= 346m2
基層(再生粗粒度Asポリマー改質Ⅰ型(20) t=50)	A= 346m2
表層(ポーラスAs(13) t=50)	A= 346m2

歩道舗装(A)

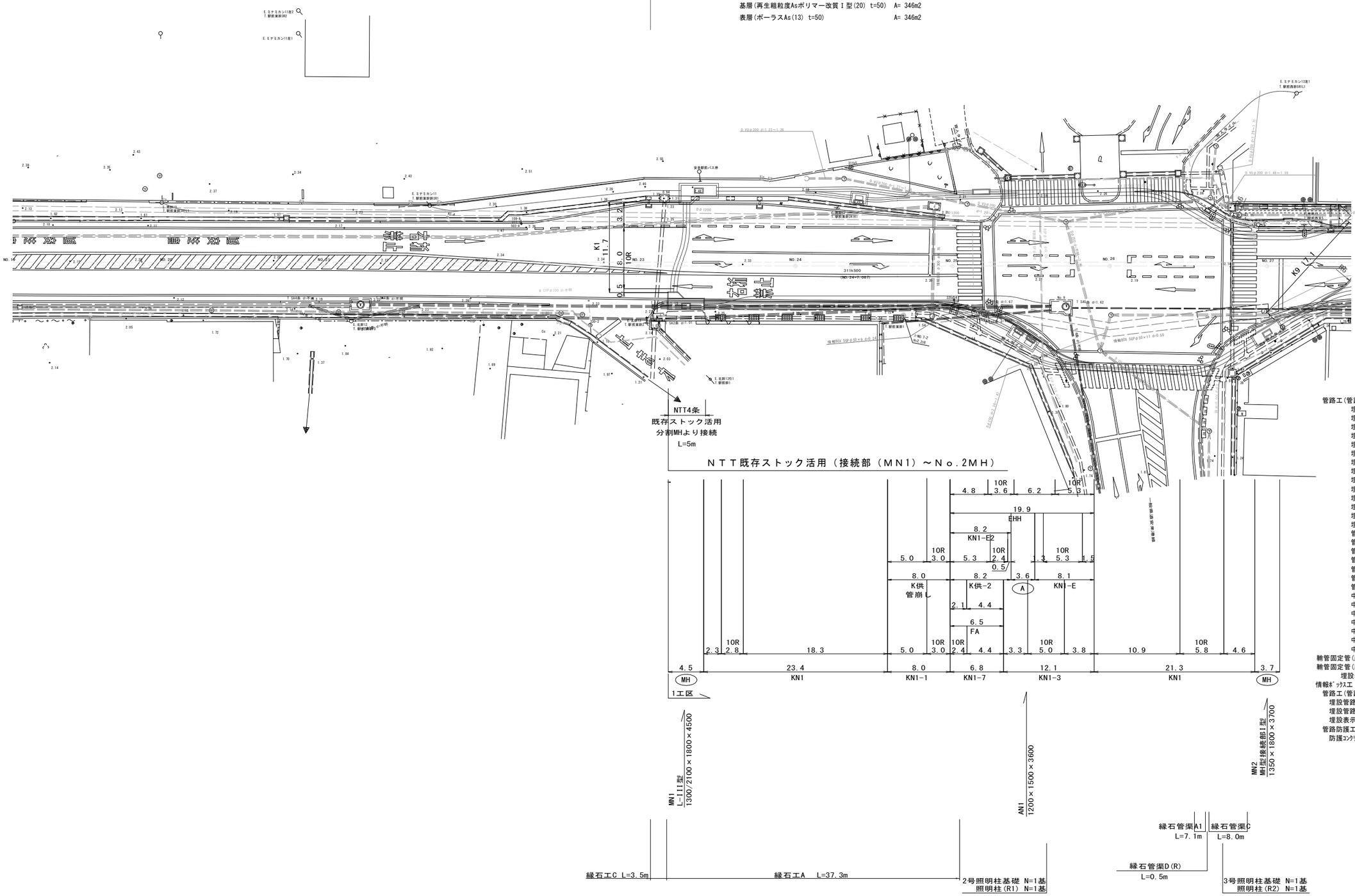
フィルター層(砂 t=50)	A= 444m2
路盤(RC-30 t=100)	A= 444m2
表層(透水性As(13) t=40)	A= 444m2

歩道舗装(B)

フィルター層(砂 t=50)	A= 78m2
路盤(RC-40 t=150)	A= 78m2
表層(透水性As(13) t=50)	A= 78m2

【既設占用物件】

上水	W	
汚水	D	
NTT	T	
エネルギアコミュニケーション	F	
情報BOX	J	
移設情報BOX	J	



管路工(管路部)

埋設管路	(HIVP管 直管 径 125mm	)	L= 496.2m
埋設管路	(HIVP管 直管 径 100mm	)	L= 488.1m
埋設管路	(PV管 直管 径 75mm	)	L= 539.8m
埋設管路	(PV管 直管 径 50mm	)	L= 148.7m
埋設管路	(VP管 直管 径 100mm	)	L= 120.8m
埋設管路	(VP管 直管 径 150mm	)	L= 125.8m
埋設管路	(VP管 直管 径 250mm	)	L= 115.6m
埋設管路	(HIVP管 曲管(R10) 径 125mm	)	L= 312.9m
埋設管路	(HIVP管 曲管(R10) 径 100mm	)	L= 350.5m
埋設管路	(PV管 曲管(R10) 径 75mm	)	L= 388.3m
埋設管路	(PV管 曲管(R10) 径 50mm	)	L= 133.2m
埋設管路	(VP管 曲管(R10) 径 100mm	)	L= 76.7m
埋設管路	(VP管 曲管(R10) 径 150mm	)	L= 69.4m
埋設管路	(VP管 曲管(R10) 径 250mm	)	L= 77.2m
管路管台	(HIVP管用 φ125-250P	)	N= 1,708個
管路管台	(HIVP管用 φ100-150P	)	N= 1,765個
管路管台	(PV管用 φ75-130P	)	N= 1,029個
管路管台	(PV管用 φ50-95P	)	N= 247個
管路管台	(VP管用 φ100-150P	)	N= 131個
管路管台	(VP管用 φ150-220P	)	N= 126個
管路管台	(VP管用 φ250-350P	)	N= 187個
中間継手	(HIVPφ125用	)	N= 16個
中間継手	(HIVPφ100用	)	N= 23個
中間継手	(PVφ75用	)	N= 26個
中間継手	(PVφ50用	)	N= 11個
中間継手	(VPφ100用	)	N= 7個
中間継手	(VPφ150用	)	N= 4個
中間継手	(VPφ250用	)	N= 4個
鞘管固定管(起点用)	(VP管 φ250用	)	N= 5個
鞘管固定管(終点用)	(VP管 φ250用	)	N= 4個
埋設表示ｼｰﾄ	(W=300 2倍	)	L= 710.8m

情報ﾎﾞｯｸｽ工

管路工(管路部)

埋設管路	(合成樹脂製 径 300mm	)	L= 130.8m
埋設管路	(鋼製 径 50mm	)	L= 100.0m
埋設表示ｼｰﾄ	(W=300 2倍	)	L= 130.8m

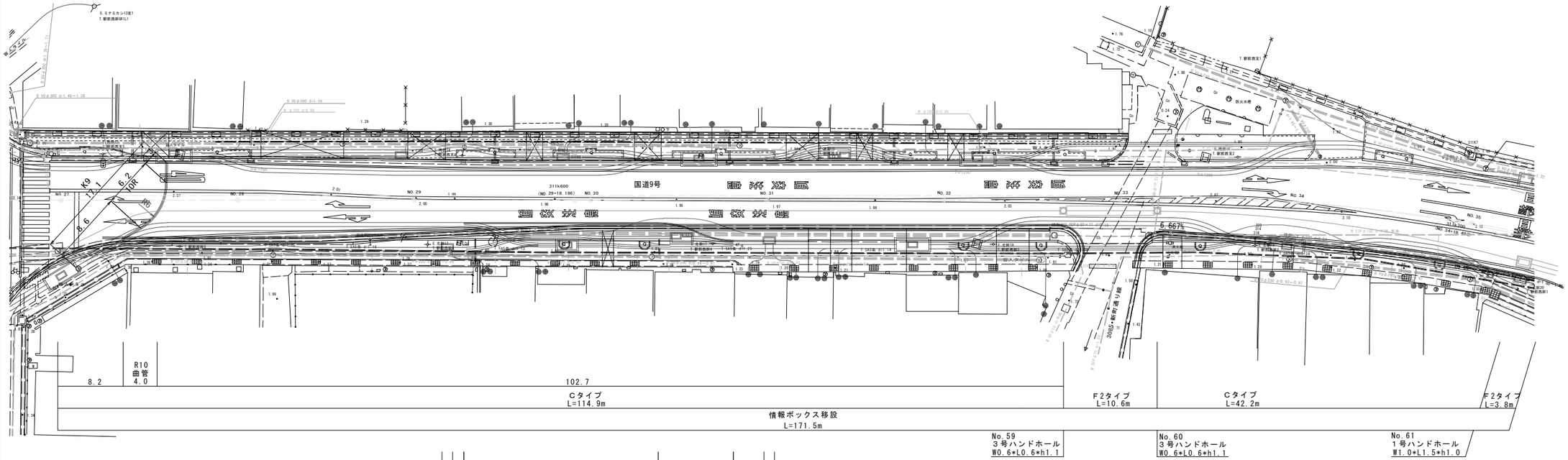
管路防護工

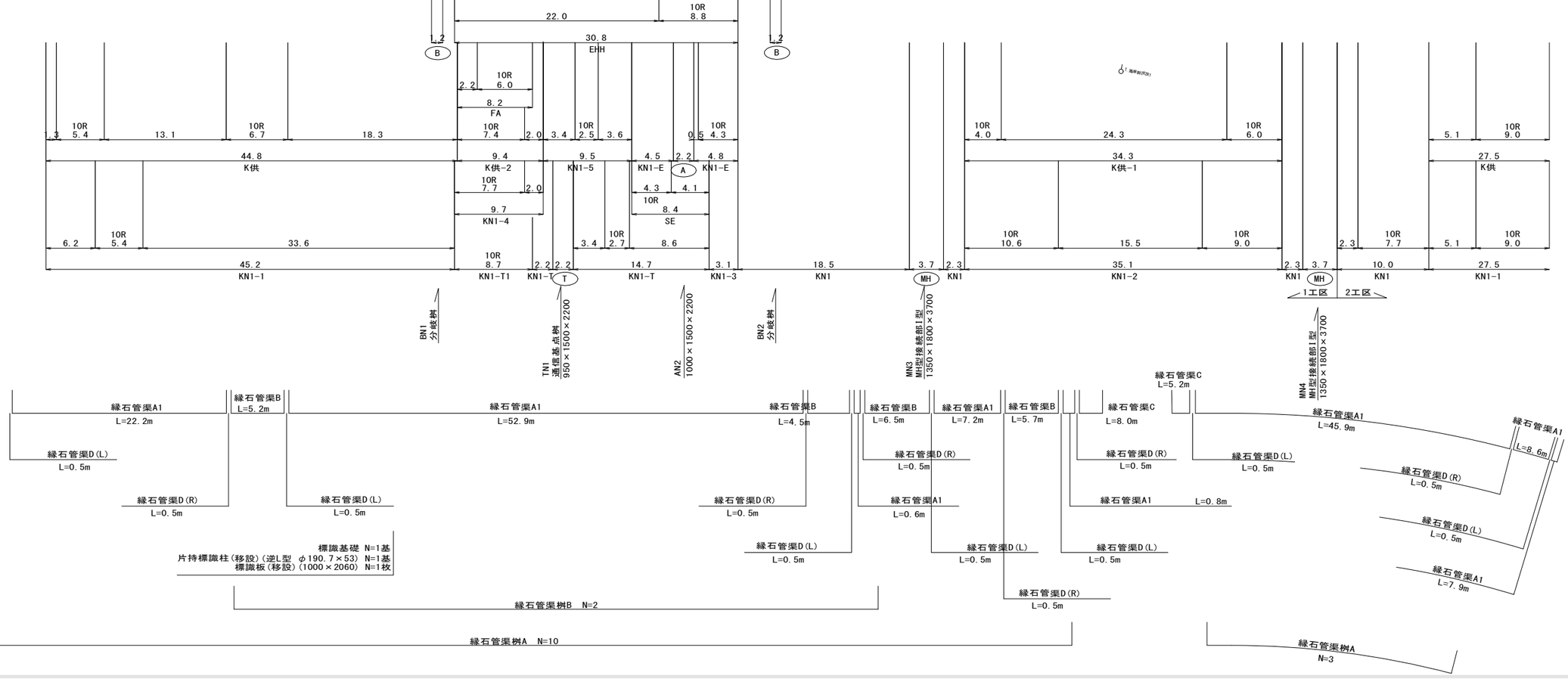
防護ｺﾝｸﾘｰﾄ	N=	1箇所

工事名	安来電線共同溝PFI事業		
図面名	平面図(1)		
作成年月日			
縮　尺	1：250	図面番号	2 / 78
会社名			
事業者名	松江国道事務所		

平面図(2)　S=1:250

安来電線共同溝PFI事業　L=1146m





【既設占用物件】

上水	W	
汚水	D	
NTT	T	
ｴﾈﾙｷﾞｱｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ	F	
情報BOX	J	

工事名	安来電線共同溝PFI事業		
図面名	平面図(2)		
作成年月日			
縮　尺	1：250	図面番号	3 / 78
会社名			
事業者名	松江国道事務所		

平面図(3)

S=1:250

安来電線共同溝PFI事業　L=1146m

車道舗装(A)

下層路盤(RC-40 t=200)	A= 377m2
上層路盤(M-40 t=150)	A= 377m2
上層路盤(再生As安定処理(30) t=80)	A= 377m2
基層(再生粗粒度Asポリマー改質Ⅰ型(20) t=50)	A= 377m2
表層(ポーラスAs(13) t=50)	A= 377m2

歩道舗装(A)

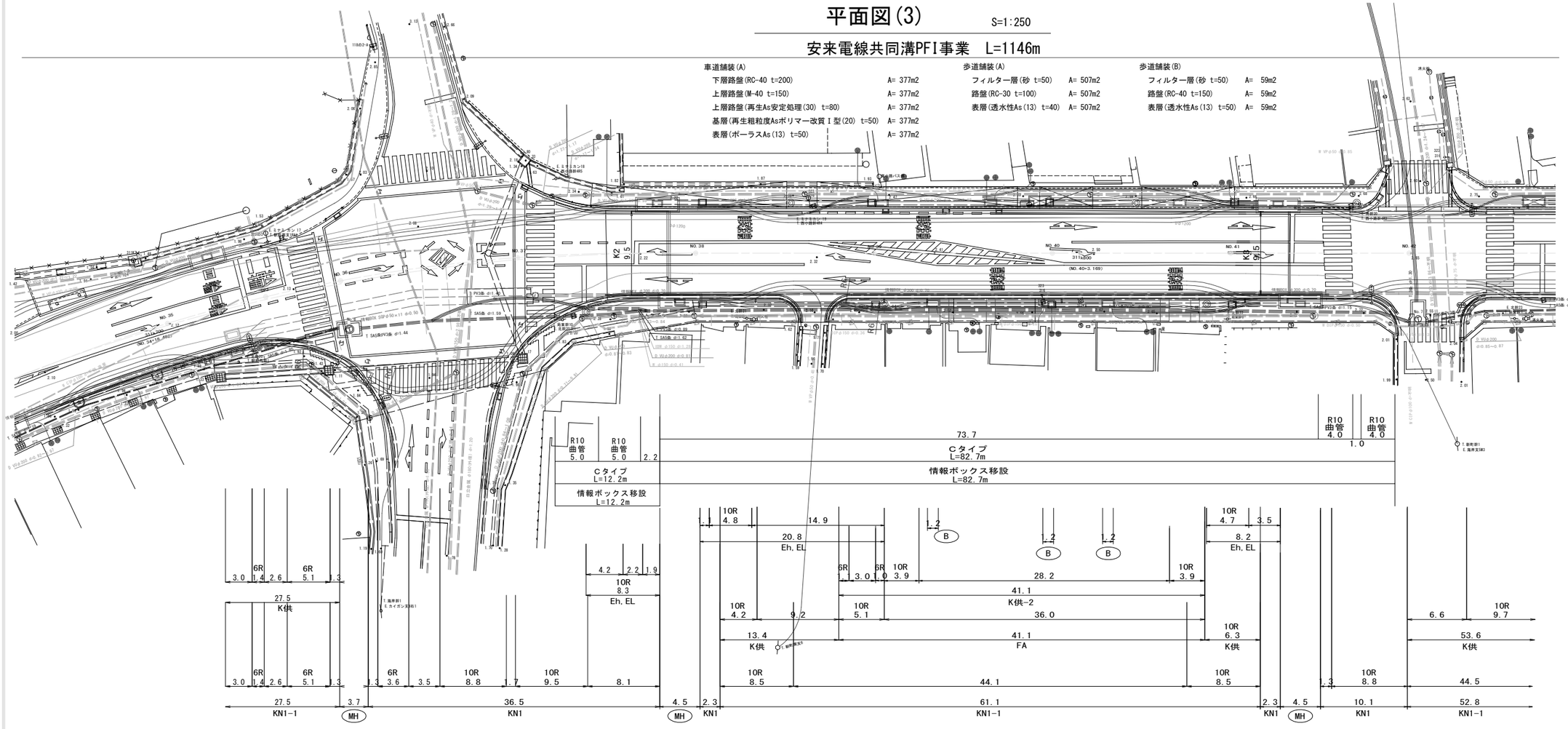
フィルター層(砂 t=50)	A= 507m2
路盤(RC-30 t=100)	A= 507m2
表層(透水性As(13) t=40)	A= 507m2

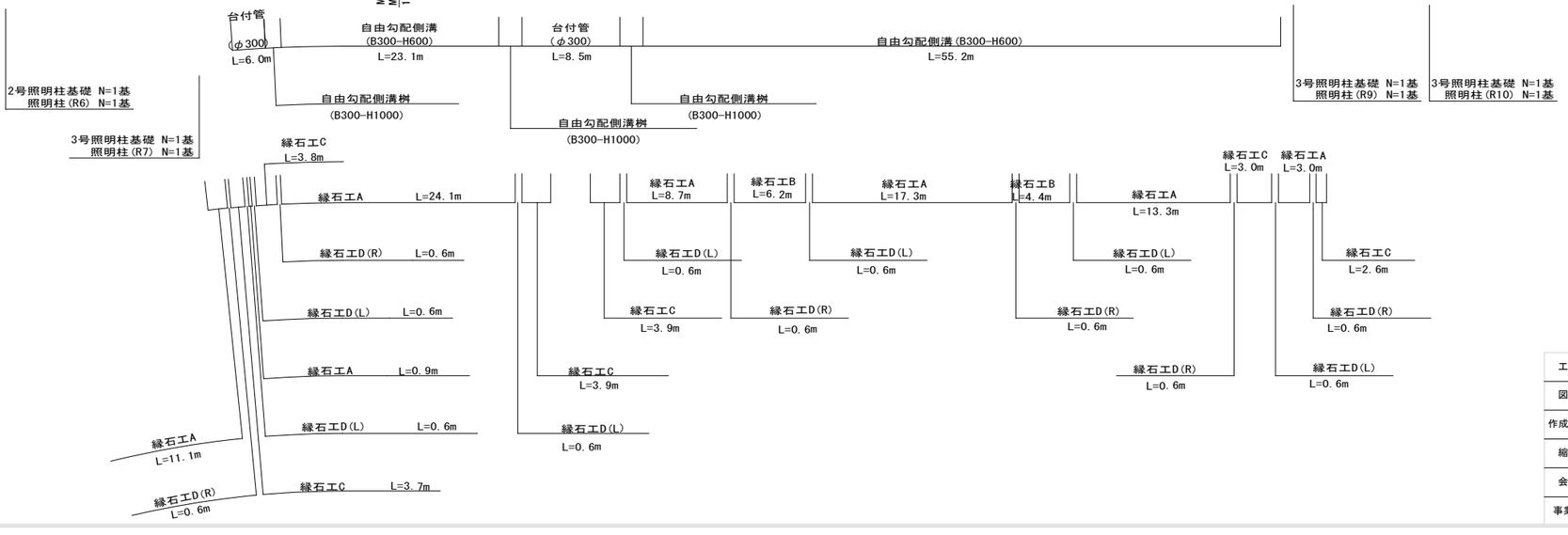
歩道舗装(B)

フィルター層(砂 t=50)	A= 59m2
路盤(RC-40 t=150)	A= 59m2
表層(透水性As(13) t=50)	A= 59m2

【既設占用物件】

上水	W	
汚水	D	
NTT	T	
ｴﾈﾙｷﾞｱｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ	F	
情報BOX	J	
移設情報BOX	J	





管路工(管路部)

埋設管路 (HIVP管 直管 径 125mm)	L=	360.8m
埋設管路 (HIVP管 直管 径 100mm)	L=	308.9m
埋設管路 (PV管 直管 径 75mm)	L=	436.8m
埋設管路 (PV管 直管 径 50mm)	L=	194.7m
埋設管路 (VP管 直管 径 100mm)	L=	60.8m
埋設管路 (VP管 直管 径 150mm)	L=	72.5m
埋設管路 (VP管 直管 径 250mm)	L=	84.3m
埋設管路 (HIVP管 曲管(R10) 径 125mm)	L=	418.4m
埋設管路 (HIVP管 曲管(R10) 径 100mm)	L=	433.6m
埋設管路 (PV管 曲管(R10) 径 75mm)	L=	418.4m
埋設管路 (PV管 曲管(R10) 径 50mm)	L=	104.6m
埋設管路 (VP管 曲管(R10) 径 100mm)	L=	105.3m
埋設管路 (VP管 曲管(R10) 径 150mm)	L=	116.4m
埋設管路 (VP管 曲管(R10) 径 250mm)	L=	104.6m
埋設管路 (HIVP管 曲管(R6) 径 125mm)	L=	40.4m
埋設管路 (HIVP管 曲管(R6) 径 100mm)	L=	71.9m
埋設管路 (PV管 曲管(R6) 径 75mm)	L=	40.4m
埋設管路 (PV管 曲管(R6) 径 50mm)	L=	10.1m
埋設管路 (VP管 曲管(R6) 径 100mm)	L=	33.1m
埋設管路 (VP管 曲管(R6) 径 150mm)	L=	16.5m
埋設管路 (VP管 曲管(R6) 径 250mm)	L=	10.1m
管路管台 (HIVP管用 φ125-250P)	N=	1,919個
管路管台 (HIVP管用 φ100-150P)	N=	1,962個
管路管台 (PV管用 φ75-130P)	N=	1,106個
管路管台 (PV管用 φ50-95P)	N=	210個
管路管台 (VP管用 φ100-150P)	N=	165個
管路管台 (VP管用 φ150-220P)	N=	165個
管路管台 (VP管用 φ250-350P)	N=	204個
中間継手 (HIVPφ125用)	N=	16個
中間継手 (HIVPφ100用)	N=	21個
中間継手 (PVφ75用)	N=	24個
中間継手 (PVφ50用)	N=	15個
中間継手 (VPφ100用)	N=	9個
中間継手 (VPφ150用)	N=	4個
中間継手 (VPφ250用)	N=	2個
耨管固定管(起点用) (VP管 φ250用)	N=	3個
耨管固定管(終点用) (VP管 φ250用)	N=	2個
埋設表示ｼｰﾄ (W=300 2倍)	L=	742.5m

情報ﾎﾞｯｸｽ工

管路工(管路部)

埋設管路 (合成樹脂製 径 300mm)	L=	163.5m
埋設管路 (鋼製 径 50mm)	L=	31.0m
埋設表示ｼｰﾄ (W=300 2倍)	L=	163.5m

管路防護工

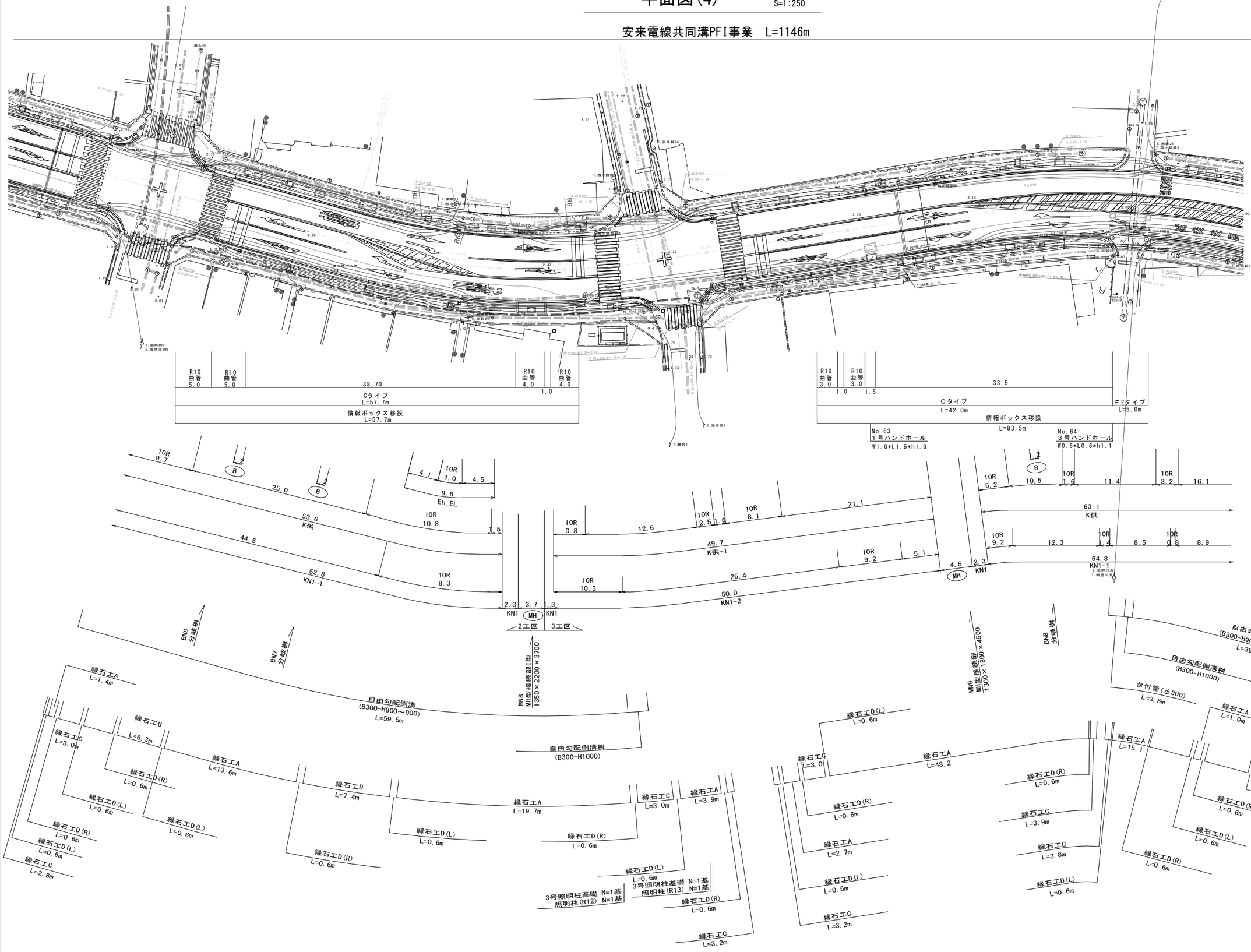
防護ｺﾝｸﾘｰﾄ	N=	1箇所

工事名	安来電線共同溝PFI事業		
図面名	平面図(3)		
作成年月日			
縮　尺	1：250	図面番号	4 / 78
会社名			
事業者名	松江国道事務所		

平面図(4)

S=1:250

安来電線共同溝PFI事業　L=1146m



【既設占用物件】

上水	W	
汚水	D	
NTT	T	
エネルギアコミュニケーション	F	
情報BOX	J	
移設情報BOX	J	

工事名	安来電線共同溝PFI事業		
図面名	平面図(4)		
作成年月日			
縮　尺	1：250	図面番号	5 / 78
会社名			
事業者名	松江国道事務所		

平面図(5)

S=1:250

安来電線共同溝PFI事業　L=1146m

車道舗装(A)

下層路盤(RC-40 t=200)	A= 269m2
上層路盤(M-40 t=150)	A= 269m2
上層路盤(再生As安定処理(30) t=80)	A= 269m2
基層(再生粗粒度Asポリマー改質Ⅰ型(20) t=50)	A= 269m2
表層(ポーラスAs(13) t=50)	A= 269m2

歩道舗装(A)

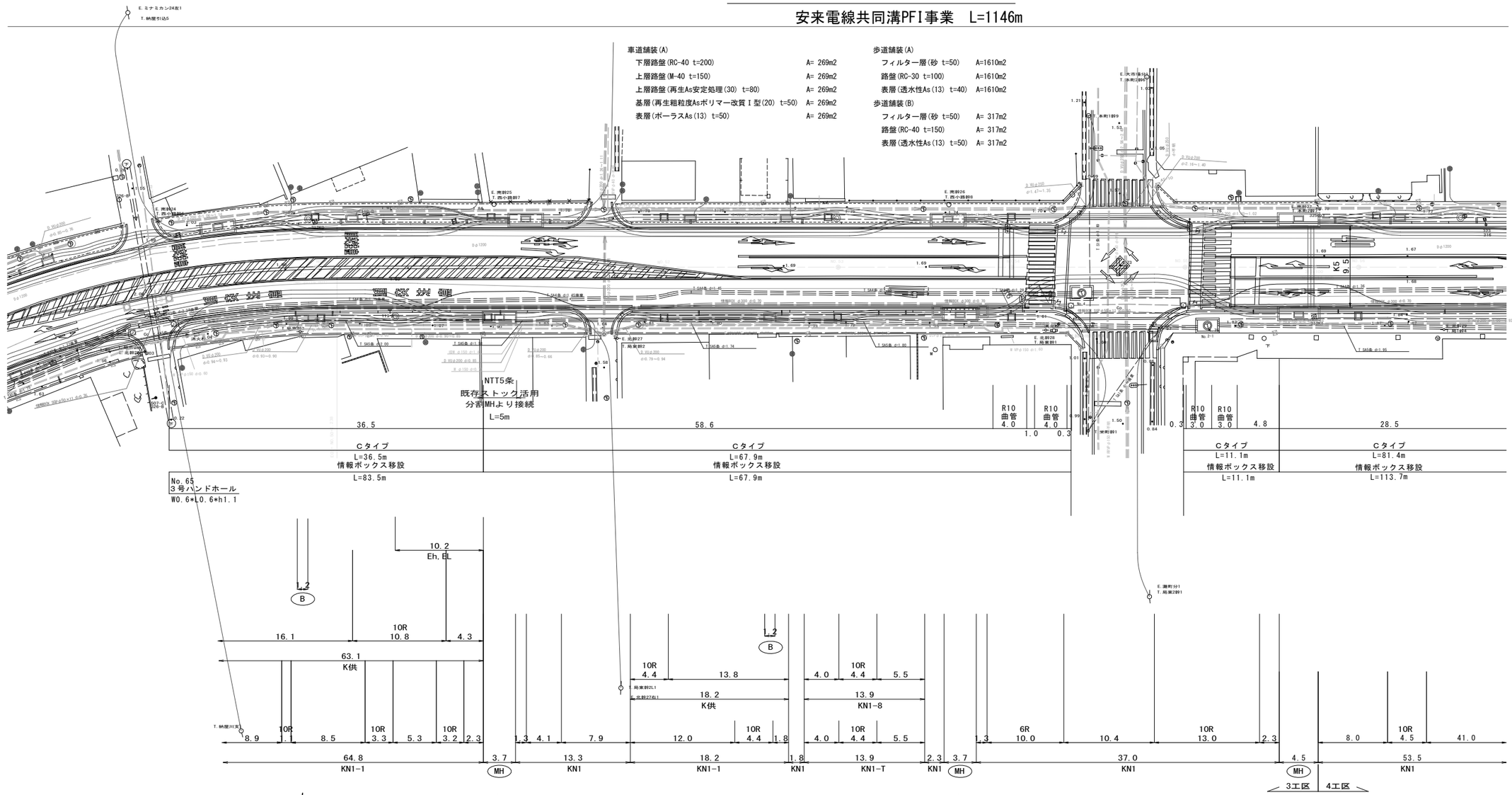
フィルター層(砂 t=50)	A=1610m2
路盤(RC-30 t=100)	A=1610m2
表層(透水性As(13) t=40)	A=1610m2

歩道舗装(B)

フィルター層(砂 t=50)	A= 317m2
路盤(RC-40 t=150)	A= 317m2
表層(透水性As(13) t=50)	A= 317m2

【既設占用物件】

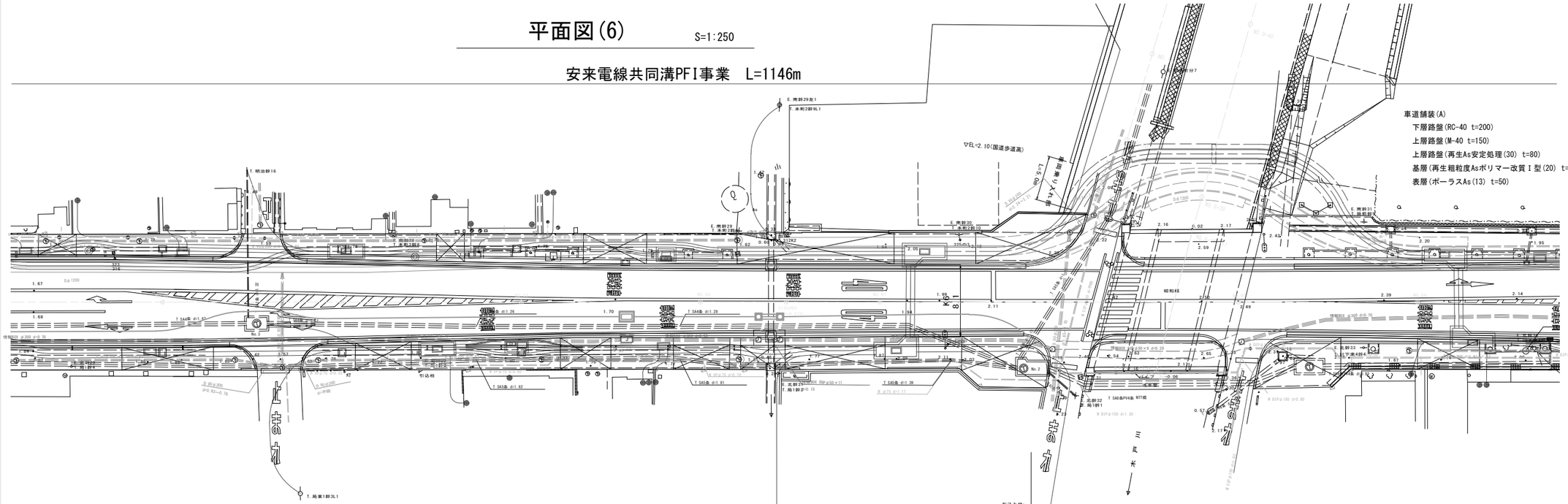
上水	W	
汚水	D	
NTT	T	
ｴﾈﾙｷﾞｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ	F	
情報BOX	J	
移設情報BOX	J	



平面図(6)

S=1:250

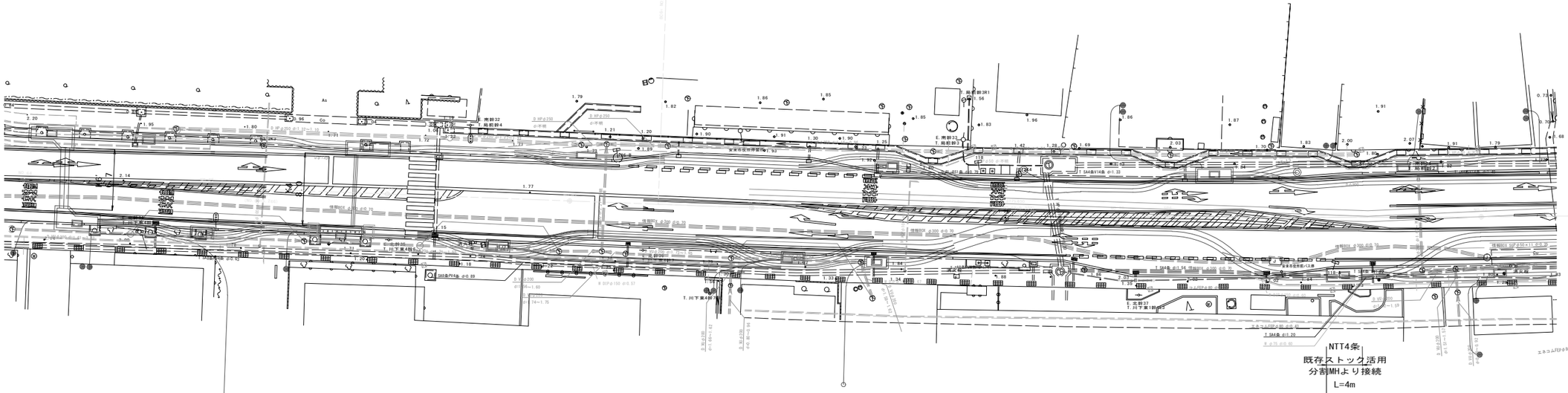
安来電線共同溝PFI事業　L=1146m



平面図(7)

S=1:250

安来電線共同溝PFI事業　L=1146m



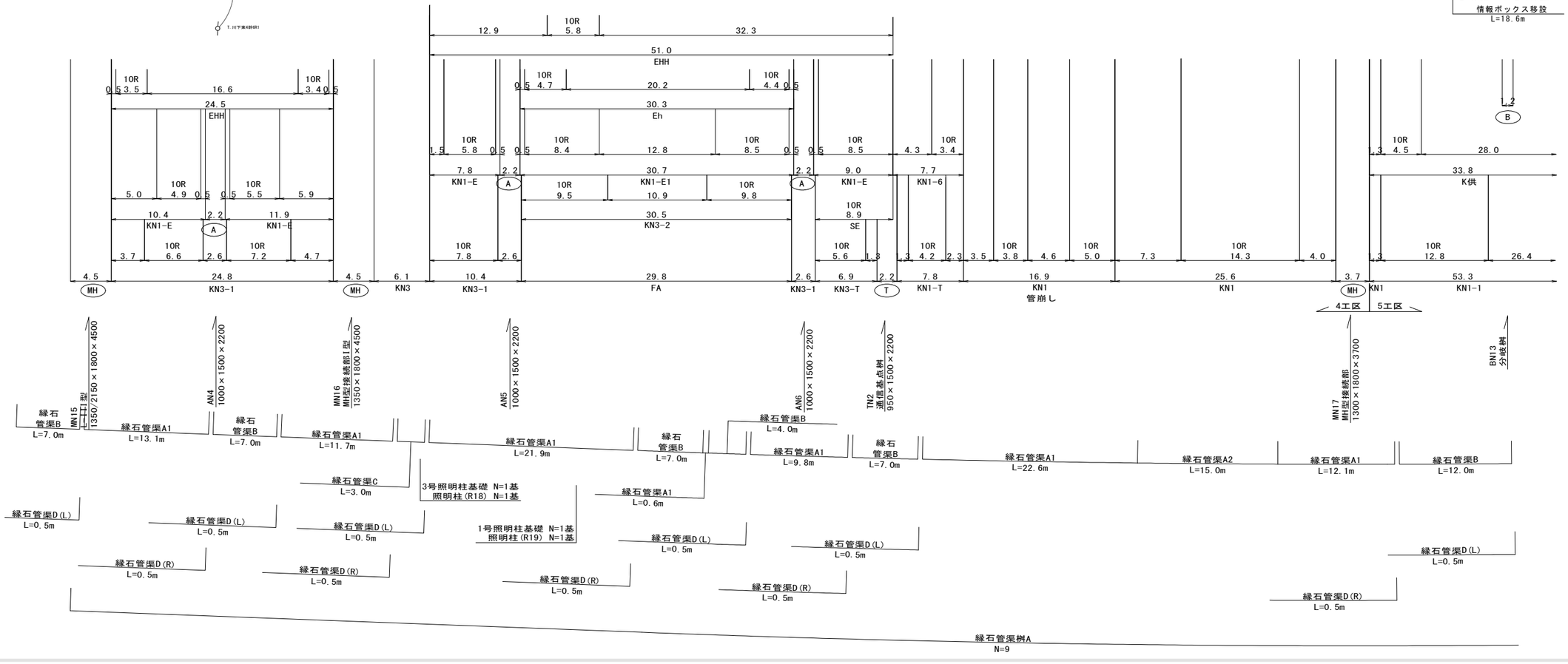
【既設占用物件】

上水	W	
汚水	D	
NTT	T	
エネルギアコミュニケーション	F	
情報BOX	J	
移設情報BOX	J	

NTT4条
既存ストック活用
分割MHより接続
L=4m

ＮＴＴ既存ストック活用（接続部（ＭＮ17）～局西幹No.1ＭＨ）

Cタイプ L=4.6m
F2タイプ L=11.2m
情報ボックス移設
L=18.6m



工事名	安来電線共同溝PFI事業		
図面名	平面図(7)		
作成年月日			
縮　尺	1：250	図面番号	8 / 78
会社名			
事業者名	松江国道事務所		

平面図(8)

S=1:250

安来電線共同溝PFI事業　L=1146m

車道舗装(A)

下層路盤(RC-40 t=200)	A= 286m2
上層路盤(M-40 t=150)	A= 286m2
上層路盤(再生As安定処理(30) t=80)	A= 286m2
基層(再生粗粒度Asポリマー改質Ⅰ型(20) t=50)	A= 286m2
表層(ポーラスAs(13) t=50)	A= 286m2

歩道舗装(A)

フィルター層(砂 t=50)	A= 401m2
路盤(RC-30 t=100)	A= 401m2
表層(透水性As(13) t=40)	A= 401m2

歩道舗装(B)

フィルター層(砂 t=50)	A= 41m2
路盤(RC-40 t=150)	A= 41m2
表層(透水性As(13) t=50)	A= 41m2

【既設占用物件】

上水	W	
汚水	D	
NTT	T	
ｴﾈﾙｷﾞｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ	F	
情報BOX	J	
移設情報BOX	J	

NTT既存ストック活用（接続部（MN17）～局西幹No.1MH）

Cタイプ L=4.6m / F2タイプ L=11.2m / Cタイプ L=2.8m / 情報ボックス移設 L=18.6m

No.74 3号ハンドホール W0.6*L0.6*h1.1

No.75 3号ハンドホール W0.6*L0.6*h1.1

R10 曲管 5.0 / R10 曲管 5.0 / 5.0 / 75.0

Cタイプ L=15.0m / F2タイプ L=13.3m / Cタイプ L=86.0m / 情報ボックス移設 L=114.3m

No.76 3号ハンドホール W0.6*L0.6*h1.1

No.77 3号ハンドホール W0.6*L0.6*h1.1

5.4 / 10R 4.8 / 10.2 SE

28.0 / 33.8 K供 / 26.4 / 53.3 KN1-1

10R 6.3 / 5.1 / 6R 4.5 / 1.8 / 17.7 K供-2 / 10R 2.7 / 9.3 / 6R 4.5 / 0.5 / 17.0 FA / 10R 7.5 / 5.3

6R 10.3 / 6R 3.2 / 3.0 / 1.4 / 45.2 / 10R 3.2 / 5.0 / 10R 6.6 / 17.5 / 0.5 / 10R 5.3

96.7 K供-2

2.2 / 5.8 KN2-E

10R 11.3 / 11.3 / 11.1 KN2-3 / KN2-2 10R 12.2 / 2.2 / 2.6 / 10R 2.4

6R 11.7 / 2.6 / 6R 6.5 / 21.0 / 10R 7.4 / 23.0

73.5 KN2-1 / 14.4 KN1-T / 2.2 / 5.0 KN1-T / 8.9 KN1-3

MH / T / A / B

BN14 分岐桝

4号照明柱基礎 N=1基 照明柱(R20) N=1基

MN18 組型接続部1型 1350×1800×3700

3号照明柱基礎 N=1基 照明柱(R22) N=1基

2号照明柱基礎 N=1基 照明柱(R21) N=1基

BN15 分岐桝 H-800

BN16 分岐桝 H-800

BN17 分岐桝

TN3 濃度基点桝 950×1500×2200

BN18 分岐桝

AN7 1000×1500×2200

緑石管渠A1 L=18.4m / 緑石管渠C L=3.0m / 緑石管渠D(L) L=0.5m / 緑石管渠D(R) L=0.5m

緑石管渠A1 L=14.7m / 緑石管渠C L=3.4m / 緑石管渠D(L) L=0.5m / 緑石管渠D(R) L=0.5m

緑石工A L=4.6m / 緑石工C L=3.4m / 緑石工D(R) L=0.6m / 緑石工D(L) L=0.6m

緑石工A L=1.6m / 緑石工C L=3.6m / 緑石工D(L) L=0.6m / 緑石工D(R) L=0.6m

緑石工A L=33.0m

緑石工C L=3.7m / 緑石工D(R) L=0.6m

緑石工A L=0.6m / 緑石工C L=4.9m

緑石管渠B L=7.0m / 緑石管渠A1 L=11.9m / 緑石管渠D(L) L=0.5m / 緑石管渠D(R) L=0.5m

緑石管渠C L=6.4m / 緑石管渠A1 L=17.8m / 緑石管渠D(L) L=0.5m / 緑石管渠D(R) L=0.5m

緑石管渠D(R) L=0.5m

緑石管渠桝A N=3

管路工(管路部)

埋設管路	(HIVP管 直管 径 125mm)	L=	376.4m
埋設管路	(HIVP管 直管 径 100mm)	L=	479.0m
埋設管路	(PV管 直管 径 75mm)	L=	521.6m
埋設管路	(PV管 直管 径 50mm)	L=	205.5m
埋設管路	(VP管 直管 径 100mm)	L=	94.8m
埋設管路	(VP管 直管 径 150mm)	L=	93.5m
埋設管路	(VP管 直管 径 250mm)	L=	125.1m
埋設管路	(HIVP管 曲管(R10) 径 125mm)	L=	238.0m
埋設管路	(HIVP管 曲管(R10) 径 100mm)	L=	334.8m
埋設管路	(PV管 曲管(R10) 径 75mm)	L=	357.2m
埋設管路	(PV管 曲管(R10) 径 50mm)	L=	158.3m
埋設管路	(VP管 曲管(R10) 径 100mm)	L=	62.2m
埋設管路	(VP管 曲管(R10) 径 150mm)	L=	79.5m
埋設管路	(VP管 曲管(R10) 径 250mm)	L=	75.0m
埋設管路	(HIVP管 曲管(R6) 径 125mm)	L=	36.4m
埋設管路	(HIVP管 曲管(R6) 径 100mm)	L=	89.2m
埋設管路	(PV管 曲管(R6) 径 75mm)	L=	54.6m
埋設管路	(PV管 曲管(R6) 径 50mm)	L=	18.2m
埋設管路	(VP管 曲管(R6) 径 100mm)	L=	33.4m
埋設管路	(VP管 曲管(R6) 径 150mm)	L=	22.7m
埋設管路	(VP管 曲管(R6) 径 250mm)	L=	18.2m
管路管台	(HIVP管用 φ125-250P)	N=	1,428個
管路管台	(HIVP管用 φ100-150P)	N=	1,737個
管路管台	(PV管用 φ75-130P)	N=	1,168個
管路管台	(PV管用 φ50-95P)	N=	316個
管路管台	(VP管用 φ100-150P)	N=	138個
管路管台	(VP管用 φ150-220P)	N=	146個
管路管台	(VP管用 φ250-350P)	N=	251個
中間継手	(HIVPφ125用)	N=	8個
中間継手	(HIVPφ100用)	N=	16個
中間継手	(PVφ75用)	N=	10個
中間継手	(PVφ50用)	N=	3個
中間継手	(VPφ100用)	N=	7個
中間継手	(VPφ150用)	N=	4個
中間継手	(VPφ250用)	N=	2個
鞘管固定管(起点用VP管 φ250用)		N=	2個
鞘管固定管(終点用VP管 φ250用)		N=	2個
埋設表示ｼｰﾄ	(W=300 2倍)	L=	678.9m

情報ﾎﾞｯｸｽ工

管路工(管路部)

埋設管路	(合成樹脂製 径 300mm)	L=	107.2m
埋設管路	(鋼製 径 50mm)	L=	233.0m
埋設表示ｼｰﾄ	(W=300 2倍)	L=	107.2m

管路防護工

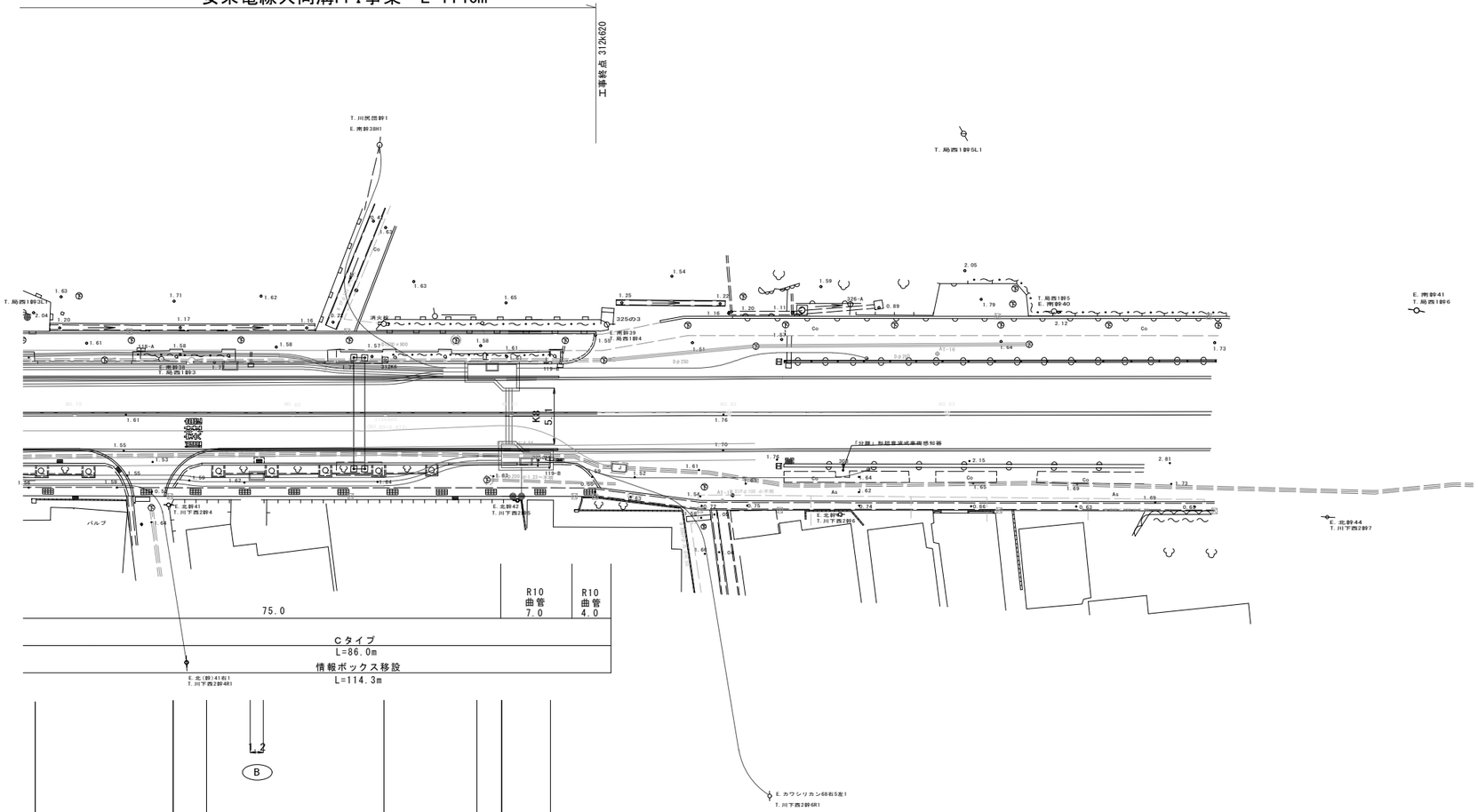
防護ｺﾝｸﾘｰﾄ	N=	1箇所

工事名	安来電線共同溝PFI事業		
図面名	平面図(8)		
作成年月日			
縮　尺	1：250	図面番号	9 / 78
会社名			
事業者名	松江国道事務所		

平面図(9)

S=1:250

安来電線共同溝PFI事業　L=1146m



【既設占用物件】

上水	W	
汚水	D	
NTT	T	
エネルギアコミュニケーション	F	
情報BOX	J	
移設情報BOX	J	

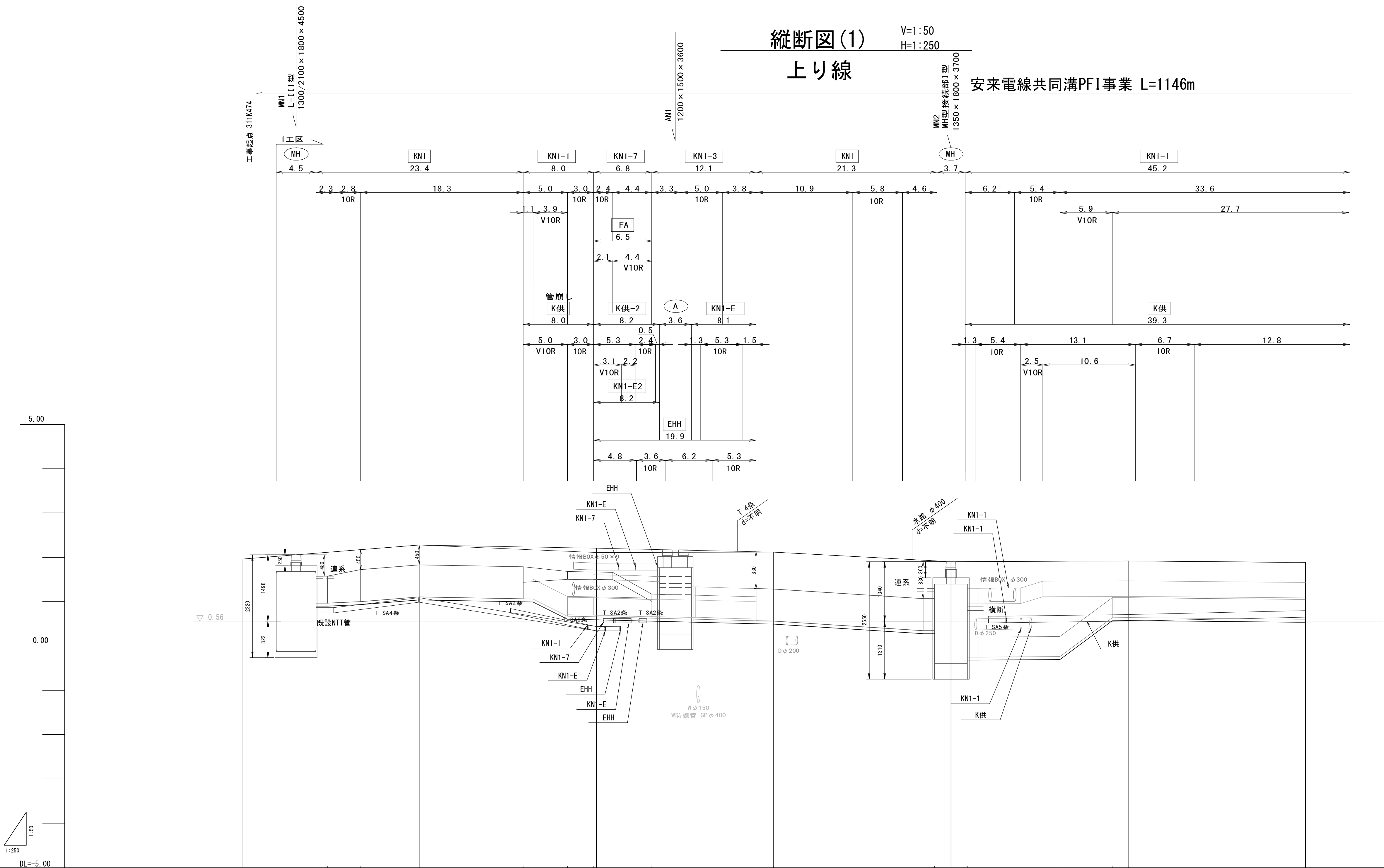
工事名	安来電線共同溝PFI事業		
図面名	平面図(9)		
作成年月日			
縮　尺	1：250	図面番号	10 / 78
会社名			
事業者名	松江国道事務所		

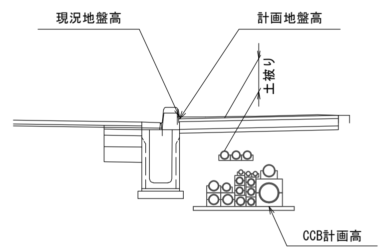
縦断図(1)

V=1:50
H=1:250

上り線

安来電線共同溝PFI事業 L=1146m

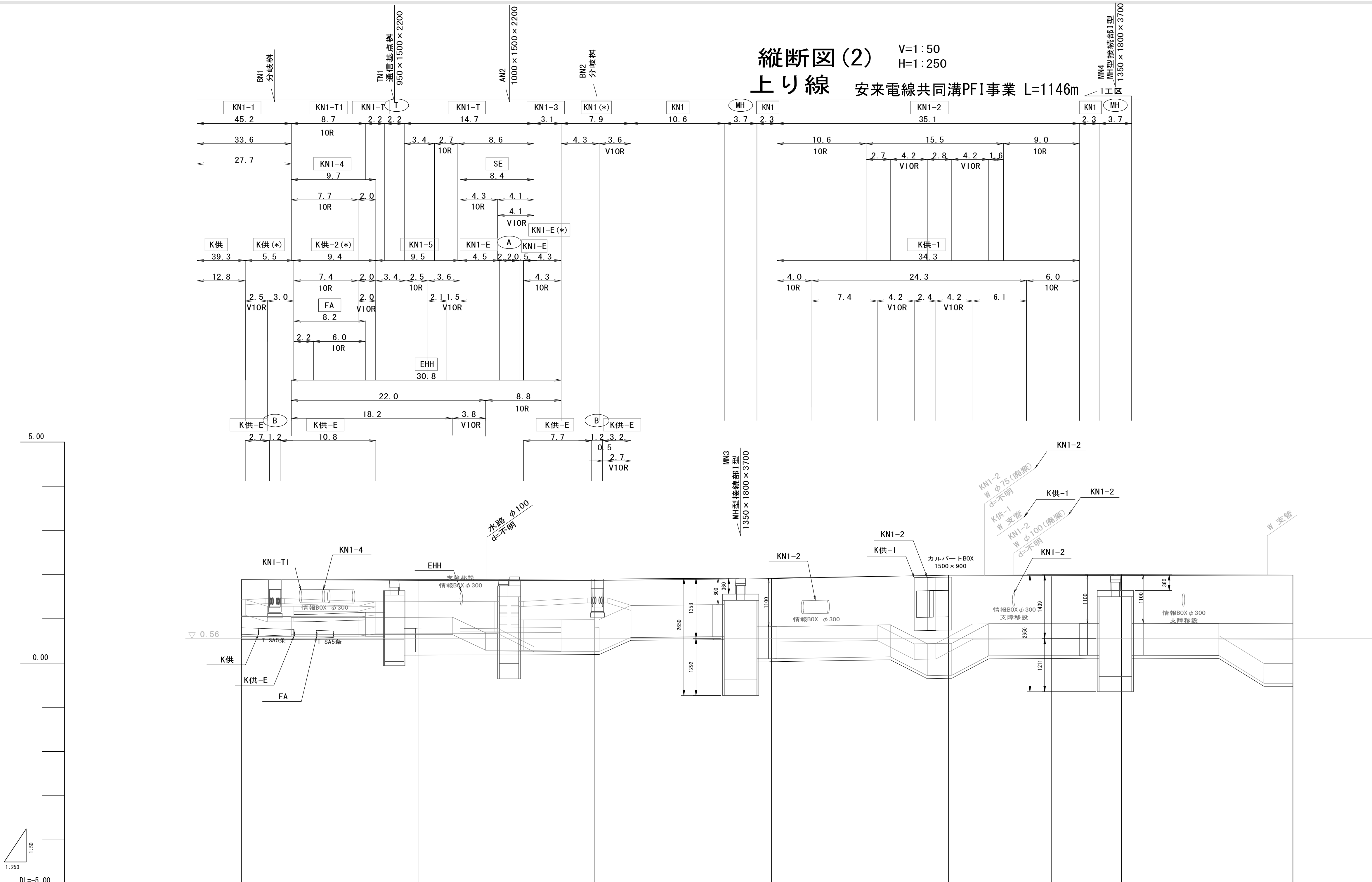


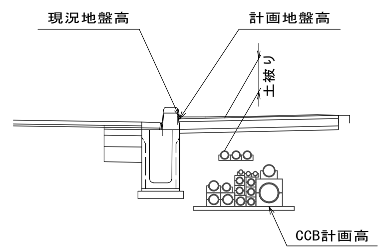


掘削深		1.19	1.21	1.24	1.24	1.18	1.18	1.54	1.52	1.52	1.55	1.61	1.62	1.66	1.64		2.22	2.22	1.35	1.35	1.36
CCB計画高										1.51 1.50 0.66 0.69			0.56							1.12 0.64	0.60 1.08
土被り					0.45					0.54 0.60 1.10 1.12			0.83							0.45 0.83	0.45 0.83
計画地盤高	1.96				2.28					2.21			2.12			1.90				1.92	1.88
現況地盤高	1.96				2.28					2.11			2.12			1.90				1.92	1.89
追加距離	0.00				20.00					40.00			60.00			80.00				100.00	120.00
単距離	0.00				20.00					20.00			20.00			20.00				20.00	20.00
測点	NO.23	NO.23+8.35	NO.23+9.65	NO.23+13.39	NO.24	NO.24+11.74	NO.24+12.84	NO.24+16.73	NO.24+19.67	NO.25	NO.25+6.24	NO.25+18.02	NO.26	NO.26+16.85	NO.26+18.15	NO.27	NO.27+1.85	NO.27+12.30	NO.27+18.20	NO.28	NO.29

(*):K供-Eを除く管路

工事名	安来電線共同溝PFI事業		
図面名	縦断図(1)		
作成年月日			
縮　尺	V=1：50 H=1：250	図面番号	11 / 78
会社名			
事業者名	松江国道事務所		





掘削深	1.36	1.35	1.34	1.33	1.33/1.69	1.69	1.68	1.68	1.68	1.68	1.37	1.37	1.88	1.88	1.88	1.88	1.89	2.33	2.33	2.33	1.89	1.88	1.87	1.87		1.87	1.87	1.88	2.51	2.52
CCB計画高	1.08 0.60					0.67 0.64 0.25			0.26						0.10				0.24 -0.28											0.54 -0.46
土被り	0.45 0.83					0.50 0.85 1.10			0.92 1.10						1.10				1.39 1.54											1.10 2.00
計画地盤高	1.88					1.89			1.90						1.92				1.99						2.00					1.99
現況地盤高	1.89					1.87			1.87						1.91				1.95						1.98					1.99
追加距離	120.00					140.00			160.00						180.00				200.00						219.60					239.00
単距離	20.00					20.00			20.00						20.00				20.00						19.60					19.40
測点	NO.29	NO.29+5.65	NO.29+14.04	NO.29+16.20	NO.29+18.40	NO.30	NO.30+13.11	NO.30+16.18	NO.31	NO.31+0.48	NO.31+4.08	NO.31+14.65	NO.31+18.35	NO.31+19.65	NO.32	NO.32+0.60	NO.32+13.42	NO.32+17.62	NO.33	NO.33+0.38	NO.33+4.58	NO.33+14.81	NO.33+15.75	NO.33+17.05	NO.34	NO.34+1.15	NO.34+2.45	NO.34+11.02	NO.34+16.11	NO.35

(*):K供-Eを除く管路

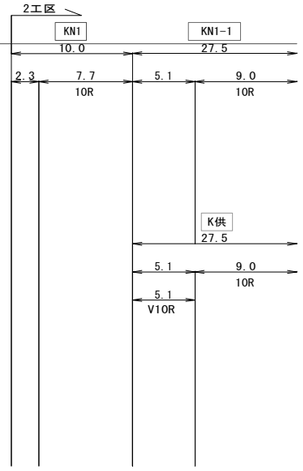
工事名	安来電線共同溝PFI事業		
図面名	縦断図(2)		
作成年月日			
縮 尺	V=1:50 H=1:250	図面番号	12 / 78
会社名			
事業者名	松江国道事務所		

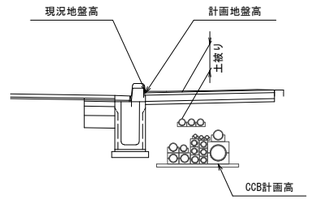
縦断図(3)

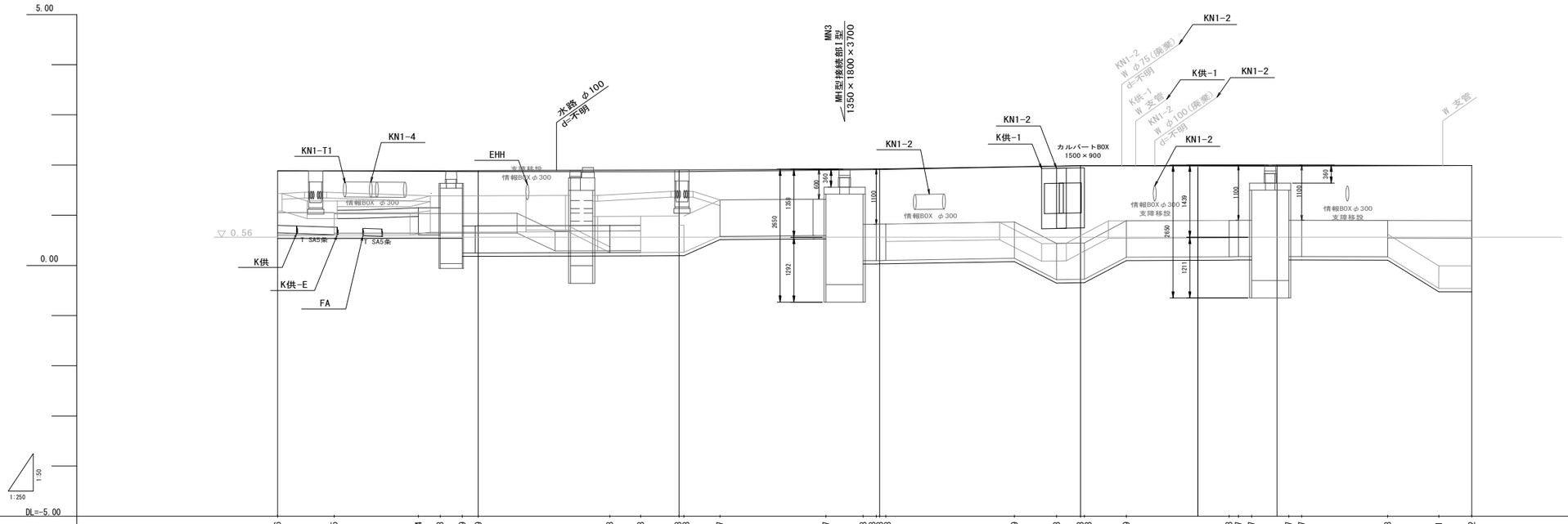
V=1:50
H=1:250

上り線

安来電線共同溝PFI事業 L=1146m







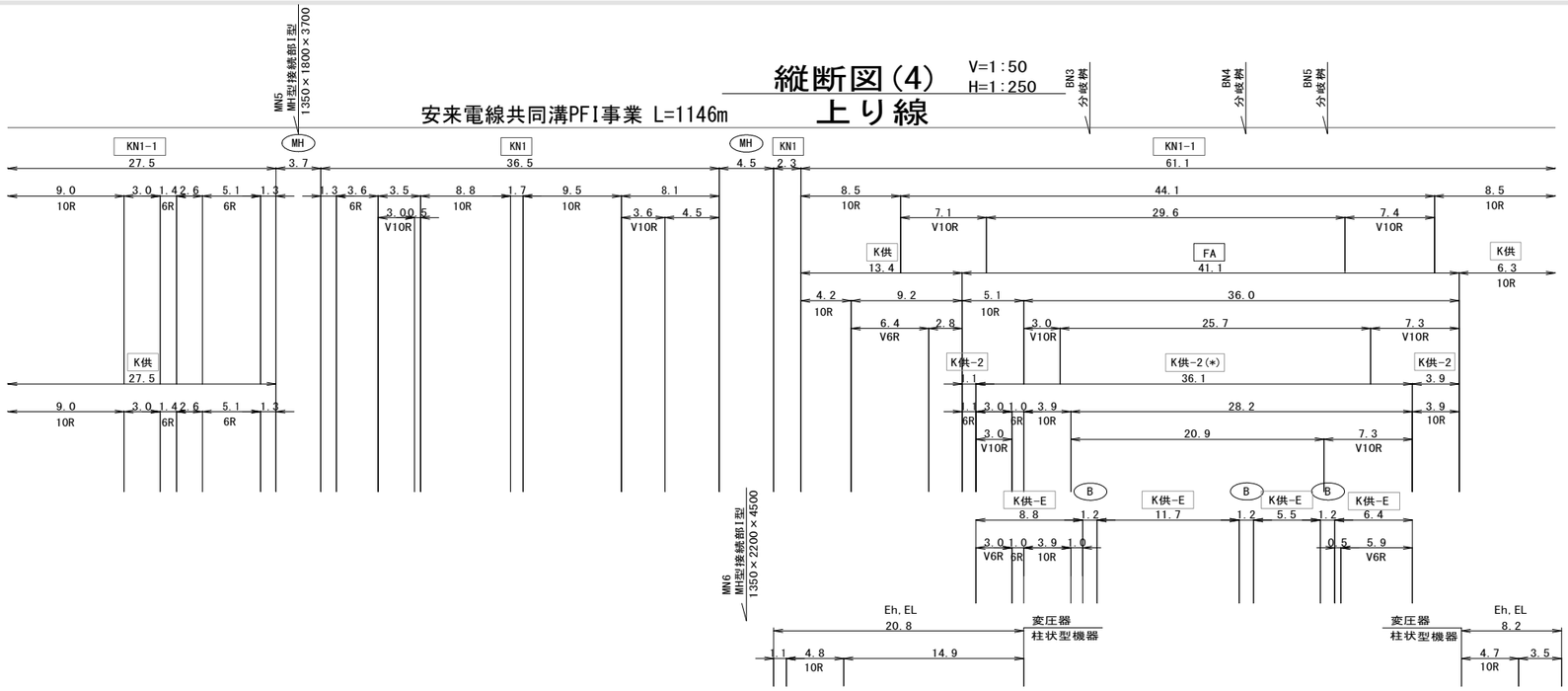
| | | |

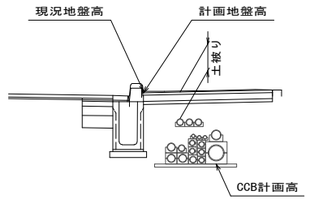
縦断図(4)

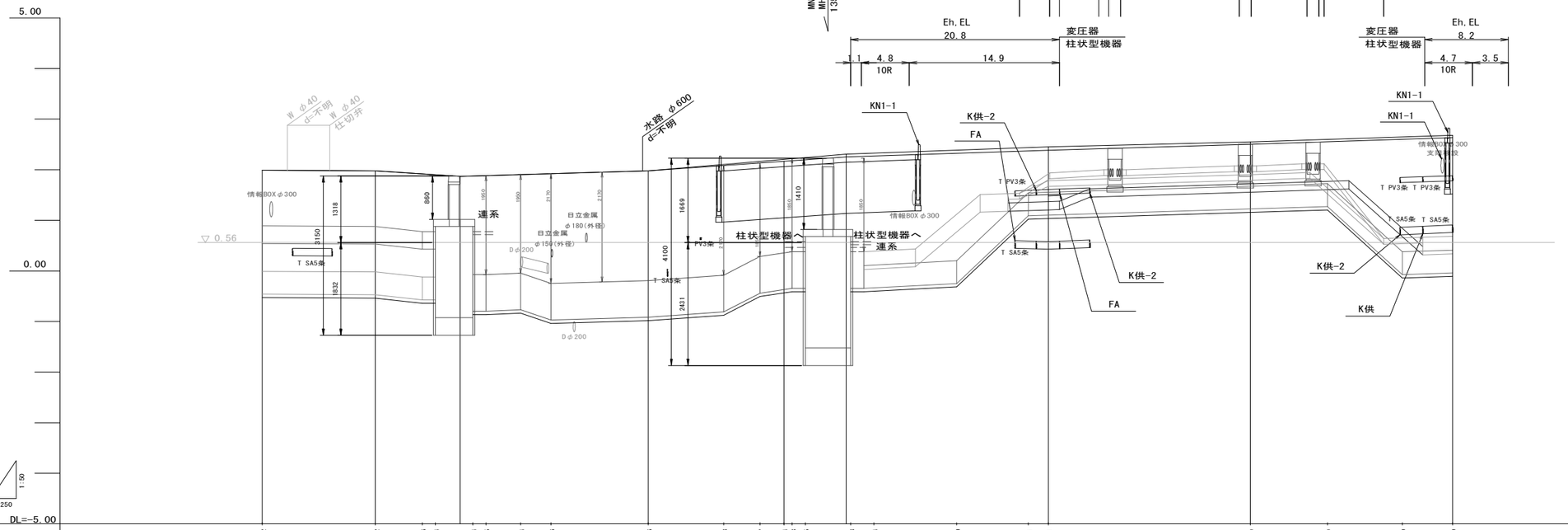
V=1:50
H=1:250

安来電線共同溝PFI事業 L=1146m

上り線





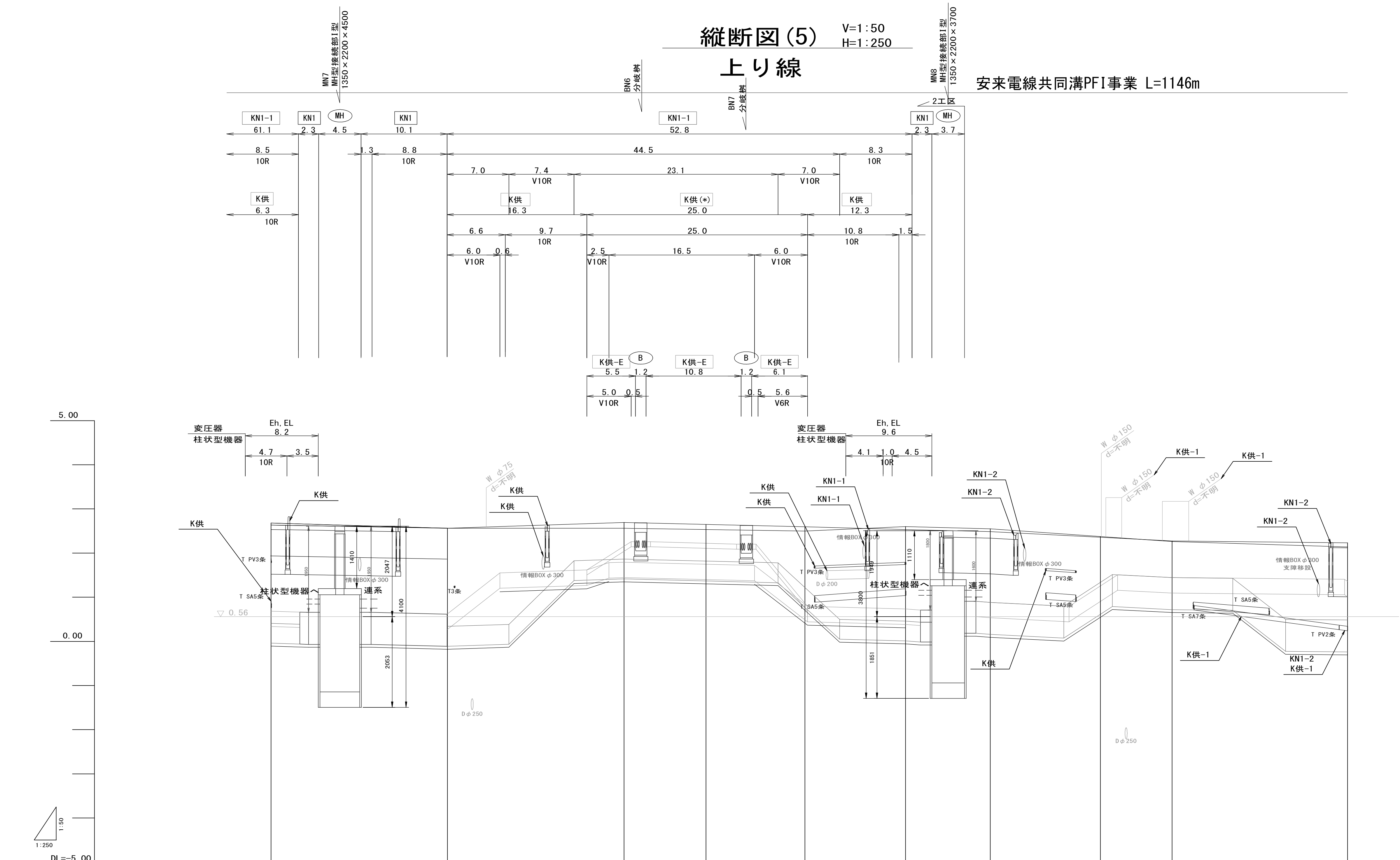


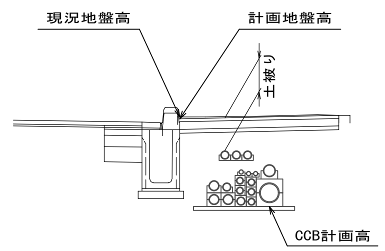
| | | |

縦断図(5)　V=1:50　H=1:250

上り線

安来電線共同溝PFI事業 L=1146m





測点	掘削深	CCB計画高	土被り	計画地盤高	現況地盤高	追加距離	単距離
NO.41	2.79	0.34 -0.04	1.95 2.22	2.63	2.68	356.80	20.00
NO.41+3.27	2.79						
NO.41+4.25	2.79						
NO.41+5.55	2.78						
NO.41+10.05	2.76						
NO.41+11.35	2.75						
NO.42	2.74	0.27 -0.11	1.95 2.22	2.56	2.56	376.80	20.00
NO.42+6.95	2.70						
NO.42+13.66	1.39						
NO.42+14.35	1.38						
NO.42+15.80	1.37						
NO.42+17.96	1.23						
NO.43	1.21	2.04 1.45 1.41	0.54 0.83 0.90	2.69	2.56	396.80	20.00
NO.43+9.29		2.11 1.37 1.40	0.43 0.83 0.90	2.65	2.53	406.09	9.29
NO.43+14.93	1.24						
NO.44	2.09	0.77 0.75 0.49	1.37 1.73 1.76	2.59	2.50	417.30	11.21
NO.44+0.30	2.14						
NO.44+1.89	2.16						
NO.44+3.95	2.55						
SP4	2.66	0.39 0.01	1.80 2.07	2.53	2.60	428.70	11.40
SP4+0.74 (NO.44+12.14)	2.67						
SP4+1.69 (NO.44+13.09)	2.67						
SP4+2.99 (NO.44+14.39)	2.67						
SP4+6.69 (NO.44+18.09)	2.45						
SP4+7.99 (NO.44+19.39)	2.44						
NO.45	2.46	0.54 0.16	1.60 1.60	2.48	2.55	438.30	9.60
NO.45+8.33	2.43						
NO.45+13.83	1.63	0.61 0.90	1.02 1.10	2.36	2.37	450.78	12.48
NO.46	1.61	1.10 0.72	0.83 0.83	2.27	2.26	458.90	8.12
NO.46+6.88	1.58						
NO.46+12.88	2.48						
NO.47	2.45	0.83 -0.24	1.05 1.75	2.23	2.14	478.80	19.90

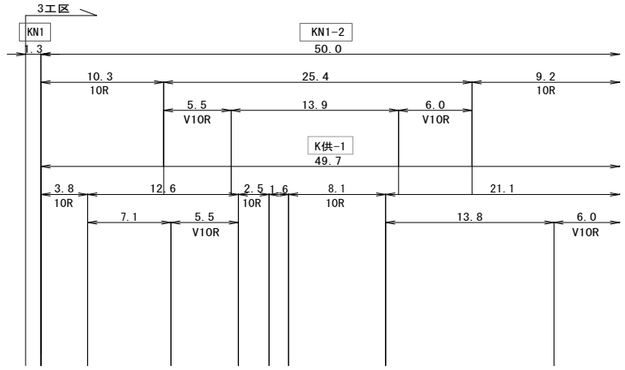
(*):K供-Eを除く管路

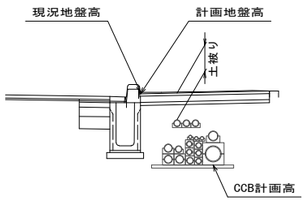
工事名	安来電線共同溝PFI事業		
図面名	縦断図(5)		
作成年月日			
縮　尺	V=1:50 H=1:250	図面番号	15 / 78
会社名			
事業者名	松江国道事務所		

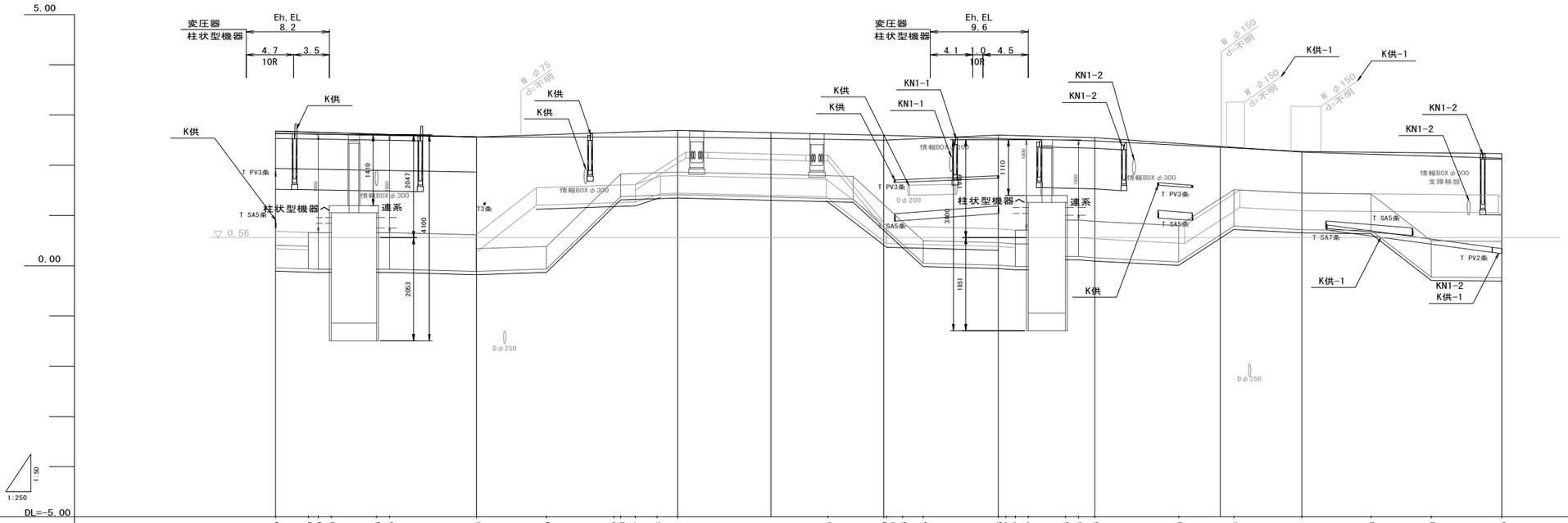
縦断図(6)　V=1:50 H=1:250

上り線

安来電線共同溝PFI事業 L=1146m







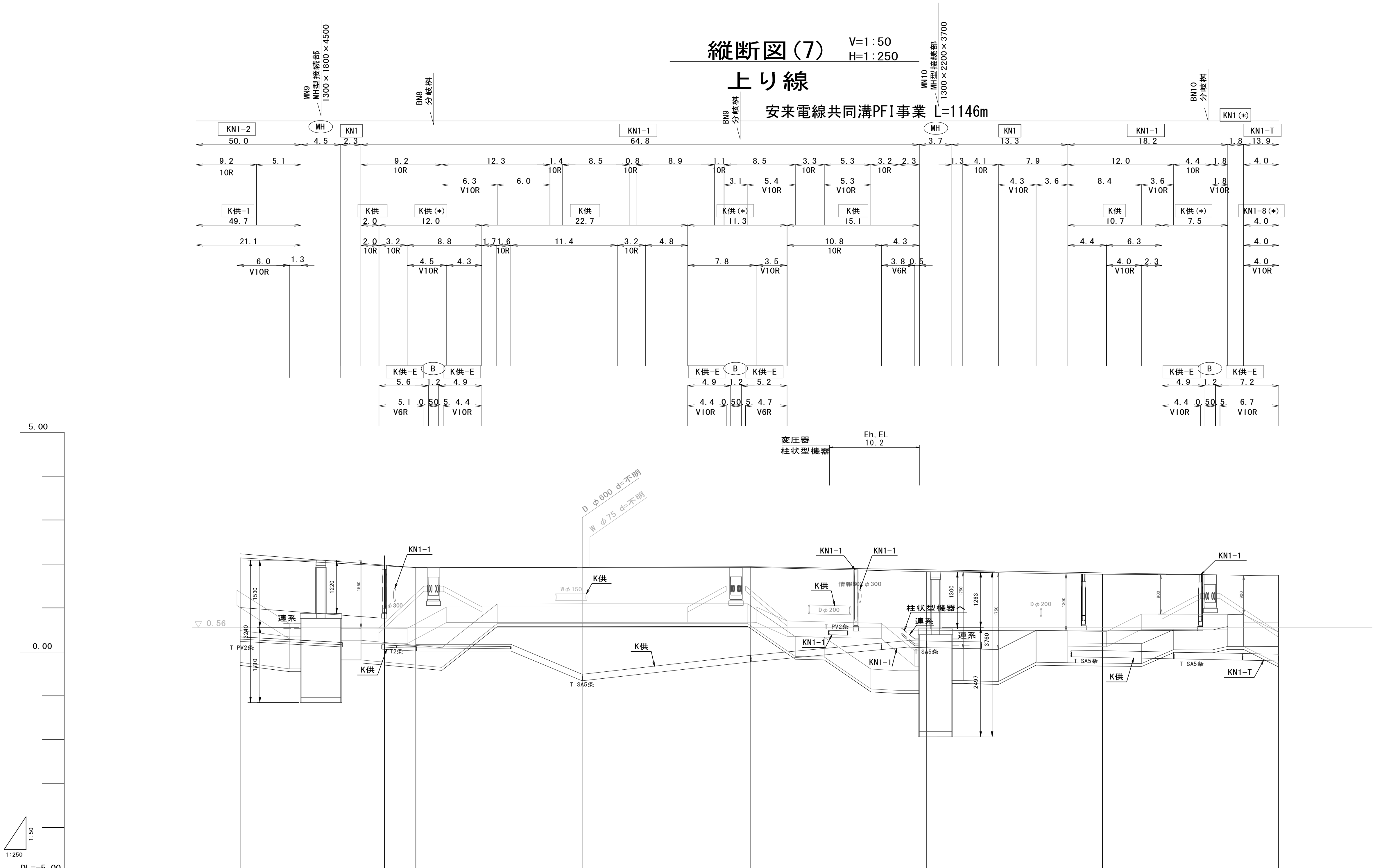
| | | |

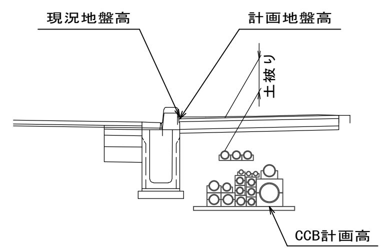
縦断図(7)

V=1:50
H=1:250

上り線

安来電線共同溝PFI事業 L=1146m





測点	単距離	追加距離	現況地盤高	計画地盤高	土被り	CCB計画高	掘削深
NO.47	19.90	478.80	2.14	2.23	0.87 / 1.75	1.01 / -0.24	2.45
–	16.42	495.22	1.96	1.98	1.38 / 1.44 / 1.76	0.49 / 0.11 / -0.23	2.26
NO.48	3.58	498.80	1.92	1.92	0.61 / 1.41 / 1.77	1.20 / 0.29 / -0.30	2.29
NO.49	18.9	517.70	1.92	1.92	0.83 / 0.90	0.64 / 0.67	1.35
NO.49+18.85 / NO.50	19.20	536.90	1.94	1.92	0.53 / 0.88 / 0.90	1.28 / 0.68 / 0.60	1.36 / 1.41
NO.50+19.15 / NO.51	20.00	556.90	1.87	1.83			2.82
NO.52	20.00	576.90	1.80	1.77	1.25 / 1.30	0.12 / 0.07	2.12
NO.53	20.00	596.90	1.73	1.75	1.08 / 1.29 / 1.30	0.34 / 0.12 / -0.27	2.07

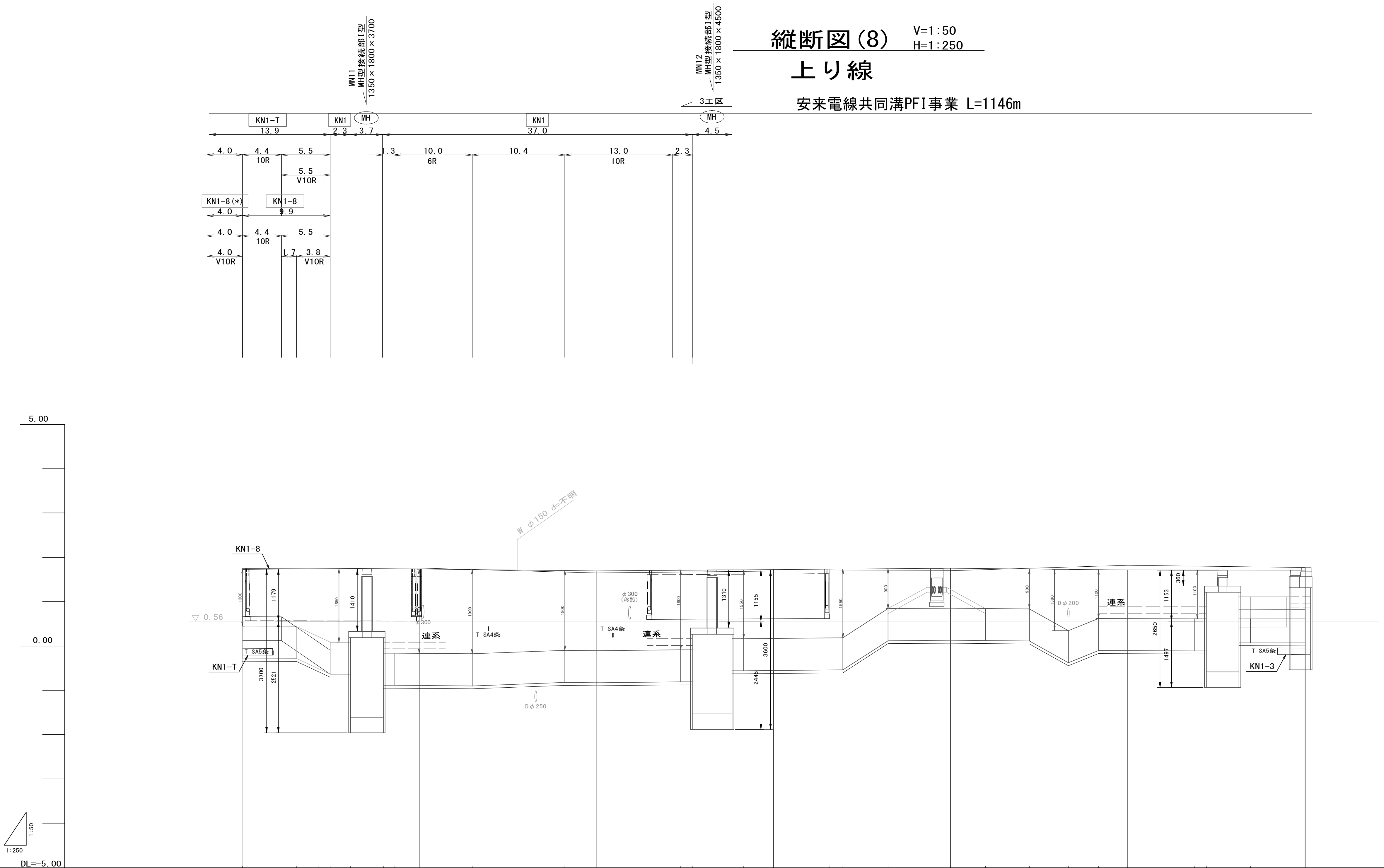
(*):K供-Eを除く管路

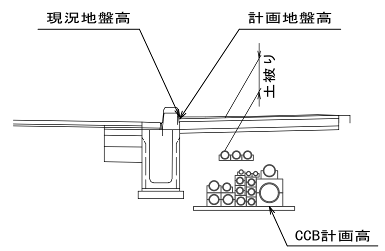
工事名	安来電線共同溝PFI事業
図面名	縦断図(7)
作成年月日	
縮尺	V=1:50 H=1:250
図面番号	17 / 78
会社名	
事業者名	松江国道事務所

縦断図(8) V=1:50 H=1:250

上り線

安来電線共同溝PFI事業 L=1146m





測点	単距離	追加距離	現況地盤高	計画地盤高	土被り	CCB計画高	掘削深
NO.53	20.00	596.90	1.73	1.75	1.08 1.30	0.12 −0.27	2.07
NO.53+ 0.05							2.08
NO.53+ 6.15							2.09
							2.32
NO.53+ 9.95							2.45
NO.53+12.25							2.45
NO.53+15.95							2.71
NO.53+17.25							2.71
NO.54	20.00	616.90	1.76	1.74	1.90	−0.89	2.72
NO.54+ 5.98							2.70
NO.54+16.43							2.56
NO.55	20.00	636.90	1.65	1.69	1.80	−0.83	2.55
NO.55+ 9.55							2.55
NO.55+10.85							2.55
NO.55+15.35							2.31
NO.55+16.65							2.31
NO.56	20.00	656.90	1.69	1.73	1.56	−0.55	2.31
							2.30
NO.56+ 7.85							2.30
NO.56+12.95							1.65
NO.57	20.00	676.90	1.70	1.75	0.48 0.90	1.16 −0.13	1.64
NO.57+ 3.95							1.67
NO.57+ 8.90							1.71
NO.57+13.30							2.23
NO.57+16.70							1.97
NO.58	20.00	696.90	1.82	1.71	1.10	−0.11	1.99
NO.58+ 7.55							1.98
NO.58+ 8.85							1.98
NO.58+12.55							1.78
NO.58+13.85							1.78
NO.59	20.00	716.90	1.77	1.71	0.90 1.10	0.43 0.07	1.77

(*):K供-Eを除く管路

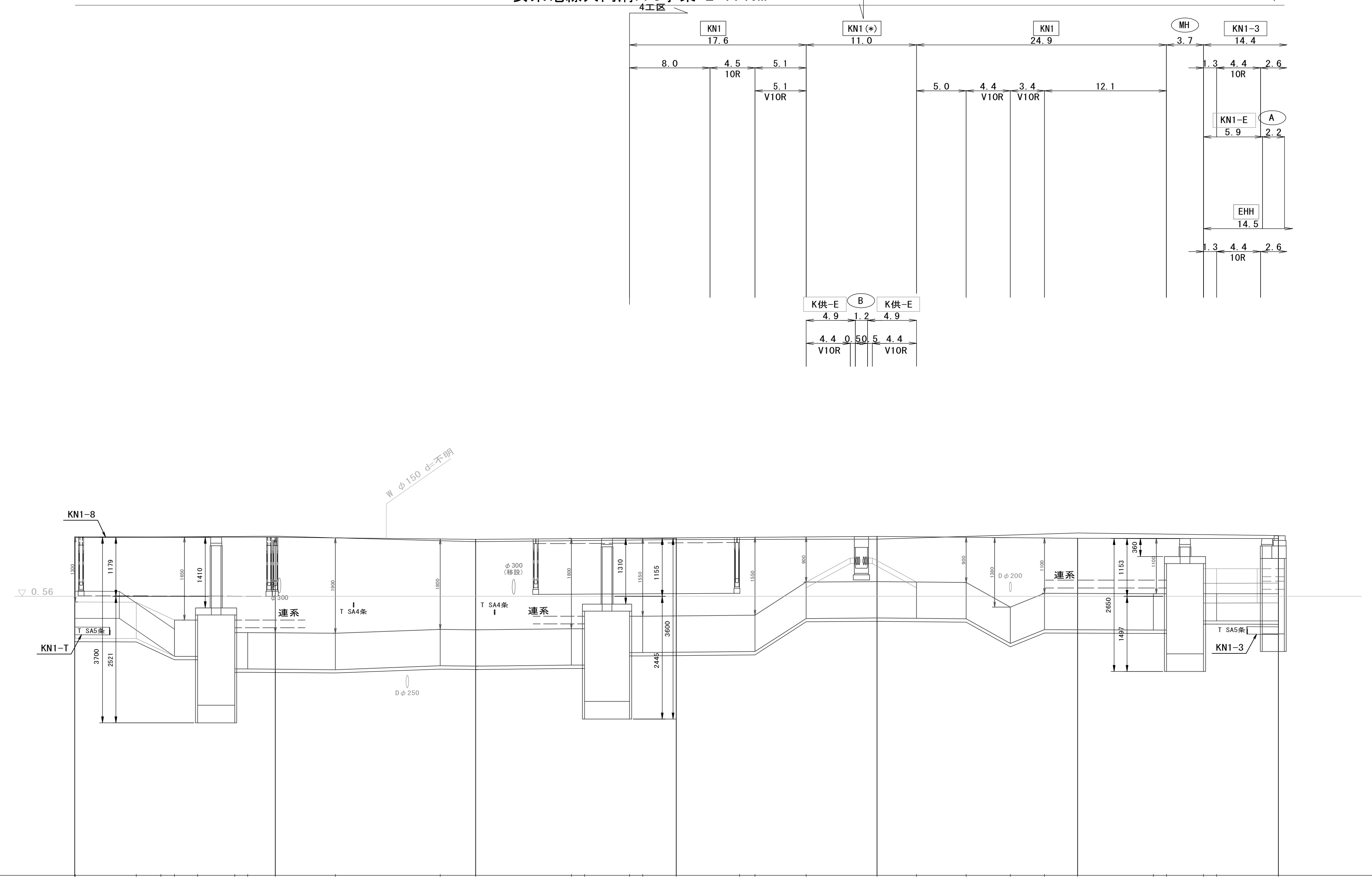
工事名	安来電線共同溝PFI事業		
図面名	縦断図(8)		
作成年月日			
縮　尺	V=1：50 H=1：250	図面番号	18 / 78
会社名			
事業者名	松江国道事務所		

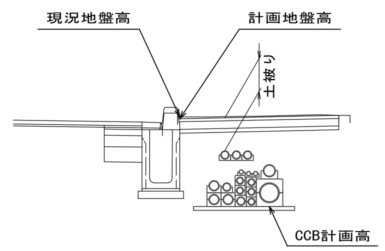
縦断図(9)

V=1:50
H=1:250

上り線

安来電線共同溝PFI事業 L=1146m





測点	掘削深	CCB計画高	土被り	計画地盤高	現況地盤高	追加距離	単距離
NO.53	2.07	0.12	1.08	1.75	1.73	596.90	20.00
NO.53+0.05	2.08	-0.27	1.30				
NO.53+6.15	2.09						
	2.32						
NO.53+9.95	2.45						
NO.53+12.25	2.45						
NO.53+15.95	2.71						
NO.53+17.25	2.71						
NO.54	2.72	-0.89	1.90	1.74	1.76	616.90	20.00
NO.54+5.98	2.70						
NO.54+16.43	2.56						
NO.55	2.55	-0.83	1.80	1.69	1.65	636.90	20.00
NO.55+9.55	2.55						
NO.55+10.85	2.55						
NO.55+15.35	2.31						
NO.55+16.65	2.31						
NO.56	2.31	-0.55	1.56	1.73	1.69	656.90	20.00
	2.30						
NO.56+7.85	2.30						
NO.56+12.95	1.65						
NO.57	1.64	1.16 / -0.13	0.48 / 0.90	1.75	1.70	676.90	20.00
NO.57+3.95	1.67						
NO.57+8.90	1.71						
NO.57+13.30	2.23						
NO.57+16.70	1.97						
NO.58	1.99	-0.11	1.10	1.71	1.82	696.90	20.00
NO.58+7.55	1.98						
NO.58+8.85	1.98						
NO.58+12.55	1.78						
NO.58+13.85	1.78						
NO.59	1.77	0.43 / 0.07	0.90 / 1.10	1.71	1.77	716.90	20.00

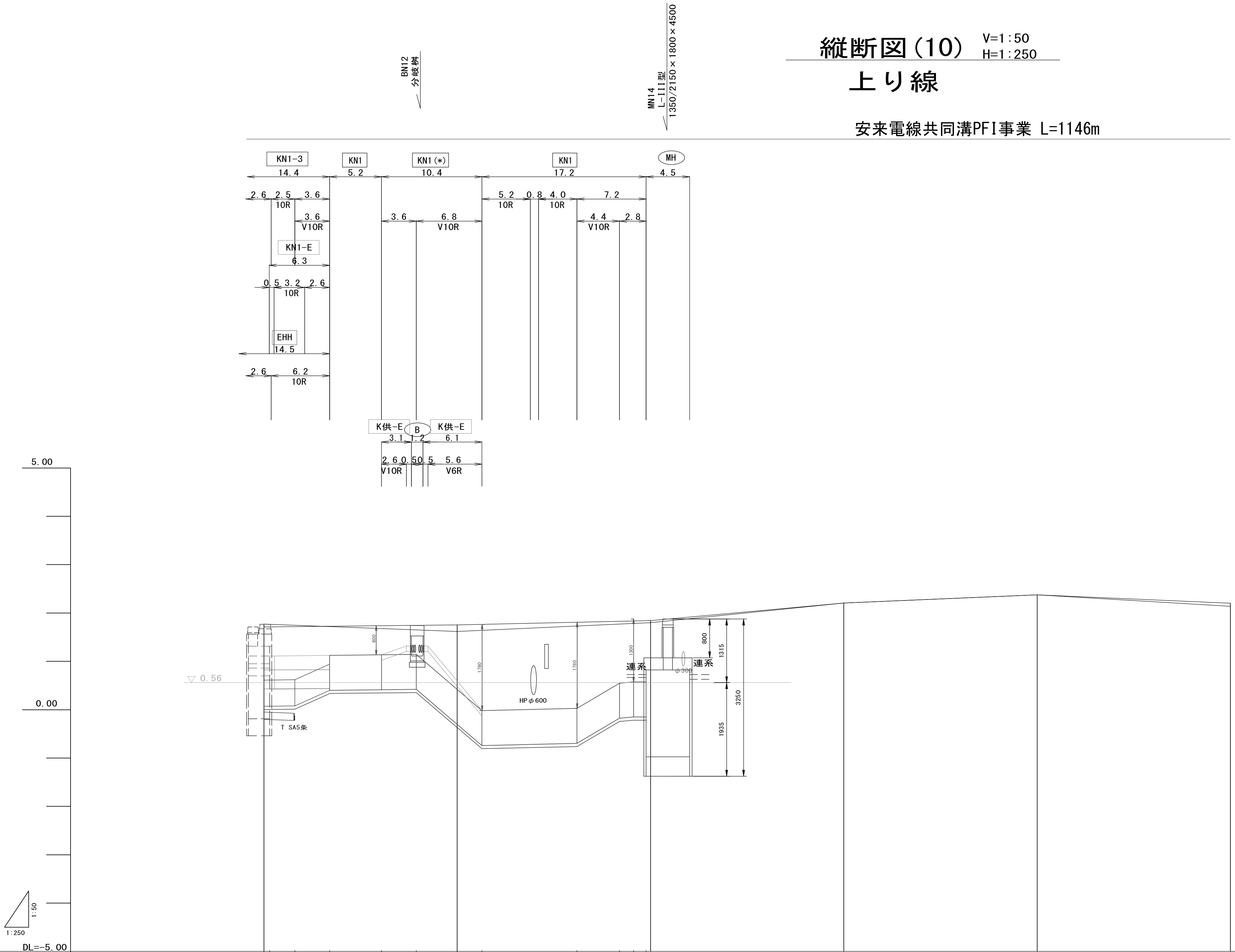
(*):K供-Eを除く管路

工事名	安来電線共同溝PFI事業		
図面名	縦断図(9)		
作成年月日			
縮尺	V=1:50 H=1:250	図面番号	19 / 78
会社名			
事業者名	松江国道事務所		

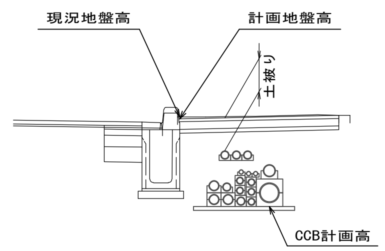
縦断図（10） V=1:50 H=1:250

上り線

安来電線共同溝PFI事業 L=1146m



	NO.59	NO.59+0.60	NO.59+3.21	NO.59+6.81	NO.59+12.16	NO.59+15.76	NO.60	NO.60+2.56	NO.60+12.40	NO.60+16.80	NO.60+18.25	NO.60+19.55	NO.61	NO.62	NO.63	NO.64	NO.65
掘削深	1.77	1.76	1.74	1.39	1.33	1.30	1.99	2.45	2.50	2.01	2.00	2.01					
CCB計画高	0.43 0.07						0.48 -0.30										
土被り	0.90 1.10						1.16 1.33										
計画地盤高	1.71						1.75						1.84	2.21	2.38	2.20	1.86
現況地盤高	1.77						1.62						1.80	2.21	2.38	2.14	1.90
追加距離	716.90						736.90						756.90	776.90	796.90	816.90	836.90
単距離	20.00						20.00						20.00	20.00	20.00	20.00	20.00
測点	NO.59	NO.59+0.60	NO.59+3.21	NO.59+6.81	NO.59+12.16	NO.59+15.76	NO.60	NO.60+2.56	NO.60+12.40	NO.60+16.80	NO.60+18.25	NO.60+19.55	NO.61	NO.62	NO.63	NO.64	NO.65



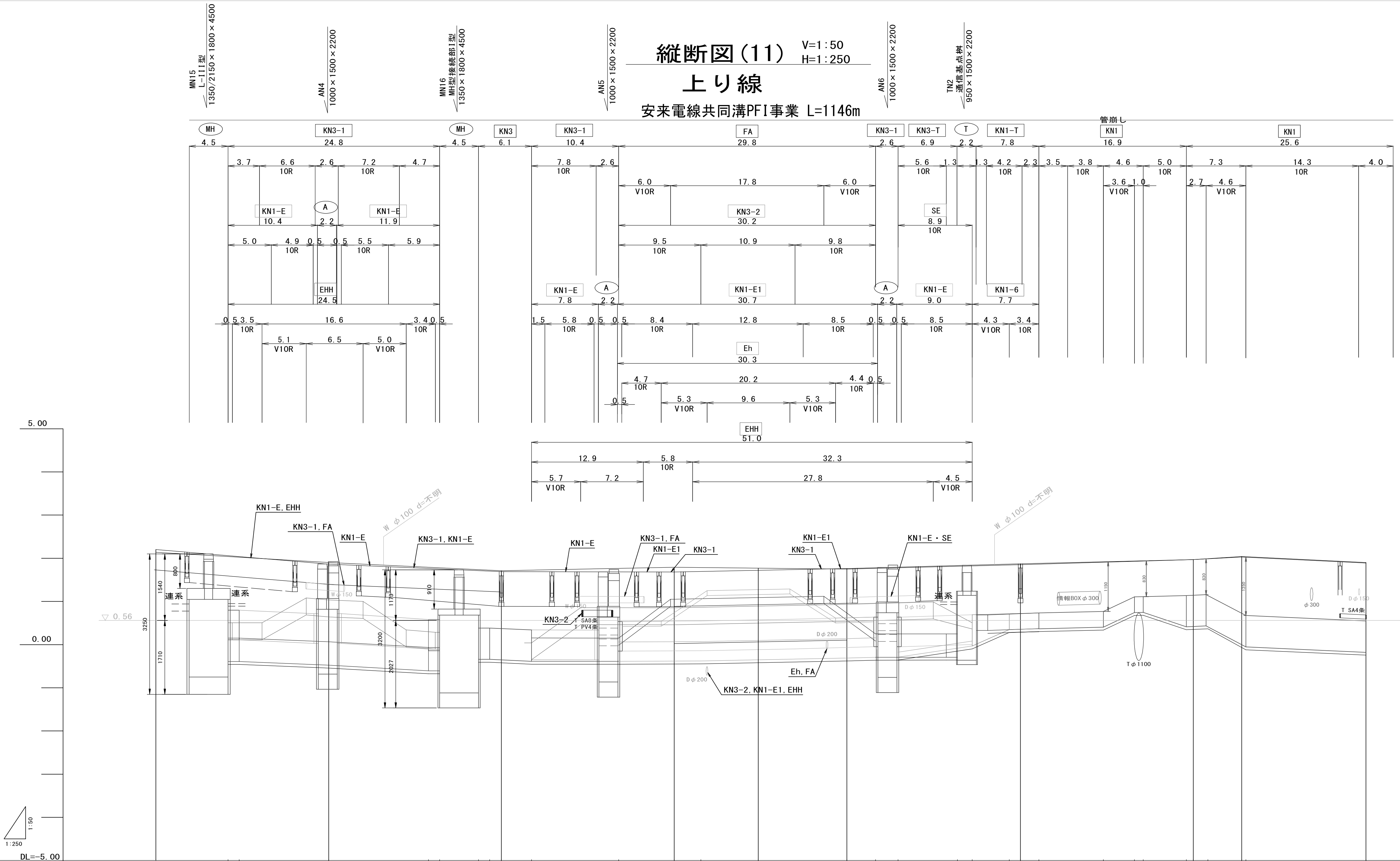
(*)：K供-Eを除く管路

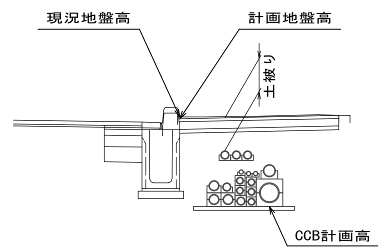
工事名	安来電線共同溝PFI事業		
図面名	縦断図(10)		
作成年月日			
縮　尺	V=1：50 H=1：250	図面番号	20 / 78
会社名			
事業者名	松江国道事務所		

縦断図(11) V=1:50 H=1:250

上り線

安来電線共同溝PFI事業 L=1146m





掘削深		2.50	2.48	2.44	2.47	2.45	2.14	2.13	2.13	2.18	2.22	2.24	2.23	2.19	2.13	2.13	2.14	2.17/1.96	1.92	1.56	1.56	1.56	1.57	1.25	1.26	1.62	1.62	1.63	2.11	2.16	2.14
CCB計画高				0.64 -0.47					-0.35			0.89 0.63 0.46 -0.15 -0.38		1.16 0.92 0.50 -0.12 -0.35	0.51 0.57 0.54 -0.07 -0.31						0.36 0.36						0.42		0.00		-0.18
土被り				0.83 1.80					1.32			0.63 0.83 0.94 1.14 1.68		0.45 0.63 0.83 1.15 1.62	0.83 1.03 1.14 1.14 1.62						1.15 1.16						0.83		1.30		1.34
計画地盤高				1.87					1.69			1.68		1.72	1.76						1.87						1.97		2.03		1.89
現況地盤高				1.90					1.71			1.79		1.77	1.75						1.85						1.97		2.04		1.90
追加距離				836.90					856.90			876.90		886.63	896.90						917.00						937.00		942.60		957.00
単距離				20.00					20.00			20.00		9.73	10.27						20.10						20.00		5.60		14.40
測点	NO.64	NO.64+8.35	NO.64+9.65	NO.65	NO.65+11.55	NO.65+12.85	NO.65+17.35	NO.65+18.65	NO.66	NO.66+3.49	NO.66+13.58	NO.67	NO.67+3.09	NO.67+9.73	NO.68	NO.68+3.33	NO.68+5.93	NO.68+12.80	NO.68+14.50	NO.68+18.80	NO.69	NO.69+2.13	NO.69+9.60	NO.69+13.20	NO.69+14.20	NO.69+19.20	NO.70	NO.70+1.69	SP6	SP6+0.49 (NO.70+6.09)	NO.71

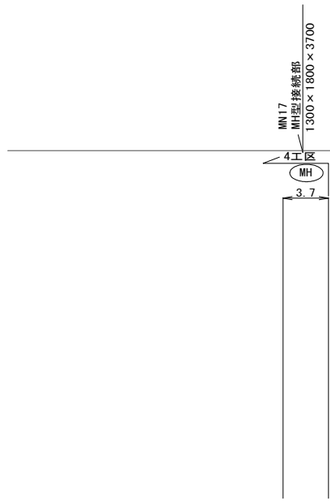
(*):K供-Eを除く管路

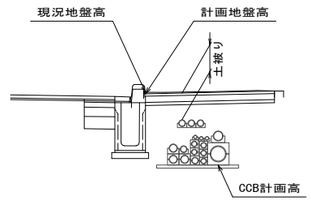
工事名	安来電線共同溝PFI事業		
図面名	縦断図(11)		
作成年月日			
縮　尺	V=1:50 H=1:250	図面番号	21 / 78
会社名			
事業者名	松江国道事務所		

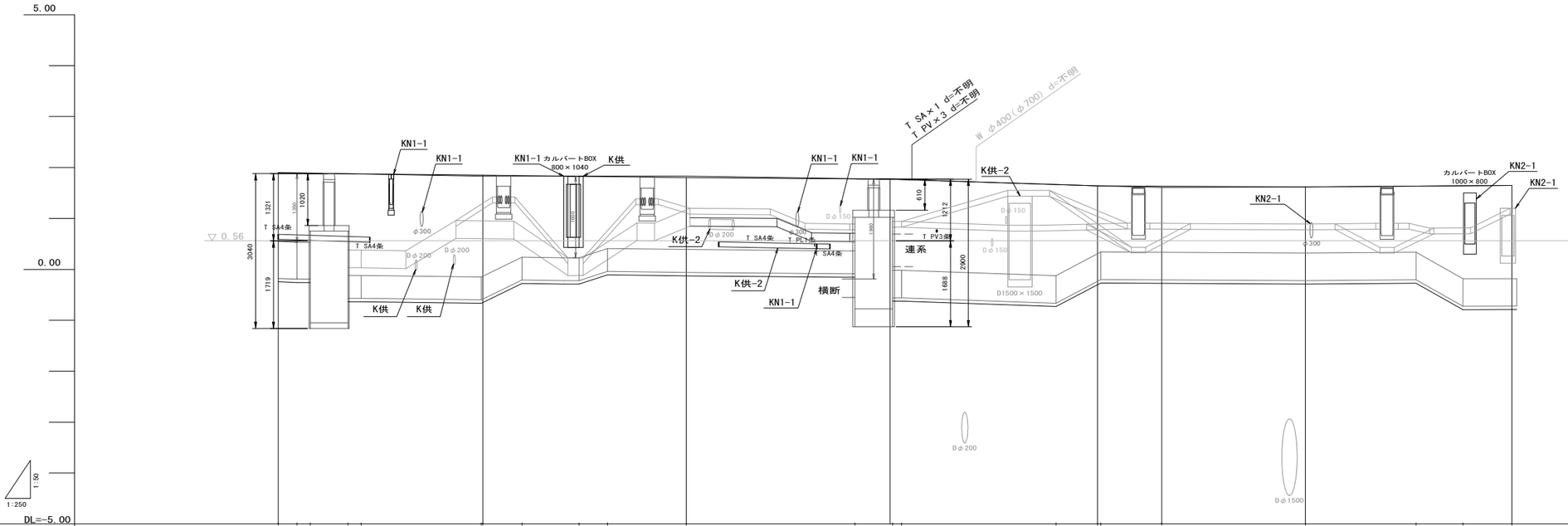
縦断図(12)　V=1:50 H=1:250

上り線

安来電線共同溝PFI事業 L=1146m





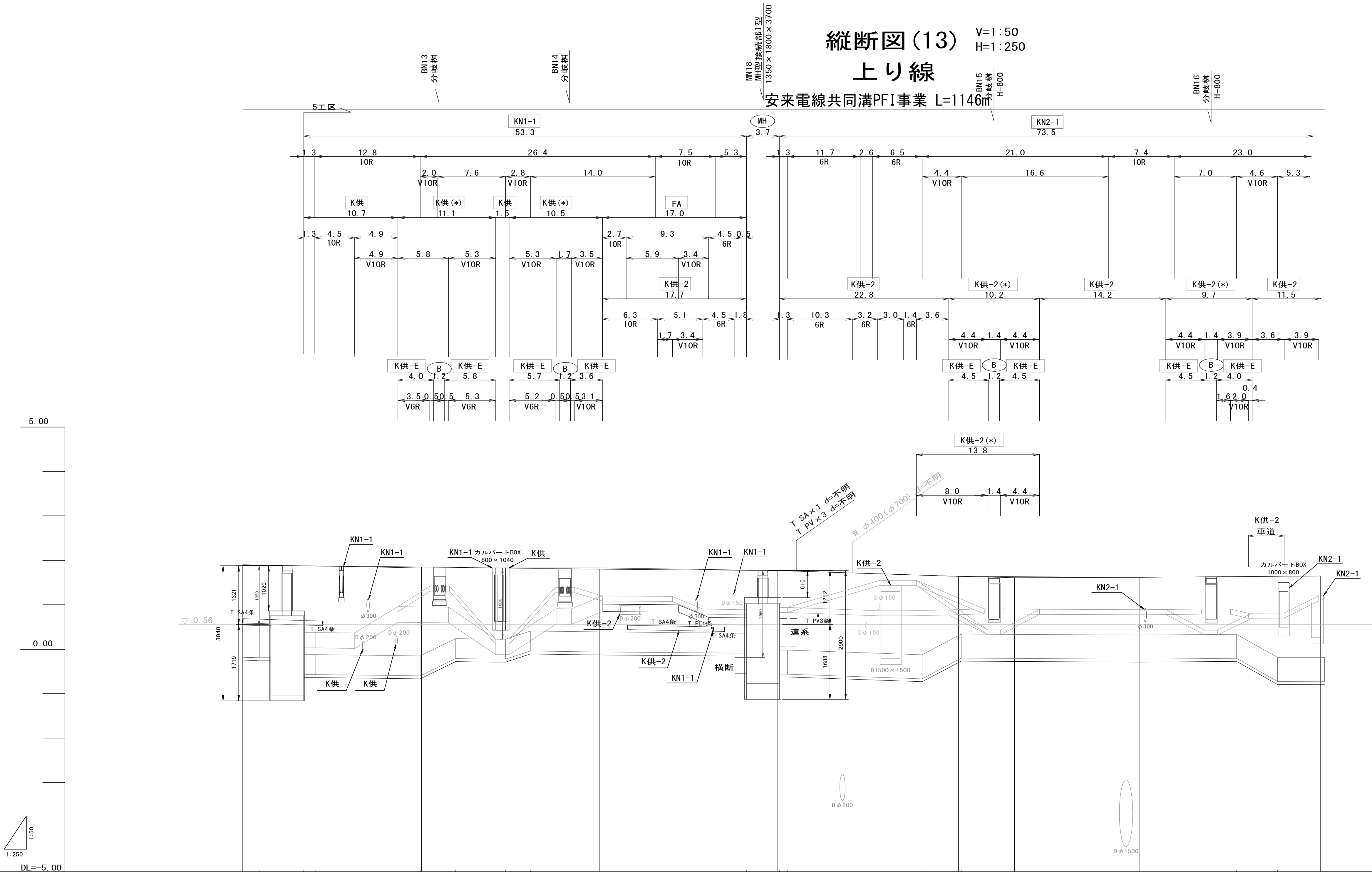


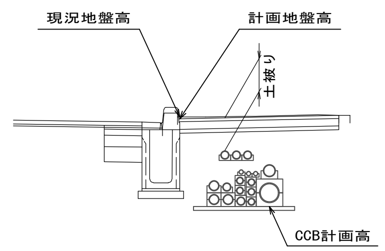
| | | |

縦断図(13) V=1:50 H=1:250

上り線

安来電線共同溝PFI事業 L=1146m





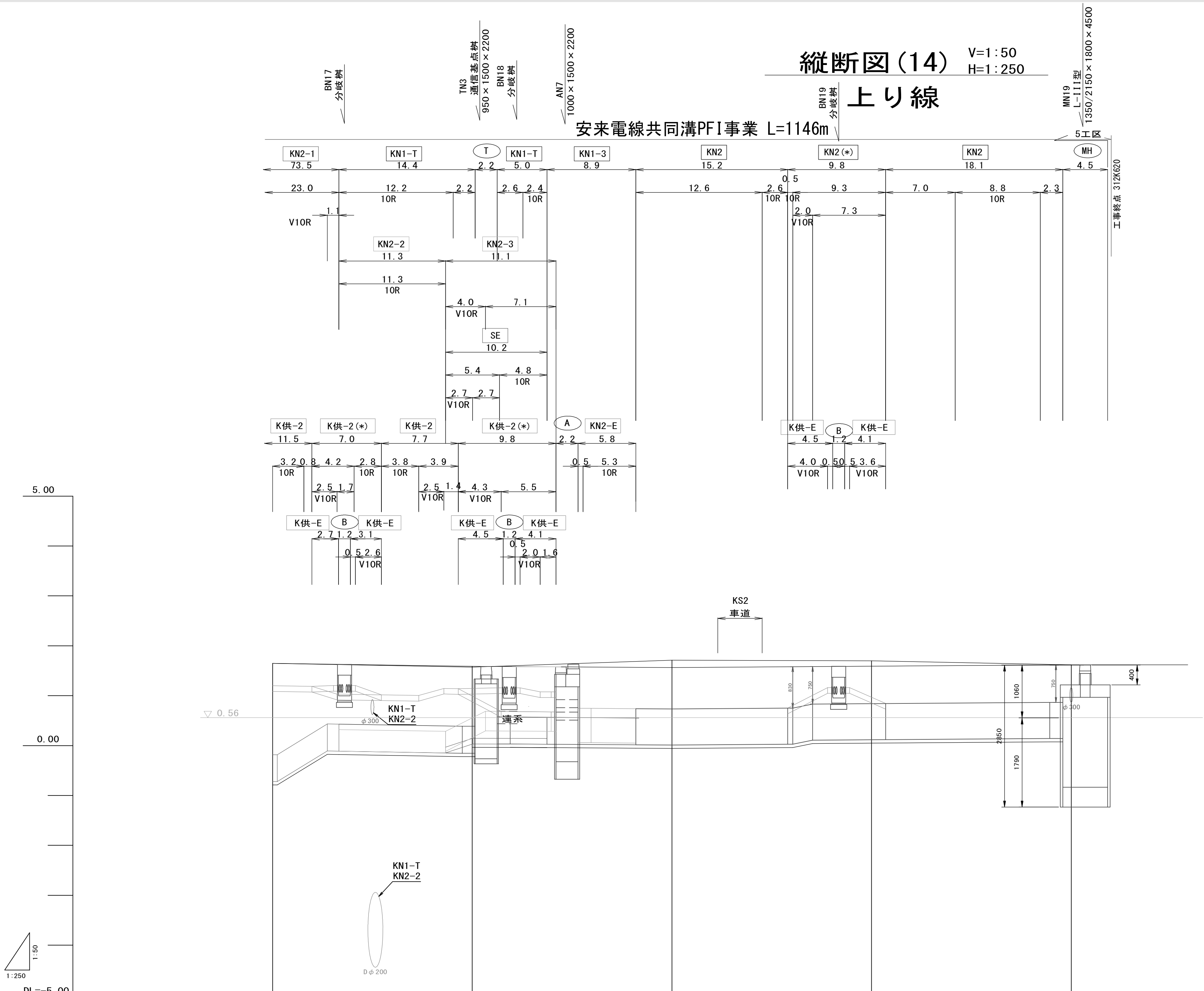
測点	掘削深	CCB計画高	土被り	計画地盤高	現況地盤高	追加距離	単距離
NO.71	2.14	-0.18	1.34	1.89	1.90	957.00	14.40
NO.71+1.85	2.16						
NO.71+3.15	2.15						
NO.71+6.85	2.51						
NO.71+8.15	2.51						
NO.71+19.95	2.50						
NO.72	2.48	1.19 0.60 -0.36	0.55 0.90 1.76	1.85	1.83	977.10	20.10
NO.72+3.85	2.11						
NO.72+9.45	2.12						
NO.72+12.25	1.94						
NO.73	1.96	1.11 0.82 -0.06	0.58 0.63 1.41	1.80	1.83	997.10	20.00
NO.73+16.55	1.94						
NO.74	2.39			1.77	1.77	1017.10	20.00
NO.74+0.25							
NO.74+1.15	2.39						
NO.74+16.30	2.40						
NO.75	1.94	0.78 0.66 -0.23	0.75 0.87 1.33	1.64	1.64	1037.50	20.40
NO.75+0.30	1.91						
SP7	1.88	0.79 0.49 -0.21	0.73 1.03 1.30	1.63	1.61	1043.80	6.30
NO.76	1.91	0.78 -0.22	0.73 1.30	1.62	1.62	1057.90	14.10
NO.76+10.88	1.91						
NO.76+15.48	2.44						
NO.77	2.44	-0.72	1.83	1.65	1.65	1078.20	20.30

(*):K供-Eを除く管路

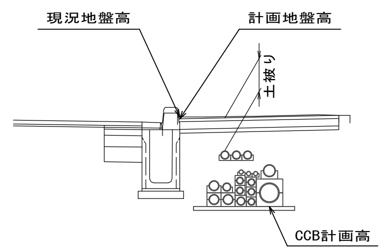
工事名	安来電線共同溝PFI事業		
図面名	縦断図(13)		
作成年月日			
縮 尺	V=1:50 H=1:250	図面番号	23 / 78
会社名			
事業者名	松江国道事務所		

縦断図(14)　V=1:50　H=1:250

上り線



測点	掘削深	CCB計画高	土被り	計画地盤高	現況地盤高	追加距離	単距離
NO.77	2.44	1.09 -0.72	0.45 1.83	1.65	1.65	1078.20	20.30
NO.77+ 0.48	2.44						
NO.77+ 5.48	1.80						
NO.77+ 6.65	1.80						
NO.77+17.33	1.80						
NO.78	1.79	0.99 0.17 -0.15 -0.03	0.48 1.01 1.20 1.44	1.59	1.57	1098.20	20.00
NO.78+ 0.30	1.61						
NO.78+ 2.50	1.62						
NO.78+ 7.49	1.66						
NO.78+16.40	1.74						
NO.79	1.77	0.01	0.83	1.56	1.71	1118.20	20.00
NO.79+11.60	1.75						
NO.79+12.10	1.75						
NO.79+14.10	1.66						
NO.80	1.65	0.85 0.12	0.62 0.75	1.59	1.70	1138.20	20.00
NO.80+ 1.41	1.64						
NO.80+17.85	1.56						
NO.80+19.15	1.55						
NO.81				1.62	1.62	1158.20	20.00



(*):K供-Eを除く管路

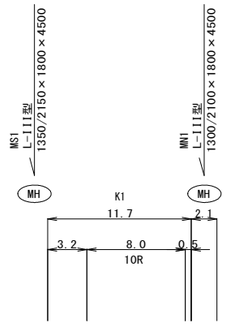
工事名	安来電線共同溝PFI事業		
図面名	縦断図(14)		
作成年月日			
縮　尺	V=1 : 50 H=1 : 250	図面番号	24 / 78
会社名			
事業者名	松江国道事務所		

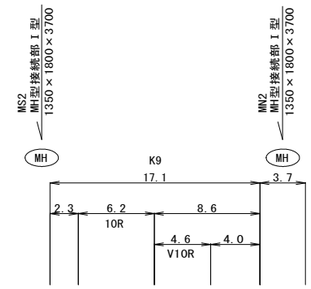
縦断図(15)

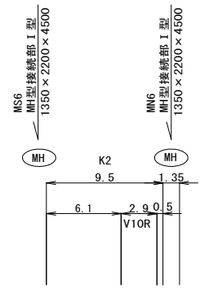
V=1:50
H=1:250

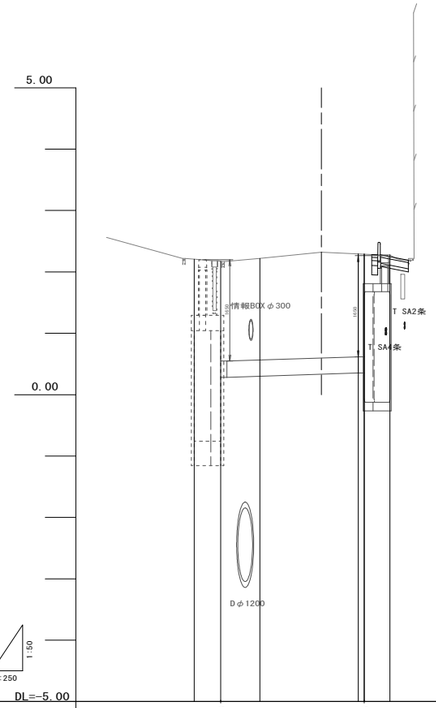
横断部

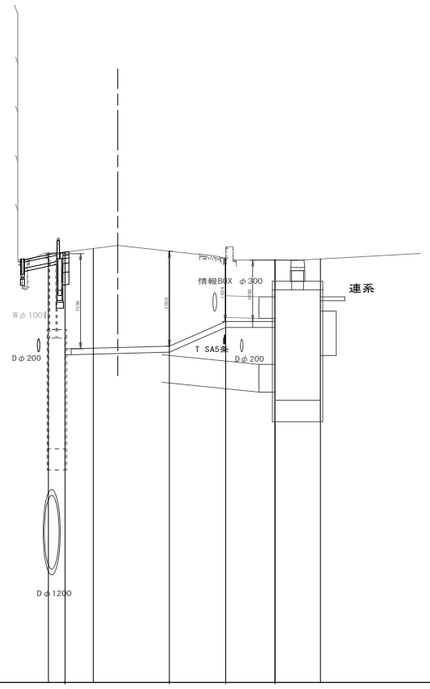
安来電線共同溝PFI事業 L=1146m

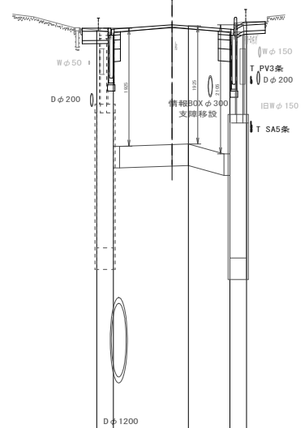












CCB計画高	0.28		0.35				0.34		0.38		0.79		0.79				−0.05		−0.02		−0.17		
土 被 り	1.65		1.65				1.55		1.55		1.03		1.00				1.93		1.93		2.11		
計画地盤高							2.01										2.21				2.21		
現況地盤高	2.17		2.29				2.01				1.89						2.15				2.15		
追加距離	0.00		11.70				0.00				17.10						0.00				9.50		
単 距 離	0.00		11.70				0.00				17.10						0.00				9.50		
測 点	NO.23+6.17		NO.23+4.55				NO.27+11.96				NO.27+1.63						NO.37+16.86				NO.37+16.86		

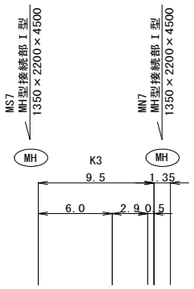
工事名	安来電線共同溝PFI事業			
図面名	縦断図(15)			
年 月 日				
縮 尺	V=1：50 H=1：250	図面番号	25 / 78	
会社名				
事業者名	松江国道事務所			

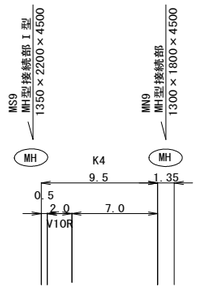
縦断図(16)

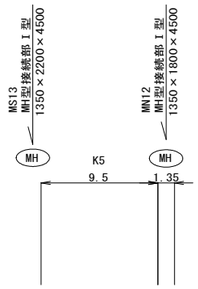
V=1:50
H=1:250

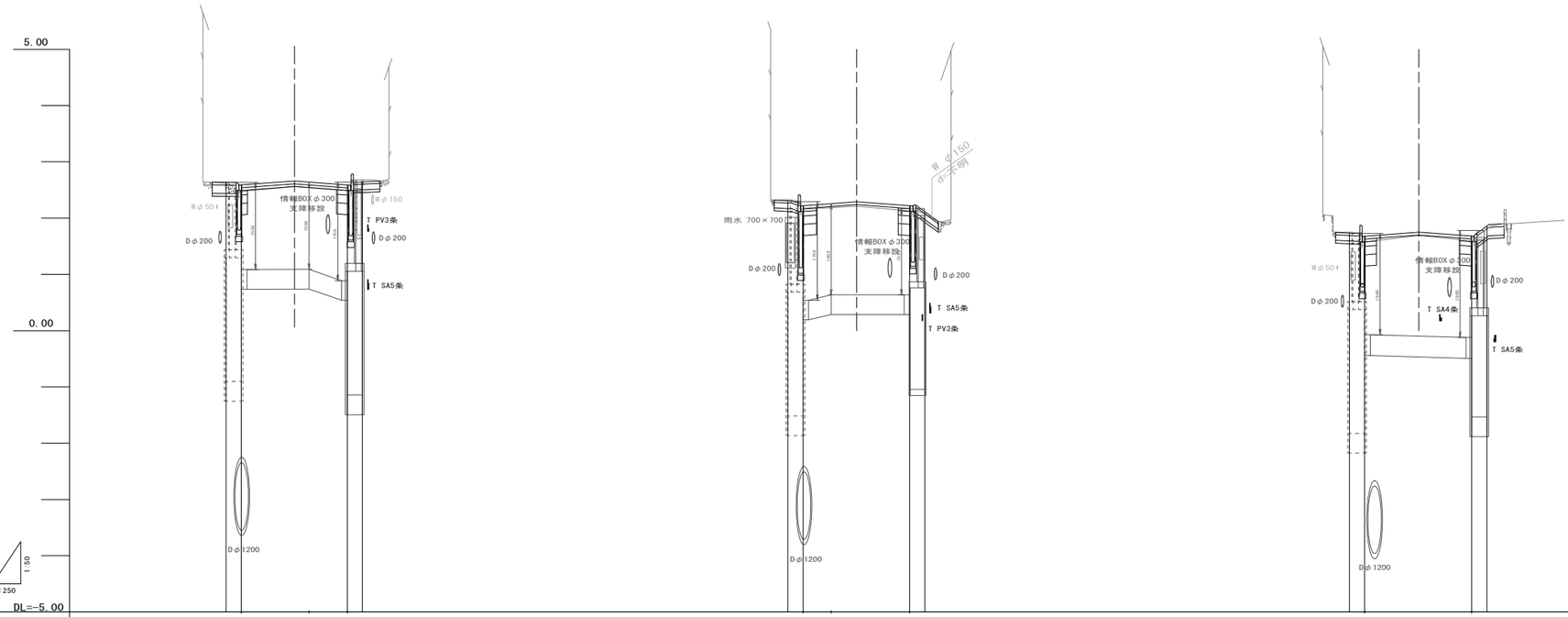
横断部

安来電線共同溝PFI事業 L=1146m









CCB計画高	0.74		0.74		0.54					0.19		0.29		0.29				−0.44		−0.49			
土 被 り	1.55		1.55		1.75					1.75		1.62		1.53				1.80		1.90			
計画地盤高	2.59		2.59		2.59					2.22		2.22		2.22				1.68		1.68			
現況地盤高	2.49		2.49		2.49					2.15		2.13		2.13				1.58		1.58			
追加距離	0.00		9.42							0.00		9.49						0.00		9.51			
単 距 離	0.00		9.42							0.00		9.49						0.00		9.51			
測 点	NO.41+6.56				NO.41+6.56					NO.47+7.48				NO.47+7.48				NO.55+14.49		NO.55+14.49			

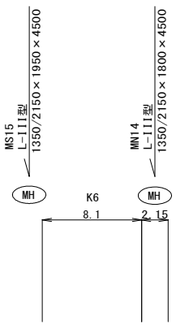
工事名	安来電線共同溝PFI事業		
図面名	縦断図(16)		
年 月 日			
縮 尺	V=1：50 H=1：250	図面番号	26 / 78
会社名			
事業者名	松江国道事務所		

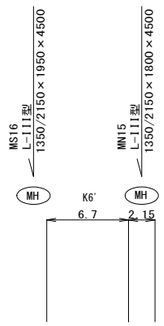
縦断図(17)

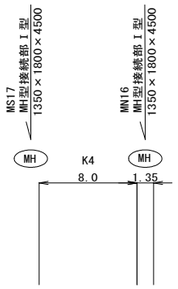
V=1:50
H=1:250

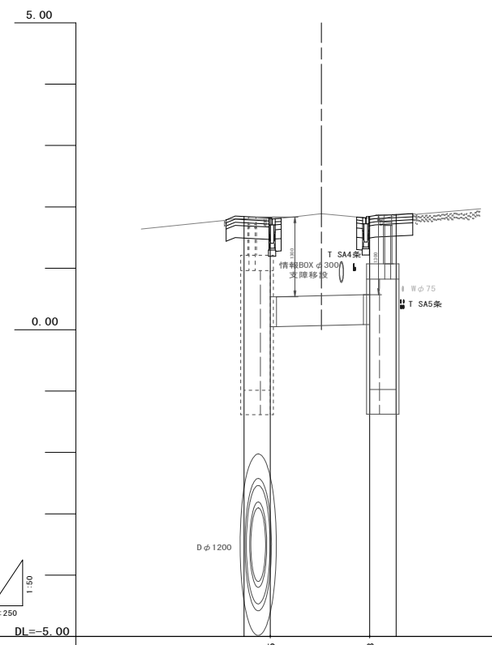
横断部

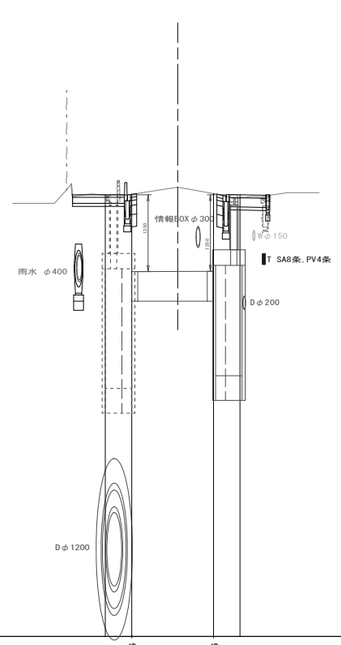
安来電線共同溝PFI事業 L=1146m

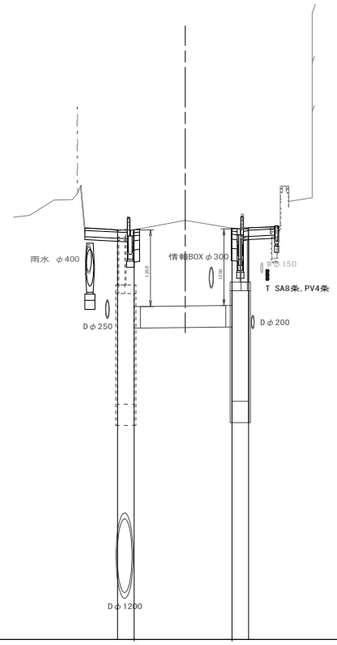












CCB計画高	0.05	0.08	0.46	0.46			0.08	0.09	
土 被 り	1.30	1.30	1.25	1.25			1.25	1.25	
計画地盤高	1.82	1.84	2.21				1.68	1.70	
現況地盤高	1.80	1.82	2.21	2.22			1.68	1.70	
追加距離	0.00	8.09	0.00	6.67			0.00	8.00	
単 距 離	0.00	8.09	0.00	6.67			0.00	8.00	
測 点	NO.61+3.41	NO.61+3.41	NO.64+4.57	NO.64+4.57			NO.65+16.40	NO.65+16.40	

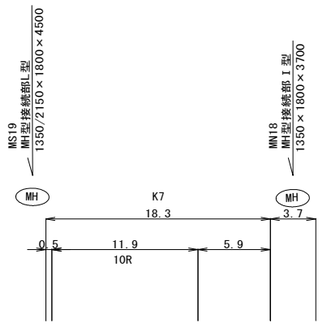
工事名	安来電線共同溝PFI事業		
図面名	縦断図(17)		
年 月 日			
縮 尺	V=1：50 H=1：250	図面番号	27 / 78
会社名			
事業者名	松江国道事務所		

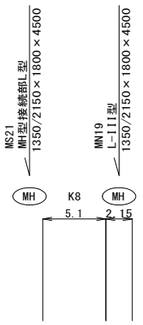
縦断図(18)

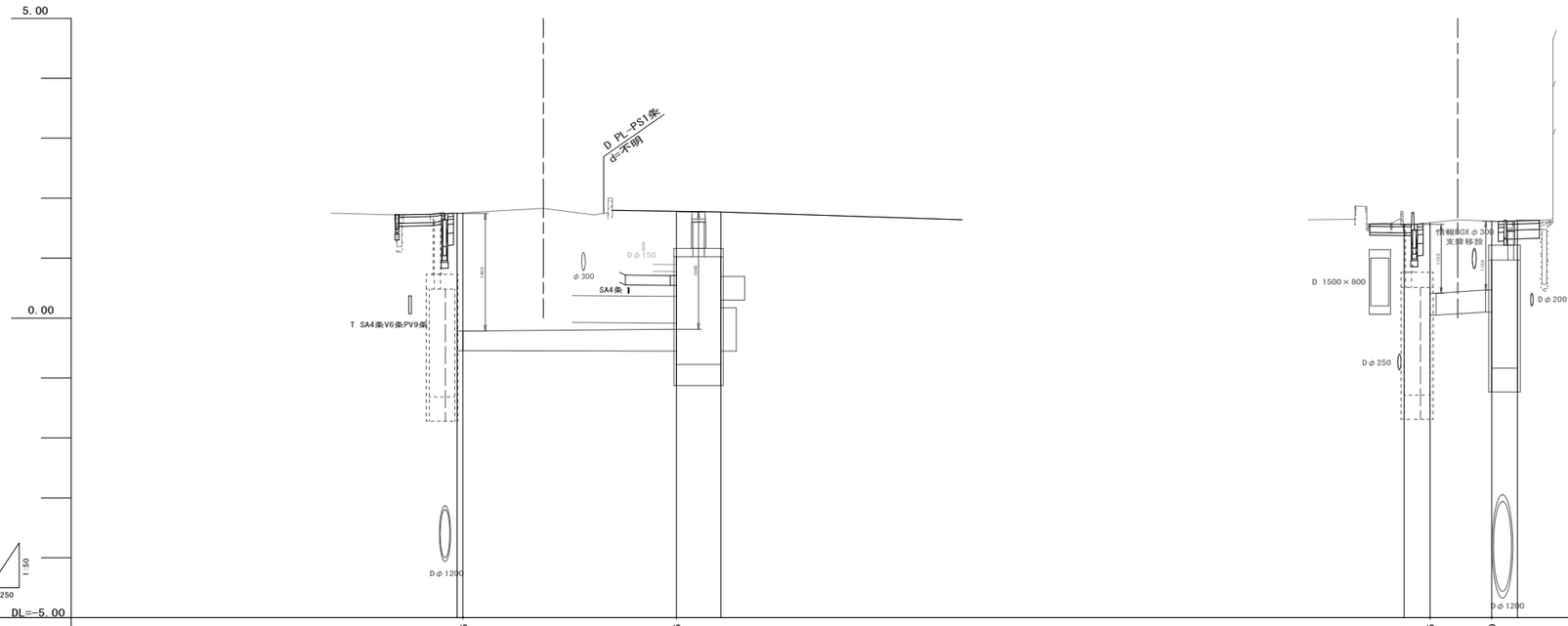
V=1:50
H=1:250

横断部

安来電線共同溝PFI事業 L=1146m







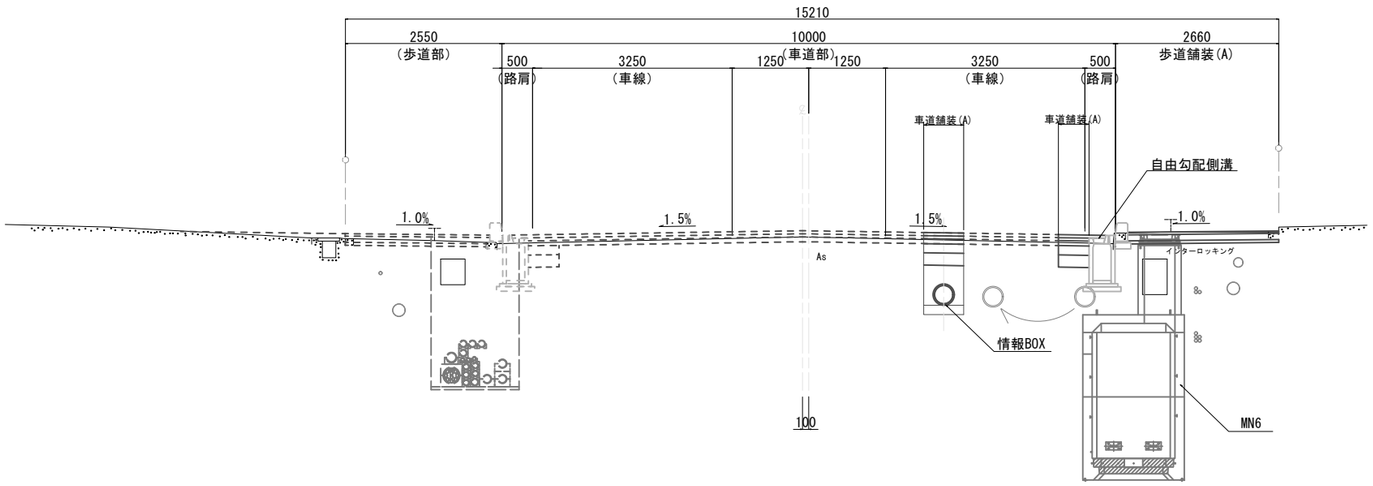
CCB計画高	0.55	0.55		0.05	0.10
土 被 り	1.96	1.96		1.15	1.15
計画地盤高		1.78			
現況地盤高	1.75	1.78		1.59	1.62
追加距離	0.00	17.80		0.00	5.14
単 距 離	0.00	17.80		0.00	5.14
測 点	NO.73+6.39	NO.73+17.00		NO.80+18.83	NO.80+19.83

工事名	安来電線共同溝PFI事業		
図面名	縦断図(18)		
年 月 日			
縮 尺	V=1：50 H=1：250	図面番号	28 / 78
会社名			
事業者名	松江国道事務所		

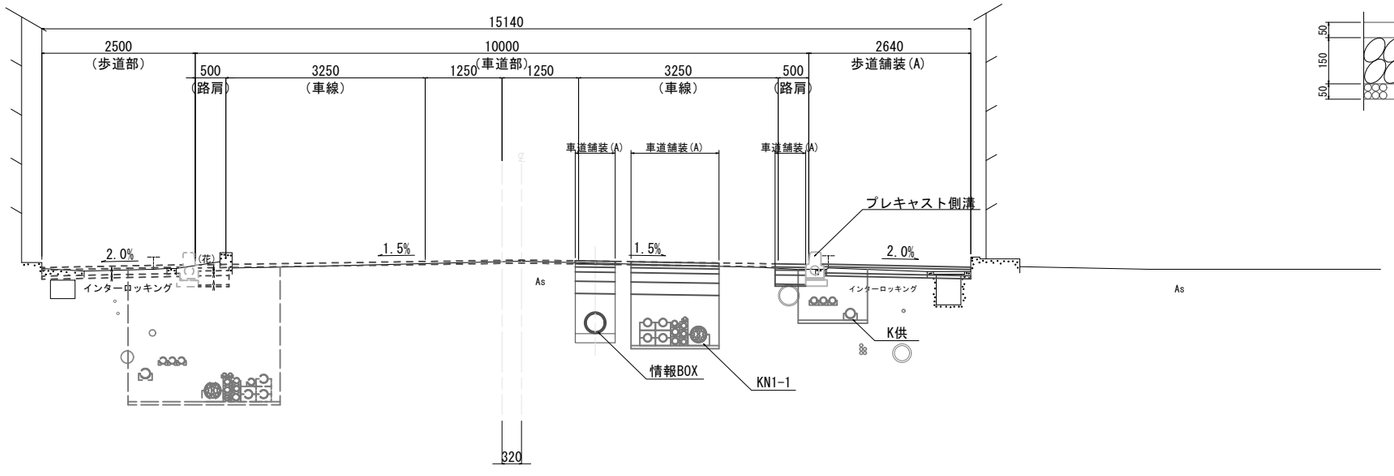
標準横断図

S=1:50

NO.38付近



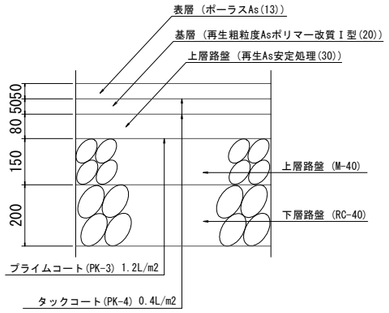
NO.28付近



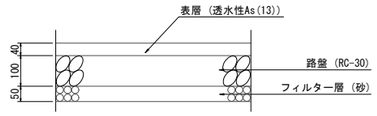
舗装構成

S=1:10

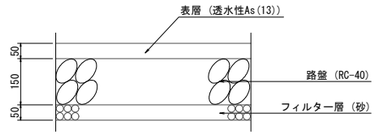
車道舗装(A)
(CBR≧12)



歩道舗装(A)



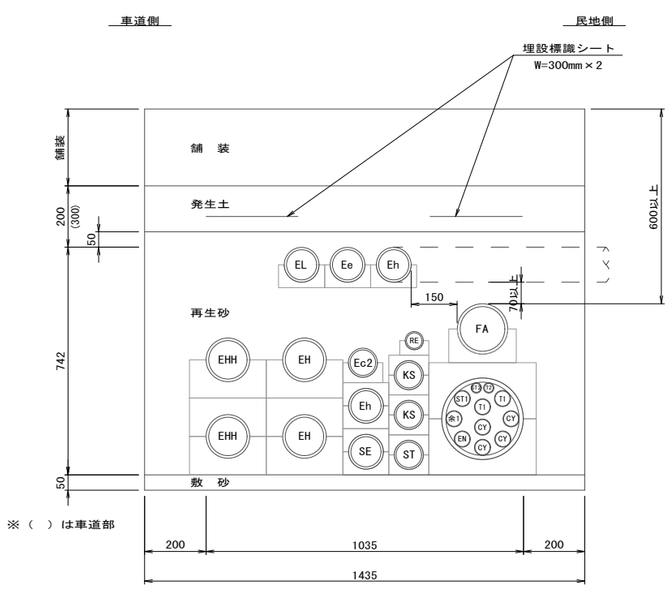
歩道舗装(B)



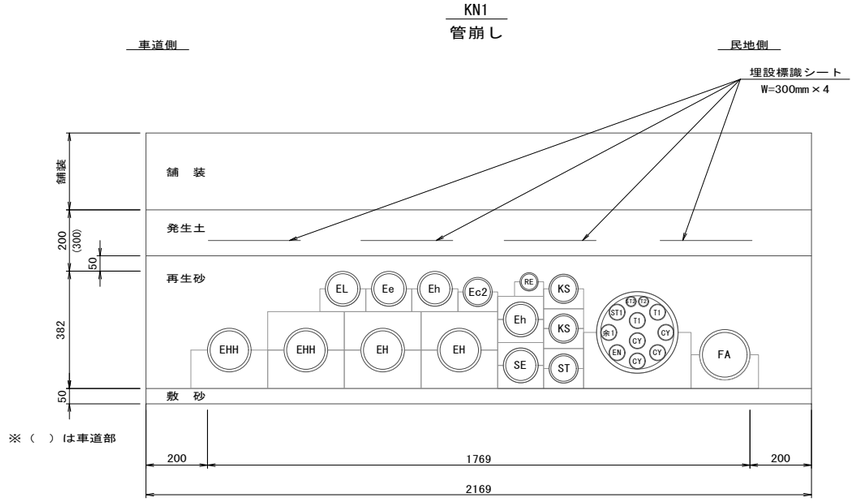
工事名	安来電線共同溝PFI事業		
図面名	標準横断図		
作成年月日			
縮　尺	1:50	図面番号	29 / 78
会社名			
事業者名	松江国道事務所		

管路部標準断面図（1）　S=1:10

KN1



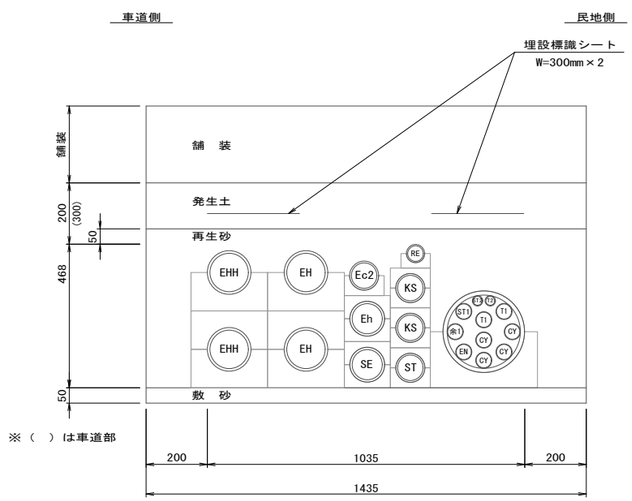
KN1
管崩し



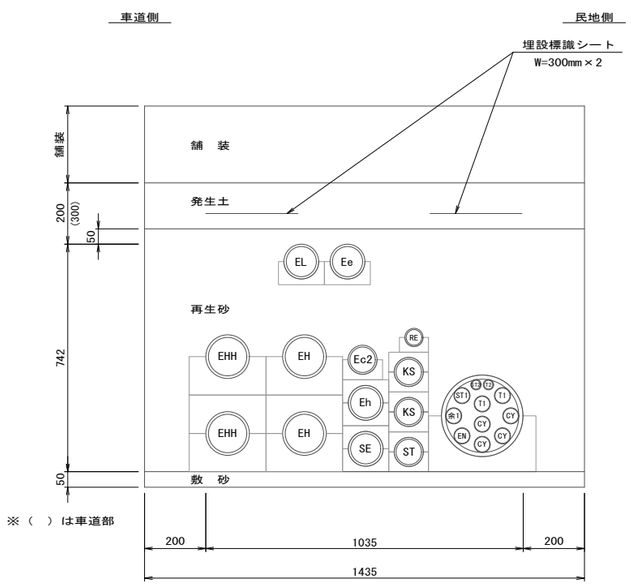
企業名		記号	管路			条数 北側(上り線)				備考
			呼び径	管外径	管種	KN1	KN1-1	KN1-2	KN1-3	
中国電力		EHH	φ125	φ142.5	HIVP	2	2	2	_	特別高圧幹線
		EH	φ125	φ142.5	HIVP	2	2	2	_	高圧幹線
		Eh	φ100	φ114.0	HIVP	2	1	1	_	高圧供給線
		EL	φ100	φ114.0	HIVP	1	_	1	_	低圧幹線
		Ec1	φ75	φ96.0	PV	_	_	_	_	保安通信線
		Ec2	φ75	φ96.0	PV	1	1	1	_	保安通信線
		Ee	φ100	φ114.0	VP	1	_	1	_	電力保安通信線
ＮＴＴ	さや管	T1	φ50	φ54.0	SU	2	2	2	2	
		T2	φ30	φ34.0	SU	1	1	1	1	
		T	φ50	φ60.0	PV	_	_	_	_	
ＮＴＴドコモ	さや管	D	φ30	φ34.0	SU	_	_	_	_	MN15-TN2間
日立	さや管	H	φ50	φ54.0	SU	_	_	_	_	
		H1	φ50	φ60.0	PV	_	_	_	_	
ｴﾈﾙｷﾞｱｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝｽﾞ	さや管	EN	φ50	φ54.0	SU	1	1	1	1	
		EN1	φ75	φ96.0	PV	_	_	_	_	
		EN2	φ50	φ60.0	PV	_	_	_	_	
やすぎどじょっこＴＶ	さや管	CY	φ50	φ54.0	SU	4	4	4	4	
		CY1	φ50	φ60.0	PV	_	_	_	_	
鳥取ミュージック	さや管	CT	φ50	φ54.0	SU	_	_	_	_	
		CT1	φ50	φ60.0	PV	_	_	_	_	
道路管理者	さや管	R2	φ50	φ54.0	SU	_	_	_	_	ローカル用
		Rs	φ50	φ60.0	PV	_	_	_	_	予備管
		RE	φ50	φ60.0	PV	1	1	1	1	照明用
		KS	φ75	φ96.0	PV	2	2	2	2	信号用
電線共同溝予備管		SE	φ100	φ114.0	HIVP	1	1	1	1	電力用予備
		ST	φ75	φ96.0	PV	1	1	1	1	通信用予備
	さや管	ST1	φ50	φ54.0	SU	1	1	1	1	共通予備
		ST2	φ30	φ34.0	SU	1	1	1	1	共通予備
余剰管	さや管	余1	φ50	φ54.0	SU	1	1	1	1	
		余2	φ30	φ34.0	SU	_	_	_	_	
共用FA		FA	φ150	φ165.0	VP	1	_	_	1	

※舗装厚　歩道部：250mm
　　車道部：530mm
※MN12-MN14，TN2-MN19の区間は、ボディ管拡大図を参照のこと

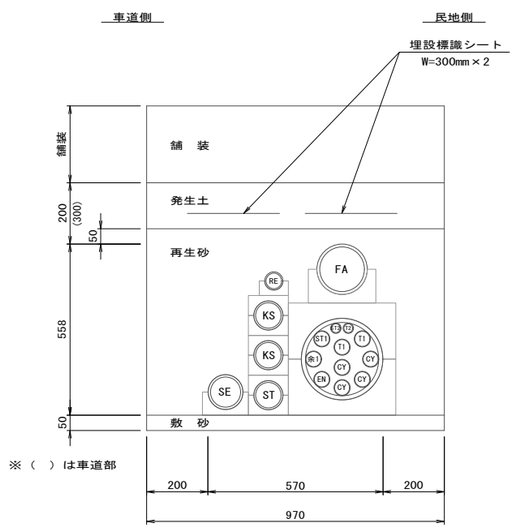
KN1-1



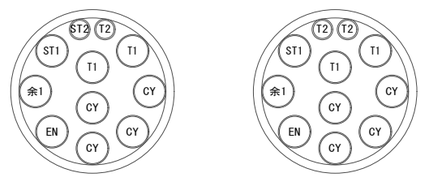
KN1-2



KN1-3



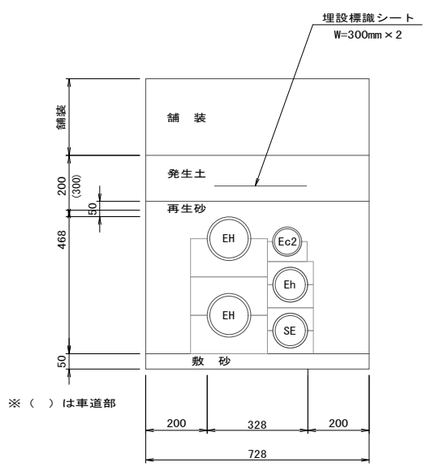
ボディ管拡大図
（φ250）



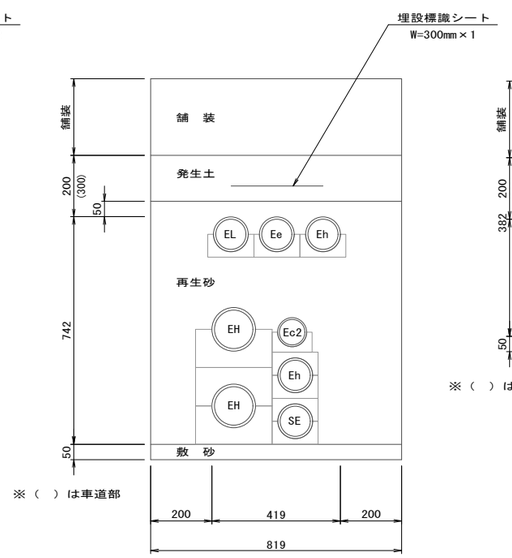
工事名	安来電線共同溝PFI事業		
図面名	管路部標準断面図（1）		
作成年月日			
縮　尺	S=1:10	図面番号	30 / 78
会社名			
事業者名	松江国道事務所		

管路部標準断面図（2）　S=1:10

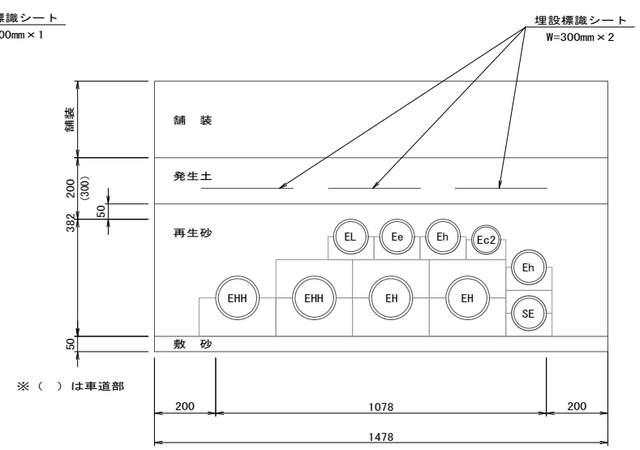
KN1-4



KN1-5



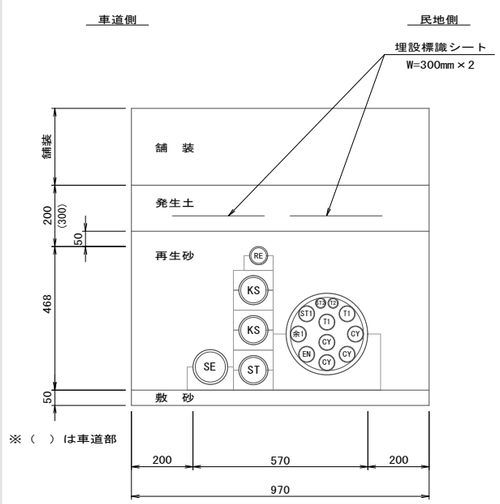
KN1-6



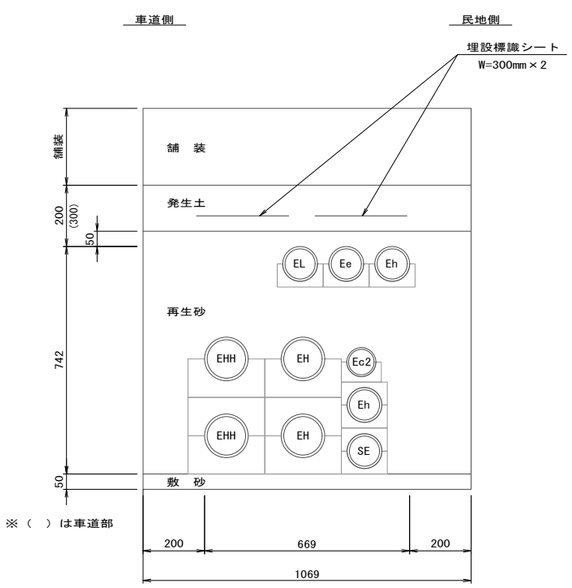
企業名		記号	管路			条数 北側(上り線)							備考
			呼び径	管外径	管種	KN1-4	KN1-5	KN1-6	KN1-7	KN1-8	KN1-T	KN1-T1	
中国電力		EHH	φ125	φ142.5	HIVP	_	_	2	_	2	_	_	特別高圧幹線
		EH	φ125	φ142.5	HIVP	2	2	2	_	2	_	_	高圧幹線
		Eh	φ100	φ114.0	HIVP	1	2	2	_	2	_	_	高圧供給線
		EL	φ100	φ114.0	HIVP	_	1	1	_	1	_	_	低圧幹線
		Ec1	φ75	φ96.0	PV	_	_	_	_	_	_	_	保安通信線
		Ec2	φ75	φ96.0	PV	1	1	1	_	1	_	_	保安通信線
		Ee	φ100	φ114.0	VP	_	1	1	_	1	_	_	電力保安通信線
ＮＴＴ	さや管	T1	φ50	φ54.0	SU	_	_	_	2	_	2	2	
		T2	φ30	φ34.0	SU	_	_	_	1	_	1	1	
		T	φ50	φ60.0	PV	_	_	_	_	_	_	_	
ＮＴＴドコモ	さや管	D	φ30	φ34.0	SU	_	_	_	_	_	_	_	MN15-TN2間
日立	さや管	H	φ50	φ54.0	SU	_	_	_	_	_	_	_	
		H1	φ50	φ60.0	PV	_	_	_	_	_	_	_	
ｴﾈﾙｷﾞｱｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝｽﾞ	さや管	EN	φ50	φ54.0	SU	_	_	_	1	_	1	1	
		EN1	φ75	φ96.0	PV	_	_	_	_	_	_	_	
		EN2	φ50	φ60.0	PV	_	_	_	_	_	_	_	
やすぎどじょっこＴＶ	さや管	CY	φ50	φ54.0	SU	_	_	_	4	_	4	4	
		CY1	φ50	φ60.0	PV	_	_	_	_	_	_	_	
鳥取ミュージック	さや管	CT	φ50	φ54.0	SU	_	_	_	_	_	_	_	
		CT1	φ50	φ60.0	PV	_	_	_	_	_	_	_	
道路管理者	さや管	R2	φ50	φ54.0	SU	_	_	_	_	_	_	_	ローカル用
		Rs	φ50	φ60.0	PV	_	_	_	_	_	_	_	予備管
		RE	φ50	φ60.0	PV	_	_	_	1	_	1	1	照明用
		KS	φ75	φ96.0	PV	_	_	_	2	_	2	2	信号用
電線共同溝予備管		SE	φ100	φ114.0	HIVP	1	1	1	1	1	_	_	電力用予備
		ST	φ75	φ96.0	PV	_	_	_	1	_	1	1	通信用予備
	さや管	ST1	φ50	φ54.0	SU	_	_	_	1	_	1	1	共通予備
		ST2	φ30	φ34.0	SU	_	_	_	1	_	1	1	共通予備
余剰管	さや管	余1	φ50	φ54.0	SU	_	_	_	1	_	1	1	
		余2	φ30	φ34.0	SU	_	_	_	_	_	_	_	
共用FA		FA	φ150	φ165.0	VP	_	_	_	_	_	1	_	

※舗装厚　歩道部：250mm
　　車道部：530mm
※MN12-MN14，TN2-MN19の区間は、ボディ管拡大図を参照のこと

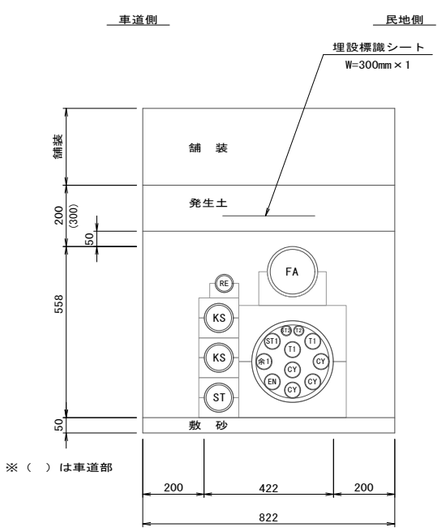
KN1-7



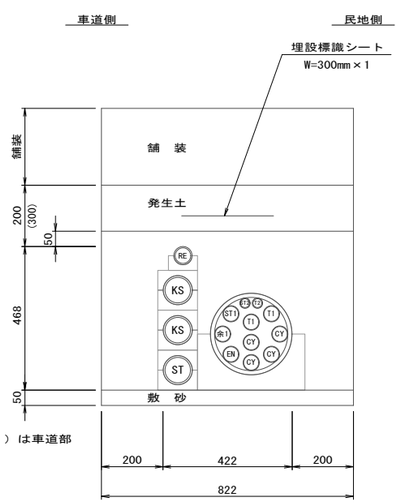
KN1-8



KN1-T



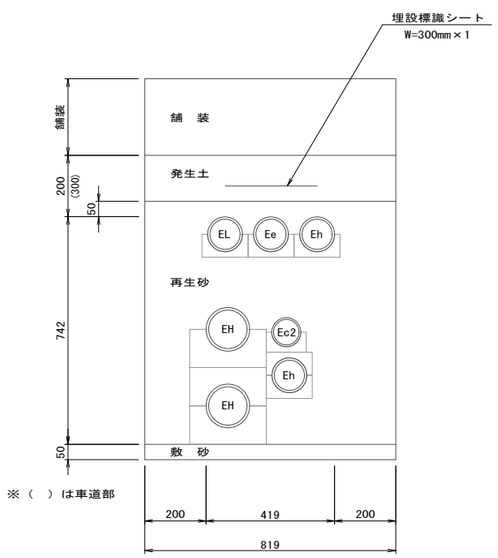
KN1-T1



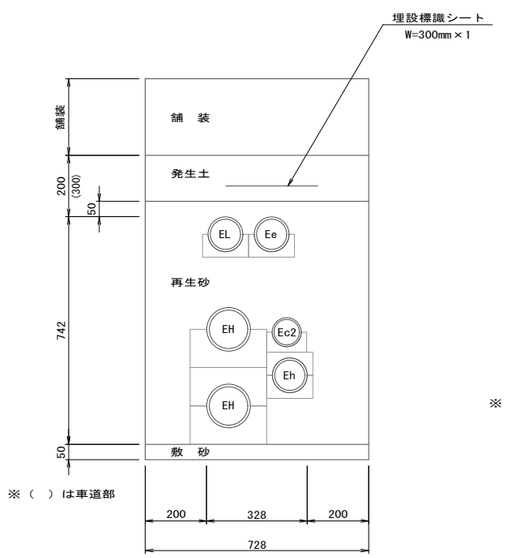
工事名	安来電線共同溝PFI事業		
図面名	管路部標準断面図（2）		
作成年月日			
縮　尺	S=1:10	図面番号	31 / 78
会社名			
事業者名	松江国道事務所		

管路部標準断面図（3）　S=1:10

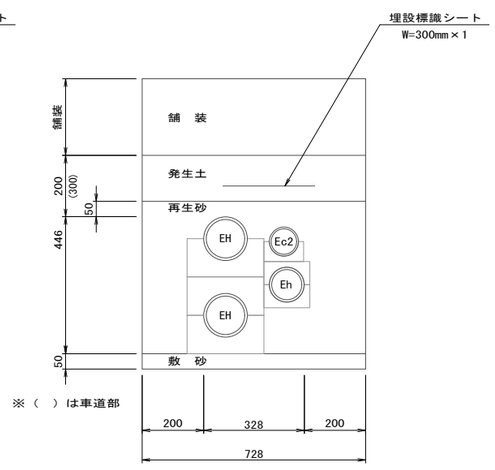
KN1-E



KN1-E1



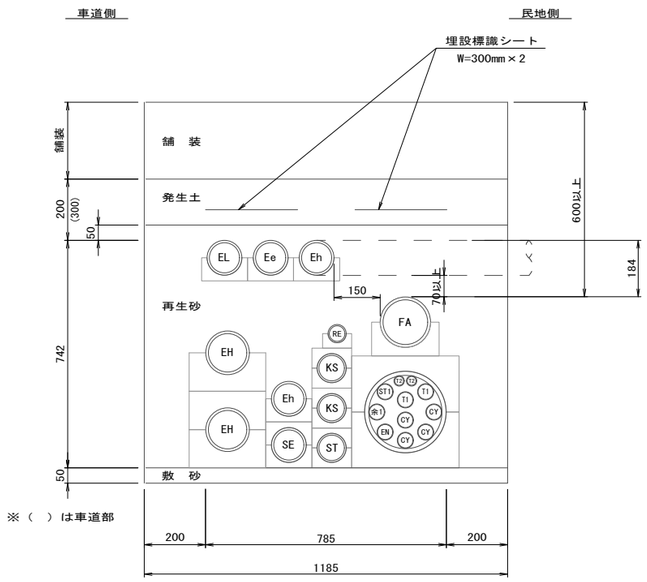
KN1-E2



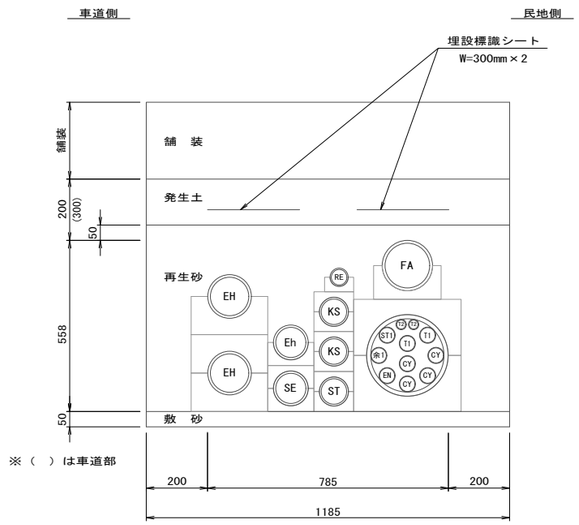
企業名		記号	管路			条数 北側(上り線)					備考
			呼び径	管外径	管種	KN1-E	KN1-E1	KN1-E2	KN2	KN2-1	
中国電力		EHH	φ125	φ142.5	HIVP	_	_	_	_	_	特別高圧幹線
		EH	φ125	φ142.5	HIVP	2	2	2	2	2	高圧幹線
		Eh	φ100	φ114.0	HIVP	2	1	1	2	1	高圧供給線
		EL	φ100	φ114.0	HIVP	1	1	_	1	_	低圧幹線
		Ec1	φ75	φ96.0	PV	_	_	_	_	_	保安通信線
		Ec2	φ75	φ96.0	PV	1	1	1	_	_	保安通信線
		Ee	φ100	φ114.0	VP	1	1	_	1	_	電力保安通信線
ＮＴＴ	さや管	T1	φ50	φ54.0	SU	_	_	_	2	2	
		T2	φ30	φ34.0	SU	_	_	_	2	2	
		T	φ50	φ60.0	PV	_	_	_	_	_	
ＮＴＴドコモ	さや管	D	φ30	φ34.0	SU	_	_	_	_	_	
日立	さや管	H	φ50	φ54.0	SU	_	_	_	_	_	
		H1	φ50	φ60.0	PV	_	_	_	_	_	
ｴﾈﾙｷﾞｱｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝｽﾞ	さや管	EN	φ50	φ54.0	SU	_	_	_	1	1	
		EN1	φ75	φ96.0	PV	_	_	_	_	_	
		EN2	φ50	φ60.0	PV	_	_	_	_	_	
やすぎどじょっこＴＶ	さや管	CY	φ50	φ54.0	SU	_	_	_	4	4	
		CY1	φ50	φ60.0	PV	_	_	_	_	_	
鳥取ミュージック	さや管	CT	φ50	φ54.0	SU	_	_	_	_	_	
		CT1	φ50	φ60.0	PV	_	_	_	_	_	
道路管理者	さや管	R2	φ50	φ54.0	SU	_	_	_	_	_	ローカル用
		Rs	φ50	φ60.0	PV	_	_	_	_	_	予備管
		RE	φ50	φ60.0	PV	_	_	_	1	1	照明用
		KS	φ75	φ96.0	PV	_	_	_	2	2	信号用
電線共同溝予備管		SE	φ100	φ114.0	HIVP	_	_	_	1	1	電力用予備
		ST	φ75	φ96.0	PV	_	_	_	1	1	通信用予備
	さや管	ST1	φ50	φ54.0	SU	_	_	_	1	1	共通予備
		ST2	φ30	φ34.0	SU	_	_	_	0	0	共通予備
余剰管	さや管	余1	φ50	φ54.0	SU	_	_	_	1	1	
		余2	φ30	φ34.0	SU	_	_	_	_	_	
共用FA		FA	φ150	φ165.0	VP	_	_	_	1	1	

※舗装厚　歩道部：250mm
　　車道部：530mm

KN2



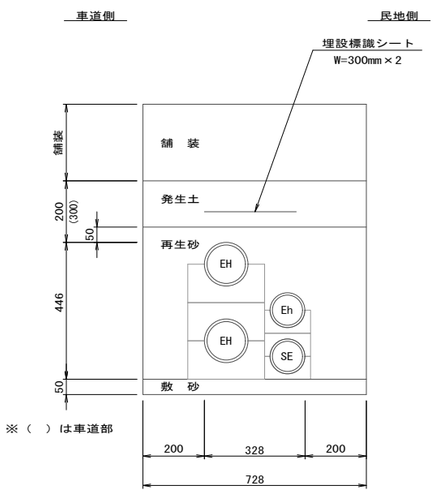
KN2-1



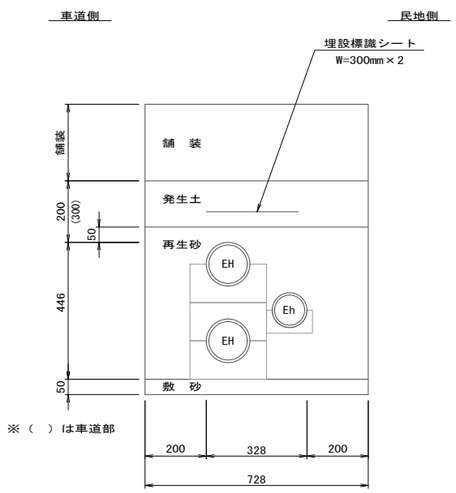
工事名	安来電線共同溝PFI事業		
図面名	管路部標準断面図（3）		
作成年月日			
縮　尺	S=1:10	図面番号	32 / 78
会社名			
事業者名	松江国道事務所		

管路部標準断面図（4）　S=1:10

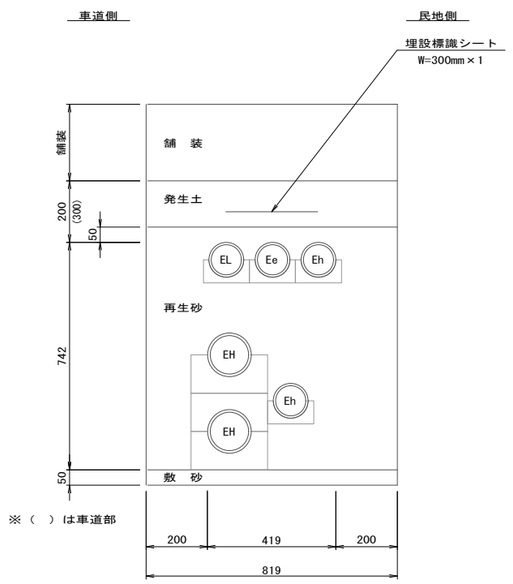
KN2-2



KN2-3



KN2-E



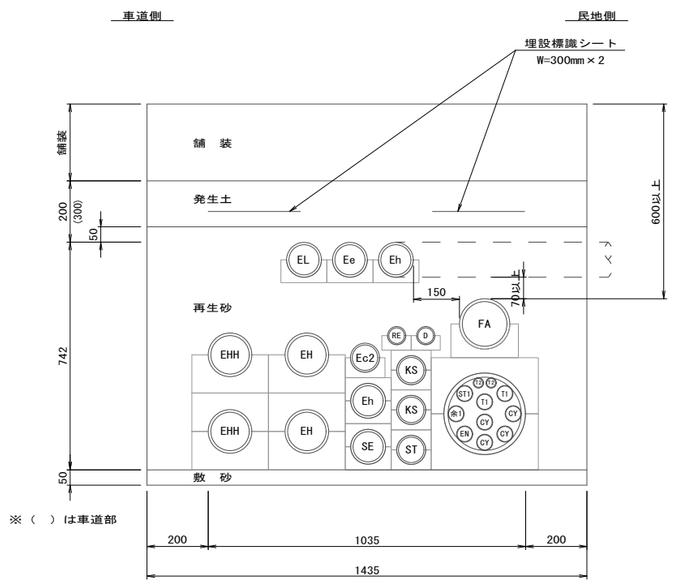
企業名		記号	管路			条数 北側(上り線)			備考
			呼び径	管外径	管種	KN2-2	KN2-3	KN2-E	
中国電力		EHH	φ125	φ142.5	HIVP	_	_	_	特別高圧幹線
		EH	φ125	φ142.5	HIVP	2	2	2	高圧幹線
		Eh	φ100	φ114.0	HIVP	1	1	2	高圧供給線
		EL	φ100	φ114.0	HIVP	_	_	1	低圧幹線
		Ec1	φ75	φ96.0	PV	_	_	_	保安通信線
		Ec2	φ75	φ96.0	PV	_	_	_	保安通信線
		Ee	φ100	φ114.0	VP	_	_	1	電力保安通信線
ＮＴＴ	さや管	T1	φ50	φ54.0	SU	_	_	_	
		T2	φ30	φ34.0	SU	_	_	_	
		T	φ50	φ60.0	PV	_	_	_	
ＮＴＴドコモ	さや管	D	φ30	φ34.0	SU	_	_	_	
日立	さや管	H	φ50	φ54.0	SU	_	_	_	
		H1	φ50	φ60.0	PV	_	_	_	
ｴﾈﾙｷﾞｱｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝｽﾞ	さや管	EN	φ50	φ54.0	SU	_	_	_	
		EN1	φ75	φ96.0	PV	_	_	_	
		EN2	φ50	φ60.0	PV	_	_	_	
やすぎどじょっこＴＶ	さや管	CY	φ50	φ54.0	SU	_	_	_	
		CY1	φ50	φ60.0	PV	_	_	_	
鳥取ミュージック	さや管	CT	φ50	φ54.0	SU	_	_	_	
		CT1	φ50	φ60.0	PV	_	_	_	
道路管理者	さや管	R2	φ50	φ54.0	SU	_	_	_	ローカル用
		Rs	φ50	φ60.0	PV	_	_	_	予備管
		RE	φ50	φ60.0	PV	_	_	_	照明用
		KS	φ75	φ96.0	PV	_	_	_	信号用
電線共同溝予備管		SE	φ100	φ114.0	HIVP	1	_	_	電力用予備
		ST	φ75	φ96.0	PV	_	_	_	通信用予備
	さや管	ST1	φ50	φ54.0	SU	_	_	_	共通予備
		ST2	φ30	φ34.0	SU	_	_	_	共通予備
余剰管	さや管	余1	φ50	φ54.0	SU	_	_	_	
		余2	φ30	φ34.0	SU	_	_	_	
共用FA		FA	φ150	φ165.0	VP	_	_	_	

※舗装厚　歩道部：250mm
　　車道部：530mm

工事名	安来電線共同溝PFI事業		
図面名	管路部標準断面図（4）		
作成年月日			
縮　尺	S=1:10	図面番号	33 / 78
会社名			
事業者名	松江国道事務所		

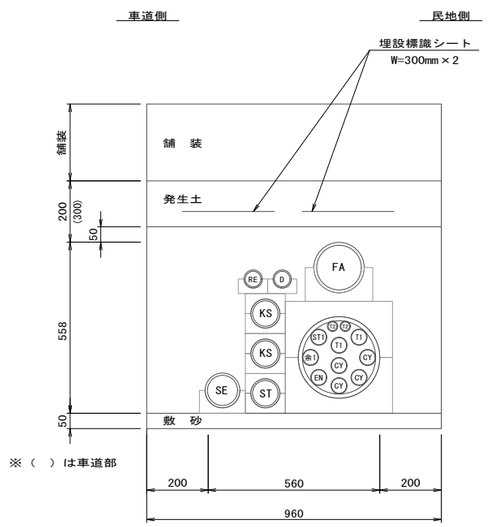
管路部標準断面図（5）　S=1:10

KN3



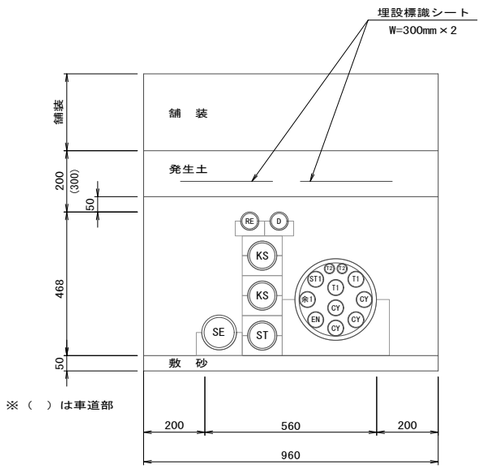
※（　）は車道部

KN3-1



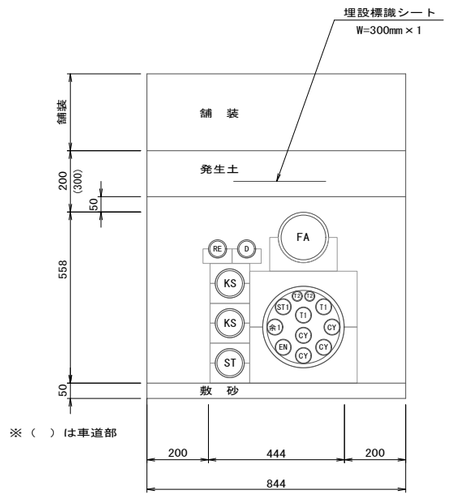
※（　）は車道部

KN3-2



※（　）は車道部

KN3-T



※（　）は車道部

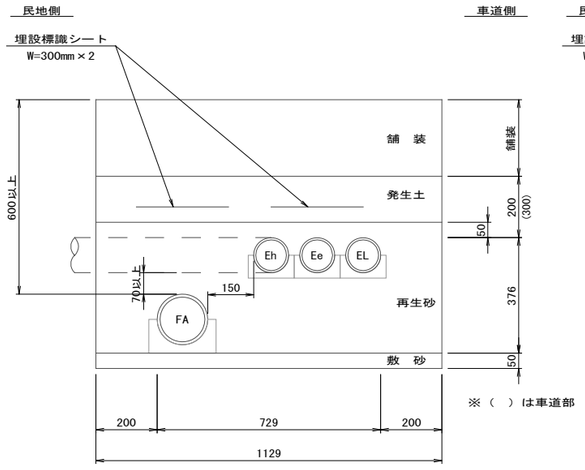
企業名		記号	管路			条数 北側(上り線)					備考
			呼び径	管外径	管種	KN3	KN3-1	KN3-2	KN3-T		
中国電力		EHH	φ125	φ142.5	HIVP	2	_	_	_		特別高圧幹線
		EH	φ125	φ142.5	HIVP	2	_	_	_		高圧幹線
		Eh	φ100	φ114.0	HIVP	2	_	_	_		高圧供給線
		EL	φ100	φ114.0	HIVP	1	_	_	_		低圧幹線
		Ec1	φ75	φ96.0	PV	_	_	_	_		保安通信線
		Ec2	φ75	φ96.0	PV	1	_	_	_		保安通信線
		Ee	φ100	φ114.0	VP	1	_	_	_		電力保安通信線
ＮＴＴ	さや管	T1	φ50	φ54.0	SU	2	2	2	2		
		T2	φ30	φ34.0	SU	2	2	2	2		
		T	φ50	φ60.0	PV	_	_	_	_		
ＮＴＴドコモ	さや管	D	φ50	φ54.0	SU	_	_	_	_		
		D	φ50	φ60.0	PV	1	1	1	1		
日立	さや管	H	φ50	φ54.0	SU	_	_	_	_		
		H1	φ50	φ60.0	PV	_	_	_	_		
ｴﾈﾙｷﾞｱｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝｽﾞ	さや管	EN	φ50	φ54.0	SU	1	1	1	1		
		EN1	φ75	φ96.0	PV	_	_	_	_		
		EN2	φ50	φ60.0	PV	_	_	_	_		
やすぎどじょっこＴＶ	さや管	CY	φ50	φ54.0	SU	4	4	4	4		
		CY1	φ50	φ60.0	PV	_	_	_	_		
鳥取ミュージック	さや管	CT	φ50	φ54.0	SU	_	_	_	_		
		CT1	φ50	φ60.0	PV	_	_	_	_		
道路管理者	さや管	R2	φ50	φ54.0	SU	_	_	_	_		ローカル用
		Rs	φ50	φ60.0	PV	_	_	_	_		予備管
		RE	φ50	φ60.0	PV	1	1	1	1		照明用
		KS	φ75	φ96.0	PV	2	2	2	2		信号用
電線共同溝予備管		SE	φ100	φ114.0	HIVP	1	1	1	_		電力用予備
		ST	φ75	φ96.0	PV	1	1	1	1		通信用予備
	さや管	ST1	φ50	φ54.0	SU	1	1	1	1		共通予備
		ST2	φ30	φ34.0	SU	0	0	0	0		共通予備
余剰管	さや管	余1	φ50	φ54.0	SU	1	1	1	1		
		余2	φ30	φ34.0	SU	_	_	_	_		
共用FA		FA	φ150	φ165.0	VP	1	1	_	1		

※舗装厚　歩道部：250mm
　　車道部：530mm

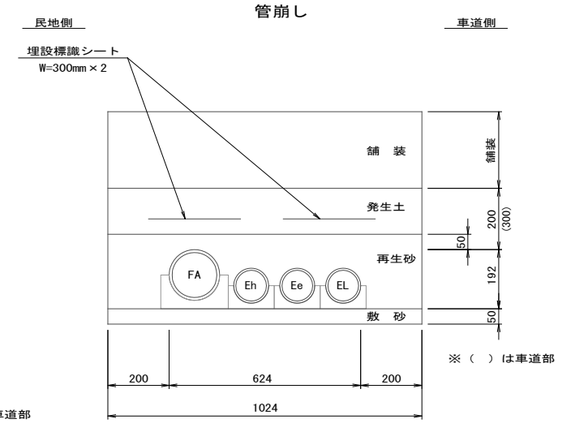
工事名	安来電線共同溝PFI事業		
図面名	管路部標準断面図（5）		
作成年月日			
縮　尺	S=1:10	図面番号	34 / 78
会社名			
事業者名	松江国道事務所		

管路部標準断面図（6）　S=1:10

K供



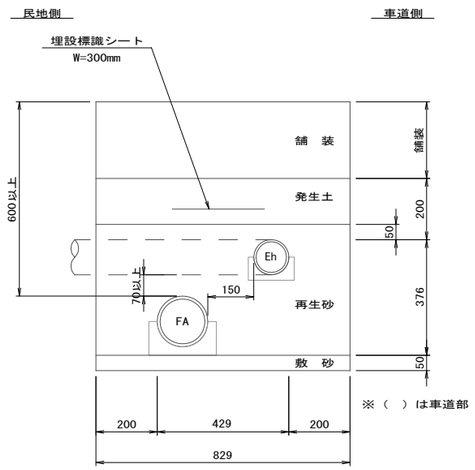
K供
管崩し



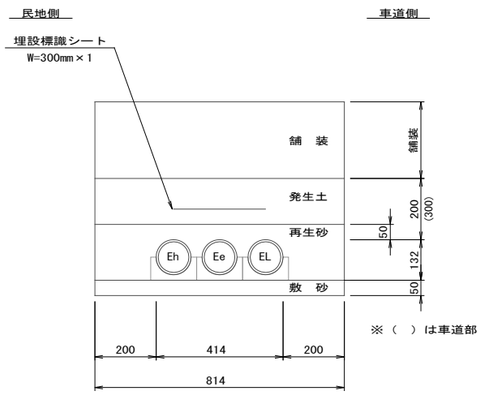
企業名		記号	管　路			条　数			備　考
			呼び径	管外径	管種	K供	K供-1	K供-2	
中国電力		EHH	φ125	φ142.5	HIVP	_	_	_	特別高圧幹線
		EH	φ125	φ142.5	HIVP	_	_	_	高圧幹線
		Eh	φ100	φ114.0	HIVP	1	1	1	高圧供給線
		EL	φ100	φ114.0	HIVP	1	_	1	低圧幹線
		Ec1	φ75	φ96.0	PV	_	_	_	保安通信線
		Ec2	φ75	φ96.0	PV	_	_	_	保安通信線
		Ee	φ100	φ114.0	VP	1	_	1	電力保安通信線
ＮＴＴ	さや管	T1	φ50	φ54.0	SU	_	_	_	
		T2	φ30	φ34.0	SU	_	_	_	
		T	φ50	φ60.0	PV	_	_	_	
ＮＴＴドコモ	さや管	D	φ30	φ34.0	SU	_	_	_	
日立	さや管	H	φ50	φ54.0	SU	_	_	_	
		H1	φ50	φ60.0	PV	_	_	_	
ｴﾈﾙｷﾞｱｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝｽﾞ	さや管	EN	φ50	φ54.0	SU	_	_	_	
		EN1	φ75	φ96.0	PV	_	_	_	
		EN2	φ50	φ60.0	PV	_	_	_	
やすぎどじょっこＴＶ	さや管	CY	φ50	φ54.0	SU	_	_	_	
		CY1	φ50	φ60.0	PV	_	_	_	
鳥取ミュージック	さや管	CT	φ50	φ54.0	SU	_	_	_	
		CT1	φ50	φ60.0	PV	_	_	_	
道路管理者		R2	φ50	φ54.0	PV	_	_	_	ローカル用
		Rs	φ50	φ60.0	PV	_	_	_	予備管
		RE	φ50	φ60.0	PV	_	_	_	照明用
		KS	φ75	φ96.0	PV	_	_	_	信号用
電線共同溝予備管		SE	φ100	φ114.0	HIVP	_	_	_	電力用予備
		ST	φ75	φ96.0	PV	_	_	_	通信用予備
	さや管	ST1	φ50	φ54.0	SU	_	_	_	共通予備
		ST2	φ30	φ34.0	SU	_	_	_	共通予備
余剰管	さや管	余1	φ50	φ54.0	SU	_	_	_	
		余2	φ30	φ34.0	SU	_	_	_	
共用FA		FA	φ150	φ165.0	VP	1	1	_	

※舗装厚　歩道部：250mm
　　車道部：530mm

K供-1



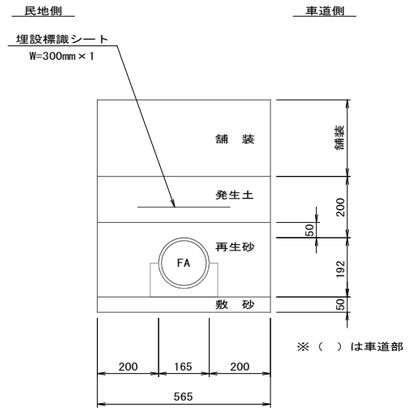
K供-2



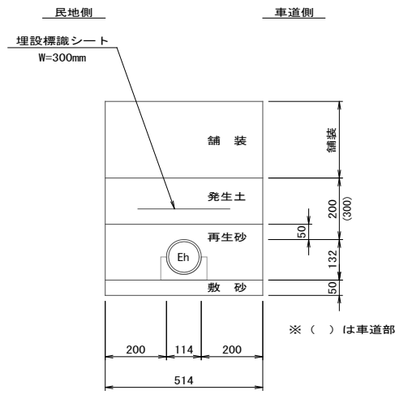
工事名	安来電線共同溝PFI事業		
図面名	管路部標準断面図（6）		
作成年月日			
縮　尺	S=1:10	図面番号	35 / 78
会社名			
事業者名	松江国道事務所		

管路部標準断面図（7）　S=1:10

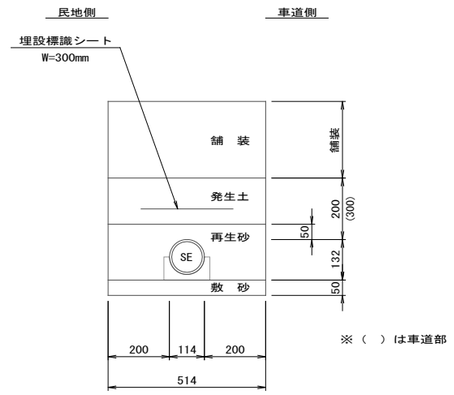
FA



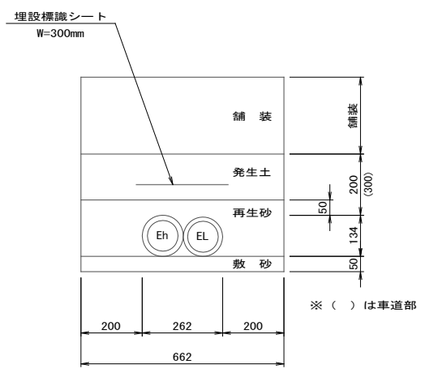
Eh



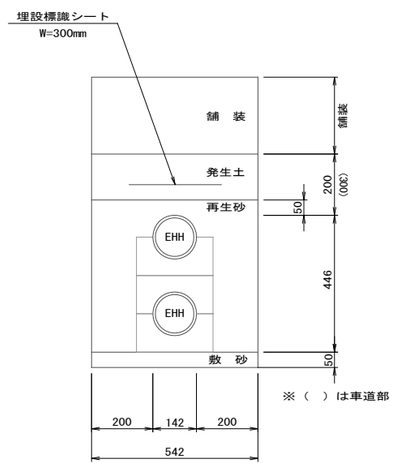
SE



Eh, EL
柱状型機器



EHH



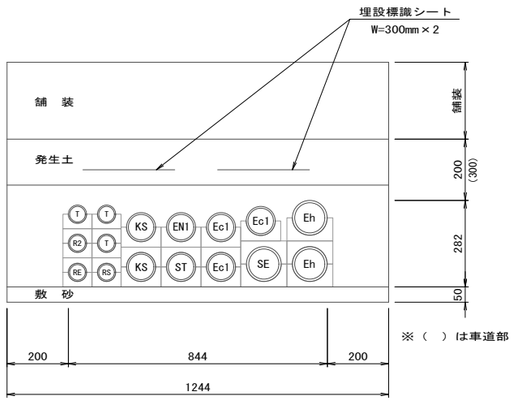
企業名		記号	管路			条数					備考
			呼び径	管外径	管種	FA	Eh	SE	Eh, EL	EHH	
中国電力		EHH	φ125	φ142.5	HIVP	_	_	_	_	2	特別高圧幹線
		EH	φ125	φ142.5	HIVP	_	_	_	_	_	高圧幹線
		Eh	φ100	φ114.0	HIVP	_	1	_	_	_	高圧供給線
				φ134.0	SFP	_	_	_	1	_	
		EL	φ100	φ114.0	HIVP	_	_	_	_	_	低圧幹線
				φ128.0	FEP	_	_	_	1	_	
		Ec1	φ75	φ96.0	PV	_	_	_	_	_	保安通信線
		Ec2	φ75	φ96.0	PV	_	_	_	_	_	保安通信線
		Ee	φ100	φ114.0	VP	_	_	_	_	_	電力保安通信線
ＮＴＴ	さや管	T1	φ50	φ54.0	SU	_	_	_	_	_	
		T2	φ30	φ34.0	SU	_	_	_	_	_	
		T	φ50	φ60.0	PV	_	_	_	_	_	
ＮＴＴドコモ	さや管	D	φ30	φ34.0	SU	_	_	_	_	_	
日立	さや管	H	φ50	φ54.0	SU	_	_	_	_	_	
		HI	φ50	φ60.0	PV	_	_	_	_	_	
ｴﾈﾙｷﾞｱｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝｽﾞ	さや管	EN	φ50	φ54.0	SU	_	_	_	_	_	
		EN1	φ75	φ96.0	PV	_	_	_	_	_	
		EN2	φ50	φ60.0	PV	_	_	_	_	_	
やすぎどじょっこＴＶ	さや管	CY	φ50	φ54.0	SU	_	_	_	_	_	
		CY1	φ50	φ60.0	PV	_	_	_	_	_	
鳥取ミュージック	さや管	CT	φ50	φ54.0	SU	_	_	_	_	_	
		CT1	φ50	φ60.0	PV	_	_	_	_	_	
道路管理者		R2	φ50	φ60.0	PV	_	_	_	_	_	ローカル用
		Rs	φ50	φ60.0	PV	_	_	_	_	_	予備管
		RE	φ50	φ60.0	PV	_	_	_	_	_	照明用
		KS	φ75	φ96.0	PV	_	_	_	_	_	信号用
電線共同溝予備管		SE	φ100	φ114.0	HIVP	_	_	1	_	_	電力用予備
		ST	φ75	φ96.0	PV	_	_	_	_	_	通信用予備
	さや管	ST1	φ50	φ54.0	SU	_	_	_	_	_	共通予備
		ST2	φ30	φ34.0	SU	_	_	_	_	_	共通予備
余剰管	さや管	余1	φ50	φ54.0	SU	_	_	_	_	_	
		余2	φ30	φ34.0	SU	_	_	_	_	_	
共用FA		FA	φ150	φ165.0	VP	1	_	_	_	_	

※舗装厚　歩道部：250mm
　　車道部：530mm

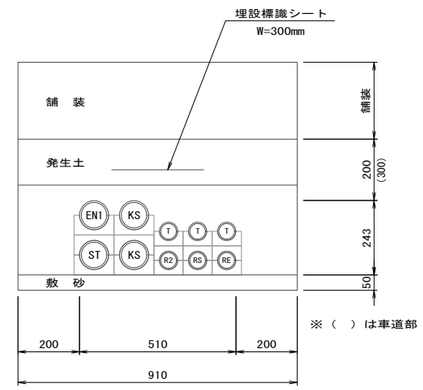
工事名	安来電線共同溝PFI事業		
図面名	管路部標準断面図（7）		
作成年月日			
縮　尺	S=1:10	図面番号	36 / 78
会社名			
事業者名	松江国道事務所		

管路部標準断面図（8）　S=1:10

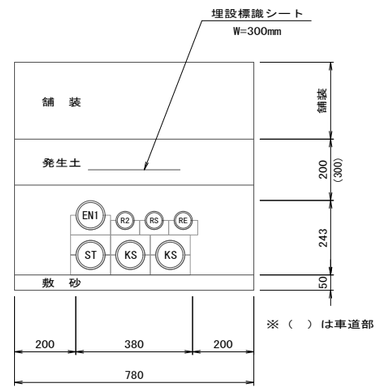
K1



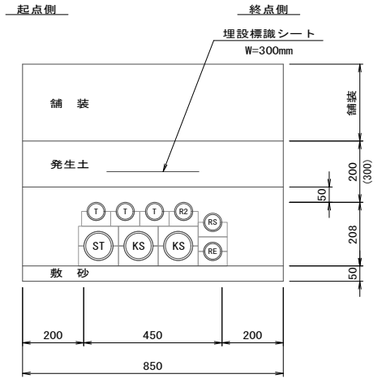
K2



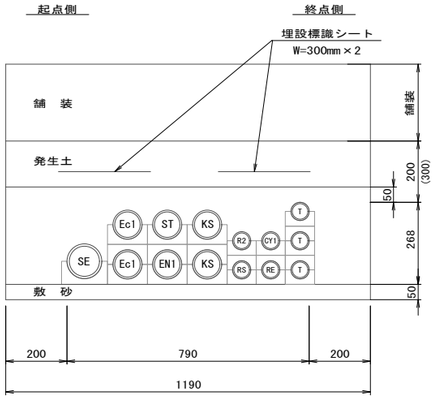
K3



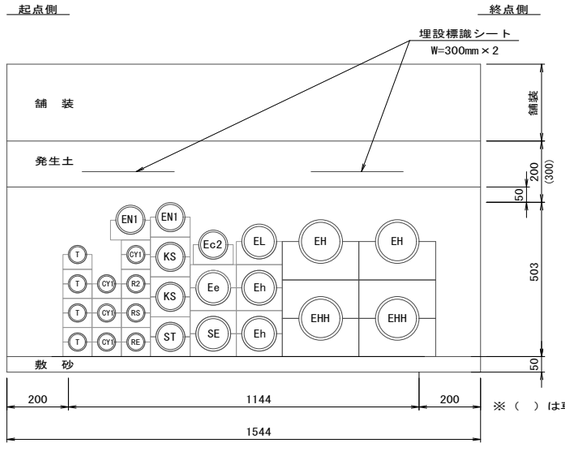
K4



K5



K6

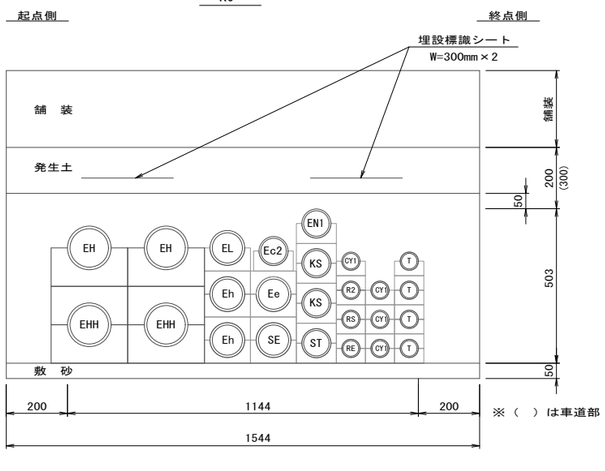


企業名		記号	管路			条数										備考
						横断										
			呼び径	管外径	管種	K1	K2	K3	K4	K5	K6	K6'	K7	K8	K9	
中国電力		EHH	φ125	φ142.5	HIVP	_	_	_	_	_	2	2	_	_	_	特別高圧幹線
		EH	φ125	φ142.5	HIVP	_	_	_	_	_	2	2	2	2	_	高圧幹線
		Eh	φ100	φ114.0	HIVP	2	_	_	_	_	2	2	2	2	_	高圧供給線
		EL	φ100	φ114.0	HIVP	_	_	_	_	_	1	1	_	_	_	低圧幹線
		Ec1	φ75	φ96.0	PV	3	_	_	_	2	_	_	2	_	_	保安通信線
		Ec2	φ75	φ96.0	PV	_	_	_	_	_	1	1	2	_	_	保安通信線
		Ee	φ100	φ114.0	VP	_	_	_	_	_	1	1	_	_	_	電力保安通信線
ＮＴＴ	さや管	T1	φ50	φ54.0	SU	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	
		T2	φ30	φ34.0	SU	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	
		T	φ50	φ60.0	PV	3	3	_	3	3	4	4	3	3	_	
ＮＴＴドコモ	さや管	D	φ30	φ34.0	SU	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	
日立	さや管	H	φ50	φ54.0	SU	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	
		H1	φ50	φ60.0	PV	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	
ｴﾈﾙｷﾞｱｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝｽﾞ	さや管	EN	φ50	φ54.0	SU	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	
		EN1	φ75	φ96.0	PV	1	1	1	_	1	2	1	2	1	1	
		EN2	φ50	φ60.0	PV	_	_	_	_	_	_	_			_	
やすぎどじょっこＴＶ	さや管	CY	φ50	φ54.0	SU	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	
		CY1	φ50	φ60.0	PV	_	_	_	_	1	4	4	1	_	_	
鳥取ミュージック	さや管	CT	φ50	φ54.0	SU	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	
		CT1	φ50	φ60.0	PV	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	
道路管理者		R2	φ50	φ60.0	PV	1	1	1	1	1	1	1	1	1	_	ローカル用
		Rs	φ50	φ60.0	PV	1	1	1	1	1	1	1	1	1	_	予備管
		RE	φ50	φ60.0	PV	1	1	1	1	1	1	1	1	1	_	照明用
		KS	φ75	φ96.0	PV	2	2	2	2	2	2	2	2	2	_	信号用
電線共同溝予備管		SE	φ100	φ114.0	HIVP	1	_	_	_	1	1	1	1	1	_	電力用予備
		ST	φ75	φ96.0	PV	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	通信用予備
	さや管	ST1	φ50	φ54.0	SU	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	共通予備
		ST2	φ30	φ34.0	SU	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	共通予備
余剰管	さや管	余1	φ50	φ54.0	SU	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	
		余2	φ30	φ34.0	SU	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	
共用FA		FA	φ150	φ165.0	VP	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	

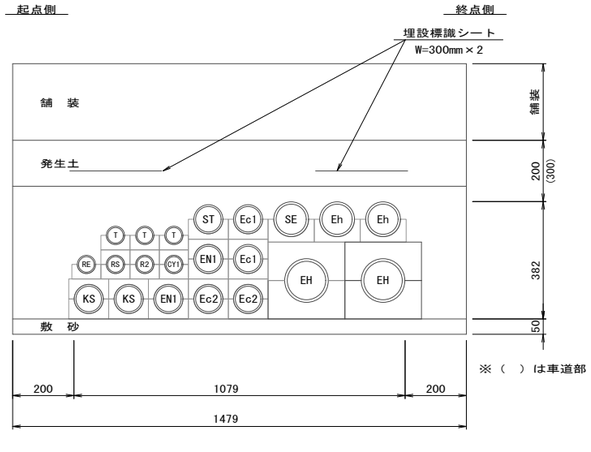
※舗装厚　歩道部：250mm
　車道部：530mm

※ MS17-MN16の区間(No. 66付近)は、T×3条を除く

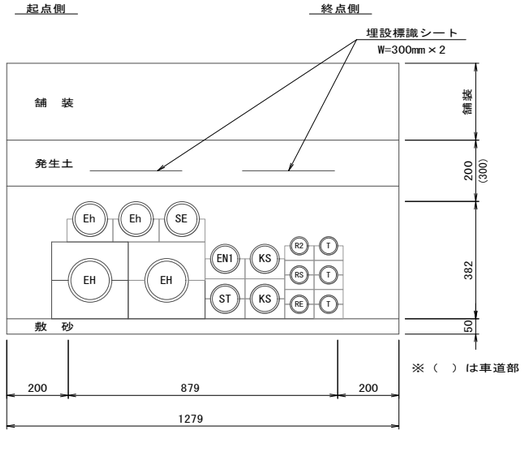
K6'



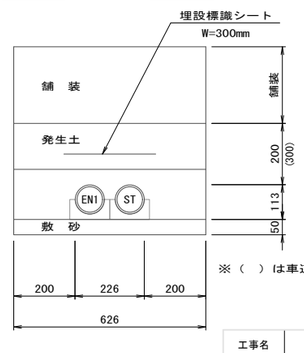
K7



K8



K9

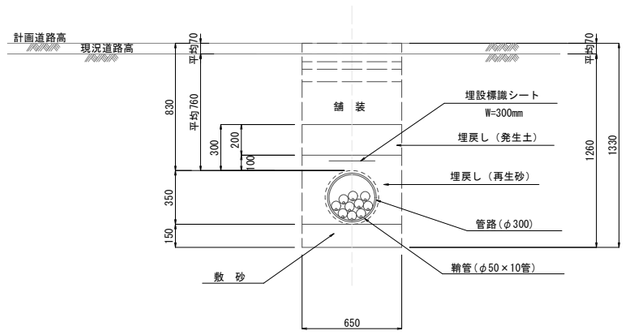


工事名	安来電線共同溝PFI事業
図面名	管路部標準断面図（8）
作成年月日	
縮　尺	S=1:10　図面番号　37 / 78
会社名	
事業者名	松江国道事務所

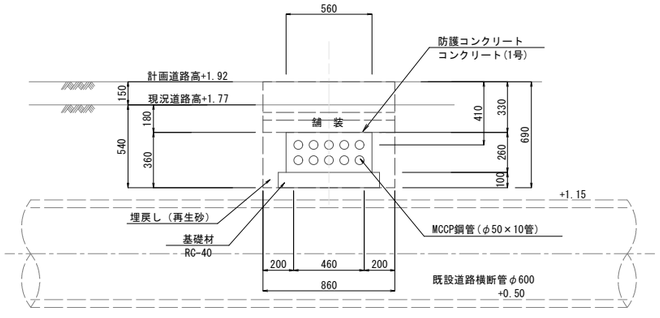
管路部標準断面図(9) S=1:20

管 路 部 標 準 断 面 図

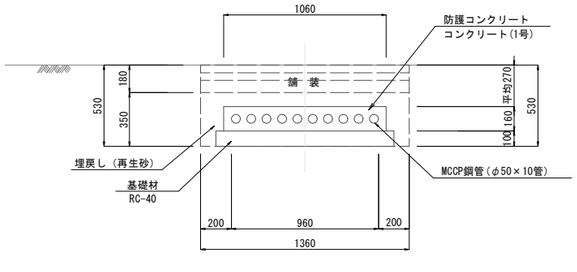
Cタイプ



F1タイプ



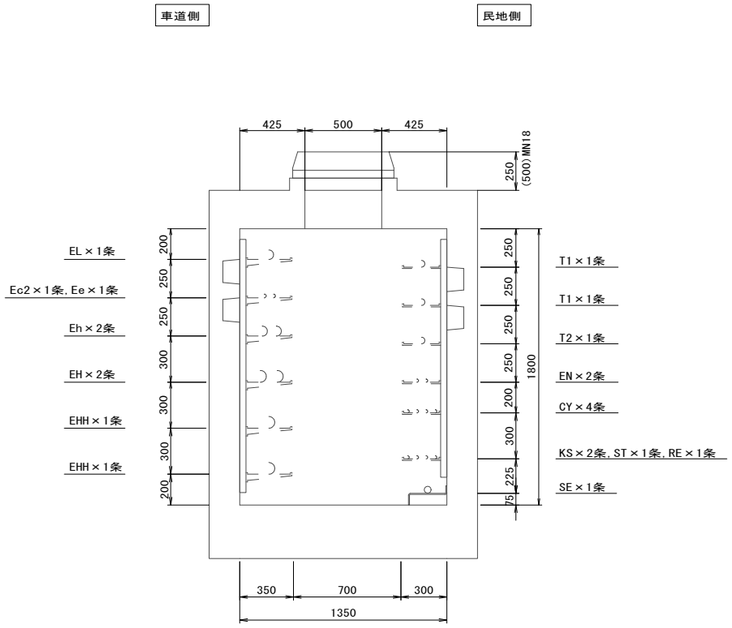
F2タイプ



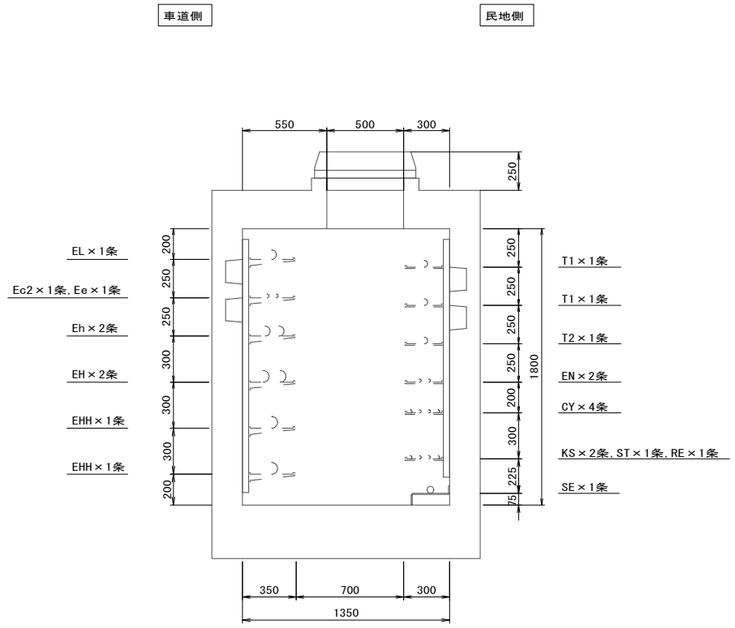
工事名	安来電線共同溝PFI事業		
図面名	管路部標準断面図(9)		
作成年月日			
縮 尺	S=1:20	図面番号	38 / 78
会社名			
事業者名	松江国道事務所		

特殊部標準断面図(1)　S=1:20

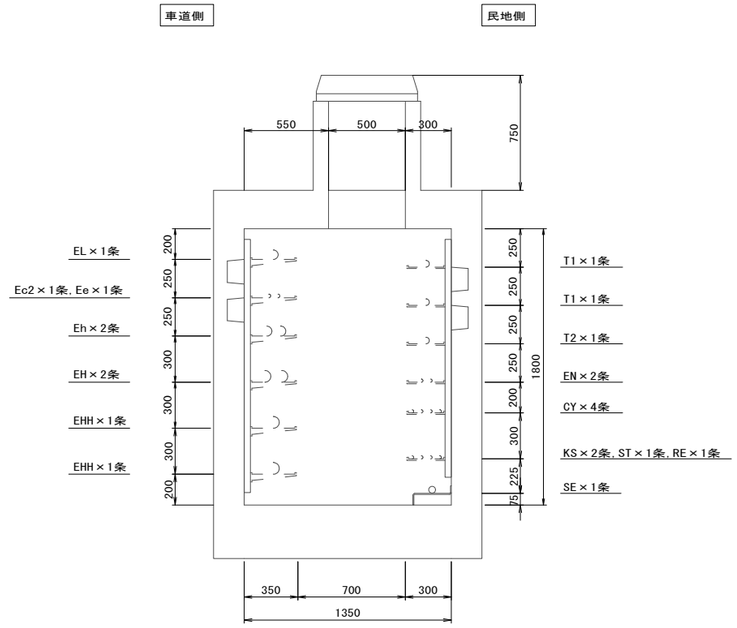
マンホール型
MN2～MN3, MN13, MN18



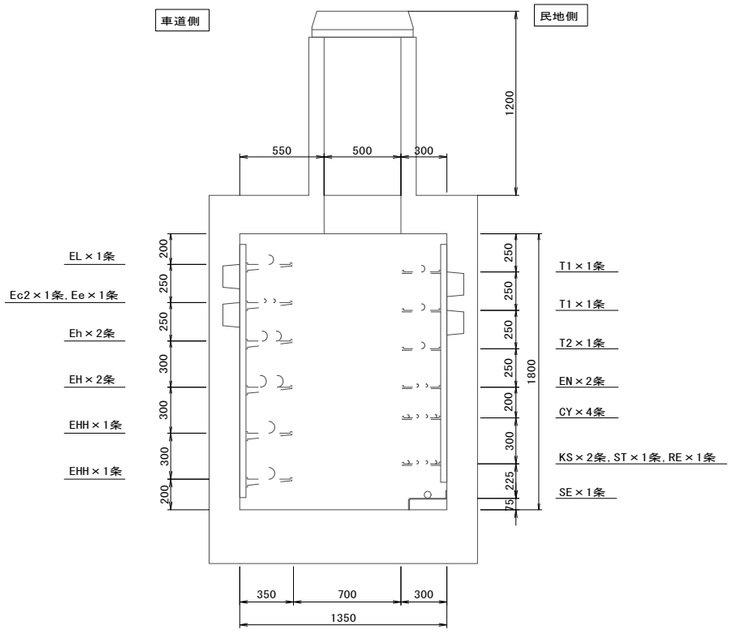
マンホール型
MN4



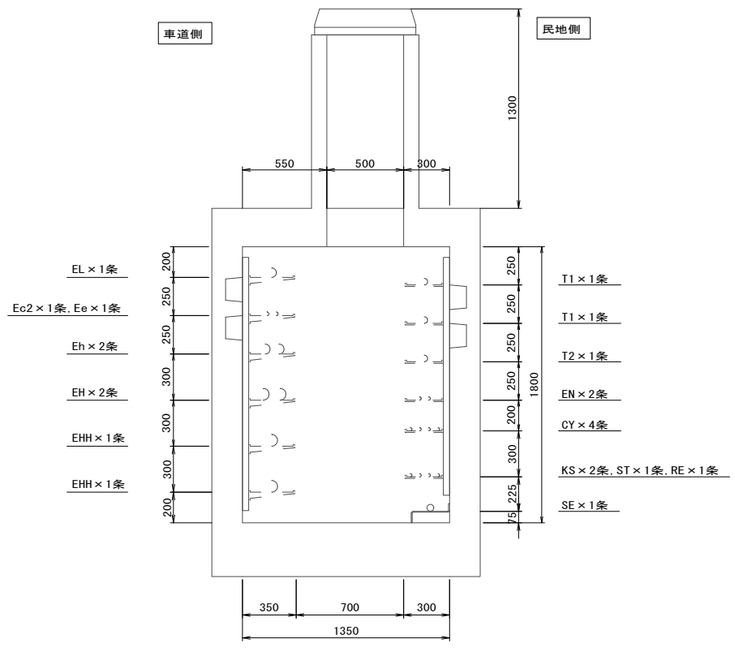
マンホール型
MN5



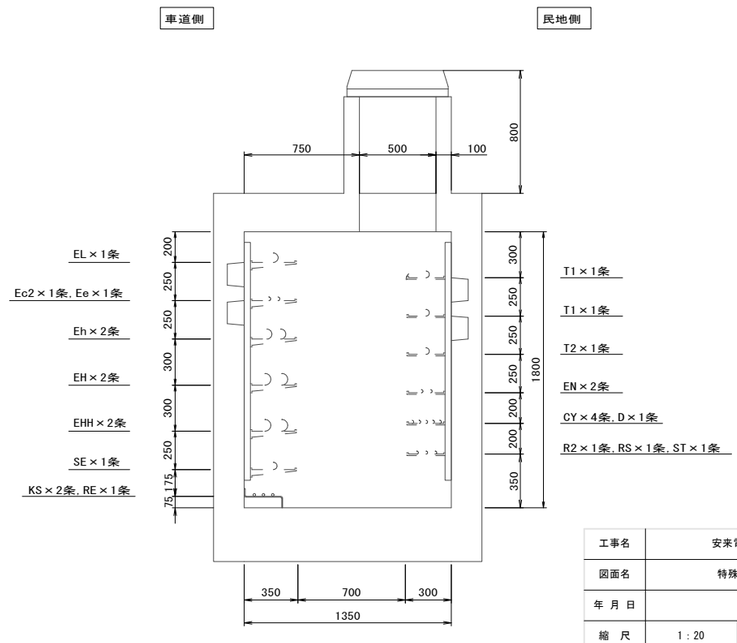
マンホール型
MN12



マンホール型
MN11



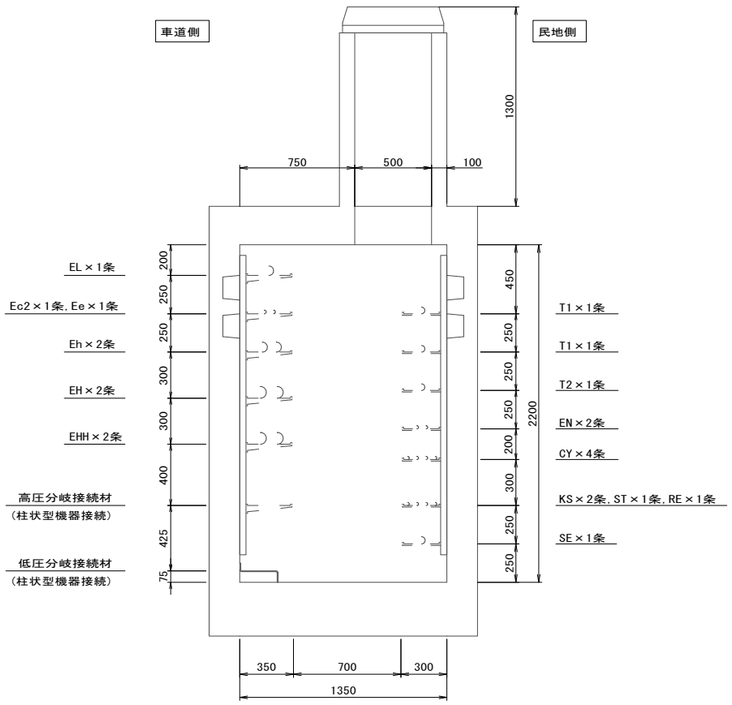
マンホール型
MN16



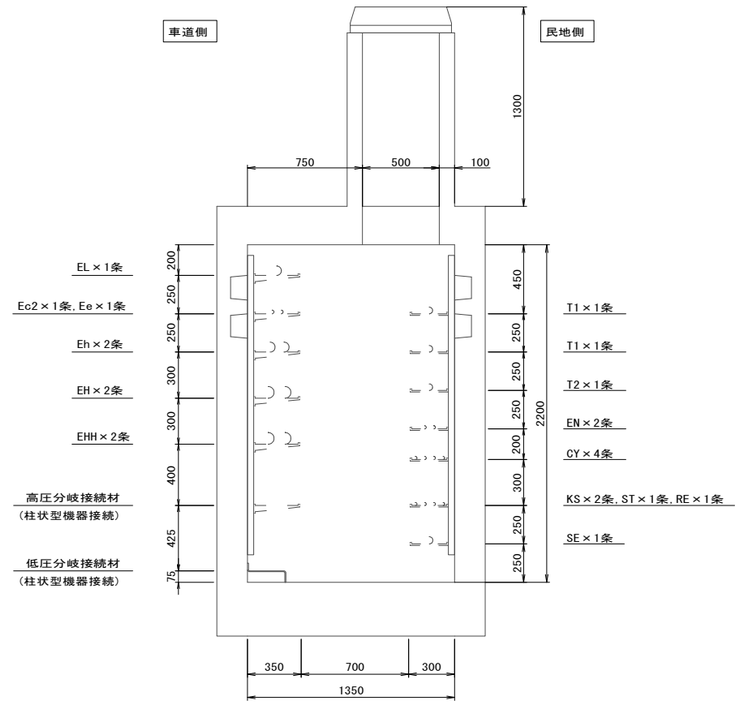
工事名	安来電線共同溝PFI事業		
図面名	特殊部標準断面図(1)		
年 月 日			
縮　尺	1：20	図面番号	39 / 78
会社名			
事業者名	松江国道事務所		

特殊部標準断面図(2)　S=1:20

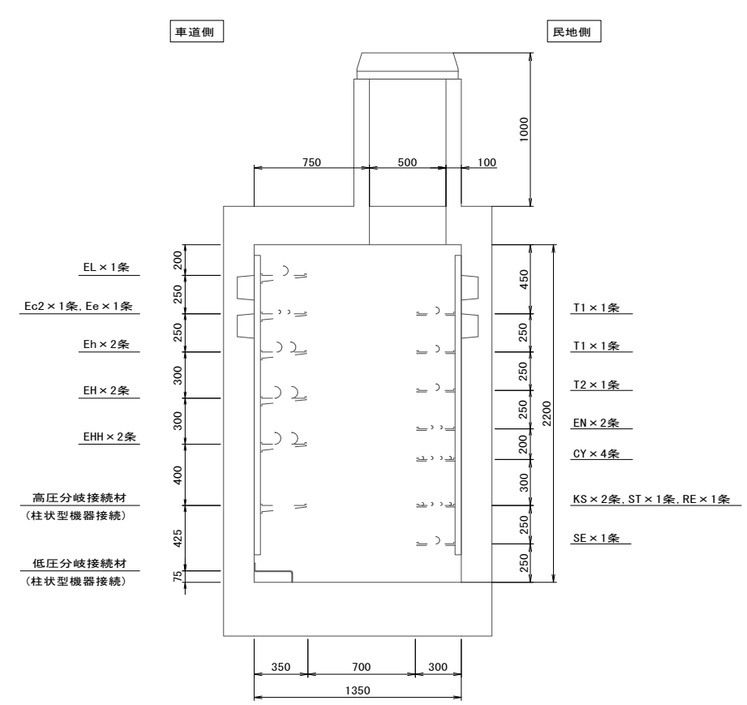
マンホール型
MN6



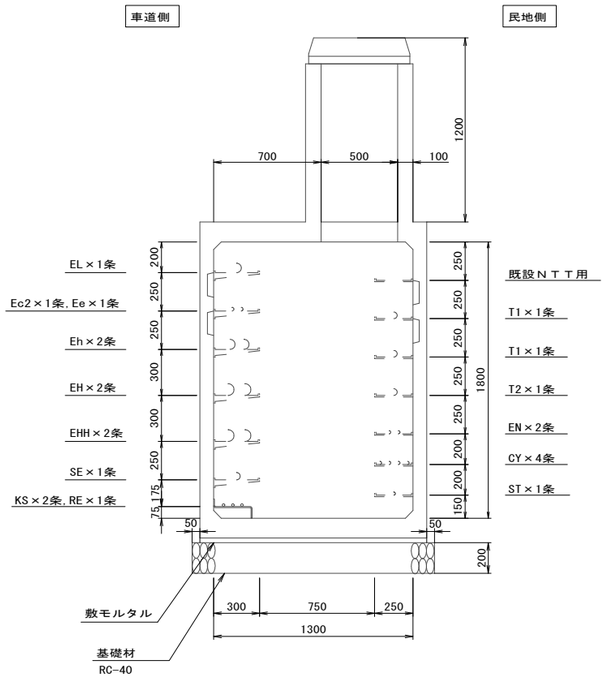
マンホール型
MN7



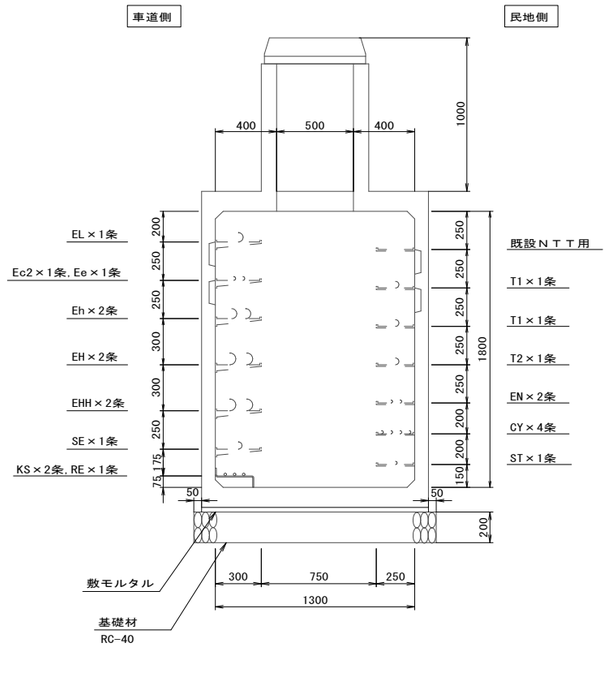
マンホール型
MN8



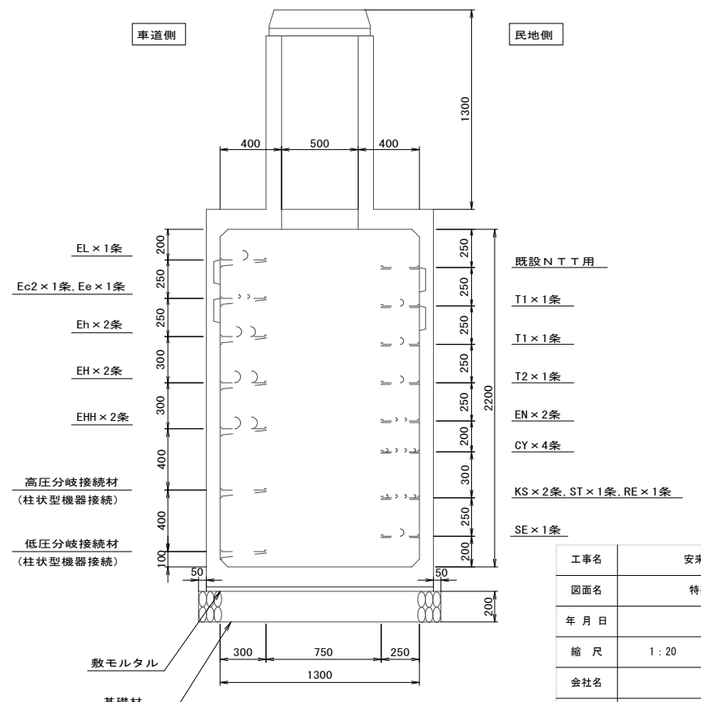
マンホール型
MN9



マンホール型
MN17



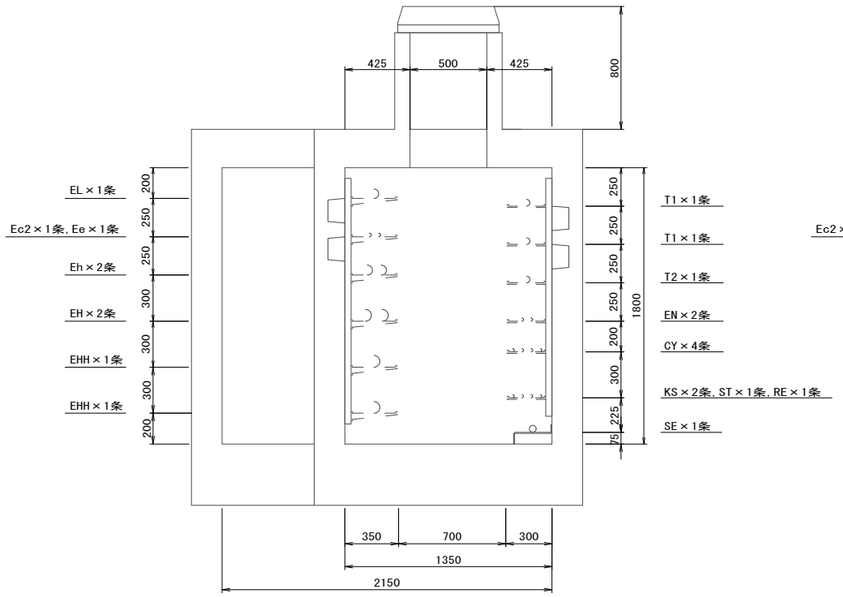
マンホール型
MN10



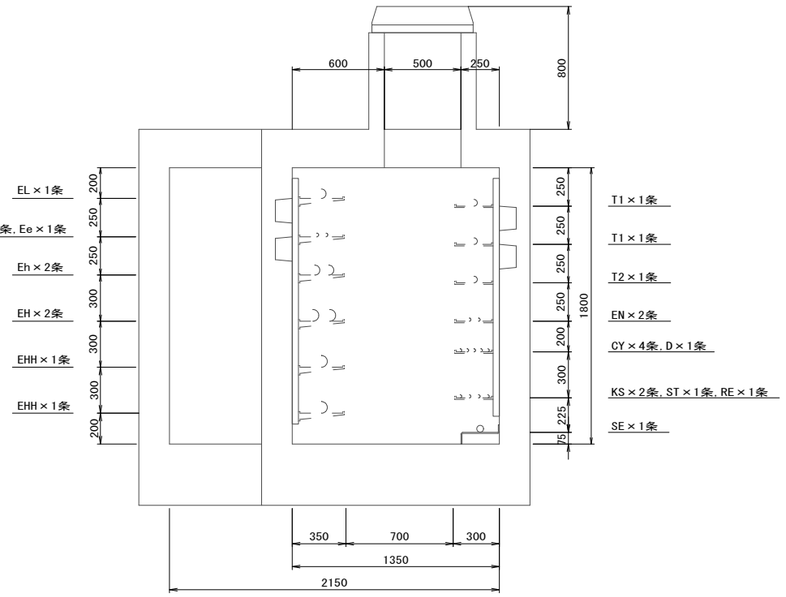
工事名	安来電線共同溝PFI事業		
図面名	特殊部標準断面図(2)		
年 月 日			
縮　尺	1：20	図面番号	40 / 78
会社名			
事業者名	松江国道事務所		

特殊部標準断面図(3)　S=1:20

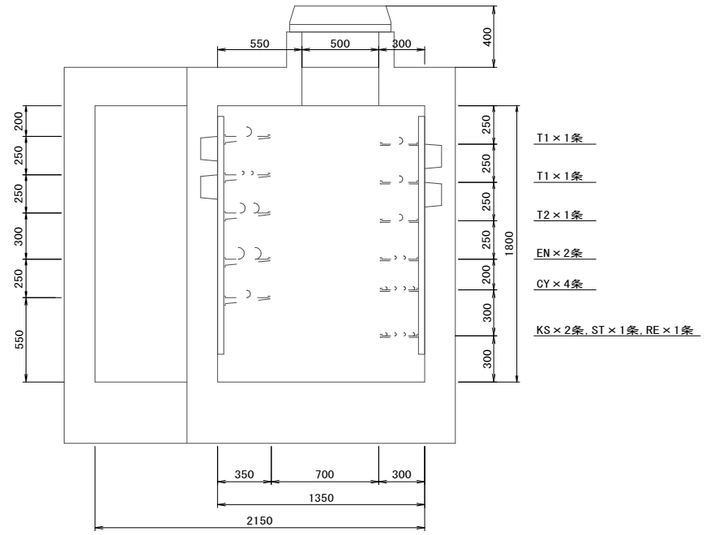
L－Ⅲ型
MN14



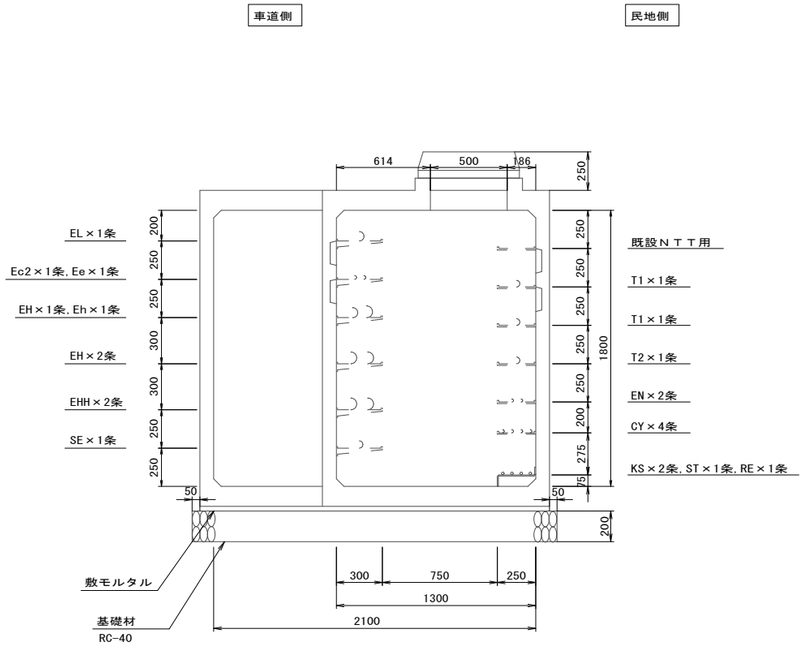
L－Ⅲ型
MN15



L－Ⅲ型
MN19



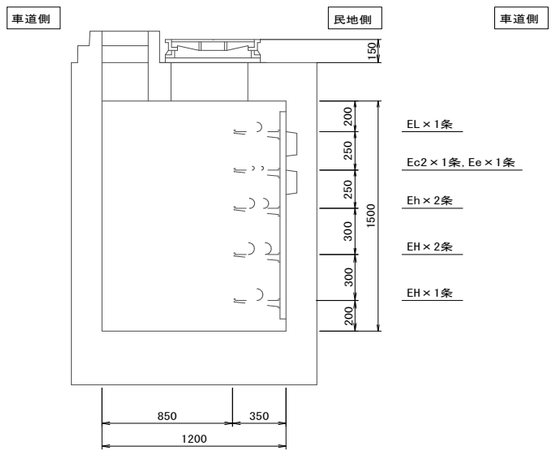
L－Ⅲ型
MN1



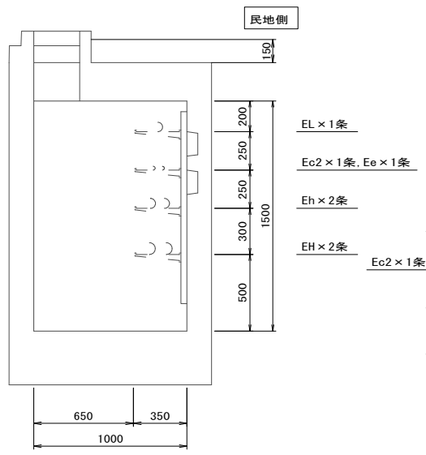
工事名	安来電線共同溝PFI事業		
図面名	特殊部標準断面図(3)		
年 月 日			
縮　尺	1：20	図面番号	41 / 78
会社名			
事業者名	松江国道事務所		

特殊部標準断面図(4)　S=1:20

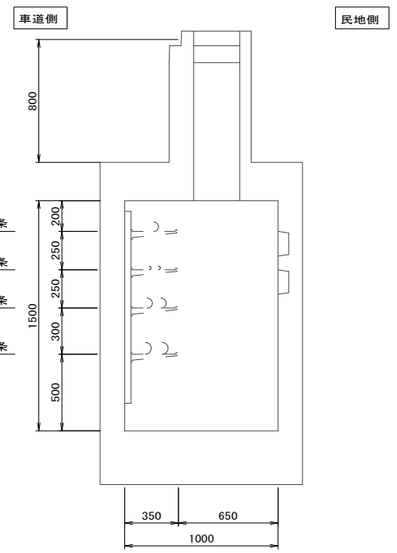
電力地上機器部
AN1



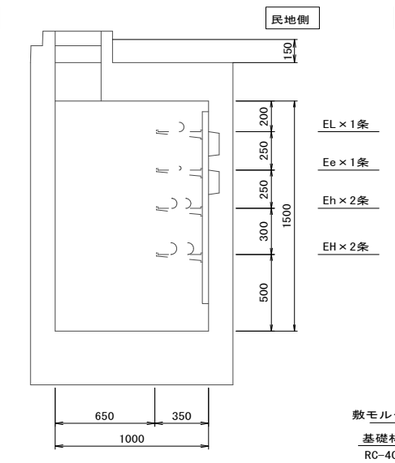
電力地上機器部
AN2, AN3



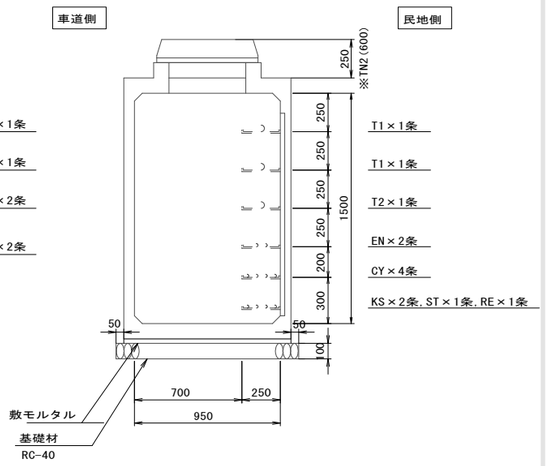
電力地上機器部
AN4～AN6



電力地上機器部
AN7



通信基点桝
TN1, TN2, TN3



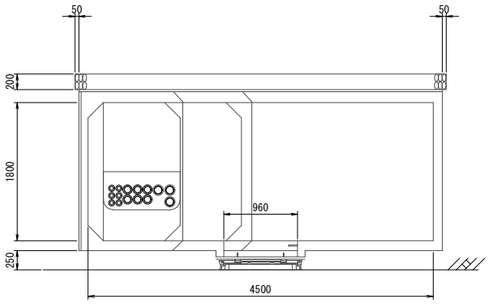
工事名	安来電線共同溝PFI事業		
図面名	特殊部標準断面図(4)		
年 月 日			
縮　尺	1：20	図面番号	42 / 78
会社名			
事業者名	松江国道事務所		

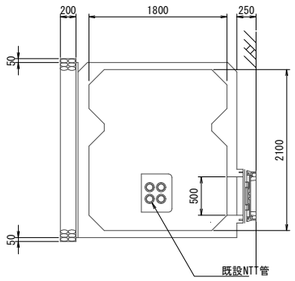
特殊部構造図(1)

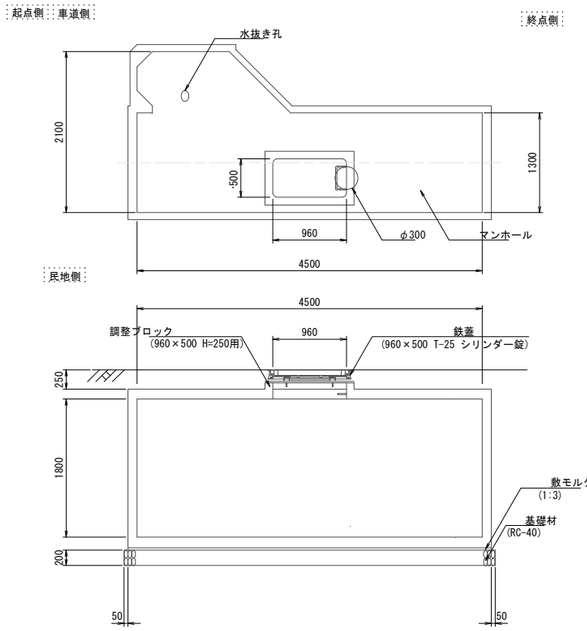
(4.5mタイプ)

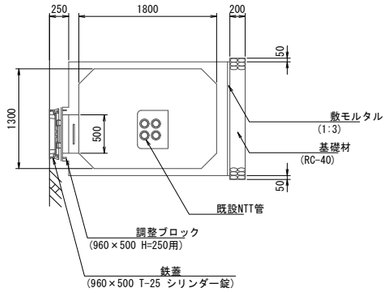
L型マンホール MN1

S=1:40

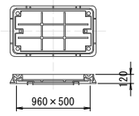




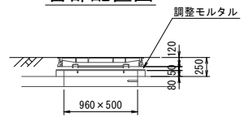


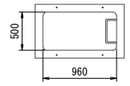


鉄蓋



首部配置図





設 計 条 件

箱形構造	設計荷重	活 荷 重	T-25(輪荷重50kN、隣接軸距1.3m)
		衝 撃	i＝0.4
	内空寸法(幅×長×高)		1300/2100×4500×1800
	土 の 単 位 重 量		γ=19kN/m3
	土 圧 係 数		Ka=0.5
	本 体 土 被 り		GL-250mm

現場打ちコンクリート（下床版）

使用材料	コンクリート	設計基準強度 圧縮強度σck=24MPa(N/mm2)
	鉄 筋	SD345

数量表　　1箇所当り

名 称	規 格	単 位	数 量
マンホール	W1300/2100×H1800×L4500	基	1
調整ブロック	960×500 H=250用	個	1
鉄蓋	960×500 T-25 シリンダー錠	枚	1
敷モルタル	1:3	式	1
コンクリート	1号	m3	1.998
基礎材	RC-40 t=200	m2	19.980

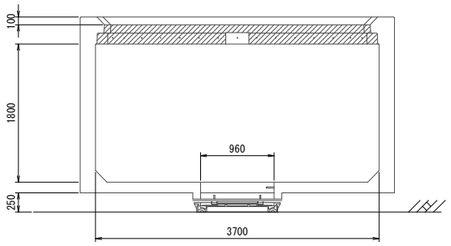
工事名	安来電線共同溝PFI事業		
図面名	特殊部構造図(1)		
作成年月日			
縮尺	1:40	図面番号	43 / 78
会社名			
事業者名	松江国道事務所		

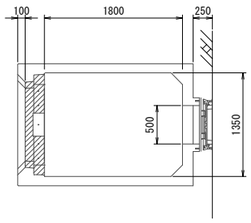
特殊部構造図(2)

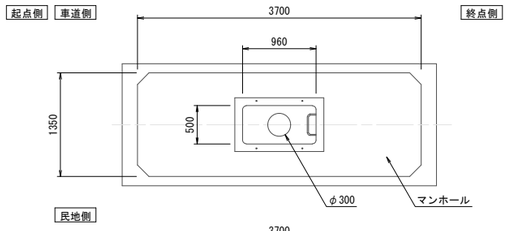
(3.7mタイプ)

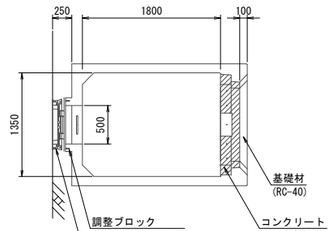
S型マンホール MN2,MN3,MN4

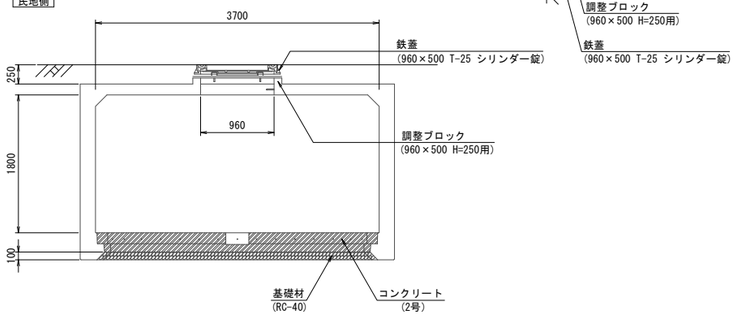
S=1:40



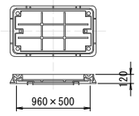




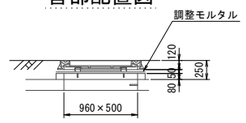


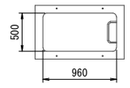


鉄蓋



首部配置図





設 計 条 件

箱形構造	設計荷重	活 荷 重	T-25(輪荷重50kN、隣接軸距1.3m)
		衝 撃	i＝0.1(i＝0.4)
	内空寸法(幅×長×高)		1350×3700×1800
	土 の 単 位 重 量		γ=19kN/m3
	土 圧 係 数		Kₐ=0.5
	本 体 土 被 り		GL-250mm

現場打ちコンクリート（下床版）

使用材料	コンクリート	設計基準強度 圧縮強度σck=24MPa(N/mm2)
	鉄 筋	SD345

※ 設計荷重( )内数値については、MN4の数値を示す。

数量表　　1箇所当り

名 称	規 格	単 位	数 量
マンホール	W1350×H1800×L3700	基	1
調整ブロック	960×500 H=250用	個	1
鉄蓋	960×500 T-25 シリンダー錠	枚	1
コンクリート	2号	m3	1.238
基礎材	RC-40 t=100	m2	4.950
鉄筋	SD345 D13	t	0.087

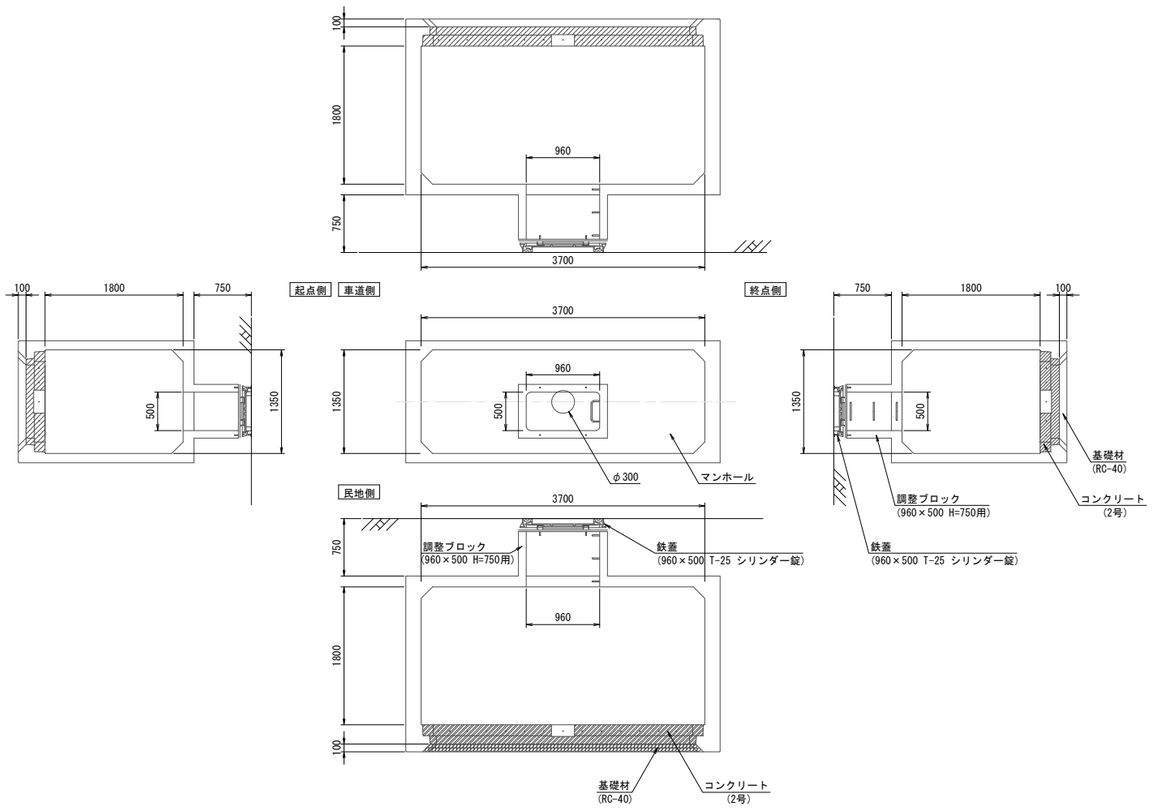
工事名	安来電線共同溝PFI事業		
図面名	特殊部構造図(2)		
作成年月日			
縮尺	1:40	図面番号	44 / 78
会社名			
事業者名	松江国道事務所		

特殊部構造図(3)

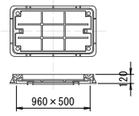
(3.7mタイプ)

S型マンホール MN5

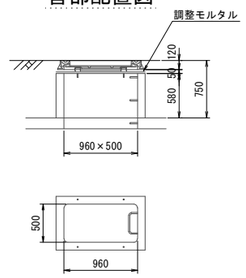
S=1:40



鉄蓋



首部配置図



設計条件

箱形構造	設計荷重	活荷重	T-25(輪荷重50kN、隣接軸距1.3m)
		衝撃	i＝0.4
	内空寸法(幅×長×高)		1350×3700×1800
	土の単位重量		γ=19kN/m3
	土圧係数		Kₐ=0.5
	本体土被り		GL-750mm

現場打ちコンクリート（下床版）

使用材料	コンクリート	設計基準強度 圧縮強度σck=24MPa(N/mm2)
	鉄筋	SD345

数量表　　1箇所当り

名称	規格	単位	数量
マンホール	W1350×H1800×L3700	基	1
調整ブロック	960×500 H=750用	個	1
鉄蓋	960×500 T-25 シリンダー錠	枚	1
コンクリート	2号	m3	1.238
基礎材	RC-40 t=100	m2	4.950
鉄筋	SD345 D13	t	0.087

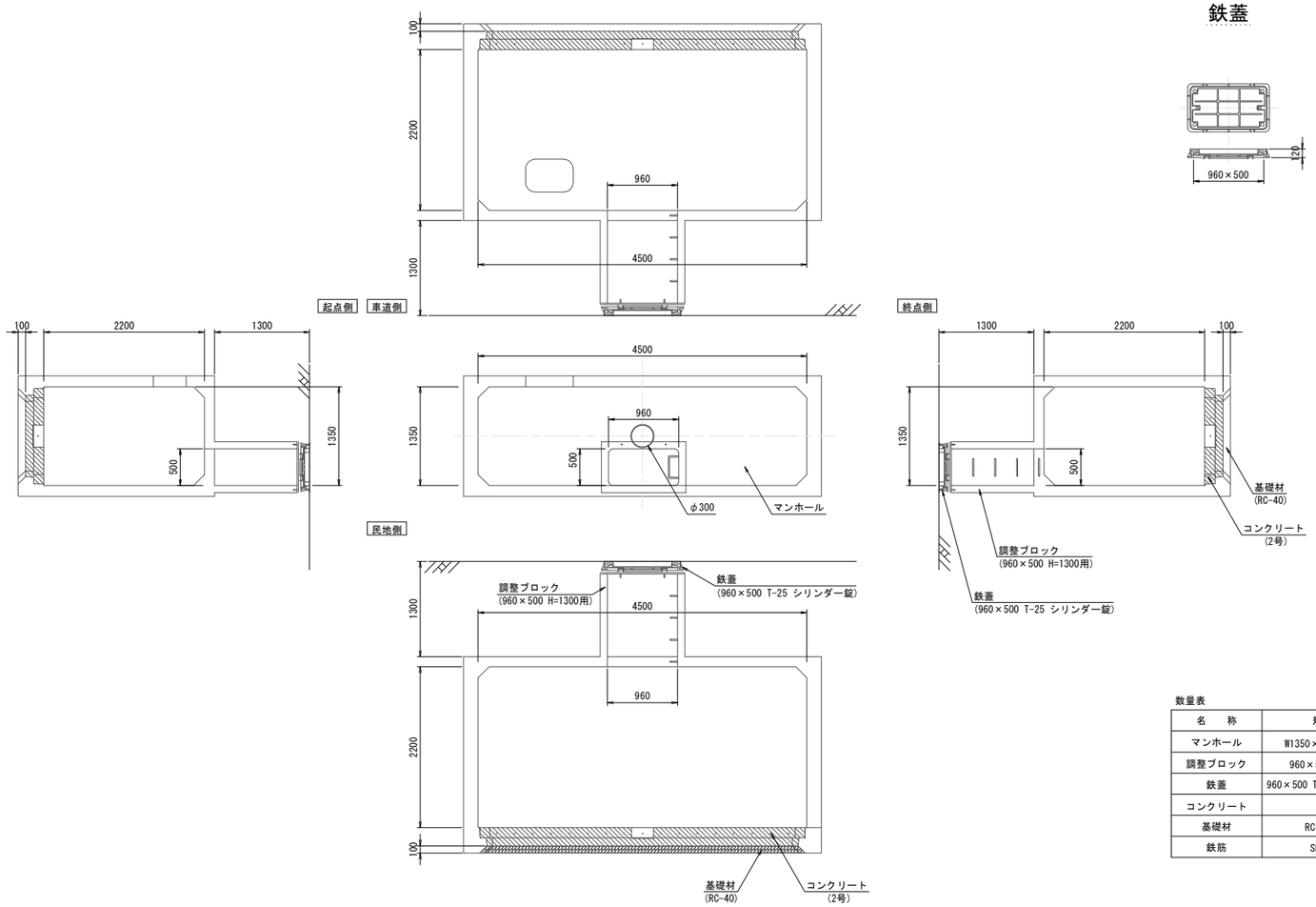
工事名	安来電線共同溝PFI事業		
図面名	特殊部構造図(3)		
作成年月日			
縮尺	1:40	図面番号	45 / 78
会社名			
事業者名	松江国道事務所		

特殊部構造図(4)

(4.5mタイプ)

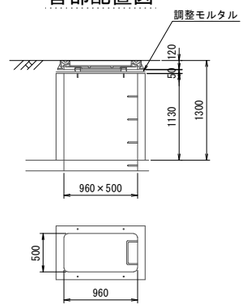
S型マンホール MN6,MN7

S=1:40



鉄蓋

首部配置図



設計条件

箱形構造	設計荷重	活荷重	T-25(輪荷重50kN、隣接軸距1.3m)
		衝撃	i＝0.3
	内空寸法(幅×長×高)		1350×4500×2200
	土の単位重量		γ=19kN/m3
	土圧係数		Kₐ=0.5
	本体土被り		GL-1300mm

現場打ちコンクリート（下床版）

使用材料	コンクリート	設計基準強度 圧縮強度σck=24MPa(N/mm2)
	鉄筋	SD345

数量表　　1箇所当り

名称	規格	単位	数量
マンホール	W1350×H2200×L4500	基	1
調整ブロック	960×500 H=1300用	個	1
鉄蓋	960×500 T-25 シリンダー錠	枚	1
コンクリート	2号	m3	1.519
基礎材	RC-40 t=100	m2	6.075
鉄筋	SD345 D13	t	0.103

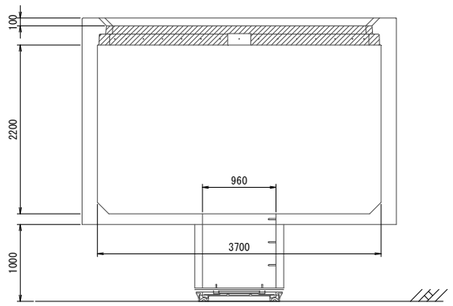
工事名	安来電線共同溝PFI事業		
図面名	特殊部構造図(4)		
作成年月日			
縮尺	1:40	図面番号	46 / 78
会社名			
事業者名	松江国道事務所		

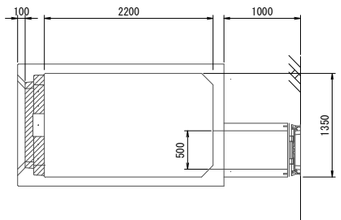
特殊部構造図(5)

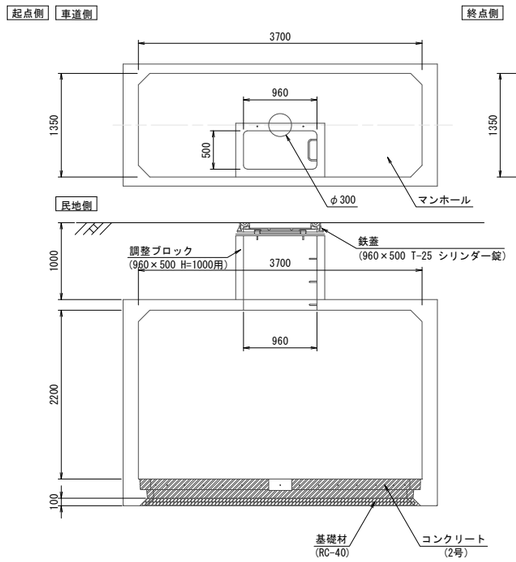
(3.7mタイプ)

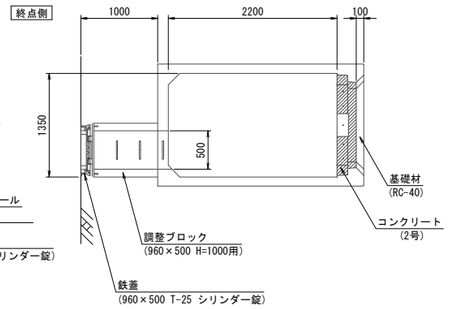
S型マンホール MN8

S=1:40

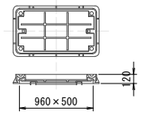




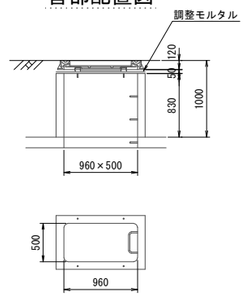




鉄蓋



首部配置図



設 計 条 件

箱形構造	設計荷重	活 荷 重	T-25(輪荷重50kN、隣接軸距1.3m)
		衝 撃	i＝0.3
	内空寸法(幅×長×高)		1350×3700×2200
	土 の 単 位 重 量		γ=19kN/m3
	土 圧 係 数		Ka=0.5
	本 体 土 被 り		GL-1000mm

現場打ちコンクリート（下床版）

使用材料	コンクリート	設計基準強度 圧縮強度σck=24MPa(N/mm2)
	鉄 筋	SD345

数量表　　1箇所当り

名　称	規　格	単 位	数　量
マンホール	W1350×H2200×L3700	基	1
調整ブロック	960×500 H=1000用	個	1
鉄蓋	960×500 T-25 シリンダー錠	枚	1
コンクリート	2号	m3	1.238
基礎材	RC-40 t=100	m2	4.950
鉄筋	SD345 D13	t	0.087

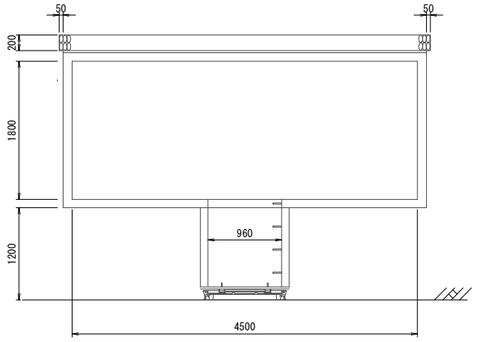
工事名	安来電線共同溝PFI事業		
図面名	特殊部構造図(5)		
作成年月日			
縮尺	1:40	図面番号	47 / 78
会社名			
事業者名	松江国道事務所		

特殊部構造図(6)

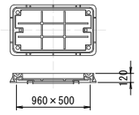
(4.5mタイプ)

S型マンホール MN9

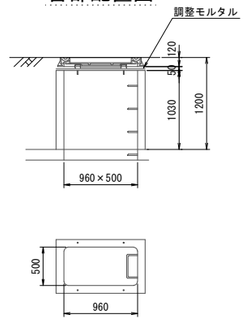
S=1:40



鉄蓋



首部配置図



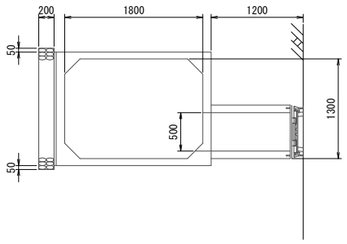
設計条件

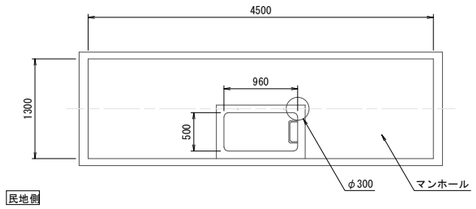
箱形構造	設計荷重	活荷重	T-25(輪荷重50kN、隣接軸距1.3m)
		衝撃	i＝0.3
	内空寸法(幅×長×高)		1300×4500×1800
	土の単位重量		γ=19kN/m3
	土圧係数		Ka=0.5
	本体土被り		GL-1200mm

現場打ちコンクリート（下床版）

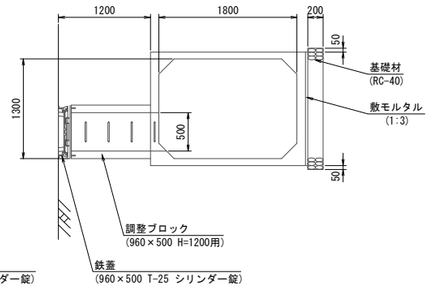
使用材料	コンクリート	設計基準強度 圧縮強度σck=24MPa(N/mm2)
	鉄筋	SD345

起点側 車道側

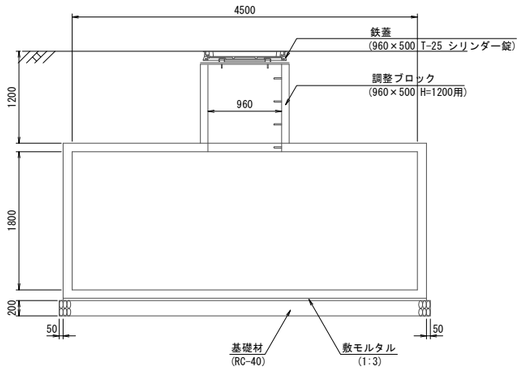




終点側



民地側



数量表 1箇所当り

名称	規格	単位	数量
マンホール	W1300×H1800×L4500	基	1
調整ブロック	960×500 H=1200用	個	1
鉄蓋	960×500 T-25 シリンダー錠	枚	1
敷モルタル	1:3	式	1
コンクリート	1号	m3	1.958
基礎材	RC-40 t=200	m2	19.584

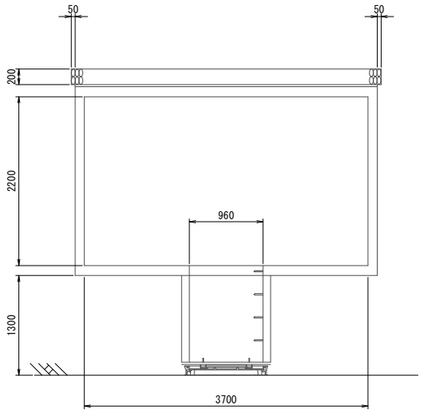
工事名	安来電線共同溝PFI事業		
図面名	特殊部構造図(6)		
作成年月日			
縮尺	1:40	図面番号	48 / 78
会社名			
事業者名	松江国道事務所		

特殊部構造図(7)

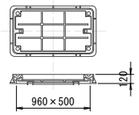
(3.7mタイプ)

S型マンホール MN10

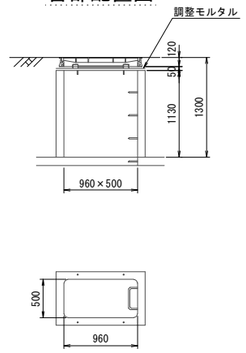
S=1:40



鉄蓋



首部配置図

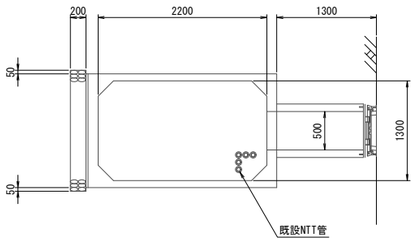


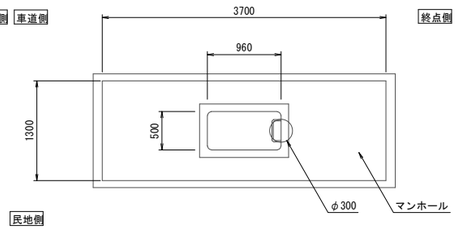
設計条件

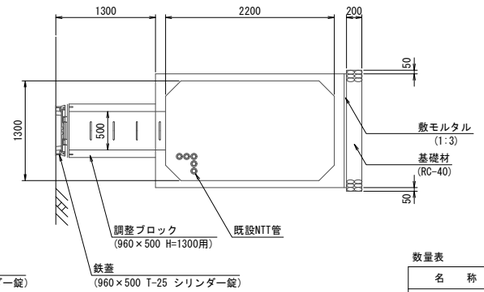
箱形構造	設計荷重	活荷重	T-25(輪荷重50kN、隣接軸距1.3m)
		衝撃	i＝0.1
	内空寸法(幅×長×高)		1300×3700×2200
	土の単位重量		γ=19kN/m3
	土圧係数		Kₐ=0.5
	本体土被り		GL-1300mm

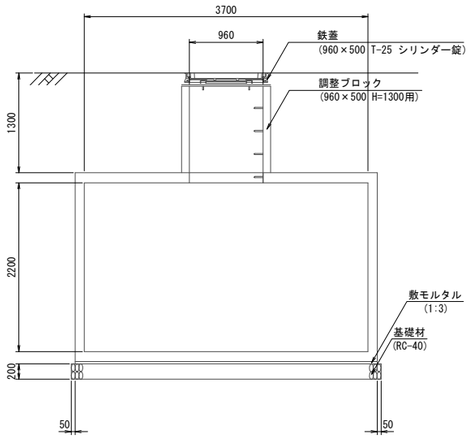
現場打ちコンクリート（下床版）

使用材料	コンクリート	設計基準強度 圧縮強度σck=24MPa(N/mm2)
	鉄筋	SD345









数量表　　1箇所当り

名称	規格	単位	数量
マンホール	W1300×H2200×L3700	基	1
調整ブロック	960×500 H=1300用	個	1
鉄蓋	960×500 T-25 シリンダー錠	枚	1
敷モルタル	1:3	式	1
コンクリート	1号	m3	1.728
基礎材	RC-40 t=200	m2	17.280

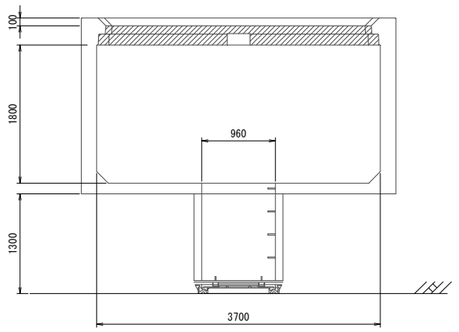
工事名	安来電線共同溝PFI事業		
図面名	特殊部構造図(7)		
作成年月日			
縮尺	1:40	図面番号	49 / 78
会社名			
事業者名	松江国道事務所		

特殊部構造図(8)

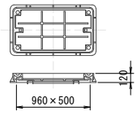
S=1:40

(3.7mタイプ)

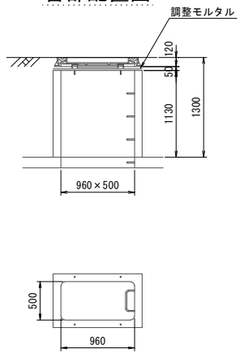
S型マンホール MN11



鉄蓋



首部配置図

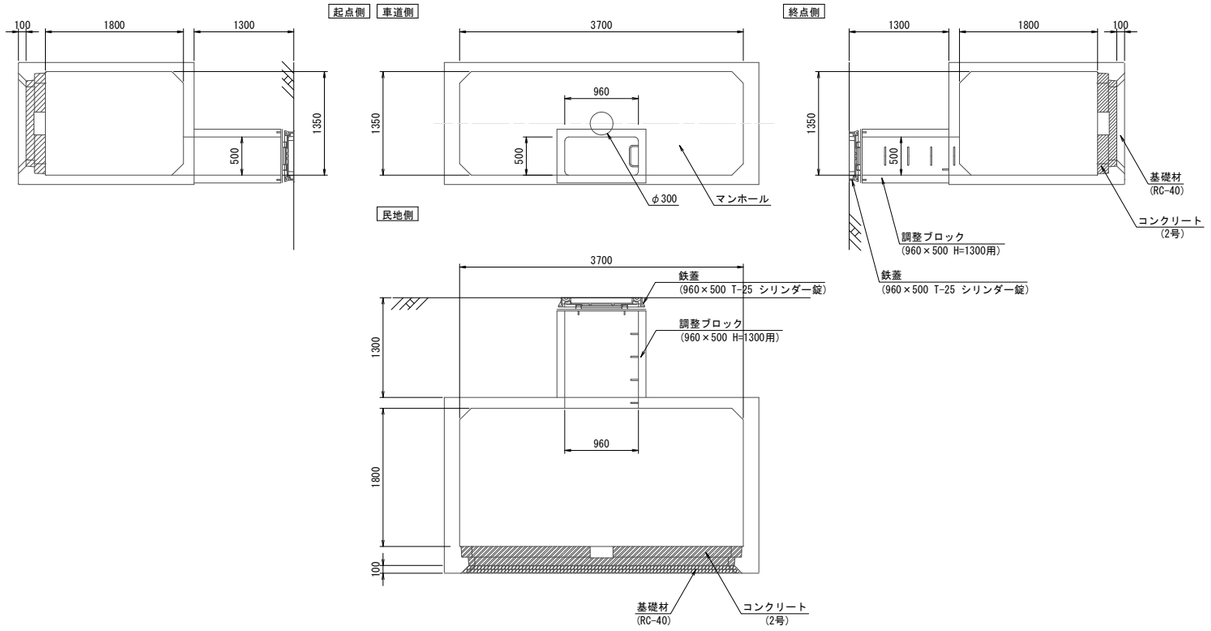


設計条件

箱形構造	設計荷重	活荷重	T-25(輪荷重50kN、隣接軸距1.3m)
		衝撃	i＝0.3
	内空寸法(幅×長×高)		1350×3700×1800
	土の単位重量		γ=19kN/m3
	土圧係数		Kₐ=0.5
	本体土被り		GL-1300mm

現場打ちコンクリート（下床版）

使用材料	コンクリート	設計基準強度 圧縮強度σck=24MPa(N/mm2)
	鉄筋	SD345



数量表　　1箇所当り

名称	規格	単位	数量
マンホール	W1350×H1800×L3700	基	1
調整ブロック	960×500 H=1300用	個	1
鉄蓋	960×500 T-25 シリンダー錠	枚	1
コンクリート	2号	m3	1.238
基礎材	RC-40 t=100	m2	4.950
鉄筋	SD345 D13	t	0.087

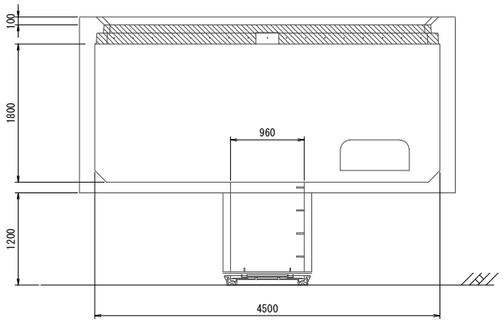
工事名	安来電線共同溝PFI事業		
図面名	特殊部構造図(8)		
作成年月日			
縮尺	1:40	図面番号	50 / 78
会社名			
事業者名	松江国道事務所		

特殊部構造図(9)

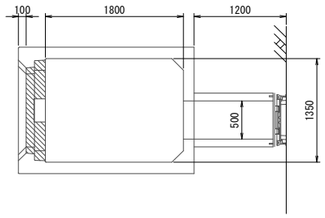
(4.5mタイプ)

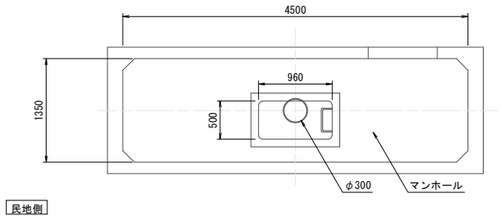
S型マンホール MN12

S=1:40



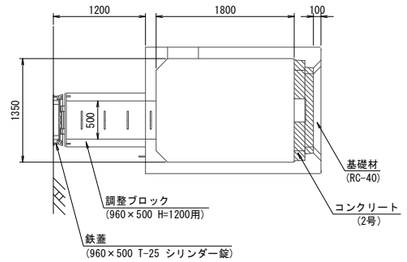
起点側　車道側



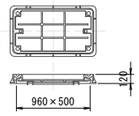


民地側

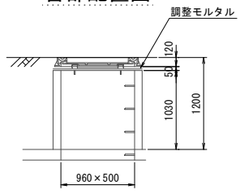
終点側

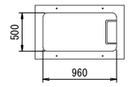


鉄蓋



首部配置図



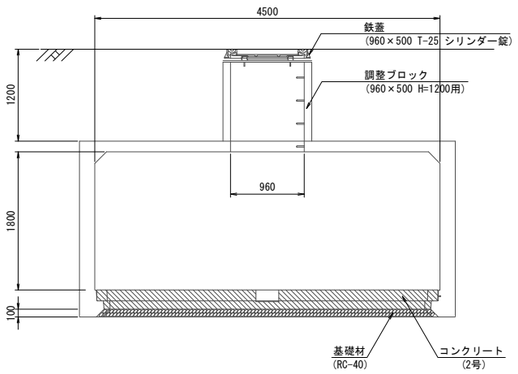


設 計 条 件

箱形構造	設計荷重	活 荷 重	T-25(輪荷重50kN、隣接軸距1.3m)
		衝　撃	i＝0.3
	内空寸法(幅×長×高)		1350×4500×1800
	土 の 単 位 重 量		γ=19kN/m3
	土　圧　係　数		Kₐ=0.5
	本　体　土　被　り		GL-1200mm

現場打ちコンクリート（下床版）

使用材料	コンクリート	設計基準強度 圧縮強度σck=24MPa(N/mm2)
	鉄　筋	SD345



数量表　　1箇所当り

名　称	規　格	単 位	数　量
マンホール	W1350×H1800×L4500	基	1
調整ブロック	960×500 H=1200用	個	1
鉄蓋	960×500 T-25 シリンダー錠	枚	1
コンクリート	2号	m3	1.519
基礎材	RC-40 t=100	m2	6.075
鉄筋	SD345 D13	t	0.103

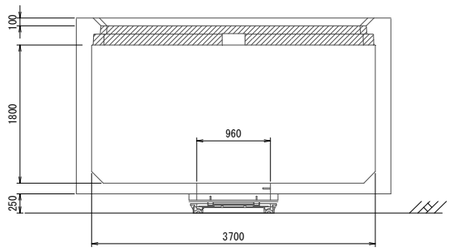
工事名	安来電線共同溝PFI事業		
図面名	特殊部構造図(9)		
作成年月日			
縮尺	1:40	図面番号	51 / 78
会社名			
事業者名	松江国道事務所		

特殊部構造図(10)

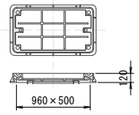
(3.7mタイプ)

S型マンホール MN13

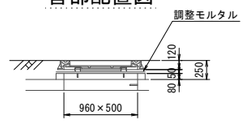
S=1:40

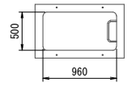


鉄蓋



首部配置図



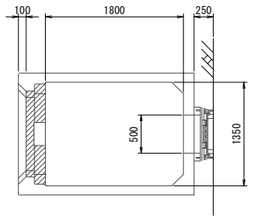


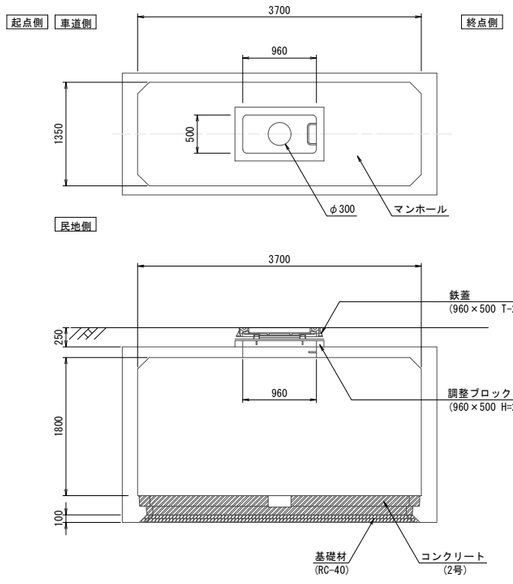
設計条件

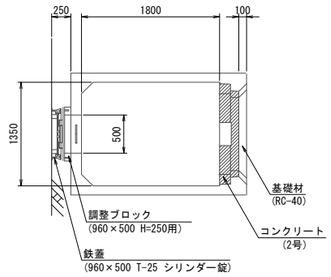
箱形構造	設計荷重	活荷重	T-25(輪荷重50kN、隣接軸距1.3m)
		衝撃	i＝0.1
	内空寸法(幅×長×高)		1350×3700×1800
	土の単位重量		γ=19kN/m3
	土圧係数		Kₐ=0.5
	本体土被り		GL-250mm

現場打ちコンクリート（下床版）

使用材料	コンクリート	設計基準強度 圧縮強度σck=24MPa(N/mm2)
	鉄筋	SD345







数量表　　1箇所当り

名称	規格	単位	数量
マンホール	W1350×H1800×L3700	基	1
調整ブロック	960×500 H=250用	個	1
鉄蓋	960×500 T-25 シリンダー錠	枚	1
コンクリート	2号	m3	1.238
基礎材	RC-40 t=100	m2	4.950
鉄筋	SD345 D13	t	0.087

工事名	安来電線共同溝PFI事業		
図面名	特殊部構造図(10)		
作成年月日			
縮尺	1:40	図面番号	52 / 78
会社名			
事業者名	松江国道事務所		

特殊部構造図(11)

(4.5mタイプ)

L型(R)マンホール MN14

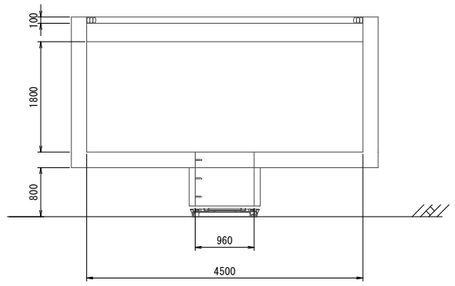
S=1:50

設計条件

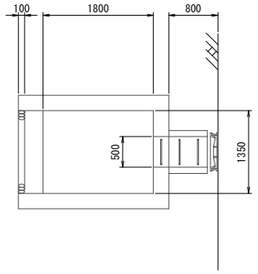
箱形構造	設計荷重	活荷重	T-25（輪荷重50kN，隣接軸距1.3m）
		衝撃	i＝0.1
	内空寸法(幅×長×高)		1350/2150×4500×1800
	土の単位重量		γ=19kN/m3
	土圧係数		K_a=0.5
	本体土被り		GL-800mm

現場打ちコンクリート（下床版）

使用材料	コンクリート	設計基準強度 圧縮強度σck=24MPa(N/mm2)
	鉄筋	SD345

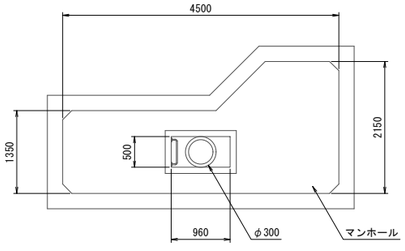


起点側

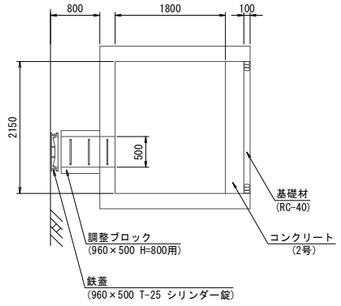


車道側

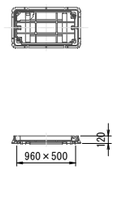
A



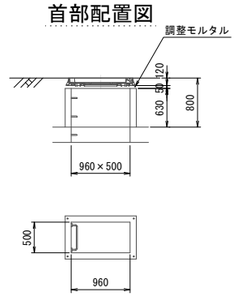
終点側



鉄蓋

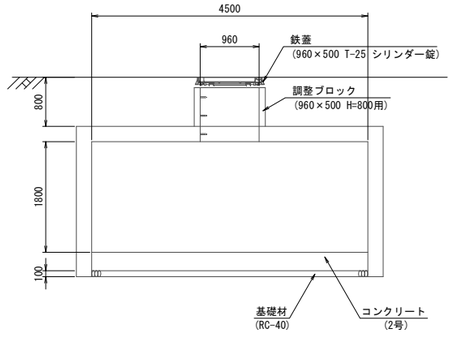


首部配置図



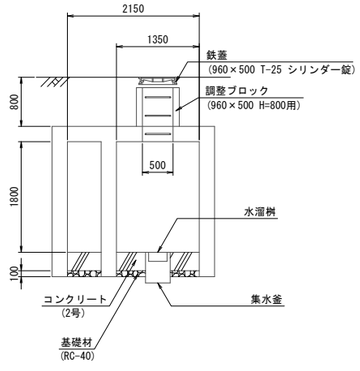
A

民地側



A-A断面図

車道側　　民地側



数量表　　1箇所当り

名称	規格	単位	数量
マンホール	W1350/2150×H1800×L4500	基	1
調整ブロック	960×500 H=800用	個	1
鉄蓋	960×500 T-25 シリンダー錠	枚	1
コンクリート	2号	m3	2.500
基礎材	RC-40 t=100	m2	10.000
鉄筋	SD345 D16	t	0.157

工事名	安来電線共同溝PFI事業		
図面名	特殊部構造図(11)		
作成年月日			
縮尺	1:50	図面番号	53 / 78
会社名			
事業者名	松江国道事務所		

特殊部構造図(12)

(4.5mタイプ)

L型(L)マンホール MN15

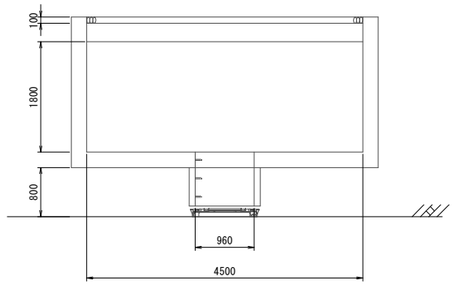
S=1:50

設 計 条 件

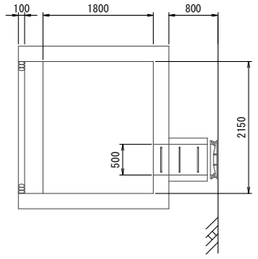
箱形構造	設計荷重	活 荷 重	T-25(輪荷重50kN, 隣接軸距1.3m)
		衝 撃	i＝0.4
	内空寸法(幅×長×高)		1350/2150×4500×1800
	土 の 単 位 重 量		γ=19kN/m3
	土 圧 係 数		K_A=0.5
	本 体 土 被 り		GL-800mm

現場打ちコンクリート（下床版）

使用材料	コンクリート	設計基準強度 圧縮強度σck=24MPa(N/mm2)
	鉄 筋	SD345

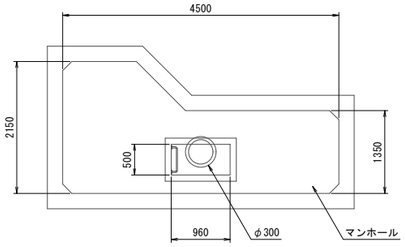


起点側

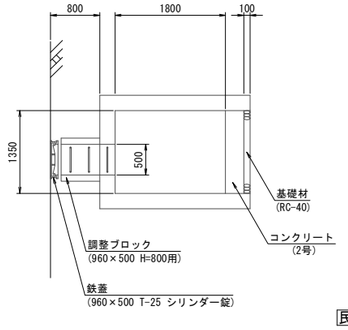


車道側

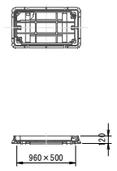
A



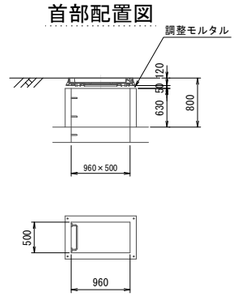
終点側



鉄蓋

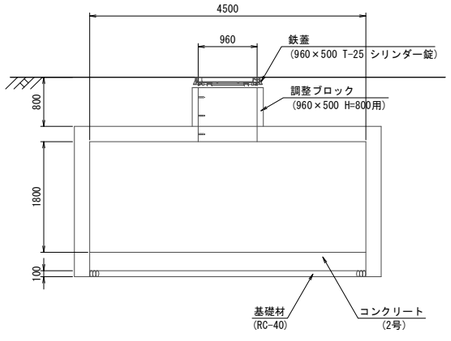


首部配置図



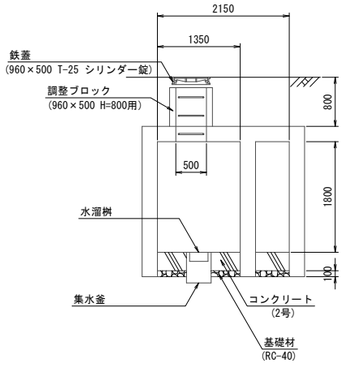
A

民地側



A-A断面図

民地側　車道側



数量表　　1箇所当り

名　称	規　格	単 位	数　量
マンホール	W1350/2150×H1800×L4500	基	1
調整ブロック	960×500 H=800用	個	1
鉄蓋	960×500 T-25 シリンダー錠	枚	1
コンクリート	2号	m3	2.500
基礎材	RC-40 t=100	m2	10.000
鉄筋	SD345 D16	t	0.157

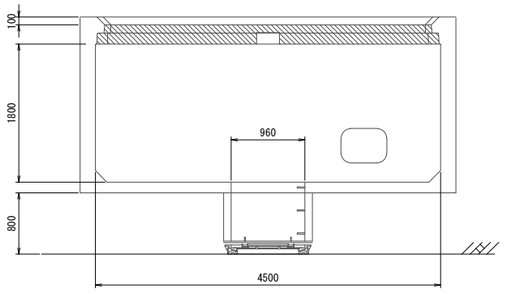
工事名	安来電線共同溝PFI事業		
図面名	特殊部構造図(12)		
作成年月日			
縮尺	1:50	図面番号	54 / 78
会社名			
事業者名	松江国道事務所		

特殊部構造図(13)

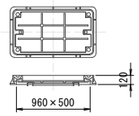
(4.5mタイプ)

S型マンホール MN16

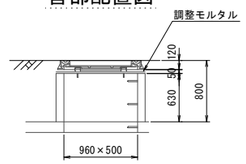
S=1:40

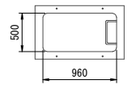


鉄蓋



首部配置図





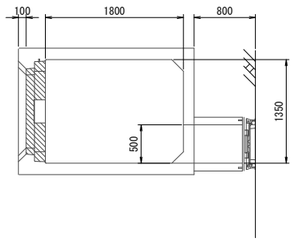
設 計 条 件

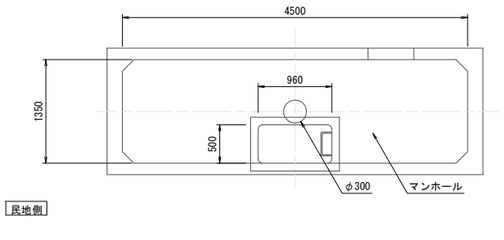
箱形構造	設計荷重	活 荷 重	T-25（ 輪荷重50kN、隣接軸距1.3m ）
		衝 撃	i＝0.4
	内空寸法(幅×長×高)		1350×4500×1800
	土 の 単 位 重 量		γ=19kN/m3
	土 圧 係 数		Kₐ=0.5
	本 体 土 被 り		GL-800mm

現場打ちコンクリート（下床版）

使用材料	コンクリート	設計基準強度 圧縮強度σck=24MPa(N/mm2)
	鉄 筋	SD345

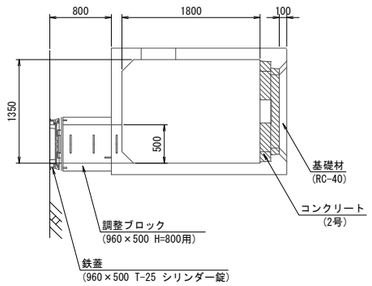
起点側　車道側

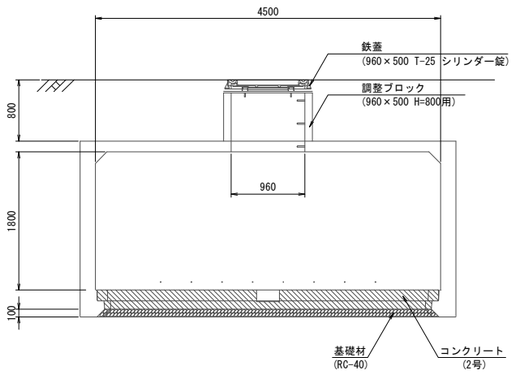




民地側

終点側





数量表　　1箇所当り

名　称	規　格	単 位	数　量
マンホール	W1350×H1800×L4500	基	1
調整ブロック	960×500 H=800用	個	1
鉄蓋	960×500 T-25 シリンダー錠	枚	1
コンクリート	2号	m3	1.519
基礎材	RC-40 t=100	m2	6.075
鉄筋	SD345 D13	t	0.103

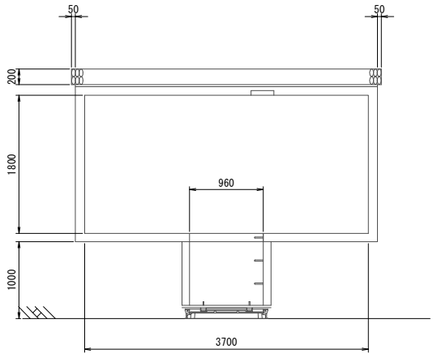
工事名	安来電線共同溝PFI事業		
図面名	特殊部構造図(13)		
作成年月日			
縮尺	1:40	図面番号	55 / 78
会社名			
事業者名	松江国道事務所		

特殊部構造図(14)

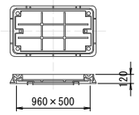
(3.7mタイプ)

S型マンホール MN17

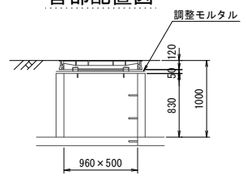
S=1:40

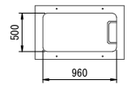


鉄蓋



首部配置図





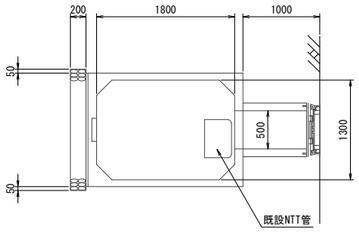
設計条件

箱形構造	設計荷重	活荷重	T-25(輪荷重50kN、隣接軸距1.3m)
		衝撃	i＝0.1
	内空寸法(幅×長×高)		1300×3700×1800
	土の単位重量		γ=19kN/m3
	土圧係数		Kₐ=0.5
	本体土被り		GL-1000mm

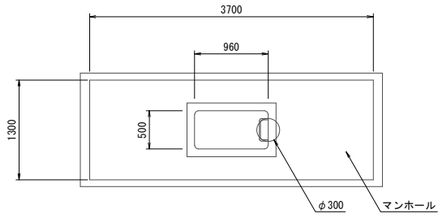
現場打ちコンクリート（下床版）

使用材料	コンクリート	設計基準強度 圧縮強度σck=24MPa(N/mm2)
	鉄筋	SD345

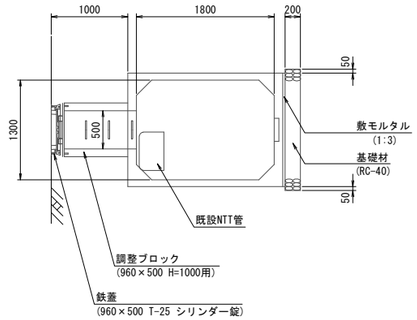
起点側



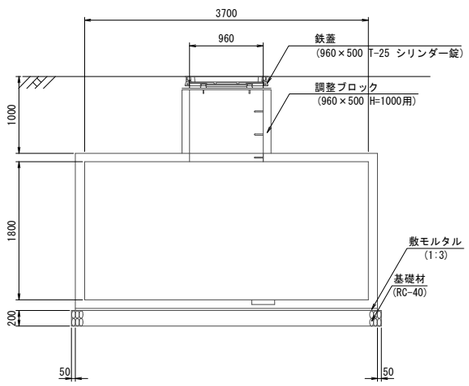
車道側



終点側



民地側



数量表　　1箇所当り

名称	規格	単位	数量
マンホール	W1300×H1800×L3700	基	1
調整ブロック	960×500 H=1000用	個	1
鉄蓋	960×500 T-25 シリンダー錠	枚	1
敷モルタル	1:3	式	1
コンクリート	1号	m3	1.698
基礎材	RC-40 t=200	m2	16.980

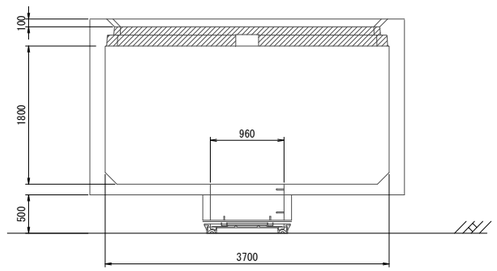
工事名	安来電線共同溝PFI事業		
図面名	特殊部構造図(14)		
作成年月日			
縮尺	1:40	図面番号	56 / 78
会社名			
事業者名	松江国道事務所		

特殊部構造図(15)

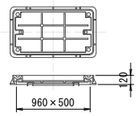
(3.7mタイプ)

S型マンホール MN18

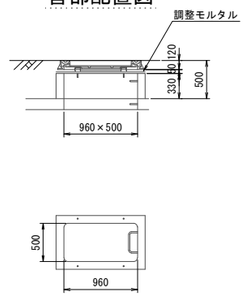
S=1:40



鉄蓋



首部配置図

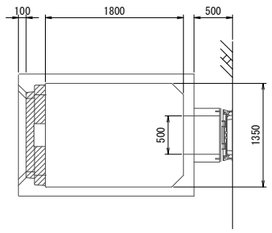


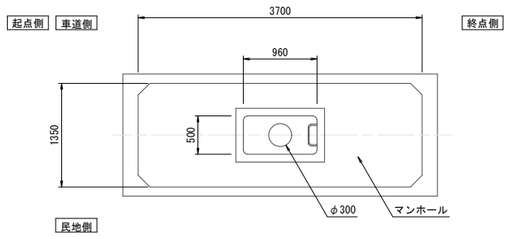
設計条件

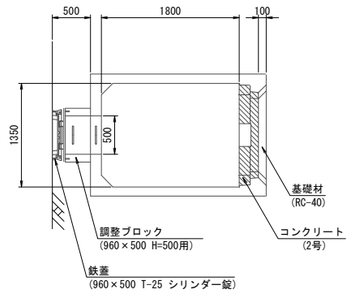
箱形構造	設計荷重	活荷重	T-25(輪荷重50kN、隣接軸距1.3m)
		衝撃	i＝0.1
	内空寸法(幅×長×高)		1350×3700×1800
	土の単位重量		γ=19kN/m3
	土圧係数		Kₐ=0.5
	本体土被り		GL-500mm

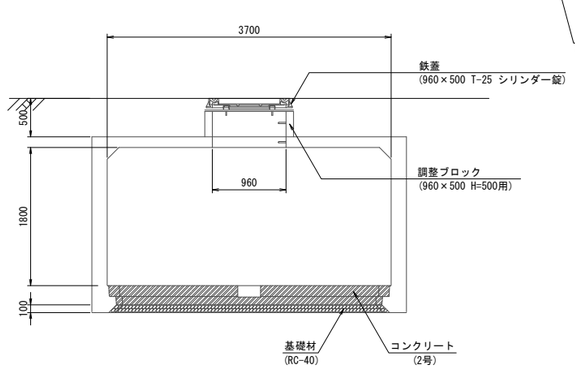
現場打ちコンクリート（下床版）

使用材料	コンクリート	設計基準強度 圧縮強度σck=24MPa(N/mm2)
	鉄筋	SD345









数量表　　1箇所当り

名称	規格	単位	数量
マンホール	W1350×H1800×L3700	基	1
調整ブロック	960×500 H=500用	個	1
鉄蓋	960×500 T-25 シリンダー錠	枚	1
コンクリート	2号	m3	1.238
基礎材	RC-40 t=100	m2	4.950
鉄筋	SD345 D13	t	0.087

工事名	安来電線共同溝PFI事業		
図面名	特殊部構造図(15)		
作成年月日			
縮尺	1:40	図面番号	57 / 78
会社名			
事業者名	松江国道事務所		

特殊部構造図(16)

(4.5mタイプ)

L型(L)マンホール MN19

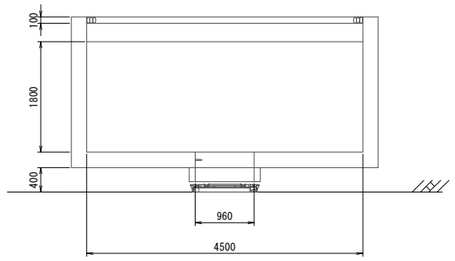
S=1:50

設計条件

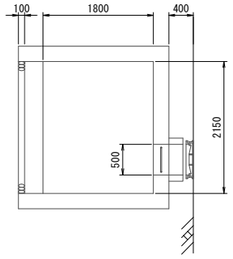
箱形構造	設計荷重	活荷重	T-25(輪荷重50kN, 隣接軸距1.3m)
		衝撃	i＝0.4
	内空寸法(幅×長×高)		1350/2150×4500×1800
	土の単位重量		γ=19kN/m3
	土圧係数		K_0=0.5
	本体土被り		GL-400mm

現場打ちコンクリート（下床版）

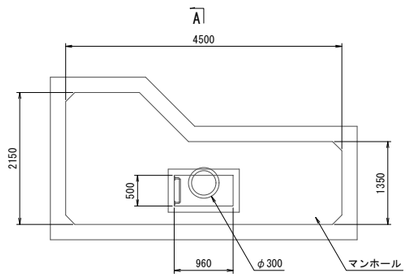
使用材料	コンクリート	設計基準強度 圧縮強度σck=24MPa(N/mm2)
	鉄筋	SD345



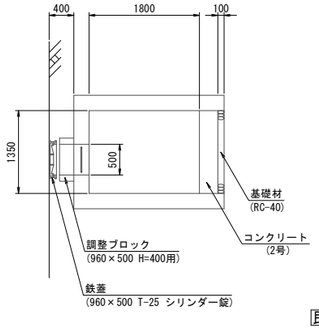
起点側



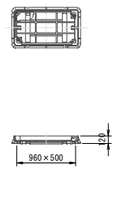
車道側



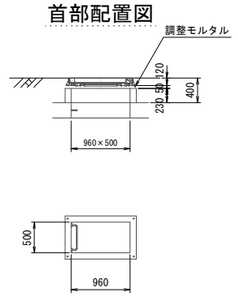
終点側



鉄蓋

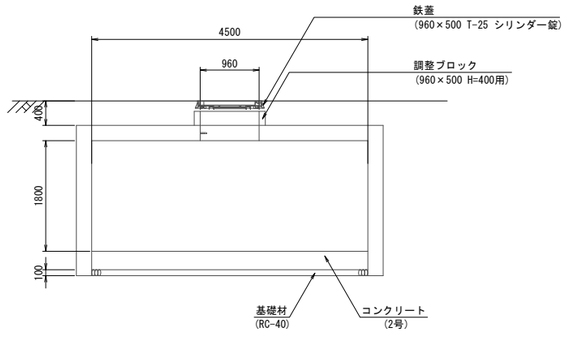


首部配置図



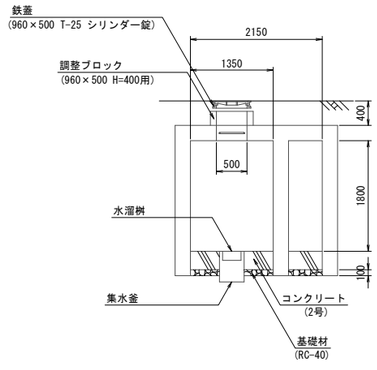
A

民地側



A-A断面図

民地側　車道側



数量表　　1箇所当り

名称	規格	単位	数量
マンホール	W1350/2150×H1800×L4500	基	1
調整ブロック	960×500 H=400用	個	1
鉄蓋	960×500 T-25 シリンダー錠	枚	1
コンクリート	2号	m3	2.500
基礎材	RC-40 t=100	m2	10.000
鉄筋	SD345 D13	t	0.157

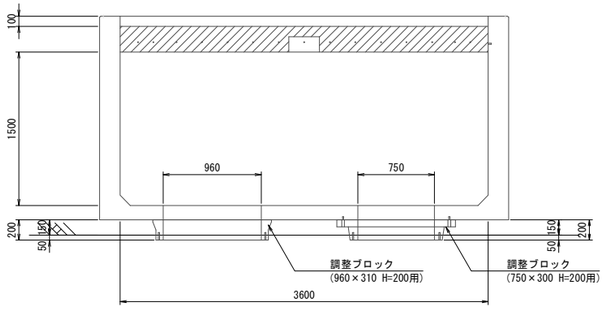
工事名	安来電線共同溝PFI事業		
図面名	特殊部構造図(16)		
作成年月日			
縮尺	1:50	図面番号	58 / 78
会社名			
事業者名	松江国道事務所		

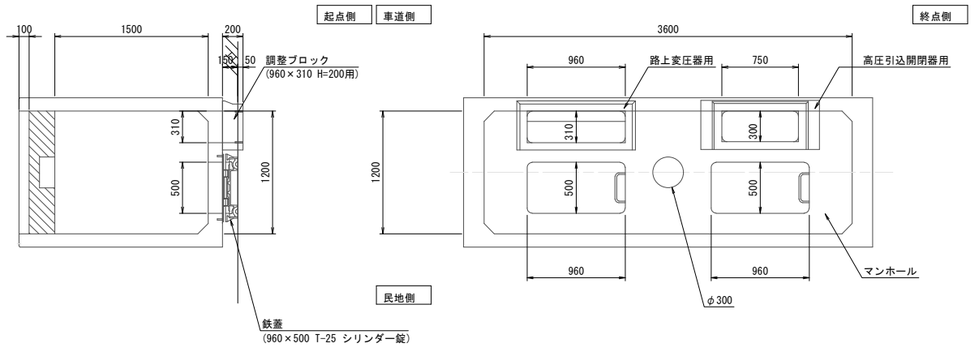
特殊部構造図(17)

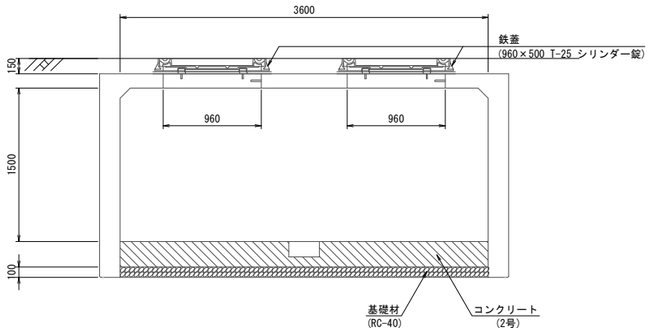
S=1:30

(3.6mタイプ)

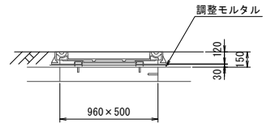
路上変圧器/高圧引込開閉器 AN1

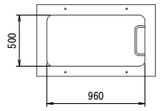




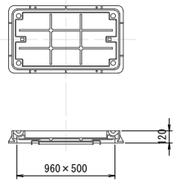


首部配置図





鉄蓋



設 計 条 件

箱形構造	設計荷重	活 荷 重	T-25(輪荷重50kN、隣接軸距1.3m)
		衝 撃	i＝0.1
	内空寸法(幅×長×高)		1200×3600×1500
	土 の 単 位 重 量		γ=19kN/m3
	土 圧 係 数		Ka=0.5
	本 体 土 被 り		GL-150mm

現場打ちコンクリート（下床版）

使用材料	コンクリート	設計基準強度 圧縮強度σck=24MPa(N/mm2)
	鉄 筋	SD345

数量表　　1箇所当り

名　称	規　格	単 位	数　量
マンホール	W1200×H1500×L3600	基	1
調整ブロック	960×310 H=200用	個	1
調整ブロック	750×300 H=200用	個	1
鉄蓋	960×500 T-25 シリンダー錠	枚	2
コンクリート	2号	m3	1.080
基礎材	RC-40 t=100	m2	4.320
鉄筋	SD345 D13	t	0.074

工事名	安来電線共同溝PFI事業		
図面名	特殊部構造図(17)		
作成年月日			
縮尺	1:30	図面番号	59 / 78
会社名			
事業者名	松江国道事務所		

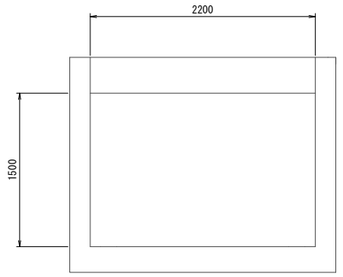
特殊部構造図(18)

S=1:30

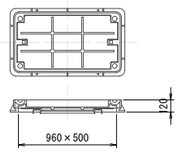
(2.2mタイプ)

路上変圧器 AN2

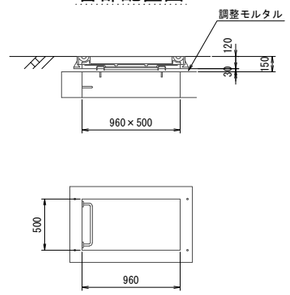
民地側 側面図



鉄蓋



首部配置図



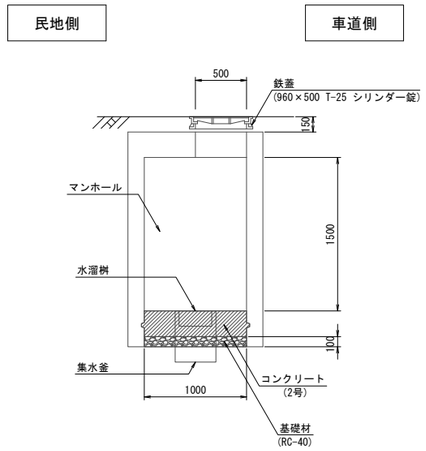
設 計 条 件

箱形構造	設計荷重	活 荷 重	T-25(輪荷重50kN, 隣接軸距1.3m)
		衝 撃	i＝0.1
	内空寸法(幅×長×高)		1000×2200×1500
	土 の 単 位 重 量		γ=19kN/m3
	土 圧 係 数		K_A=0.5
	本 体 土 被 り		GL-150mm

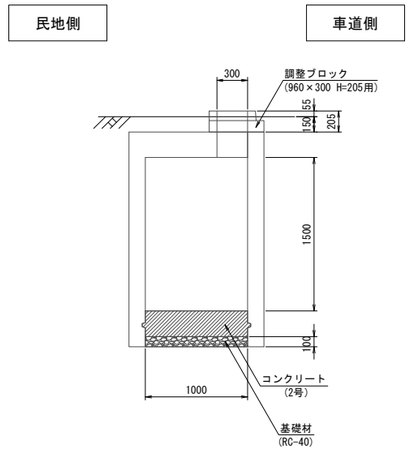
現場打ちコンクリート（下床版）

使用材料	コンクリート	設計基準強度 圧縮強度σck=24MPa(N/mm2)
	鉄 筋	SD345

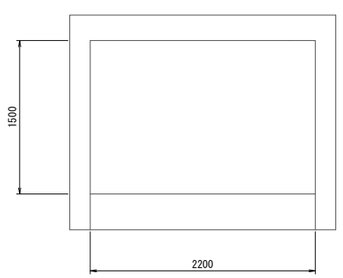
A-A断面図

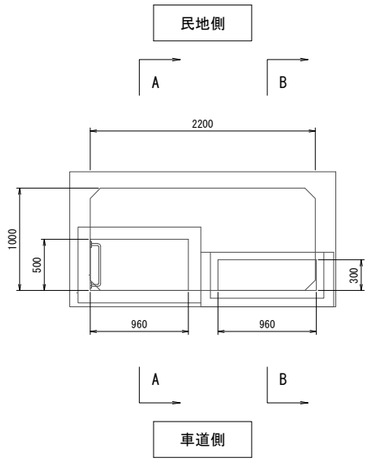


B-B断面図



車道側 側面図





数量表　　1箇所当り

名　称	規　格	単 位	数　量
マンホール	W1000×H1500×L2200	基	1
調整ブロック	960×300 H=205用	個	1
鉄蓋	960×500 T-25 シリンダー錠	枚	1
コンクリート	2号	m3	0.550
基礎材	RC-40 t=100	m2	2.200
鉄筋	SD345 D13	t	0.041

工事名	安来電線共同溝PFI事業		
図面名	特殊部構造図(18)		
作成年月日			
縮尺	1:30	図面番号	60 / 78
会社名			
事業者名	松江国道事務所		

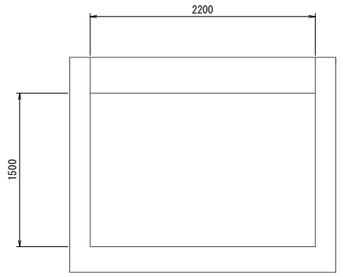
特殊部構造図(19)

S=1:30

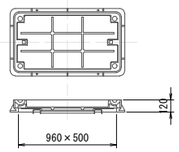
(2.2mタイプ)

路上変圧器 AN3,AN7

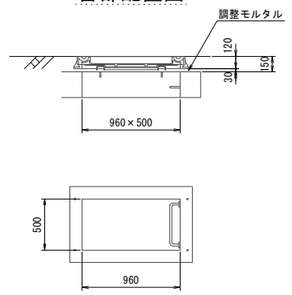
民地側 側面図



鉄蓋



首部配置図



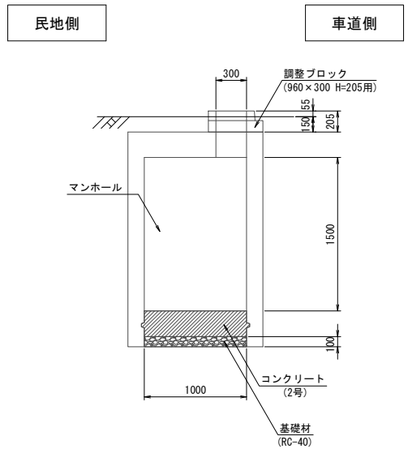
設 計 条 件

箱形構造	設計荷重	活 荷 重	T-25(輪荷重50kN, 隣接軸距1.3m)
		衝 撃	i＝0.1
	内空寸法(幅×長×高)		1000×2200×1500
	土 の 単 位 重 量		γ=19kN/m3
	土 圧 係 数		K_A=0.5
	本 体 土 被 り		GL-150mm

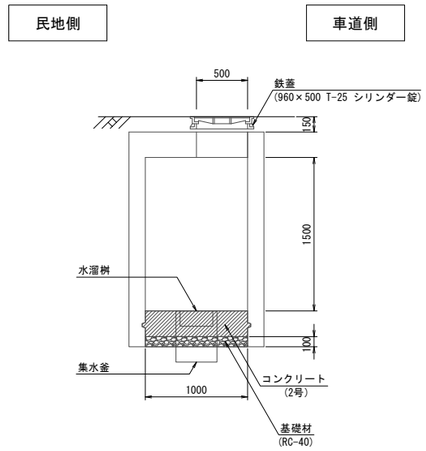
現場打ちコンクリート（下床版）

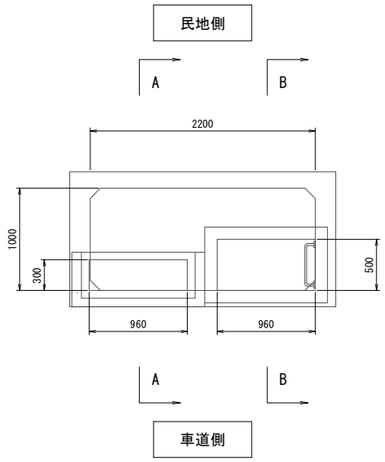
使用材料	コンクリート	設計基準強度 圧縮強度σck=24MPa(N/mm2)
	鉄 筋	SD345

A-A断面図



B-B断面図

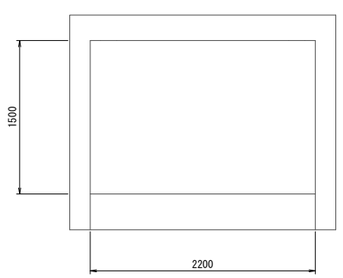




数量表　　1箇所当り

名　称	規　格	単 位	数　量
マンホール	W1000×H1500×L2200	基	1
調整ブロック	960×500 H=205用	個	1
鉄蓋	960×500 T-25 シリンダー錠	枚	1
コンクリート	2号	m3	0.550
基礎材	RC-40 t=100	m2	2.200
鉄筋	SD345 D13	t	0.041

車道側 側面図



工事名	安来電線共同溝PFI事業		
図面名	特殊部構造図(19)		
作成年月日			
縮尺	1:30	図面番号	61 / 78
会社名			
事業者名	松江国道事務所		

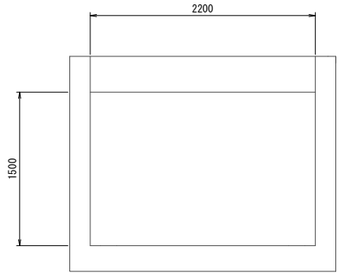
特殊部構造図(20)

S=1:30

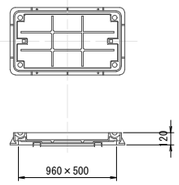
(2.2mタイプ)

高圧引込開閉器 AN4,AN6

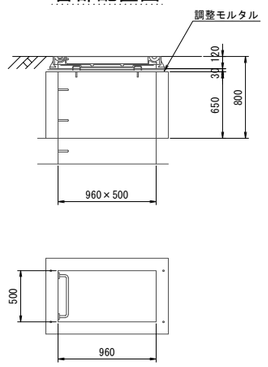
車道側 側面図



鉄蓋



首部配置図



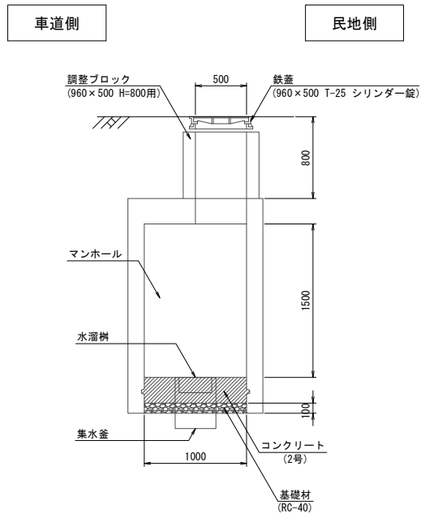
設 計 条 件

箱形構造	設計荷重	活 荷 重	T-25(輪荷重50kN, 隣接軸距1.3m)
		衝 撃	i＝0.1
	内空寸法(幅×長×高)		1000×2200×1500
	土 の 単 位 重 量		γ=19kN/m3
	土 圧 係 数		K_A=0.5
	本 体 土 被 り		GL-800mm

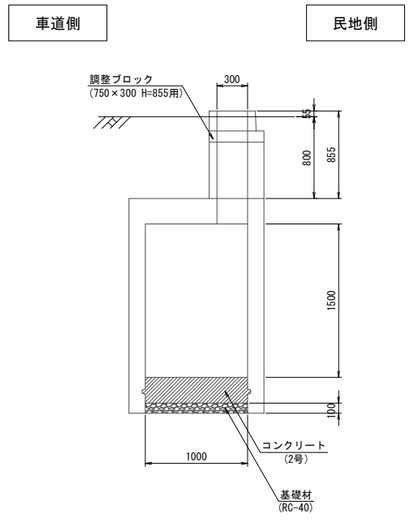
現場打ちコンクリート（下床版）

使用材料	コンクリート	設計基準強度 圧縮強度σck=24MPa(N/mm2)
	鉄 筋	SD345

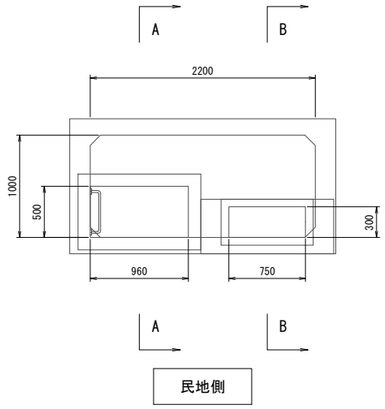
A-A断面図



B-B断面図



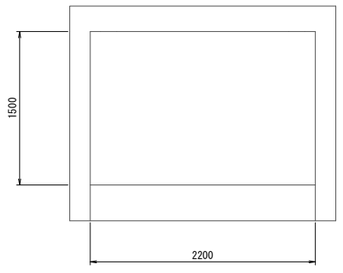
車道側



数量表　　1箇所当り

名　称	規　格	単 位	数　量
マンホール	W1000×H1500×L2200	基	1
調整ブロック	960×500 H=800用	個	1
調整ブロック	750×300 H=855用	個	1
鉄蓋	960×500 T-25 シリンダー錠	枚	1
コンクリート	2号	m3	0.550
基礎材	RC-40 t=100	m2	2.200
鉄筋	SD345 D13	t	0.041

民地側 側面図



工事名	安来電線共同溝PFI事業		
図面名	特殊部構造図(20)		
作成年月日			
縮尺	1:30	図面番号	62 / 78
会社名			
事業者名	松江国道事務所		

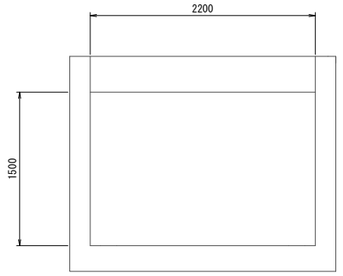
特殊部構造図(21)

S=1:30

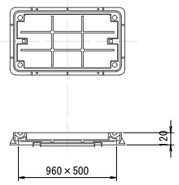
(2.2mタイプ)

路上変圧器 AN5

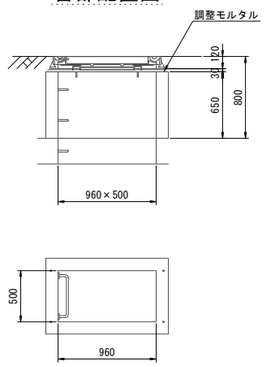
車道側 側面図



鉄蓋



首部配置図



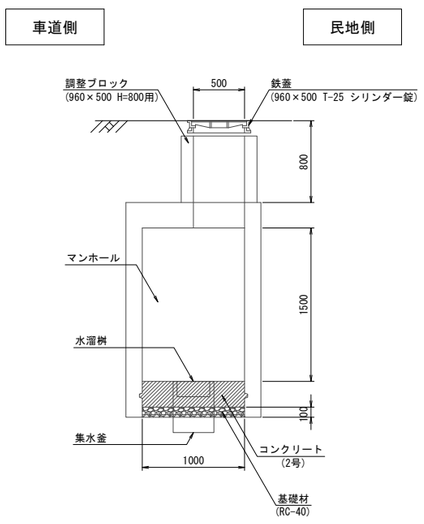
設 計 条 件

箱形構造	設計荷重	活 荷 重	T-25(輪荷重50kN, 隣接軸距1.3m)
		衝 撃	i＝0.1
	内空寸法(幅×長×高)		1000×2200×1500
	土 の 単 位 重 量		γ=19kN/m3
	土 圧 係 数		K_A=0.5
	本 体 土 被 り		GL-800mm

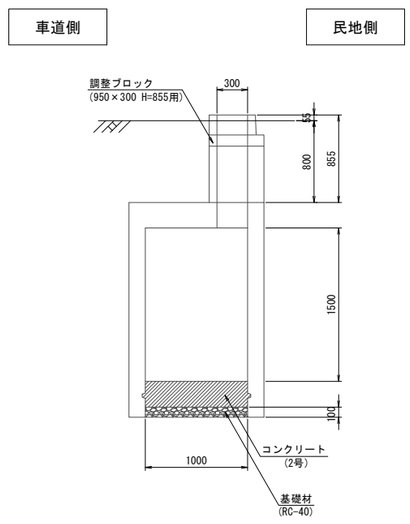
現場打ちコンクリート（下床版）

使用材料	コンクリート	設計基準強度 圧縮強度σck=24MPa(N/mm2)
	鉄 筋	SD345

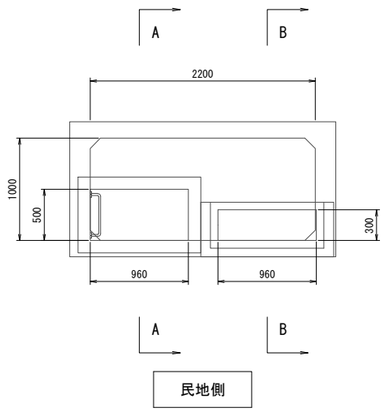
A-A断面図



B-B断面図



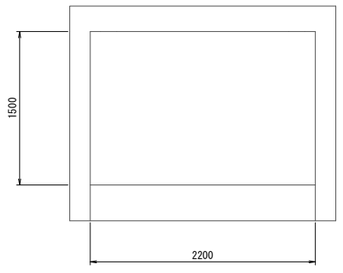
車道側



数量表　　1箇所当り

名　称	規　格	単 位	数　量
マンホール	W1000×H1500×L2200	基	1
調整ブロック	960×500 H=800用	個	1
調整ブロック	950×300 H=855用	個	1
鉄蓋	960×500 T-25 シリンダー錠	枚	1
コンクリート	2号	m3	0.550
基礎材	RC-40 t=100	m2	2.200
鉄筋	SD345 D13	t	0.041

民地側 側面図



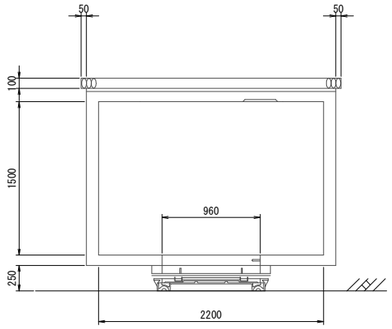
工事名	安来電線共同溝PFI事業		
図面名	特殊部構造図(21)		
作成年月日			
縮尺	1:30	図面番号	63 / 78
会社名			
事業者名	松江国道事務所		

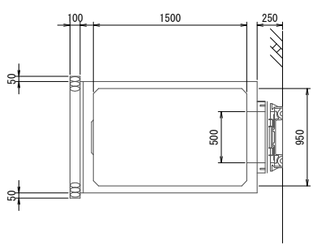
特殊部構造図(22)

(1.5mタイプ)

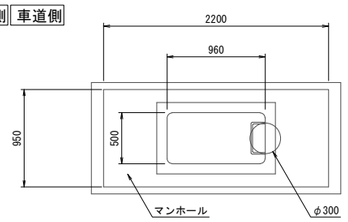
通信基点接続桝 TN1,TN3

S=1:30

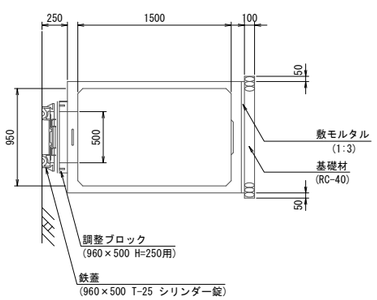




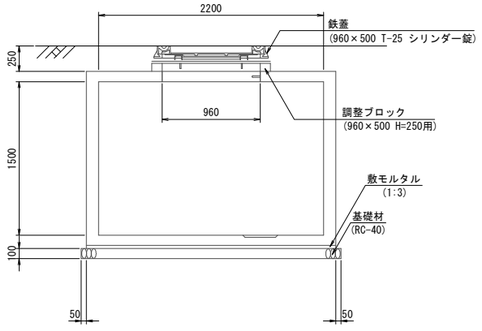
起点側 車道側



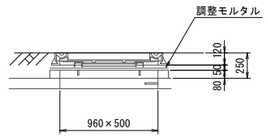
終点側

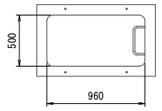


民地側

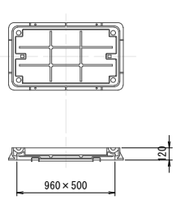


首部配置図





鉄蓋



箱形構造			
設計荷重	活荷重	T-25(輪荷重50kN, 隣接軸距1.3m)
	衝撃	i=0.1
内空寸法(幅×長×高)		950×2200×1500
土の単位重量		γ=19kN/m3
土圧係数		Ka=0.5
本体土被り		GL-250mm

数量表 1箇所当り

名称	規格	単位	数量
マンホール	W950×H1500×L2200	基	1
調整ブロック	960×500 H=250用	個	1
鉄蓋	960×500 T-25 シリンダー錠	枚	1
敷モルタル	1:3	式	1
コンクリート	1号	m3	1.125
基礎材	RC-40 t=100	m2	7.500

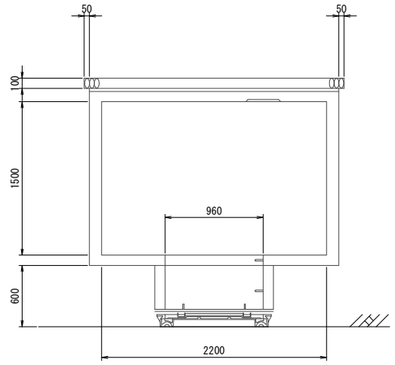
工事名	安来電線共同溝PF1事業		
図面名	特殊部構造図(22)		
作成年月日			
縮尺	1:30	図面番号	64 / 78
会社名			
事業者名	松江国道事務所		

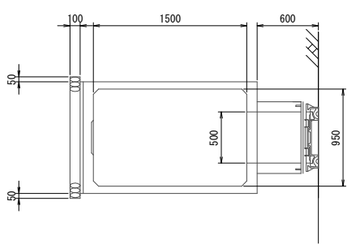
特殊部構造図(23)

(1.5mタイプ)

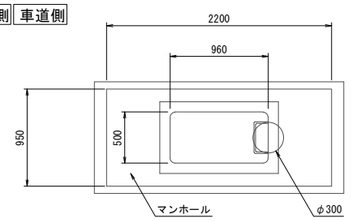
通信基点接続桝 TN2

S=1:30

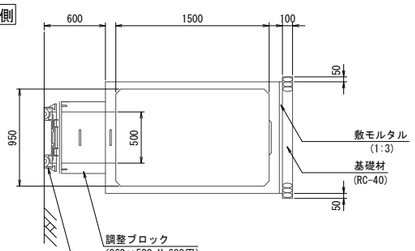




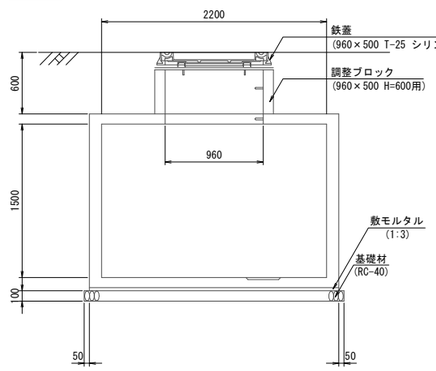
起点側 車道側



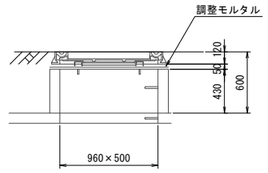
終点側

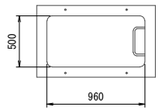


民地側

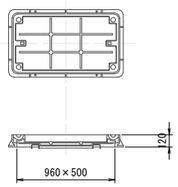


首部配置図





鉄蓋



箱形構造			
設計荷重	活荷重		T-25(輪荷重50kN, 隣接軸距1.3m)
	衝撃		i=0.1
内空寸法(幅×長×高)			950×2200×1500
土の単位重量			γ=19kN/m3
土圧係数			K_A=0.5
本体土被り			GL-600mm

数量表 1箇所当り

名称	規格	単位	数量
マンホール	W950×H1500×L2200	基	1
調整ブロック	960×500 H=600用	個	1
鉄蓋	960×500 T-25 シリンダー錠	枚	1
敷モルタル	1:3	式	1
コンクリート	1号	m3	1.125
基礎材	RC-40 t=100	m2	7.500

工事名	安来電線共同溝PFI事業		
図面名	特殊部構造図(23)		
作成年月日			
縮尺	1:30	図面番号	65 / 78
会社名			
事業者名	松江国道事務所		

特殊部構造図(24)

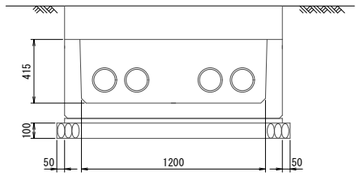
(低圧分岐桝 600×415×1200)

BN1～14,BN17～19

S=1:20

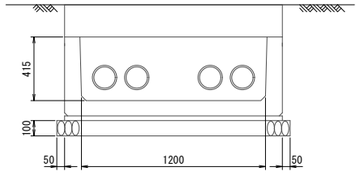
民地側 側面図

2-2断面図

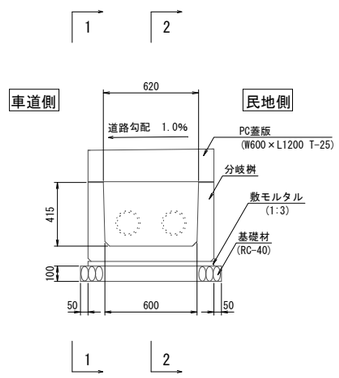


車道側 側面図

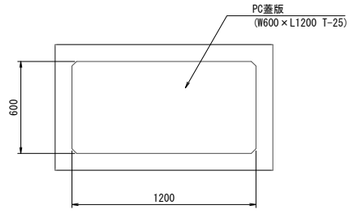
1-1断面図



断面図



平面図



蓋版	設計荷重	活 荷 重	T-25(輪荷重50kN, 隣接軸距1.3m)
		衝 撃	i＝0.1
箱形構造	設計荷重	活 荷 重	T-25(輪荷重50kN, 隣接軸距1.3m)
		衝 撃	側壁 i＝0 底版 i＝0.1
	内空寸法(幅×長×高)		600×1200×415
	地 下 水 位		—
	土の単位重量	地下水位以上	γ=17kN/m3
		地下水位以下	—
	土 圧 係 数		K_A=0.5

数量表　　1箇所当り

名　称	規　格	単 位	数　量
本体	W600×H415×L1200	基	1
PC蓋版	W600×L1200 T-25	個	1
敷モルタル	1:3	式	1
基礎材	RC-40 t=100	m2	1.398

工事名	安来電線共同溝PFI事業		
図面名	特殊部構造図(24)		
作成年月日			
縮尺	1:20	図面番号	66 / 78
会社名			
事業者名	松江国道事務所		

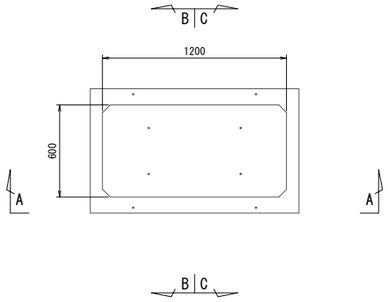
特殊部構造図(25)

(低圧分岐桝 600×800×1200)

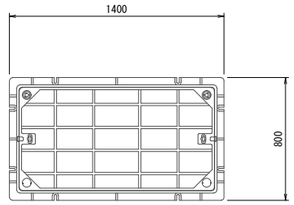
BN15,BN16

S=1:20

平面図

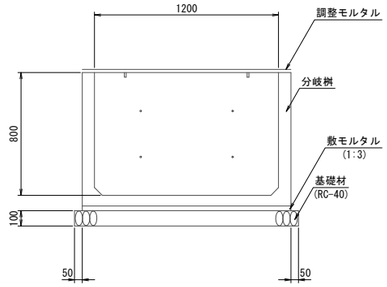


鉄蓋

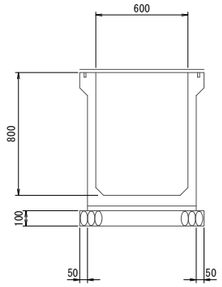


蓋版	設計荷重	活 荷 重	T-25(輪荷重50kN, 隣接軸距1.3m)
		衝 撃	i=0.1
箱形構造	設計荷重	活 荷 重	T-25(輪荷重50kN, 隣接軸距1.3m)
		衝 撃	側壁 i=0 底版 i=0.1
	内空寸法(幅×長×高)		600×1200×800
	地 下 水 位		—
	土の単位重量	地下水位以上	γ=17kN/m3
		地下水位以下	—
	土 圧 係 数		K_A=0.5

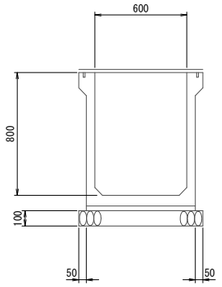
A-A断面図



B-B断面図



C-C断面図



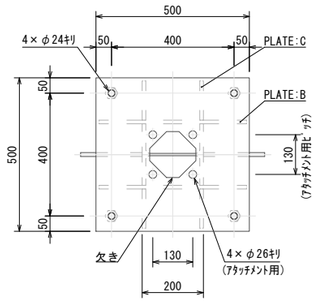
数量表　　1箇所当り

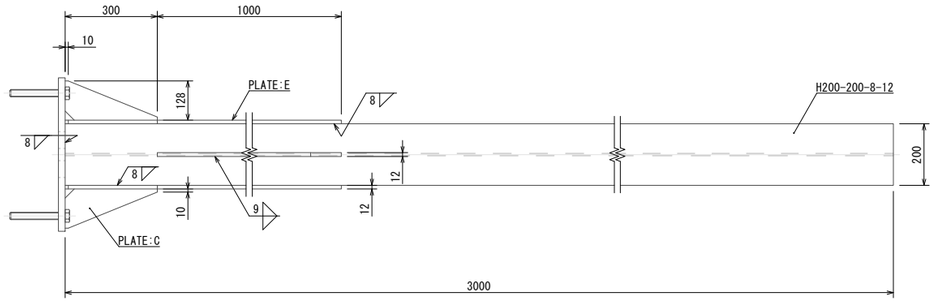
名　称	規　格	単 位	数　量
本体	W600×H800×L1200	基	1
鉄蓋	1400×800 T-25 シリンダー錠	個	1
敷モルタル	1:3	式	1
基礎材	RC-40 t=100	m2	1.398

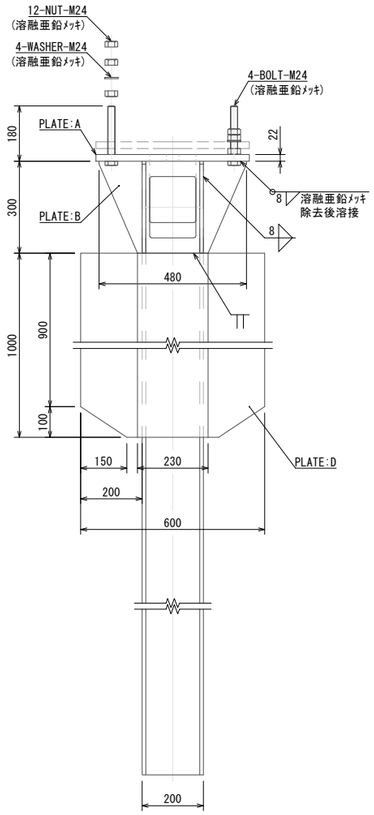
工事名	安来電線共同溝PF1事業		
図面名	特殊部構造図(25)		
作成年月日			
縮尺	1:20	図面番号	67 / 78
会社名			
事業者名	松江国道事務所		

1号照明柱基礎図

(R-19)



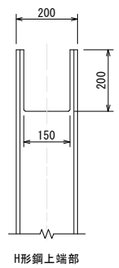




材料表

種別	規格・材質	寸法・強度区分	単質(kg)	数量	質量(kg)
BOLT	JIS B 1180 全ねじ六角ﾎﾞﾙﾄ	M24×L180 -4.6 (溶融亜鉛ﾒｯｷ)	0.64	4	2.6
NUT	JIS B 1181 六角ﾅｯﾄ	M24 -4 (溶融亜鉛ﾒｯｷ)	-	12	-
WASHER	JIS B 1256 並丸	M24 (溶融亜鉛ﾒｯｷ)	-	4	-
PLATE:A	JIS G 3101 SS400	22×500×500	43.18	1	43.2
PLATE:B	JIS G 3101 SS400	12×300×480	13.56	2	27.1
PLATE:C	JIS G 3101 SS400	12×128×300×1/2	1.81	4	7.2
PLATE:D	JIS G 3101 SS400	12×200×1000	18.84	2	37.7
PLATE:E	JIS G 3101 SS400	12×230×1000	21.67	2	43.3
H	注1)	200×200× 8×12 L=3000	149.70	1	149.7
TOTAL					310.8

注1) JIS G 3101 SS400、JIS G 3136 SN400A 又は、これと同等以上の材質とする。
注2) 溶接部のｽｶﾗｯﾌﾟはC30 又は、R30とする。
注3) ﾎﾞﾙﾄは、強度区分4.6と同等以上とする。



H形鋼上端部

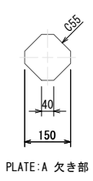


PLATE:A 欠き部

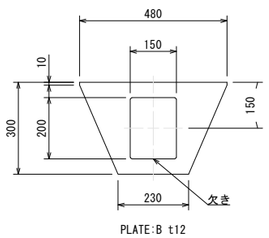
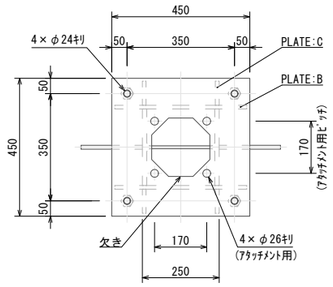


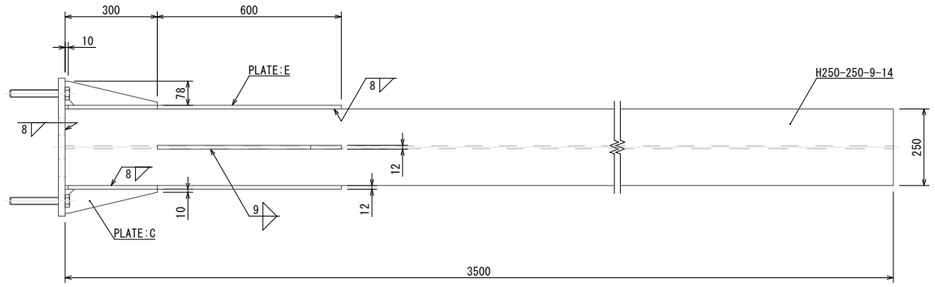
PLATE:B t12

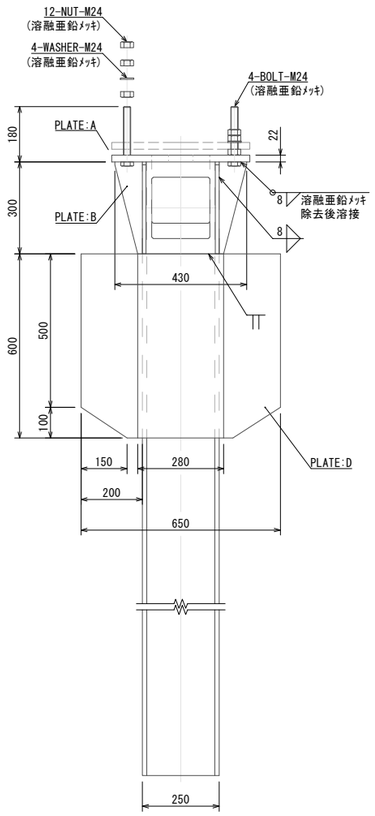
工事名	安来電線共同溝PFI事業		
図面名	1号照明柱基礎図		
作成年月日			
縮尺	1：10	図面番号	68 / 78
会社名			
事業者名	松江国道事務所		

2号照明柱基礎図

(R-1, R-6, R-21)



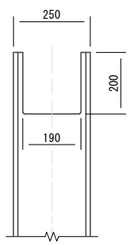




材料表

種別	規格･材質	寸法・強度区分	単質(kg)	数量	質量(kg)
BOLT	JIS B 1180 全ねじ六角ﾎﾞﾙﾄ	M24×L180 -4.6 (溶融亜鉛ﾒｯｷ)	0.64	4	2.6
NUT	JIS B 1181 六角ﾅｯﾄ	M24 -4 (溶融亜鉛ﾒｯｷ)	-	12	-
WASHER	JIS B 1256 並丸	M24 (溶融亜鉛ﾒｯｷ)	-	4	-
PLATE:A	JIS G 3101 SS400	22×450×450	34.97	1	35.0
PLATE:B	JIS G 3101 SS400	12×300×430	12.15	2	24.3
PLATE:C	JIS G 3101 SS400	12×78×300×1/2	1.10	4	4.4
PLATE:D	JIS G 3101 SS400	12×200×600	11.30	2	22.6
PLATE:E	JIS G 3101 SS400	12×280×600	15.83	2	31.7
H	注1)	250×250× 9×14 L=3500	251.30	1	251.3
TOTAL					371.9

注1) JIS G 3101 SS400、JIS G 3136 SN400A 又は、これと同等以上の材質とする。
注2) 溶接部のｽｶﾗｯﾌﾟはC30 又は、R30とする。
注3) ﾎﾞﾙﾄは、強度区分4.6と同等以上とする。



H形鋼上端部

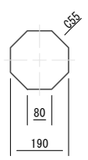


PLATE:A 欠き部

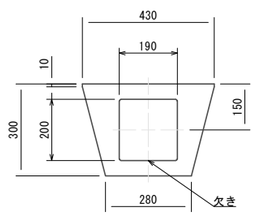
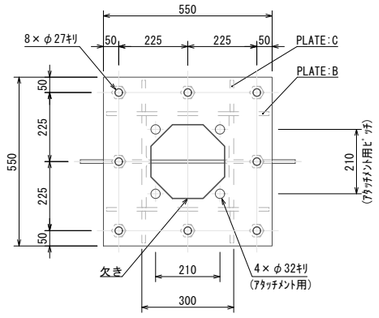


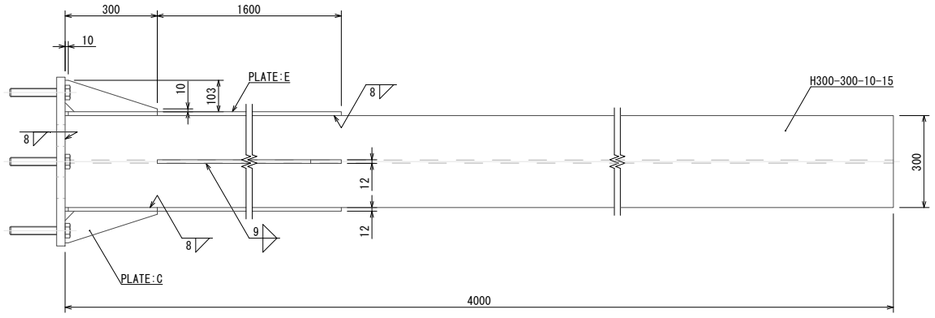
PLATE:B t12

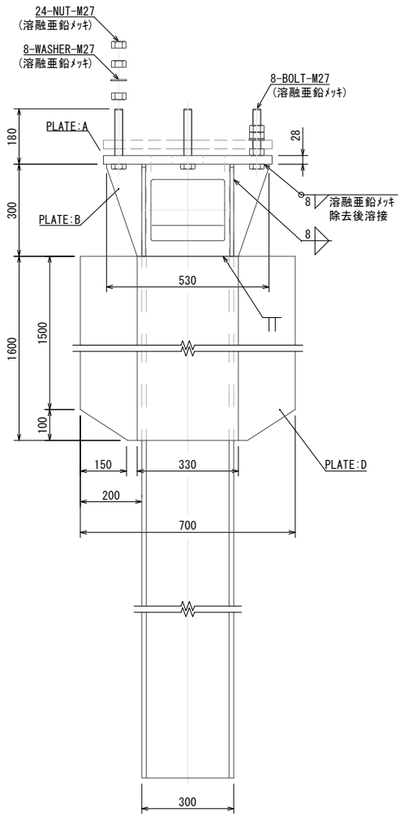
工事名	安来電線共同溝PFI事業		
図面名	2号照明柱基礎図		
作成年月日			
縮尺	1：10	図面番号	69 / 78
会社名			
事業者名	松江国道事務所		

3号照明柱基礎図

(R-2, R-7, R-9, R-10, R-12, R-13, R-15, R-16, R-18, R-22)



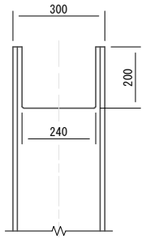




材料表

種別	規格・材質	寸法・強度区分	単質(kg)	数量	質量(kg)
BOLT	JIS B 1180 全ねじ六角ﾎﾞﾙﾄ	M27×L180 -4.6 (溶融亜鉛ﾒｯｷ)	0.81	8	6.5
NUT	JIS B 1181 六角ﾅｯﾄ	M27 -4 (溶融亜鉛ﾒｯｷ)	-	24	-
WASHER	JIS B 1256 並丸	M27 (溶融亜鉛ﾒｯｷ)	-	8	-
PLATE:A	JIS G 3101 SS400	28×550×550	66.49	1	66.5
PLATE:B	JIS G 3101 SS400	12×300×530	14.98	2	30.0
PLATE:C	JIS G 3101 SS400	12×103×300×1/2	1.46	4	5.8
PLATE:D	JIS G 3101 SS400	12×200×1600	30.14	2	60.3
PLATE:E	JIS G 3101 SS400	12×330×1600	49.74	2	99.5
H	注1)	300×300×10×15 L=4000	372.00	1	372.0
TOTAL					640.6

注1) JIS G 3101 SS400、JIS G 3136 SN400A 又は、これと同等以上の材質とする。
注2) 溶接部のｽｶﾗｯﾌﾟはC30 又は、R30とする。
注3) ﾎﾞﾙﾄは、強度区分4.6と同等以上とする。



H形鋼上端部

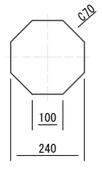


PLATE:A 欠き部

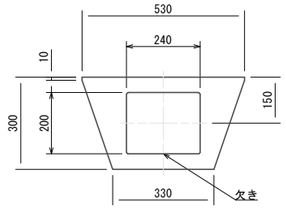
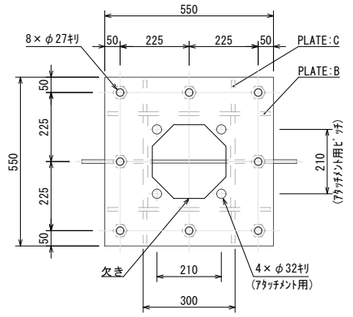


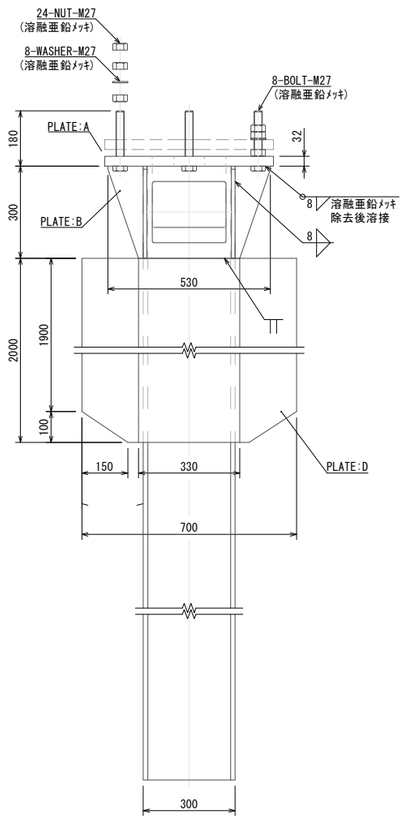
PLATE:B t12

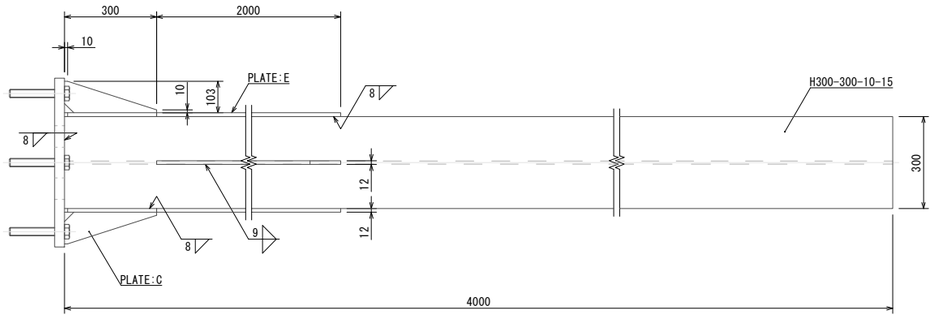
工事名	安来電線共同溝PFI事業		
図面名	3号照明柱基礎図		
作成年月日			
縮尺	1：10	図面番号	70 / 78
会社名			
事業者名	松江国道事務所		

4号照明柱基礎図

(R-17, R-20)



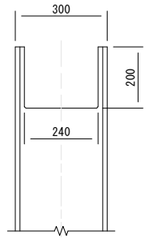




材料表

種別	規格・材質	寸法・強度区分	単質(kg)	数量	質量(kg)
BOLT	JIS B 1180 全ねじ六角ﾎﾞﾙﾄ	M27×L180 -4.6 (溶融亜鉛メッキ)	0.81	8	6.5
NUT	JIS B 1181 六角ﾅｯﾄ	M27 -4 (溶融亜鉛メッキ)	-	24	-
WASHER	JIS B 1256 並丸	M27 (溶融亜鉛メッキ)	-	8	-
PLATE:A	JIS G 3101 SS400	32×550×550	75.99	1	76.0
PLATE:B	JIS G 3101 SS400	12×300×530	14.98	2	30.0
PLATE:C	JIS G 3101 SS400	12×103×300×1/2	1.46	4	5.8
PLATE:D	JIS G 3101 SS400	12×200×2000	37.68	2	75.4
PLATE:E	JIS G 3101 SS400	12×330×2000	62.17	2	124.3
H	注1)	300×300×10×15 L=4000	372.00	1	372.0
TOTAL					690.0

注1) JIS G 3101 SS400、JIS G 3136 SN400A 又は、これと同等以上の材質とする。
注2) 溶接部のｽｶﾗｯﾌﾟはC30 又は、R30とする。
注3) ﾎﾞﾙﾄは、強度区分4.6と同等以上とする。



H形鋼上端部

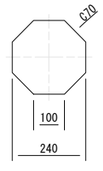


PLATE:A 欠き部

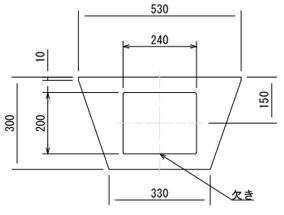


PLATE:B t12

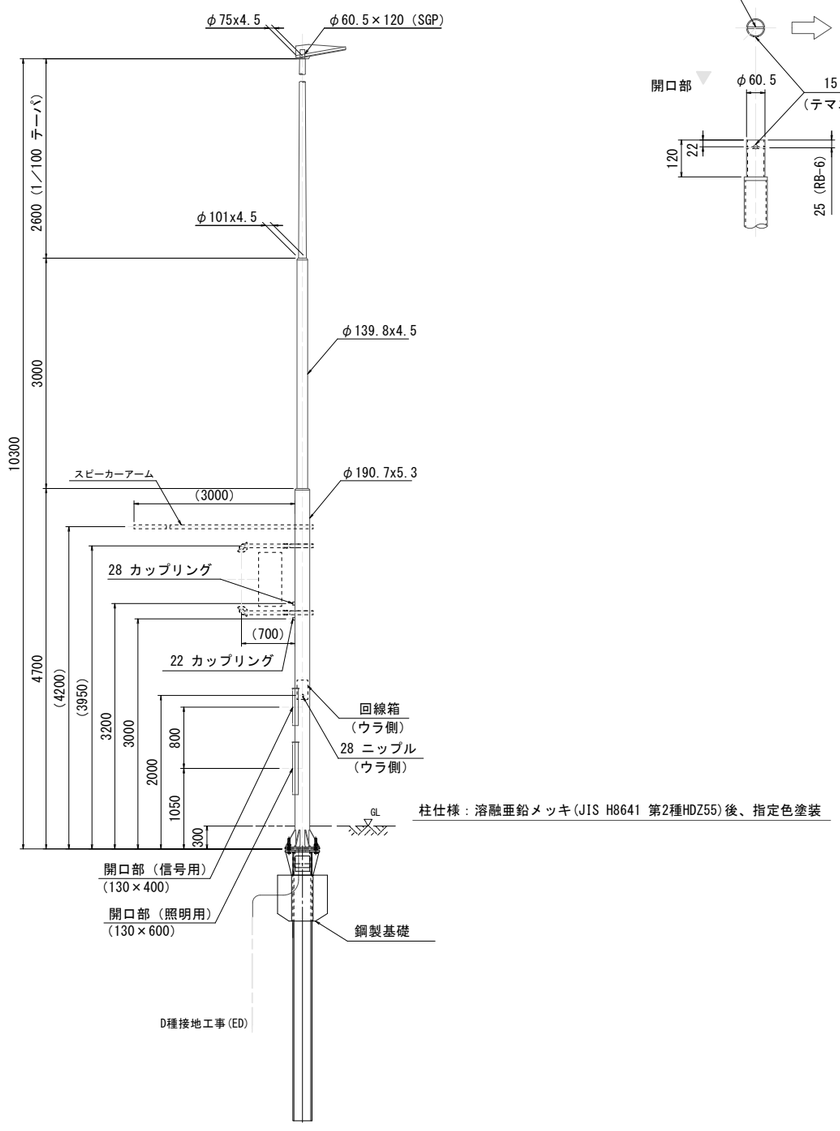
工事名	安来電線共同溝PFI事業		
図面名	4号照明柱基礎図		
作成年月日			
縮尺	1：10	図面番号	71 / 78
会社名			
事業者名	松江国道事務所		

照明柱姿図(1)

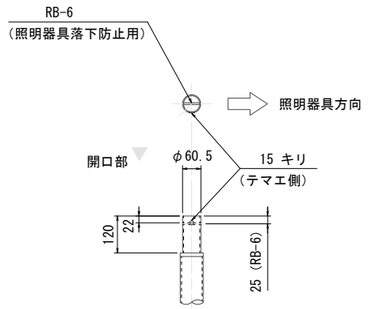
（R-1、R-6、R-21）

多目的柱　姿図

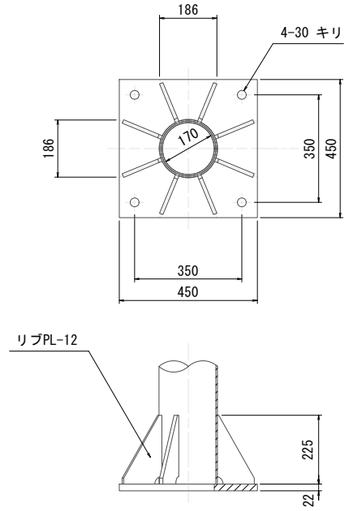
S=1:40



照明器具取付部詳細図　S=1:10



ベースプレート詳細図 S=1:10



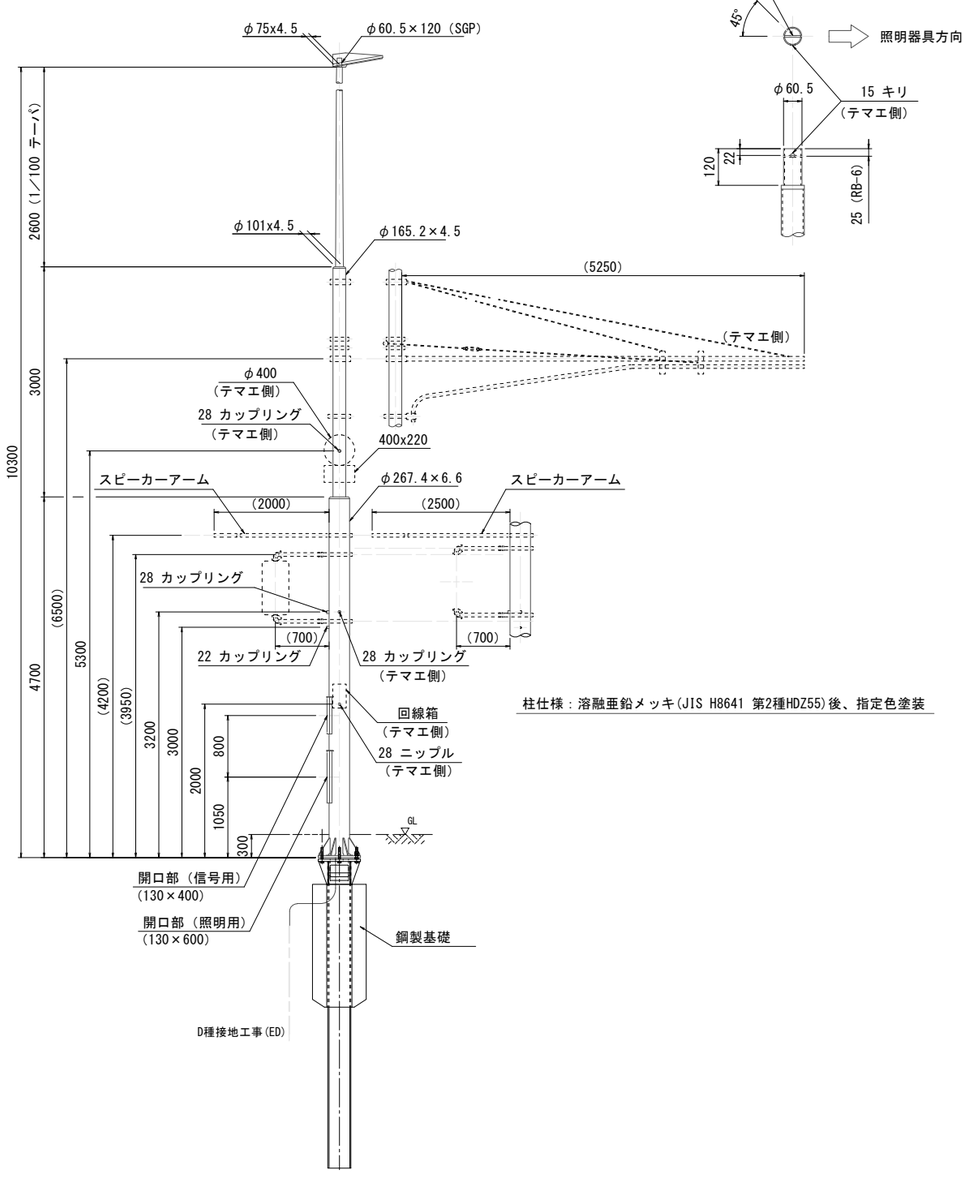
工事名	安来電線共同溝PFI事業		
図面名	照明柱姿図(1)		
作成年月日			
縮　尺	図示	図面番号	72 / 78
会社名			
事業者名	松江国道事務所		

照明柱姿図(2)

（R-2、R-7、R-9、R-10、R-12、R-13、R-15、R-16、R-17
R-18、R-19、R-20、R-22）

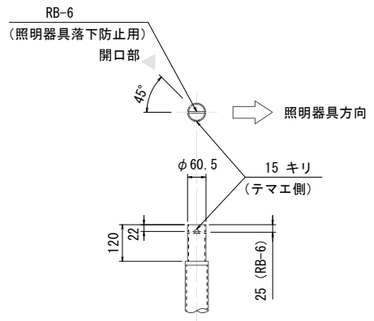
多目的柱　姿図

S=1:40

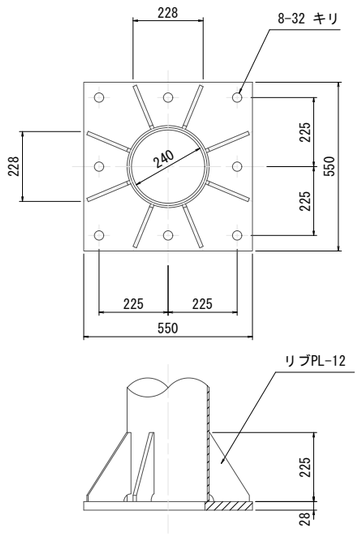


柱仕様：溶融亜鉛メッキ(JIS H8641 第2種HDZ55)後、指定色塗装

照明器具取付部詳細図　S=1:10



ベースプレート詳細図 S=1:10

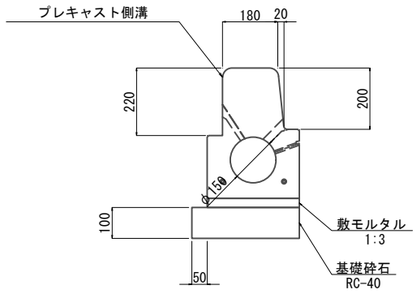


工事名	安来電線共同溝PFI事業		
図面名	照明柱姿図(2)		
作成年月日			
縮　尺	図示	図面番号	73 / 78
会社名			
事業者名	松江国道事務所		

構造図(1)

S=1:10

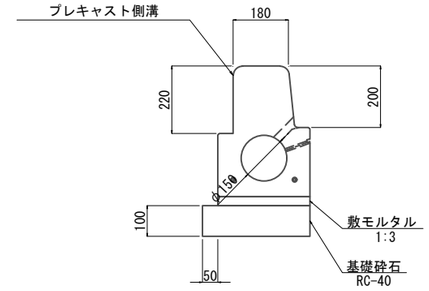
縁石管渠A1
（標準部、B種φ150、両面集水）



数量表　　10m当り

名　称	規　格	単位	数　量
プレキャスト側溝	縁石一体型側溝 D150-H200	m	10.000
敷モルタル	1：3	式	1
基礎材	RC-40 t=100	m2	3.500

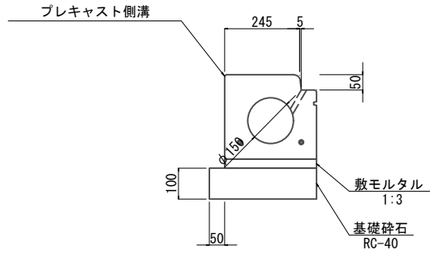
縁石管渠A2
（標準部、バス停部、B種φ150、片面集水）



数量表　　10m当り

名　称	規　格	単位	数　量
プレキャスト側溝	縁石一体型側溝 D150-H200	m	10.000
敷モルタル	1：3	式	1
基礎材	RC-40 t=100	m2	3.500

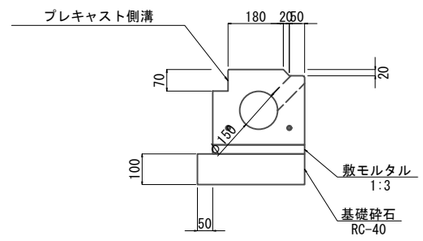
縁石管渠B
（乗入部、B種φ150）



数量表　　10m当り

名　称	規　格	単位	数　量
プレキャスト側溝	縁石一体型側溝 D150-H50	m	10.000
敷モルタル	1：3	式	1
基礎材	RC-40 t=100	m2	3.500

縁石管渠C
（歩道切下部、B種φ150）



数量表　　10m当り

名　称	規　格	単位	数　量
プレキャスト側溝	縁石一体型側溝 D150-H20	m	10.000
敷モルタル	1：3	式	1
基礎材	RC-40 t=100	m2	3.500

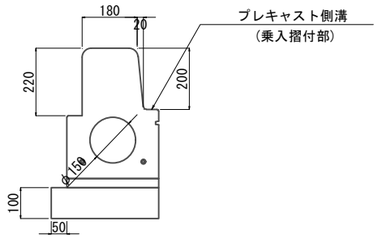
工事名	安来電線共同溝PFI事業		
図面名	構造図(1)		
作成年月日			
縮　尺	1:10	図面番号	74 / 78
会社名			
事業者名	松江国道事務所		

構造図(2)

S=1:10

縁石管渠D(L)

（乗入摺付部、B種φ150、左側）

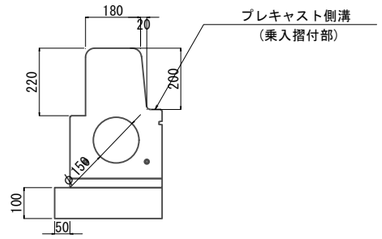


数量表　　10m当り

名　称	規　格	単位	数　量
プレキャスト側溝	縁石一体型側溝 D150-H200	m	10.000
敷モルタル	1：3	式	1
基礎材	RC-40 t=100	m2	3.500

縁石管渠D(R)

（乗入摺付部、B種φ150、右側）



数量表　　10m当り

名　称	規　格	単位	数　量
プレキャスト側溝	縁石一体型側溝 D150-H200	m	10.000
敷モルタル	1：3	式	1
基礎材	RC-40 t=100	m2	3.500

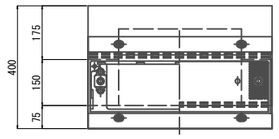
工事名	安来電線共同溝PFI事業		
図面名	構造図(2)		
作成年月日			
縮　尺	1:10	図面番号	75 / 78
会社名			
事業者名	松江国道事務所		

構造図(3)

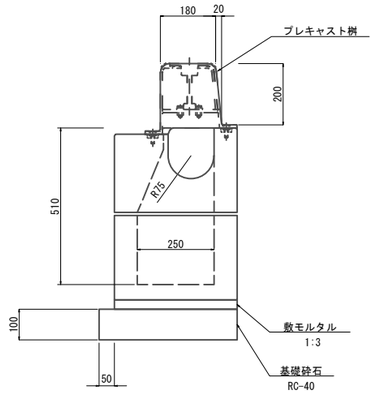
S=1:10

縁石管渠桝A
（標準部）

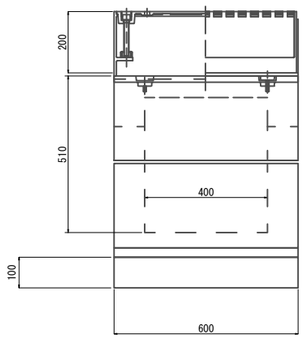
平面図



側面図



正面図

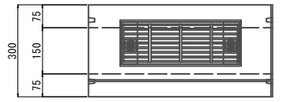


数量表　　1箇所当り

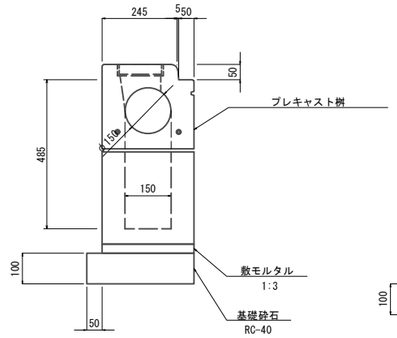
名　称	規　格	単位	数　量
プレキャスト桝	縁石一体型路側桝	個	1
敷モルタル	1：3	式	1
基礎材	RC-40 t=100	m2	0.270

縁石管渠桝B
（乗入部）

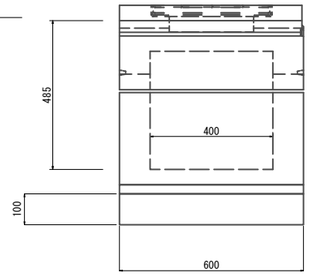
平面図



側面図



正面図



数量表　　1箇所当り

名　称	規　格	単位	数　量
プレキャスト桝	縁石一体型路側桝	個	1
敷モルタル	1：3	式	1
基礎材	RC-40 t=100	m2	0.210

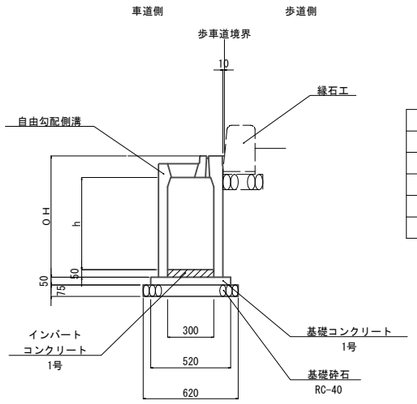
工事名	安来電線共同溝PFI事業		
図面名	構造図(3)		
作成年月日			
縮　尺	1:10	図面番号	76 / 78
会社名			
事業者名	松江国道事務所		

構造図(4)

S=1:10

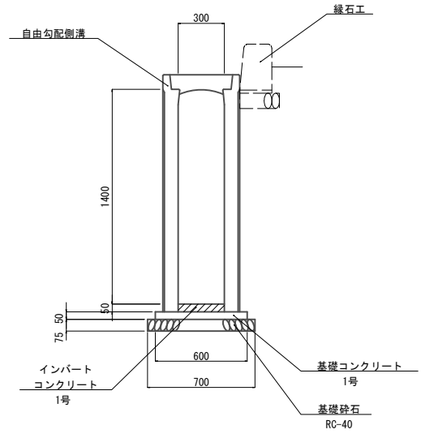
自由勾配側溝

B300(スリット付)



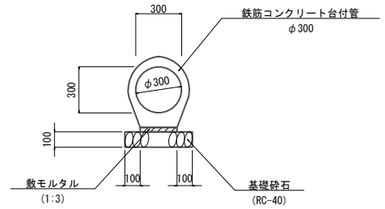
h	全H	B
700	890	420
800	990	420
900	1090	420
1000	1190	420
1100	1290	420

B300(標準品)



鉄筋コンクリート台付管

φ300



数量表　　10m当り

名　称	規　格	単位	数　量
鉄筋コンクリート台付管	φ300	m	10.000
敷モルタル	1：3	式	1
基礎材	RC-40 t=100	m2	4.400

数量表(3工区)　　10m当り

名　称	規　格	単位	数量(H700)	数量(H800)	数量(H1000)
プレキャスト 自由勾配側溝	B300	m	10.000	10.000	10.000
インバートコンクリート	1号	m3	0.292	0.292	0.292
基礎コンクリート	1号	m3	0.260	0.260	0.260
基礎コンクリート型枠		式	1	1	1
基礎材	RC-40　t=75	m2	6.200	6.200	6.200
コンクリート蓋	B300用	枚	10.000	10.000	10.000

数量表(4工区)　　10m当り

名　称	規　格	単位	数量(H700)	数量(H800)	数量(H900)	数量(H1000)	数量(H1100)
プレキャスト 自由勾配側溝	B300	m	10.000	10.000	10.000	10.000	10.000
インバートコンクリート	1号	m3	0.327	0.327	0.327	0.327	0.327
基礎コンクリート	1号	m3	0.260	0.260	0.260	0.260	0.260
基礎コンクリート型枠		式	1	1	1	1	1
基礎材	RC-40　t=75	m2	6.200	6.200	6.200	6.200	6.200
コンクリート蓋	B300用	枚	10.000	10.000	10.000	10.000	10.000

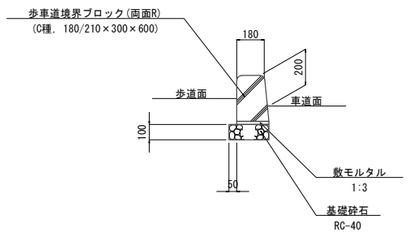
数量表(4工区)　　10m当り

名　称	規　格	単位	数量
プレキャスト 自由勾配側溝	B300×H1400	m	10.000
インバートコンクリート	1号	m3	0.327
基礎コンクリート	1号	m3	0.350
基礎コンクリート型枠		式	1
基礎材	RC-40　t=75	m2	7.000
コンクリート蓋	B300用	枚	10.000

工事名	安来電線共同溝PFI事業		
図面名	構造図(4)		
作成年月日			
縮　尺	1:10	図面番号	77 / 78
会社名			
事業者名	松江国道事務所		

構造図(5)　S=1:20

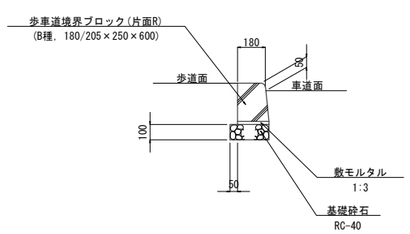
縁石工A（標準部）



数量表　10m当り

名　称	規　格	単位	数　量
歩車道境界ブロック	C種 180/210×300×600 両面R	m	10.000
敷モルタル	1：3	式	1
基礎材	RC-40 t=100	m2	2.600

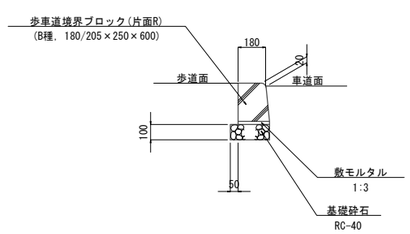
縁石工B（乗入部）



数量表　10m当り

名　称	規　格	単位	数　量
歩車道境界ブロック	B種 180/205×250×600 片面R	m	10.000
敷モルタル	1：3	式	1
基礎材	RC-40 t=100	m2	2.550

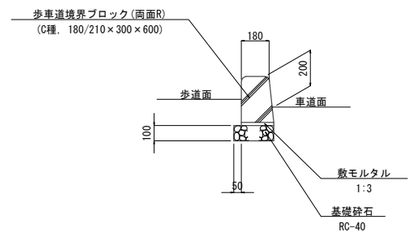
縁石工C（切下部）



数量表　10m当り

名　称	規　格	単位	数　量
歩車道境界ブロック	B種 180/205×250×600 片面R	m	10.000
敷モルタル	1：3	式	1
基礎材	RC-40 t=100	m2	2.550

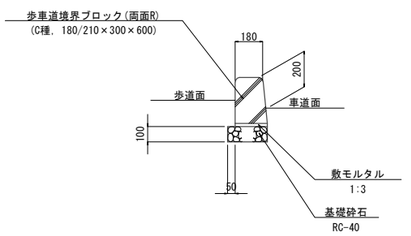
縁石工D(L)（擦付部(左側)）



数量表　10m当り

名　称	規　格	単位	数　量
歩車道境界ブロック	C種 180/210×300×600 両面R	m	10.000
敷モルタル	1：3	式	1
基礎材	RC-40 t=100	m2	2.600

縁石工D(R)（擦付部(右側)）

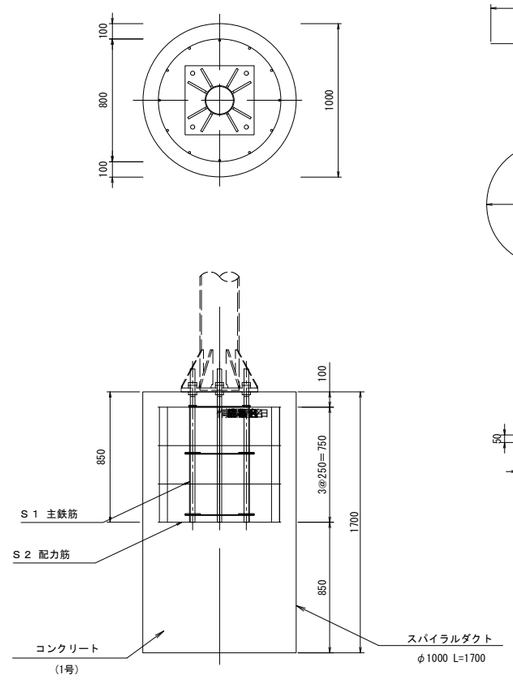


数量表　10m当り

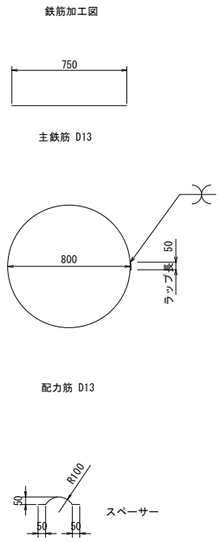
名　称	規　格	単位	数　量
歩車道境界ブロック	C種 180/210×300×600 両面R	m	10.000
敷モルタル	1：3	式	1
基礎材	RC-40 t=100	m2	2.600

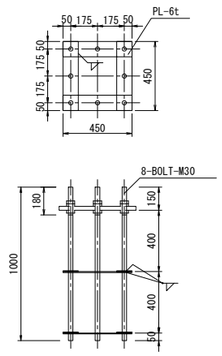
標識基礎　S=1:20

基礎配筋図



鉄筋加工図





摘　要	断面・寸法(mm)		一個分重量(kg)	数　量	重量(kg)	備　考
アンカーボルト	M24	×1000	3.81	8	30.5	
リブ	6	×100　×450	2.12	8	17.0	
ナット						
合計					47.5	

鉄筋配置	主鉄筋　S1				配力筋　S2				スペーサー		合計重量
A	径	長さ	本数	重量	径	長さ	本数	重量	本数	重量	S1+S2+S3
3×250=750	D13	750	12	8.96	D13	2563	4	10.20	8	2.46	21.62kg

数量表　1基当り

名　称	規　格	単位	数　量
コンクリート	1号	m	1.335
型枠		式	1
鉄筋	SD345 D13	t	0.022
アンカーボルト		kg	47.500

工事名	安来電線共同溝PFI事業		
図面名	構造図(5)		
作成年月日			
縮　尺	1:20	図面番号	78 / 78
会社名			
事業者名	松江国道事務所		

見積参考図面（積算用参考図）

平面図(1)

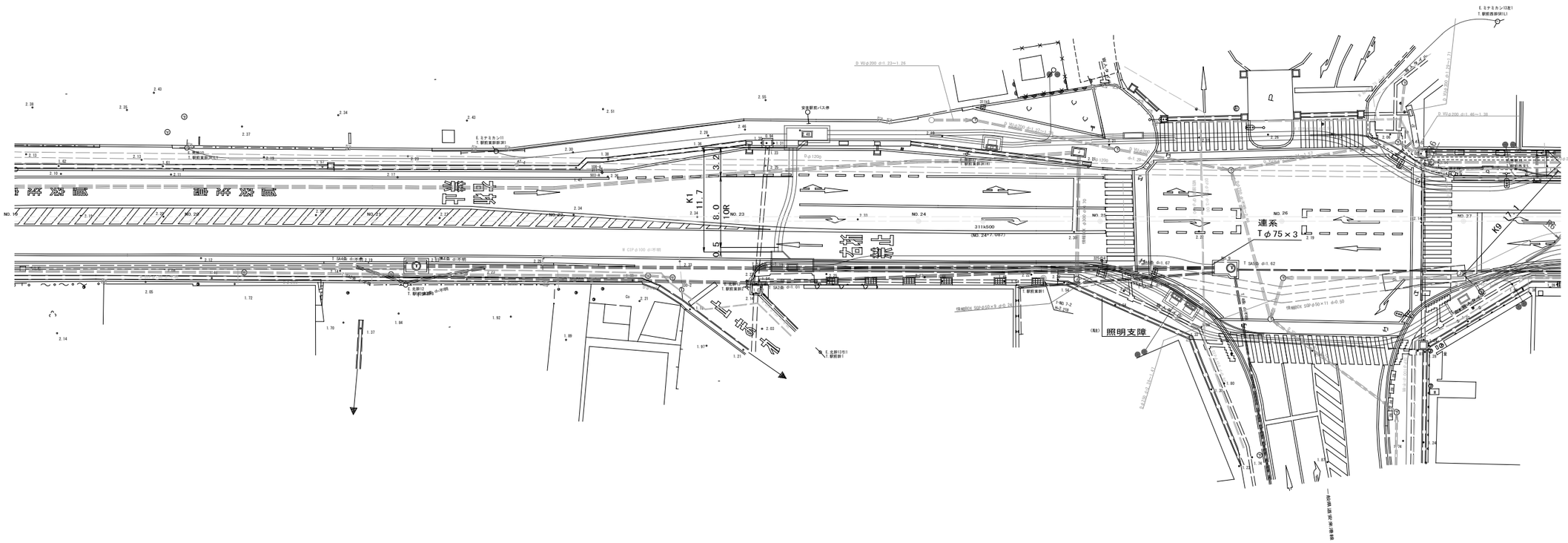
S=1:250

安来電線共同溝PFI事業 L=1146m

工事起点 31K474

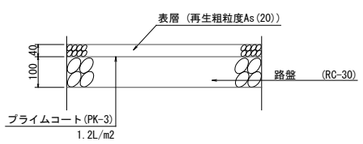
仮舗装(A)

路盤(RC-30 t=100)	A= 332m2	路盤(RC-40 t=150)	A= 346m2
表層(再生粗粒度As(20) t=40)	A= 332m2	表層(再生粗粒度As(20) t=50)	A= 346m2



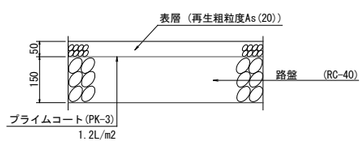
仮舗装(A)

S=1:10



仮舗装(B)

S=1:10

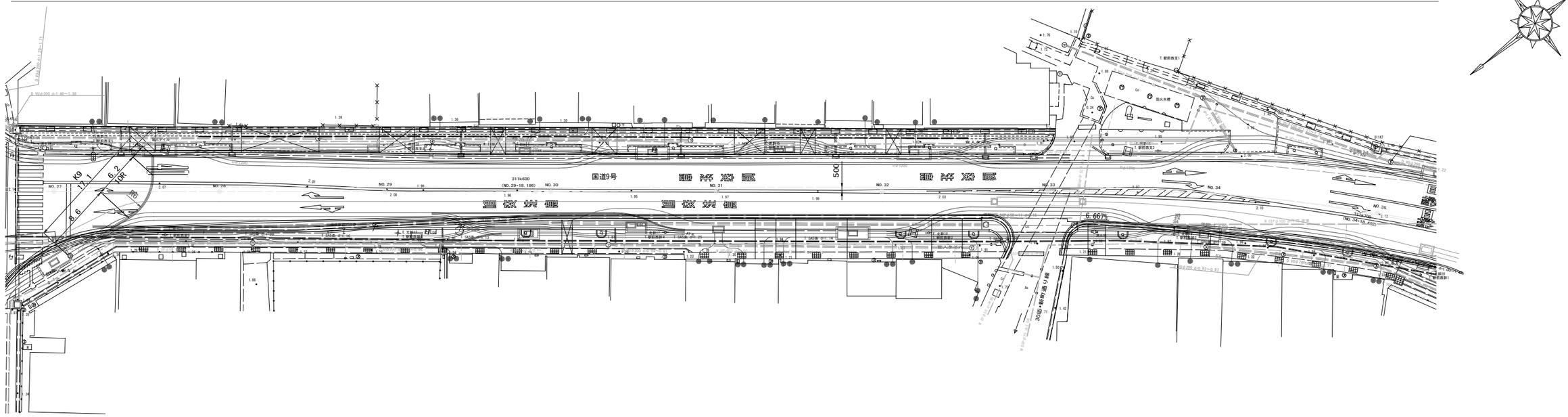


積算用参考図

工事名	安来電線共同溝PFI事業		
図面名	平面図(1)		
作成年月日			
縮　尺	1：250	図面番号	1 / 23
会社名			
事業者名	松江国道事務所		

平面図(2)　S=1:250

安来電線共同溝PFI事業 L=1146m



1工区　2工区

積算用参考図

工事名	安来電線共同溝PFI事業		
図面名	平面図(2)		
作成年月日			
縮　尺	1：250	図面番号	2 / 23
会社名			
事業者名	松江国道事務所		

平面図(3)　S=1:250

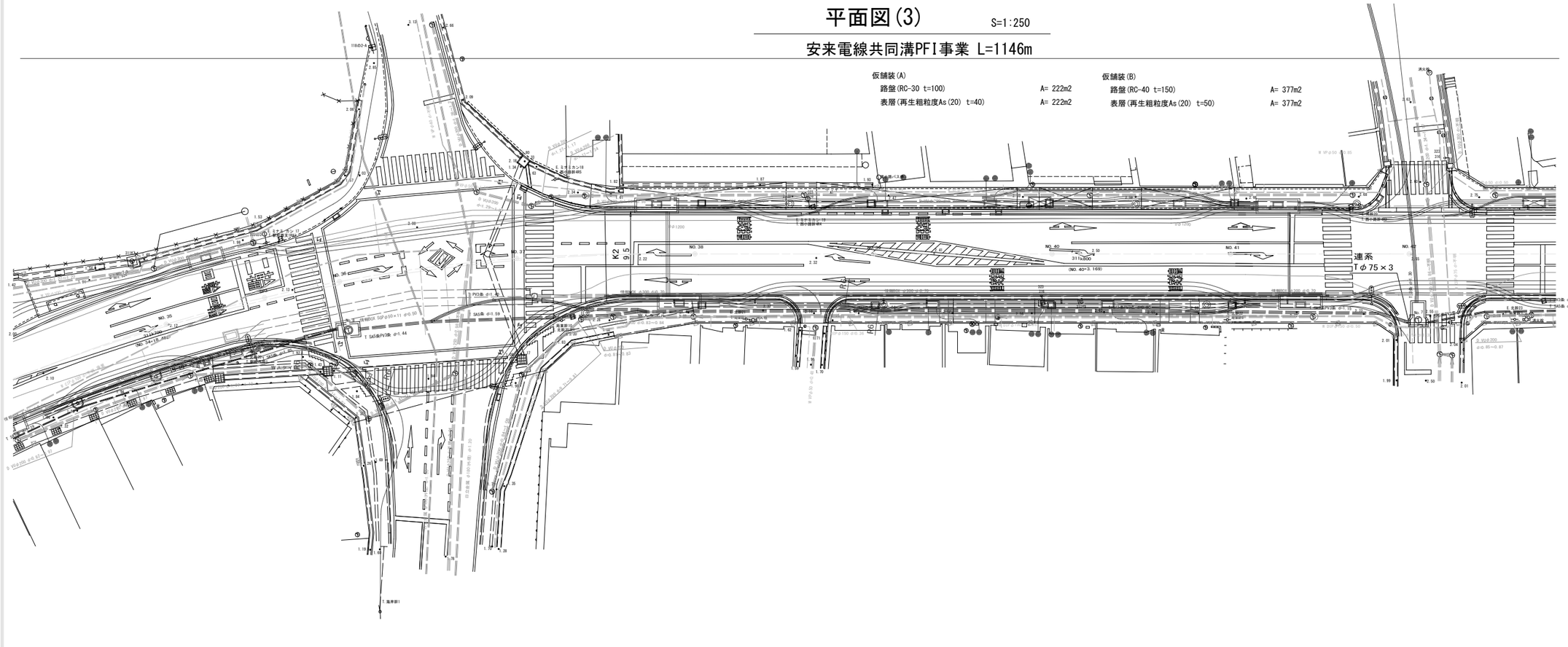
安来電線共同溝PFI事業 L=1146m

仮舗装(A)

路盤(RC-30 t=100)	A= 222m2	
表層(再生粗粒度As(20) t=40)	A= 222m2	

仮舗装(B)

路盤(RC-40 t=150)	A= 377m2
表層(再生粗粒度As(20) t=50)	A= 377m2



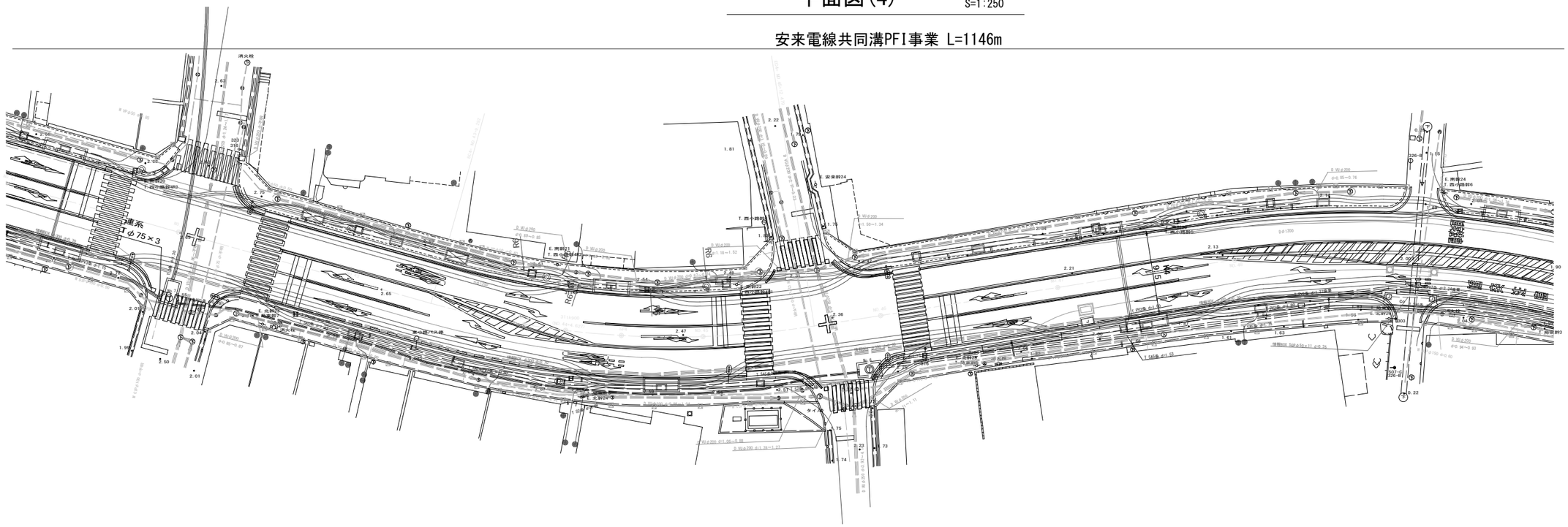
積算用参考図

工事名	安来電線共同溝PFI事業		
図面名	平面図(3)		
作成年月日			
縮　尺	1：250	図面番号	3 / 23
会社名			
事業者名	松江国道事務所		

平面図(4)

S=1:250

安来電線共同溝PFI事業 L=1146m



2工区 | 3工区

積算用参考図

工事名	安来電線共同溝PFI事業		
図面名	平面図(4)		
作成年月日			
縮　尺	1：250	図面番号	4 / 23
会社名			
事業者名	松江国道事務所		

平面図(5)

S=1:250

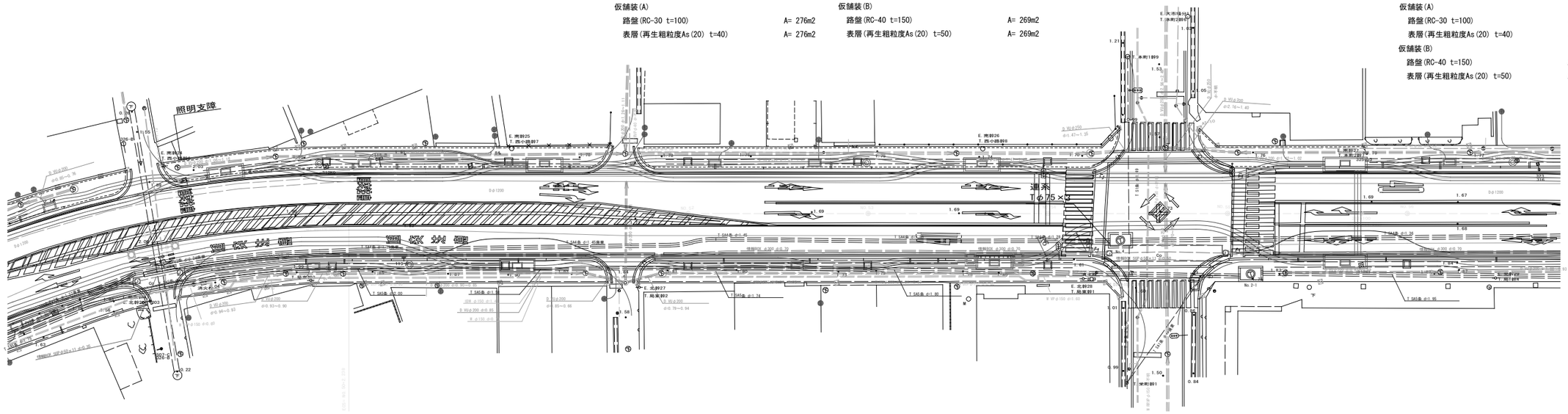
安来電線共同溝PFI事業 L=1146m

仮舗装(A)
- 路盤(RC-30 t=100) A= 276m2
- 表層(再生粗粒度As(20) t=40) A= 276m2

仮舗装(B)
- 路盤(RC-40 t=150) A= 269m2
- 表層(再生粗粒度As(20) t=50) A= 269m2

仮舗装(A)
- 路盤(RC-30 t=100) A= 399m2
- 表層(再生粗粒度As(20) t=40) A= 399m2

仮舗装(B)
- 路盤(RC-40 t=150) A= 380m2
- 表層(再生粗粒度As(20) t=50) A= 380m2

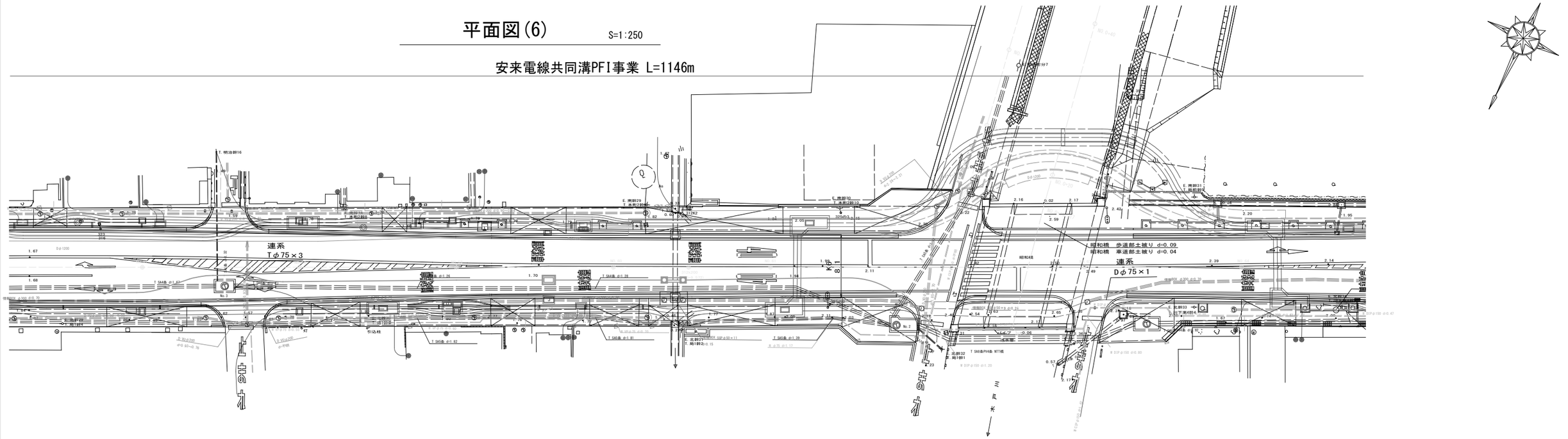


積算用参考図

工事名	安来電線共同溝PFI事業		
図面名	平面図(5)		
作成年月日			
縮　尺	1：250	図面番号	5 ／ 23
会社名			
事業者名	松江国道事務所		

平面図(6)　S=1:250

安来電線共同溝PFI事業 L=1146m



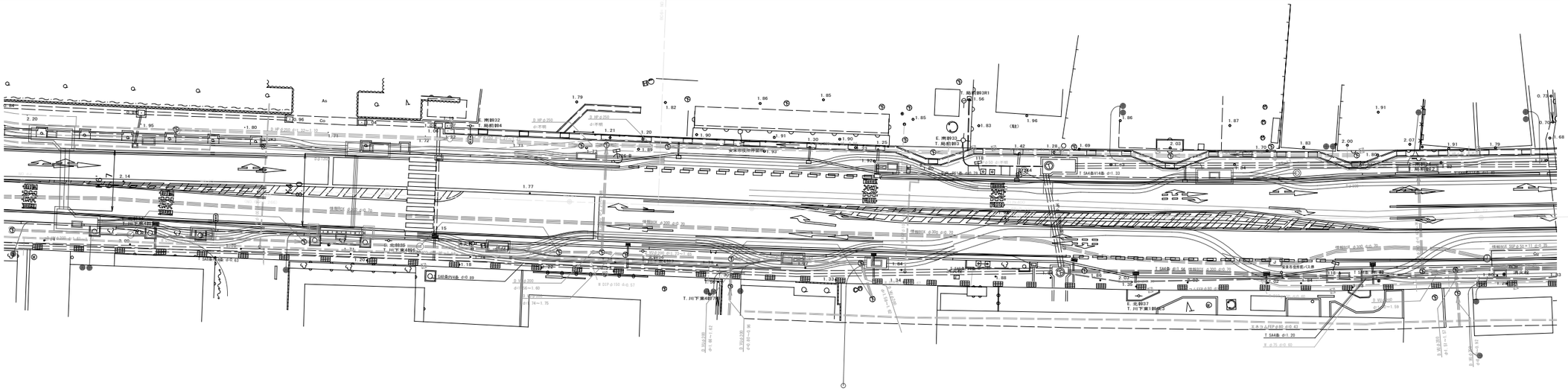
積算用参考図

工事名	安来電線共同溝PFI事業		
図面名	平面図(6)		
作成年月日			
縮　尺	1：250	図面番号	6 ／ 23
会社名			
事業者名	松江国道事務所		

平面図(7)

S=1:250

安来電線共同溝PFI事業 L=1146m





4工区　5工区

積算用参考図

工事名	安来電線共同溝PFI事業		
図面名	平面図(7)		
作成年月日			
縮　尺	1：250	図面番号	7 / 23
会社名			
事業者名	松江国道事務所		

平面図(8)　S=1:250

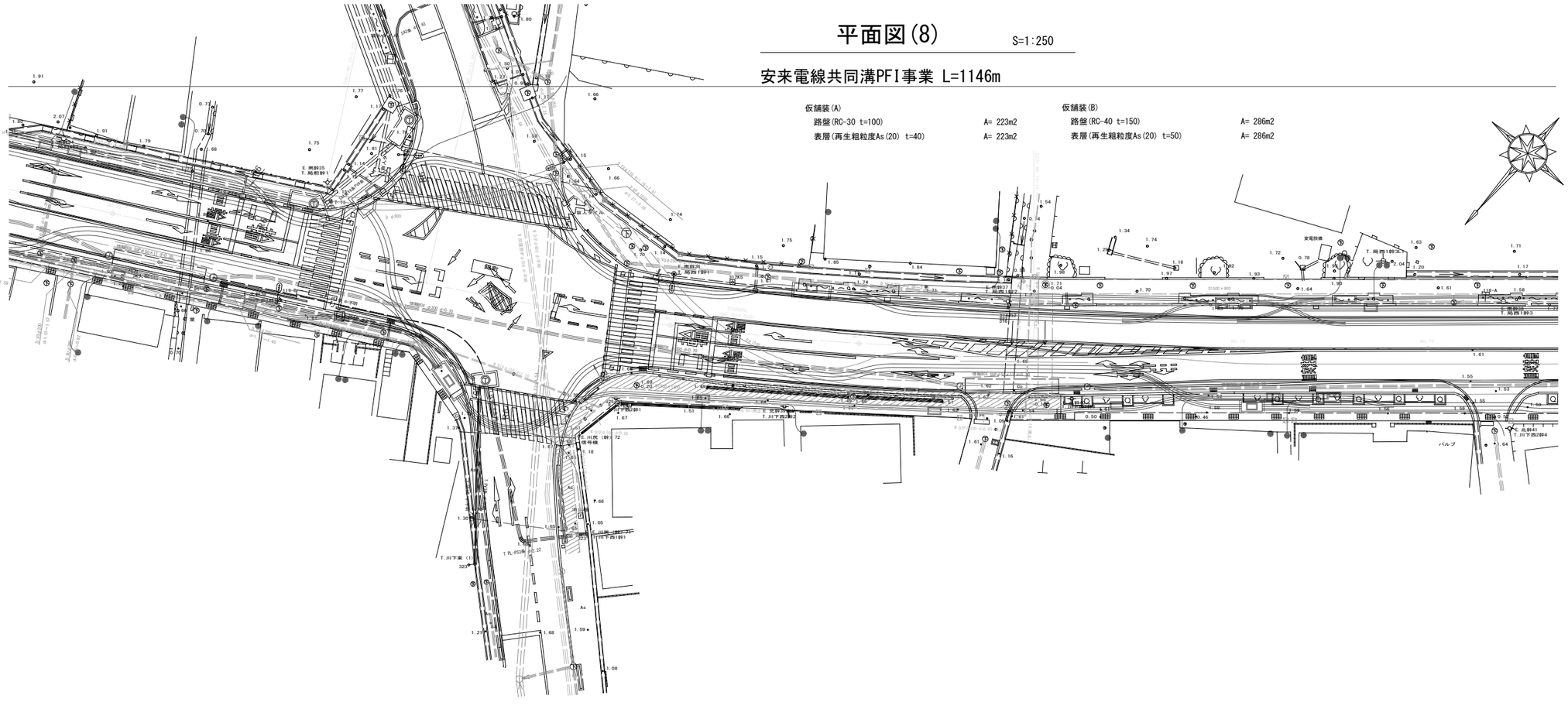
安来電線共同溝PFI事業 L=1146m

仮舗装(A)

路盤(RC-30 t=100)	A= 223m2
表層(再生粗粒度As(20) t=40)	A= 223m2

仮舗装(B)

路盤(RC-40 t=150)	A= 286m2
表層(再生粗粒度As(20) t=50)	A= 286m2



積算用参考図

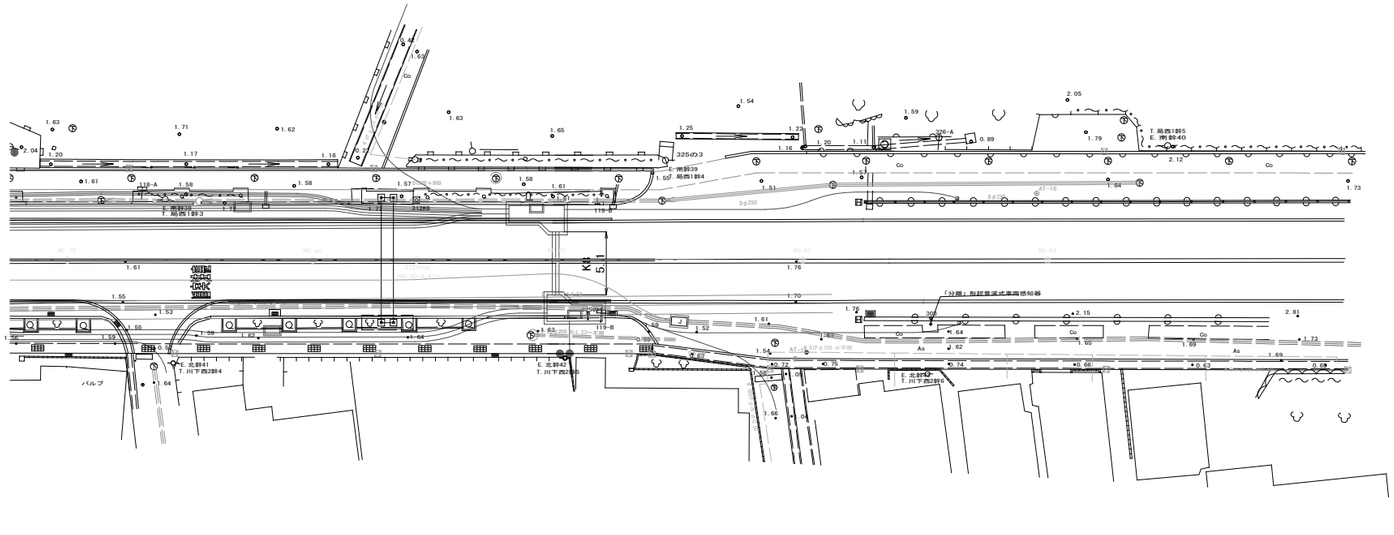
工事名	安来電線共同溝PFI事業		
図面名	平面図(8)		
作成年月日			
縮　尺	1：250	図面番号	8 / 23
会社名			
事業者名	松江国道事務所		

平面図(9)

S=1:250

安来電線共同溝PFI事業 L=1146m

工事終点 3126620



5工区

積算用参考図

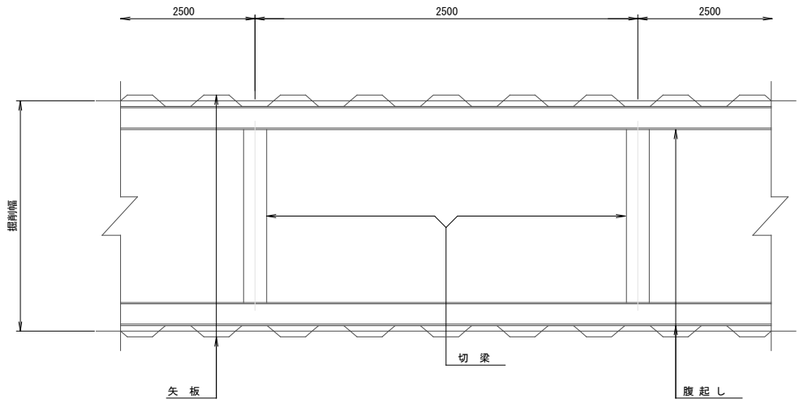
工事名	安来電線共同溝PFI事業		
図面名	平面図(9)		
作成年月日			
縮　尺	1：250	図面番号	9 / 23
会社名			
事業者名	松江国道事務所		

仮設構造図(1)　S=1:20

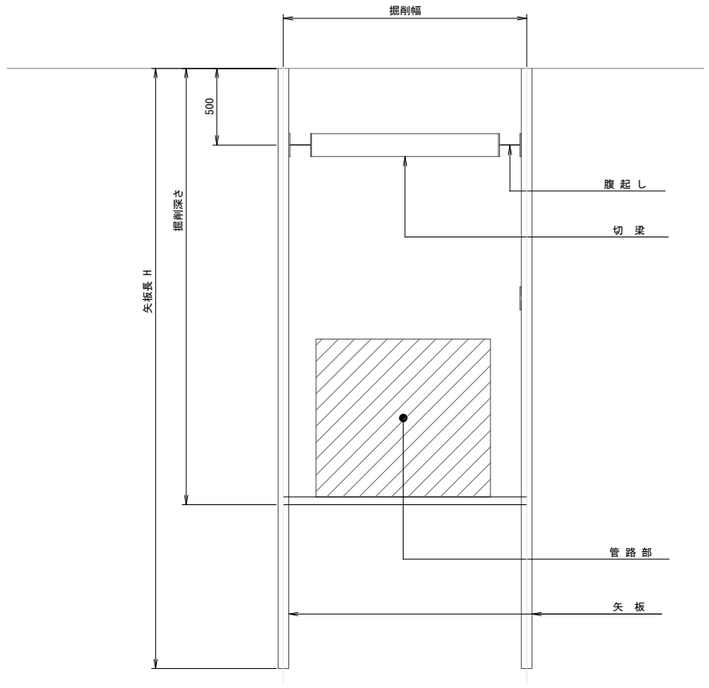
上り線

管路部

平面図



断面図



（上り線）

掘削幅(m)	標準断面番号	備　考
0.514	Eh,SE	
0.542	EHH	
0.565	FA	
0.728	KN1-4,KN1-E1,KN1-E2,KN2-2,KN2-3	
0.814	K供-2,K供-4	
0.819	KN1-5,KN1-E,KN2-E	
0.822	KN1-T,KN1-T1	
0.829	K供-1,K供-1管崩し	
0.844	KN3-T	
0.960	KN3-1,KN3-2	
0.970	KN1-3,KN1-7	
1.024	K供管崩し	
1.069	KN1-8	
1.129	K供,K供-3	
1.185	KN2,KN2-1	
1.435	KN1,KN1-1,KN1-2,KN3	
1.478	KN1-6	
2.169	KN1管崩し	

形状寸法表

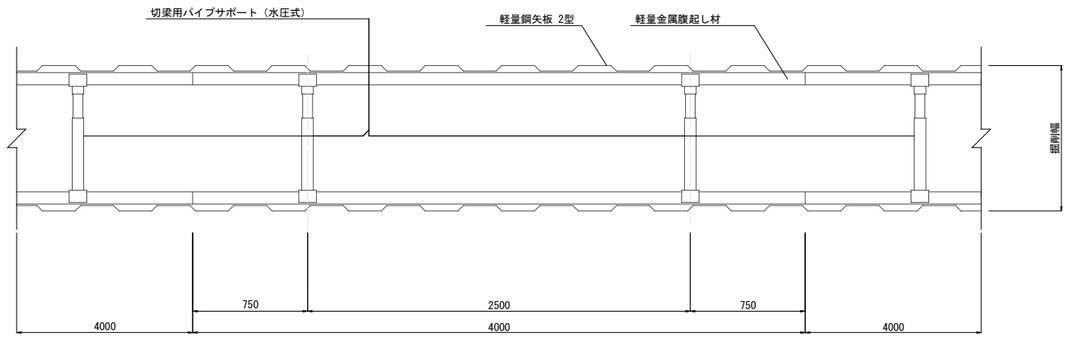
掘削深さ(m)	山留形式	矢板長H(m)	矢板型式	支保工数（段）	腹　起　し	切　梁
～ 1.10	直掘り					
1.101 ～ 1.50	当て矢板	H=2.0	LSP-3	1	H150	H150
1.501 ～ 1.53	打込み	H=3.5		1	H150	H150
1.54 ～ 1.69		H=4.0		1	H150	H150
1.70 ～ 1.92		H=4.5		1	H150	H150
1.93 ～ 2.13		H=5.0		1	H150	H150
2.14 ～ 2.35		H=5.5		1	H150	H150
2.36 ～ 2.57		H=6.0	SP-III	1	H150	H150
2.58 ～ 3.00		H=6.5		1	H200	H150

積算用参考図

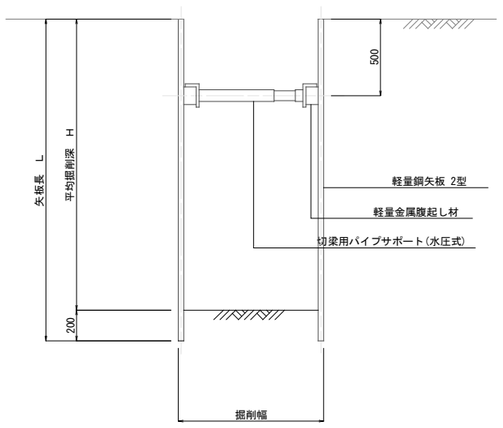
工事名	安来電線共同溝PFI事業		
図面名	仮設構造図(1)		
作成年月日			
縮　尺	1：20	図面番号	10 / 23
会社名			
事業者名	松江国道事務所		

仮設構造図(2)　S=1:20

土 留 工 標 準 図
情報ボックス部
平　面　図



断　面　図
1段梁(H=2.0m以下)



土留工寸法表

掘削深 H (m)	矢板長 L (m)
1.00<H≦1.30	1.50
1.30<H≦1.80	2.00

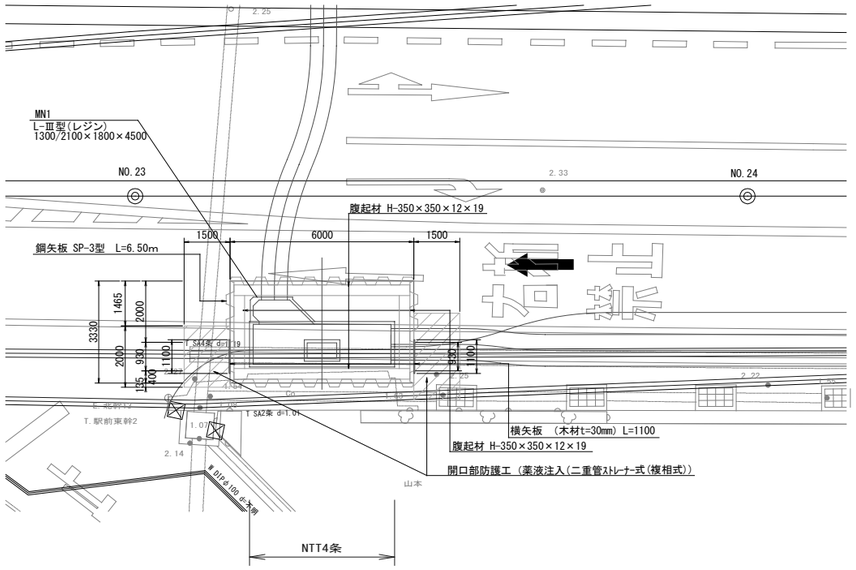
積算用参考図

工事名	安来電線共同溝PFI事業		
図面名	仮設構造図(2)		
作成年月日			
縮　尺	1：20	図面番号	11 / 23
会社名			
事業者名	松江国道事務所		

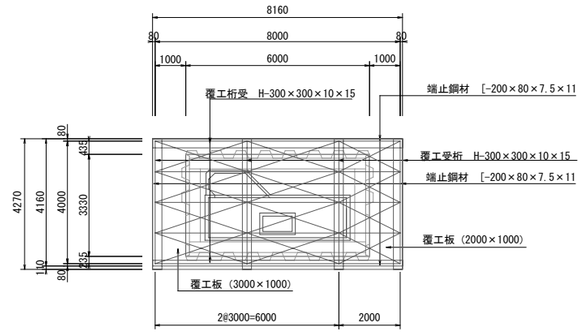
仮設計画図(1)　S=1:100

MN1

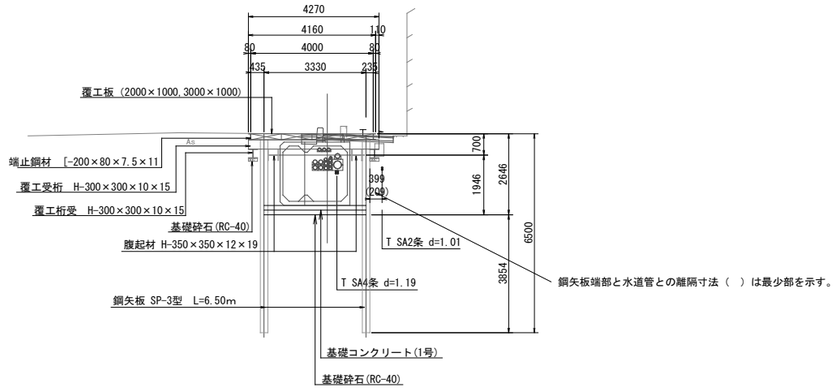
平面図



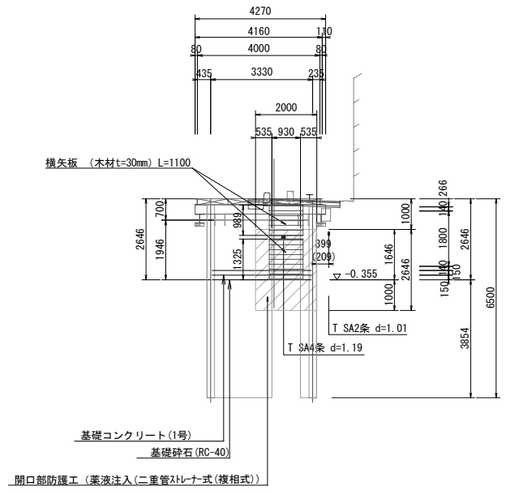
覆工仮設図



横断図



開口部防護工 断面図



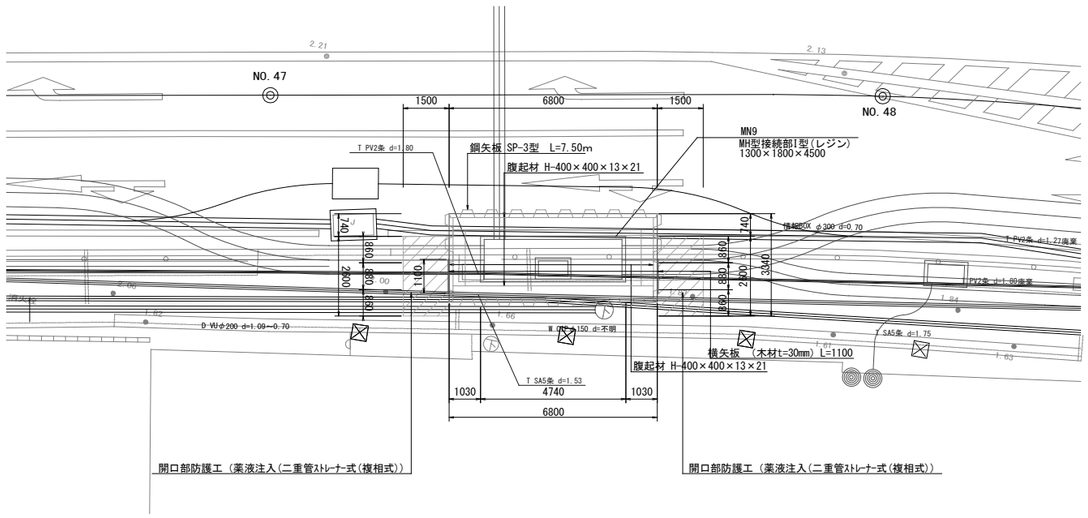
積算用参考図

工事名	安来電線共同溝PFI事業		
図面名	仮設計画図(1)		
作成年月日			
縮　尺	1:100	図面番号	12 / 23
会社名			
事業者名	松江国道事務所		

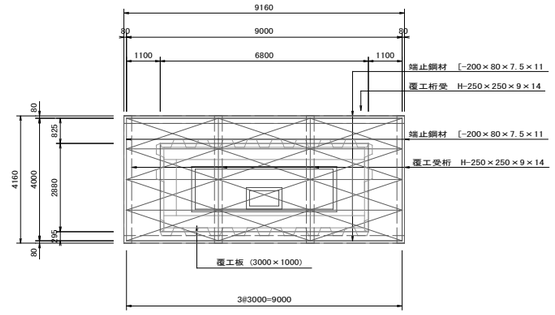
仮設計画図(2)　S=1:100

MN9

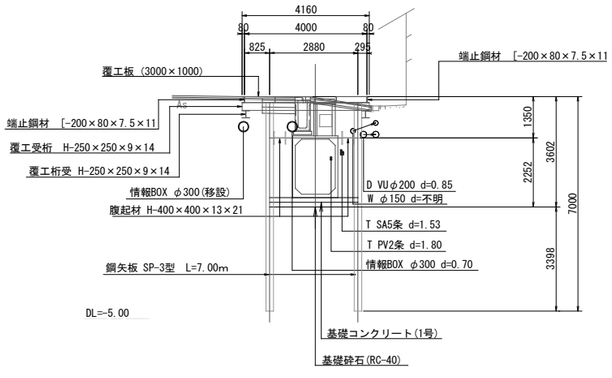
平面図



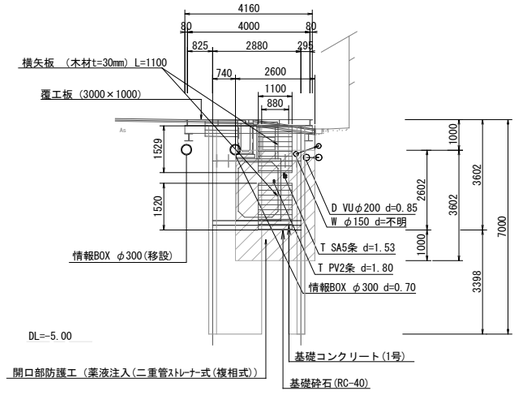
覆工仮設図



横断図



開口部防護工 断面図



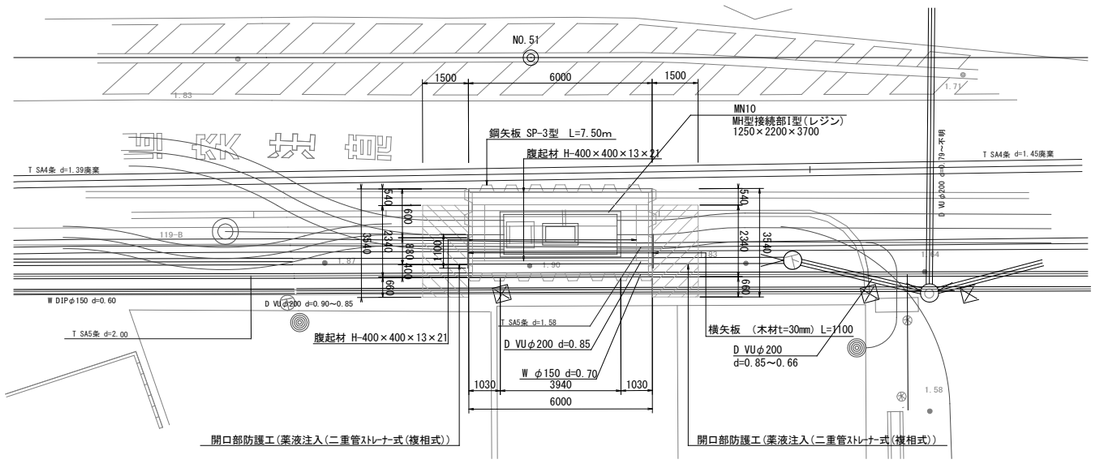
積算用参考図

工事名	安来電線共同溝PFI事業		
図面名	仮設計画図(2)		
作成年月日			
縮　尺	1:100	図面番号	13 / 23
会社名			
事業者名	松江国道事務所		

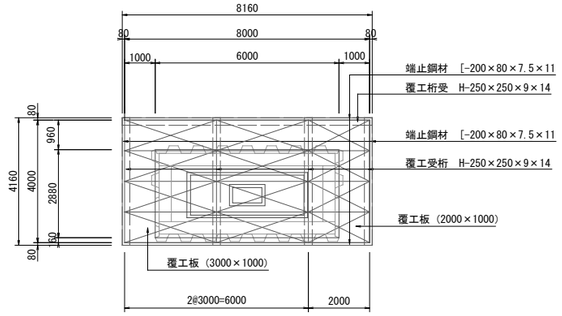
仮設計画図(3)　S=1:100

MN10

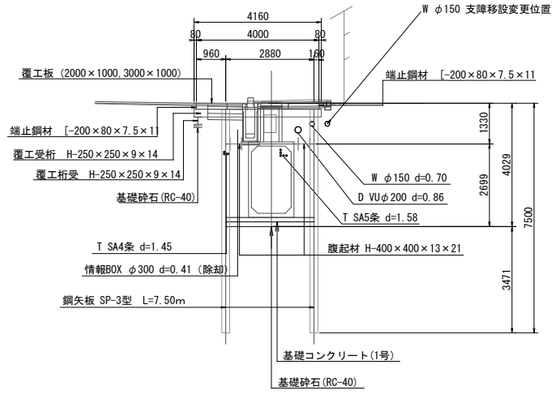
平面図



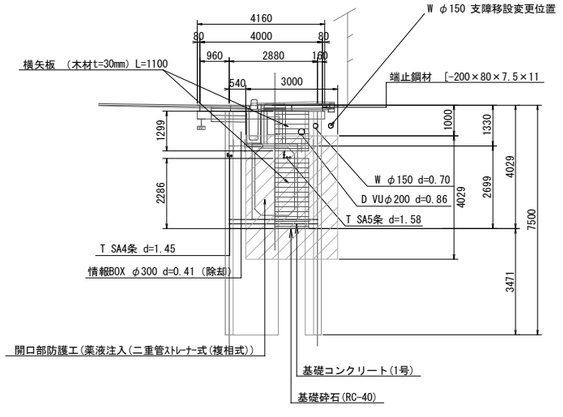
覆工仮設図



横断図



開口部防護工 断面図



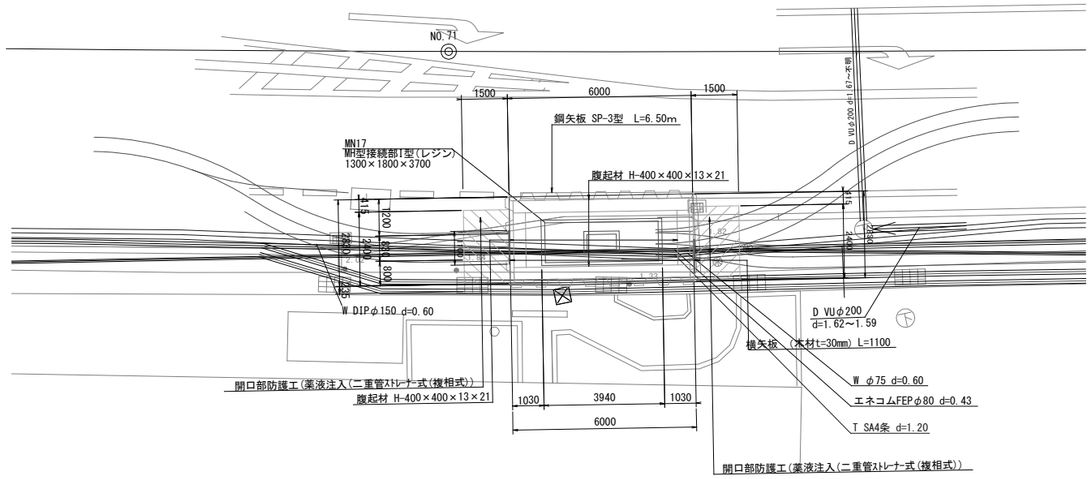
積算用参考図

工事名	安来電線共同溝PFI事業		
図面名	仮設計画図(3)		
作成年月日			
縮　尺	1:100	図面番号	14 / 23
会社名			
事業者名	松江国道事務所		

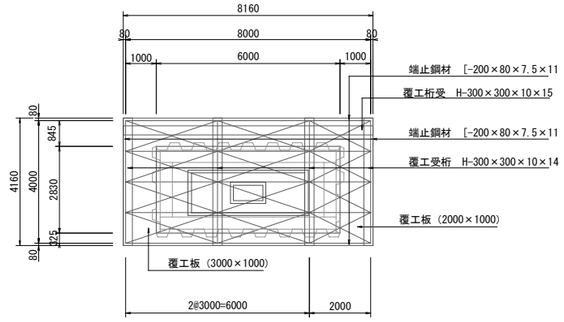
仮設計画図(4)　S=1:100

MN17

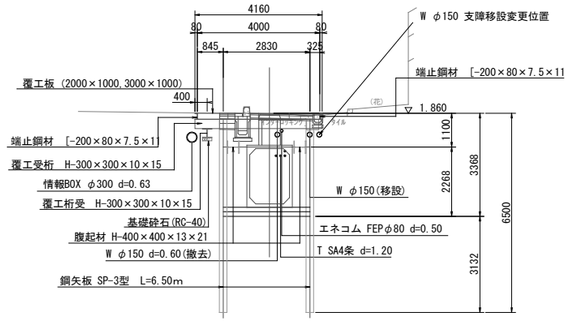
平面図



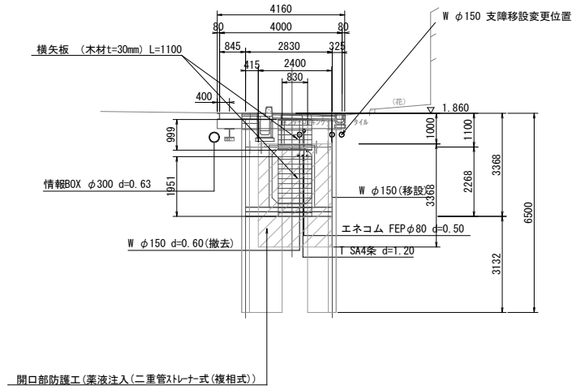
覆工仮設図



横断図



開口部防護工 断面図



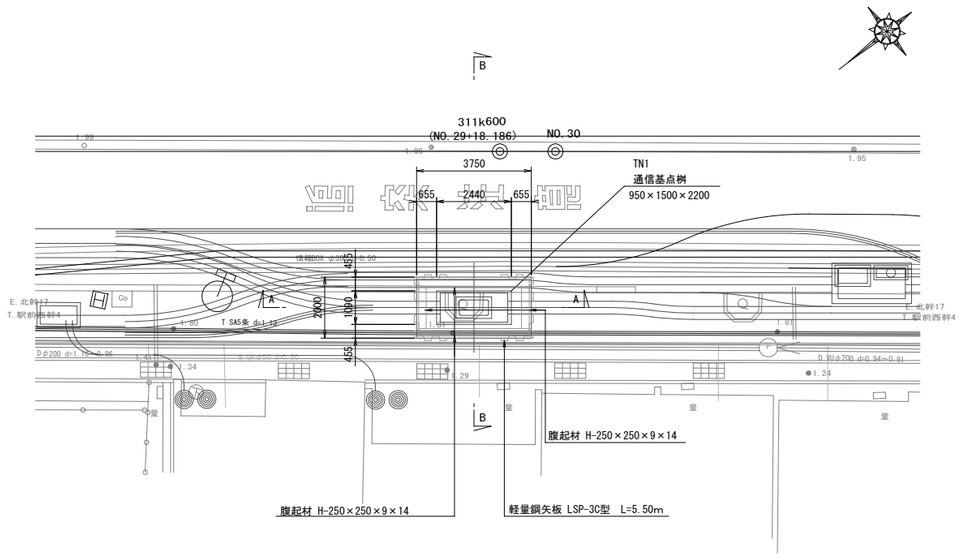
積算用参考図

工事名	安来電線共同溝PFI事業		
図面名	仮設計画図(4)		
作成年月日			
縮　尺	1:100	図面番号	15 / 23
会社名			
事業者名	松江国道事務所		

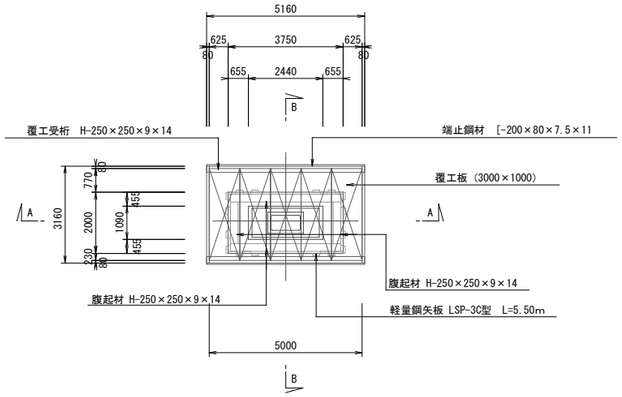
仮設計画図(5)　S=1:100

TN1

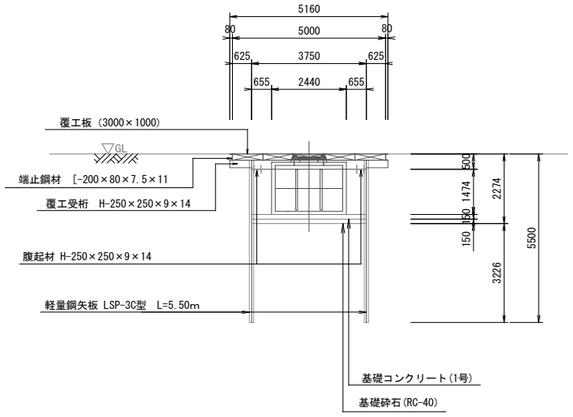
平面図



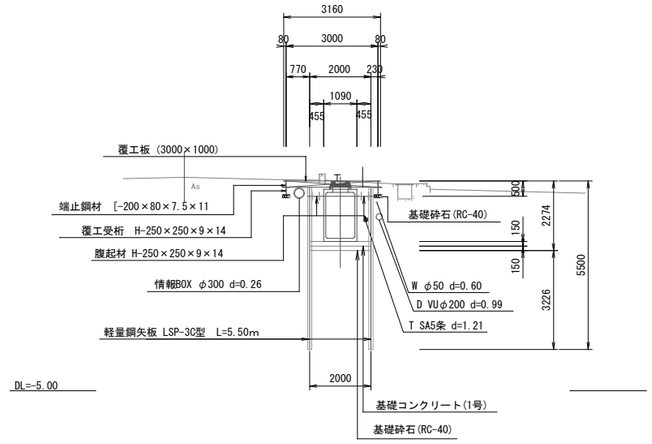
覆工仮設図



A-A断面図



B-B断面図



積算用参考図

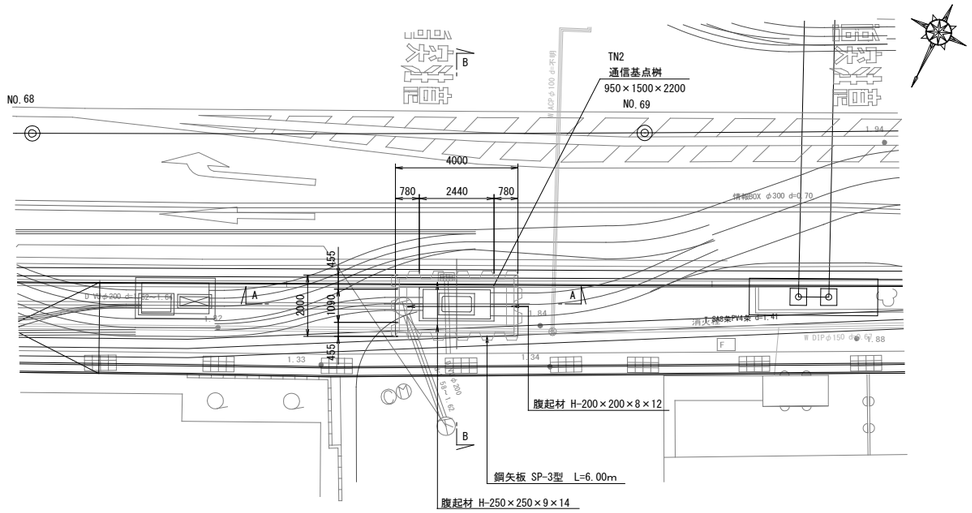
工事名	安来電線共同溝PFI事業		
図面名	仮設計画図(5)		
作成年月日			
縮　尺	1:100	図面番号	16 / 23
会社名			
事業者名	松江国道事務所		

仮設計画図(6)

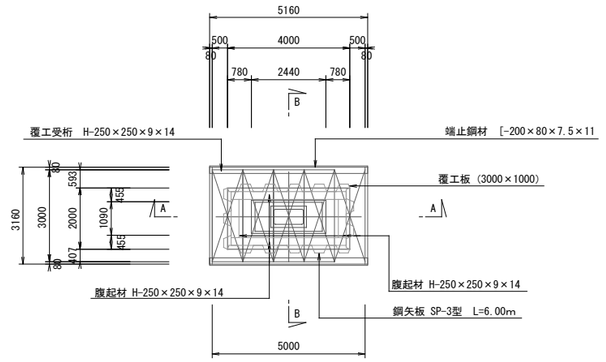
S=1:100

TN2

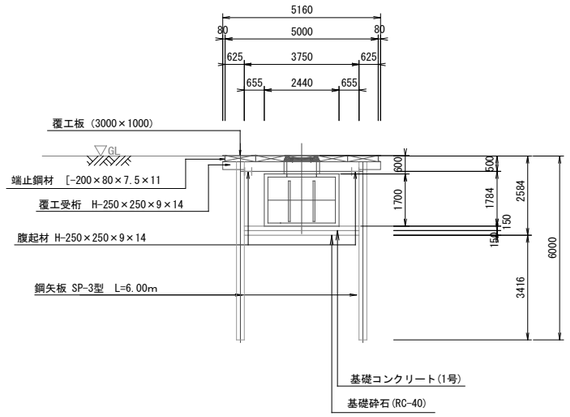
平面図



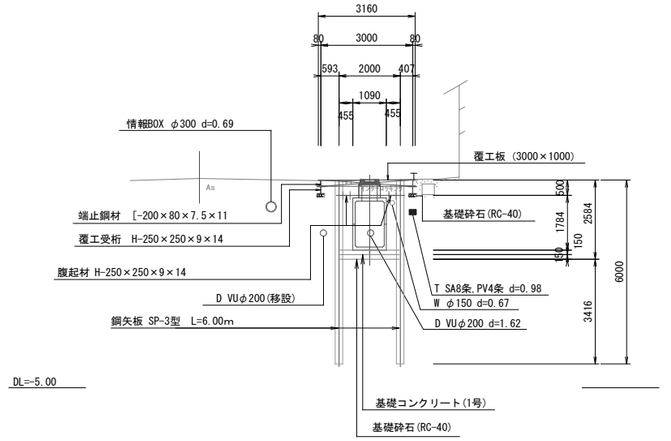
覆工仮設図



A-A断面図



B-B断面図



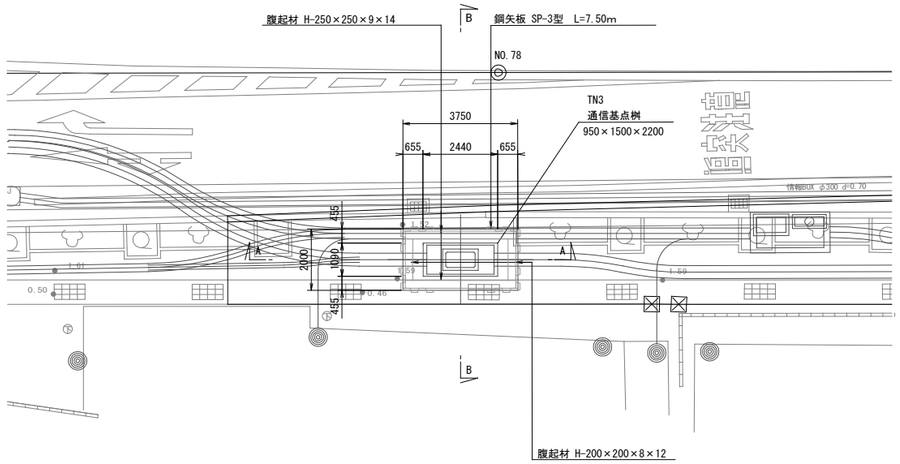
積算用参考図

工事名	安来電線共同溝PFI事業		
図面名	仮設計画図(6)		
作成年月日			
縮　尺	1:100	図面番号	17 / 23
会社名			
事業者名	松江国道事務所		

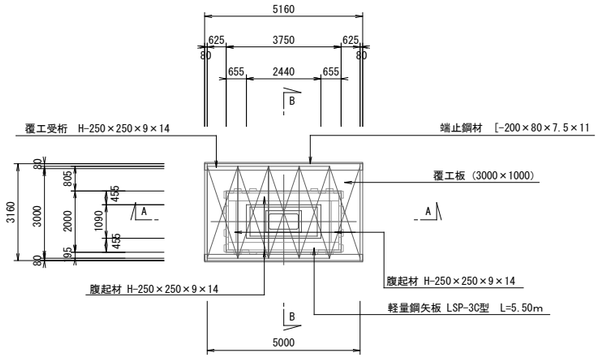
仮設計画図(7)　S=1:100

TN3

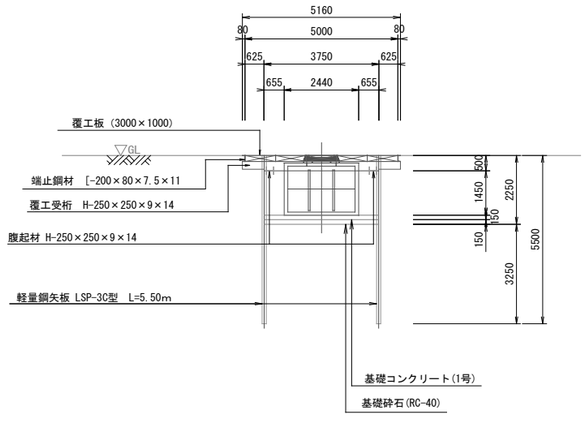
平面図



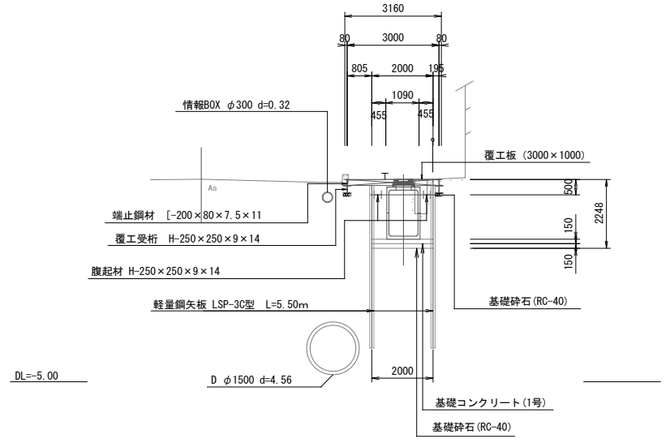
覆工仮設図



A-A断面図



B-B断面図



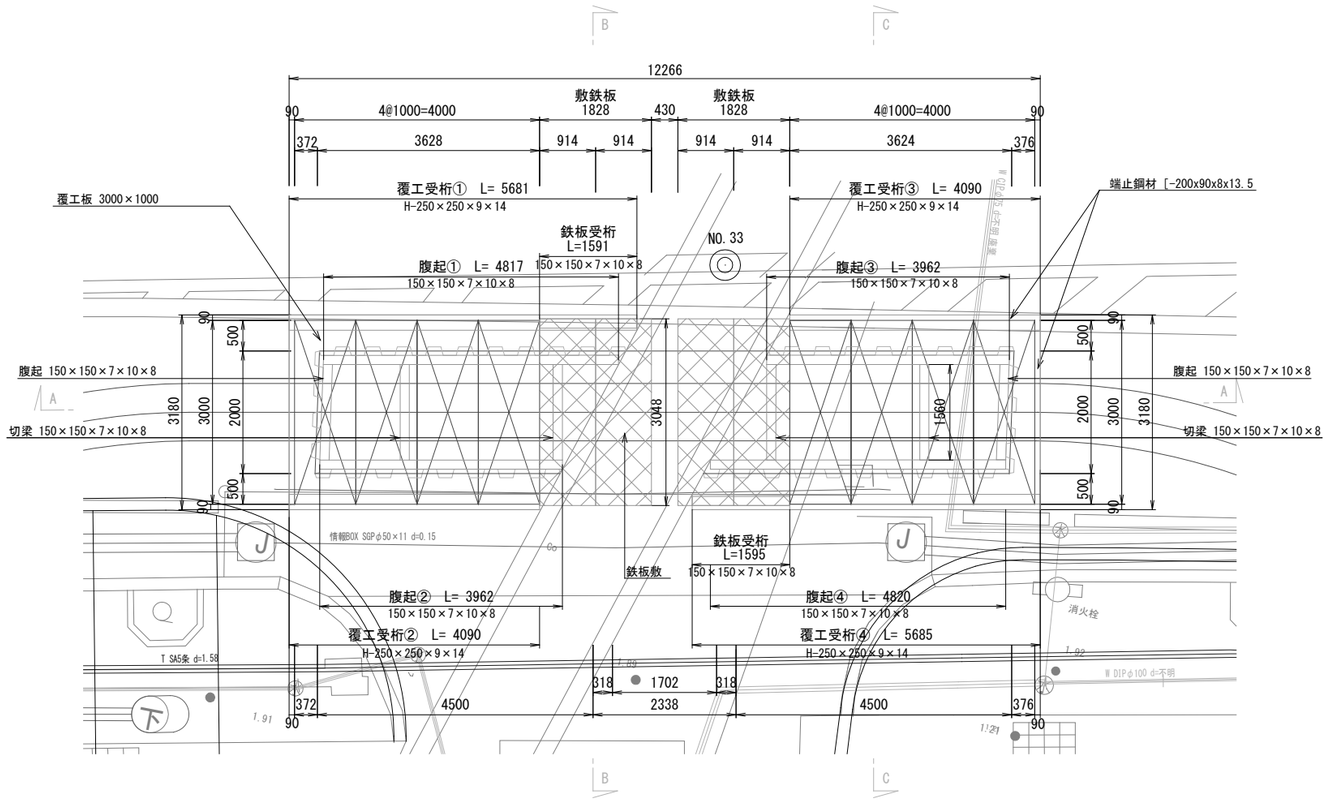
積算用参考図

工事名	安来電線共同溝PFI事業		
図面名	仮設計画図(7)		
作成年月日			
縮　尺	1:100	図面番号	18 / 23
会社名			
事業者名	松江国道事務所		

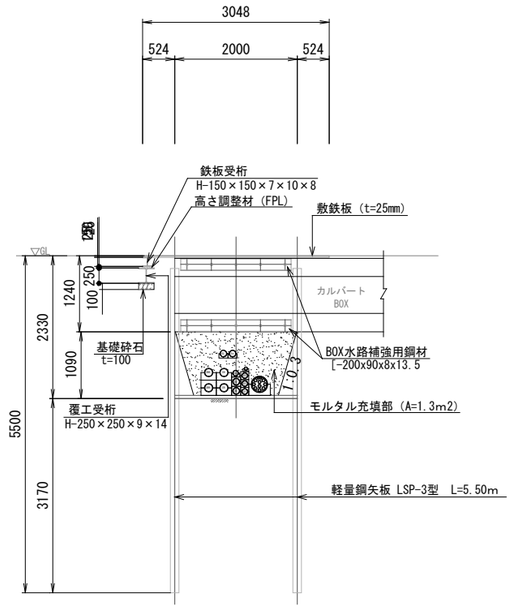
水路横断部詳細図 (1)

(NO.33付近 上り線 KN1-2)

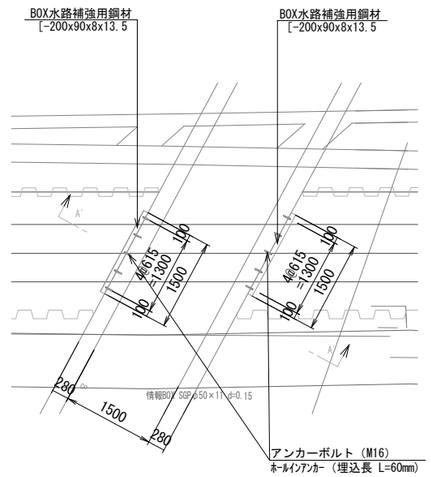
平 面 図 S=1:100



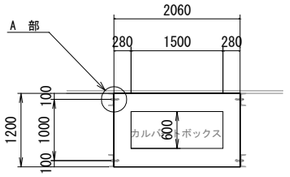
B - B 断面図 S=1:100



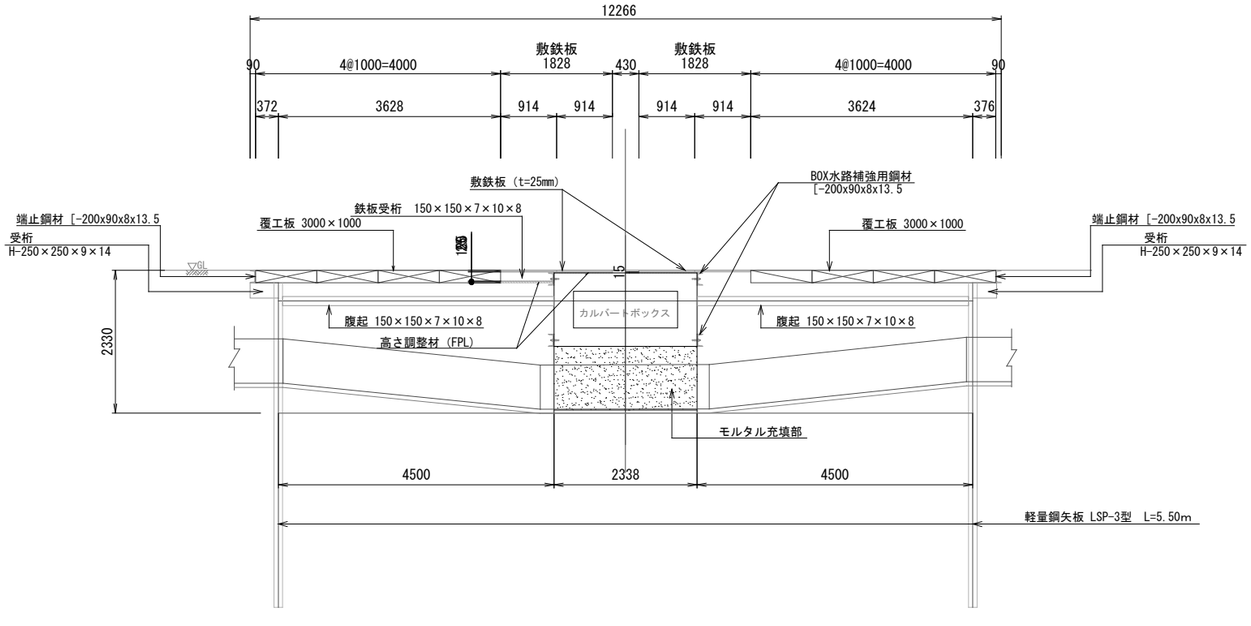
BOX水路補強部 詳細図 S=1:100



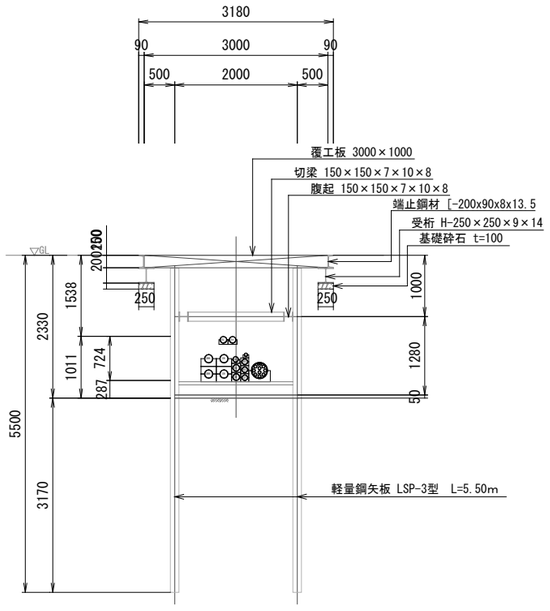
A' - A' 断面図 S=1:100



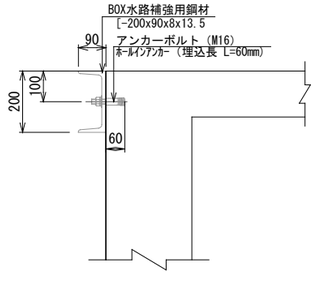
A - A 断面図 S=1:100



C - C 断面図 S=1:100



A部 詳細図 S=1:20



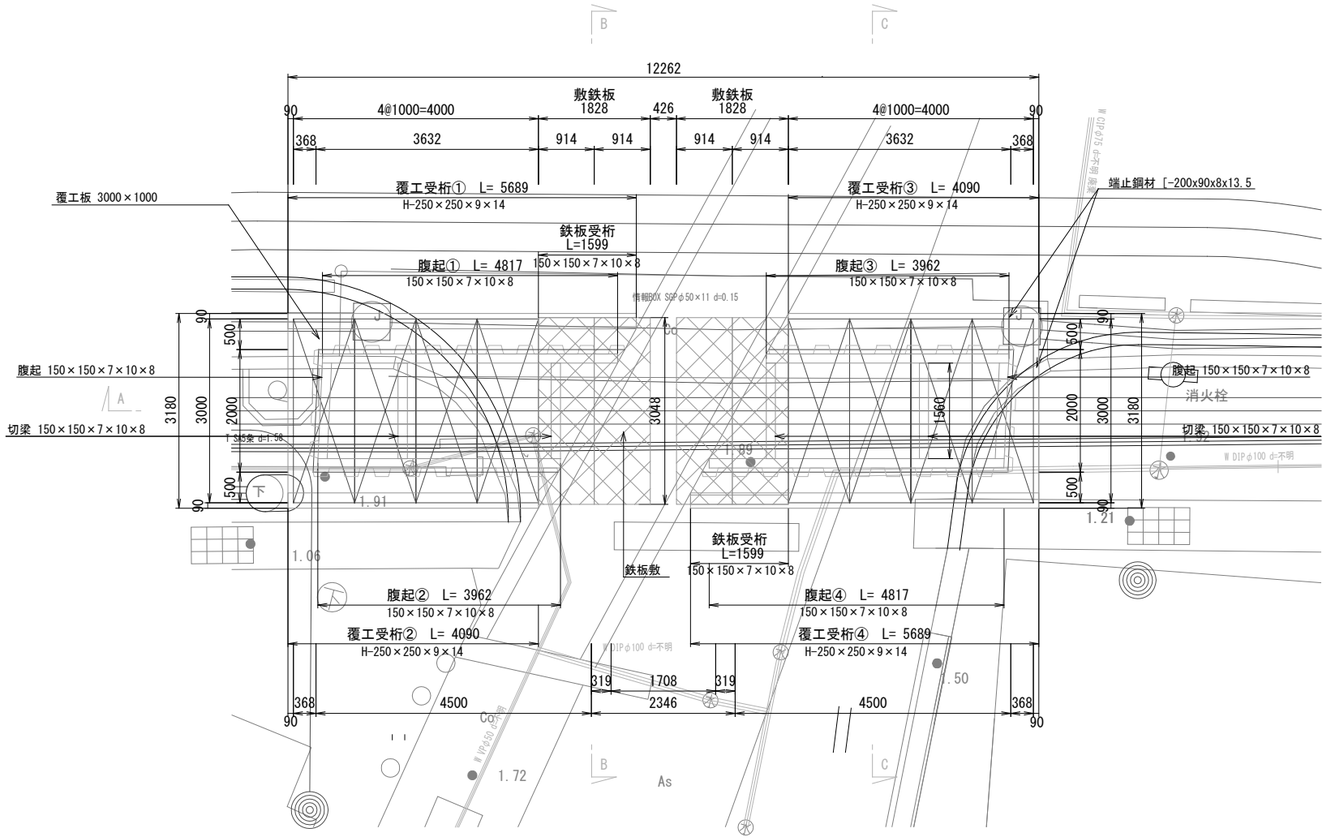
積算用参考図

工事名	安来電線共同溝PFI事業		
図面名	水路横断部詳細図 (1)		
年 月 日			
縮 尺	図 示	図面番号	19 / 23
会社名			
事業者名	松江国道事務所		

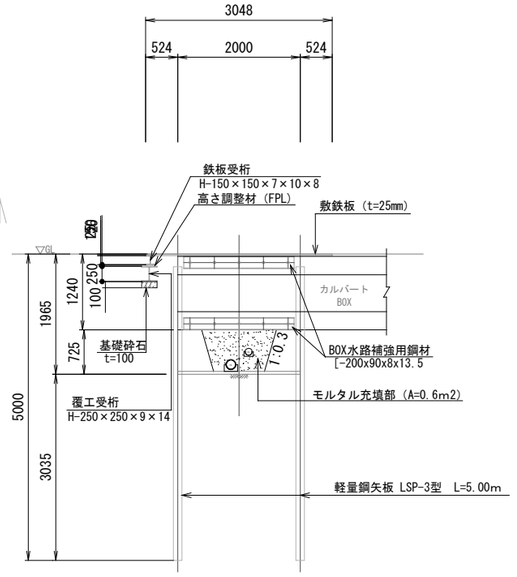
水路横断部詳細図 (2)

(NO.33付近 上り線 K供-1)

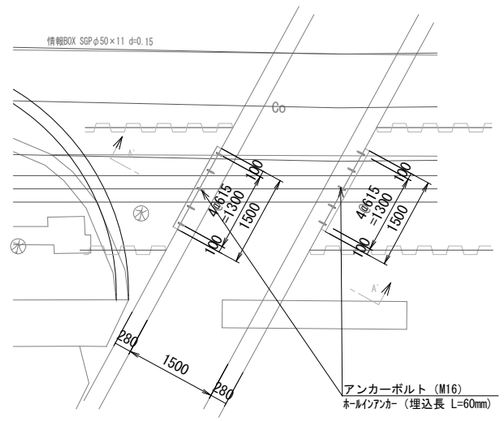
平 面 図 S=1:100



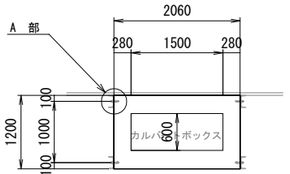
B - B 断面図 S=1:100



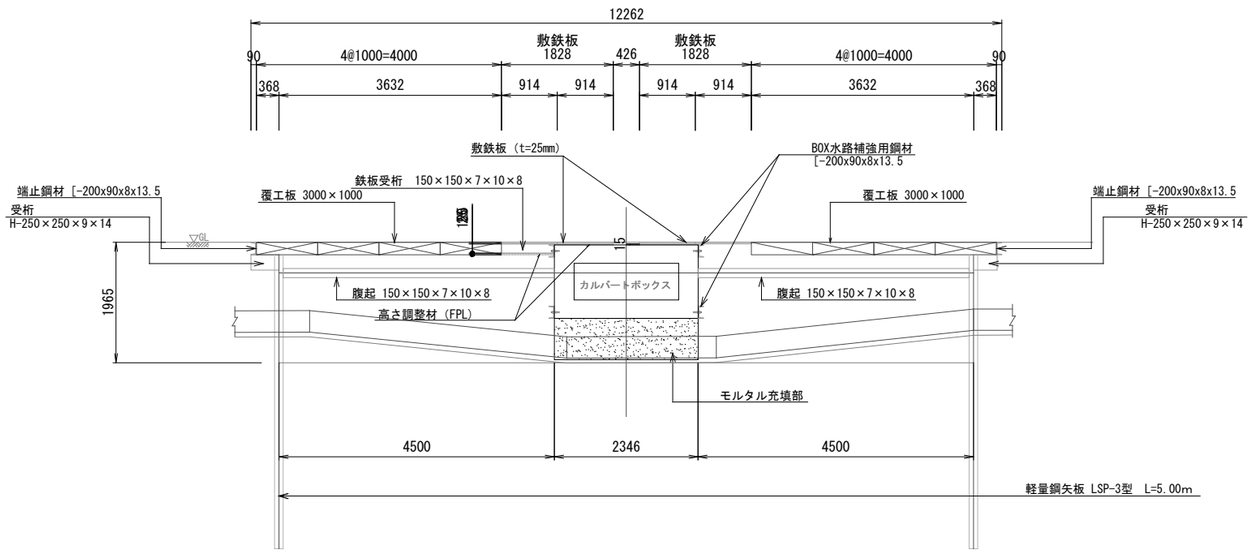
BOX水路補強部 詳細図 S=1:100



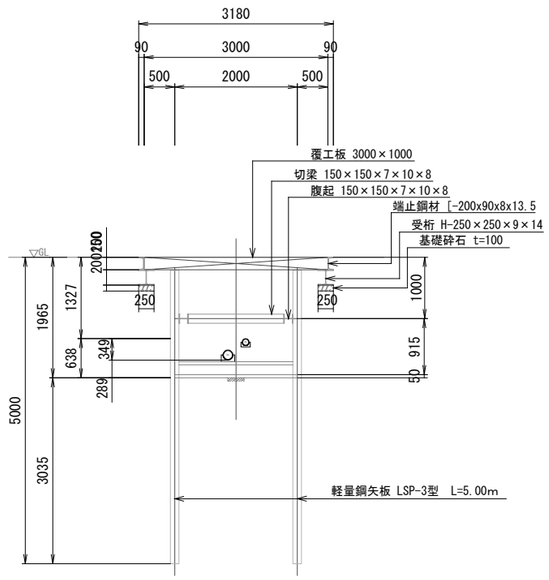
A' - A' 断面図 S=1:100



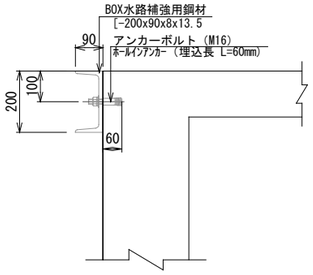
A - A 断面図 S=1:100



C - C 断面図 S=1:100



A部 詳細図 S=1:20



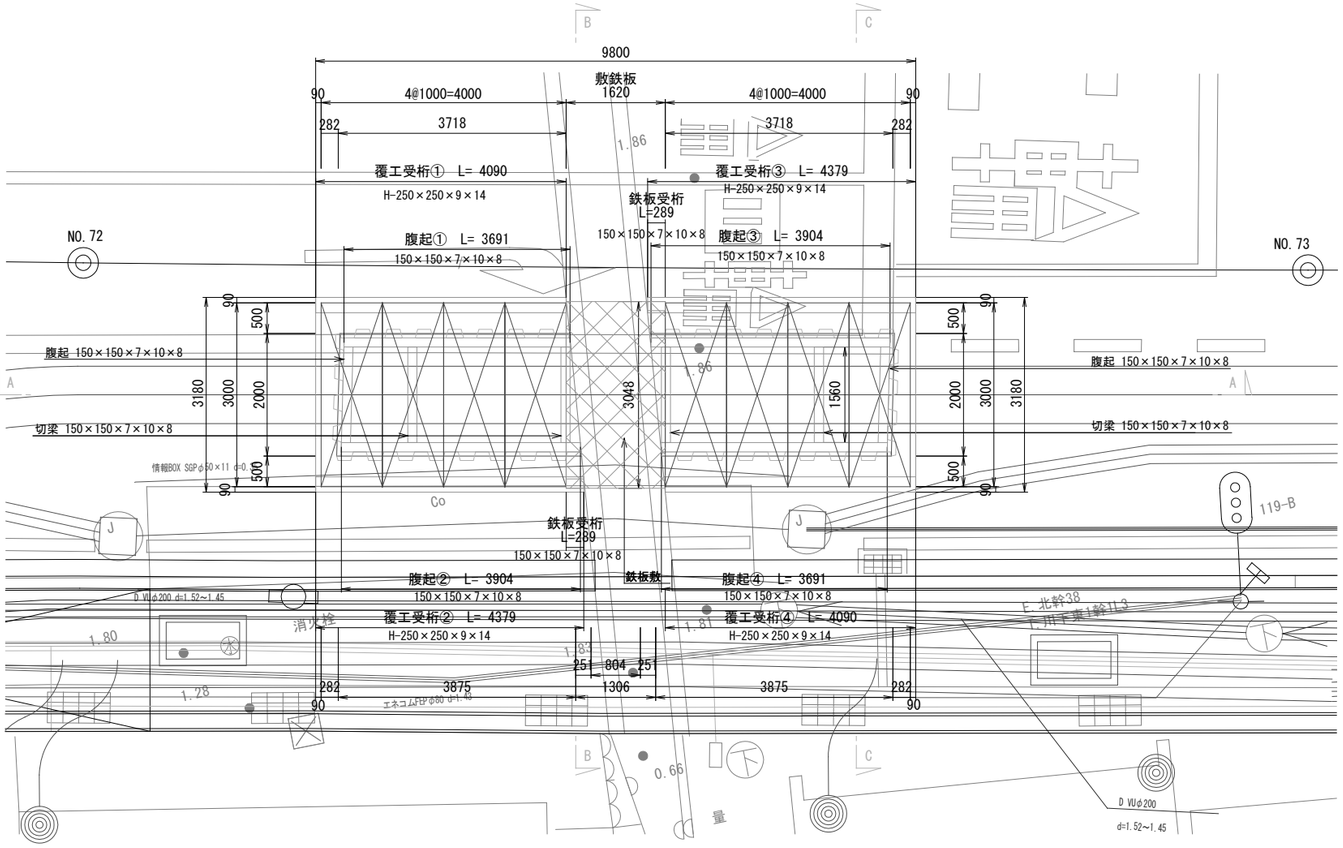
積算用参考図

工事名	安来電線共同溝PFI事業		
図面名	水路横断部詳細図 (2)		
年 月 日			
縮 尺	図 示	図面番号	20 / 23
会社名			
事業者名	松江国道事務所		

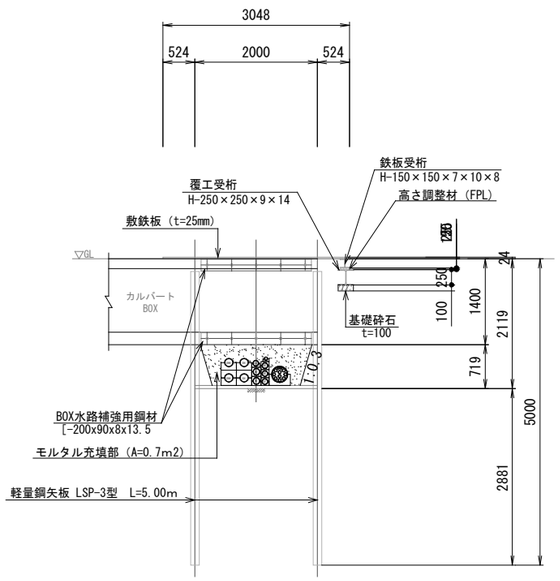
水路横断部詳細図 (3)

(NO.72付近 上り線 KN1-1)

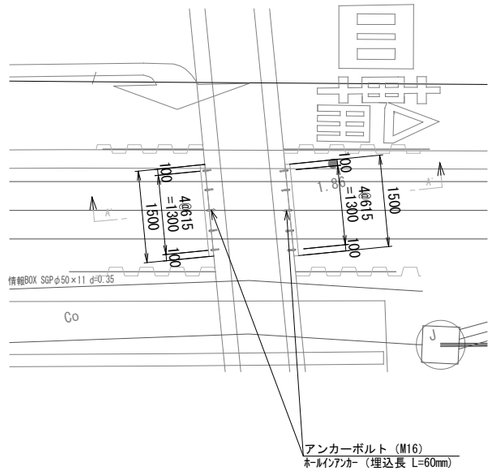
平 面 図 S=1:100



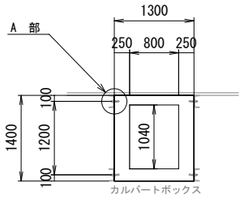
B － B 断面図 S=1:100



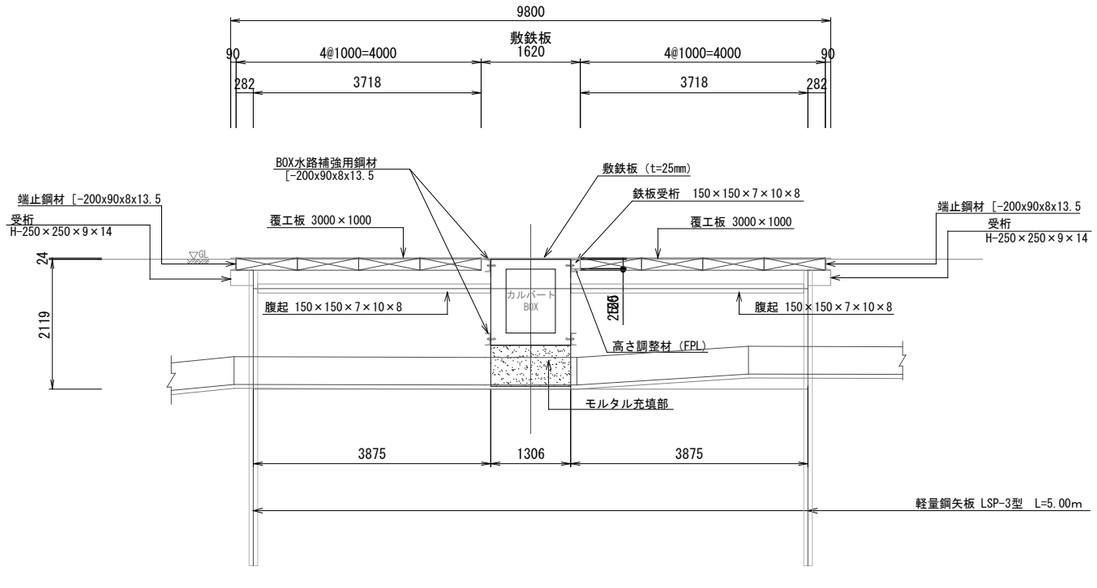
BOX水路補強部 詳細図 S=1:100



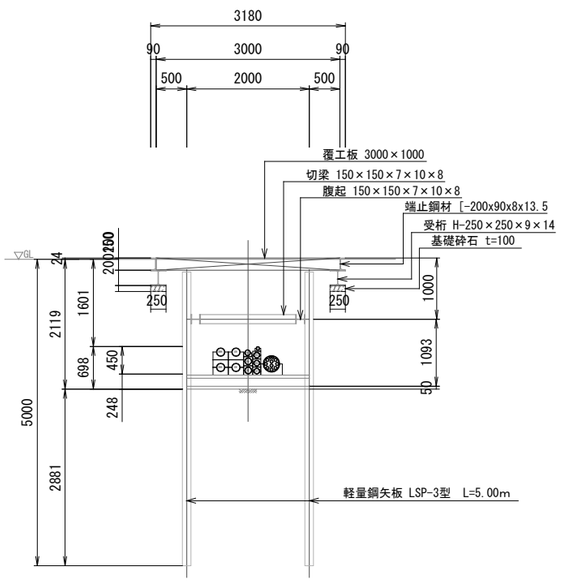
A’ － A’ 断面図 S=1:100



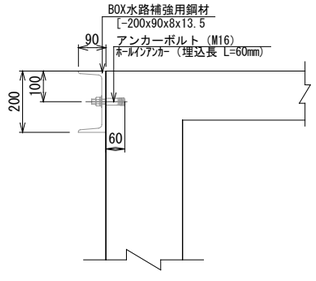
A － A 断面図 S=1:100



C － C 断面図 S=1:100



A部 詳細図 S=1:20



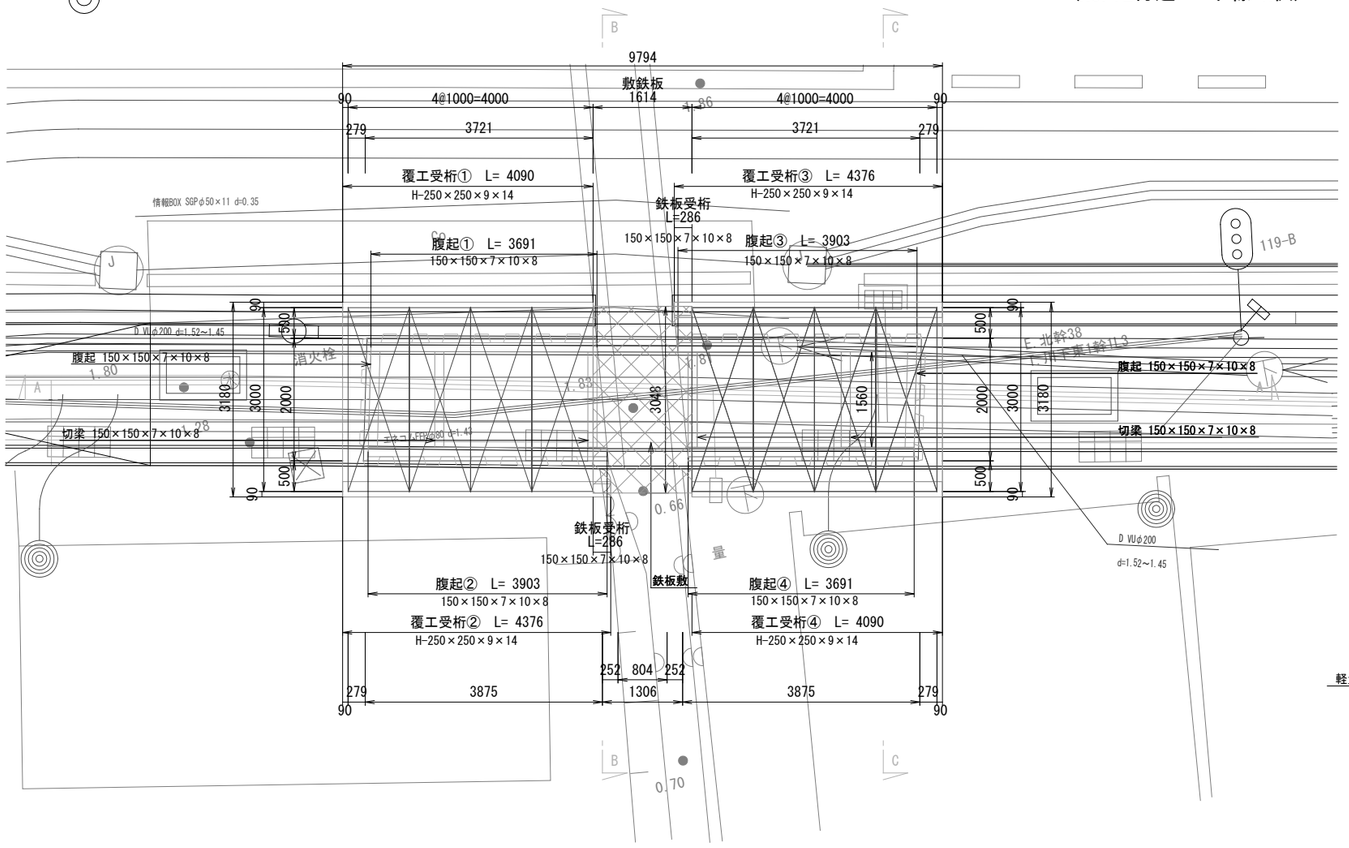
積算用参考図

工事名	安来電線共同溝PFI事業		
図面名	水路横断部詳細図 (3)		
年 月 日			
縮 尺	図 示	図面番号	21 / 23
会社名			
事業者名	松江国道事務所		

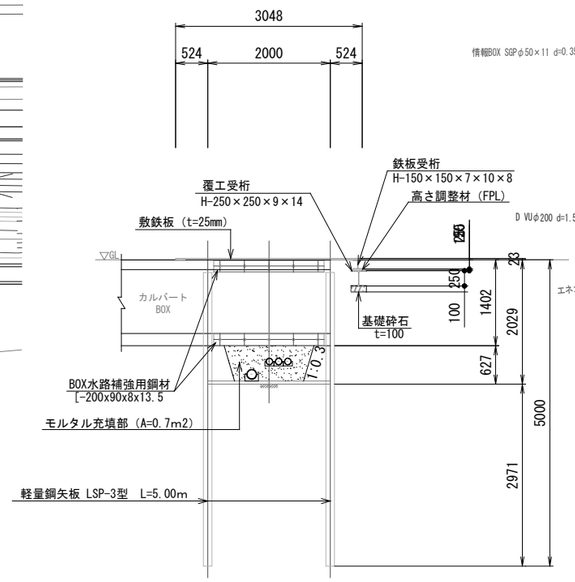
水路横断部詳細図 (4)

(NO.72付近 上り線 K供)

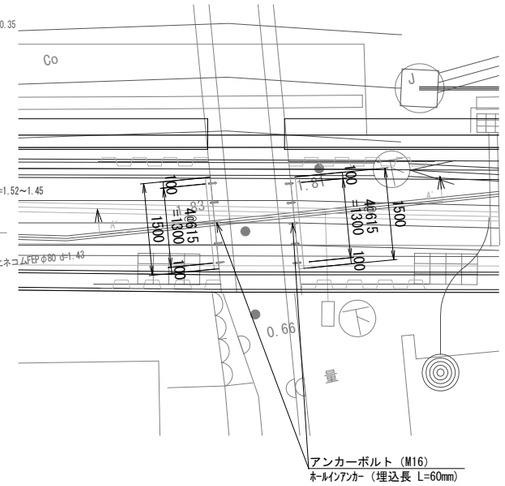
平 面 図 S=1:100



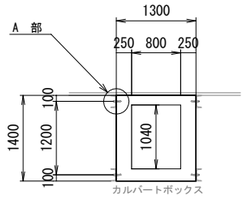
B - B 断面図 S=1:100



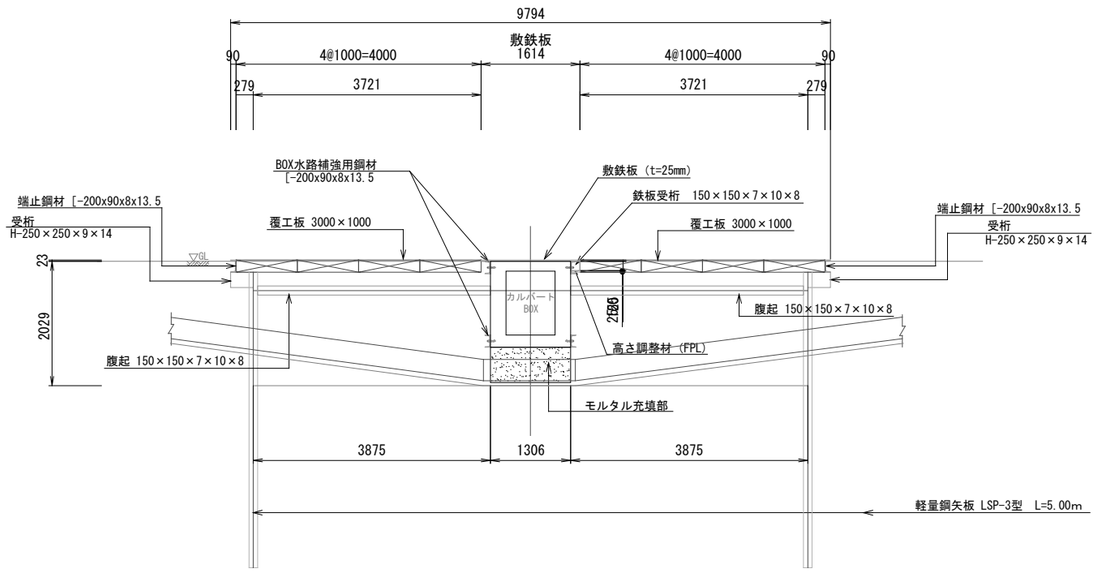
BOX水路補強部 詳細図 S=1:100



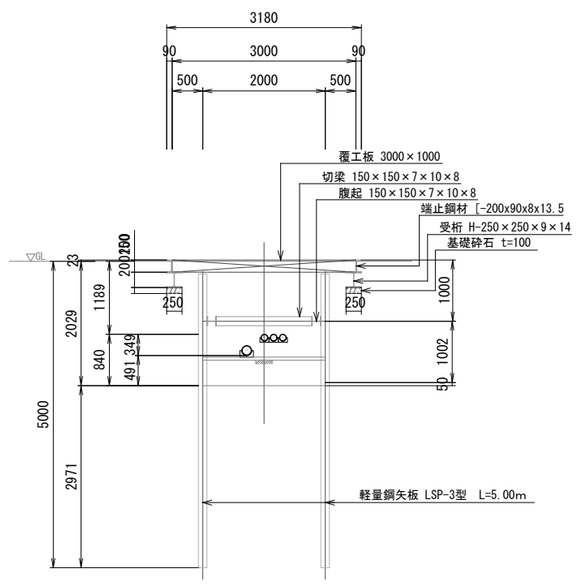
A' - A' 断面図 S=1:100



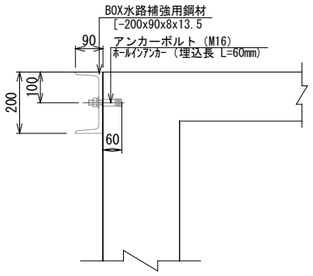
A - A 断面図 S=1:100



C - C 断面図 S=1:100



A部 詳細図 S=1:20



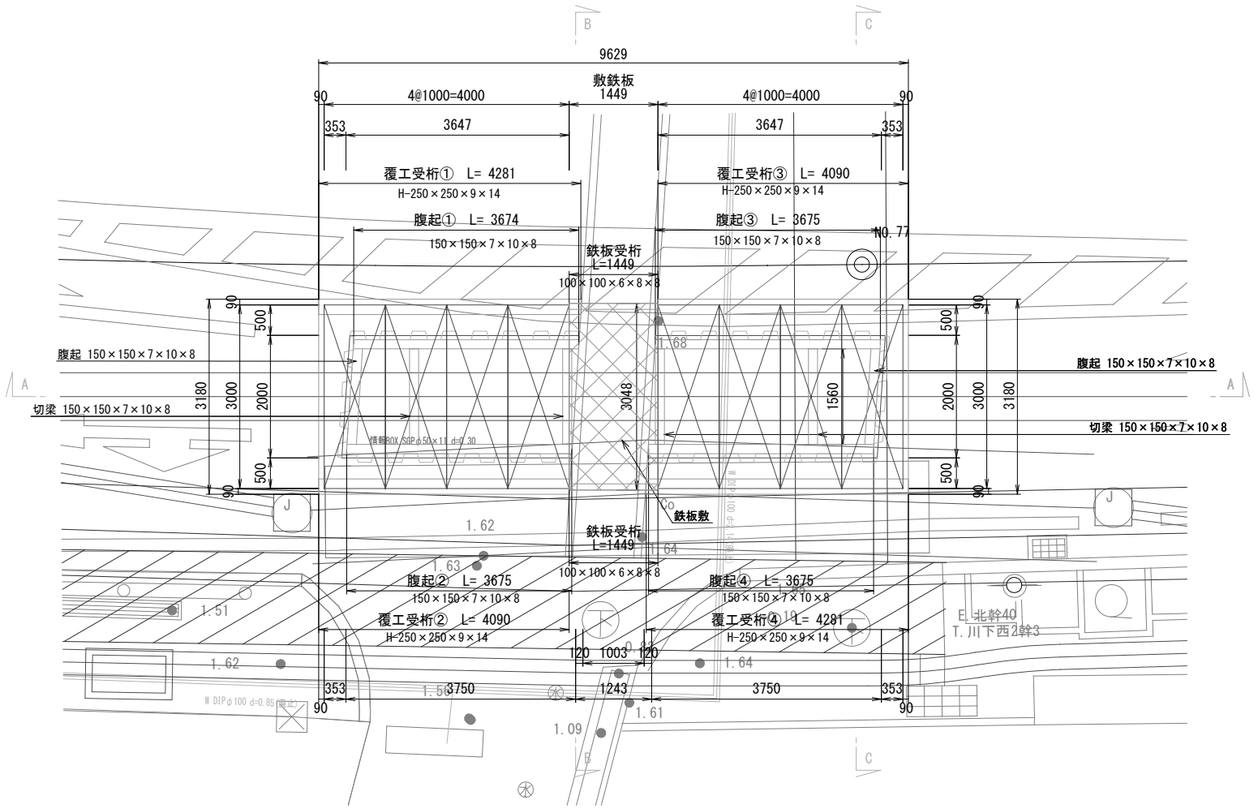
積算用参考図

工事名	安来電線共同溝PFI事業		
図面名	水路横断部詳細図 (4)		
年 月 日			
縮 尺	図 示	図面番号	22 / 23
会社名			
事業者名	松江国道事務所		

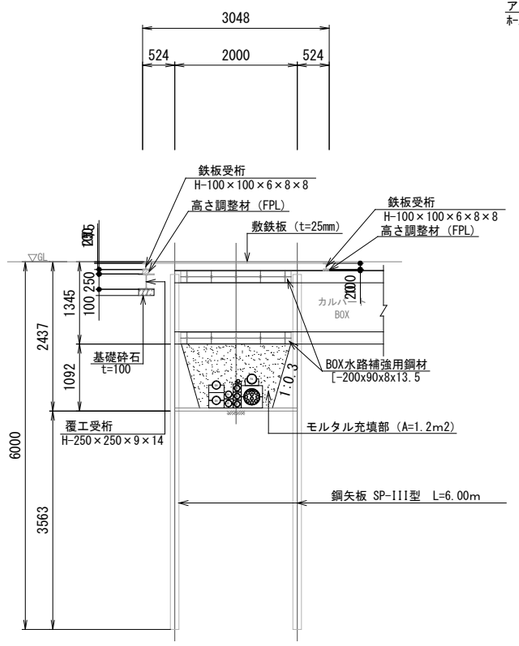
水路横断部詳細図 (5)

(NO.77付近 上り線 KN2-1)

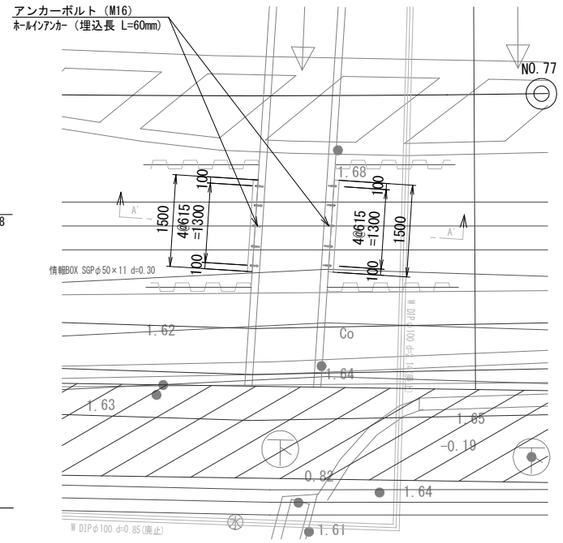
平 面 図 S=1:100



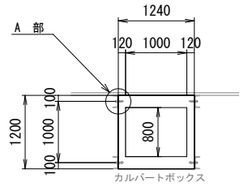
B - B 断面図 S=1:100



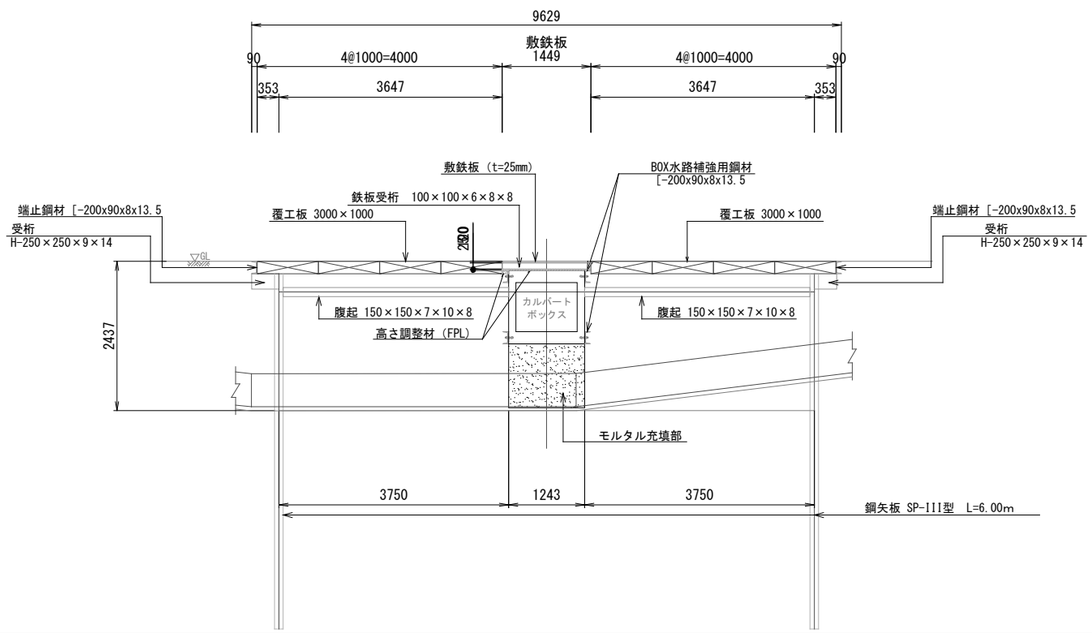
BOX水路補強部 詳細図 S=1:100



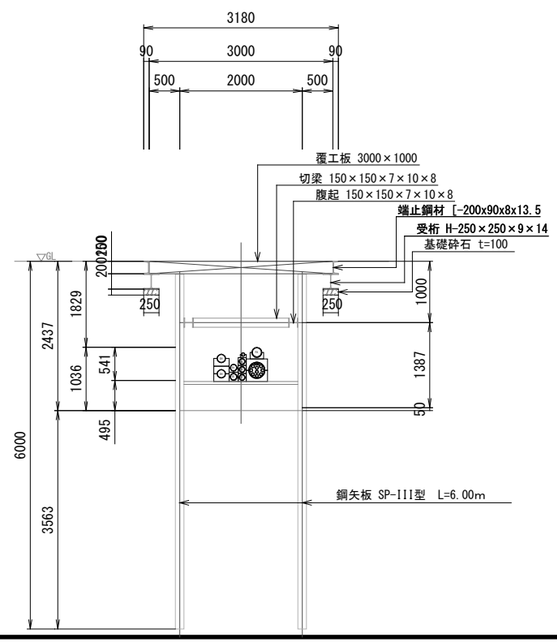
A' - A' 断面図 S=1:100



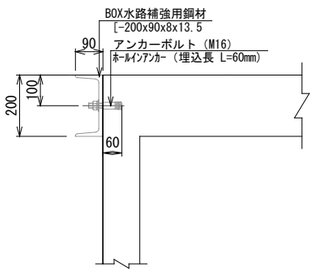
A - A 断面図 S=1:100



C - C 断面図 S=1:100



A部 詳細図 S=1:20



積算用参考図

工事名	安来電線共同溝PFI事業		
図面名	水路横断部詳細図 (5)		
年 月 日			
縮 尺	図 示	図面番号	23 / 23
会社名			
事業者名	松江国道事務所		

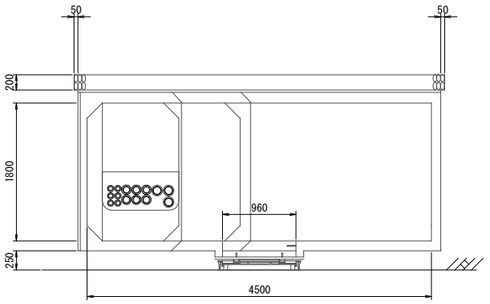
見積参考図面（参考図）

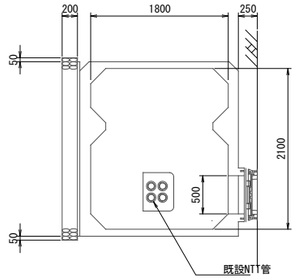
特殊部構造図(1)

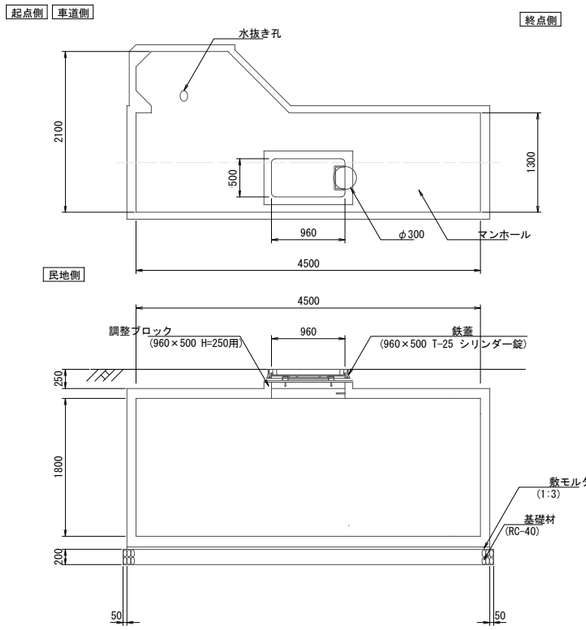
(4.5mタイプ)

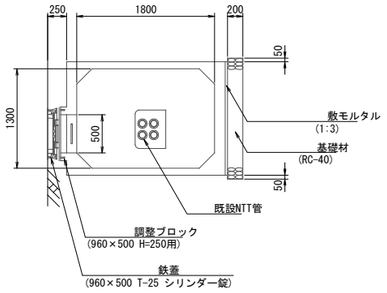
L型マンホール MN1

S=1:40

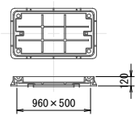




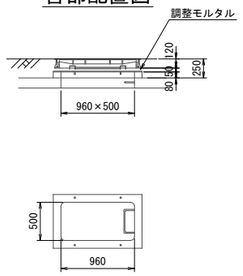




鉄蓋



首部配置図



数量表　　1箇所当り

名　称	規　格	単位	数　量
マンホール	W1300/2100×H1800×L4500	基	1
調整ブロック	960×500 H=250用	個	1
鉄蓋	960×500 T-25 シリンダー錠	枚	1
敷モルタル	1:3	式	1
コンクリート	1号	m3	1.998
基礎材	RC-40 t=200	m2	19.980

材料表

材 料	材 質	形 状	個 数	備　考
インサート	SUS304	M 1235	25	立金物取付用
〃	〃	M 1020	12	受台金物取付用
ボ ル ト	SS400 HDZ55	φ28	16	ブーリングボルト
〃	銅合金	M 20	2	接地線取付用
ナ ッ ト	〃	〃	8	〃
ハ シ ゴ	SS400 HDZ55	L=2100	1	3号
立金物	〃	47*1500*40*4.5	8	電力用
〃	〃	47*1350*40*4.5	3	通信用
受台金物	〃	40*250*150*4.5	6	

参考図

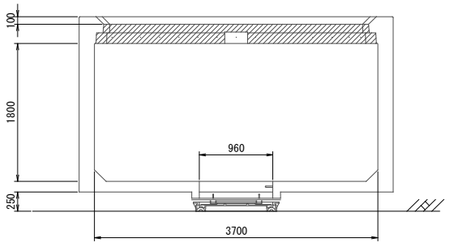
工事名	安来電線共同溝PFI事業		
図面名	特殊部構造図(1)		
作成年月日			
縮尺	1:40	図面番号	1 / 51
会社名			
事業者名	松江国道事務所		

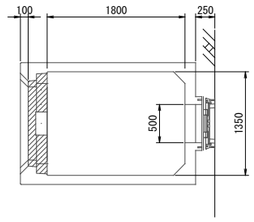
特殊部構造図(2)

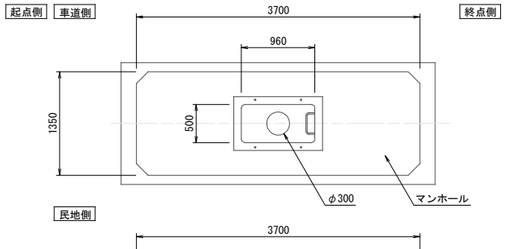
S=1:40

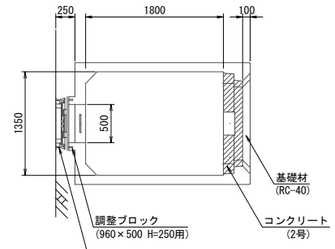
(3.7mタイプ)

S型マンホール MN2,MN3,MN4

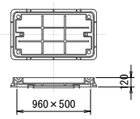




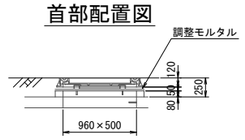


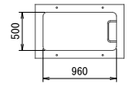


鉄蓋



首部配置図





数量表　　1箇所当り

名　称	規　格	単位	数　量
マンホール	W1350×H1800×L3700	基	1
調整ブロック	960×500 H=250用	個	1
鉄蓋	960×500 T-25 シリンダー錠	枚	1
コンクリート	2号	m3	1.238
基礎材	RC-40 t=100	m2	4.950
鉄筋	SD345 D13	t	0.087

材料表

材 料	材 質	形 状	個 数	備　考
インサート	SUS304	M 1235	30	立金物取付用
〃	〃	M 2060	16	脱着ブーリングボルト用
〃	SS400 HDZ55	M 1230	40	差し筋用
ボ ル ト	〃	φ25	4	脱着ブーリングボルト
〃	銅合金	M 20	2	アース端子取付用
ナ ッ ト	〃	〃	8	〃
ハ シ ゴ	SS400 HDZ55	L=2100	1	3号
立金物	〃	47*1450*40*4.5	6	電力用
〃	〃	47*1450*40*4.5	6	通信用
差し筋	SD345	D13 L=580	34	
〃	〃	D13 L=300	6	

参考図

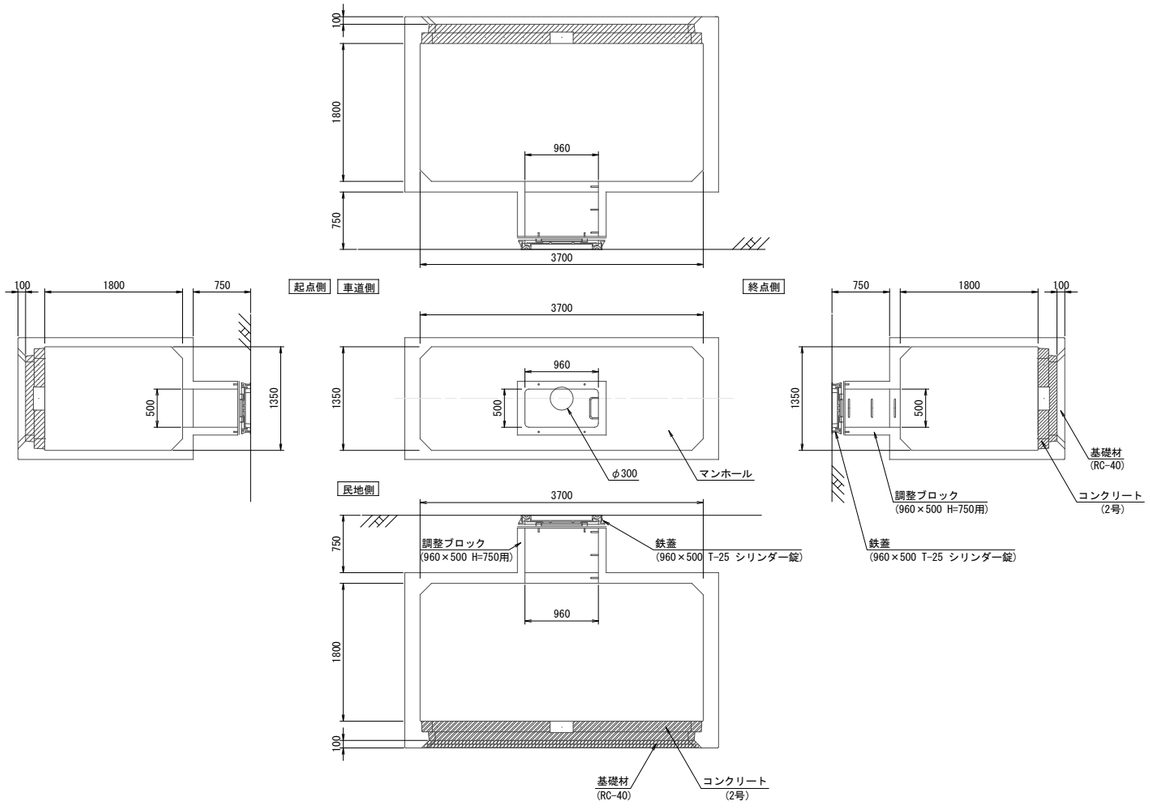
工事名	安来電線共同溝PFI事業		
図面名	特殊部構造図(2)		
作成年月日			
縮尺	1:40	図面番号	2 / 51
会社名			
事業者名	松江国道事務所		

特殊部構造図(3)

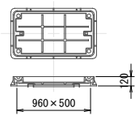
(3.7mタイプ)

S型マンホール MN5

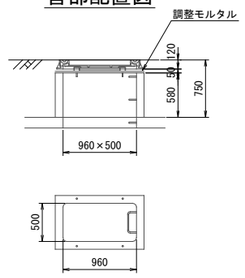
S=1:40



鉄蓋



首部配置図



材料表

材 料	材 質	形 状	個 数	備 考
インサート	SUS304	M 1235	30	立金物取付用
〃	〃	M 2060	16	脱着ブーリングボルト用
〃	SS400 HDZ55	M 1230	40	差し筋用
ボ ル ト	〃	φ25	4	脱着ブーリングボルト
〃	銅合金	M 20	2	アース端子取付用
ナ ッ ト	〃	〃	8	〃
ハ シ ゴ	SS400 HDZ55	L=2100	1	3号
立金物	〃	47*1450*40*4.5	6	電力用
〃	〃	47*1450*40*4.5	6	通信用
差し筋	SD345	D13 L=580	34	
〃	〃	D13 L=300	6	

数量表　　1箇所当り

名　称	規　格	単 位	数　量
マンホール	W1350×H1800×L3700	基	1
調整ブロック	960×500 H=750用	個	1
鉄蓋	960×500 T-25 シリンダー錠	枚	1
コンクリート	2号	m3	1.238
基礎材	RC-40 t=100	m2	4.950
鉄筋	SD345 D13	t	0.087

参考図

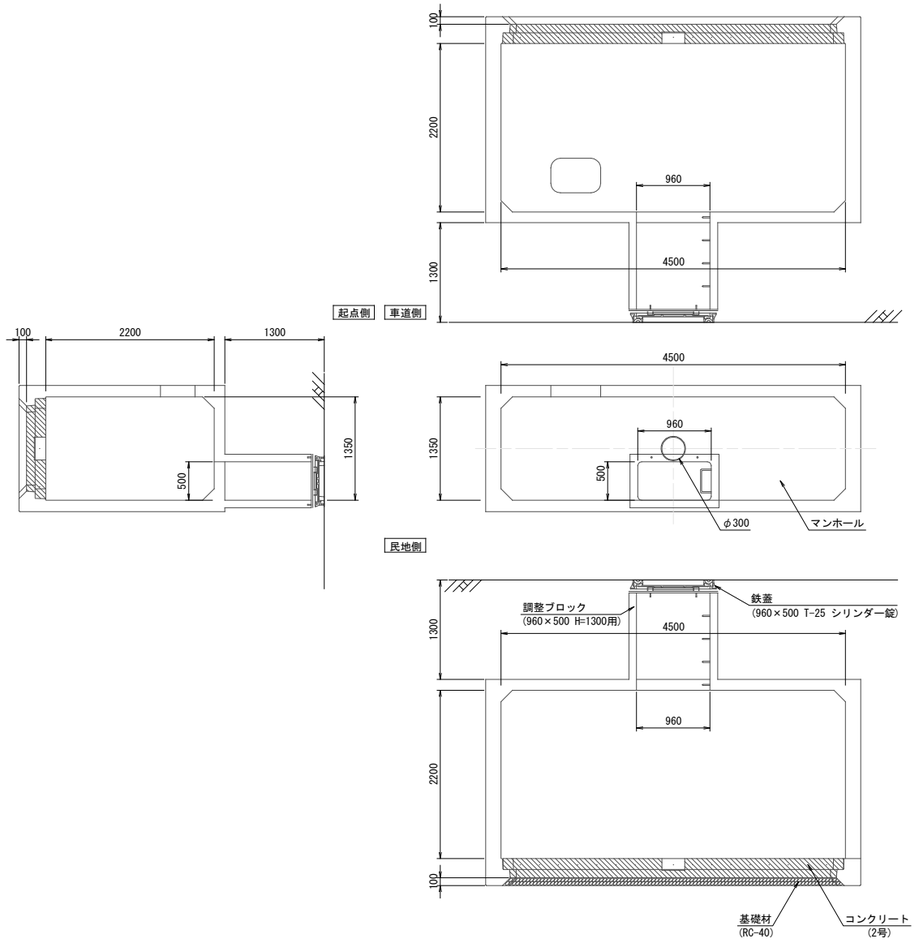
工事名	安来電線共同溝PFI事業		
図面名	特殊部構造図(3)		
作成年月日			
縮尺	1:40	図面番号	3 / 51
会社名			
事業者名	松江国道事務所		

特殊部構造図(4)

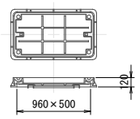
(4.5mタイプ)

S型マンホール MN6,MN7

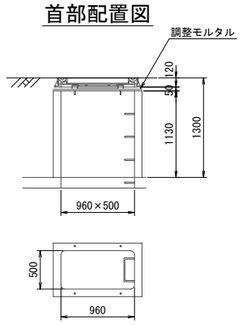
S=1:40



鉄蓋



首部配置図



材料表

材 料	材 質	形 状	個 数	備 考
インサート	SUS304	M 1235	39	立金物取付用
〃	〃	M 1020	6	受台金物取付用
〃	〃	M 2060	16	脱着ブーリングボルト用
〃	SS400 HDZ55	M 1230	44	差し筋用
ボ ル ト	〃	φ25	4	脱着ブーリングボルト
〃	銅合金	M 20	2	アース端子取付用
ナ ッ ト	〃	〃	8	〃
ハ シ ゴ	SS400 HDZ55	L=2550	1	4号
立金物	〃	47*1850*40*4.5	5	電力用
〃	〃	47*1850*40*4.5	8	通信用
受台金物	〃	40*250*75*4.5	6	電力用
差し筋	SD345	D13 L=580	38	
〃	〃	D13 L=300	6	

数量表 1箇所当り

名 称	規 格	単 位	数 量
マンホール	W1350×H2200×L4500	基	1
調整ブロック	960×500 H=1300用	個	1
鉄蓋	960×500 T-25 シリンダー錠	枚	1
コンクリート	2号	m3	1.519
基礎材	RC-40 t=100	m2	6.075
鉄筋	SD345 D13	t	0.103

参考図

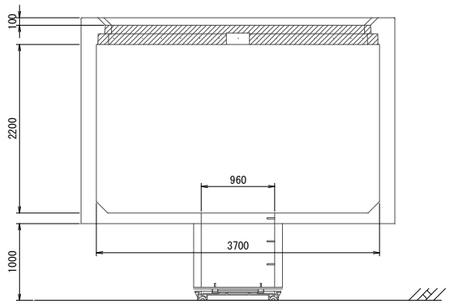
工事名	安来電線共同溝PFI事業		
図面名	特殊部構造図(4)		
作成年月日			
縮尺	1:40	図面番号	4 / 51
会社名			
事業者名	松江国道事務所		

特殊部構造図(5)

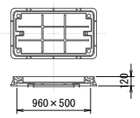
(3.7mタイプ)

S型マンホール MN8

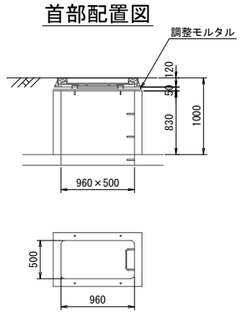
S=1:40

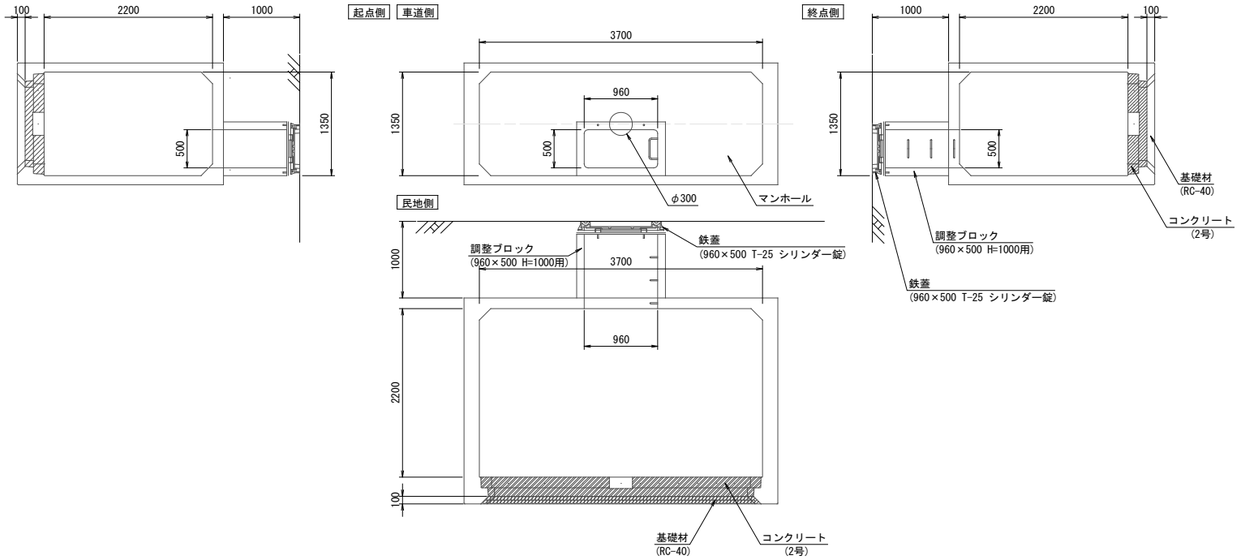


鉄蓋



首部配置図





数量表　　1箇所当り

名　称	規　格	単位	数　量
マンホール	W1350×H2200×L3700	基	1
調整ブロック	960×500 H=1000用	個	1
鉄蓋	960×500 T-25 シリンダー錠	枚	1
コンクリート	2号	m3	1.238
基礎材	RC-40 t=100	m2	4.950
鉄筋	SD345 D13	t	0.087

材料表

材 料	材 質	形 状	個 数	備 考
インサート	SUS304	M 1235	30	立金物取付用
〃	〃	M 1020	6	受台金物取付用
〃	〃	M 2060	16	脱着プーリングボルト用
〃	SS400 HDZ55	M 1230	40	差し筋用
ボ ル ト	〃	φ25	4	脱着プーリングボルト
〃	銅合金	M 20	2	アース端子取付用
ナ ッ ト	〃	〃	8	〃
ハ シ ゴ	SS400 HDZ55	L=2550	1	4号
立金物	〃	47*1850*40*4.5	6	電力用
〃	〃	47*1850*40*4.5	6	通信用
受台金物	〃	40*250*75*4.5	6	電力用
差し筋	SD345	D13 L=580	34	
〃	〃	D13 L=300	6	

参考図

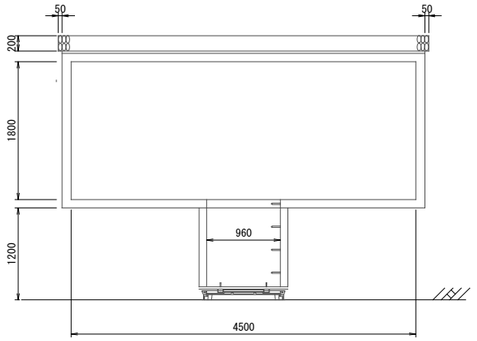
工事名	安来電線共同溝PF1事業		
図面名	特殊部構造図(5)		
作成年月日			
縮尺	1:40	図面番号	5 / 51
会社名			
事業者名	松江国道事務所		

特殊部構造図(6)

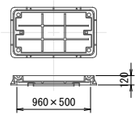
(4.5mタイプ)

S型マンホール MN9

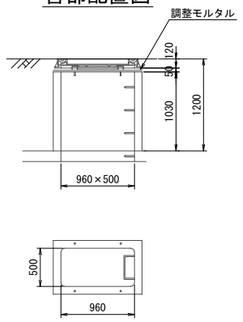
S=1:40



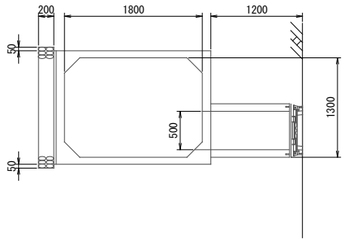
鉄蓋

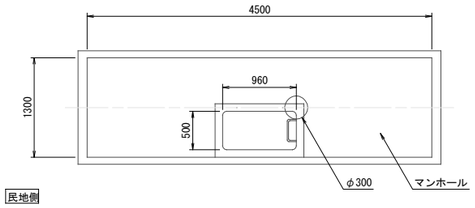


首部配置図

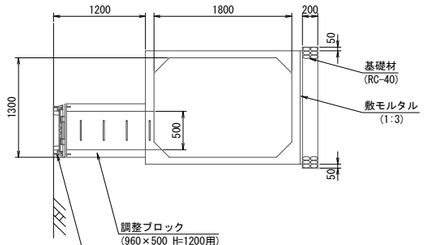


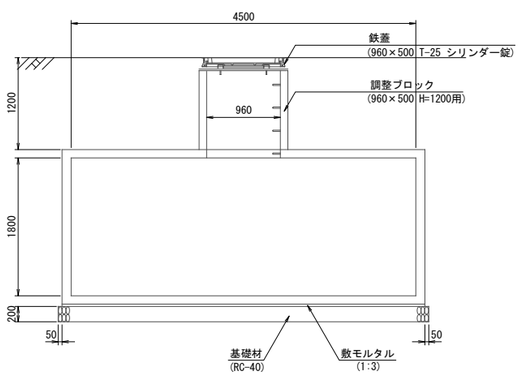
起点側 車道側 終点側





民地側





材料表

材 料	材 質	形 状	個 数	備 考
インサート	SUS304	M 1235	34	立金物取付用
ボ ル ト	SS400 HDZ55	φ28	12	プーリングボルト
〃	銅合金	M 20	2	接地線取付用
ナ ッ ト	〃	〃	8	〃
ハ シ ゴ	SS400 HDZ55	L=2100	1	3号
立金物	〃	47*1350*40*4.5	6	電力用
〃	〃	47*1350*40*4.5	8	通信用

数量表 1箇所当り

名 称	規 格	単 位	数 量
マンホール	W1300×H1800×L4500	基	1
調整ブロック	960×500 H=1200用	個	1
鉄蓋	960×500 T-25 シリンダー錠	枚	1
敷モルタル	1:3	式	1
コンクリート	1号	m3	1.958
基礎材	RC-40 t=200	m2	19.584

参考図

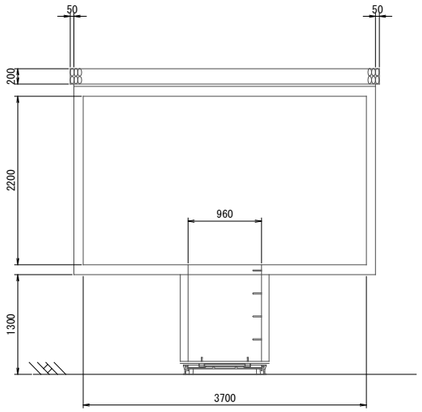
工事名	安来電線共同溝PFI事業		
図面名	特殊部構造図(6)		
作成年月日			
縮尺	1:40	図面番号	6 / 51
会社名			
事業者名	松江国道事務所		

特殊部構造図(7)

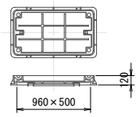
(3.7mタイプ)

S型マンホール MN10

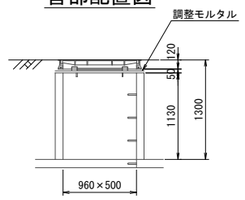
S=1:40

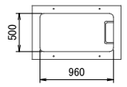


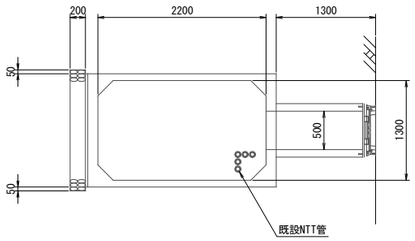
鉄蓋

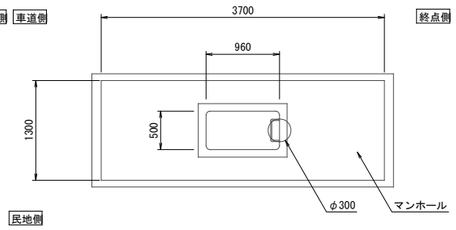


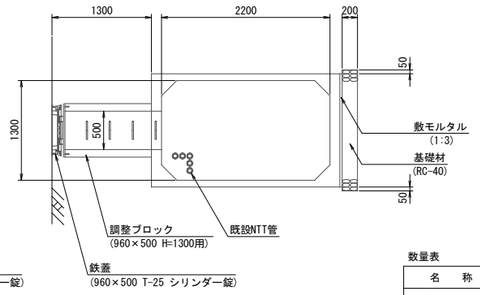
首部配置図

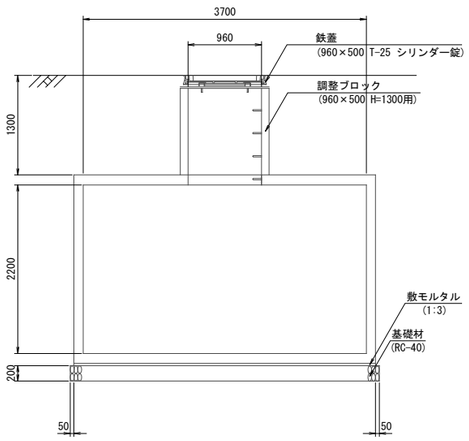












材料表

材 料	材 質	形 状	個 数	備 考
インサート	SUS304	M 1235	39	立金物取付用
〃	〃	M 1020	12	受台金物取付用
ボ ル ト	SS400 HDZ55	φ28	10	ブーリングボルト
〃	銅合金	M 20	2	接地線取付用
ナ ッ ト	〃	〃	8	〃
ハ シ ゴ	SS400 HDZ55	L=2550	1	4号
立金物	〃	47*1750*40*4.5	6	電力用
〃	〃	47*1750*40*4.5	7	通信用
受台金物	〃	40*300*100*4.5	6	

数量表　　1箇所当り

名　称	規　格	単 位	数　量
マンホール	W1300×H2200×L3700	基	1
調整ブロック	960×500 H=1300用	個	1
鉄蓋	960×500 T-25 シリンダー錠	枚	1
敷モルタル	1:3	式	1
コンクリート	1号	m3	1.728
基礎材	RC-40 t=200	m2	17.280

参考図

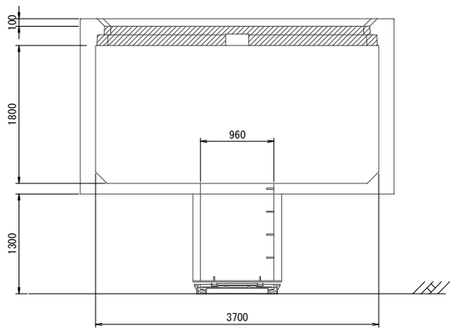
工事名	安来電線共同溝PFI事業		
図面名	特殊部構造図(7)		
作成年月日			
縮尺	1:40	図面番号	7 / 51
会社名			
事業者名	松江国道事務所		

特殊部構造図(8)

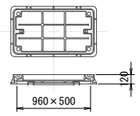
(3.7mタイプ)

S型マンホール MN11

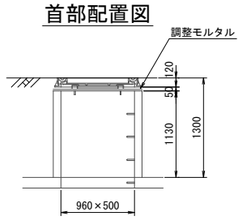
S=1:40

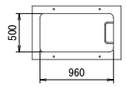


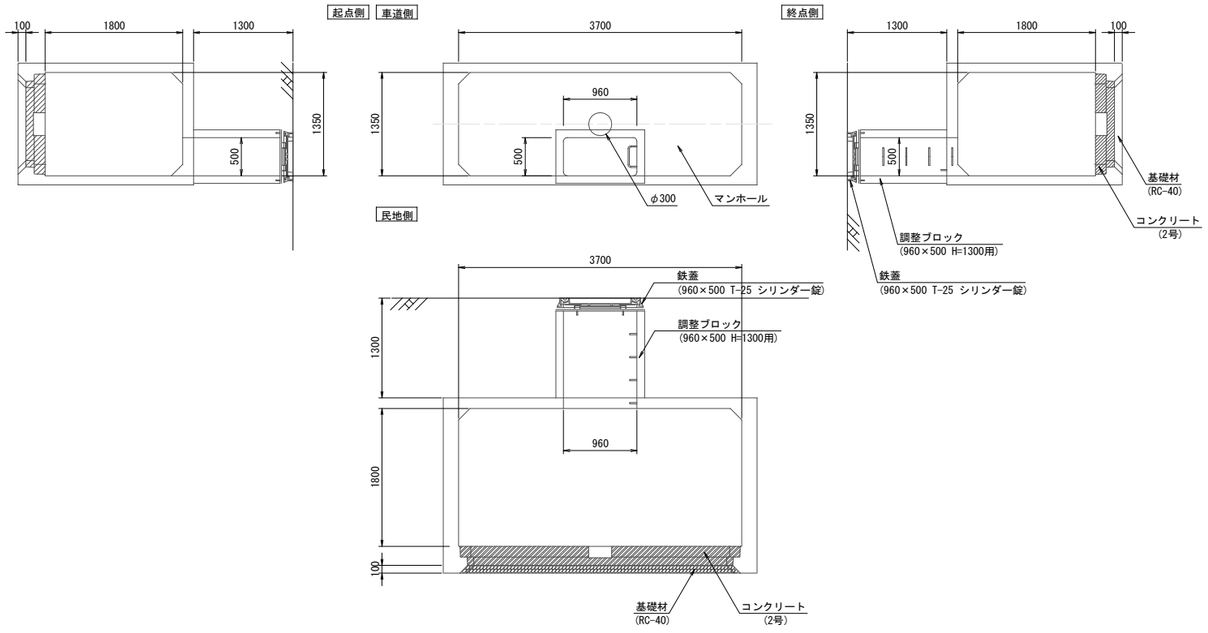
鉄蓋



首部配置図







材料表

材 料	材 質	形 状	個 数	備 考
インサート	SUS304	M 1235	30	立金物取付用
〃	〃	M 2060	16	脱着ブーリングボルト用
〃	SS400 HDZ55	M 1230	40	差し筋用
ボ ル ト	〃	φ25	4	脱着ブーリングボルト
〃	銅合金	M 20	2	アース端子取付用
ナ ッ ト	〃	〃	8	〃
ハ シ ゴ	SS400 HDZ55	L=2100	1	3号
立金物	〃	47*1450*40*4.5	6	電力用
〃	〃	47*1450*40*4.5	6	通信用
差し筋	SD345	D13 L=580	34	
〃	〃	D13 L=300	6	

数量表　　1箇所当り

名　称	規　格	単 位	数　量
マンホール	W1350×H1800×L3700	基	1
調整ブロック	960×500 H=1300用	個	1
鉄蓋	960×500 T-25 シリンダー錠	枚	1
コンクリート	2号	m3	1.238
基礎材	RC-40 t=100	m2	4.950
鉄筋	SD345 D13	t	0.087

参考図

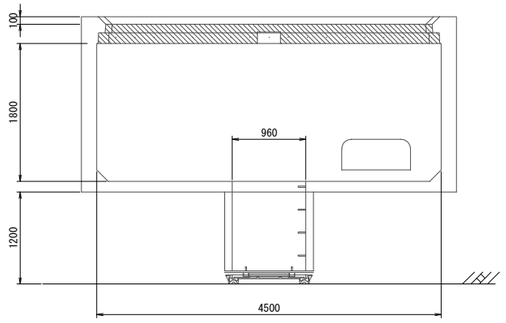
工事名	安来電線共同溝PFI事業		
図面名	特殊部構造図(8)		
作成年月日			
縮尺	1:40	図面番号	8 / 51
会社名			
事業者名	松江国道事務所		

特殊部構造図(9)

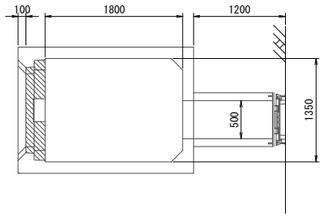
(4.5mタイプ)

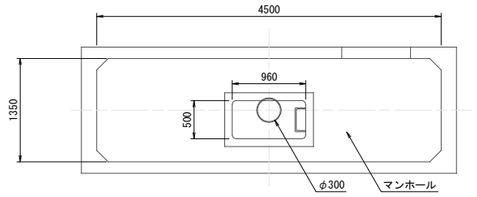
S型マンホール MN12

S=1:40



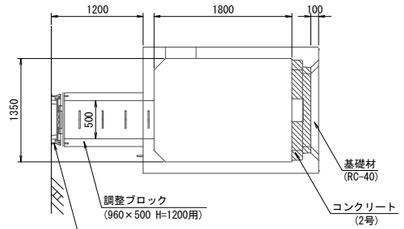
起点側 車道側



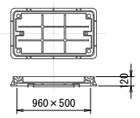


民地側

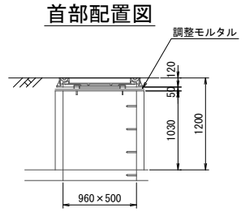
終点側

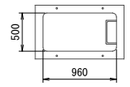


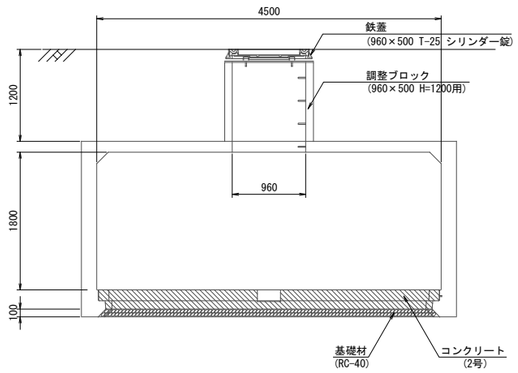
鉄蓋



首部配置図







材料表

材 料	材 質	形 状	個 数	備 考
インサート	SUS304	M 1235	39	立金物取付用
〃	〃	M 2060	16	脱着ブーリングボルト用
〃	SS400 HDZ55	M 1230	44	差し筋用
ボ ル ト	〃	φ25	4	脱着ブーリングボルト
〃	銅合金	M 20	2	アース端子取付用
ナ ッ ト	〃	〃	8	〃
ハ シ ゴ	SS400 HDZ55	L=2100	1	3号
立金物	〃	47*1450*40*4.5	5	電力用
〃	〃	47*1450*40*4.5	8	通信用
差し筋	SD345	D13 L=580	38	
〃	〃	D13 L=300	6	

数量表 1箇所当り

名 称	規 格	単 位	数 量
マンホール	W1350×H1800×L4500	基	1
調整ブロック	960×500 H=1200用	個	1
鉄蓋	960×500 T-25 シリンダー錠	枚	1
コンクリート	2号	m3	1.519
基礎材	RC-40 t=100	m2	6.075
鉄筋	SD345 D13	t	0.103

参考図

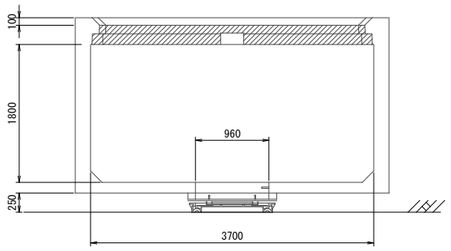
工事名	安来電線共同溝PFI事業		
図面名	特殊部構造図(9)		
作成年月日			
縮尺	1:40	図面番号	9 / 51
会社名			
事業者名	松江国道事務所		

特殊部構造図(10)

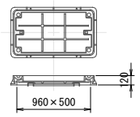
(3.7mタイプ)

S型マンホール MN13

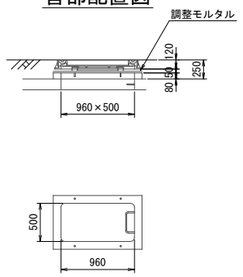
S=1:40

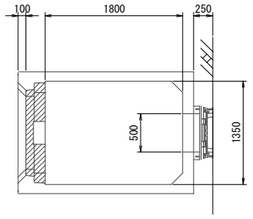


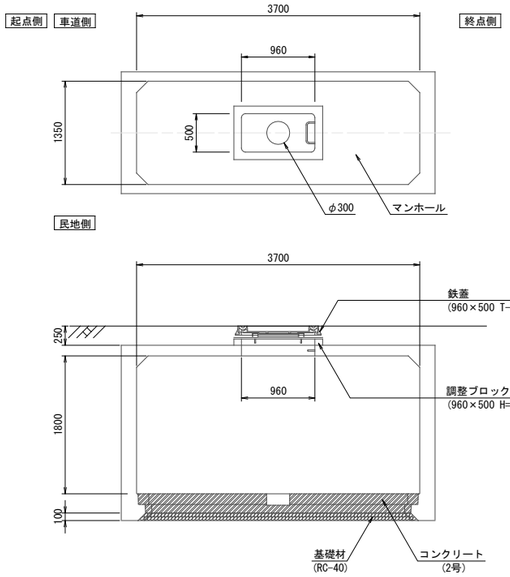
鉄蓋

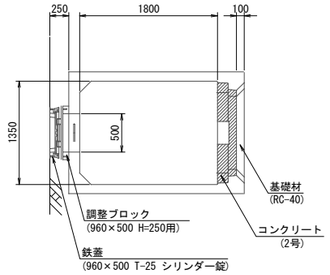


首部配置図









材料表

材 料	材 質	形 状	個 数	備 考
インサート	SUS304	M 1235	30	立金物取付用
〃	〃	M 2060	16	脱着ブーリングボルト用
〃	SS400 HDZ55	M 1230	40	差し筋用
ボ ル ト	〃	φ25	4	脱着ブーリングボルト
〃	銅合金	M 20	2	アース端子取付用
ナ ッ ト	〃	〃	8	〃
ハ シ ゴ	SS400 HDZ55	L=2100	1	3号
立金物	〃	47*1450*40*4.5	6	電力用
〃	〃	47*1450*40*4.5	6	通信用
差し筋	SD345	D13 L=580	34	
〃	〃	D13 L=300	6	

数量表　　1箇所当り

名　　称	規　　格	単 位	数　　量
マンホール	W1350×H1800×L3700	基	1
調整ブロック	960×500 H=250用	個	1
鉄蓋	960×500 T-25 シリンダー錠	枚	1
コンクリート	2号	m3	1.238
基礎材	RC-40 t=100	m2	4.950
鉄筋	SD345 D13	t	0.087

参考図

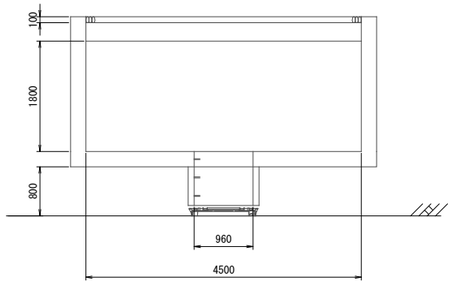
工事名	安来電線共同溝PFI事業		
図面名	特殊部構造図(10)		
作成年月日			
縮尺	1:40	図面番号	10 / 51
会社名			
事業者名	松江国道事務所		

特殊部構造図(11)

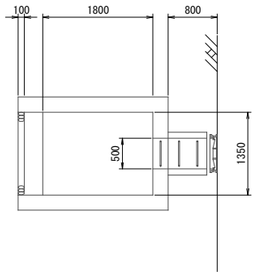
(4.5mタイプ)

L型(R)マンホール MN14

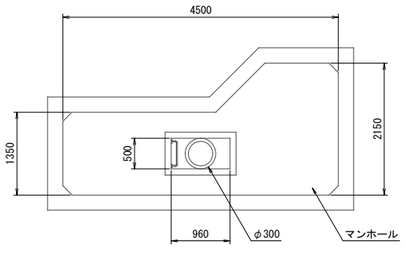
S=1:50



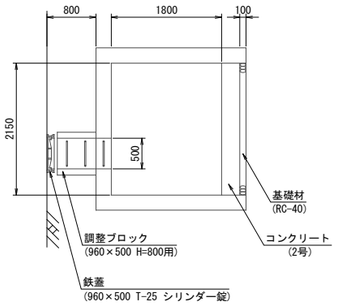
起点側



車道側

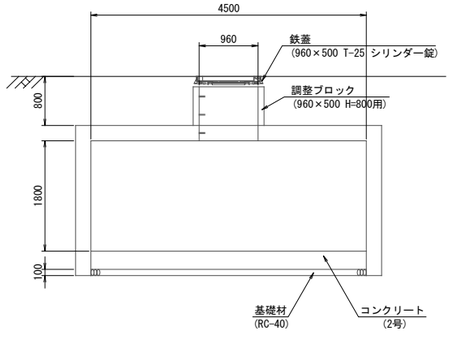


終点側

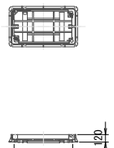


A

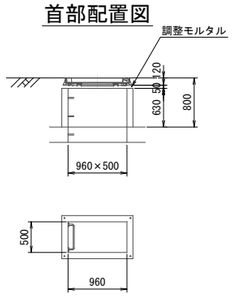
民地側



鉄蓋

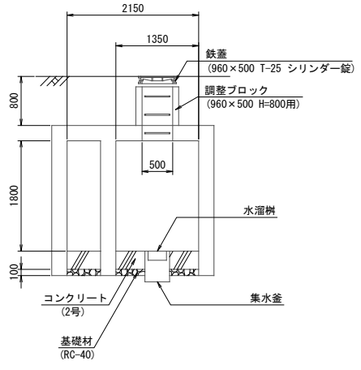


首部配置図



A-A断面図

車道側　　民地側



数量表　　1箇所当り

名　称	規　格	単 位	数　量
マンホール	W1350/2150×H1800×L4500	基	1
調整ブロック	960×500 H=800用	個	1
鉄蓋	960×500 T-25 シリンダー錠	枚	1
コンクリート	2号	m3	2.500
基礎材	RC-40 t=100	m2	10.000
鉄筋	SD345 D16	t	0.157

材料表(首部)

材料	材質	形状	数量	備考
鉄蓋	FCD700	960×500用	1	T-25　化粧用
長ねじボルト	SUS304	M16×150	4	鉄蓋固定用
六角ナット	SUS304	M16	8	鉄蓋固定用
座金	SUS304	□44×φ18×3	8	鉄蓋固定用
インサート金具	SUS304	M16×75	4	鉄蓋固定用
ステップ	SUS400	D19	2	
インサート金具	SUS304	M16×75	4	ステップ取付用
六角ボルト	SUS304	M16×35	4	ステップ取付用
座金	SUS304	M16	4	ステップ取付用
インサート金具	SUS304	M16×75	4	接続プレート取付用
六角ボルト	SUS304	M16×35	4	接続プレート取付用
座金	SUS304	M16	4	接続プレート取付用

材料表(上床版)

材料	材質	形状	数量	備考
長ねじボルト	SUS304	M20×240	4	上床版連結用
六角ナット	SUS304	M20	4	上床版連結用
座金	SUS304	□56×φ22×3	4	上床版連結用
ステップ	SUS304	D19	1	
インサート金具	SUS304	M16×75	2	ステップ取付用
六角ボルト	SUS304	M16×35	2	ステップ取付用
座金	SUS304	M16	2	ステップ取付用
接続プレート	SS400 HDZ45	260×44 t=4.5	4	
インサート金具	SUS304	M16×75	4	首ブロック取付用
六角ボルト	SUS304	M16×35	4	首ブロック取付用
座金	SUS304	M16	4	首ブロック取付用
インサート金具	SUS304	M16×100	20	ケーブル引込フック取付用
六角ボルト	SUS304	M16×40	20	ケーブル引込フック取付用
座金	SUS304	M16	20	ケーブル引込フック取付用
ケーブル引込フック	SS400 HDZ55	200×230	5	
梯子	SS400 HDZ55	L=2100	1	

材料表(上下部材)

材料	材質	形状	数量	備考
インサート金具	SUS304	M20×150	4	上床版連結用
PC鋼棒	SBPR 930/1080	φ17 L=1100	4	部材連結用
角プレート	SS400	90×90×19t	4	部材連結用
座金	SS400	M18	4	部材連結用
PCナット	S45C	M18	4	部材連結用
インサート金具	SUS304	M18	4	部材連結用
立金物	SS400 HDZ55	L=1550	3	電力用
立金物	SS400 HDZ55	L=1550	4	通信用
インサート金具	SUS304	M12×50	21	立金物取付用
六角穴付ボルト	SUS304	M12	21	立金物取付用
座金	SUS304	M12	21	立金物取付用
ケーブル受台金物	SS400 HDZ55	FB-40×6.0×425	0	電力用
ケーブル受台金物	SS400 HDZ55	FB-40×6.0×375	4	通信用
インサート金具	SUS304	M12×50	4	受台金物取付用
六角ボルト	SUS304	M12×30	4	受台金物取付用
座金	SUS304	M12	4	受台金物取付用
ガイドプラグ	SPCC	T=3.2 オス	4	
ガイドプラグ	SPCC	T=3.2 メス	4	
接地線ボルト	真鍮	M20	2	接地端子取付用
差し筋用インサート	SD345	M16×100	52	下床版差し筋用
先端アングル	SS400	L-65×65×6　5000	1	補強筋付き
先端アングル	SS400	L-65×65×6　2900	1	補強筋付き
先端アングル	SS400	L-65×65×6　2600	1	補強筋付き
先端アングル	SS400	L-65×65×6　2100	1	補強筋付き
先端アングル	SS400	L-65×65×6　1500	1	補強筋付き
先端アングル	SS400	L-65×65×6　1100	1	補強筋付き
シール材	ブチルゴム	20×10×14000	2	
シール材	水膨張ゴム	20×10×14800	2	
シール材	水膨張ゴム	20×10×13000	1	現場打コンクリート止水用

材料表(下床版)

材料	材質	形状	数量	備考
差し筋	D16 SD345	L=650	46	下床版鉄筋用
差し筋	D16 SD345	L=420	6	下床版鉄筋用
ケーブル引込フック	SS400 HDZ55	φ25	5	
集水釜	STK400	φ400 H=500	1	
水溜桝	STK400 HDZ55	φ306 H=150	1	

参考図

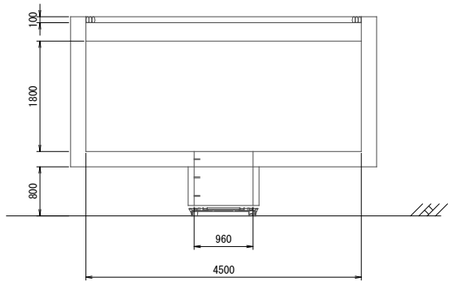
工事名	安来電線共同溝PFI事業		
図面名	特殊部構造図(11)		
作成年月日			
縮尺	1:50	図面番号	11 / 51
会社名			
事業者名	松江国道事務所		

特殊部構造図(12)

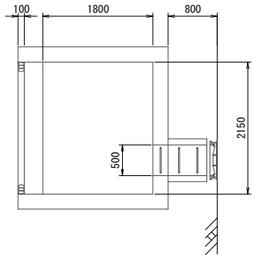
(4.5mタイプ)

L型(L)マンホール MN15

S=1:50

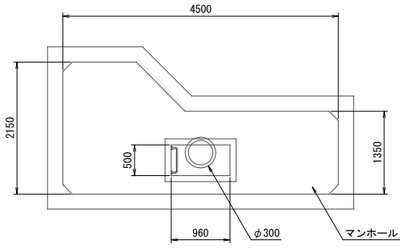


起点側

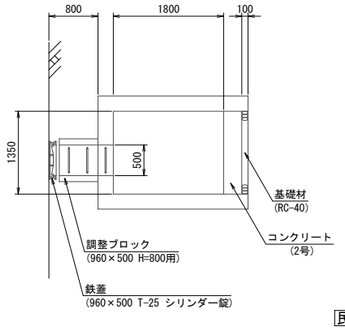


車道側

A

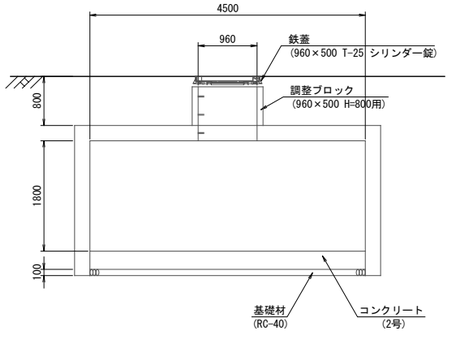


終点側



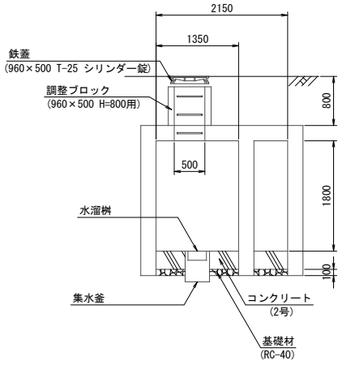
A

民地側

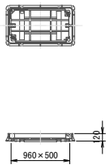


A-A断面図

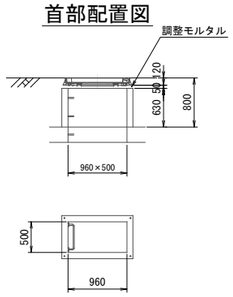
民地側　車道側



鉄蓋



首部配置図



材料表(首部)

材料	材質	形状	数量	備考
鉄蓋	FCD700	960×500用	1	T-25　化粧用
長ねじボルト	SUS304	M16×150	4	鉄蓋固定用
六角ナット	SUS304	M16	8	鉄蓋固定用
座金	SUS304	□44×φ18×3	8	鉄蓋固定用
インサート金具	SUS304	M16×75	4	鉄蓋固定用
ステップ	SUS400	D19	2	
インサート金具	SUS304	M16×75	4	ステップ取付用
六角ボルト	SUS304	M16×35	4	ステップ取付用
座金	SUS304	M16	4	ステップ取付用
インサート金具	SUS304	M16×75	4	接続プレート取付用
六角ボルト	SUS304	M16×35	4	接続プレート取付用
座金	SUS304	M16	4	接続プレート取付用

材料表(上床版)

材料	材質	形状	数量	備考
長ねじボルト	SUS304	M20×240	4	上床版連結用
六角ナット	SUS304	M20	4	上床版連結用
座金	SUS304	□56×φ22×3	4	上床版連結用
ステップ	SUS304	D19	1	
インサート金具	SUS304	M16×75	2	ステップ取付用
六角ボルト	SUS304	M16×35	2	ステップ取付用
座金	SUS304	M16	2	ステップ取付用
接続プレート	SS400 HDZ45	260×44 t=4.5	4	
インサート金具	SUS304	M16×75	4	首ブロック取付用
六角ボルト	SUS304	M16×35	4	首ブロック取付用
座金	SUS304	M16	4	首ブロック取付用
インサート金具	SUS304	M16×100	20	ケーブル引込フック取付用
六角ボルト	SUS304	M16×40	20	ケーブル引込フック取付用
座金	SUS304	M16	20	ケーブル引込フック取付用
ケーブル引込フック	SS400 HDZ55	200×230	5	
梯子	SS400 HDZ55	L=2100	1	

材料表(上下部材)

材料	材質	形状	数量	備考
インサート金具	SUS304	M20×150	4	上床版連結用
PC鋼棒	SBPR 930/1080	φ17 L=1100	4	部材連結用
角プレート	SS400	90×90×19t	4	部材連結用
座金	SS400	M18	4	部材連結用
PCナット	S45C	M18	4	部材連結用
インサート金具	SUS304	M18	4	部材連結用
立金物	SS400 HDZ55	L=1550	3	電力用
立金物	SS400 HDZ55	L=1550	4	通信用
インサート金具	SUS304	M12×50	21	立金物取付用
六角穴付ボルト	SUS304	M12	21	立金物取付用
座金	SUS304	M12	21	立金物取付用
ケーブル受台金物	SS400 HDZ55	FB-40×6.0×425	0	電力用
ケーブル受台金物	SS400 HDZ55	FB-40×6.0×375	4	通信用
インサート金具	SUS304	M12×50	4	受台金物取付用
六角ボルト	SUS304	M12×30	4	受台金物取付用
座金	SUS304	M12	4	受台金物取付用
ガイドプラグ	SPCC	T=3.2 オス	4	
ガイドプラグ	SPCC	T=3.2 メス	4	
接地線ボルト	真鍮	M20	2	接地端子取付用
差し筋用インサート	SD345	M16×100	52	下床版差し筋用
先端アングル	SS400	L-65×65×6　5000	1	補強筋付き
先端アングル	SS400	L-65×65×6　2900	1	補強筋付き
先端アングル	SS400	L-65×65×6　2600	1	補強筋付き
先端アングル	SS400	L-65×65×6　2100	1	補強筋付き
先端アングル	SS400	L-65×65×6　1500	1	補強筋付き
先端アングル	SS400	L-65×65×6　1100	1	補強筋付き
シール材	ブチルゴム	20×10×14000	2	
シール材	水膨張ゴム	20×10×14800	2	
シール材	水膨張ゴム	20×10×13000	1	現場打コンクリート止水用

材料表(下床版)

材料	材質	形状	数量	備考
差し筋	D16 SD345	L=650	46	下床版鉄筋用
差し筋	D16 SD345	L=420	6	下床版鉄筋用
ケーブル引込フック	SS400 HDZ55	φ25	5	
集水釜	STK400	φ400 H=500	1	
水溜桝	STK400 HDZ55	φ306 H=150	1	

数量表　　1箇所当り

名　称	規　格	単 位	数　量
マンホール	W1350/2150×H1800×L4500	基	1
調整ブロック	960×500 H=800用	個	1
鉄蓋	960×500 T-25 シリンダー錠	枚	1
コンクリート	2号	m3	2.500
基礎材	RC-40 t=100	m2	10.000
鉄筋	SD345 D16	t	0.157

参考図

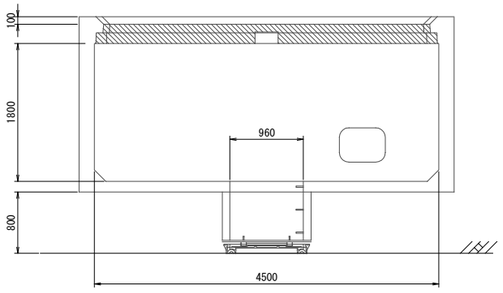
工事名	安来電線共同溝PFI事業		
図面名	特殊部構造図(12)		
作成年月日			
縮尺	1:50	図面番号	12 / 51
会社名			
事業者名	松江国道事務所		

特殊部構造図(13)

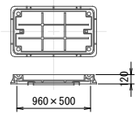
(4.5mタイプ)

S型マンホール MN16

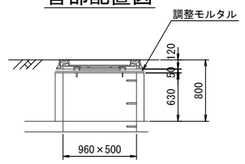
S=1:40

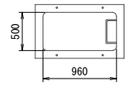


鉄蓋

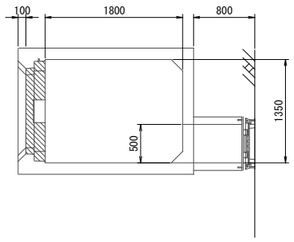


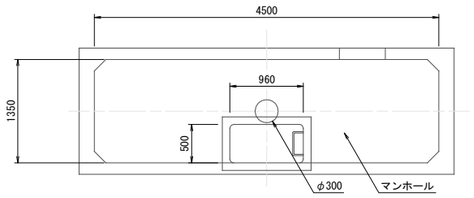
首部配置図



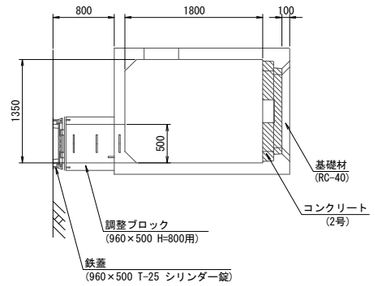


起点側 車道側

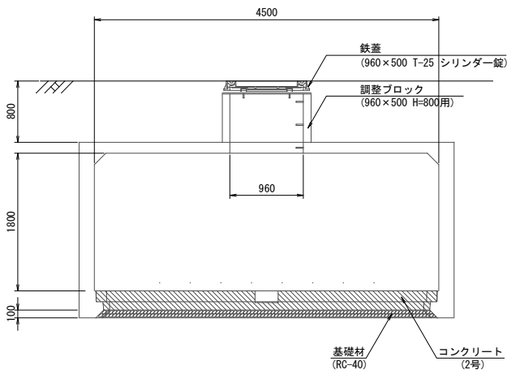




終点側



民地側



数量表 1箇所当り

名　称	規　格	単位	数　量
マンホール	W1350×H1800×L4500	基	1
調整ブロック	960×500 H=800用	個	1
鉄蓋	960×500 T-25 シリンダー錠	枚	1
コンクリート	2号	m3	1.519
基礎材	RC-40 t=100	m2	6.075
鉄筋	SD345 D13	t	0.103

材料表

材 料	材 質	形 状	個 数	備　考
インサート	SUS304	M 1235	39	立金物取付用
〃	〃	M 1020	8	受台金物取付用
〃	〃	M 2060	16	脱着プーリングボルト用
〃	SS400 HDZ55	M 1230	44	差し筋用
ボ ル ト	〃	φ25	4	脱着プーリングボルト
〃	銅合金	M 20	2	アース端子取付用
ナ ッ ト	〃	〃	8	〃
ハ シ ゴ	SS400 HDZ55	L=2100	1	3号
立金物	〃	47*1450*40*4.5	5	電力用
〃	〃	47*1450*40*4.5	8	通信用
受台金物	〃	40*250*75*4.5	8	
差し筋	SD345	D13 L=580	38	
〃	〃	D13 L=300	6	

参考図

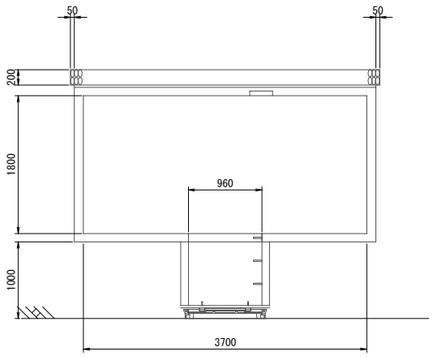
工事名	安来電線共同溝PFI事業		
図面名	特殊部構造図(13)		
作成年月日			
縮尺	1:40	図面番号	13 / 51
会社名			
事業者名	松江国道事務所		

特殊部構造図(14)

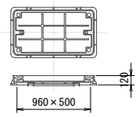
(3.7mタイプ)

S型マンホール MN17

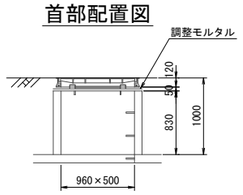
S=1:40

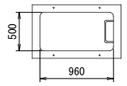


鉄蓋

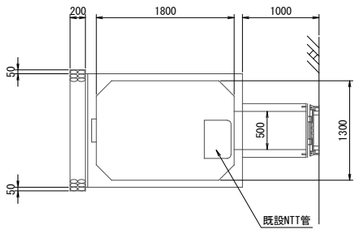


首部配置図

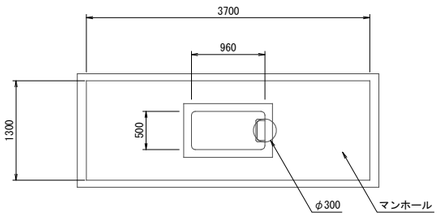




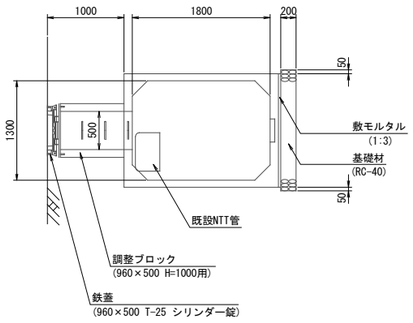
起点側



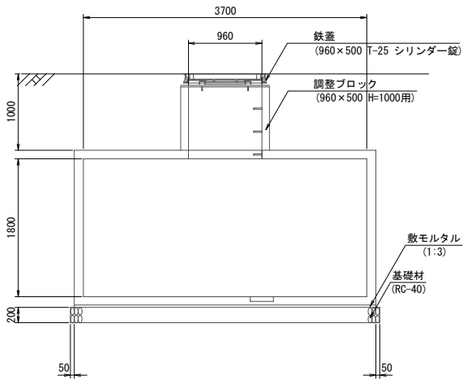
車道側



終点側



民地側



材料表

材 料	材 質	形 状	個 数	備 考
インサート	SUS304	M 1235	32	立金物取付用
〃	〃	M 1020	12	受台金物取付用
ボ ル ト	SS400 HDZ55	φ28	10	ブーリングボルト
〃	銅合金	M 20	2	接地線取付用
ナ ッ ト	〃	〃	8	〃
ハ シ ゴ	SS400 HDZ55	L=2000	1	特3号
立金物	〃	47*1450*40*4.5	6	電力用
〃	〃	47*1400*40*4.5	7	通信用
受台金物	〃	40*250*150*4.5	6	

数量表　　1箇所当り

名　称	規　格	単 位	数　量
マンホール	W1300×H1800×L3700	基	1
調整ブロック	960×500 H=1000用	個	1
鉄蓋	960×500 T-25 シリンダー錠	枚	1
敷モルタル	1:3	式	1
コンクリート	1号	m3	1.698
基礎材	RC-40 t=200	m2	16.980

参考図

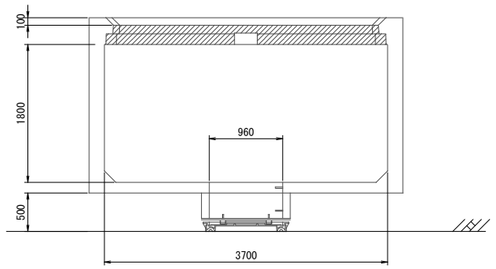
工事名	安来電線共同溝PFI事業		
図面名	特殊部構造図(14)		
作成年月日			
縮尺	1:40	図面番号	14 / 51
会社名			
事業者名	松江国道事務所		

特殊部構造図(15)

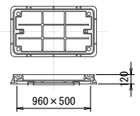
(3.7mタイプ)

S型マンホール MN18

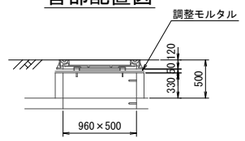
S=1:40

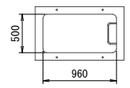


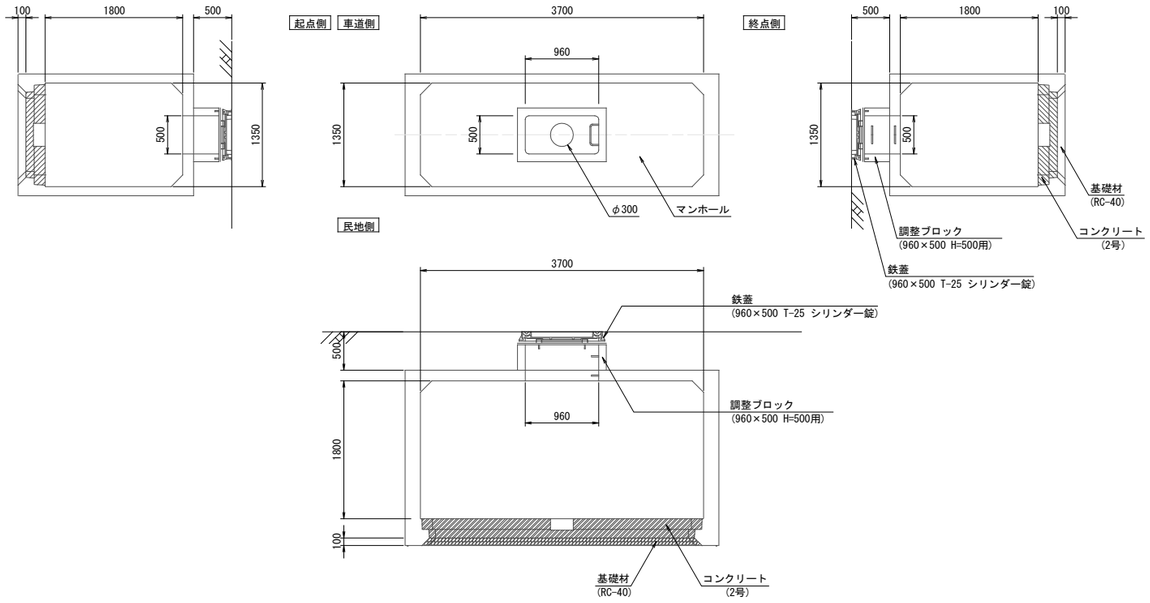
鉄蓋



首部配置図







材料表

材 料	材 質	形 状	個 数	備 考
インサート	SUS304	M 1235	30	立金物取付用
〃	〃	M 2060	16	脱着ブーリングボルト用
〃	SS400 HDZ55	M 1230	40	差し筋用
ボ ル ト	〃	φ25	4	脱着ブーリングボルト
〃	銅合金	M 20	2	アース端子取付用
ナ ッ ト	〃	〃	8	〃
ハ シ ゴ	SS400 HDZ55	L=2100	1	3号
立金物	〃	47*1450*40*4.5	6	電力用
〃	〃	47*1450*40*4.5	6	通信用
差し筋	SD345	D13 L=580	34	
〃	〃	D13 L=300	6	

数量表　　1箇所当り

名　称	規　格	単 位	数　量
マンホール	W1350×H1800×L3700	基	1
調整ブロック	960×500 H=500用	個	1
鉄蓋	960×500 T-25 シリンダー錠	枚	1
コンクリート	2号	m3	1.238
基礎材	RC-40 t=100	m2	4.950
鉄筋	SD345 D13	t	0.087

参考図

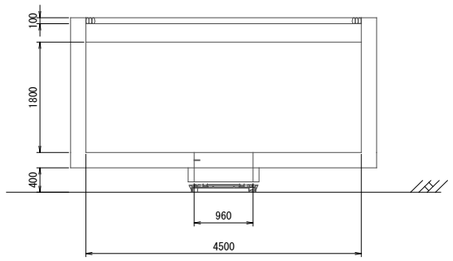
工事名	安来電線共同溝PFI事業		
図面名	特殊部構造図(15)		
作成年月日			
縮尺	1:40	図面番号	15 / 51
会社名			
事業者名	松江国道事務所		

特殊部構造図(16)

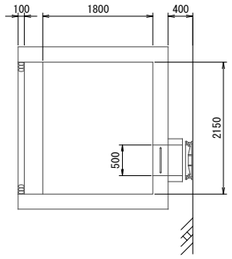
(4.5mタイプ)

L型(L)マンホール MN19

S=1:50

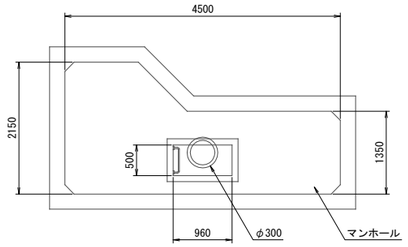


起点側

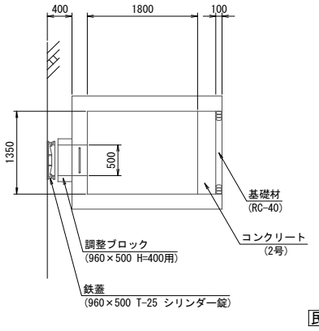


車道側

A

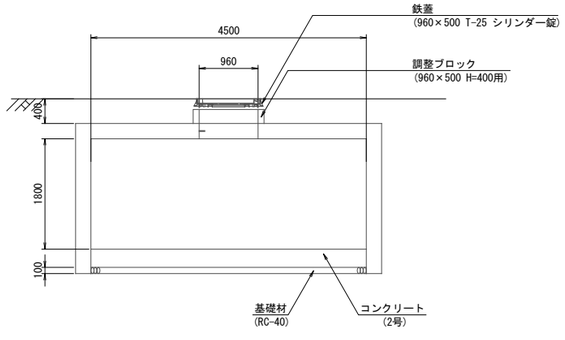


終点側



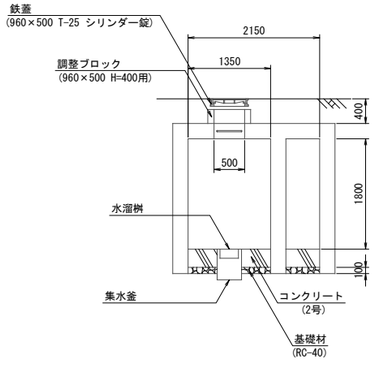
A

民地側

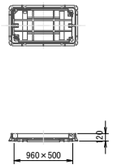


A-A断面図

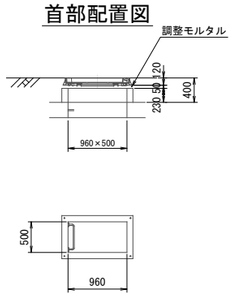
民地側　車道側



鉄蓋



首部配置図



材料表(首部)

材料	材質	形状	数量	備考
鉄蓋	FCD700	960×500用	1	T-25　化粧用
長ねじボルト	SUS304	M16×150	4	鉄蓋固定用
六角ナット	SUS304	M16	8	鉄蓋固定用
座金	SUS304	□44×φ18×3	8	鉄蓋固定用
インサート金具	SUS304	M16×75	4	鉄蓋固定用
ステップ	SUS400	D19	0	
インサート金具	SUS304	M16×75	0	ステップ取付用
六角ボルト	SUS304	M16×35	0	ステップ取付用
座金	SUS304	M16	0	ステップ取付用
インサート金具	SUS304	M16×75	4	接続プレート取付用
六角ボルト	SUS304	M16×35	4	接続プレート取付用
座金	SUS304	M16	4	接続プレート取付用

材料表(上床版)

材料	材質	形状	数量	備考
長ねじボルト	SUS304	M20×240	4	上床版連結用
六角ナット	SUS304	M20	4	上床版連結用
座金	SUS304	□56×φ22×3	4	上床版連結用
ステップ	SUS304	D19	1	
インサート金具	SUS304	M16×75	2	ステップ取付用
六角ボルト	SUS304	M16×35	2	ステップ取付用
座金	SUS304	M16	2	ステップ取付用
接続プレート	SS400 HDZ45	260×44 t=4.5	4	
インサート金具	SUS304	M16×75	4	首ブロック取付用
六角ボルト	SUS304	M16×35	4	首ブロック取付用
座金	SUS304	M16	4	首ブロック取付用
インサート金具	SUS304	M16×100	20	ケーブル引込フック取付用
六角ボルト	SUS304	M16×40	20	ケーブル引込フック取付用
座金	SUS304	M16	20	ケーブル引込フック取付用
ケーブル引込フック	SS400 HDZ55	200×230	5	
梯子	SS400 HDZ55	L=2100	1	

材料表(上下部材)

材料	材質	形状	数量	備考
インサート金具	SUS304	M20×150	4	上床版連結用
PC鋼棒	SBPR 930/1080	φ17 L=1100	4	部材連結用
角プレート	SS400	90×90×19t	4	部材連結用
座金	SS400	M18	4	部材連結用
PCナット	S45C	M18	4	部材連結用
インサート金具	SUS304	M18	4	部材連結用
立金物	SS400 HDZ55	L=1550	3	電力用
立金物	SS400 HDZ55	L=1550	4	通信用
インサート金具	SUS304	M12×50	21	立金物取付用
六角穴付ボルト	SUS304	M12	21	立金物取付用
座金	SUS304	M12	21	立金物取付用
ケーブル受台金物	SS400 HDZ55	FB-40×6.0×425	0	電力用
ケーブル受台金物	SS400 HDZ55	FB-40×6.0×375	4	通信用
インサート金具	SUS304	M12×50	4	受台金物取付用
六角ボルト	SUS304	M12×30	4	受台金物取付用
座金	SUS304	M12	4	受台金物取付用
ガイドプラグ	SPCC	T=3.2 オス	4	
ガイドプラグ	SPCC	T=3.2 メス	4	
接地線ボルト	真鍮	M20	2	接地端子取付用
差し筋用インサート	SD345	M16×100	52	下床版差し筋用
先端アングル	SS400	L-65×65×6　5000	1	補強筋付き
先端アングル	SS400	L-65×65×6　2900	1	補強筋付き
先端アングル	SS400	L-65×65×6　2600	1	補強筋付き
先端アングル	SS400	L-65×65×6　2100	1	補強筋付き
先端アングル	SS400	L-65×65×6　1500	1	補強筋付き
先端アングル	SS400	L-65×65×6　1100	1	補強筋付き
シール材	ブチルゴム	20×10×14000	2	
シール材	水膨張ゴム	20×10×14800	2	
シール材	水膨張ゴム	20×10×13000	1	現場打コンクリート止水用

材料表(下床版)

材料	材質	形状	数量	備考
差し筋	D16 SD345	L=650	46	下床版鉄筋用
差し筋	D16 SD345	L=420	6	下床版鉄筋用
ケーブル引込フック	SS400 HDZ55	φ25	5	
集水釜	STK400	φ400 H=500	1	
水溜桝	STK400 HDZ55	φ306 H=150	1	

数量表　　1箇所当り

名　称	規　格	単 位	数　量
マンホール	W1350/2150×H1800×L4500	基	1
調整ブロック	960×500 H=400用	個	1
鉄蓋	960×500 T-25 シリンダー錠	枚	1
コンクリート	2号	m3	2.500
基礎材	RC-40 t=100	m2	10.000
鉄筋	SD345 D13	t	0.157

参考図

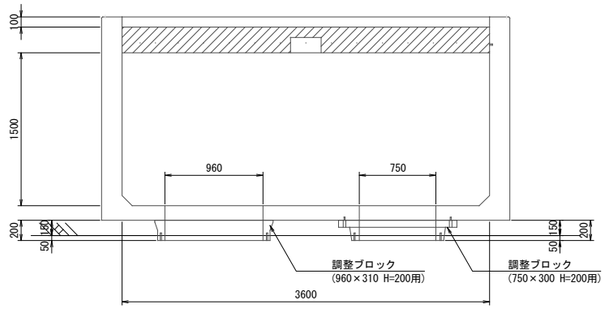
工事名	安来電線共同溝PF1事業		
図面名	特殊部構造図(16)		
作成年月日			
縮尺	1:50	図面番号	16 / 51
会社名			
事業者名	松江国道事務所		

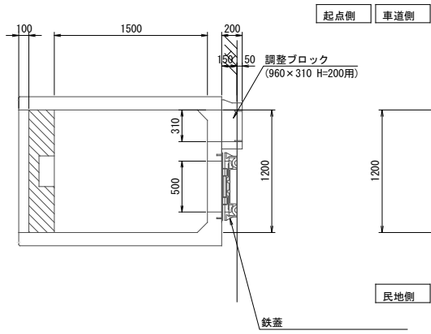
特殊部構造図(17)

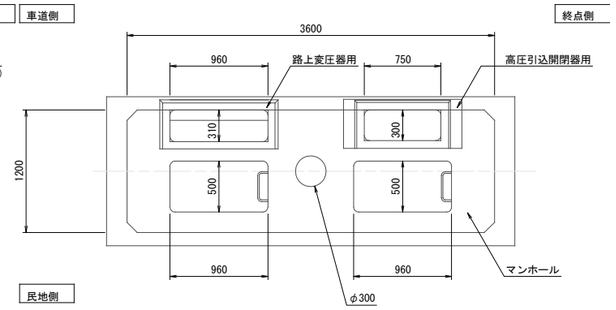
S=1:30

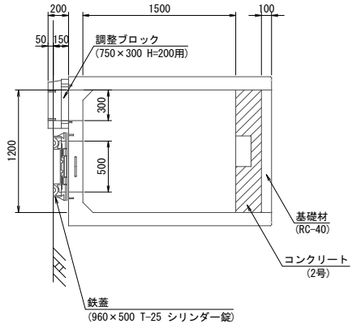
(3.6mタイプ)

路上変圧器/高圧引込開閉器 AN1

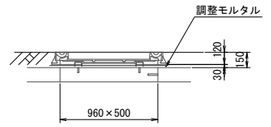


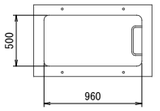




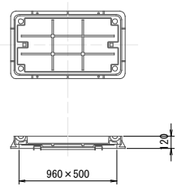


首部配置図



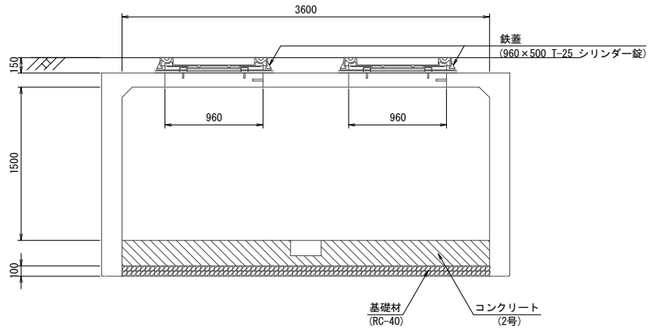


鉄蓋



材料表

材 料	材 質	形 状	個 数	備 考
インサート	SUS304	M 1235	12	立金物取付用
〃	〃	M 2060	16	脱着ブーリングボルト用
〃	SS400 HDZ55	M 1230	40	差し筋用
ボ ル ト	〃	φ25	4	脱着ブーリングボルト
〃	銅合金	M 20	2	アース端子取付用
ナ ッ ト	〃	〃	8	〃
ハ シ ゴ	SS400 HDZ55	L=1700	1	特2号
立金物	〃	47*1250*40*4.5	6	電力用
差し筋	SD345	D13 L=500	34	
〃	〃	D13 L=300	6	



数量表 1箇所当り

名 称	規 格	単 位	数 量
マンホール	W1200×H1500×L3600	基	1
調整ブロック	960×310 H=200用	個	1
調整ブロック	750×300 H=200用	個	1
鉄蓋	960×500 T-25 シリンダー錠	枚	2
コンクリート	2号	m3	1.080
基礎材	RC-40 t=100	m2	4.320
鉄筋	SD345 D13	t	0.074

参考図

工事名	安来電線共同溝PFI事業		
図面名	特殊部構造図(17)		
作成年月日			
縮尺	1:30	図面番号	17 / 51
会社名			
事業者名	松江国道事務所		

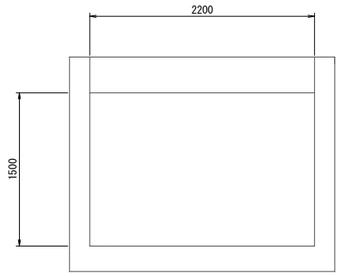
特殊部構造図(18)

S=1:30

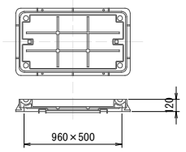
(2.2mタイプ)

路上変圧器 AN2

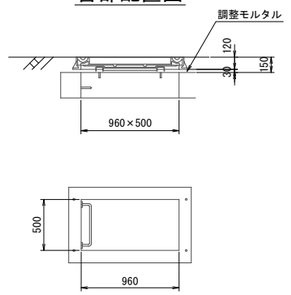
民地側 側面図



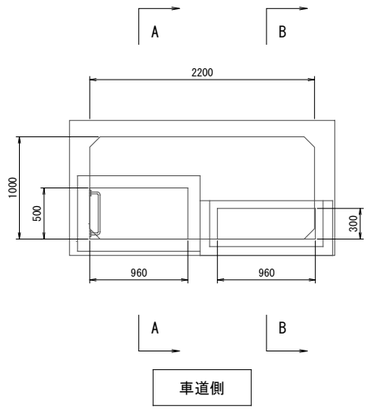
鉄蓋



首部配置図



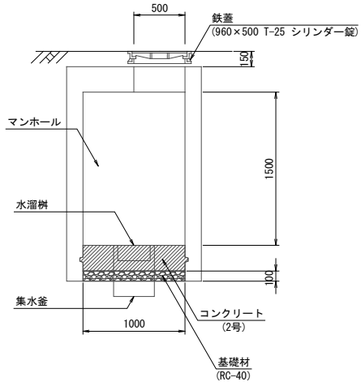
民地側



車道側

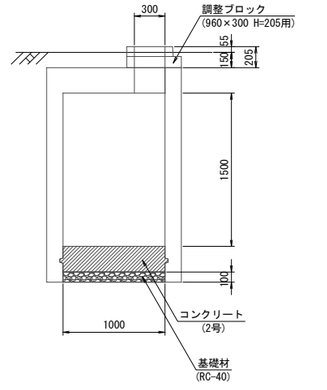
A-A断面図

民地側　車道側

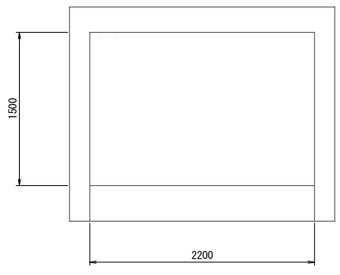


B-B断面図

民地側　車道側



車道側 側面図



数量表　　1箇所当り

名　称	規　格	単 位	数　量
マンホール	W1000×H1500×L2200	基	1
調整ブロック	960×300 H=205用	個	1
鉄蓋	960×500 T-25 シリンダー錠	枚	1
コンクリート	2号	m3	0.550
基礎材	RC-40 t=100	m2	2.200
鉄筋	SD345 D13	t	0.041

材料表(上床版)

材料	材質	形状	数量	備考
長ねじボルト	SUS304	M20x250	4	上床版連結用
六角ナット	SUS304	M20	4	上床版連結用
座金	SUS304	□56xφ22x3	8	上床版連結用
インサート金具	SUS304	M16x75	2	接続プレート取付用
ステップ	SS400 HDZ55	D19	1	
六角ボルト	SUS304	M16x35	2	ステップ取付用
平座金	SUS304	16	2	
インサート金具	SUS304	M16x75	8	ステップ取付用
ケーブル引込用フック	SS400 HDZ55	φ20,230x200x16	2	
六角ボルト	SUS304	M16x40	8	ケーブル引込用フック取付用
平座金	SUS304	16	8	ケーブル引込用フック取付用
0インサート金具	SUS304	M16x100	8	ケーブル引込用フック取付用
インサート金具	SUS304	M16x75	3	基礎ブロック固定用

材料表(下部材)

材料	材質	形状	数量	備考
0インサート金具	SUS304	M20x100	4	上床版連結用
インサート金具	SUS304	M12x60	8	立金物取付用
※　接地端子	黄銅	M20	2式	
差し筋アンカーボルト	SD345	D16x480 S=30	20	
差し筋アンカーボルト	SD345	D16x230 S=30	6	
差し筋インサート金具	SS400 電気メッキ	M16x100	26	差し筋用,鋼板付き
先端アングル	SS400	L-65x65x6 2450	2	補強筋付き
先端アングル	SS400	L-65x65x6 1170	2	補強筋付き
パッキン	SOLIDゴム	12x12x7400	1	
パッキン	SOLIDゴム	12x12x6800	1	
接着材			1式	
パッキン	水膨脹ゴム	10x5x6300	1	現場打ちコンクリート止水用

※接地端子は、下部材の任意の位置に取り付ける。

材料表(付属金物)

材料	材質	形状	数量	備考
ケーブル引込用フック	SR235 HDZ35	φ25	2	下床版埋め込み用
※ 立金物電力用	SS400 HDZ55	コ47×40×4.5×L	4	ボルト,座金含む
※ 立金物通信用	SS400 HDZ55	コ47×40×4.5×L	-	ボルト,座金含む
※受台金物(200タイプ)	SS400 HDZ55	FB-40x6x375	-	
※受台金物(250タイプ)	SS400 HDZ55	FB-40x6x375	-	
※受台金物(300タイプ)	SS400 HDZ55	FB-40x6x425	-	
六角ボルト	SUS304	M12x30	-	受台金物固定用
座金	SUS304	12	-	受台金物固定用
※　梯子	SS400 HDZ55	190/250xL	1	
※　集水釜	STK400		1	
※　水溜桝	SS400 HDZ55		1	

※立金物,梯子の長さは金物構造図を参照

参考図

工事名	安来電線共同溝PFI事業		
図面名	特殊部構造図(18)		
作成年月日			
縮尺	1:30	図面番号	18 / 51
会社名			
事業者名	松江国道事務所		

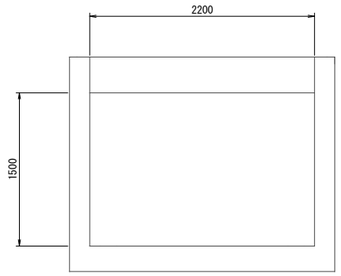
特殊部構造図(19)

S=1:30

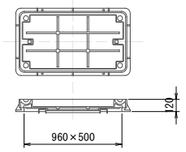
(2.2mタイプ)

路上変圧器 AN3,AN7

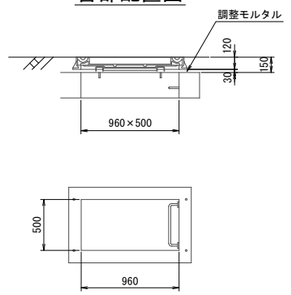
民地側 側面図

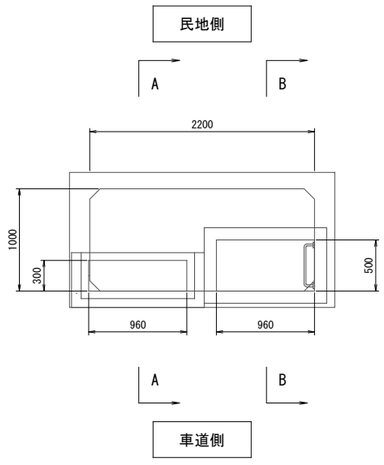


鉄蓋

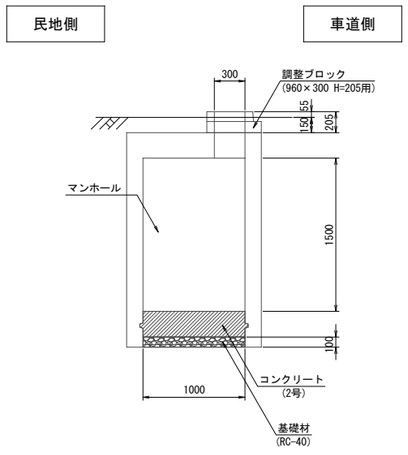


首部配置図

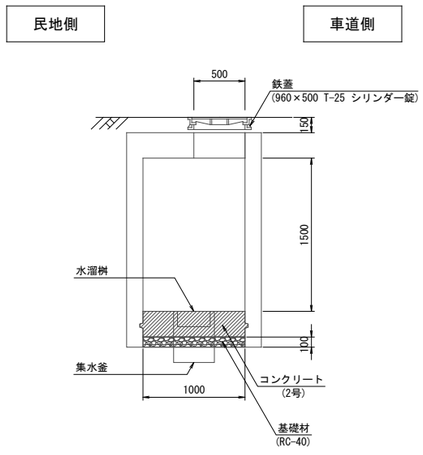




A-A断面図



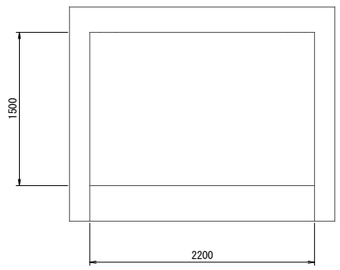
B-B断面図



数量表　　1箇所当り

名　称	規　格	単 位	数　量
マンホール	W1000×H1500×L2200	基	1
調整ブロック	960×500 H=205用	個	1
鉄蓋	960×500 T-25 シリンダー錠	枚	1
コンクリート	2号	m3	0.550
基礎材	RC-40 t=100	m2	2.200
鉄筋	SD345 D13	t	0.041

車道側 側面図



材料表(上床版)

材料	材質	形状	数量	備考
長ねじボルト	SUS304	M20x250	4	上床版連結用
六角ナット	SUS304	M20	4	上床版連結用
座金	SUS304	□56xφ22x3	8	上床版連結用
インサート金具	SUS304	M16x75	2	接続プレート取付用
ステップ	SS400 HDZ55	D19	1	
六角ボルト	SUS304	M16x35	2	ステップ取付用
平座金	SUS304	16	2	
インサート金具	SUS304	M16x75	8	ステップ取付用
ケーブル引込用フック	SS400 HDZ55	φ20,230x200x16	2	
六角ボルト	SUS304	M16x40	8	ケーブル引込用フック取付用
平座金	SUS304	16	8	ケーブル引込用フック取付用
0インサート金具	SUS304	M16x100	8	ケーブル引込用フック取付用
インサート金具	SUS304	M16x75	3	基礎ブロック固定用

材料表(下部材)

材料	材質	形状	数量	備考
0インサート金具	SUS304	M20x100	4	上床版連結用
インサート金具	SUS304	M12x60	8	立金物取付用
※　接地端子	黄銅	M20	2式	
差し筋アンカーボルト	SD345	D16x480 S=30	20	
差し筋アンカーボルト	SD345	D16x230 S=30	6	
差し筋インサート金具	SS400 電気メッキ	M16x100	26	差し筋用,鋼板付き
先端アングル	SS400	L-65x65x6 2450	2	補強筋付き
先端アングル	SS400	L-65x65x6 1170	2	補強筋付き
パッキン	SOLIDゴム	12x12x7400	1	
パッキン	SOLIDゴム	12x12x6800	1	
接着材			1式	
パッキン	水膨張ゴム	10x5x6300	1	現場打ちコンクリート止水用

※接地端子は、下部材の任意の位置に取り付ける。

材料表(付属金物)

材料	材質	形状	数量	備考
ケーブル引込用フック	SR235 HDZ35	φ25	2	下床版埋め込み用
※ 立金物電力用	SS400 HDZ55	コ47×40×4.5×L	4	ボルト,座金含む
※ 立金物通信用	SS400 HDZ55	コ47×40×4.5×L	-	ボルト,座金含む
※受台金物(200タイプ)	SS400 HDZ55	FB-40x6x375	-	
※受台金物(250タイプ)	SS400 HDZ55	FB-40x6x375	-	
※受台金物(300タイプ)	SS400 HDZ55	FB-40x6x425	-	
六角ボルト	SUS304	M12x30	-	受台金物固定用
座金	SUS304	12	-	受台金物固定用
※　梯子	SS400 HDZ55	190/250xL	1	
※　集水釜	STK400		1	
※　水溜桝	SS400 HDZ55		1	

※立金物,梯子の長さは金物構造図を参照

参考図

工事名	安来電線共同溝PFI事業		
図面名	特殊部構造図(19)		
作成年月日			
縮尺	1:30	図面番号	19 / 51
会社名			
事業者名	松江国道事務所		

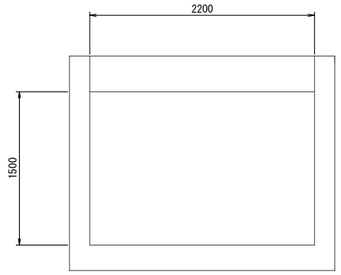
特殊部構造図(20)

S=1:30

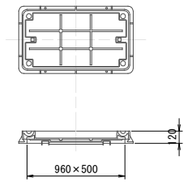
(2.2mタイプ)

高圧引込開閉器 AN4,AN6

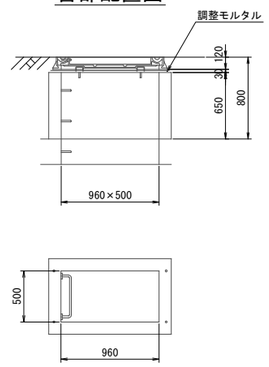
車道側 側面図



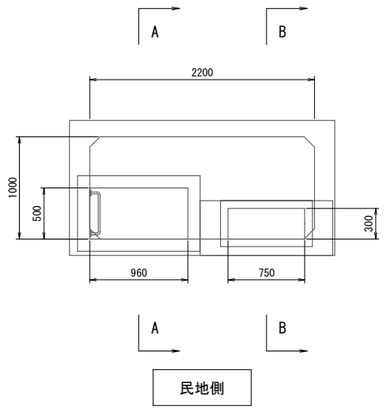
鉄蓋



首部配置図



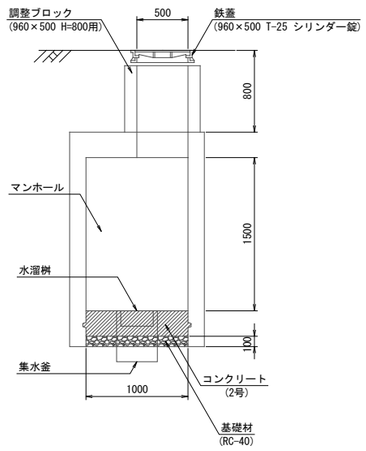
車道側



民地側

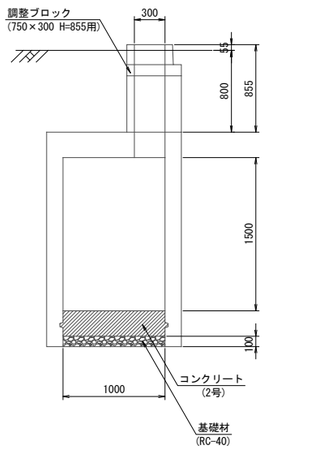
A-A断面図

車道側　　民地側



B-B断面図

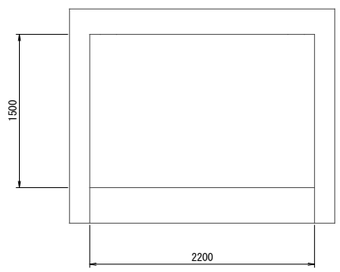
車道側　　民地側



数量表　　1箇所当り

名　称	規　格	単 位	数　量
マンホール	W1000×H1500×L2200	基	1
調整ブロック	960×500 H=800用	個	1
調整ブロック	750×300 H=855用	個	1
鉄蓋	960×500 T-25 シリンダー錠	枚	1
コンクリート	2号	m3	0.550
基礎材	RC-40 t=100	m2	2.200
鉄筋	SD345 D13	t	0.041

民地側 側面図



材料表(上床版)

材料	材質	形状	数量	備考
長ねじボルト	SUS304	M20x250	4	上床版連結用
六角ナット	SUS304	M20	4	上床版連結用
座金	SUS304	□56xφ22x3	8	上床版連結用
インサート金具	SUS304	M16x75	2	接続プレート取付用
ステップ	SS400 HDZ55	D19	1	
六角ボルト	SUS304	M16x35	2	ステップ取付用
平座金	SUS304	16	2	
インサート金具	SUS304	M16x75	8	ステップ取付用
ケーブル引込用フック	SS400 HDZ55	φ20,230x200x16	2	
六角ボルト	SUS304	M16x40	8	ケーブル引込用フック取付用
平座金	SUS304	16	8	ケーブル引込用フック取付用
0インサート金具	SUS304	M16x100	8	ケーブル引込用フック取付用
インサート金具	SUS304	M16x75	3	基礎ブロック固定用

材料表(下部材)

材料	材質	形状	数量	備考
0インサート金具	SUS304	M20x100	4	上床版連結用
インサート金具	SUS304	M12x60	8	立金物取付用
※　接地端子	黄銅	M20	2式	
差し筋アンカーボルト	SD345	D16x480 S=30	20	
差し筋アンカーボルト	SD345	D16x230 S=30	6	
差し筋インサート金具	SS400 電気メッキ	M16x100	26	差し筋用,鋼板付き
先端アングル	SS400	L-65x65x6 2450	2	補強筋付き
先端アングル	SS400	L-65x65x6 1170	2	補強筋付き
パッキン	SOLIDゴム	12x12x7400	1	
パッキン	SOLIDゴム	12x12x6800	1	
接着材			1式	
パッキン	水膨張ゴム	10x5x6300	1	現場打ちコンクリート止水用

※接地端子は、下部材の任意の位置に取り付ける。

材料表(付属金物)

材料	材質	形状	数量	備考
ケーブル引込用フック	SR235 HDZ35	φ25	2	下床版埋め込み用
※ 立金物電力用	SS400 HDZ55	コ47×40×4.5×L	4	ボルト,座金含む
※ 立金物通信用	SS400 HDZ55	コ47×40×4.5×L	-	ボルト,座金含む
※受台金物(200タイプ)	SS400 HDZ55	FB-40x6x375	-	
※受台金物(250タイプ)	SS400 HDZ55	FB-40x6x375	-	
※受台金物(300タイプ)	SS400 HDZ55	FB-40x6x425	-	
六角ボルト	SUS304	M12x30	-	受台金物固定用
座金	SUS304	12	-	受台金物固定用
※　梯子	SS400 HDZ55	190/250xL	1	
※　集水釜	STK400		1	
※　水溜桝	SS400 HDZ55		1	

※立金物,梯子の長さは金物構造図を参照

参考図

工事名	安来電線共同溝PF1事業		
図面名	特殊部構造図(20)		
作成年月日			
縮尺	1:30	図面番号	20 / 51
会社名			
事業者名	松江国道事務所		

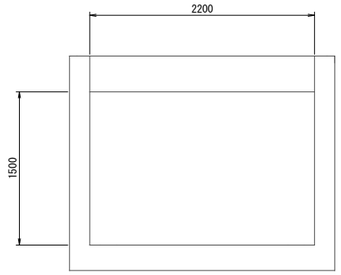
特殊部構造図(21)

S=1:30

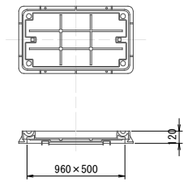
(2.2mタイプ)

路上変圧器 AN5

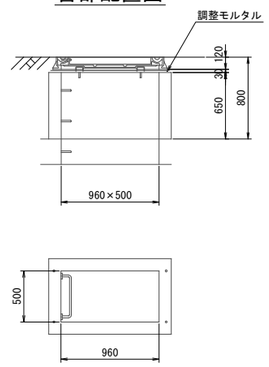
車道側 側面図



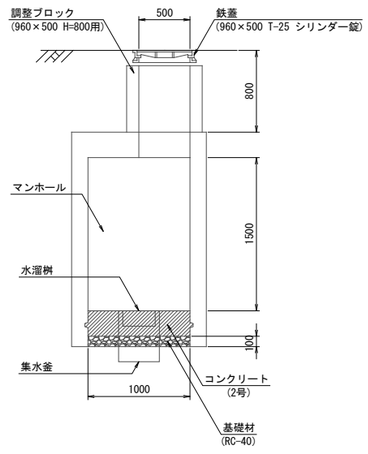
鉄蓋



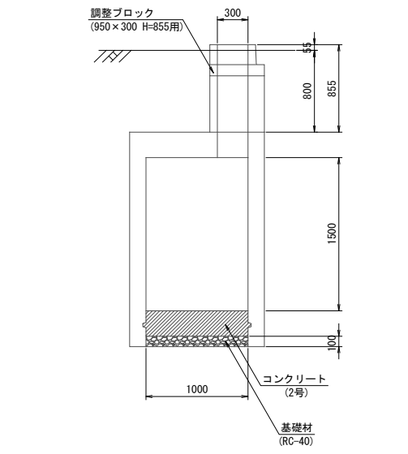
首部配置図

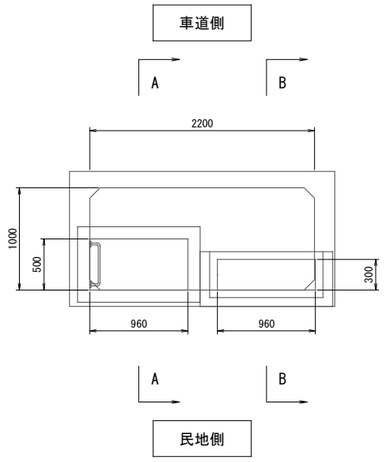


A-A断面図



B-B断面図

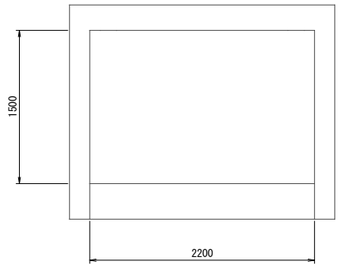




数量表　　1箇所当り

名　称	規　格	単 位	数　量
マンホール	W1000×H1500×L2200	基	1
調整ブロック	960×500 H=800用	個	1
調整ブロック	950×300 H=855用	個	1
鉄蓋	960×500 T-25 シリンダー錠	枚	1
コンクリート	2号	m3	0.550
基礎材	RC-40 t=100	m2	2.200
鉄筋	SD345 D13	t	0.041

民地側 側面図



材料表(上床版)

材料	材質	形状	数量	備考
長ねじボルト	SUS304	M20x250	4	上床版連結用
六角ナット	SUS304	M20	4	上床版連結用
座金	SUS304	□56xφ22x3	8	上床版連結用
インサート金具	SUS304	M16x75	2	接続プレート取付用
ステップ	SS400 HDZ55	D19	1	
六角ボルト	SUS304	M16x35	2	ステップ取付用
平座金	SUS304	16	2	
インサート金具	SUS304	M16x75	8	ステップ取付用
ケーブル引込用フック	SS400 HDZ55	φ20,230x200x16	2	
六角ボルト	SUS304	M16x40	8	ケーブル引込用フック取付用
平座金	SUS304	16	8	ケーブル引込用フック取付用
0インサート金具	SUS304	M16x100	8	ケーブル引込用フック取付用
インサート金具	SUS304	M16x75	3	基礎ブロック固定用

材料表(下部材)

材料	材質	形状	数量	備考
0インサート金具	SUS304	M20x100	4	上床版連結用
インサート金具	SUS304	M12x60	8	立金物取付用
※　接地端子	黄銅	M20	2式	
差し筋アンカーボルト	SD345	D16x480 S=30	20	
差し筋アンカーボルト	SD345	D16x230 S=30	6	
差し筋インサート金具	SS400 電気メッキ	M16x100	26	差し筋用,鋼板付き
先端アングル	SS400	L-65x65x6 2450	2	補強筋付き
先端アングル	SS400	L-65x65x6 1170	2	補強筋付き
パッキン	SOLIDゴム	12x12x7400	1	
パッキン	SOLIDゴム	12x12x6800	1	
接着材			1式	
パッキン	水膨張ゴム	10x5x6300	1	現場打ちコンクリート止水用

※接地端子は、下部材の任意の位置に取り付ける。

材料表(付属金物)

材料	材質	形状	数量	備考
ケーブル引込用フック	SR235 HDZ35	φ25	2	下床版埋め込み用
※ 立金物電力用	SS400 HDZ55	コ47×40×4.5×L	4	ボルト,座金含む
※ 立金物通信用	SS400 HDZ55	コ47×40×4.5×L	-	ボルト,座金含む
※受台金物(200タイプ)	SS400 HDZ55	FB-40x6x375	-	
※受台金物(250タイプ)	SS400 HDZ55	FB-40x6x375	-	
※受台金物(300タイプ)	SS400 HDZ55	FB-40x6x425	-	
六角ボルト	SUS304	M12x30	-	受台金物固定用
座金	SUS304	12	-	受台金物固定用
※　梯子	SS400 HDZ55	190/250xL	1	
※　集水釜	STK400		1	
※　水溜桝	SS400 HDZ55		1	

※立金物,梯子の長さは金物構造図を参照

参考図

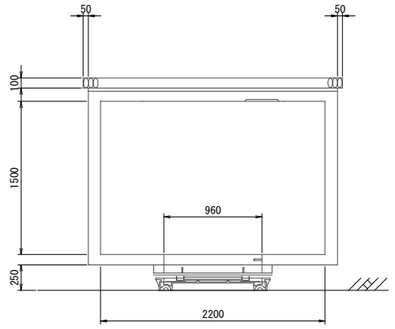
工事名	安来電線共同溝PF1事業		
図面名	特殊部構造図(21)		
作成年月日			
縮尺	1:30	図面番号	21 / 51
会社名			
事業者名	松江国道事務所		

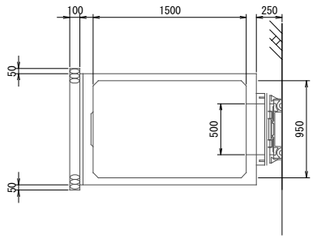
特殊部構造図(22)

(1.5mタイプ)

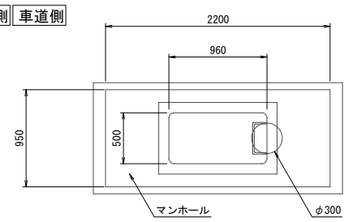
通信基点接続桝 TN1,TN3

S=1:30

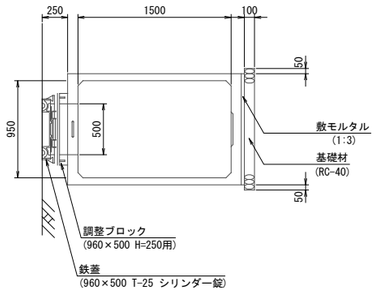




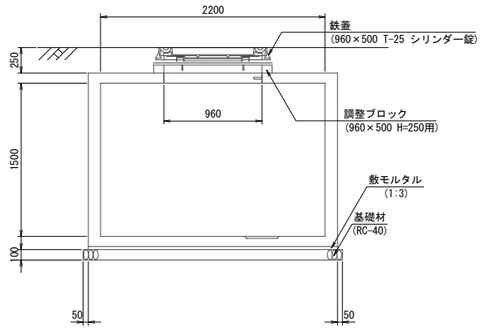
起点側 車道側



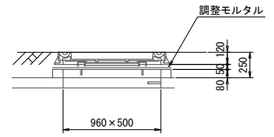
終点側

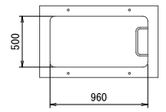


民地側

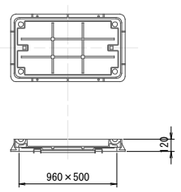


首部配置図





鉄蓋



材料表

材 料	材 質	形 状	個 数	備 考
インサート	SUS304	M 1225	4	立金物取付用
ボ ル ト	SS400 HDZ55	φ22	8	プーリングボルト
〃	銅合金	M 20	2	アース端子取付用
ナ ッ ト	〃	〃	8	〃
ハ シ ゴ	SS400 HDZ55	L=1700	1	特2号
立金物	〃	47*1250*22*4.5	2	通信用

数量表 1箇所当り

名 称	規 格	単 位	数 量
マンホール	W950×H1500×L2200	基	1
調整ブロック	960×500 H=250用	個	1
鉄蓋	960×500 T-25 シリンダー錠	枚	1
敷モルタル	1:3	式	1
コンクリート	1号	m3	1.125
基礎材	RC-40 t=100	m2	7.500

参考図

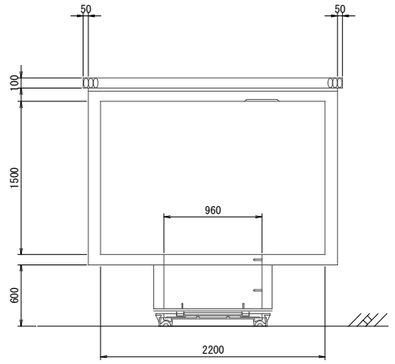
工事名	安来電線共同溝PFI事業		
図面名	特殊部構造図(22)		
作成年月日			
縮尺	1:30	図面番号	22 / 51
会社名			
事業者名	松江国道事務所		

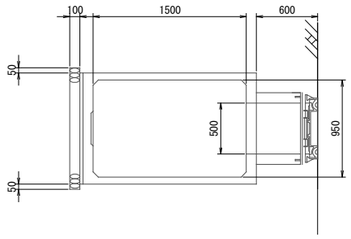
特殊部構造図(23)

(1.5mタイプ)

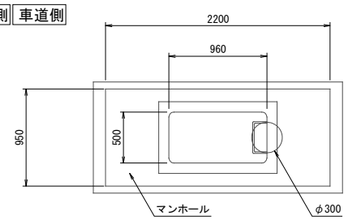
通信基点接続桝 TN2

S=1:30

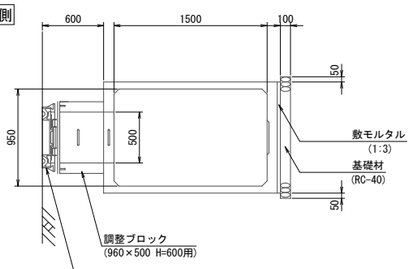




起点側 車道側

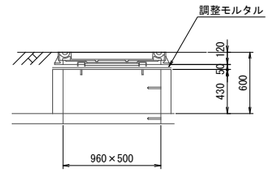


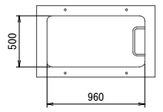
終点側



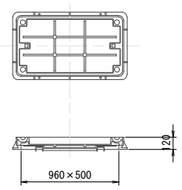
民地側

首部配置図





鉄蓋



材料表

材 料	材 質	形 状	個 数	備 考
インサート	SUS304	M 1225	4	立金物取付用
ボ ル ト	SS400 HDZ55	φ22	8	ブーリングボルト
〃	銅合金	M 20	2	アース端子取付用
ナ ッ ト	〃	〃	8	〃
ハ シ ゴ	SS400 HDZ55	L=1700	1	特2号
立金物	〃	47*1250*22*4.5	2	通信用

数量表　　1箇所当り

名　称	規　格	単 位	数　量
マンホール	W950×H1500×L2200	基	1
調整ブロック	960×500 H=600用	個	1
鉄蓋	960×500 T-25 シリンダー錠	枚	1
敷モルタル	1:3	式	1
コンクリート	1号	m3	1.125
基礎材	RC-40 t=100	m2	7.500

参考図

工事名	安来電線共同溝PF1事業		
図面名	特殊部構造図(23)		
作成年月日			
縮尺	1:30	図面番号	23 / 51
会社名			
事業者名	松江国道事務所		

特殊部構造図(24)

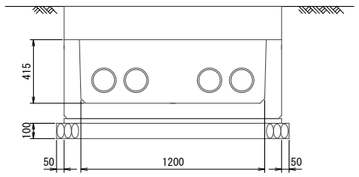
S=1:20

(低圧分岐桝 600×415×1200)

BN1～14,BN17～19

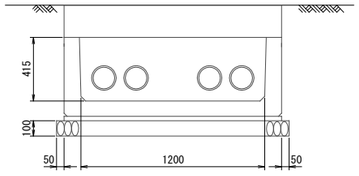
民地側 側面図

2-2断面図

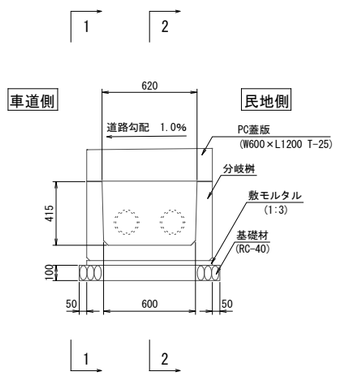


車道側 側面図

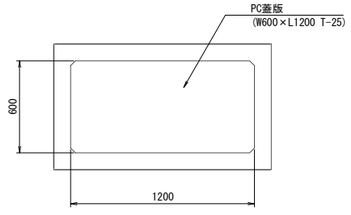
1-1断面図



断面図



平面図



数量表　　1箇所当り

名　称	規　格	単 位	数　量
本体	W600×H415×L1200	基	1
PC蓋版	W600×L1200 T-25	個	1
敷モルタル	1:3	式	1
基礎材	RC-40 t=100	m2	1.398

参考図

工事名	安来電線共同溝PFI事業		
図面名	特殊部構造図(24)		
作成年月日			
縮尺	1:20	図面番号	24 / 51
会社名			
事業者名	松江国道事務所		

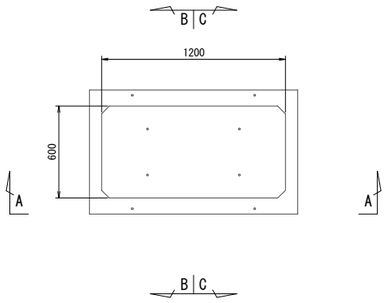
特殊部構造図(25)

(低圧分岐桝 600×800×1200)

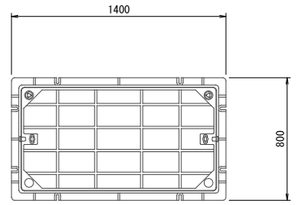
BN15,BN16

S=1:20

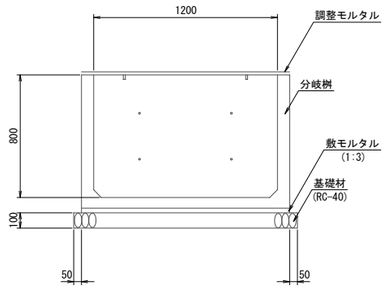
平面図



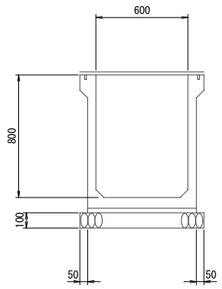
鉄蓋



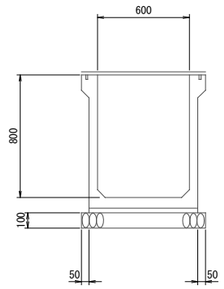
A-A断面図



B-B断面図



C-C断面図



数量表　　1箇所当り

名　称	規　格	単 位	数　量
本体	W600×H800×L1200	基	1
鉄蓋	1400×800 T-25 シリンダー錠	個	1
敷モルタル	1:3	式	1
基礎材	RC-40 t=100	m2	1.398

参考図

工事名	安来電線共同溝PFI事業		
図面名	特殊部構造図(25)		
作成年月日			
縮尺	1:20	図面番号	25 / 51
会社名			
事業者名	松江国道事務所		

特殊部配筋図(1)

S=1:20

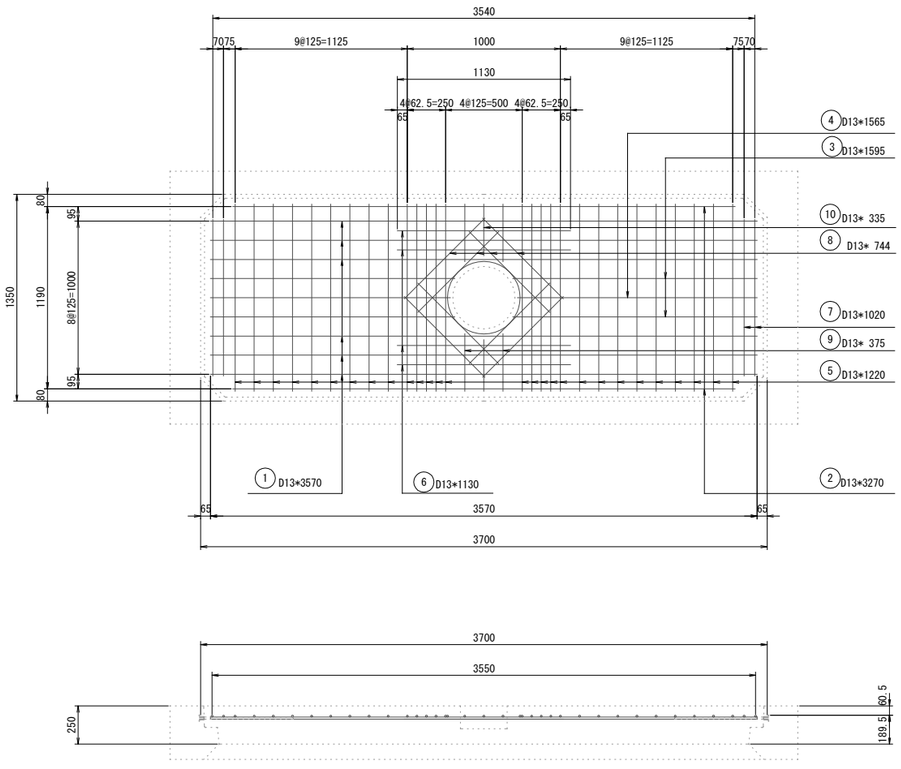
S型マンホール 1350×3700

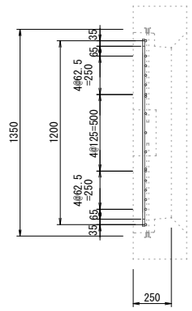
MN2, MN3, MN4, MN5, MN8, MN11, MN13, MN18

鉄筋質量表(下床版)

種別	径	長さ (mm)	本数 (本)	単位質量 (kg/m)	1本当たりの質量 (kg)	質 量 (kg)	摘 要
1	D13	3570	6	0.995	3.55	21	——
2	D13	3270	2	0.995	3.25	7	——
3	D13	1595	4	0.995	1.59	6	——
4	D13	1565	2	0.995	1.56	3	——
5	D13	1220	28	0.995	1.21	34	——
6	D13	1130	4	0.995	1.12	4	——
7	D13	1020	4	0.995	1.01	4	——
8	D13	744	8	0.995	0.74	6	——
9	D13	375	4	0.995	0.37	1	——
10	D13	335	2	0.995	0.33	1	——
					SD345 D13	87 kg	
					合 計	87 kg	

下床版配筋図





参考図

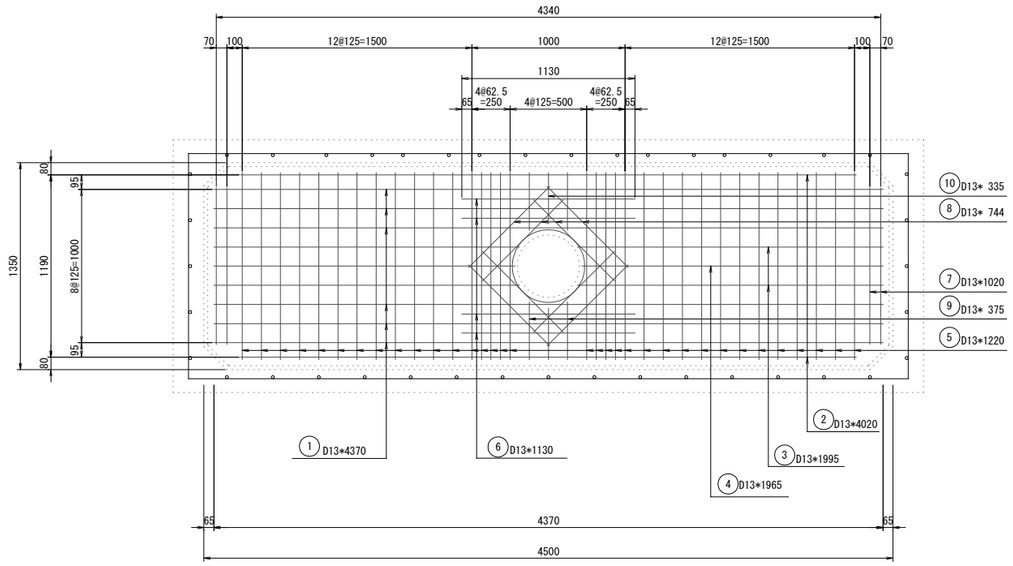
工事名	安来電線共同溝PFI事業		
図面名	特殊部配筋図(1)		
作成年月日			
縮尺	1:20	図面番号	26 / 51
会社名			
事業者名	松江国道事務所		

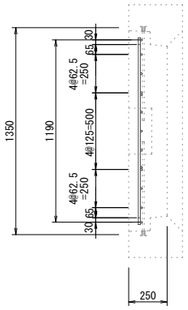
特殊部配筋図(2)

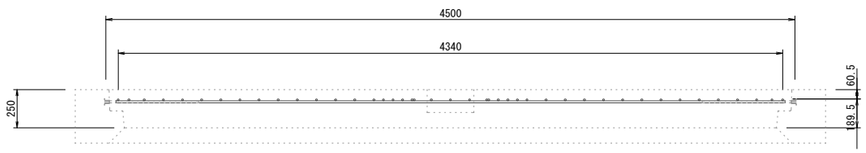
S=1:20

S型マンホール 1350×4500
MN6, MN7, MN12, MN16

下床版配筋図



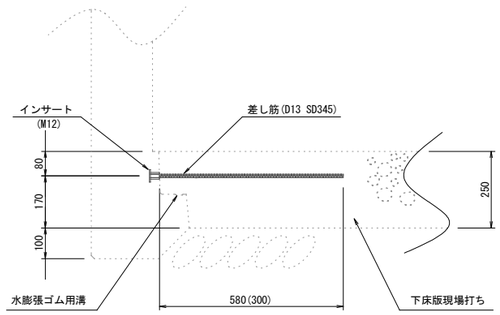




鉄筋質量表(下床版)

種別	径	長さ (mm)	本数 (本)	単位質量 (kg/m)	1本当たりの質量 (kg)	質 量 (kg)	摘 要
1	D13	4370	6	0.995	4.35	26	——
2	D13	4020	2	0.995	4.00	8	——
3	D13	1995	4	0.995	1.99	8	——
4	D13	1965	2	0.995	1.96	4	——
5	D13	1220	34	0.995	1.21	41	——
6	D13	1130	4	0.995	1.12	4	——
7	D13	1020	4	0.995	1.01	4	——
8	D13	744	8	0.995	0.74	6	——
9	D13	375	4	0.995	0.37	1	——
10	D13	335	2	0.995	0.33	1	——
					SD345 D13	103 kg	
					合 計	103 kg	

差し筋図、水膨張ゴム溝



参考図

工事名	安来電線共同溝PFI事業		
図面名	特殊部配筋図(2)		
作成年月日			
縮尺	1:20	図面番号	27 / 51
会社名			
事業者名	松江国道事務所		

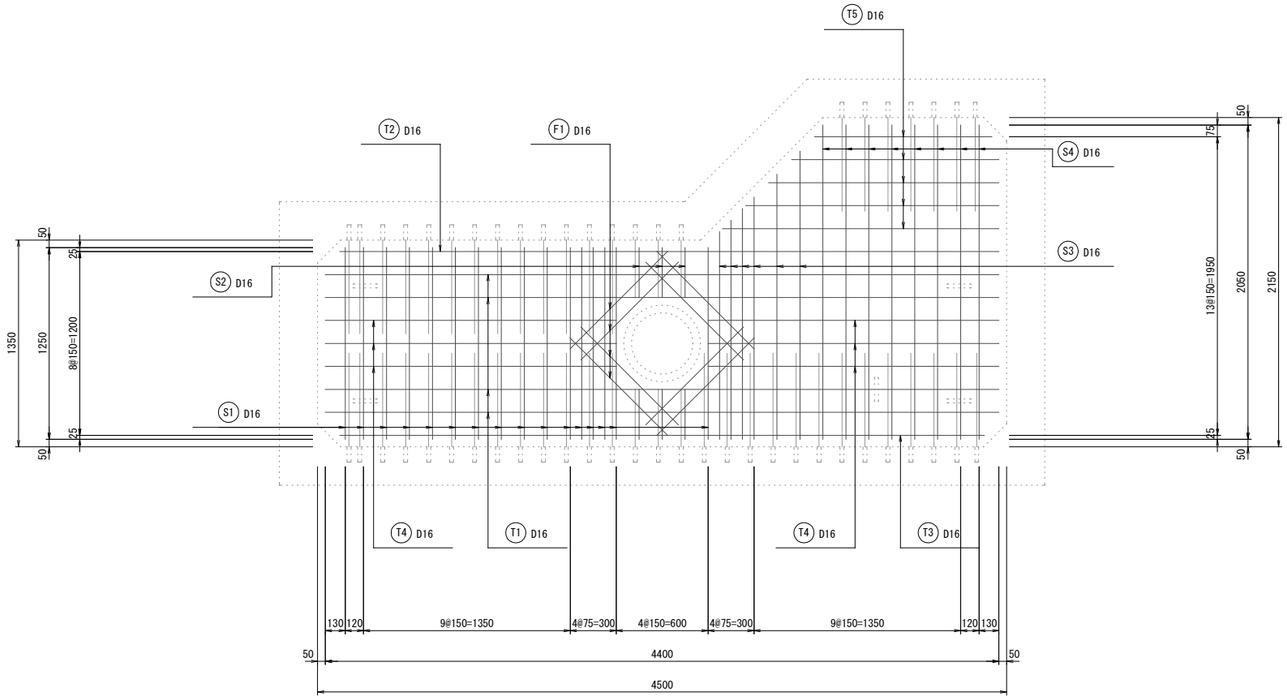
特殊部配筋図(3)

L型(R)マンホール 1350/2150×4500
MN14,MN19

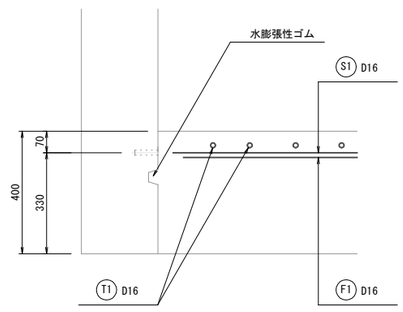
鉄筋質量表(下床版)

種別	径	長さ (mm)	本数 (本)	単位質量 (kg/m)	1本当たりの質量 (kg)	質 量 (kg)	摘 要
T1	D16	4400	4	1.560	6.86	27	——
T2	D16	4310	1	1.560	6.72	7	——
T3	D16	4210	1	1.560	6.57	7	——
T4	D16	1900	6	1.560	2.96	18	——
T5	D16	1510	5	1.560	2.36	12	(平均長) ——
S1	D16	1200	16	1.560	1.87	30	——
S2	D16	330	6	1.560	0.51	3	——
S3	D16	1660	6	1.560	2.59	16	(平均長) ——
S4	D16	2050	8	1.560	3.20	26	——
F1	D16	900	8	1.560	1.40	11	——
				SD345 D16		157 kg	
				合 計		157 kg	

下床版配筋図 S=1:20



下床版差筋詳細図 S=1:10



参考図

工事名	安来電線共同溝PF1事業		
図面名	特殊部配筋図(3)		
作成年月日			
縮尺	図示	図面番号	28 / 51
会社名			
事業者名	松江国道事務所		

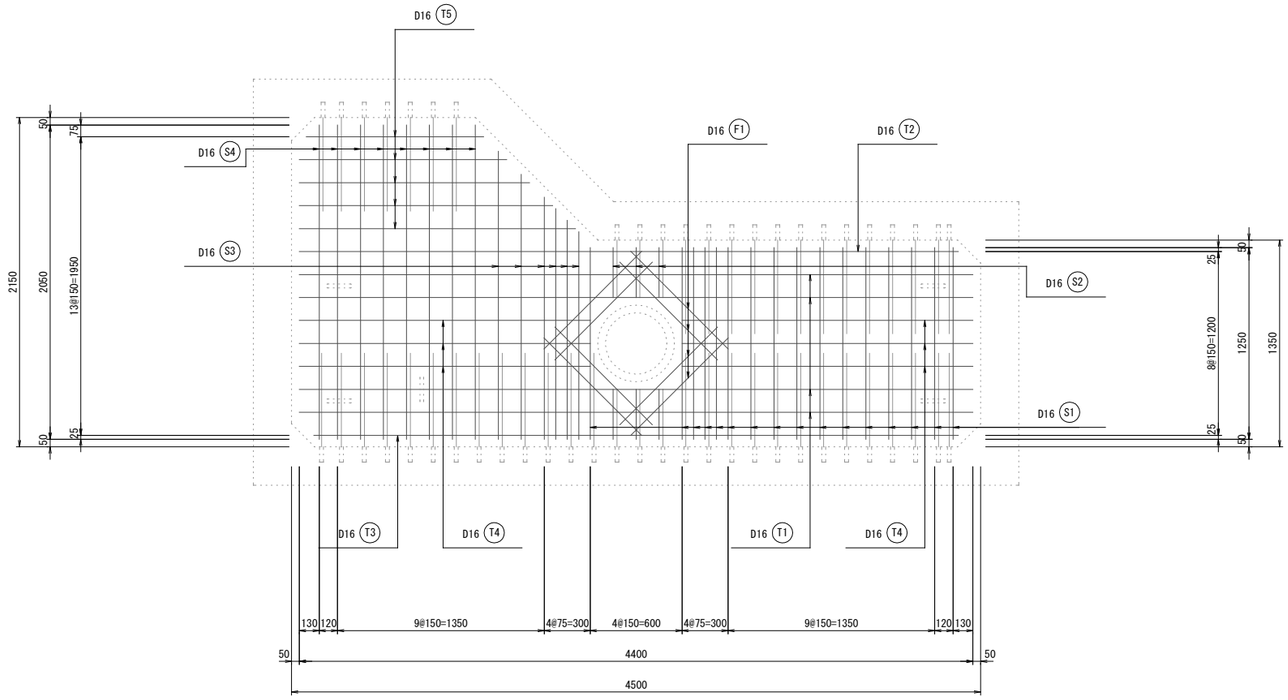
特殊部配筋図(4)

L型(L)マンホール 1350/2150×4500
MN15

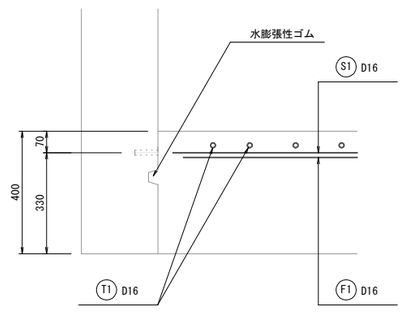
鉄筋質量表(下床版)

種別	径	長さ (mm)	本数 (本)	単位質量 (kg/m)	1本当たりの質量 (kg)	質 量 (kg)	摘 要
T1	D16	4400	4	1.560	6.86	27	——
T2	D16	4310	1	1.560	6.72	7	——
T3	D16	4210	1	1.560	6.57	7	——
T4	D16	1900	6	1.560	2.96	18	——
T5	D16	1510	5	1.560	2.36	12	(平均長) ——
S1	D16	1200	16	1.560	1.87	30	——
S2	D16	330	6	1.560	0.51	3	——
S3	D16	1660	6	1.560	2.59	16	(平均長) ——
S4	D16	2050	8	1.560	3.20	26	——
F1	D16	900	8	1.560	1.40	11	——
				SD345 D16		157 kg	
				合 計		157 kg	

下床版配筋図　S=1:20



下床版差筋詳細図　S=1:10



参考図

工事名	安来電線共同溝PF1事業		
図面名	特殊部配筋図(4)		
作成年月日			
縮尺	図示	図面番号	29 / 51
会社名			
事業者名	松江国道事務所		

特殊部配筋図(5)

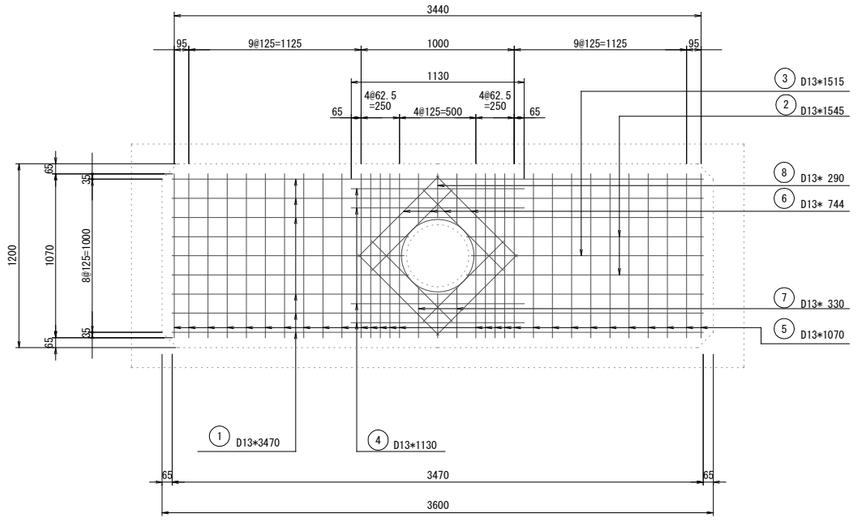
S=1:20

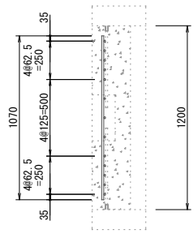
電力地上機器部 1200×3600
AN1

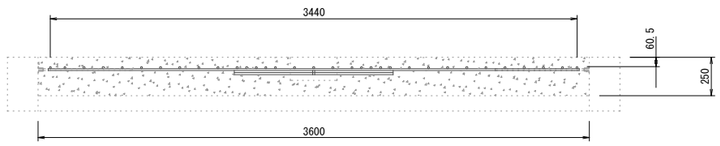
鉄筋質量表(下床版)

種別	径	長さ (mm)	本数 (本)	単位質量 (kg/m)	1本当たりの質量 (kg)	質 量 (kg)	摘 要
1	D13	3470	6	0.995	3.45	21	——
2	D13	1545	4	0.995	1.54	6	——
3	D13	1515	2	0.995	1.51	3	——
4	D13	1130	4	0.995	1.12	4	——
5	D13	1070	30	0.995	1.06	32	——
6	D13	744	8	0.995	0.74	6	——
7	D13	330	4	0.995	0.33	1	——
8	D13	290	2	0.995	0.29	1	——
				SD345 D13		74 kg	
				合 計		74 kg	

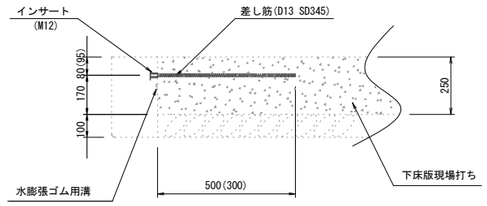
下床版配筋図







差し筋図、水膨張ゴム溝



参考図

工事名	安来電線共同溝PFI事業		
図面名	特殊部配筋図(5)		
作成年月日			
縮尺	1:20	図面番号	30 / 51
会社名			
事業者名	松江国道事務所		

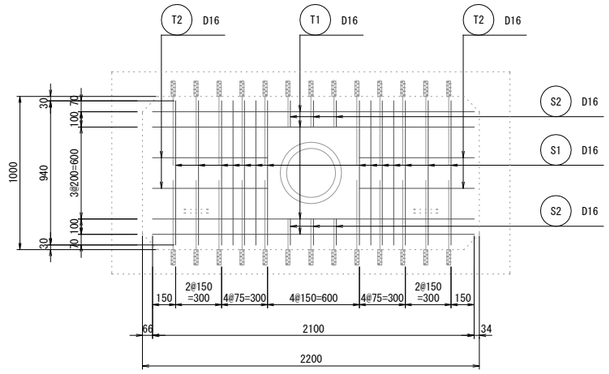
特殊部配筋図(6)

電力地上機器部 1000×2200
AN2～AN7

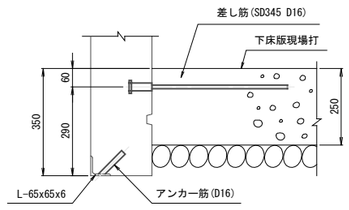
鉄筋質量表(下床版)

種別	径	長さ (mm)	本数 (本)	単位質量 (kg/m)	1本当たりの質量 (kg)	質 量 (kg)	摘 要
S1	D16	940	14	1.560	1.47	21	——
S2	D16	180	6	1.560	0.28	2	——
T1	D16	2100	4	1.560	3.28	13	——
T2	D16	760	4	1.560	1.19	5	——
				SD345 D16		41 kg	
				合 計		41 kg	

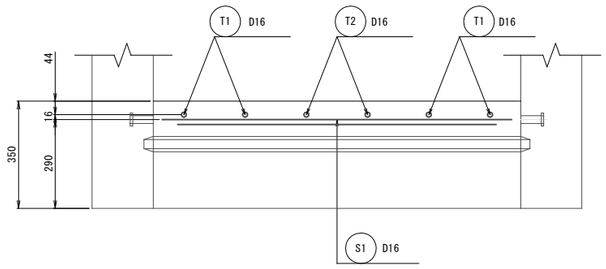
下床版配筋図 S=1:20



下床版差筋詳細図 S=1:10



詳細図 S=1:10



注) 鉄筋はT1,T2部材が上側になるように設置する。

参考図

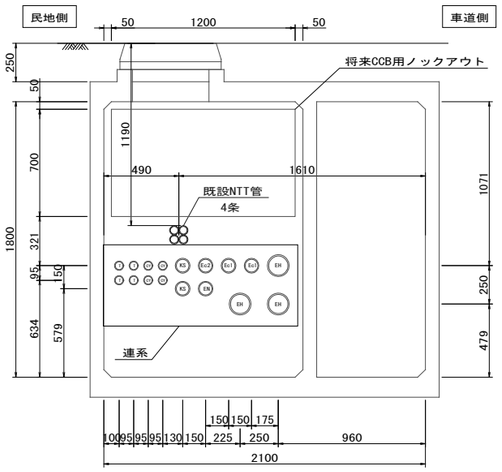
工事名	安来電線共同溝PFI事業		
図面名	特殊部配筋図(6)		
作成年月日			
縮尺	図示	図面番号	31 / 51
会社名			
事業者名	松江国道事務所		

ベルマウス配置図（1）　S=1:20

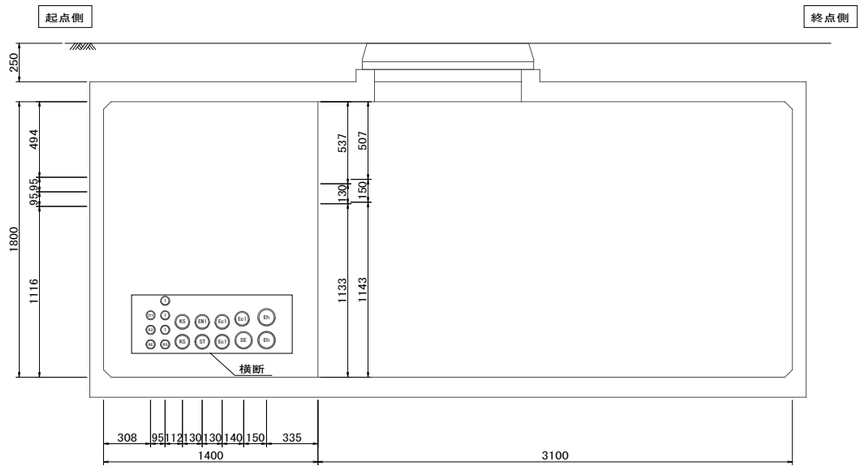
MN1

L-Ⅲ型 1300/2100×1800×4500

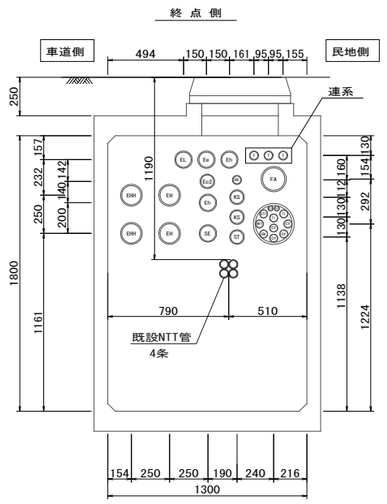
起 点 側



車 道 側



終 点 側

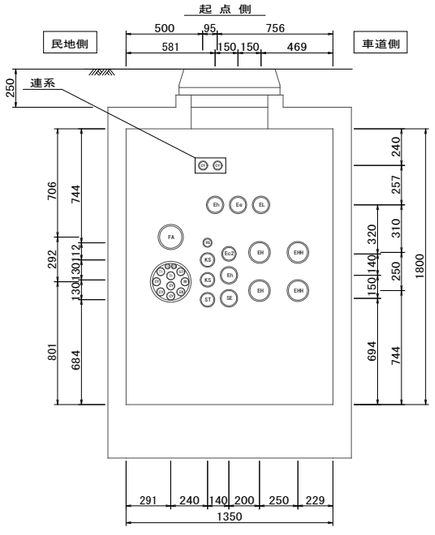


企業名		記号	管路		
			呼び径	管外径	管種
中国電力		EHH	φ125	φ142.5	HIVP
		EH	φ125	φ142.5	HIVP
		Eh	φ100	φ114.0	HIVP
		EL	φ100	φ114.0	HIVP
		Ec1	φ75	φ96.0	PV
		Ec2	φ75	φ96.0	PV
		Ee	φ100	φ114.0	VP
ＮＴＴ	さや管	T1	φ50	φ54.0	SU
		T2	φ30	φ34.0	SU
		T	φ50	φ54.0	PV
ＮＴＴドコモ	さや管	D	φ30	φ34.0	SU
日立	さや管	H	φ50	φ54.0	SU
		HI	φ50	φ54.0	PV
ｴﾈﾙｷﾞｱｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝｽﾞ	さや管	EN	φ50	φ54.0	SU
		EN1	φ75	φ96.0	PV
		EN2	φ50	φ54.0	PV
やすぎどじょっこＴＶ	さや管	CY	φ50	φ54.0	SU
		CY1	φ50	φ54.0	PV
鳥取ミュージック	さや管	CT	φ50	φ54.0	SU
		CT1	φ50	φ54.0	PV
道路管理者	さや管	R2	φ50	φ54.0	SU
		Rs	φ50	φ54.0	PV
		RE	φ50	φ60.0	PV
		KS	φ75	φ96.0	PV
電線共同溝予備管		SE	φ100	φ114.0	HIVP
		ST	φ75	φ96.0	PV
	さや管	ST1	φ50	φ54.0	SU
		ST2	φ30	φ34.0	SU
余剰管	さや管	余1	φ50	φ54.0	SU
		余2	φ30	φ34.0	SU
共用FA		FA	φ150	φ165.0	VP

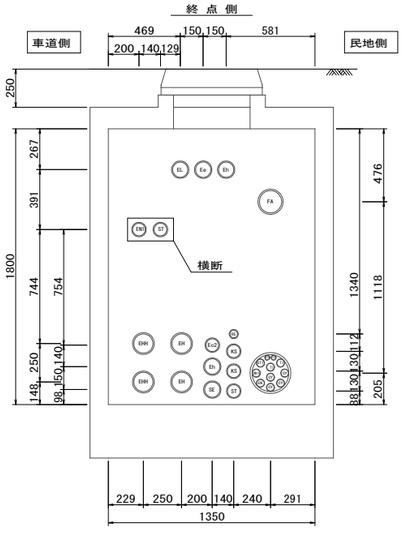
MN2

MH型接続部Ⅰ型 1350×1800×3700

起 点 側



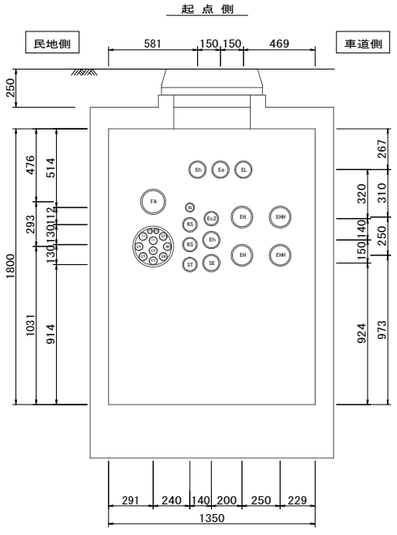
終 点 側



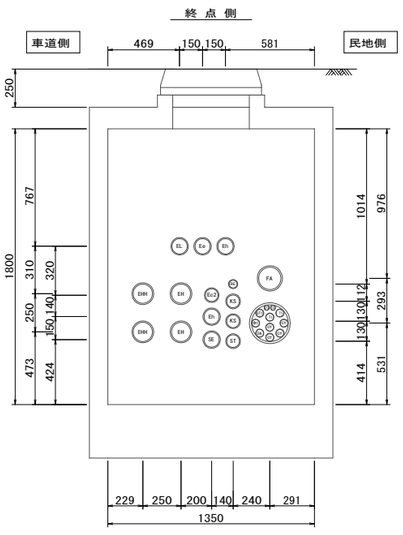
MN3

MH型接続部Ⅰ型 1350×1800×3700

起 点 側



終 点 側



（注記）構造物内側より見た図

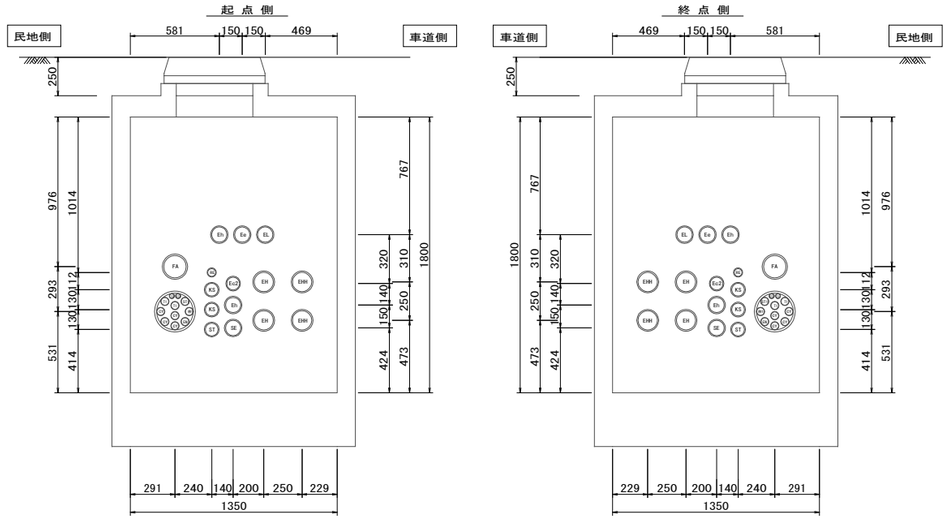
参考図

工事名	安来電線共同溝PFI事業		
図面名	ベルマウス配置図（1）		
作成年月日			
縮　尺	1：20	図面番号	32 / 51
会社名			
事業者名	松江国道事務所		

ベルマウス配置図（2）　S=1:20

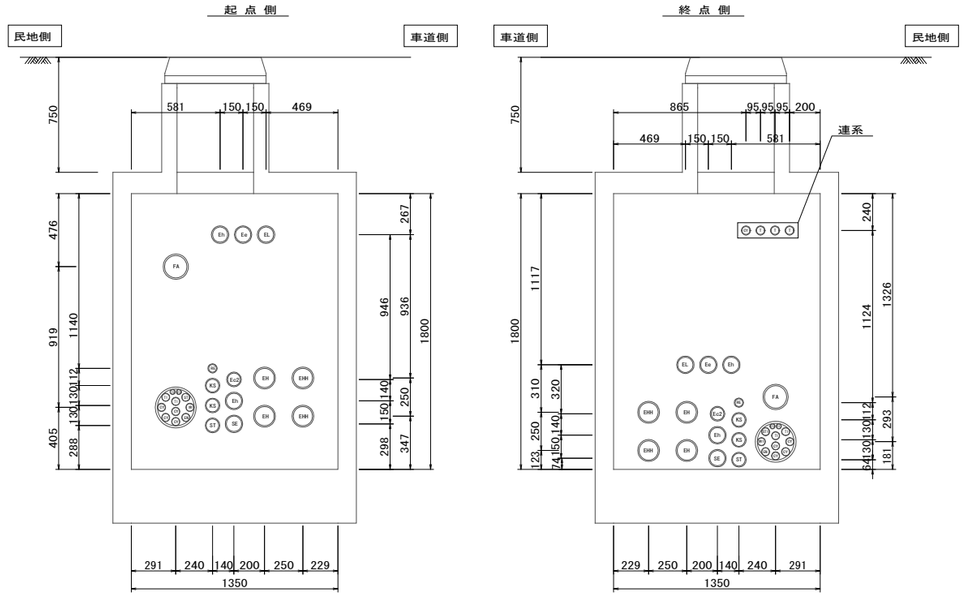
MN4

MH型接続部Ⅰ型　1350×1800×3700



MN5

MH型接続部Ⅰ型　1350×1800×3700

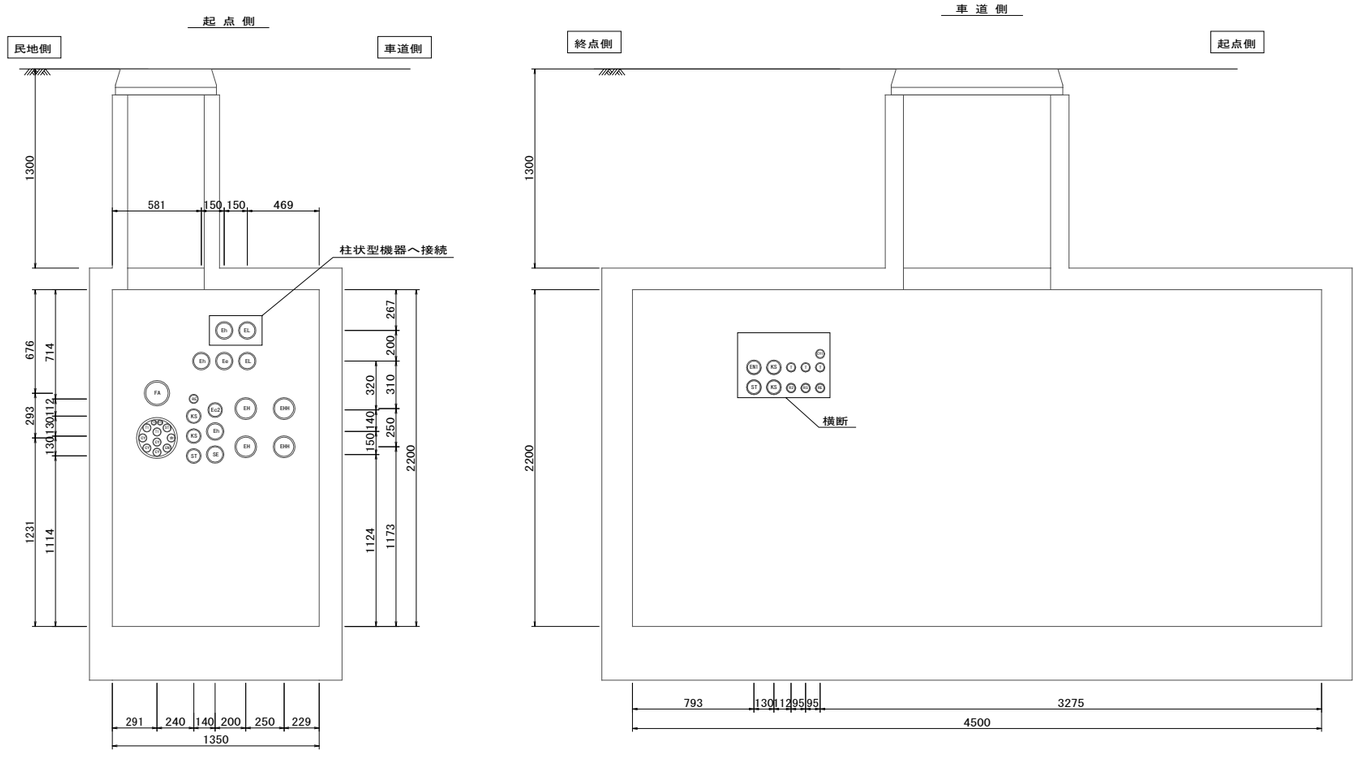


企業名		記号	管路		
			呼び径	管外径	管種
中国電力		EHH	φ125	φ142.5	HIVP
		EH	φ125	φ142.5	HIVP
		Eh	φ100	φ114.0	HIVP
		EL	φ100	φ114.0	HIVP
		Ec1	φ75	φ96.0	PV
		Ec2	φ75	φ96.0	PV
		Ee	φ100	φ114.0	VP
ＮＴＴ	さや管	T1	φ50	φ54.0	SU
		T2	φ30	φ34.0	SU
		T	φ50	φ54.0	PV
ＮＴＴドコモ	さや管	D	φ30	φ34.0	SU
日立	さや管	H	φ50	φ54.0	SU
		HI	φ50	φ54.0	PV
ｴﾈﾙｷﾞｱｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝｽﾞ	さや管	EN	φ50	φ54.0	SU
		EN1	φ75	φ96.0	PV
		EN2	φ50	φ54.0	PV
やすぎどじょっこＴＶ	さや管	CY	φ50	φ54.0	SU
		CY1	φ50	φ54.0	PV
鳥取ミュージック	さや管	CT	φ50	φ54.0	SU
		CT1	φ50	φ54.0	PV
道路管理者	さや管	R2	φ50	φ54.0	SU
		Rs	φ50	φ54.0	PV
		RE	φ50	φ60.0	PV
		KS	φ75	φ96.0	PV
電線共同溝予備管		SE	φ100	φ114.0	HIVP
		ST	φ75	φ96.0	PV
	さや管	ST1	φ50	φ54.0	SU
		ST2	φ30	φ34.0	SU
余剰管	さや管	余1	φ50	φ54.0	SU
		余2	φ30	φ34.0	SU
共用FA		FA	φ150	φ165.0	VP

MN6

MH型接続部Ⅰ型　1350×2200×4500

車 道 側



（注記）構造物内側より見た図

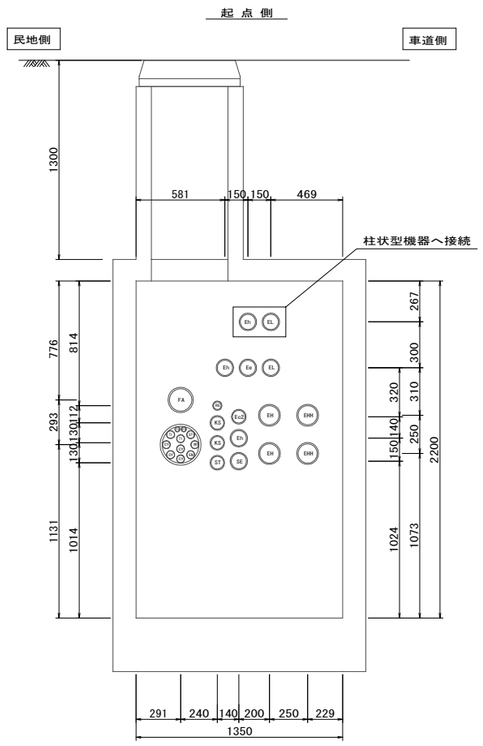
参考図

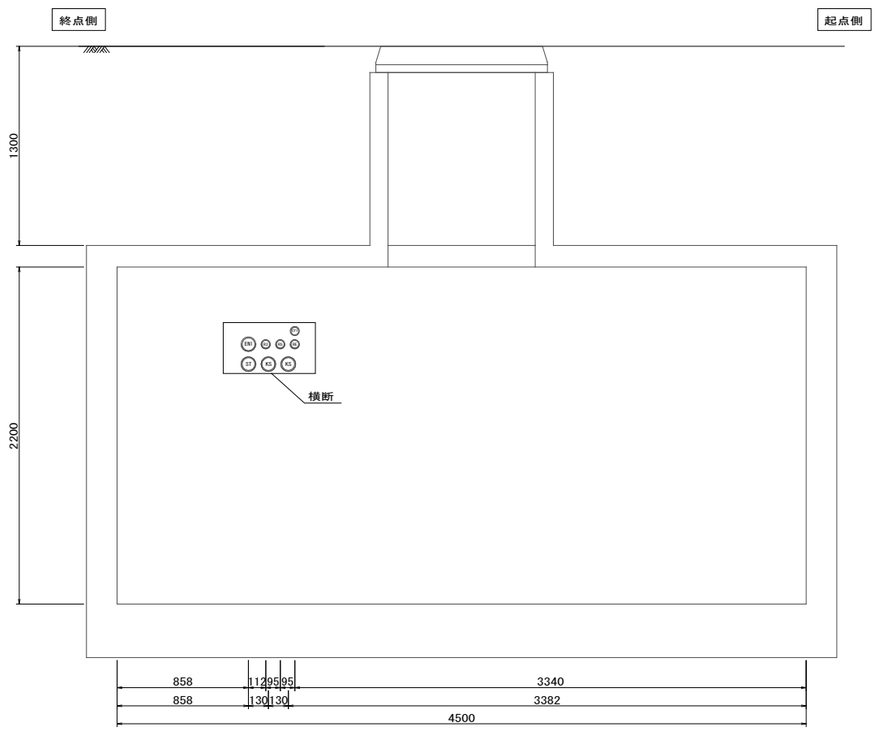
工事名	安来電線共同溝PFI事業		
図面名	ベルマウス配置図（2）		
作成年月日			
縮　尺	1：20	図面番号	33 / 51
会社名			
事業者名	松江国道事務所		

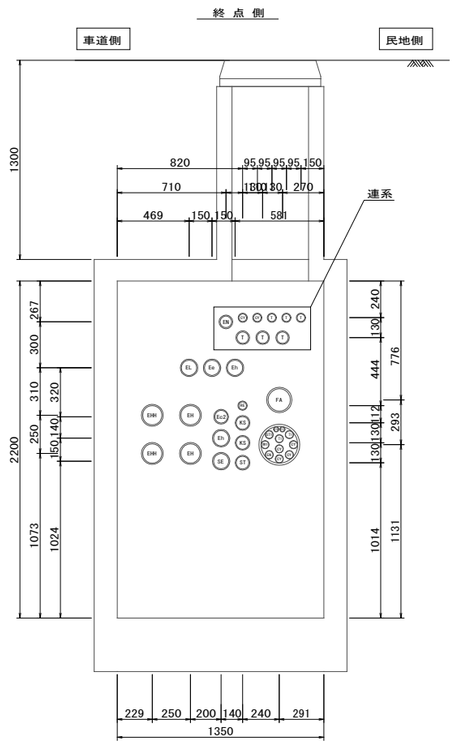
ベルマウス配置図(3)　S=1:20

MN7

MH型接続部Ⅰ型　1350×2200×4500

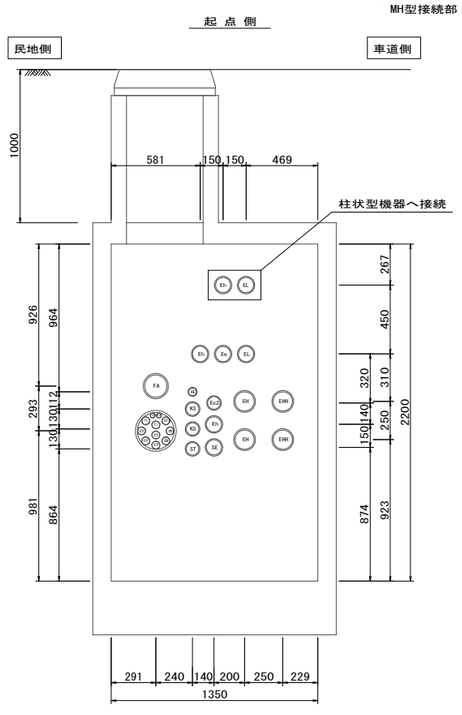


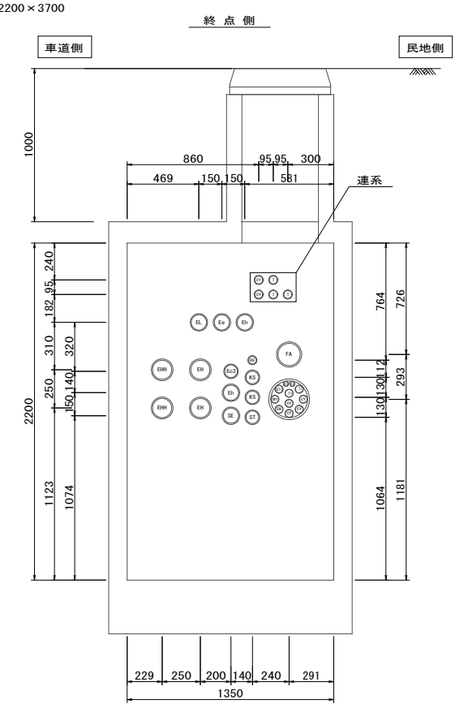




MN8

MH型接続部Ⅰ型　1350×2200×3700





企業名		記号	管路		
			呼び径	管外径	管種
中国電力		EHH	φ125	φ142.5	HIVP
		EH	φ125	φ142.5	HIVP
		Eh	φ100	φ114.0	HIVP
		EL	φ100	φ114.0	HIVP
		Ec1	φ75	φ96.0	PV
		Ec2	φ75	φ96.0	PV
		Ee	φ100	φ114.0	VP
ＮＴＴ	さや管	T1	φ50	φ54.0	SU
		T2	φ30	φ34.0	SU
		T	φ50	φ54.0	PV
ＮＴＴドコモ	さや管	D	φ30	φ34.0	SU
日立	さや管	H	φ50	φ54.0	SU
		HI	φ50	φ54.0	PV
ｴﾈﾙｷﾞｱｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝｽﾞ	さや管	EN	φ50	φ54.0	SU
		EN1	φ75	φ96.0	PV
		EN2	φ50	φ54.0	PV
やすぎどじょっこＴＶ	さや管	CY	φ50	φ54.0	SU
		CY1	φ50	φ54.0	PV
鳥取ミュージック	さや管	CT	φ50	φ54.0	SU
		CT1	φ50	φ54.0	PV
道路管理者	さや管	R2	φ50	φ54.0	SU
		Rs	φ50	φ54.0	PV
		RE	φ50	φ60.0	PV
		KS	φ75	φ96.0	PV
電線共同溝予備管		SE	φ100	φ114.0	HIVP
		ST	φ75	φ96.0	PV
	さや管	ST1	φ50	φ54.0	SU
		ST2	φ30	φ34.0	SU
余剰管	さや管	余1	φ50	φ54.0	SU
		余2	φ30	φ34.0	SU
共用FA		FA	φ150	φ165.0	VP

（注記）構造物内側より見た図

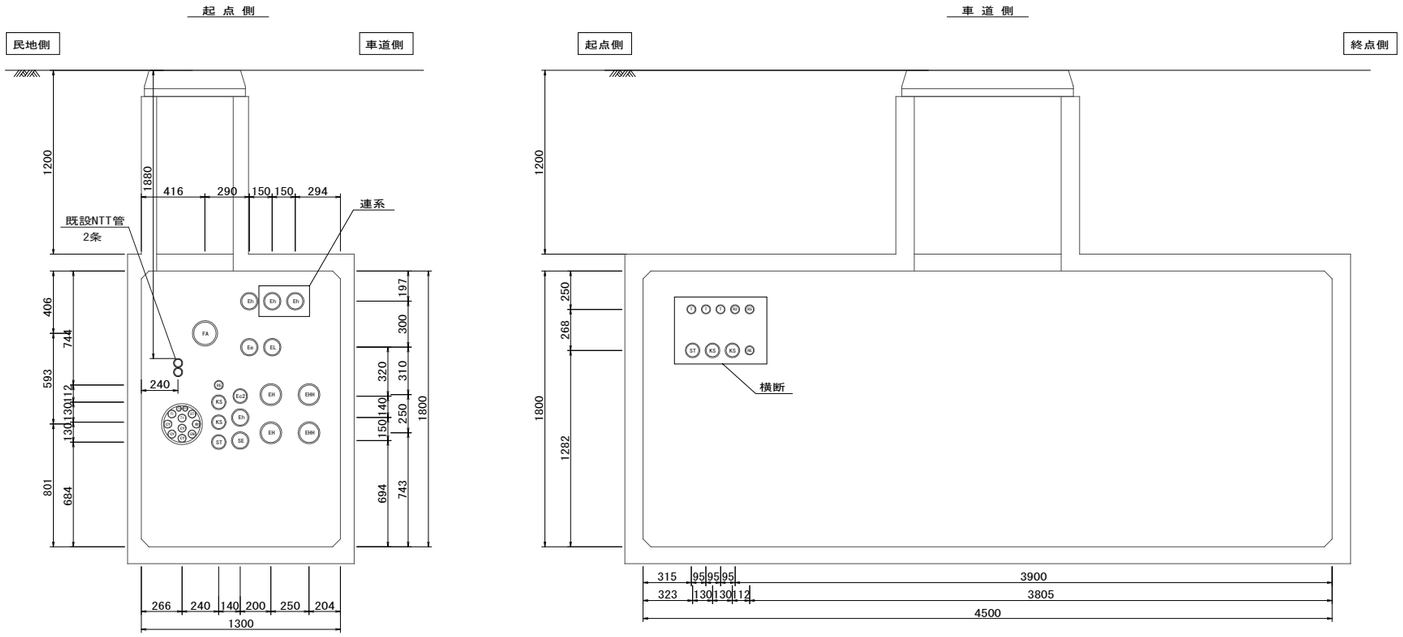
参考図

工事名	安来電線共同溝PFI事業		
図面名	ベルマウス配置図(3)		
作成年月日			
縮　尺	1：20	図面番号	34 / 51
会社名			
事業者名	松江国道事務所		

ベルマウス配置図(4)　S=1:20

MN9

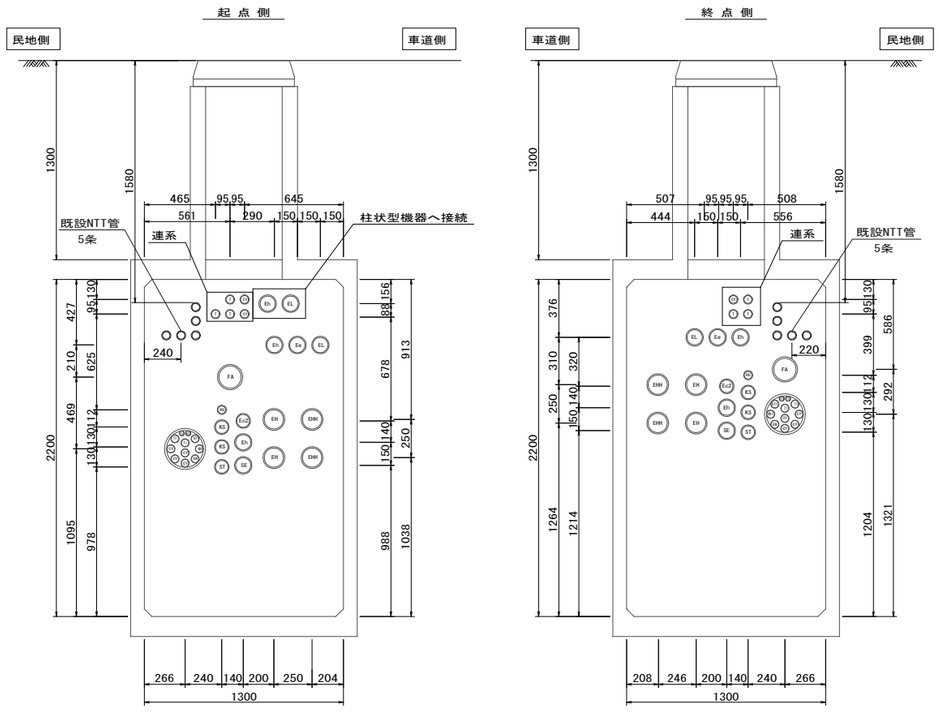
MH型接続部 1300×1800×4500



企業名		記号	管路		
			呼び径	管外径	管種
中国電力		EHH	φ125	φ142.5	HIVP
		EH	φ125	φ142.5	HIVP
		Eh	φ100	φ114.0	HIVP
		EL	φ100	φ114.0	HIVP
		Ec1	φ75	φ96.0	PV
		Ec2	φ75	φ96.0	PV
		Ee	φ100	φ114.0	VP
ＮＴＴ	さや管	T1	φ50	φ54.0	SU
		T2	φ30	φ34.0	SU
		T	φ50	φ54.0	PV
ＮＴＴドコモ	さや管	D	φ30	φ34.0	SU
日立	さや管	H	φ50	φ54.0	SU
		HI	φ50	φ54.0	PV
ｴﾈﾙｷﾞｱｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝｽﾞ	さや管	EN	φ50	φ54.0	SU
		EN1	φ75	φ96.0	PV
		EN2	φ50	φ54.0	PV
やすぎどじょっこＴＶ	さや管	CY	φ50	φ54.0	SU
		CY1	φ50	φ54.0	PV
鳥取ミュージック	さや管	CT	φ50	φ54.0	SU
		CT1	φ50	φ54.0	PV
道路管理者	さや管	R2	φ50	φ54.0	SU
		Rs	φ50	φ54.0	PV
		RE	φ50	φ60.0	PV
		KS	φ75	φ96.0	PV
電線共同溝予備管		SE	φ100	φ114.0	HIVP
		ST	φ75	φ96.0	PV
	さや管	ST1	φ50	φ54.0	SU
		ST2	φ30	φ34.0	SU
余剰管	さや管	余1	φ50	φ54.0	SU
		余2	φ30	φ34.0	SU
共用FA		FA	φ150	φ165.0	VP

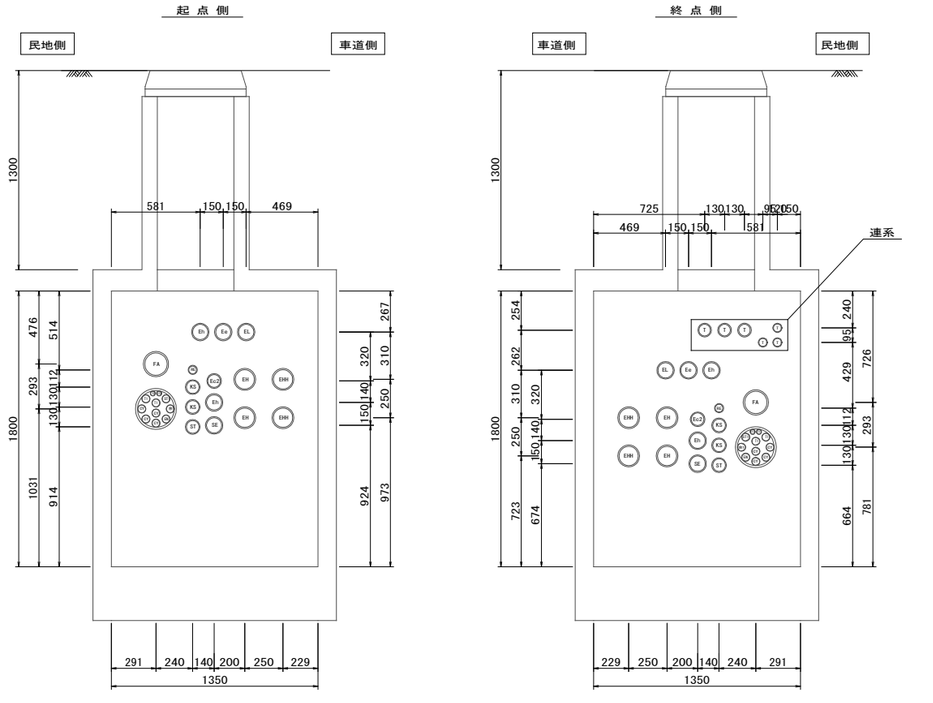
MN10

MH型接続部 1300×2200×3700



MN11

MH型接続部Ⅰ型 1350×1800×3700



（注記）構造物内側より見た図

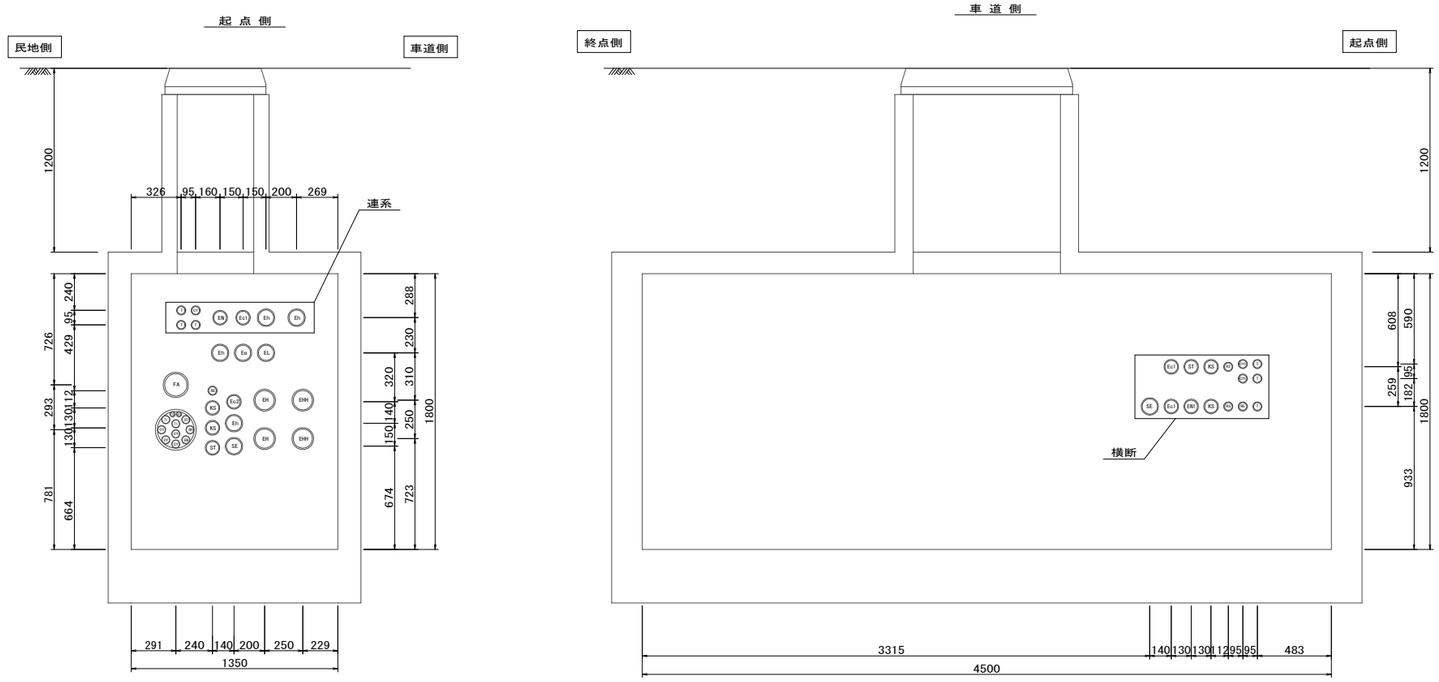
参考図

工事名	安来電線共同溝PFI事業		
図面名	ベルマウス配置図(4)		
作成年月日			
縮　尺	1：20	図面番号	35 / 51
会社名			
事業者名	松江国道事務所		

ベルマウス配置図(5)　S=1:20

MN12

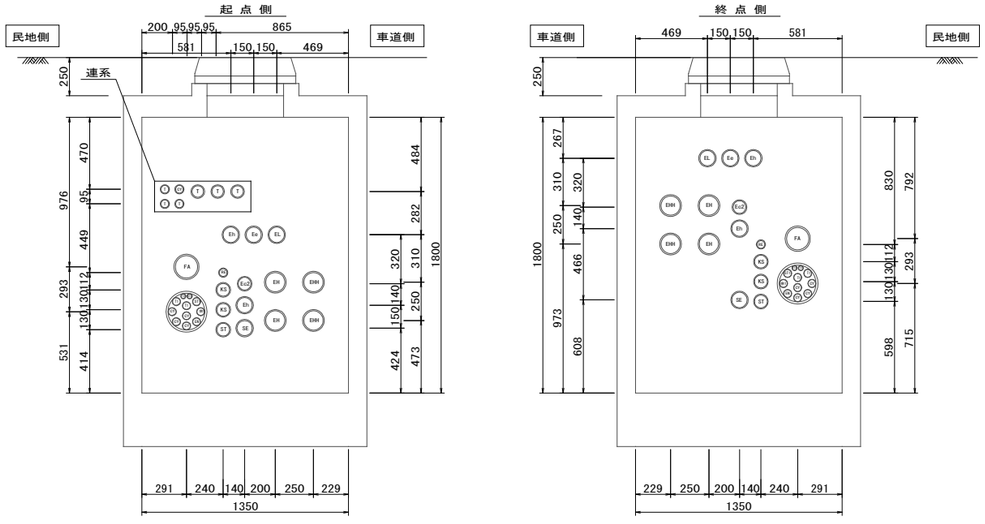
MH型接続部Ⅰ型 1350×1800×4500



企業名		記号	管路		
			呼び径	管外径	管種
中国電力		EHH	φ125	φ142.5	HIVP
		EH	φ125	φ142.5	HIVP
		Eh	φ100	φ114.0	HIVP
		EL	φ100	φ114.0	HIVP
		Ec1	φ75	φ96.0	PV
		Ec2	φ75	φ96.0	PV
		Ee	φ100	φ114.0	VP
ＮＴＴ	さや管	T1	φ50	φ54.0	SU
		T2	φ30	φ34.0	SU
		T	φ50	φ54.0	PV
ＮＴＴドコモ	さや管	D	φ30	φ34.0	SU
日立	さや管	H	φ50	φ54.0	SU
		HI	φ50	φ54.0	PV
ｴﾈﾙｷﾞｱｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝｽﾞ	さや管	EN	φ50	φ54.0	SU
		EN1	φ75	φ96.0	PV
		EN2	φ50	φ54.0	PV
やすぎどじょっこＴＶ	さや管	CY	φ50	φ54.0	SU
		CY1	φ50	φ54.0	PV
鳥取ミュージック	さや管	CT	φ50	φ54.0	SU
		CT1	φ50	φ54.0	PV
道路管理者	さや管	R2	φ50	φ54.0	SU
		Rs	φ50	φ54.0	PV
		RE	φ50	φ60.0	PV
		KS	φ75	φ96.0	PV
電線共同溝予備管		SE	φ100	φ114.0	HIVP
		ST	φ75	φ96.0	PV
	さや管	ST1	φ50	φ54.0	SU
		ST2	φ30	φ34.0	SU
余剰管	さや管	余1	φ50	φ54.0	SU
		余2	φ30	φ34.0	SU
共用FA		FA	φ150	φ165.0	VP

MN13

MH型接続部Ⅰ型 1350×1800×3700



（注記）構造物内側より見た図

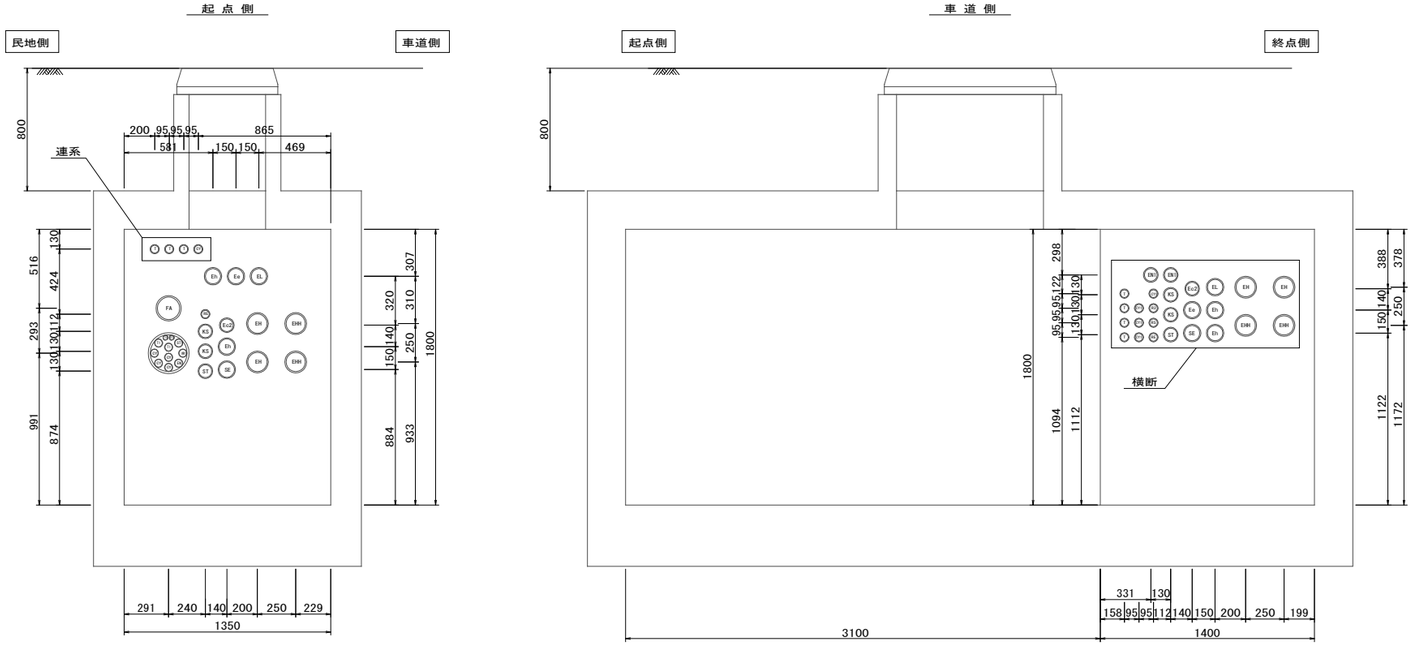
参考図

工事名	安来電線共同溝PFI事業		
図面名	ベルマウス配置図(5)		
作成年月日			
縮　尺	1：20	図面番号	36 / 51
会社名			
事業者名	松江国道事務所		

ベルマウス配置図(6)　S=1:20

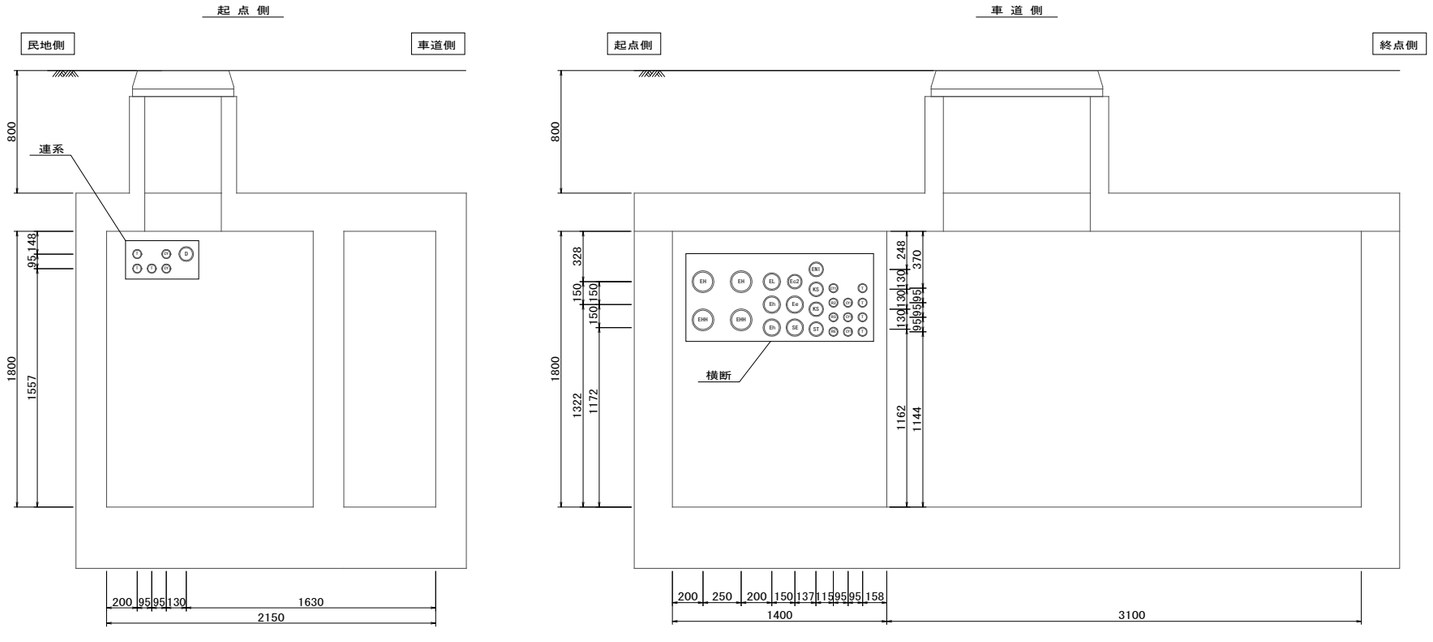
MN14

L−Ⅲ型 1350/2150×1800×4500



MN15

L−Ⅲ型 1350/2150×1800×4500



企業名		記号	管路		
			呼び径	管外径	管種
中国電力		EHH	φ125	φ142.5	HIVP
		EH	φ125	φ142.5	HIVP
		Eh	φ100	φ114.0	HIVP
		EL	φ100	φ114.0	HIVP
		Ec1	φ75	φ96.0	PV
		Ec2	φ75	φ96.0	PV
		Ee	φ100	φ114.0	VP
ＮＴＴ	さや管	T1	φ50	φ54.0	SU
		T2	φ30	φ34.0	SU
		T	φ50	φ54.0	PV
ＮＴＴドコモ		D	φ50	φ60.0	PV
		D	φ75	φ96.0	PV
日立	さや管	H	φ50	φ54.0	SU
		H1	φ50	φ54.0	PV
ｴﾈﾙｷﾞｱｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝｽﾞ	さや管	EN	φ50	φ54.0	SU
		EN1	φ75	φ96.0	PV
		EN2	φ50	φ54.0	PV
やすぎどじょっこＴＶ	さや管	CY	φ50	φ54.0	SU
		CY1	φ50	φ54.0	PV
鳥取ミュージック	さや管	CT	φ50	φ54.0	SU
		CT1	φ50	φ54.0	PV
道路管理者	さや管	R2	φ50	φ54.0	SU
		Rs	φ50	φ54.0	PV
		RE	φ50	φ60.0	PV
		KS	φ75	φ96.0	PV
電線共同溝予備管		SE	φ100	φ114.0	HIVP
		ST	φ75	φ96.0	PV
	さや管	ST1	φ50	φ54.0	SU
		ST2	φ30	φ34.0	SU
余剰管	さや管	余1	φ50	φ54.0	SU
		余2	φ30	φ34.0	SU
共用FA		FA	φ150	φ165.0	VP

（注記）構造物内側より見た図

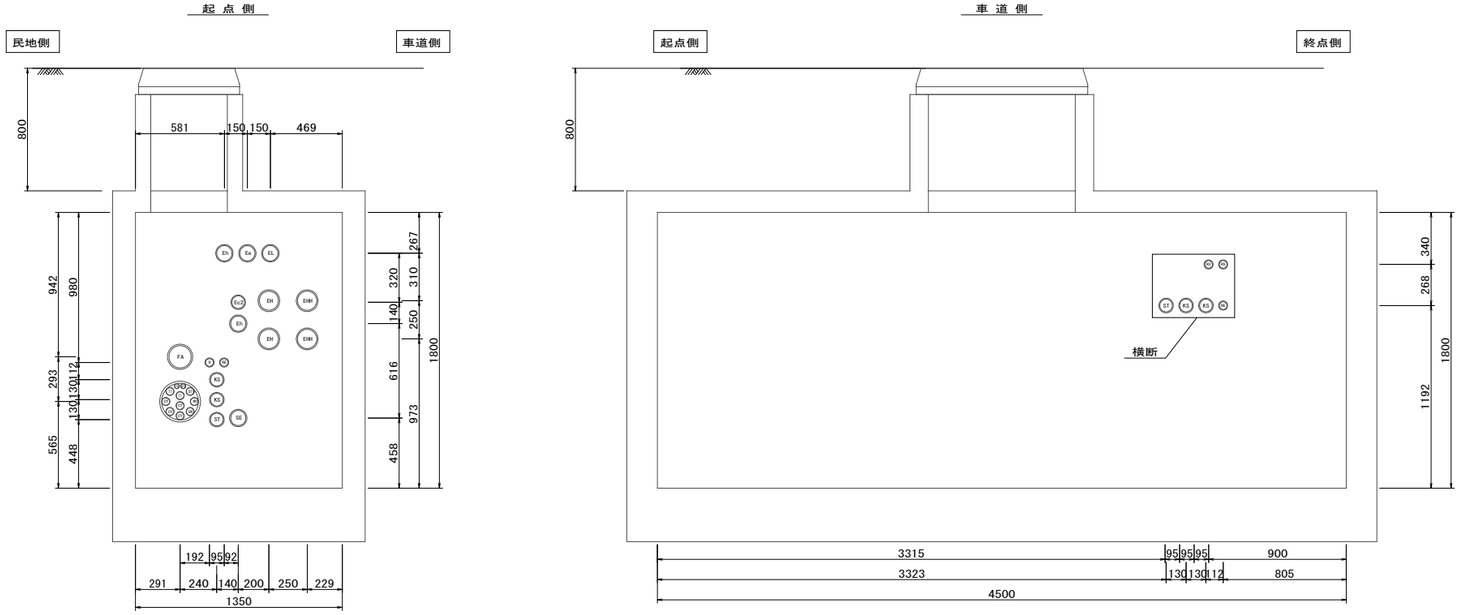
参考図

工事名	安来電線共同溝PFI事業		
図面名	ベルマウス配置図(6)		
作成年月日			
縮　尺	1：20	図面番号	37 / 51
会社名			
事業者名	松江国道事務所		

ベルマウス配置図(7)　S=1:20

MN16

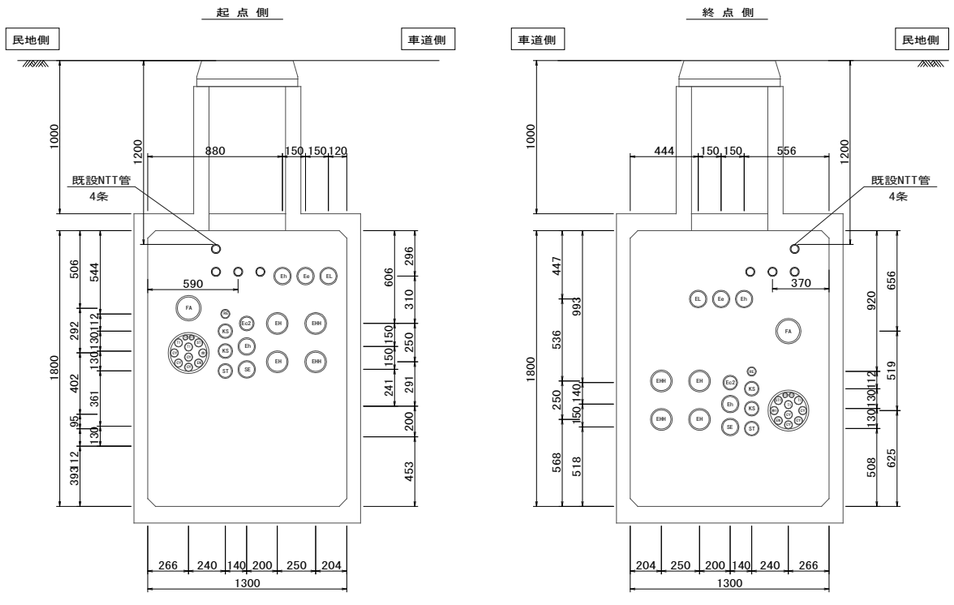
MH型接続部Ⅰ型 1350×1800×4500



企業名		記号	管路		
			呼び径	管外径	管種
中国電力		EHH	φ125	φ142.5	HIVP
		EH	φ125	φ142.5	HIVP
		Eh	φ100	φ114.0	HIVP
		EL	φ100	φ114.0	HIVP
		Ec1	φ75	φ96.0	PV
		Ec2	φ75	φ96.0	PV
		Ee	φ100	φ114.0	VP
ＮＴＴ	さや管	T1	φ50	φ54.0	SU
		T2	φ30	φ34.0	SU
		T	φ50	φ54.0	PV
ＮＴＴドコモ		D	φ50	φ60.0	PV
日立	さや管	H	φ50	φ54.0	SU
		HI	φ50	φ54.0	PV
ｴﾈﾙｷﾞｱｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝｽﾞ	さや管	EN	φ50	φ54.0	SU
		EN1	φ75	φ96.0	PV
		EN2	φ50	φ54.0	PV
やすぎどじょっこＴＶ	さや管	CY	φ50	φ54.0	SU
		CY1	φ50	φ54.0	PV
鳥取ミュージック	さや管	CT	φ50	φ54.0	SU
		CT1	φ50	φ54.0	PV
道路管理者	さや管	R2	φ50	φ54.0	SU
		Rs	φ50	φ54.0	PV
		RE	φ50	φ60.0	PV
		KS	φ75	φ96.0	PV
電線共同溝予備管		SE	φ100	φ114.0	HIVP
		ST	φ75	φ96.0	PV
	さや管	ST1	φ50	φ54.0	SU
		ST2	φ30	φ34.0	SU
余剰管	さや管	余1	φ50	φ54.0	SU
		余2	φ30	φ34.0	SU
共用FA		FA	φ150	φ165.0	VP

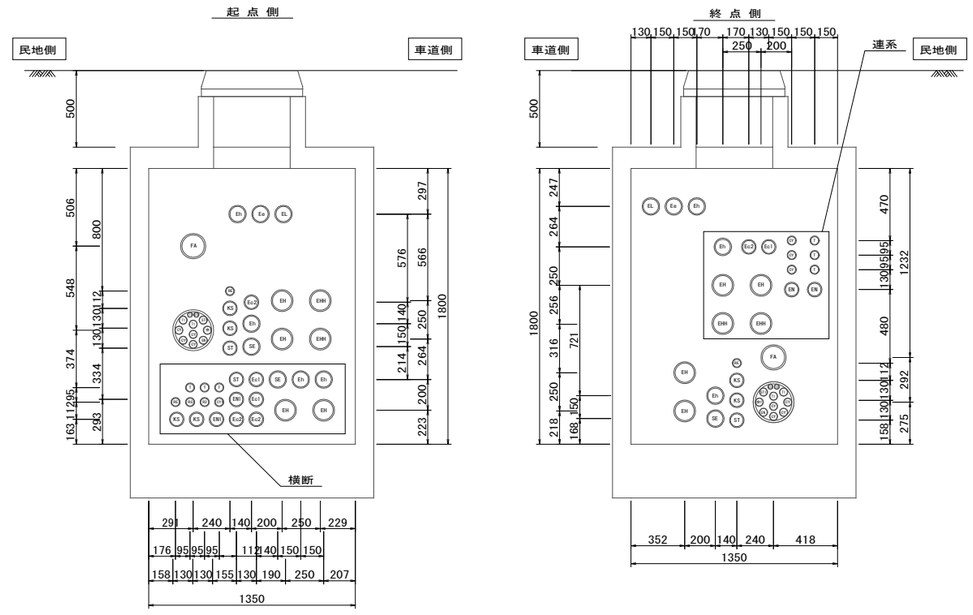
MN17

MH型接続部 1300×1800×3700



MN18

MH型接続部Ⅰ型 1350×1800×3700



（注記）構造物内側より見た図

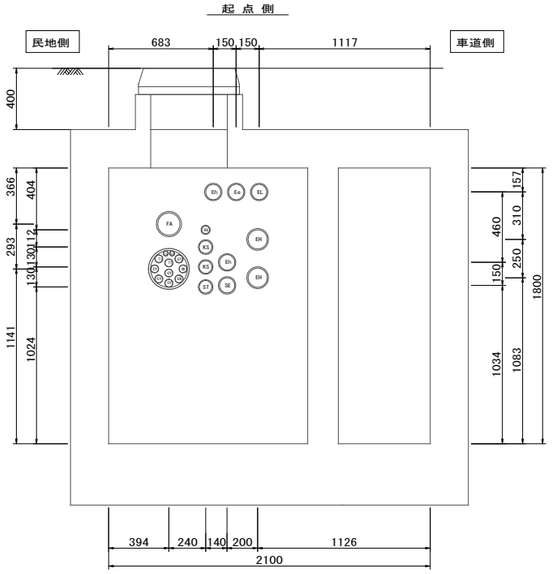
参考図

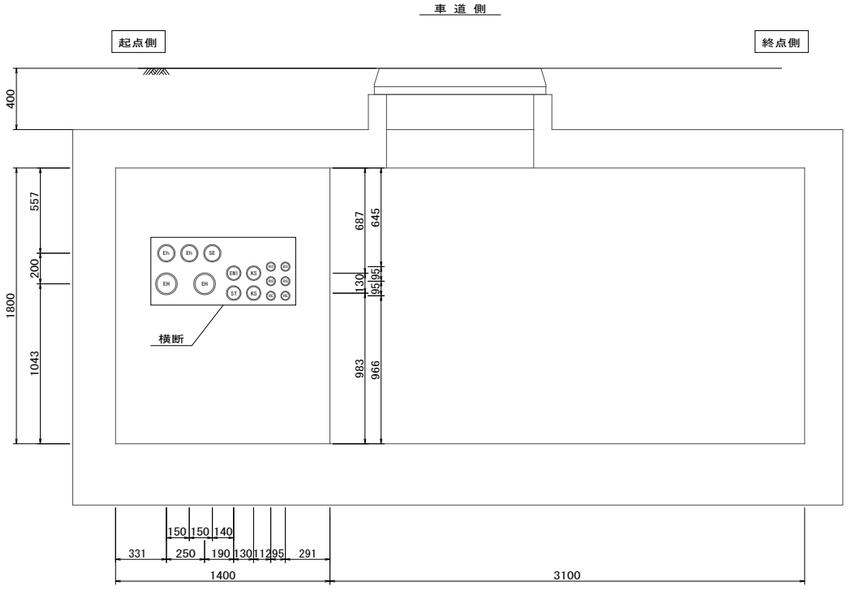
工事名	安来電線共同溝PFI事業		
図面名	ベルマウス配置図(7)		
作成年月日			
縮　尺	1：20	図面番号	38 / 51
会社名			
事業者名	松江国道事務所		

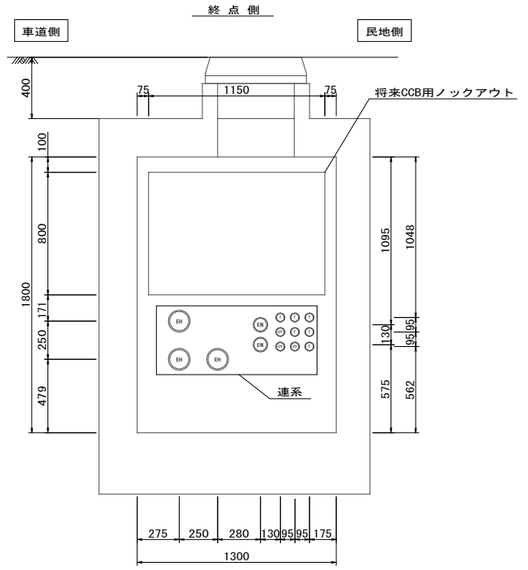
ベルマウス配置図(8)　S=1:20

MN19

L-Ⅲ型 1350/2150×1800×4500







企業名		記号	管路		
			呼び径	管外径	管種
中国電力		EHH	φ125	φ142.5	HIVP
		EH	φ125	φ142.5	HIVP
		Eh	φ100	φ114.0	HIVP
		EL	φ100	φ114.0	HIVP
		Ec1	φ75	φ96.0	PV
		Ec2	φ75	φ96.0	PV
		Ee	φ100	φ114.0	VP
ＮＴＴ	さや管	T1	φ50	φ54.0	SU
		T2	φ30	φ34.0	SU
		T	φ50	φ54.0	PV
ＮＴＴドコモ	さや管				
日立	さや管	H	φ50	φ54.0	SU
		HI	φ50	φ54.0	PV
ｴﾈﾙｷﾞｱｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝｽﾞ	さや管	EN	φ50	φ54.0	SU
		EN1	φ75	φ96.0	PV
		EN2	φ50	φ54.0	PV
やすぎどじょっこＴＶ	さや管	CY	φ50	φ54.0	SU
		CY1	φ50	φ54.0	PV
鳥取ミュージック	さや管	CT	φ50	φ54.0	SU
		CT1	φ50	φ54.0	PV
道路管理者	さや管	R2	φ50	φ54.0	SU
		Rs	φ50	φ54.0	PV
		RE	φ50	φ60.0	PV
		KS	φ75	φ96.0	PV
電線共同溝予備管		SE	φ100	φ114.0	HIVP
		ST	φ75	φ96.0	PV
	さや管	ST1	φ50	φ54.0	SU
		ST2	φ30	φ34.0	SU
余剰管	さや管	余1	φ50	φ54.0	SU
		余2	φ30	φ34.0	SU
共用FA		FA	φ150	φ165.0	VP

（注記）構造物内側より見た図

参考図

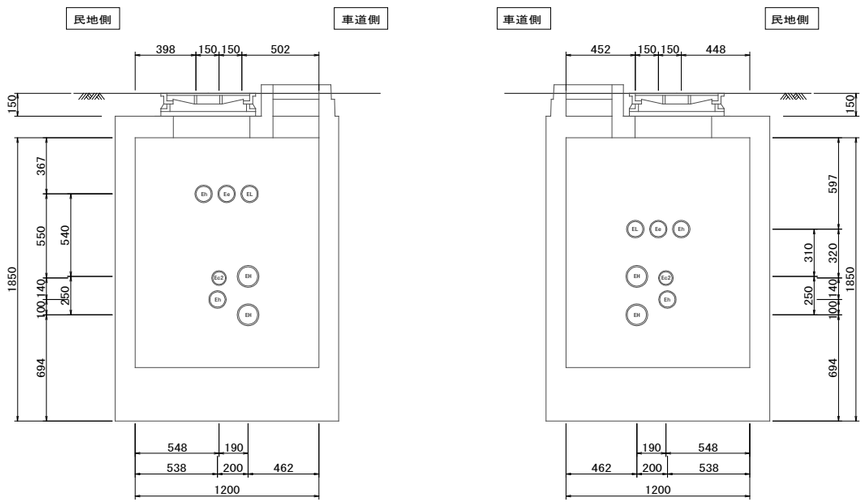
工事名	安来電線共同溝PFI事業		
図面名	ベルマウス配置図(8)		
作成年月日			
縮　尺	1：20	図面番号	39 / 51
会社名			
事業者名	松江国道事務所		

ベルマウス配置図(9)　S=1:20

地上機器部

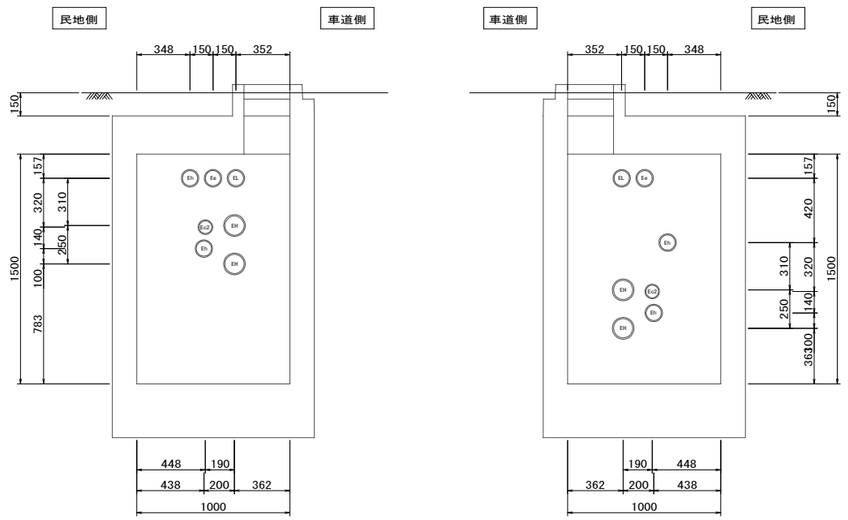
AN1

路上変圧器/高圧引込開閉器 1200×1500×3600



AN2

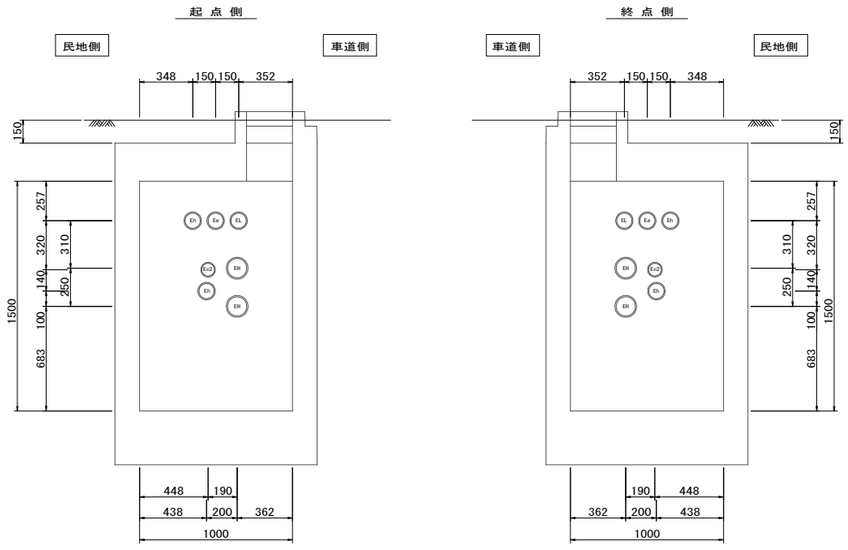
路上変圧器 1000×1500×2200



企業名		記号	管路		
			呼び径	管外径	管種
中国電力		EHH	φ125	φ142.5	HIVP
		EH	φ125	φ142.5	HIVP
		Eh	φ100	φ114.0	HIVP
		EL	φ100	φ114.0	HIVP
		Ec1	φ75	φ96.0	PV
		Ec2	φ75	φ96.0	PV
		Ee	φ100	φ114.0	VP
ＮＴＴ	さや管	T1	φ50	φ54.0	SU
		T2	φ30	φ34.0	SU
		T	φ50	φ54.0	PV
ＮＴＴドコモ	さや管	D	φ30	φ34.0	SU
日立	さや管	H	φ50	φ54.0	SU
		HI	φ50	φ54.0	PV
ｴﾈﾙｷﾞｱｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝｽﾞ	さや管	EN	φ50	φ54.0	SU
		EN1	φ75	φ96.0	PV
		EN2	φ50	φ54.0	PV
やすぎどじょっこＴＶ	さや管	CY	φ50	φ54.0	SU
		CY1	φ50	φ54.0	PV
鳥取ミュージック	さや管	CT	φ50	φ54.0	SU
		CT1	φ50	φ54.0	PV
道路管理者	さや管	R2	φ50	φ54.0	SU
		Rs	φ50	φ54.0	PV
		RE	φ50	φ60.0	PV
		KS	φ75	φ96.0	PV
電線共同溝予備管		SE	φ100	φ114.0	HIVP
		ST	φ75	φ96.0	PV
	さや管	ST1	φ50	φ54.0	SU
		ST2	φ30	φ34.0	SU
余剰管	さや管	余1	φ50	φ54.0	SU
		余2	φ30	φ34.0	SU
共用FA		FA	φ150	φ165.0	VP

AN3

路上変圧器 1000×1500×2200



（注記）構造物内側より見た図

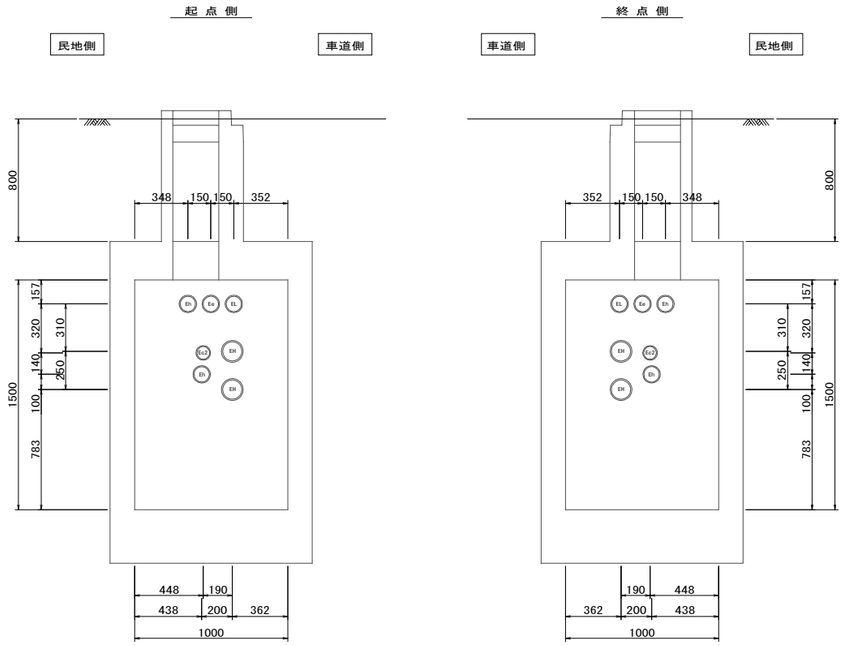
参考図

工事名	安来電線共同溝PFI事業		
図面名	ベルマウス配置図(9)		
作成年月日			
縮　尺	1：20	図面番号	40 / 51
会社名			
事業者名	松江国道事務所		

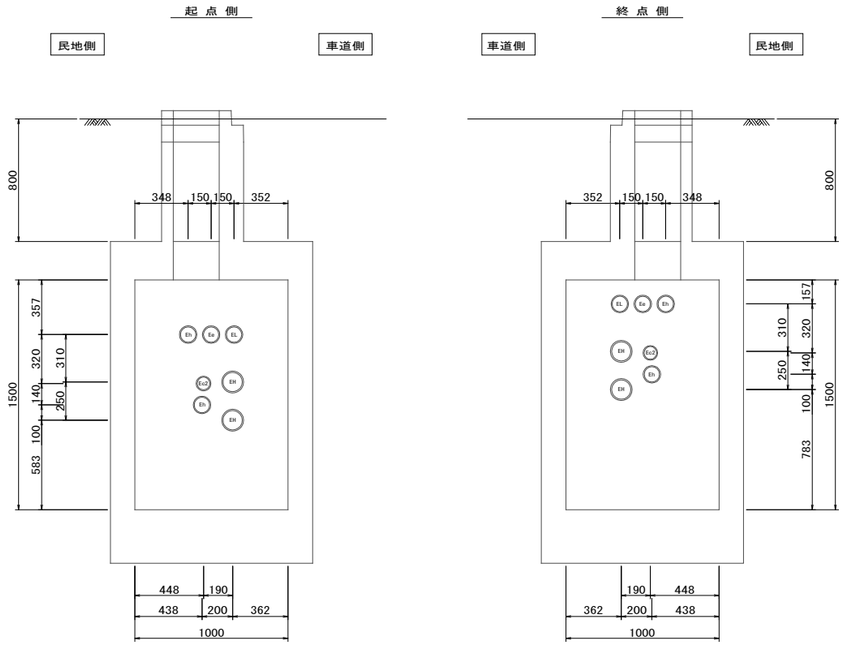
ベルマウス配置図(10)　S=1:20

地上機器部

AN4
高圧引込開閉器 1000×1500×2200

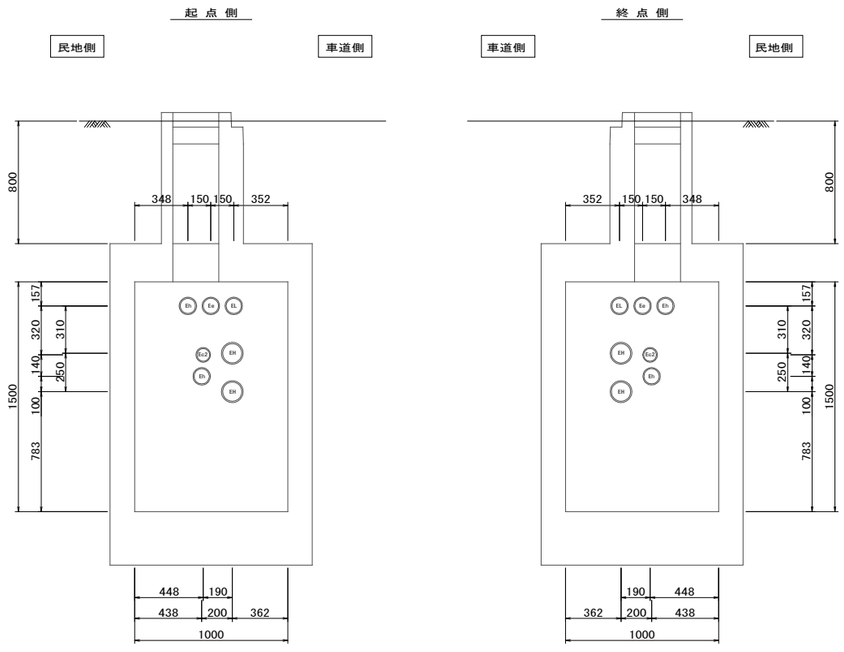


AN5
路上変圧器 1000×1500×2200

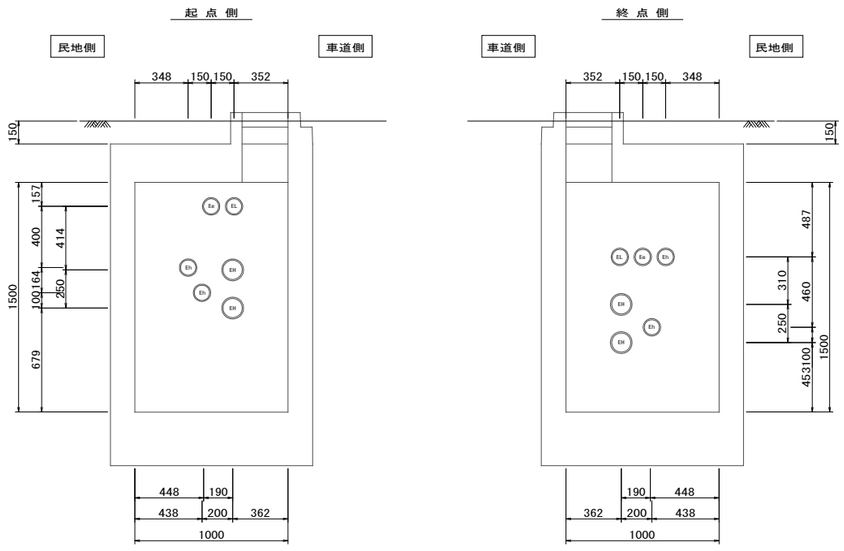


企業名		記号	管路		
			呼び径	管外径	管種
中国電力		EHH	φ125	φ142.5	HIVP
		EH	φ125	φ142.5	HIVP
		Eh	φ100	φ114.0	HIVP
		EL	φ100	φ114.0	HIVP
		Ec1	φ75	φ96.0	PV
		Ec2	φ75	φ96.0	PV
		Ee	φ100	φ114.0	VP
ＮＴＴ	さや管	T1	φ50	φ54.0	SU
		T2	φ30	φ34.0	SU
		T	φ50	φ54.0	PV
ＮＴＴドコモ	さや管	D	φ30	φ34.0	SU
日立	さや管	H	φ50	φ54.0	SU
		HI	φ50	φ54.0	PV
ｴﾈﾙｷﾞｱｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝｽﾞ	さや管	EN	φ50	φ54.0	SU
		EN1	φ75	φ96.0	PV
		EN2	φ50	φ54.0	PV
やすぎどじょっこＴＶ	さや管	CY	φ50	φ54.0	SU
		CY1	φ50	φ54.0	PV
鳥取ミュージック	さや管	CT	φ50	φ54.0	SU
		CT1	φ50	φ54.0	PV
道路管理者	さや管	R2	φ50	φ54.0	SU
		Rs	φ50	φ54.0	PV
		RE	φ50	φ60.0	PV
		KS	φ75	φ96.0	PV
電線共同溝予備管		SE	φ100	φ114.0	HIVP
		ST	φ75	φ96.0	PV
	さや管	ST1	φ50	φ54.0	SU
		ST2	φ30	φ34.0	SU
余剰管	さや管	余1	φ50	φ54.0	SU
		余2	φ30	φ34.0	SU
共用FA		FA	φ150	φ165.0	VP

AN6
高圧引込開閉器 1000×1500×2200



AN7
路上変圧器 1000×1500×2200



（注記）構造物内側より見た図

参考図

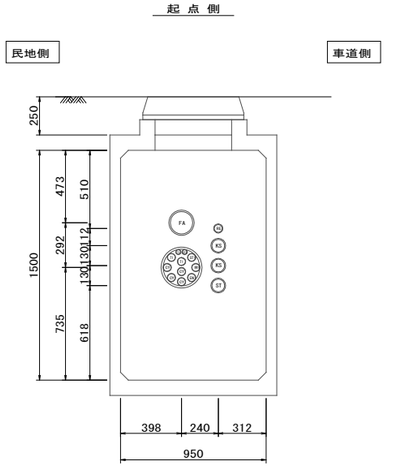
工事名	安来電線共同溝PFI事業		
図面名	ベルマウス配置図(10)		
作成年月日			
縮　尺	1：20	図面番号	41 / 51
会社名			
事業者名	松江国道事務所		

ベルマウス配置図(11)　S=1:20

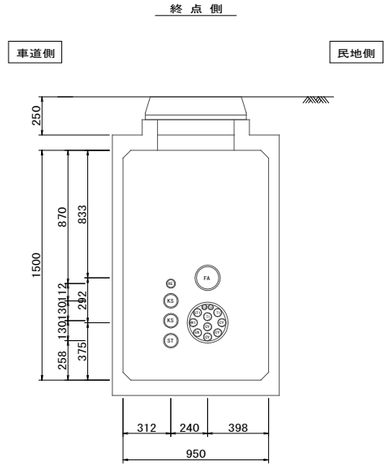
通信基点桝

TN1
950×1500×2200

起 点 側

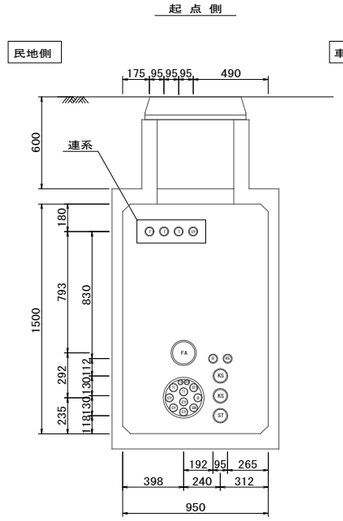


終 点 側

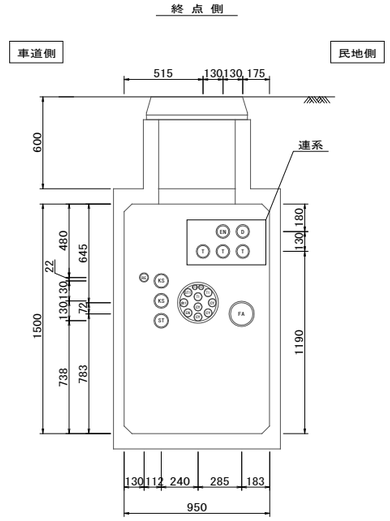


TN2
950×1500×2200

起 点 側

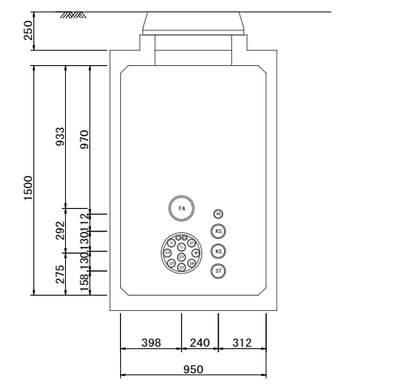


終 点 側

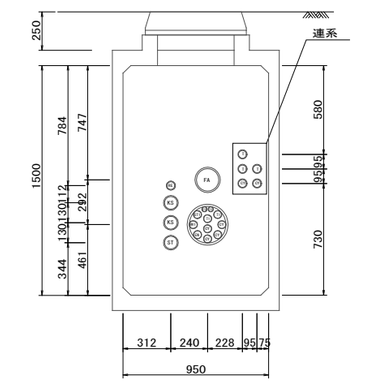


TN3
950×1500×2200

起 点 側



終 点 側



企業名		記号	管路		
			呼び径	管外径	管種
中国電力		EHH	φ125	φ142.5	HIVP
		EH	φ125	φ142.5	HIVP
		Eh	φ100	φ114.0	HIVP
		EL	φ100	φ114.0	HIVP
		Ec1	φ75	φ96.0	PV
		Ec2	φ75	φ96.0	PV
		Ee	φ100	φ114.0	VP
ＮＴＴ	さや管	T1	φ50	φ54.0	SU
		T2	φ30	φ34.0	SU
		T	φ50	φ54.0	PV
ＮＴＴドコモ	さや管	D	φ30	φ34.0	SU
日立	さや管	H	φ50	φ54.0	SU
		H1	φ50	φ54.0	PV
ｴﾈﾙｷﾞｱｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝｽﾞ	さや管	EN	φ50	φ54.0	SU
		EN1	φ75	φ96.0	PV
		EN2	φ50	φ54.0	PV
やすぎどじょっこＴＶ	さや管	CY	φ50	φ54.0	SU
		CY1	φ50	φ54.0	PV
鳥取ミュージック	さや管	CT	φ50	φ54.0	SU
		CT1	φ50	φ54.0	PV
道路管理者	さや管	R2	φ50	φ54.0	SU
		Rs	φ50	φ54.0	PV
		RE	φ50	φ60.0	PV
		KS	φ75	φ96.0	PV
電線共同溝予備管		SE	φ100	φ114.0	HIVP
		ST	φ75	φ96.0	PV
	さや管	ST1	φ50	φ54.0	SU
		ST2	φ30	φ34.0	SU
余剰管	さや管	余1	φ50	φ54.0	SU
		余2	φ30	φ34.0	SU
共用FA		FA	φ150	φ165.0	VP

（注記）構造物内側より見た図

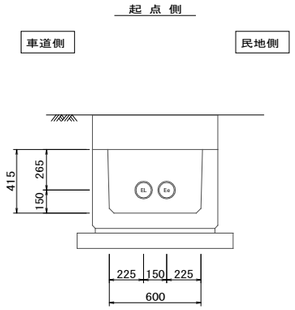
参考図

工事名	安来電線共同溝PFI事業		
図面名	ベルマウス配置図(11)		
作成年月日			
縮　尺	1：20	図面番号	42 / 51
会社名			
事業者名	松江国道事務所		

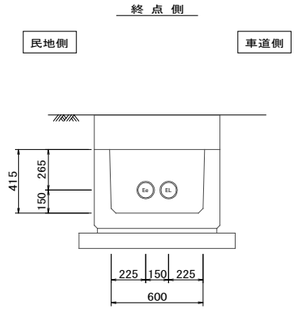
ベルマウス配置図(12)　S=1:20

分岐桝

起 点 側



終 点 側

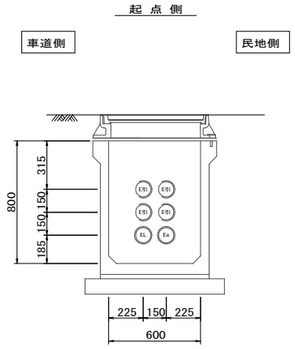


分岐桝

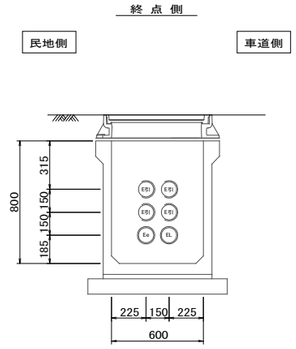
H-800

BN15, BN16

起 点 側



終 点 側



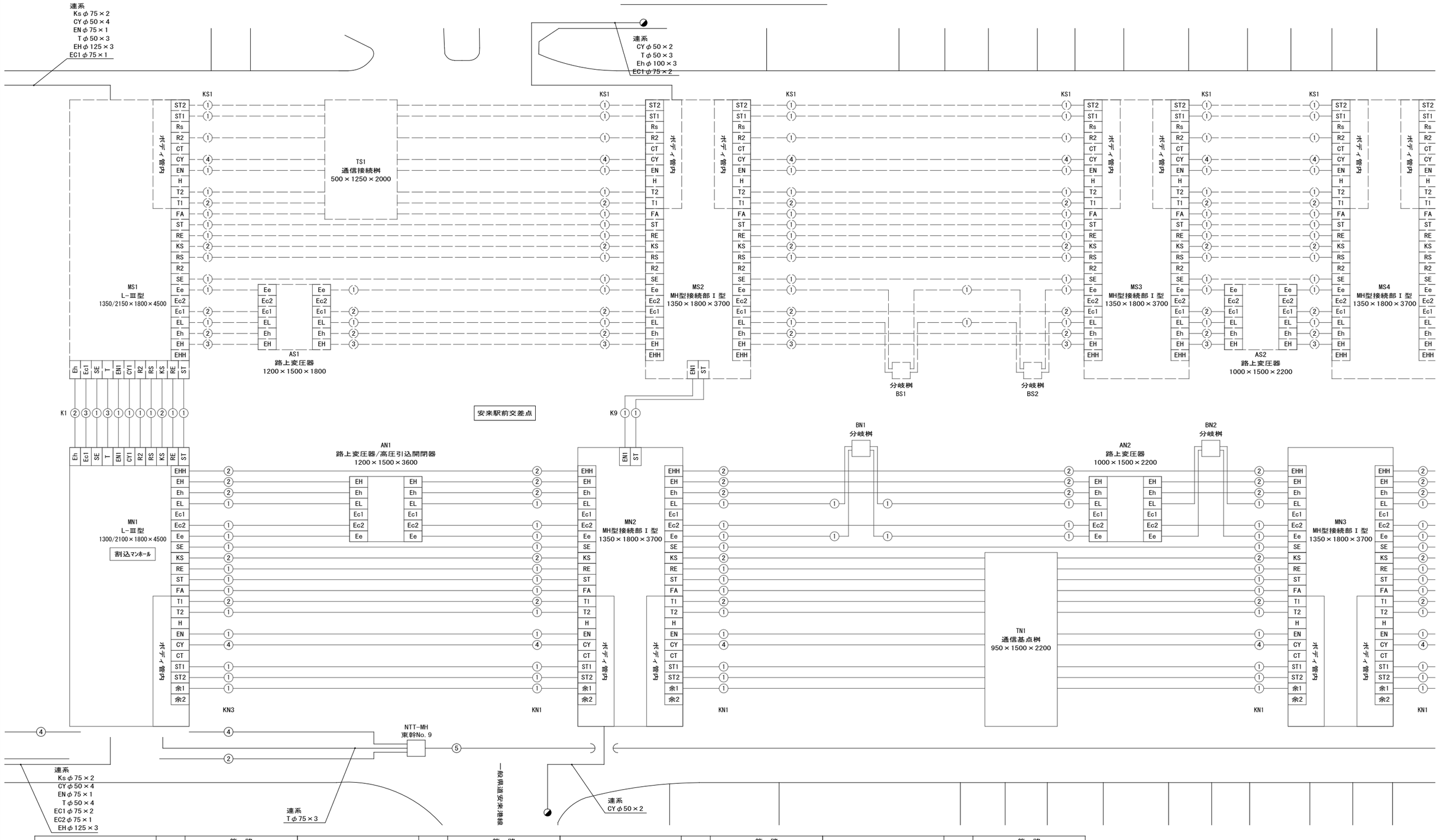
企業名		記号	管路		
			呼び径	管外径	管種
中国電力		EHH	φ125	φ142.5	HIVP
		EH	φ125	φ142.5	HIVP
		Eh	φ100	φ114.0	HIVP
		EL	φ100	φ114.0	HIVP
		Ec1	φ75	φ96.0	PV
		Ec2	φ75	φ96.0	PV
		Ee	φ100	φ114.0	VP
ＮＴＴ	さや管	T1	φ50	φ54.0	SU
		T2	φ30	φ34.0	SU
		T	φ50	φ54.0	PV
ＮＴＴドコモ	さや管	D	φ30	φ34.0	SU
日立	さや管	H	φ50	φ54.0	SU
		HI	φ50	φ54.0	PV
ｴﾈﾙｷﾞｱｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝｽﾞ	さや管	EN	φ50	φ54.0	SU
		EN1	φ75	φ96.0	PV
		EN2	φ50	φ54.0	PV
やすぎどじょっこＴＶ	さや管	CY	φ50	φ54.0	SU
		CY1	φ50	φ54.0	PV
鳥取ミュージック	さや管	CT	φ50	φ54.0	SU
		CT1	φ50	φ54.0	PV
道路管理者	さや管	R2	φ50	φ54.0	SU
		Rs	φ50	φ54.0	PV
		RE	φ50	φ60.0	PV
		KS	φ75	φ96.0	PV
電線共同溝予備管		SE	φ100	φ114.0	HIVP
		ST	φ75	φ96.0	PV
	さや管	ST1	φ50	φ54.0	SU
		ST2	φ30	φ34.0	SU
余剰管	さや管	余1	φ50	φ54.0	SU
		余2	φ30	φ34.0	SU
共用FA		FA	φ150	φ165.0	VP

（注記）構造物内側より見た図

参考図

工事名	安来電線共同溝PFI事業		
図面名	ベルマウス配置図(12)		
作成年月日			
縮　尺	1：20	図面番号	43 / 51
会社名			
事業者名	松江国道事務所		

系統図(1)



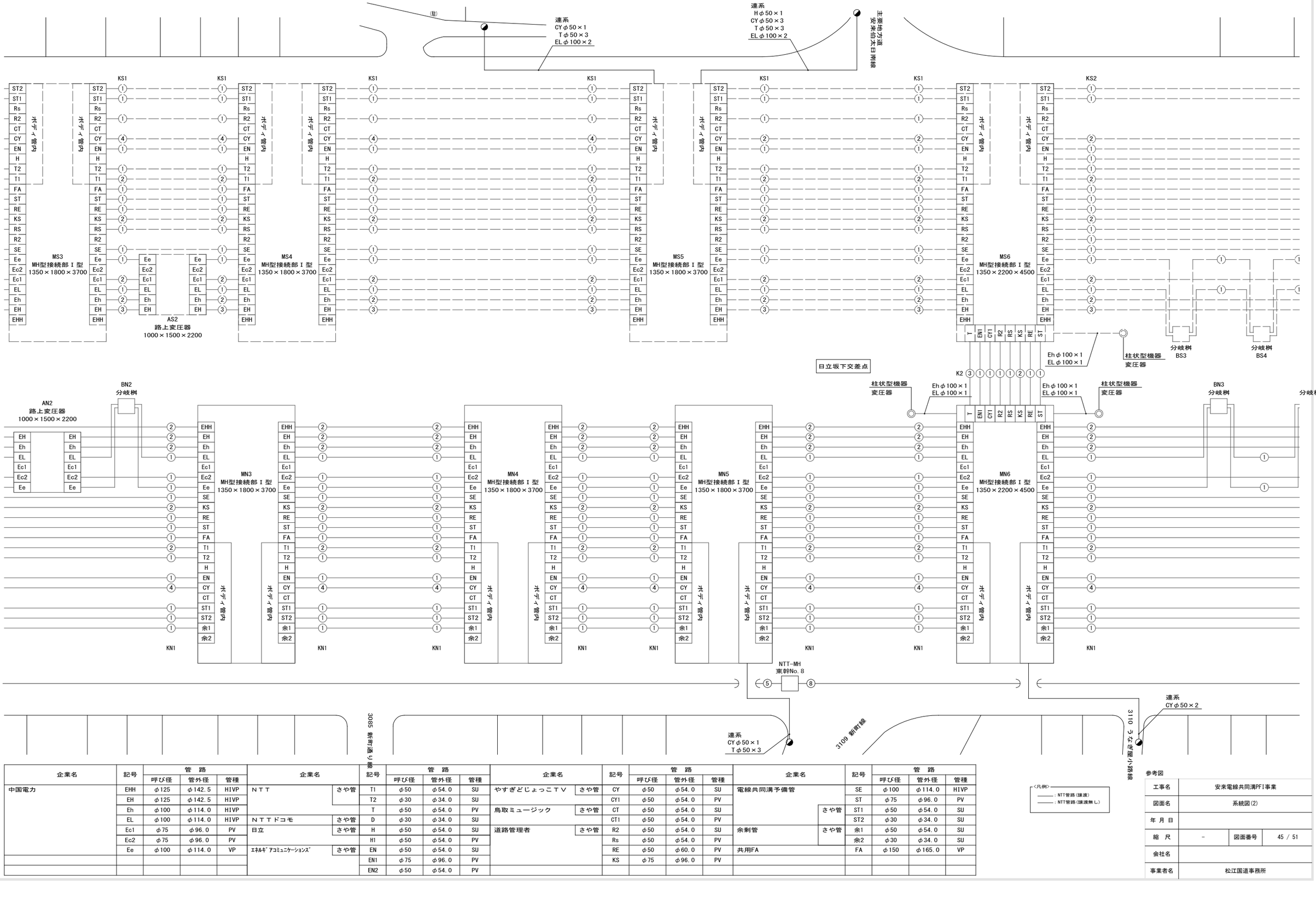
企業名	記号	管路			企業名		記号	管路			企業名		記号	管路			企業名		記号	管路		
		呼び径	管外径	管種				呼び径	管外径	管種				呼び径	管外径	管種				呼び径	管外径	管種
中国電力	EHH	φ125	φ142.5	HIVP	ＮＴＴ	さや管	T1	φ50	φ54.0	SU	やすぎどじょっこＴＶ	さや管	CY	φ50	φ54.0	SU	電線共同溝予備管		SE	φ100	φ114.0	HIVP
	EH	φ125	φ142.5	HIVP			T2	φ30	φ34.0	SU			CY1	φ50	φ54.0	PV			ST	φ75	φ96.0	PV
	Eh	φ100	φ114.0	HIVP			T	φ50	φ54.0	PV	鳥取ミュージック	さや管	CT	φ50	φ54.0	SU		さや管	ST1	φ50	φ54.0	SU
	EL	φ100	φ114.0	HIVP	ＮＴＴドコモ	さや管	D	φ30	φ34.0	SU			CT1	φ50	φ54.0	PV			ST2	φ30	φ34.0	SU
	Ec1	φ75	φ96.0	PV	日立	さや管	H	φ50	φ54.0	SU	道路管理者	さや管	R2	φ50	φ54.0	SU	余剰管	さや管	余1	φ50	φ54.0	SU
	Ec2	φ75	φ96.0	PV			H1	φ50	φ54.0	PV			Rs	φ50	φ54.0	PV			余2	φ30	φ34.0	SU
	Ee	φ100	φ114.0	VP	ｴﾈﾙｷﾞｱｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝｽﾞ	さや管	EN	φ50	φ54.0	SU			RE	φ50	φ60.0	PV	共用FA		FA	φ150	φ165.0	VP
							EN1	φ75	φ96.0	PV			KS	φ75	φ96.0	PV						
							EN2	φ50	φ54.0	PV												

〈凡例〉
——— : NTT管路(譲渡)
——— : NTT管路(譲渡無し)

参考図

工事名	安来電線共同溝PFI事業		
図面名	系統図(1)		
年月日			
縮尺	-	図面番号	44 / 51
会社名			
事業者名	松江国道事務所		

系統図(2)

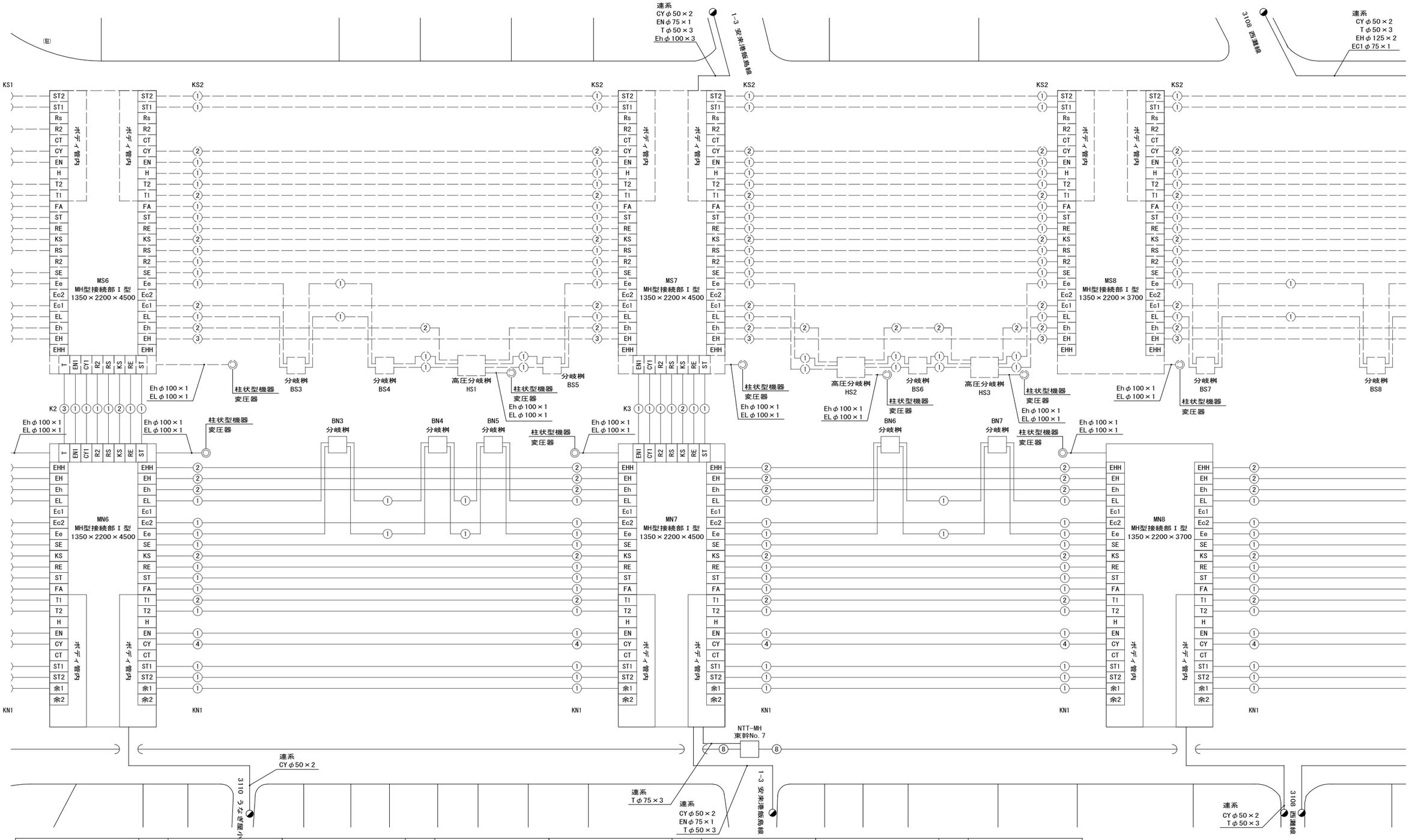


企業名	記号	管路			企業名		記号	管路			企業名		記号	管路			企業名		記号	管路		
		呼び径	管外径	管種				呼び径	管外径	管種				呼び径	管外径	管種				呼び径	管外径	管種
中国電力	EHH	φ125	φ142.5	HIVP	ＮＴＴ	さや管	T1	φ50	φ54.0	SU	やすぎどじょっこＴＶ	さや管	CY	φ50	φ54.0	SU	電線共同溝予備管		SE	φ100	φ114.0	HIVP
	EH	φ125	φ142.5	HIVP			T2	φ30	φ34.0	SU			CY1	φ50	φ54.0	PV			ST	φ75	φ96.0	PV
	Eh	φ100	φ114.0	HIVP			T	φ50	φ54.0	PV	鳥取ミュージック	さや管	CT	φ50	φ54.0	SU		さや管	ST1	φ50	φ54.0	SU
	EL	φ100	φ114.0	HIVP	ＮＴＴドコモ	さや管	D	φ30	φ34.0	SU			CT1	φ50	φ54.0	PV			ST2	φ30	φ34.0	SU
	Ec1	φ75	φ96.0	PV	日立	さや管	H	φ50	φ54.0	SU	道路管理者	さや管	R2	φ50	φ54.0	SU	余剰管	さや管	余1	φ50	φ54.0	SU
	Ec2	φ75	φ96.0	PV			H1	φ50	φ54.0	PV			Rs	φ50	φ54.0	PV			余2	φ30	φ34.0	SU
	Ee	φ100	φ114.0	VP	ｴﾈﾙｷﾞｱｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝｽﾞ	さや管	EN	φ50	φ54.0	SU			RE	φ50	φ60.0	PV	共用FA		FA	φ150	φ165.0	VP
							EN1	φ75	φ96.0	PV			KS	φ75	φ96.0	PV						
							EN2	φ50	φ54.0	PV												

参考図

工事名	安来電線共同溝PFI事業		
図面名	系統図(2)		
年 月 日			
縮 尺	-	図面番号	45 / 51
会社名			
事業者名	松江国道事務所		

系統図(3)



企業名	記号	管路 呼び径	管路 管外径	管路 管種
中国電力	EHH	φ125	φ142.5	HIVP
	EH	φ125	φ142.5	HIVP
	Eh	φ100	φ114.0	HIVP
	EL	φ100	φ114.0	HIVP
	Ec1	φ75	φ96.0	PV
	Ec2	φ75	φ96.0	PV
	Ee	φ100	φ114.0	VP

企業名		記号	管路 呼び径	管路 管外径	管路 管種
NTT	さや管	T1	φ50	φ54.0	SU
		T2	φ30	φ34.0	SU
		T	φ50	φ54.0	PV
NTTドコモ	さや管	D	φ30	φ34.0	SU
日立	さや管	H	φ50	φ54.0	SU
		H1	φ50	φ54.0	PV
ｴﾈﾙｷﾞｱｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝｽﾞ	さや管	EN	φ50	φ54.0	SU
		EN1	φ75	φ96.0	PV
		EN2	φ50	φ54.0	PV

企業名		記号	管路 呼び径	管路 管外径	管路 管種
やすぎどじょっこＴＶ	さや管	CY	φ50	φ54.0	SU
		CY1	φ50	φ54.0	PV
鳥取ミュージック	さや管	CT	φ50	φ54.0	SU
		CT1	φ50	φ54.0	PV
道路管理者	さや管	R2	φ50	φ54.0	SU
		Rs	φ50	φ54.0	PV
		RE	φ50	φ60.0	PV
		KS	φ75	φ96.0	PV

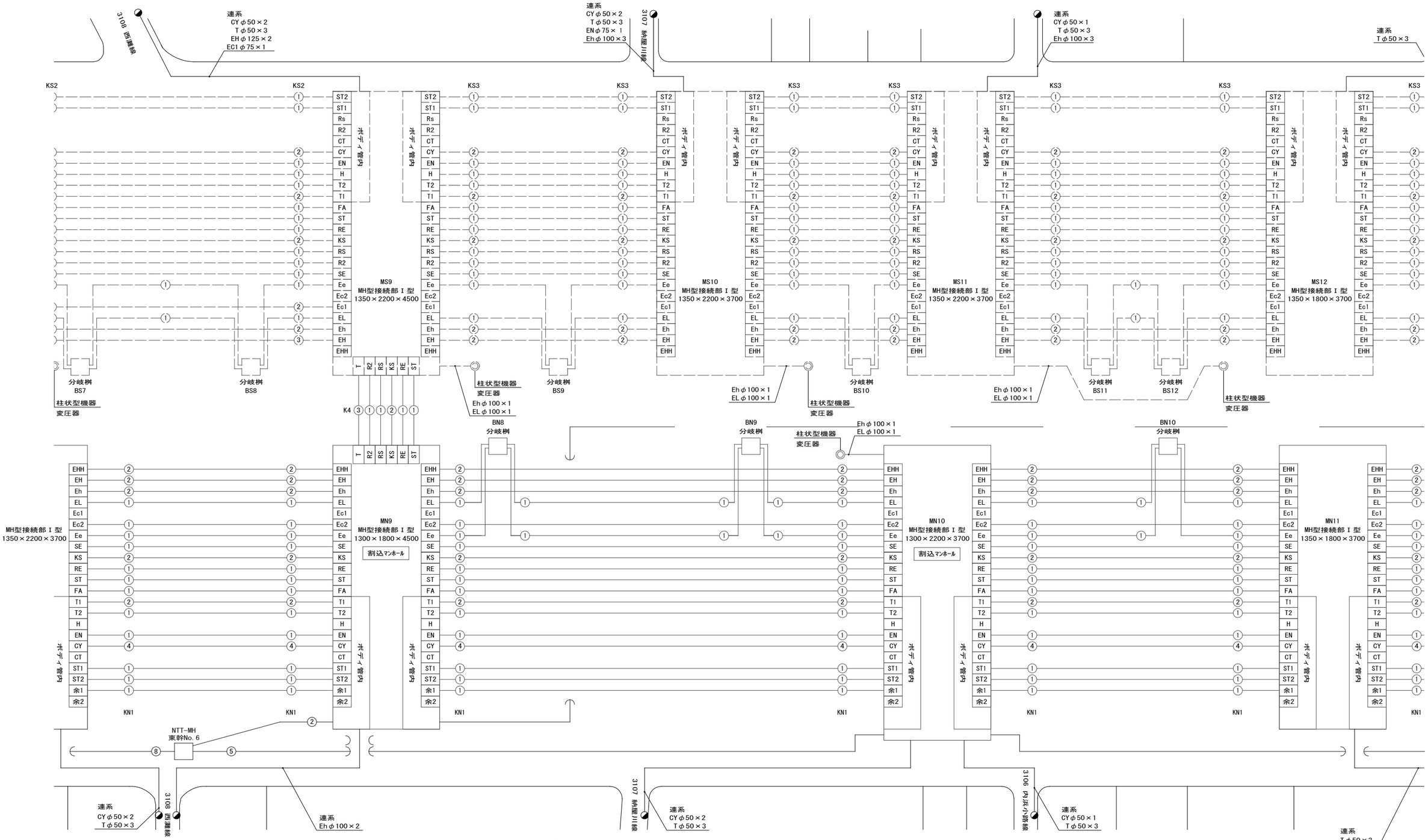
企業名		記号	管路 呼び径	管路 管外径	管路 管種
電線共同溝予備管		SE	φ100	φ114.0	HIVP
		ST	φ75	φ96.0	PV
	さや管	ST1	φ50	φ54.0	SU
		ST2	φ30	φ34.0	SU
余剰管	さや管	余1	φ50	φ54.0	SU
		余2	φ30	φ34.0	SU
共用FA		FA	φ150	φ165.0	VP

〈凡例〉
——— : NTT管路(譲渡)
——— : NTT管路(譲渡無し)

参考図

工事名	安来電線共同溝PFI事業		
図面名	系統図(3)		
年月日			
縮尺	-	図面番号	46 / 51
会社名			
事業者名	松江国道事務所		

系統図(4)



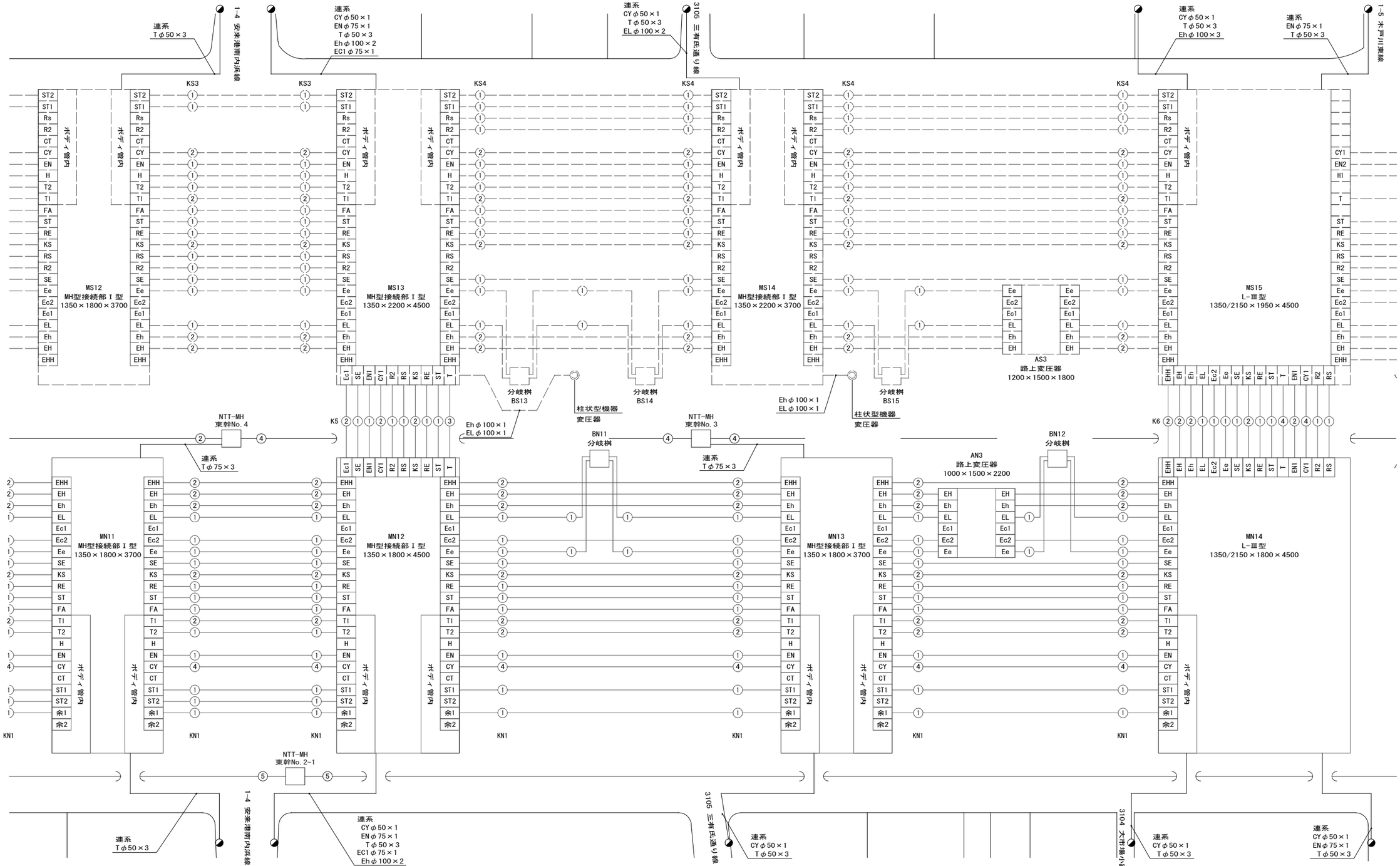
企業名	記号	管路 呼び径	管外径	管種	企業名		記号	管路 呼び径	管外径	管種	企業名		記号	管路 呼び径	管外径	管種	企業名		記号	管路 呼び径	管外径	管種
中国電力	EHH	φ125	φ142.5	HIVP	ＮＴＴ	さや管	T1	φ50	φ54.0	SU	やすぎどじょっこＴＶ	さや管	CY	φ50	φ54.0	SU	電線共同溝予備管		SE	φ100	φ114.0	HIVP
	EH	φ125	φ142.5	HIVP			T2	φ30	φ34.0	SU			CY1	φ50	φ54.0	PV			ST	φ75	φ96.0	PV
	Eh	φ100	φ114.0	HIVP			T	φ50	φ54.0	PV	鳥取ミュージック	さや管	CT	φ50	φ54.0	SU		さや管	ST1	φ50	φ54.0	SU
	EL	φ100	φ114.0	HIVP	ＮＴＴドコモ	さや管	D	φ30	φ34.0	SU			CT1	φ50	φ54.0	PV			ST2	φ30	φ34.0	SU
	Ec1	φ75	φ96.0	PV	日立	さや管	H	φ50	φ54.0	SU	道路管理者	さや管	R2	φ50	φ54.0	SU	余剰管	さや管	余1	φ50	φ54.0	SU
	Ec2	φ75	φ96.0	PV			H1	φ50	φ54.0	PV			Rs	φ50	φ54.0	PV			余2	φ30	φ34.0	SU
	Ee	φ100	φ114.0	VP	ｴﾈﾙｷﾞｱｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝｽﾞ	さや管	EN	φ50	φ54.0	SU			RE	φ50	φ60.0	PV	共用FA		FA	φ150	φ165.0	VP
							EN1	φ75	φ96.0	PV			KS	φ75	φ96.0	PV						
							EN2	φ50	φ54.0	PV												

<凡例>
——— : NTT管路(譲渡)
——— : NTT管路(譲渡無し)

参考図

工事名	安来電線共同溝PFI事業
図面名	系統図(4)
年 月 日	
縮 尺	-
図面番号	47 / 51
会社名	
事業者名	松江国道事務所

系統図(5)



企業名	記号	管路		
		呼び径	管外径	管種
中国電力	EHH	φ125	φ142.5	HIVP
	EH	φ125	φ142.5	HIVP
	Eh	φ100	φ114.0	HIVP
	EL	φ100	φ114.0	HIVP
	Ec1	φ75	φ96.0	PV
	Ec2	φ75	φ96.0	PV
	Ee	φ100	φ114.0	VP

企業名		記号	管路		
			呼び径	管外径	管種
ＮＴＴ	さや管	T1	φ50	φ54.0	SU
		T2	φ30	φ34.0	SU
		T	φ50	φ54.0	PV
ＮＴＴドコモ	さや管	D	φ30	φ34.0	SU
日立	さや管	H	φ50	φ54.0	SU
		H1	φ50	φ54.0	PV
ｴﾈﾙｷﾞｱｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝｽﾞ	さや管	EN	φ50	φ54.0	SU
		EN1	φ75	φ96.0	PV
		EN2	φ50	φ54.0	PV

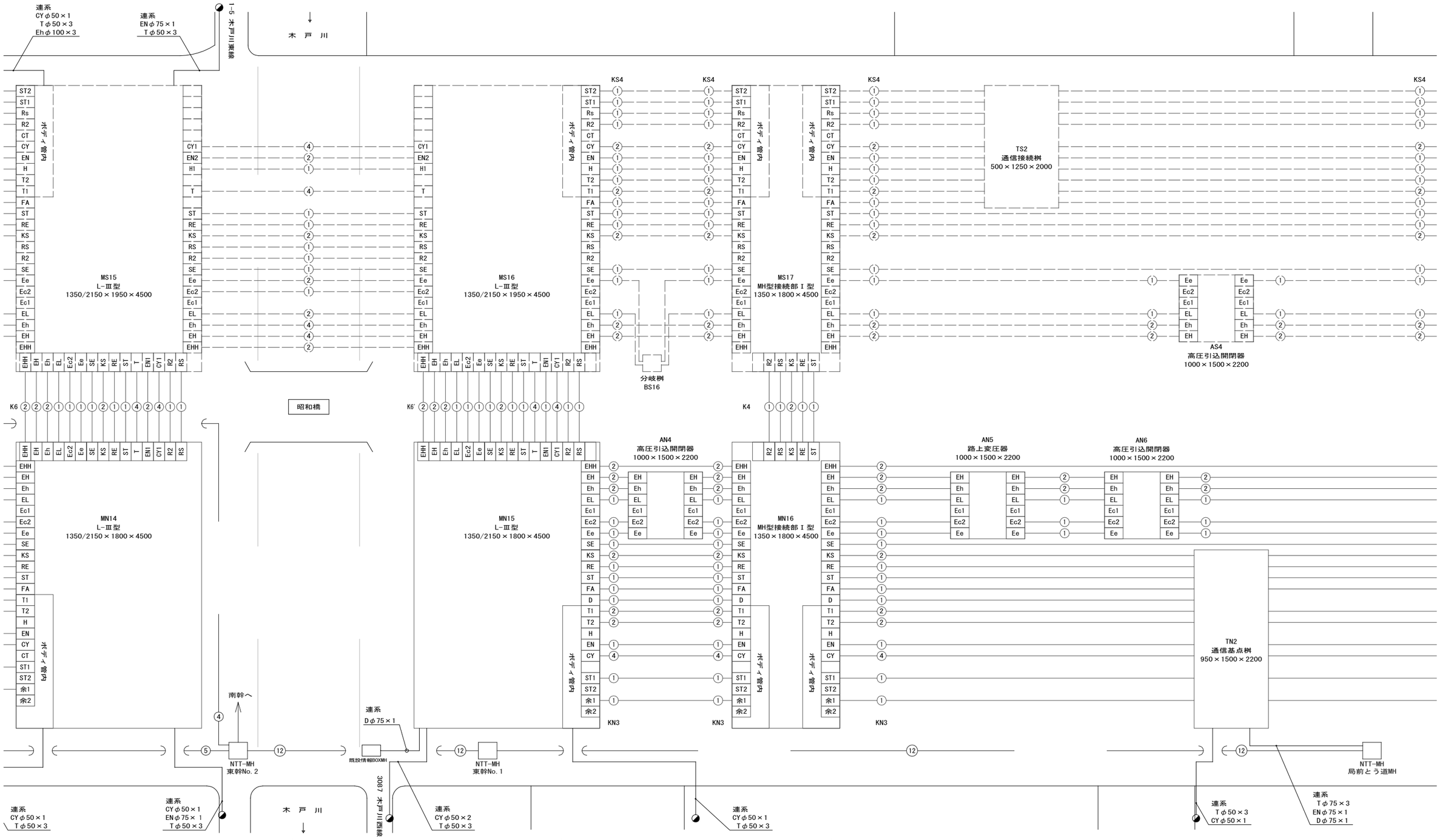
企業名		記号	管路		
			呼び径	管外径	管種
やすぎどじょっこＴＶ	さや管	CY	φ50	φ54.0	SU
		CY1	φ50	φ54.0	PV
鳥取ミュージック	さや管	CT	φ50	φ54.0	SU
		CT1	φ50	φ54.0	PV
道路管理者	さや管	R2	φ50	φ54.0	SU
		Rs	φ50	φ54.0	PV
		RE	φ50	φ60.0	PV
		KS	φ75	φ96.0	PV

企業名		記号	管路		
			呼び径	管外径	管種
電線共同溝予備管		SE	φ100	φ114.0	HIVP
		ST	φ75	φ96.0	PV
	さや管	ST1	φ50	φ54.0	SU
		ST2	φ30	φ34.0	SU
余剰管	さや管	余1	φ50	φ54.0	SU
		余2	φ30	φ34.0	SU
共用FA		FA	φ150	φ165.0	VP

参考図

工事名	安来電線共同溝PFI事業		
図面名	系統図(5)		
年月日			
縮尺	-	図面番号	48 / 51
会社名			
事業者名	松江国道事務所		

系統図(6)



企業名	記号	管路 呼び径	管路 管外径	管路 管種
中国電力	EHH	φ125	φ142.5	HIVP
	EH	φ125	φ142.5	HIVP
	Eh	φ100	φ114.0	HIVP
	EL	φ100	φ114.0	HIVP
	Ec1	φ75	φ96.0	PV
	Ec2	φ75	φ96.0	PV
	Ee	φ100	φ114.0	VP

企業名		記号	管路 呼び径	管路 管外径	管路 管種
ＮＴＴ	さや管	T1	φ50	φ54.0	SU
		T2	φ30	φ34.0	SU
		T	φ50	φ54.0	PV
ＮＴＴドコモ		D	φ50	φ54.0	PV
日立	さや管	H	φ50	φ54.0	SU
		H1	φ50	φ54.0	PV
ｴﾈﾙｷﾞｱｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝｽﾞ	さや管	EN	φ50	φ54.0	SU
		EN1	φ75	φ96.0	PV
		EN2	φ50	φ54.0	PV

企業名		記号	管路 呼び径	管路 管外径	管路 管種
やすぎどじょっこＴＶ	さや管	CY	φ50	φ54.0	SU
		CY1	φ50	φ54.0	PV
鳥取ミュージック	さや管	CT	φ50	φ54.0	SU
		CT1	φ50	φ54.0	PV
道路管理者	さや管	R2	φ50	φ54.0	SU
		Rs	φ50	φ54.0	PV
		RE	φ50	φ60.0	PV
		KS	φ75	φ96.0	PV

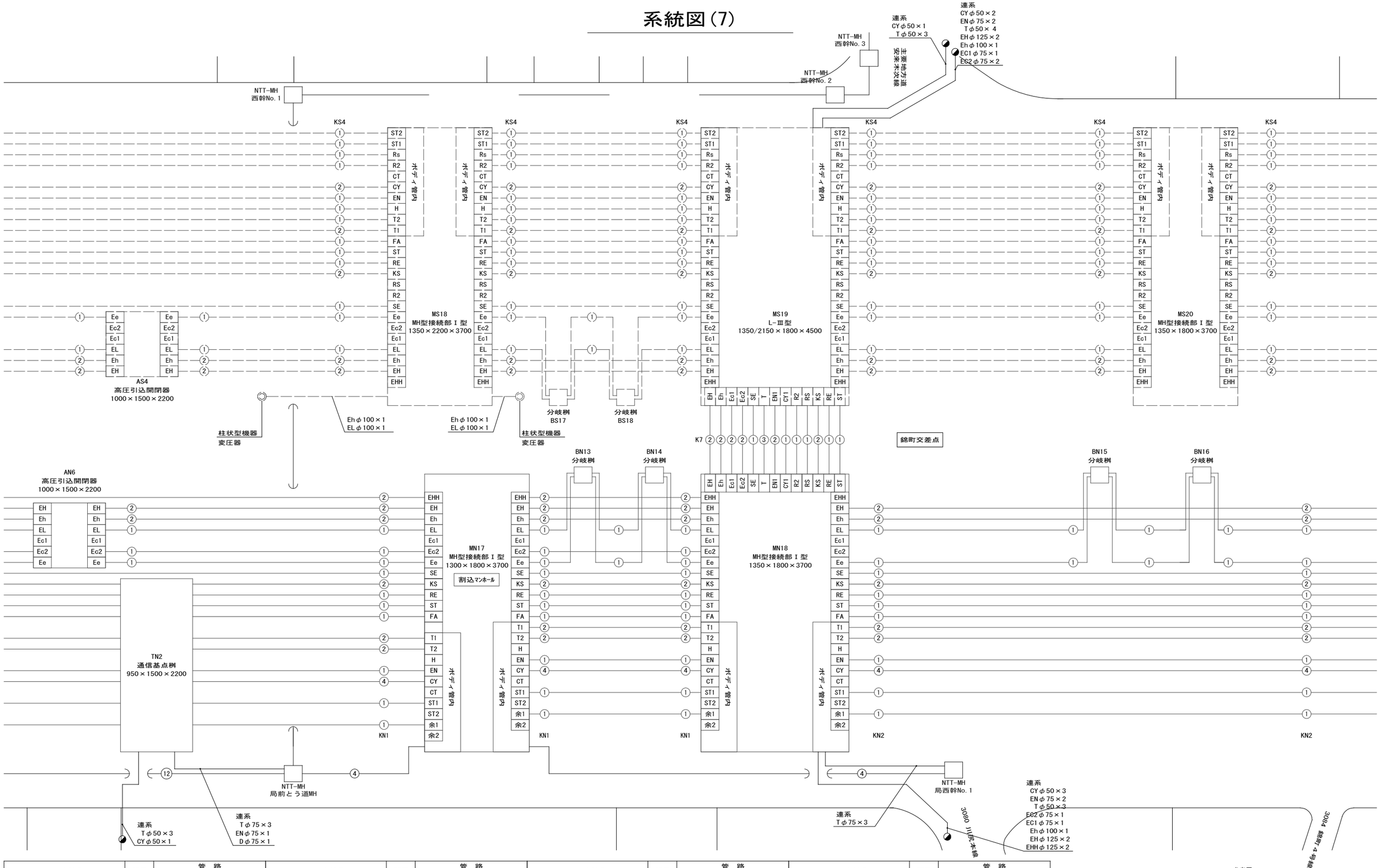
企業名		記号	管路 呼び径	管路 管外径	管路 管種
電線共同溝予備管		SE	φ100	φ114.0	HIVP
		ST	φ75	φ96.0	PV
	さや管	ST1	φ50	φ54.0	SU
		ST2	φ30	φ34.0	SU
余剰管	さや管	余1	φ50	φ54.0	SU
		余2	φ30	φ34.0	SU
共用FA		FA	φ150	φ165.0	VP

〈凡例〉
——— : NTT管路(譲渡)
——— : NTT管路(譲渡無し)

参考図

工事名	安来電線共同溝PF1事業		
図面名	系統図(6)		
年 月 日			
縮 尺	-	図面番号	49 / 51
会社名			
事業者名	松江国道事務所		

系統図(7)



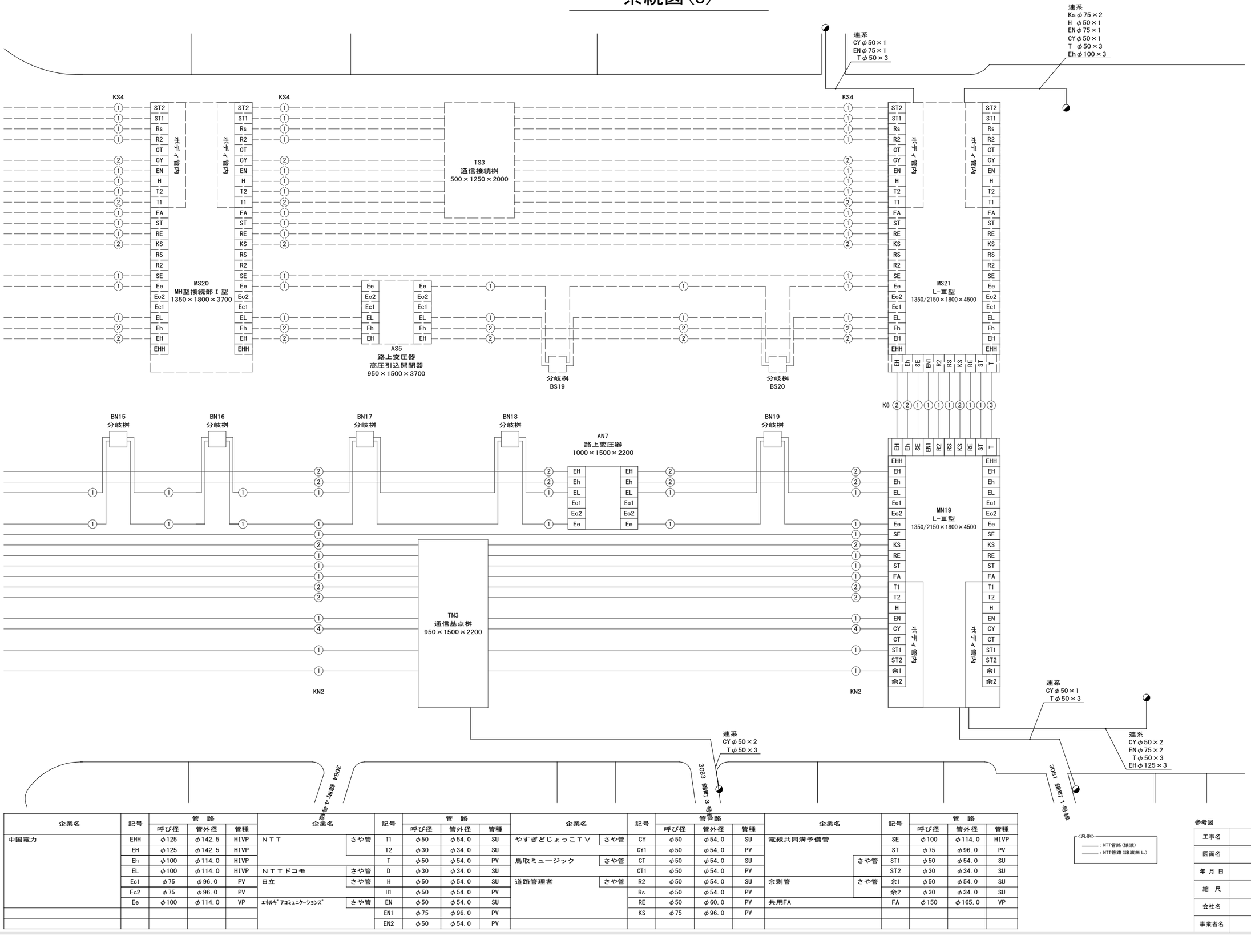
企業名	記号	管路 呼び径	管外径	管種	企業名		記号	管路 呼び径	管外径	管種	企業名		記号	管路 呼び径	管外径	管種	企業名		記号	管路 呼び径	管外径	管種
中国電力	EHH	φ125	φ142.5	HIVP	ＮＴＴ	さや管	T1	φ50	φ54.0	SU	やすぎどじょっこＴＶ	さや管	CY	φ50	φ54.0	SU	電線共同溝予備管		SE	φ100	φ114.0	HIVP
	EH	φ125	φ142.5	HIVP			T2	φ30	φ34.0	SU			CY1	φ50	φ54.0	PV			ST	φ75	φ96.0	PV
	Eh	φ100	φ114.0	HIVP			T	φ50	φ54.0	PV	鳥取ミュージック	さや管	CT	φ50	φ54.0	SU		さや管	ST1	φ50	φ54.0	SU
	EL	φ100	φ114.0	HIVP	ＮＴＴドコモ	さや管	D	φ30	φ34.0	SU			CT1	φ50	φ54.0	PV			ST2	φ30	φ34.0	SU
	Ec1	φ75	φ96.0	PV	日立	さや管	H	φ50	φ54.0	SU	道路管理者	さや管	R2	φ50	φ54.0	SU	余剰管	さや管	余1	φ50	φ54.0	SU
	Ec2	φ75	φ96.0	PV			H1	φ50	φ54.0	PV			Rs	φ50	φ54.0	PV			余2	φ30	φ34.0	SU
	Ee	φ100	φ114.0	VP	ｴﾈﾙｷﾞｱｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝｽﾞ	さや管	EN	φ50	φ54.0	SU			RE	φ50	φ60.0	PV	共用FA		FA	φ150	φ165.0	VP
							EN1	φ75	φ96.0	PV			KS	φ75	φ96.0	PV						
							EN2	φ50	φ54.0	PV												

〈凡例〉
——— : NTT管路(譲渡)
——— : NTT管路(譲渡無し)

参考図

工事名	安来電線共同溝PFI事業		
図面名	系統図(7)		
年月日			
縮尺	-	図面番号	50 / 51
会社名			
事業者名	松江国道事務所		

系統図(8)



企業名	記号	管路 呼び径	管路 管外径	管路 管種
中国電力	EHH	φ125	φ142.5	HIVP
	EH	φ125	φ142.5	HIVP
	Eh	φ100	φ114.0	HIVP
	EL	φ100	φ114.0	HIVP
	Ec1	φ75	φ96.0	PV
	Ec2	φ75	φ96.0	PV
	Ee	φ100	φ114.0	VP

企業名		記号	管路 呼び径	管路 管外径	管路 管種
ＮＴＴ	さや管	T1	φ50	φ54.0	SU
		T2	φ30	φ34.0	SU
		T	φ50	φ54.0	PV
ＮＴＴドコモ	さや管	D	φ30	φ34.0	SU
日立	さや管	H	φ50	φ54.0	SU
		H1	φ50	φ54.0	PV
ｴﾈﾙｷﾞｱｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝｽﾞ	さや管	EN	φ50	φ54.0	SU
		EN1	φ75	φ96.0	PV
		EN2	φ50	φ54.0	PV

企業名		記号	管路 呼び径	管路 管外径	管路 管種
やすぎどじょっこＴＶ	さや管	CY	φ50	φ54.0	SU
		CY1	φ50	φ54.0	PV
鳥取ミュージック	さや管	CT	φ50	φ54.0	SU
		CT1	φ50	φ54.0	PV
道路管理者	さや管	R2	φ50	φ54.0	SU
		Rs	φ50	φ54.0	PV
		RE	φ50	φ60.0	PV
		KS	φ75	φ96.0	PV

企業名		記号	管路 呼び径	管路 管外径	管路 管種
電線共同溝予備管		SE	φ100	φ114.0	HIVP
		ST	φ75	φ96.0	PV
	さや管	ST1	φ50	φ54.0	SU
		ST2	φ30	φ34.0	SU
余剰管	さや管	余1	φ50	φ54.0	SU
		余2	φ30	φ34.0	SU
共用FA		FA	φ150	φ165.0	VP

参考図

工事名	安来電線共同溝PFI事業		
図面名	系統図(8)		
年月日			
縮尺	-	図面番号	51 / 51
会社名			
事業者名	松江国道事務所		